

津市立白山中学校長寿命化改修工事

図名リスト							
意匠図				構造図		機械設備図	
A-01	改修工事特記仕様書 1	A-41	東階段展開図	S-01	構造特記仕様書（EV棟）	M-01	機械設備工事特記仕様書 1
A-02	改修工事特記仕様書 2	A-42	1階建具表ｷｰﾌﾟﾗﾝ	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	M-02	機械設備工事特記仕様書 2
A-03	改修工事特記仕様書 3	A-43	2階建具表ｷｰﾌﾟﾗﾝ	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	M-03	機器表、凡例
A-04	改修工事特記仕様書 4	A-44	3階建具表ｷｰﾌﾟﾗﾝ	S-04	鉄骨工作標準図（1）	M-04	消火設備 配管系統図 計算書
A-05	改修工事特記仕様書 5	A-45	R階建具表ｷｰﾌﾟﾗﾝ	S-05	鉄骨工作標準図（2）	M-05	機械設備 1階平面図（改修後）
A-06	改修工事特記仕様書 6	A-46	建具表 1	S-06	ベースバック柱脚工法 標準図（EV棟）	M-06	機械設備 2階平面図（改修後）
A-07	附近見取図・配置図	A-47	建具表 2	S-07	Q L デッキ合成スラブ設計・施工標準（EV棟）	M-07	機械設備 3階平面図（改修後）
A-08	仕上表 1	A-48	建具表 3	S-08	A L C 設計・施工標準図（EV棟）	M-08	機械設備 R階平面図（改修後）
A-09	仕上表 2	A-49	劣化調査図 1（参考）	S-09	柱状図（EV棟）	M-09	機械設備 1階平面図（改修前）
A-10	1階平面図	A-50	劣化調査図 2（参考）	S-10	基礎伏図、基礎詳細図、地中梁リスト（EV棟）	M-10	機械設備 2階平面図（改修前）
A-11	2階平面図	A-51	屋内運動場 屋根伏図、矩計図	S-11	梁伏図、軸組図（EV棟）	M-11	機械設備 3階平面図（改修前）
A-12	3階平面図	A-52	屋内運動場 立面図1	S-12	鉄骨断面リスト（EV棟）	M-12	機械設備 R階平面図（改修前）
A-13	R階平面図（改修前）	A-53	屋内運動場 立面図2	S-13	鉄骨詳細図（EV棟）	M-13	空調、換気設備 1階平面図
A-14	R階平面図（改修後）	A-54	外構図兼仮設計画図	S-14	構造特記仕様書（屋外階段棟）	M-14	空調、換気設備 2、3階平面図
A-15	立面図（改修）	A-55	渡り廊下外構図	S-15	柱状図（屋外階段棟）	M-15	給排水衛生設備 2、3階平面詳細図
A-16	断面詳細図（改修）	A-56	内部仮設計画図	S-16	基礎伏図、梁伏図、基礎リスト（屋外階段棟）		
A-17	1、2階天井伏図	AEV-01	建築工事特記仕様書 1	S-17	軸組図（屋外階段棟）	昇降機設備図	
A-18	3、R階平面図	AEV-02	建築工事特記仕様書 2	S-18	鉄骨断面リスト（屋外階段棟）	EV-01	エレベーター詳細図（1）
A-19	1、2階普通教室 平面詳細図	AEV-03	建築工事特記仕様書 3	S-19	鉄骨詳細図（屋外階段棟）	EV-02	エレベーター詳細図（2）
A-20	1、2階普通教室 展開図	AEV-04	建築工事特記仕様書 4			EV-03	エレベーター詳細図（3）
A-21	1階学習室7 面詳細図	AEV-05	建築工事特記仕様書 5	電気設備図		EV-04	エレベーター詳細図（4）
A-22	1階学習室7 展開図	AEV-06	建築工事特記仕様書 6	E-01	電気設備工事特記仕様書 1	EV-05	エレベーター詳細図（5）
A-23	2階美術室 詳細図	AEV-07	建築工事特記仕様書 7	E-02	電気設備工事特記仕様書 2	EV-06	エレベーター詳細図（6）
A-24	2階美術室 展開図	AEV-08	敷地求積図	E-03	電気設備工事特記仕様書 3		
A-25	2階4、5組 平面詳細図	AEV-09	仕上表（増築）	E-04	幹線動力設備 1階平面図（改修後）		
A-26	2階4、5組 展開図	AEV-10	敷地現況図	E-05	幹線動力設備 1階平面図（改修前）		
A-27	2階学習室6 平面詳細図、展開図	AEV-11	平面詳細図（昇降機棟）	E-06	電灯コンセント設備 1階平面図（改修後）		
A-28	2階学習室10 平面詳細図	AEV-12	R階平面詳細図（昇降機棟）	E-07	電灯コンセント設備 1階平面図（改修前）		
A-29	2階学習室10 展開図	AEV-13	立面図（増築）	E-08	電灯コンセント設備 2階平面図（改修前・後）		
A-30	3階普通教室 平面詳細図	AEV-14	立面図、断面図（昇降機棟）	E-09	電灯コンセント設備 3階平面図（改修前・後）		
A-31	3階普通教室 展開図	AEV-15	断面詳細図（昇降機棟）	E-10	動力、電灯コンセント設備 1～3階平面詳細図		
A-32	3階音楽室1 平面詳細図	AEV-16	廊下展開図（増築）	E-11	拡声、自動火災報知、EVインターホ設備 1階平面図		
A-33	3階音楽室1 展開図	AEV-17	展開図（昇降機棟）	E-12	拡声、自動火災報知設備 2、3階平面図		
A-34	3階音楽室2 平面詳細図	AEV-18	天井伏図、建具表（増築）	E-13	拡声、EVインターホ設備 1～3階平面詳細図		
A-35	3階音楽室2 展開図	AEV-19	E X P ・ J 詳細図	E-14	自動火災報知設備 1～3階平面詳細図		
A-36	昇降口 平面図、展開図	AEV-20	1階平面図（屋外階段）	E-15	自動火災報知設備 系統図、凡例		
A-37	1～3階手洗場 平面詳細図、展開図	AEV-21	矩計図、詳細図（屋外階段）	E-16	屋上平面図		
A-38	廊下展開図1	AEV-22	平面詳細図、立面図（屋外階段）				
A-39	廊下展開図2	AEV-23	建物面積表				
A-40	西階段展開図						

	(6.5.2)(2)(4)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示（図面番号： ） 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ （ ） 樹種 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th><th>樹 種</th><th>県 産 材</th></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	部 位	樹 種	県 産 材																																
部 位	樹 種	県 産 材																																			
(6.5.2)(2)(9)																																					
(表6.5.2)																																					
(5.5.6)(1)～																																					
(5.5.9)(1)																																					
(6.5.2)(3)(7)																																					
	(6.5.2)(3)(7)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th><th>品 名 ・ 樹 種</th><th>見付け材面の寸法・品質・数</th><th>厚さ</th></tr> <tr> <td>造作用集成材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td rowspan="2">／</td></tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集成材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td></tr> <tr> <td>化粧ばり構造用造作用集成柱</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>／</td><td>・ （ ）</td></tr> </table>	部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）	／	化粧ばり造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）	化粧ばり構造用造作用集成柱	・ 図示 （図面番号： ）	／	・ （ ）																				
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																																		
造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）	／																																		
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）																																			
化粧ばり構造用造作用集成柱	・ 図示 （図面番号： ）	／	・ （ ）																																		
(6.5.2)(3)(4)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ 15％以下 ・ （ ） 造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>部位</th><th>品 名 ・ 寸 法</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th></tr> <tr> <td>造作用単板積層材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>・ （ ）</td><td>・ （ ）</td></tr> </table> 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ 14％以下 ・ （ ） 「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示（図面番号： ） ・ 合板等 <table border="1"> <tr> <th>品名（品目）</th><th>樹種名</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理等</th><th>厚さ</th></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	部位	品 名 ・ 寸 法	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号： ）	・ （ ）	・ （ ）	品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																					
部位	品 名 ・ 寸 法	表面の品質	防虫処理																																		
造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号： ）	・ （ ）	・ （ ）																																		
品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																															
(6.5.2)(4)(7)																																					
(6.5.2)(4)(4)																																					
(6.5.2)(5)																																					
(6.5.2)(6)																																					
(6.5.3)(1)																																					
(6.5.3)(2)																																					
(6.5.5)(1)																																					
5	軽量鉄骨天井下地																																				
	(6.6.2)																																				
	(表6.6.1)																																				
	(6.6.3)																																				
	(6.6.4)																																				
6	軽量鉄骨壁下地																																				
	(6.7.3)																																				
7	ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り																																				
	(6.8.2)																																				
	(6.8.2)(1)																																				
	(6.8.2)(2)																																				
	(6.8.2)(3)(7)(4)																																				
	(6.8.2)(3)(7)(4)																																				
	(6.8.2)(3)(7)(4)																																				
	(6.8.2)(3)(7)(4)																																				
	(6.8.2)(3)(7)(4)																																				
	(6.8.2)(3)(7)(4)																																				
	(6.8.2)(3)(7)(4)																																				

(6.8.2)(3)(2)	・ 耐動荷重性床シート	種類	厚さ	備考			
(6.8.2)(3)(オ)(ア)	・ 防滑性床シート又は床タイル	種類	寸法	厚さ	備考		
(6.8.2)(5)	・ ゴム床タイル	種類	色柄	寸法	厚さ	備考	
(6.8.3)(1)	工法	下地	・ モルタル塗り	・ セルフレベリング材塗り	・ 木下地	・ その他 ()	
(6.8.3)(2)(イ)	ビニル床シート張り	熱溶接工法	・ 適用する	・ 適用しない			
8 カーペット敷き	(6.9.2)(1) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん					
		種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄
		・ A種	・ そ毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地 ・ 柄物
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	(6.9.2)(2) (表6.9.2)	・ B種	・ 紡糸	・ ループパイル	・ ()		
		・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()		
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)					
(6.9.2)(3) (表6.9.2)	(6.9.2)(3) (表6.9.2)	・ タフテッドカーペット					
		パイルの形状		帯電性	工法	品質の程度	
		・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法 ・ グリッパ工法	・ ()	
(6.9.2)(3) (表6.9.2)	(6.9.2)(3) (表6.9.2)	・ ループパイル		・ ()			
		・ カット、ループ併用					
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	・ タイルカーペット					
		種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度	
			・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()	
(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)	(6.9.2)(4) (6.9.2)(5)		・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()	
(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	下敷き材					
		・ 第2種第2号、厚さ8mm					
		見切り、押え金物					
(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	・ 適用する(材質、種類及び形状					
		・ 図示(図面番号:)					
(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	織じゅうたんの接合方法					
		・ ヒートボンド工法					
		・ ()					
(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	タイルカーペットの敷き方					
		平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()		
		階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()		
9 合成樹脂塗床	(6.10.3)(2)(a) (表6.10.4)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程					
		・ 平滑仕上げ					
		・ 防滑仕上げ					
(6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)～ (表6.10.8)	(6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)～ (表6.10.8)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類					
		・ 薄膜流しのべ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑)					
		・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑)					
(6.11.4) (表6.11.2)	(6.11.4) (表6.11.2)	・ 釘留め工法</					

	(6.13.3)(4)(9)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種																																			
	(6.13.3)(6)(7) (表6.13.5)	せっこうボードの目地工法 ・ 継目処理 ☒ 突付け ☒ 目透し																																			
	1 3 壁紙張り (6.14.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th><th>種類</th><th>防火性能</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> </table>	施工箇所	種類	防火性能			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃																							
施工箇所	種類	防火性能																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																			
☒ 4 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ☒ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する（形状： ） 床の目地 ・ 図示（図面番号： ） 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示（図面番号： ）																																				
1 5 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示（図面番号： ）																																				
	タイルの種類 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th><th>工 法</th><th>種 類</th><th>形状寸法</th><th>耐滑り性</th><th>うわぐすり</th><th>役 物</th><th>標準・特注 色の別 標準</th><th>耐凍害性 の有無</th></tr> <tr> <td>外部スロープ</td><td>モザイク貼り</td><td>スロープタイル</td><td>100角</td><td>あり</td><td>無釉</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注 色の別 標準	耐凍害性 の有無	外部スロープ	モザイク貼り	スロープタイル	100角	あり	無釉																					
施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注 色の別 標準	耐凍害性 の有無																													
外部スロープ	モザイク貼り	スロープタイル	100角	あり	無釉																																
(6.16.3)(2)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない																																				
1 6 セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ セっこう系 ・ セメント系 塗厚（ ）mm																																				
1 7 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>種別</th><th>厚さ（mm）</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ A種硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム																			
種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																					
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																					
・ A種硬質ウレタンフォーム																																					
・ フェノールフォーム																																					
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム） <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>厚さ〔mm〕</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ A種 1</td><td></td><td>・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版</td></tr> <tr> <td>・ A種 1 H</td><td>・ （ ）</td><td>下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td></tr> <tr> <td>・ （ ）</td><td></td><td>・ （ ）</td></tr> </table>	種類	厚さ〔mm〕	施工箇所	・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版	・ A種 1 H	・ （ ）	下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ （ ）		・ （ ）																								
種類	厚さ〔mm〕	施工箇所																																			
・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版																																			
・ A種 1 H	・ （ ）	下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																			
・ （ ）		・ （ ）																																			
⑦ 塗装改修工事	1 材料 (7.1.3)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）																																			
	☒ 2 下地調整 (7.2.1～7.2.7) (表7.2.1)～ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲（塗り替えてR B種の場合） ・ 図示（図面番号： ）																																			
		種類 <table border="1"> <tr> <th>下地</th><th>種類</th><th>ひび割れ部の補修</th></tr> <tr> <td>☒ 木部</td><td>・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種</td><td></td></tr> <tr> <td>☒ 鉄鋼面</td><td>・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td><td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td><td></td></tr> <tr> <td>☒ モルタル、プラスター面</td><td>・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種</td><td>☒ 行う</td></tr> <tr> <td>・ コンクリート、ＡＬＣパネル面</td><td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td><td>・ 行う</td></tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td><td>・ 行う</td></tr> <tr> <td>☒ セっこうボード、その他ボード面</td><td>・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種</td><td></td></tr> </table>	下地	種類	ひび割れ部の補修	☒ 木部	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種		☒ 鉄鋼面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種		・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		☒ モルタル、プラスター面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種	☒ 行う	・ コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	☒ セっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種												
下地	種類	ひび割れ部の補修																																			
☒ 木部	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種																																				
☒ 鉄鋼面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種																																				
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																				
☒ モルタル、プラスター面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種	☒ 行う																																			
・ コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																			
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																			
☒ セっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ☒ RB種 ・ RC種																																				
☒ 3 素地ごしらえ (7.3.1～7.3.7) (表7.3.1)～ (表7.3.7)	種類 <table border="1"> <tr> <th>下地</th><th>種類</th></tr> <tr> <td>・ 木部</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr> <td>・ コンクリート、ＡＬＣパネル面</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr> <td>☒ セっこうボード、その他ボード面</td><td>・ A種 ☒ B種</td></tr> </table>	下地	種類	・ 木部	・ A種 ・ B種	・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	・ モルタル、プラスター面	・ A種 ・ B種	・ コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ A種 ・ B種	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種	☒ セっこうボード、その他ボード面	・ A種 ☒ B種																				
下地	種類																																				
・ 木部	・ A種 ・ B種																																				
・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																				
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種																																				
・ モルタル、プラスター面	・ A種 ・ B種																																				
・ コンクリート、ＡＬＣパネル面	・ A種 ・ B種																																				
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種																																				
☒ セっこうボード、その他ボード面	・ A種 ☒ B種																																				
☒ 4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) (表7.4.3)～ (表7.4.5)	錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ☒ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ☒ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種																																				
5 合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.5.3～7.5.4) (表7.5.1)～ (表7.5.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ （ ） <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>下地</th><th>種類</th></tr> <tr> <td></td><td>・ 木部</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 鉄鋼面</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	下地	種類		・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種		・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種		・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																								
種類	下地	種類																																			
	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種																																			
	・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																			
	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																			
6 クリヤラッカー塗り(OL) (7.6.2) (表7.6.1)	種類 木部 ・ A種 ・ B種																																				

7

アクリル樹脂系
非水分散形塗料
(NAD)

(7.7.2)
(表7.7.1)

8

耐候性塗料塗り
(DP)

(7.8.2)~
(7.8.4)
(表7.8.1)~
(表7.8.3)

9

つや有合成樹脂
エマルジョンペ
イント塗り
(EP-G)

(7.9.2)~(7.9.5)
(表7.9.1)~
(表7.9.4)

10

合成樹脂エマ
ルジョンペイ
ント塗り (EP)

(7.10.2)
(表7.10.1)

11

ウレタン樹脂
ワニス塗り
(UC)

(7.11.2)
(表7.11.1)

12

ステイン塗り
(OS)

(7.12.2)
(表7.12.1)

13

木材保護塗料
塗り (WP)

(7.13.2)
(表7.13.1)

種別

・ A種

・ B種

上塗り等級

1級 (フッ素系)

・ 2級 (シリコン系)

・ 3級 (ポリウレタン系)

下地	種別
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

種別

下地	種別
コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種
木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種

種別

・ A種

・ B種

・ C種

しめ止め

・ ()

種別

・ A種

・ B種

工程1の着色

適用する

・ 適用しない

種類

・ ビグメントステイン塗り

・ オイルステイン塗り

オイルステイン塗りの工程、塗料

・ ()

種別

・ A種

・ B種

8

の1

耐震改修工事
共通事項

8

の1

適用範囲

(8.1.1)
(8.1.2)

工事内容

・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事

・ 鉄骨ブレースの設置工事

・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)

・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)

・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法)

・ 耐震スリット新設工事

・ 免震改修・制振改修工事

工事種別

鉄筋工事

あと施工アンカー工事

コンクリート工事

鉄骨工事

グラウト工事

連続繊維補強工事

スリット新設工事

免震改修、制振改修工事

土工事及び地業工事

8

の2

耐震改修工事
撤去工事

1

既存部分の撤去等

(8.21.2)

撤去の範囲

・ 図示 (図面番号:)

・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分

既存コンクリート撤去範囲に面する部分

・ ()

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置

本工事の範囲

・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分

・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。

・ ()

撤去範囲

・ 図示

既存構造体の撤去

撤去範囲

・ 図示 (図面番号:)

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

はつりだした鉄筋の処置

・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。

・ ()

はつりだした鉄骨の処置

・ 発泡スチロール等で養生する。

・ ()

2

既存構造体の撤去

(8.21.2)
(8.22.2)
(8.23.2)
(8.24.4)

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切斷

鉄筋の切斷	範囲	適用
・ 既存鉄筋は切斷せず残す	・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし	
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長を残し切斷する	・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし	
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切斷する	・ 切斷せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ (全ての撤去部分)	

はつりだした鉄筋の処置

・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。

・ ()

はつりだした鉄骨の処置

・ 発泡スチロール等で養生する。

・ ()

8

の3

耐震改修工事
鉄筋工事

1

鉄筋

(8.2.1)
(表8.2.1)

2

溶接金網

(8.2.2)

3

加工

(8.3.2)

4

鉄筋の継手及び
定着

(8.3.4)

5

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(8.3.5)
(表8.3.6)

6

各部配筋

(8.3.8)

7

ガス圧接

(8.3.8)

8

割製補強筋

(8.21.6)
(8.22.7)

9

鉄筋の機械式継手及び溶接継手

(8.4.2)
(8.4.3)

10

コンクリートの打込み工法等

(8.21.8)
(8.23.5)

11

増設壁工事後の仕上げ

(8.21.10)
(8.23.7)

(既存部分の処理)

3

既存構造体コン
クリート面の
目荒らし

(8.21.3)
(8.22.3)
(8.23.3)

既存構造体コンクリート面の目荒らし

目荒らし程度

・ 平均深さ2~5mmで最大深さ5~7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように施す。

・ 図示 (図面番号:)

材料 改修標準仕様書 (表8.2.1)による

種別	径 (mm)
・ SD295	D16以下
・ SD345	D19以上D25以下
・ SD390	
・ ()	

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)

90°未満の折曲げの内法直径

・ 図示 (図面番号:)

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

・ 改修標準仕様書 (8.3.4) (3) (7)による

・ 図示 (図面番号:)

継手位置

・ 各部配筋参考図による

・ 図示 (図面番号:)

先組み工法等

・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ

・ 改修標準仕様書 (表8.3.4)による

・ (表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法

・ 図示 (図面番号:)

機械式定着工法

適用箇所 ()

種類 ()

帯筋組立の形、継手及び定着

・ 図示 (図面番号:)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

・ () mm

・ 図示 (図面番号: AEV-16)

圧接完了後の試験

超音波探傷試験

・ 行う

・ 行わない

割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼	・ R235	・ 6Φ ・ 9Φ	スパイラルの径 (mm) ()	・ 図示 (図面番号:)
・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	スパイラルのピッチ (mm) ()	
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼 (異形鉄筋)	・ 295	・ 10	壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	

・ 機械式継手

種類 ()

性能 ()

施工完了後の継手部の試験 ()

不合格となった継手部への措置等 ()

・ 溶接継手

工法 ()

性能 ()

溶接完了後の溶接部の試験 ()

不合格となった溶接部への措置等 ()

コンクリートの種類

・ I類

・ II類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位 容積質量	スランプ
・ 24+S	躯体コンクリート	・ 3t/m ³ 程度	18
・ (21)	土間コンクリート		18
・ (18)	捨てコンクリート		15

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	種類	適用箇所	気乾単位 容積質量	スランプ
・ 36	・ 1種 ・ 2種			
・ ()				

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類

・ A種

・ B種

・ C種

コンクリートの仕上りの平たんさ

・ a種

・ b種

・ c種

(コンクリート)

3

コンクリートの
材料

(8.2.5)
(表8.2.3)

セメントの種類

・ 普通ポルトランドセメント

・ 高炉セメントA種

・ シリカセメントA種

・ フライアッシュセメントA種

・ ()

・ 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種

適用箇所 ()

骨材

アルカリシリカ反応性による区分

・ AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制)

・ A (安全と認められる骨材を使用)

なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回／6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。

・ 特殊な骨材の使用

・ フェロニッケルスラグ細骨材

・ 銅スラグ細骨材

・ 電気炉酸化スラグ骨材

・ 再生骨材H (普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)

・ 混和剤

混和剤の種類

・ 改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (a)による

・ 図示 (図面番号:)

・ 混和材

混和材の種類

・ 改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (b)による

・ 図示 (図面番号:)

構造体強度補正值 (S)

・ 3N/mm²

・ 6N/mm²

・ (改修標準仕様書表8.2.4による)

・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ()

材料

・ 複合合板 (厚さ 12mm

・ ())

スリーブ

・ 材種 ()

規格 ()

型枠

型枠存置期間及び取外し

・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ()

構造体強度補正值 (S)

・ 6N/mm²

・ ()

コンクリートの種類

・ 普通コンクリート

・ ()

設計基準強度

・ 18N/mm²

・ ()

スランプ

・ 15cm

・ 18cm

・ ()

部別別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・ 打込みコンクリート又はグラウト材の厚さ	・ 図示 (図面番号:) ・ 60mm

・ 図示 (図面番号:)

■memo

■check

client
architect
contractor

■scale

■drawing title

改修特記仕様書5

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

■drawing no.

■sheet no.

A-05
原図: A2

8
の
5
耐震改修工事
あと施工アンカー工事

(あと施工アンカー)

①あと施工アンカーの材料
(8.2.4)
(表8.2.2)

②あと施工アンカーの施工
(8.12.4)
(8.12.6)
(8.12.7)

場所打ちコンクリート壁の増設工事

3シアコネクター

種類

○金属系 セットの方式 ○本体打込み式 (・改良型 ・従来型)
径及び埋込み長さ ・図示 (図面番号:)
引張耐力 ・図示 (図面番号:)
せん断耐力 ・図示 (図面番号:)
接合筋の種類・径・長さ ○図示 (図面番号:)

・接着系 アンカーの種類 ・カプセル型回転・打撃式 ・ ()
・接着剤の品質 ・有機系 ・無機系
径及び埋込み長さ ・図示 (図面番号:)
引張耐力 ・図示 (図面番号:)
せん断耐力 ・図示 (図面番号:)
アンカー筋の種類 ・図示 (図面番号:)
アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・図示 (図面番号:)
あと施工アンカーの性能確認試験 ・行う ・行わない

穿孔

埋込み配管等の探索の方法
・鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
・はつり出しによる。
・ ()

あと施工アンカーの施工確認試験 ・実施する ○実施しない
試験方法 ・引張試験機による引張試験 ・ ()
1ロットの単位 ・ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ ()
試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本 (無作為) ・ ()
確認強度 ・ ()

場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ

種類 ・金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
径 [mm] ・D10
長さ [mm] ・増打壁厚 - 40 ・ ()
形込み深さ [mm] ・5d (d: シアコネクタの径) 以上 ・ ()
間隔 [mm] ・500×500

シアコネクタとセパレーターの兼用 ・兼用してもよい ・兼用しない ・ ()

8
の
6
耐震改修工事
鉄骨工事

1鉄骨製作工場
(8.1.5)

2鉄骨製作工場における施工管理技術者
(8.1.6)

3鋼材
(8.2.8)

4高力ボルト
(8.2.9)
(8.14.2)
(8.14.7)

5溶接材料
(8.2.10)

6仮組
(8.13.10)

7溶接作業を行う技能資格者
(8.15.3)

8溶接の準備
(8.15.4)

9溶接施工
(8.15.7)

10溶接部の試験
(8.15.12)

㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・J ・R ・M ・H ・S

施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の配置
・しない ・する

種類・形状及び寸法 ・図示 (図面番号:)

高力ボルトの適用
・トルシア形高力ボルト2種 (S10T)
・JIS形高力ボルト2種 (F10T)
・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)

ねじの呼び
・図示 (図面番号:)

すべり試験
・行う (試験方法等 図示: 図面番号)

JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量
・ ()

・改修標準仕様書 (8.2.10) (1) (2) 以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・図示 (図面番号:)

仮組の実施
・実施する () 実施しない

溶接作業における技能資格者の技量付加試験
・実施する () ・実施しない

開先の形状 ・図示 (図面番号:)

鋼製エンドタブの切断 ・適用箇所 図示 (図面番号:)
切断面の仕上げ ・ ()
鋼製エンドタブに代わるその他の工法
鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。
1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。
2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習修了者 (溶接技能者・A級以上) 又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者としてこと。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者としてこと。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:)

スラップの形状 ・図示 (図面番号:)

溶接部の外観試験 ・試験方法 () ・確認方法 ()

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

工場溶接の場合
・全数試験とする
・公共建築工事標準仕様書 (令和4年版) (7.6.12) (イ) による。
平均出検査品質限界 (AOQL) ・4.0% ・2.5% ・ ()
検査水準 ・第6水準 ・ ()
ロットの構成 ()

工事現場溶接の場合
・全数試験とする
・公共建築工事標準仕様書 (令和4年版) (7.6.12) (イ) による。
平均出検査品質限界 (AOQL) ・4.0% ・ ()

⑧
の
7
耐震改修工事
グラウト工事

1.1鉄骨の錆止め塗装
(8.17.2)
(8.17.4)

1.2耐火被覆材の種類及び性能
(8.18.2)
(8.18.3)

1.3ブレース設置工事後の仕上げ
(8.22.9)

1.4スタッド
(8.2.11)

(グラウト工事)

①モルタル及びグラウト材
(8.2.6)
(8.2.12)
(表8.2.5)
(表8.2.10)

②無収縮モルタル
改修標準仕様書 (8.2.12) (1) による
・ ()

グラウト材
改修標準仕様書 (8.2.12) (2) による。

増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

部位	処理方法	備考
増設壁の上部	グラウト材を注入 ・ ()	寸法は図示による
・ ()	・ ()	・ ()

8
の
8
耐震改修工事
柱補強工事

(連続繊維補強工事)

1連続繊維シート等による工法
(8.24.1)

2連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料
(8.2.13)

3連続繊維シートの施工準備

4鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法
(8.23.6)

5耐震補強後の仕上げ
(8.23.7)
(8.24.7)

6炭素繊維シートの施工

7連続繊維補強材の強度試験
(8.24.6)

連続繊維による補強、補修工法
・ (財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。
・ ()

連続繊維の材料
・ ()
工法
・ ()
引張強度 (含浸硬化後)
・ ()
ヤング係数 (含浸硬化後)
・ ()

仕上げモルタルの除去
・既存構造躯体面まで除去する
・モルタル除去は行わない
・ ()
既存モルタルの圧縮強度測定
・行う ()
・行わない
ひび割れ部の改修工法
・樹脂注入工法
・Uカットシール材充填工法
・シール工法

柱頭柱脚の隙間寸法
・図示 (図面番号:)

・図示 (図面番号:)

炭素繊維の目付量
・図示 (図面番号:)
・200g/m²
・300g/m²
・ ()
炭素繊維シートの巻き数
・図示 (図面番号:)
・1巻き
・2巻き
・ ()
引張強度試験
・実施する (JIS A1191に準拠する) ・実施しない
試験数量 ()
付着強度試験
・実施する (JIS A6909に準拠する) ・実施しない
試験数量 ()

8
の
9
耐震補強工事
スリット新設工事
免震改修工事
制振改修工事

(耐震スリット新設工事)

1スリットの種類
(8.25.1)
(8.25.2)

2スリットの施工

3免震・制振改修
(8.26.1) ~
(8.27.9)

耐震スリットの種類及び形状
完全スリットの形状

	一般型	一面せん断型
記号	・図示 (図面番号:)	・図示 (図面番号:)
形状	・図示 (図面番号:) ・ ()	・図示 (図面番号:) ・ ()
幅W (mm)	・図示 (図面番号:)	・図示 (図面番号:)
既存鉄筋の処理	・既存鉄筋はつり出し ・切断してよい ・ ()	・切断してよい ・ ()

部分スリットの形状

	片側スリット	両面スリット
記号	・図示 (図面番号:)	・図示 (図面番号:)
形状	・図示 (図面番号:)	・図示 (図面番号:)
幅W (mm)	・図示 (図面番号:) ・ ()	・図示 (図面番号:) ・ ()
目地部の残存厚さts (mm)	・壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()	・壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()
既存鉄筋の処理	・存置する ・既存鉄筋はつり出し ・切断してよい ・ ()	・存置する ・切断してよい ・ ()

スリット部の配管等の調査

範囲 ・スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
・図示 (図面番号:)
・ ()

方法 ・鉄筋探知機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

スリットの逃げ位置

壁上端部 ・梁との接合部 ・ ()
壁の柱きわ部 ・柱の仕上げを逃けたきわ部 ・ ()
壁下端部 ・床仕上げ上部 ・床体上部 ・ ()

撤去部の補修
・図示 (図面番号:)

充填材
・耐火材 使用箇所 () 仕様 ()
・遮音材 使用箇所 () 仕様 ()

免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。

8
の
10
その他工事

1土工
(8.28.2)
(8.28.3)

2地業工事
(8.28.4)

既存杭の撤去
・図示 (図面番号:)
埋戻し及び盛土の材料及び工法
・A種 ・B種 ・C種 ・D種
建設発生土の処理
・処分地指定 処分地 ()
・処分地未定につき相互協議する。
暫定運搬距離 ・8km ・4km ・ ()

山留めの撤去
・撤去 (鋼矢板等の抜き跡の処理 ・直ちに砂で充填する ・ ())
・存置

杭の施工監理
杭工事特記仕様書による。
適用基準
本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日)
施工記録
受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料
共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。
保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験据
・試験杭 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。
・試験据 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。

杭の支持層
支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ・図示 (図面番号:) ・ ()
水平方向の位置ずれの精度
・ () mm以下

杭の載荷試験
試験方法 ・鉛直載荷 ・水平載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・図示 (図面番号:) 載荷荷重 (KN)
報告書 ・提出部数 2部

■memo

■check

client
architect
contractor

■scale

■drawing title

改修特記仕様書6

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

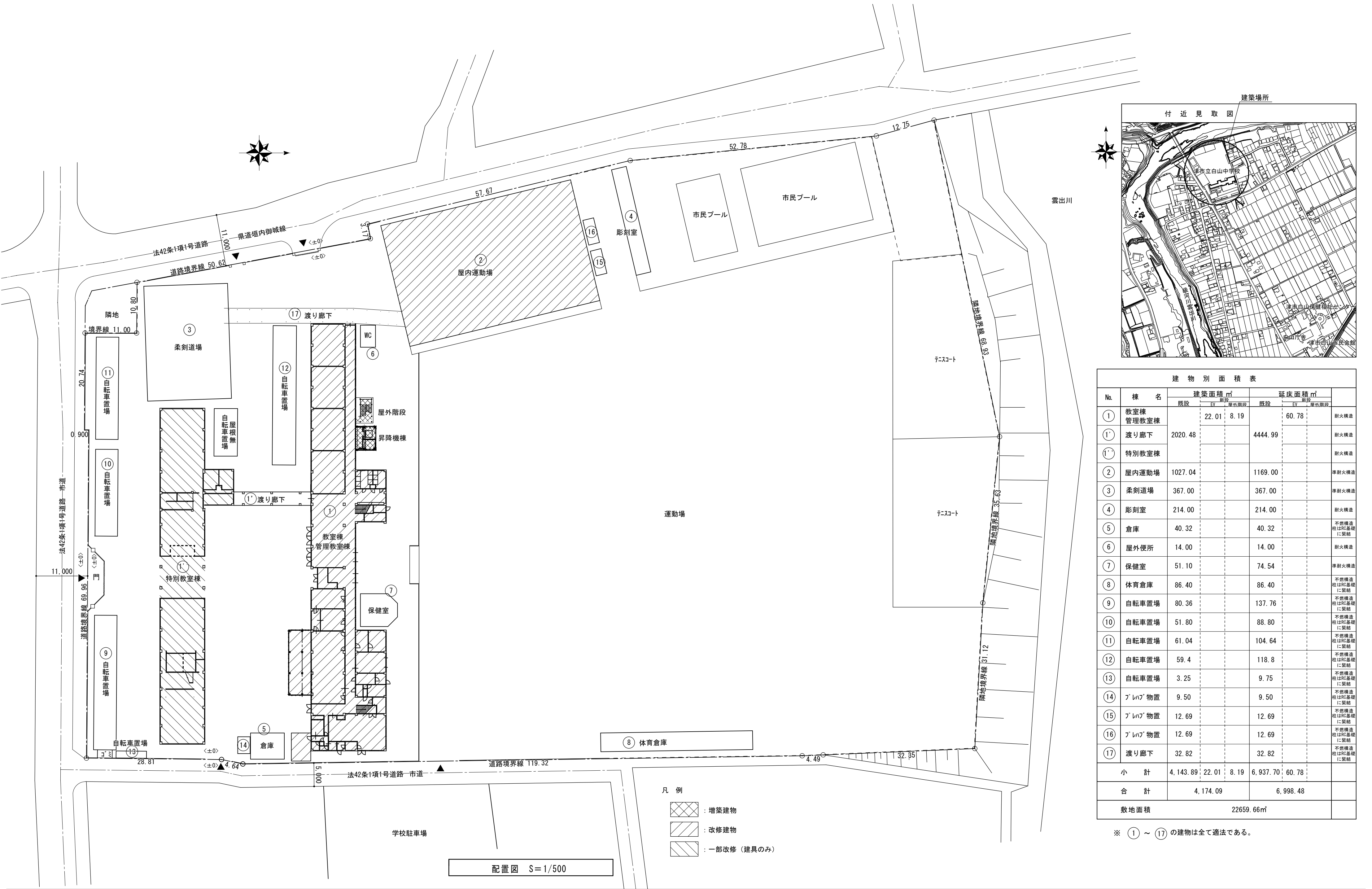
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-06
原図: A2



建 物 別 面 積 表							
No.	棟 名	建築面積㎡			延床面積㎡		
		既設	新設		既設	新設	
			EV	屋外階段		EV	屋外階段
①	教室棟		22.01	8.19		60.78	
	管理教室棟						耐火構造
①'	渡り廊下	2020.48			4444.99		耐火構造
①''	特別教室棟						耐火構造
②	屋内運動場	1027.04			1169.00		準耐火構造
③	柔剣道場	367.00			367.00		準耐火構造
④	彫刻室	214.00			214.00		耐火構造
⑤	倉庫	40.32			40.32		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑥	屋外便所	14.00			14.00		耐火構造
⑦	保健室	51.10			74.54		準耐火構造
⑧	体育倉庫	86.40			86.40		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑨	自転車置場	80.36			137.76		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑩	自転車置場	51.80			88.80		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑪	自転車置場	61.04			104.64		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑫	自転車置場	59.4			118.8		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑬	自転車置場	3.25			9.75		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑭	ﾌﾞﾚｲﾌﾞ物置	9.50			9.50		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑮	ﾌﾞﾚｲﾌﾞ物置	12.69			12.69		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑯	ﾌﾞﾚｲﾌﾞ物置	12.69			12.69		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
⑰	渡り廊下	32.82			32.82		不燃構造 柱はRC基礎 に架結
小 計		4,143.89	22.01	8.19	6,937.70	60.78	
合 計		4,174.09			6,998.48		
敷地面積		22659.66㎡					

※ ① ～ ⑰ の建物は全て適法である。

外部仕上表							
屋根（RF）	改修前	平部、立上共：塩ビシート防水 撤去			根廻り	改修前	巾木：モルタル金ゴテ押え
	改修後	平場：水洗いの上、下地調整（ポリマメントベスト）の上 ウレタン塗膜防水（X-1） 立上り：水洗い、下地調整（ポリマメントベスト）の上 ウレタン塗膜防水（X-2）				改修後	巾木：水洗い
軒裏	改修前	軒天：コンクリート下地 外装薄塗材E吹付			建具	改修前	アルミサッシ（一部撤去）
	改修後	軒天：高圧洗浄（30～50MPa）下地調整の上、外装薄塗材E吹付				改修後	アルミサッシ（一部新設）
外壁	改修前	外壁：可とう形改修塗材E塗 外壁：一部タイル貼			犬走り	改修前	モルタル金ゴテ押え
	改修後	外壁：高圧洗浄（30～50MPa）下地調整の上、複層塗材E吹付（タイル部を除く） 外壁：一部タイル貼水洗い				改修後	一部撤去、復旧
樋	改修前	縦樋：硬質塩ビ管100φ 撤去 集水器：撤去			その他	改修前	
	改修後	縦樋：硬質塩ビ管100φ 新設 集水器：新設				改修後	

内部仕上表 ※特記なき限り全て既設のまま									
階数	室名		床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1階	昇降口	改修前	300×100角タイル乱貼り ビニル床シート	モルタル金鍍押え VP塗	二丁掛タイル（柱型共）	天井：プラスチック EP塗、石膏ボード t 9目透し貼VP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁		
		改修後		EP塗替え	二丁掛タイル（柱型共）（既設のまま）	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	廊下	改修前	木製フローリングブロック 一部撤去	モルタル金鍍押え VP塗	壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：石膏ボード t 9 目透し貼 VP塗 一部撤去	塩ビ廻縁	2, 700	
		改修後	木製フローリングブロック 一部新設	EP塗替え	壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま			揭示タイル張替え
	普通教室（1-1）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	普通教室（学習室1）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	普通教室（1-2）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	小人数部屋（学習室7）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え
	階段室	改修前	塗床	モルタル金鍍押え VP塗	壁：プラスチック EP塗 柱型：プラスチック EP塗	上裏：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗		3, 165	
		改修後		EP塗替え	壁：プラスチック EP塗替え 柱型：プラスチック EP塗替え				
2階	廊下	改修前	木製フローリングブロック 一部撤去	モルタル金鍍押え VP塗	壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：石膏ボード t 9 目透し貼 VP塗 一部撤去	塩ビ廻縁	2, 700	
		改修後	木製フローリングブロック 一部新設	EP塗替え	壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：石膏ボード t 9. 5 目透し貼 EP塗 一部新設			揭示タイル張替え 防火戸片面EP-G塗替え（枠共）
	美術室	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	普通教室（2-1）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	普通教室（学習室2）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	普通教室（2-2）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	特別支援教室（5くみ）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え
	特別支援教室（4くみ）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え
	小人数教室（学習室6）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰、壁：石膏ボード t 12目透し貼EP塗塗替え 腰、壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰、壁：石膏ボード t 12目透し貼EP塗塗替え 腰、壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			
	特別支援教室（学習室10）	改修前	木製フローリング12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスチック EP塗、スチールパネーション 柱型：プラスチック EP塗	天井：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗	塩ビ廻縁	3, 165	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り（既設のまま） 壁：プラスチック EP塗替え、スチールパネーション（既設のまま） 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			揭示タイル張替え 耐震プラスチックφ244. 5 枠H250×250 EP-G塗替え
	階段室	改修前	塗床	モルタル金鍍押え VP塗	壁：プラスチック EP塗 柱型：プラスチック EP塗	上裏：プラスチック EP塗 梁型：プラスチック EP塗			
		改修後		EP塗替え	壁：プラスチック EP塗替え 柱型：プラスチック EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			

内部仕上表 ※特記なき限り全て既設のまま									
階数	室名		床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
3階	廊下	改修前	木製フローリングフロク 一部撤去	モルタル金鍍押え VP塗	壁：プラスター EP塗、スチールペーティション 柱型：プラスター EP塗	天井：石膏ボード t 9 目透し貼 VP塗 一部撤去	塩ビ廻縁	2,700	
		改修後	木製フローリングフロク 一部新設	EP塗替え	壁：プラスター EP塗替え、スチールペーティション(既設のまま) 柱型：プラスター EP塗塗替え	天井：石膏ボード t 9.5 目透し貼 EP塗 一部新設			掲示クロス張替え
	音楽室1	改修前	木製フロー12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰、壁：有孔しな合板OS塗 柱型：有孔しな合板OS塗	天井：有孔石膏ボード t 9 VP塗 一部撤去 梁型：プラスター EP塗	塩ビ廻縁	3,050	
		改修後		EP-G塗替え	腰、壁：有孔しな合板OS塗(既設のまま) 腰、壁：有孔しな合板OS塗(既設のまま)	天井：有孔石膏ボード t 9.5 EP塗 一部新設 梁型：既設のまま			掲示クロス張替え
	音楽室2	改修前	木製フロー12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰、壁：有孔しな合板OS塗 柱型：有孔しな合板OS塗	天井：有孔石膏ボード t 9 VP塗 梁型：プラスター EP塗	塩ビ廻縁	3,050	
		改修後		EP-G塗替え	腰、壁：有孔しな合板OS塗(既設のまま) 腰、壁：有孔しな合板OS塗(既設のまま)	天井：有孔石膏ボード t 9.5 EP塗 一部新設 梁型：既設のまま			掲示クロス張替え 耐震プレスφ244.5 枠H250×250 EP-G塗替え
	普通教室 (3-1)	改修前	木製フロー12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスター EP塗、スチールペーティション 柱型：プラスター EP塗	天井：石膏ボード t 9目透し貼 VP塗 梁型：プラスター EP塗	塩ビ廻縁	3,050	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り(既設のまま) 壁：プラスター EP塗替え、スチールペーティション(既設のまま) 柱型：プラスター EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			掲示クロス張替え
	普通教室 (学習室3)	改修前	木製フロー12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスター EP塗、スチールペーティション 柱型：プラスター EP塗	天井：石膏ボード t 9 目透し貼 VP塗 一部撤去 梁型：プラスター EP塗	塩ビ廻縁	3,050	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り(既設のまま) 壁：プラスター EP塗替え、スチールペーティション(既設のまま) 柱型：プラスター EP塗替え	天井：石膏ボード t 9.5 目透し貼 EP塗 一部新設 梁型：EP塗替え			掲示クロス張替え 耐震プレスφ244.5 枠H250×250 EP-G塗替え
	普通教室 (3-2)	改修前	木製フロー12mmウレタン塗装	木製巾木H100 EP塗	腰：木製縦羽目板張り 壁：プラスター EP塗、スチールペーティション 柱型：プラスター EP塗	天井：石膏ボード t 9目透し貼 VP塗 梁型：プラスター EP塗	塩ビ廻縁	3,050	
		改修後		EP-G塗替え	腰：木製縦羽目板張り(既設のまま) 壁：プラスター EP塗替え、スチールペーティション(既設のまま) 柱型：プラスター EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			掲示クロス張替え
	階段	改修前	塗床	モルタル金鍍押え VP塗	壁：プラスター EP塗 柱型：プラスター EP塗	上裏：プラスター EP塗 梁型：プラスター EP塗	塩ビ廻縁		
		改修後		EP塗替え	壁：プラスター EP塗替え 柱型：プラスター EP塗替え	天井：既設のまま 梁型：EP塗替え			
PH階	階段	改修前	塗床	モルタル金鍍押え VP塗	壁：プラスター EP塗 柱型：プラスター EP塗	上裏：プラスター EP塗 梁型：プラスター EP塗	塩ビ廻縁	3,000	
		改修後		EP塗替え	壁：プラスター EP塗替え 柱型：プラスター EP塗替え	天井：EP塗替え 梁型：EP塗替え			



memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1/200

drawing title
1階平面図

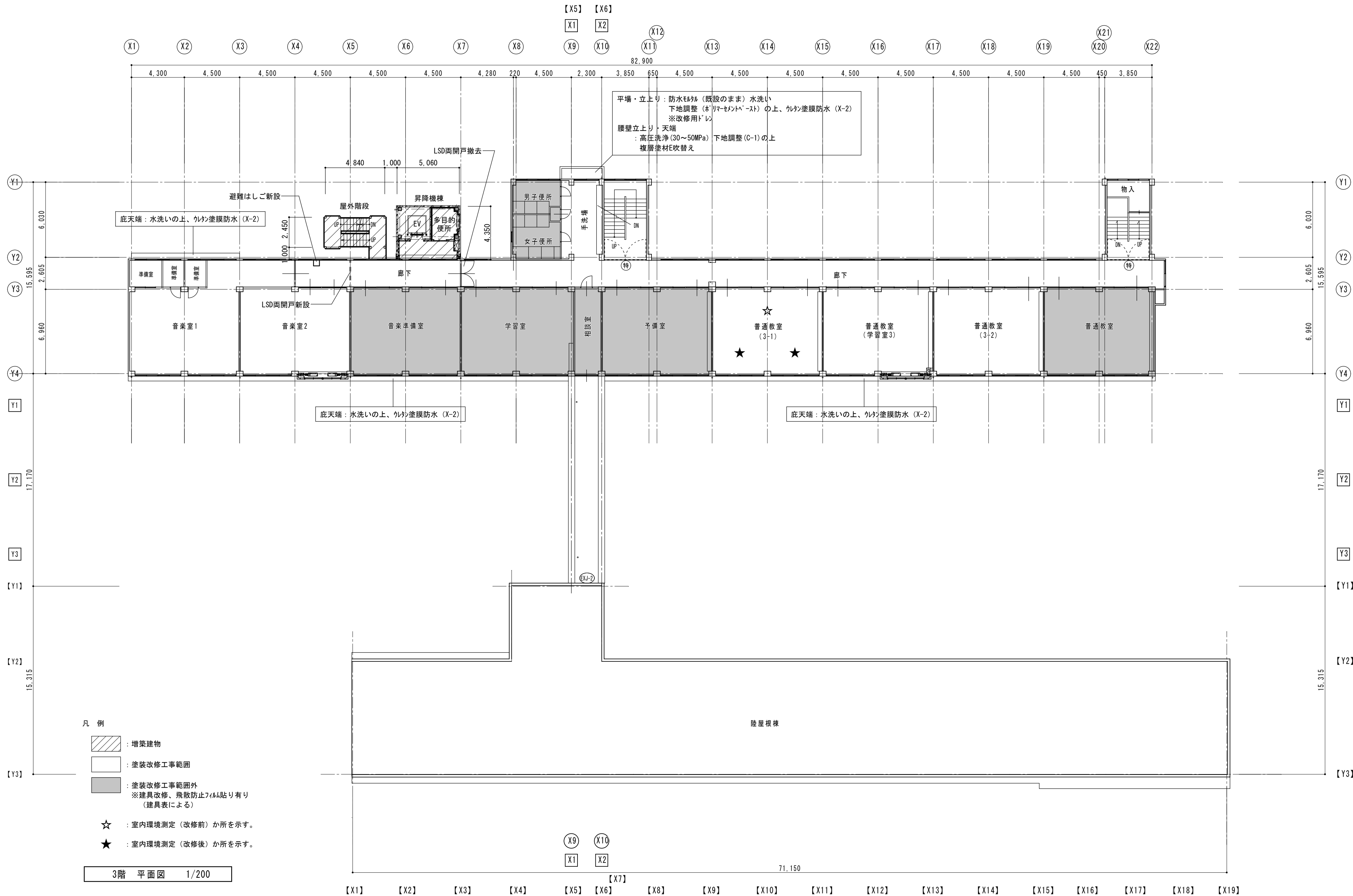
project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

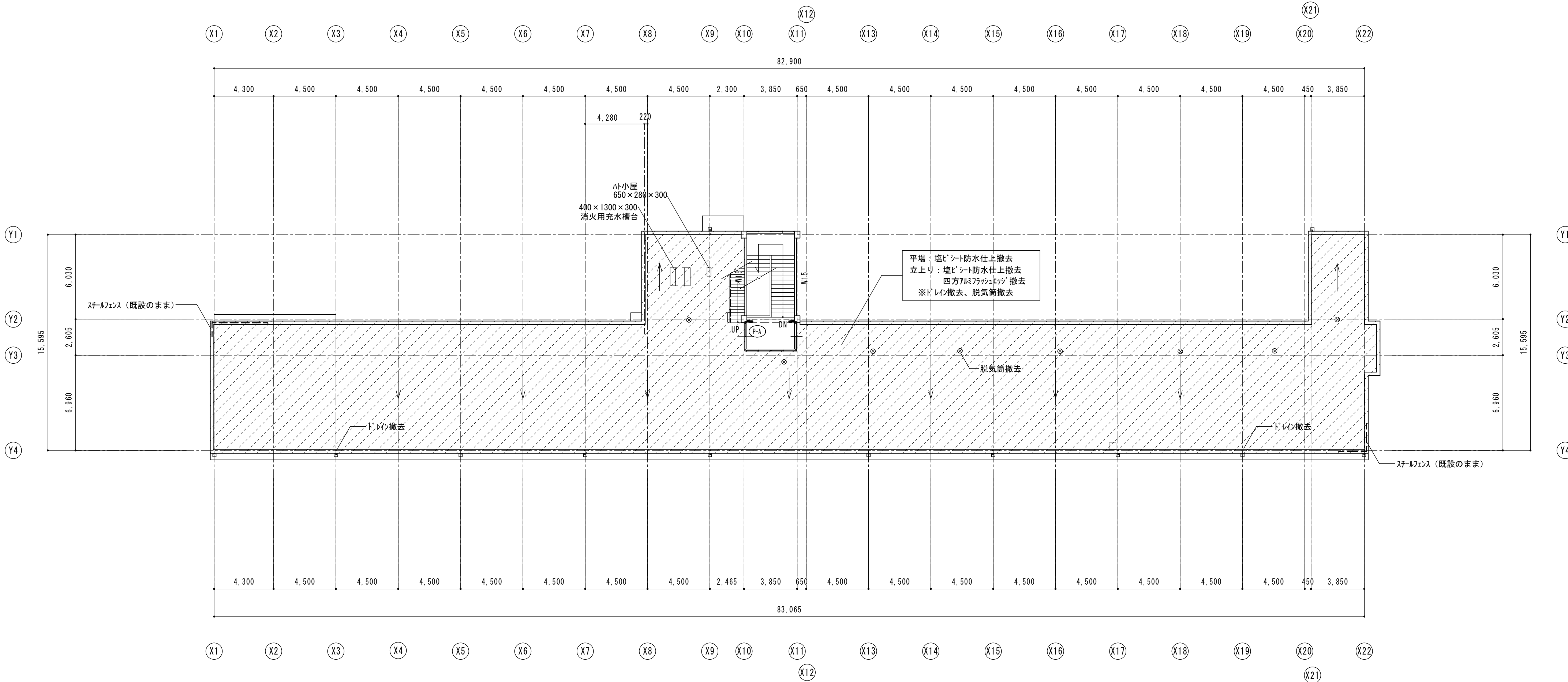
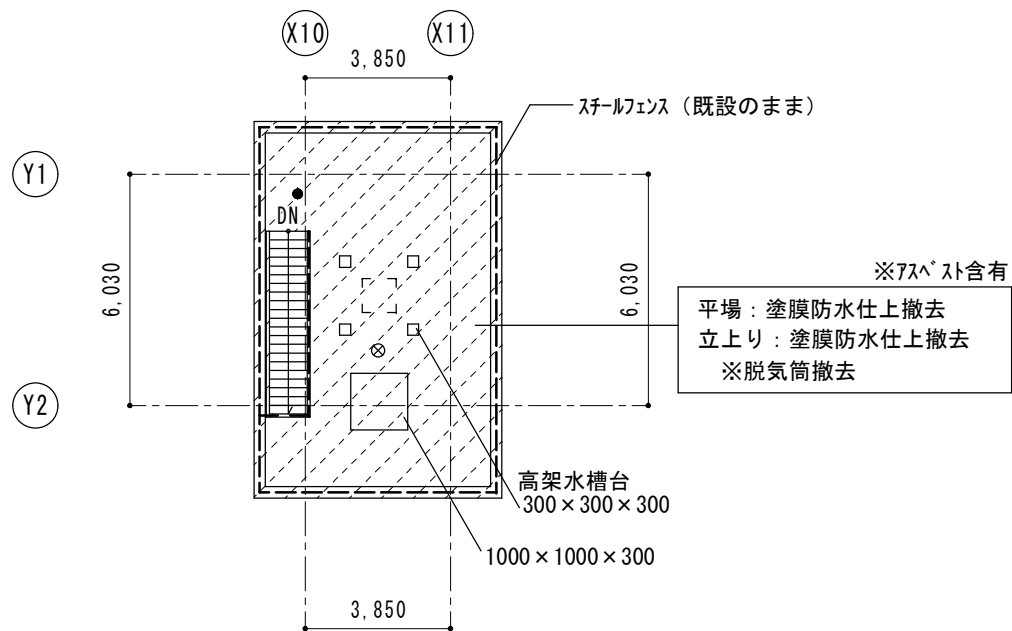
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.
A-10
原図: A2



PH階 屋根伏図 1/200



R階 平面図 1/200

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/200

■drawing title
R階平面図（改修前）

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

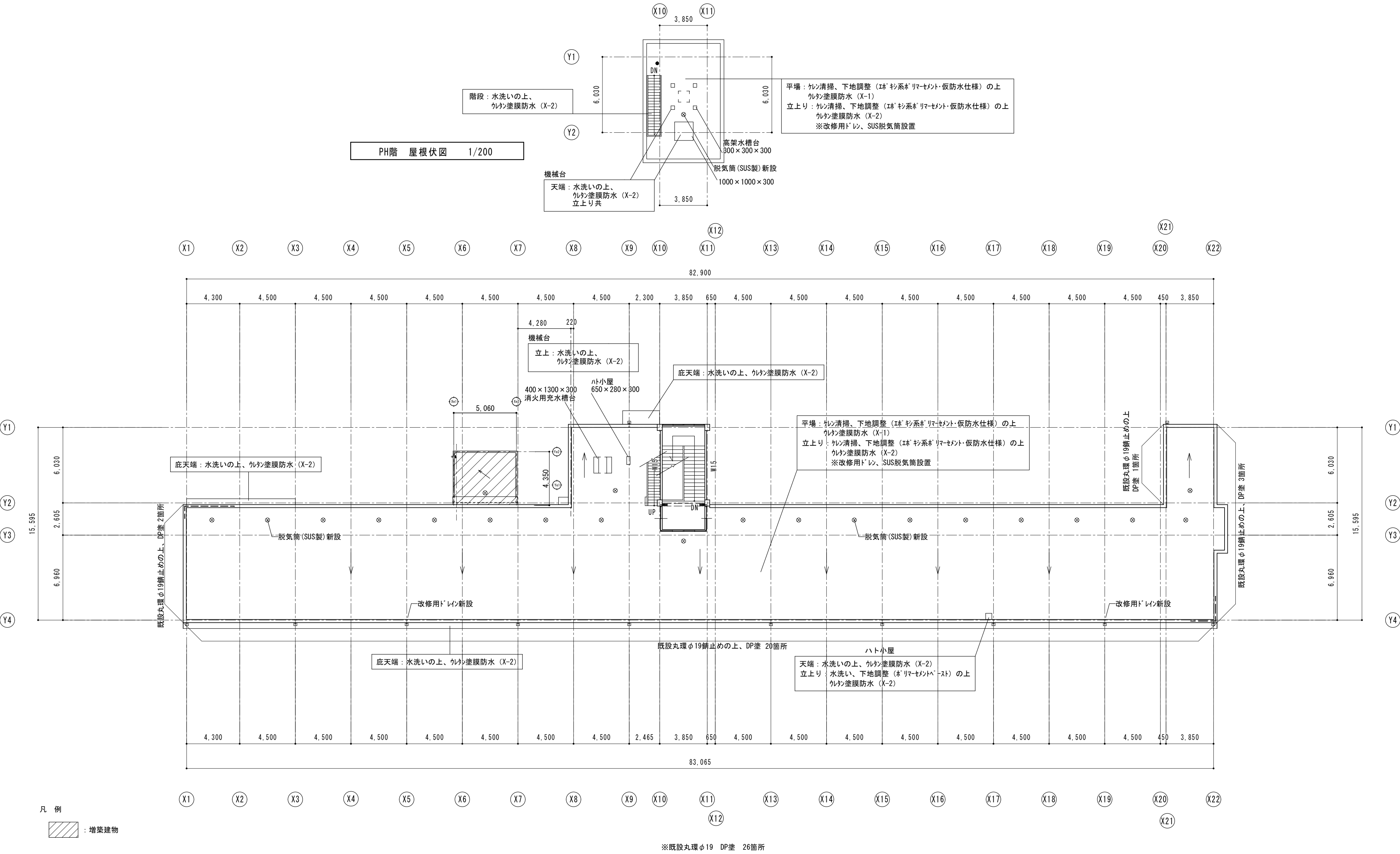
Kisho
Architectural
Design Office

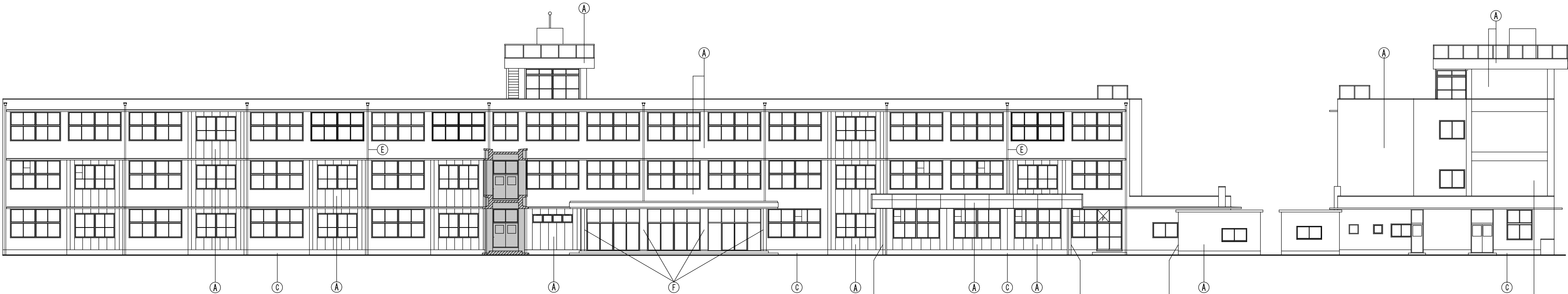
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-13
原図：A2



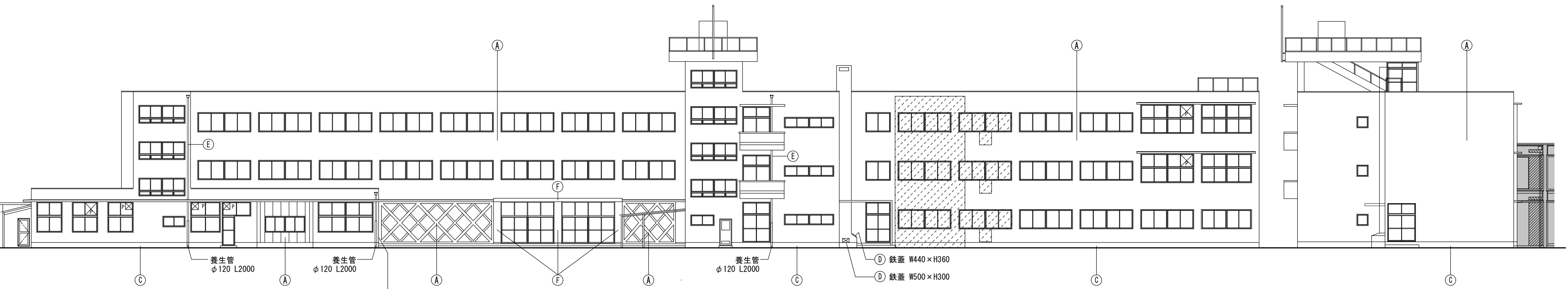
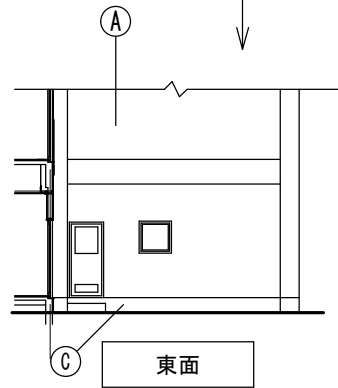
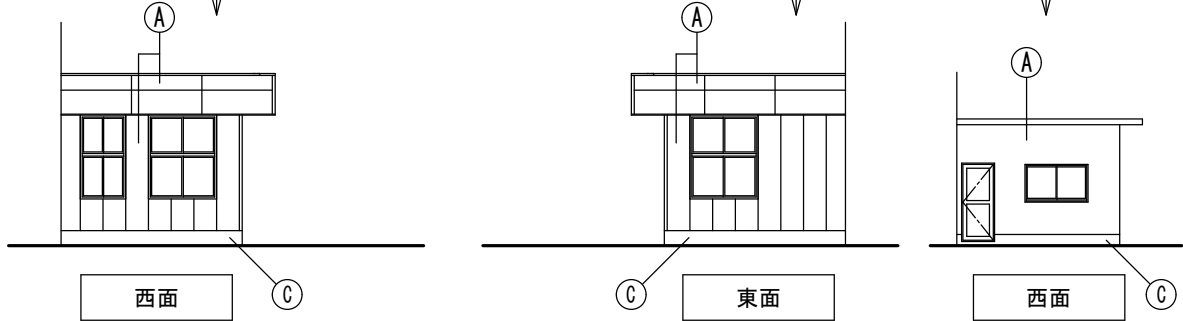


南立面図（管理棟）

東立面図（管理棟）

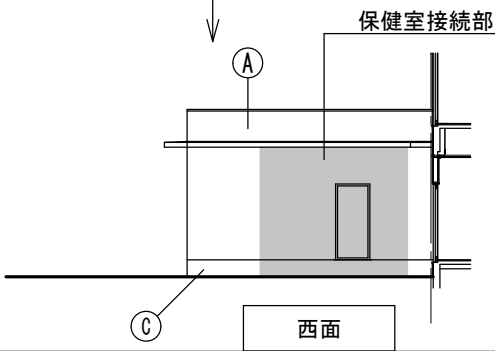
凡	例
符号	仕 様
A	外壁：高圧洗浄（30～50MPa）下地調整（C-1）の上、複層塗材E吹替え（ <i>タイル</i> 部を除く）
B	軒天：高圧洗浄（30～50MPa）下地調整（C-1）の上、外装薄塗材E吹替え
C	巾木：水洗い
D	鉄部：水洗い、下地調整（RB種）の上、DP塗替え
E	堅樋：硬質塩ビ管100φ 撤去新設 養生管：既設のまま
F	<i>タイル</i> ：水洗い
（注記）	・ 建具廻りのシーリング は撤去とし、再度シーリング（MS-2）を行う事。 ・ ALCN 継ぎョイント部のシーリング は撤去とし、再度シーリング（PU-2）を行う事。

凡 例
||||| 外壁ALC範囲
@600

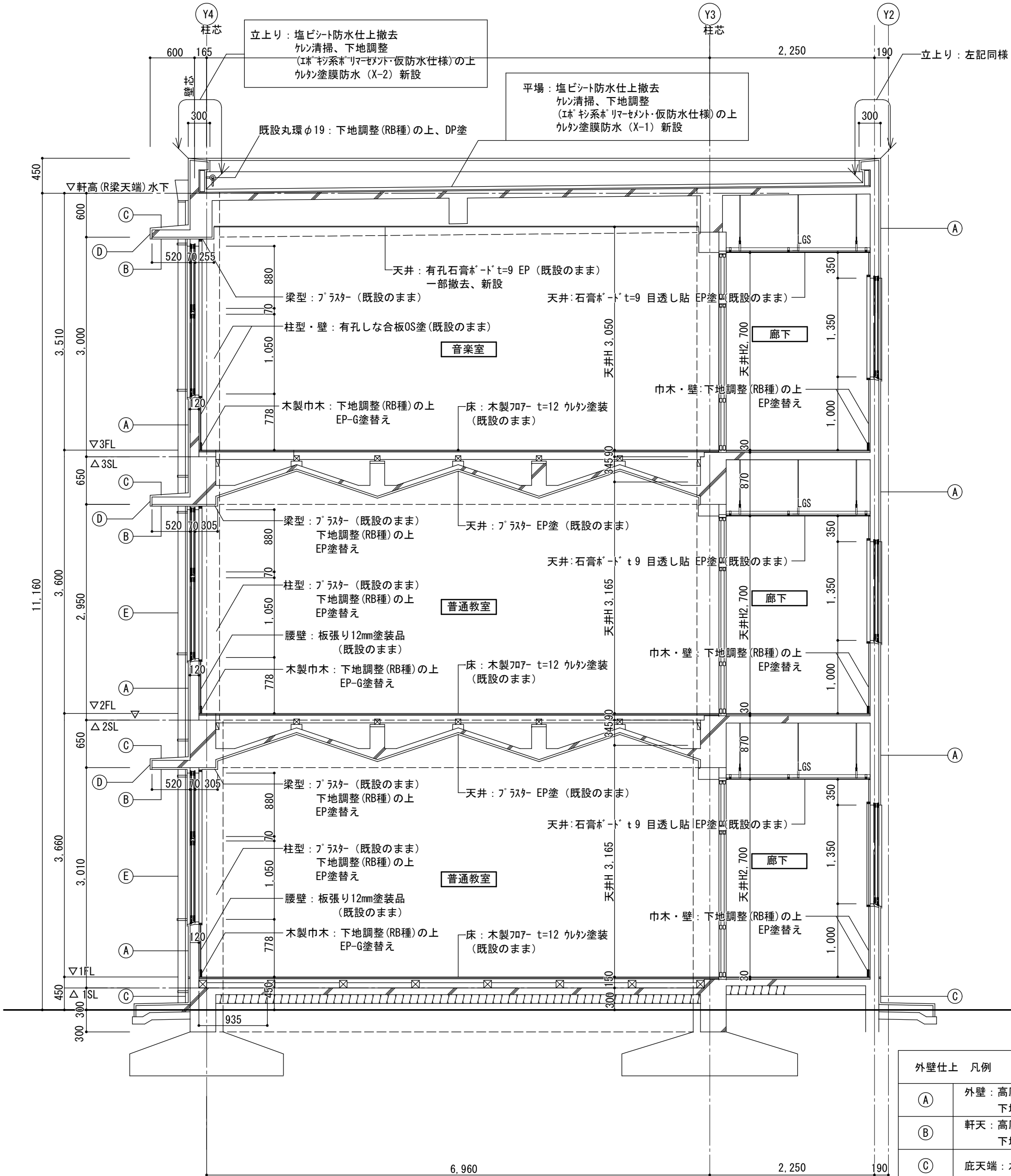


北立面図（管理棟）

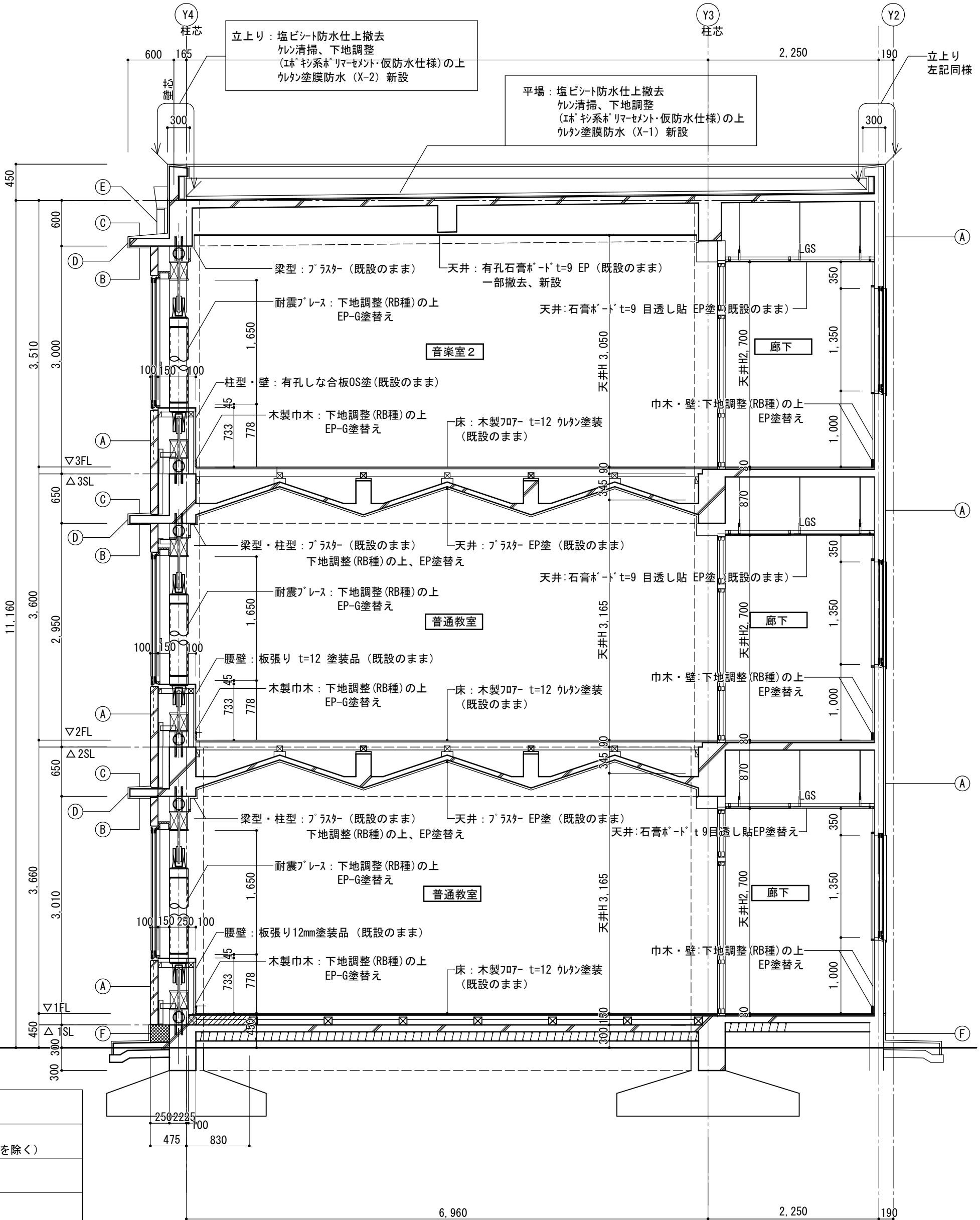
西立面図（管理棟）



：改修工事対象外範囲を示す。
※増築に伴う解体範囲



外壁仕上 凡例	
(A)	外壁：高圧洗浄(30～50MPa) 下地調整の上、複層塗材E吹付(ﾀｲﾙ部を除く)
(B)	軒天：高圧洗浄(30～50MPa) 下地調整の上、外装薄塗材E吹付
(C)	底天端：水洗いの上、ウレタン塗膜防水(X-2)
(D)	底見付：高圧洗浄(30～50MPa) 下地調整の上、複層塗材E吹付(ﾀｲﾙ部を除く)
(E)	縦樋：硬質塩ビ管100φ 撤去、新設
(F)	巾木：水洗い



断面詳細図(耐震補強部) 1/30

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1/50

drawing title
断面詳細図

project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

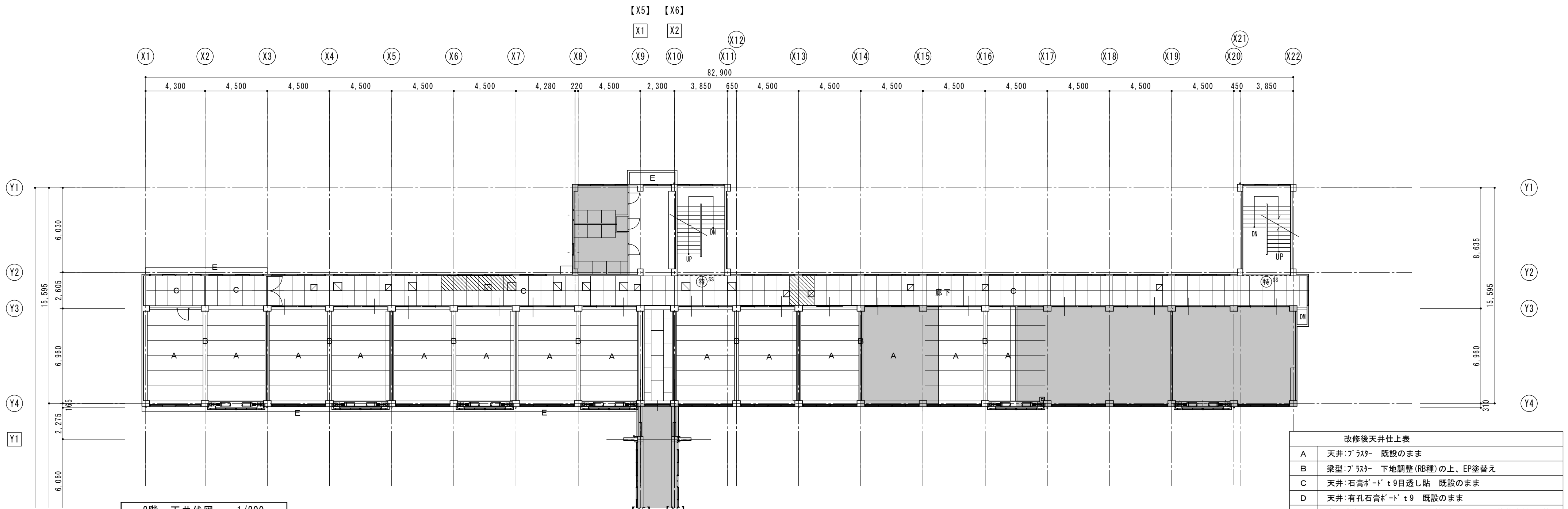
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

drawing no.

sheet no.

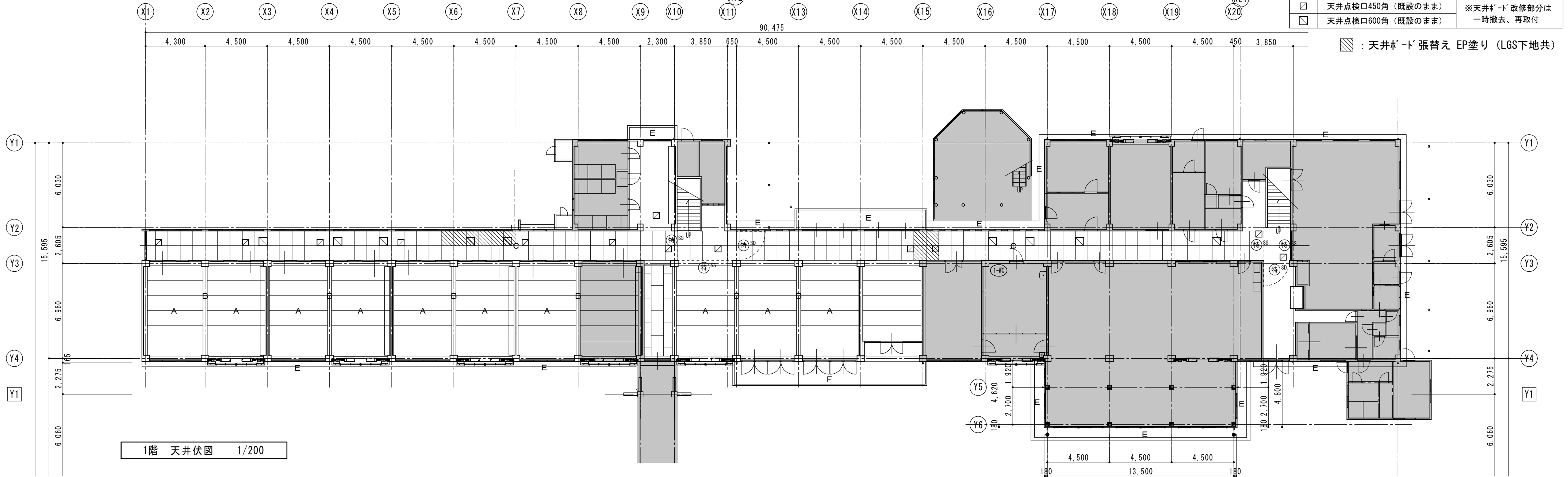
A-16

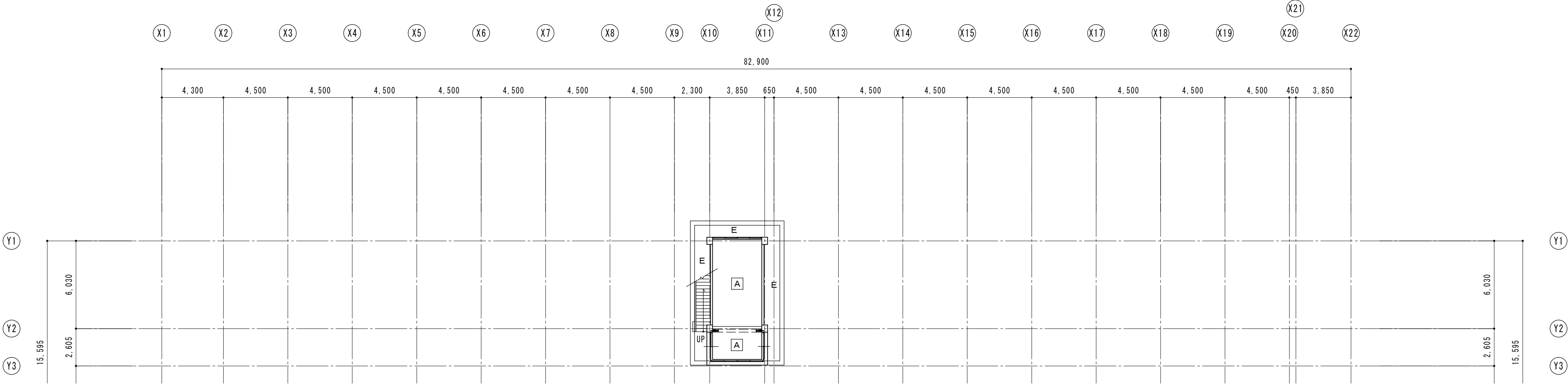
原図：A2



改修後天井仕上表		
A	天井:ﾌﾟﾗｽﾀｰ 既設のまま	
B	梁型:ﾌﾟﾗｽﾀｰ 下地調整(RB種)の上、EP塗替え	
C	天井:石膏ﾎｰﾄﾞ t9目透し貼 既設のまま	
D	天井:有孔石膏ﾎｰﾄﾞ t9 既設のまま	
E	高圧洗浄(30～50MPa) 下地調整(C-1)の上、外装薄塗材E吹替え	
F	高圧洗浄(30～50MPa) 下地調整(C-1)の上、複層塗材E吹替え	
☑	天井点検口450角(既設のまま)	※天井ﾎｰﾄﾞ改修部分は 一時撤去、再取付
☒	天井点検口600角(既設のまま)	

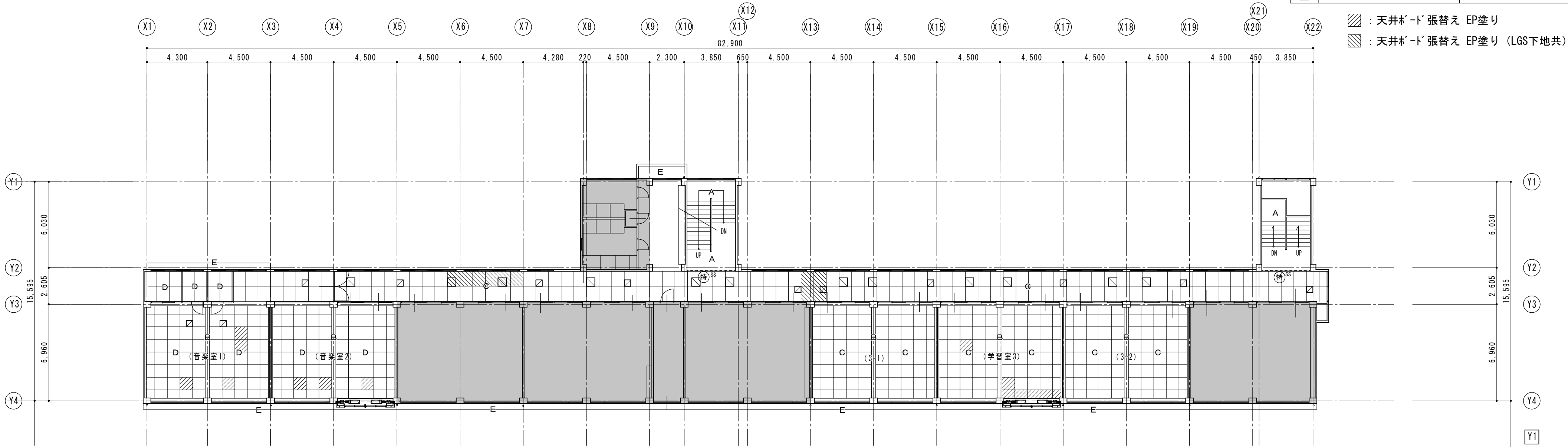
☒ : 天井ﾎｰﾄﾞ張替え EP塗り (LGS下地共)





R階 天井伏図 1/200

改修後天井仕上表		
A	天井: プラスター 既設のまま	
A	天井: プラスター 下地調整 (RB種) の上、EP塗替え	
B	梁型: プラスター 下地調整 (RB種) の上、EP塗替え (音楽室を除く)	
C	天井: 石膏ボード t9目透し貼 既設のまま	
D	天井: 有孔石膏ボード t9 既設のまま	
E	軒天: 高圧洗浄 (30~50MPa) 下地調整 (G-1) の上、外装薄塗材E吹替え	
☒	天井点検口450角 (既設のまま)	※天井ボード改修部分は 一時撤去、再取付
☒	天井点検口600角 (既設のまま)	

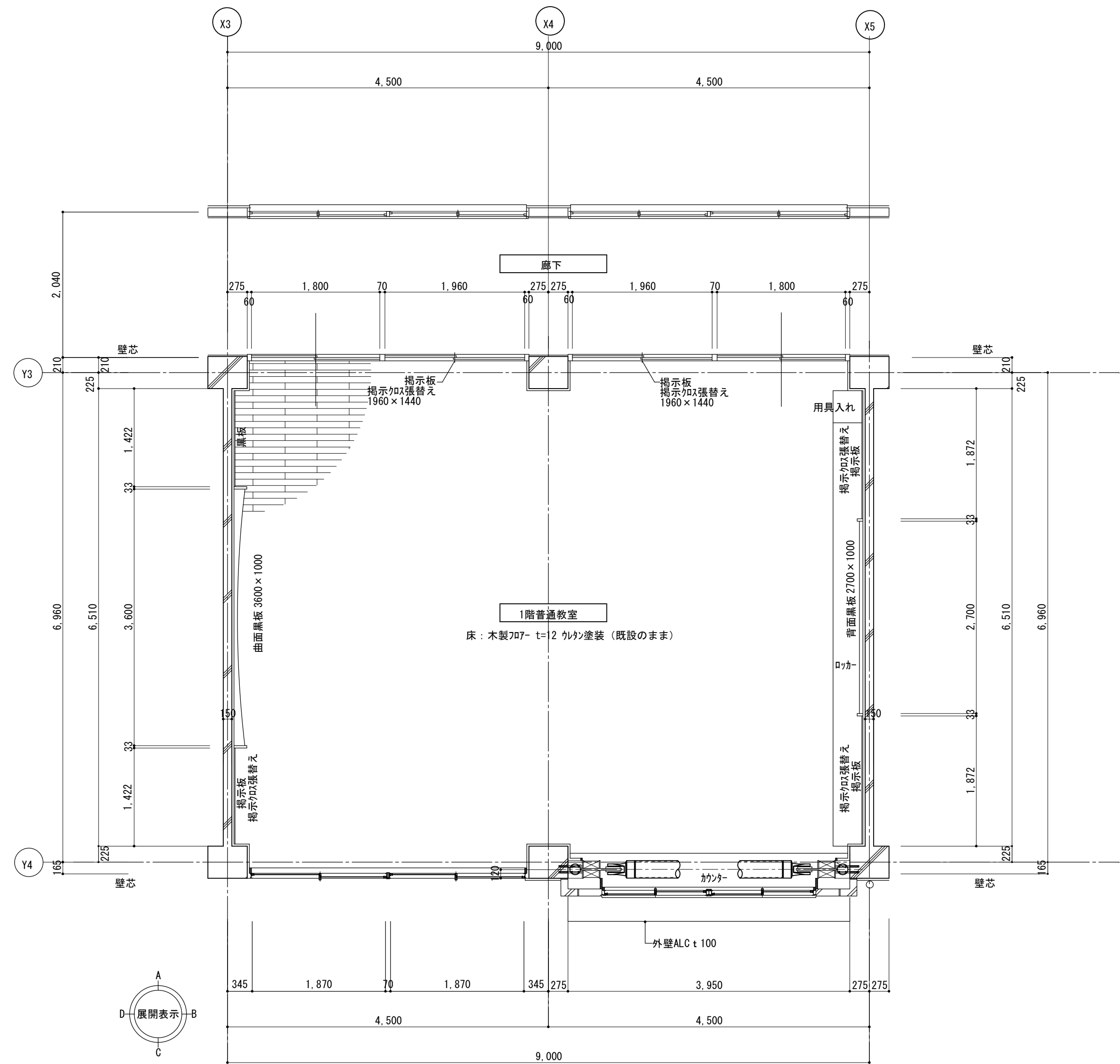


3階 天井伏図 1/200

天井ボード張替え EP塗り

天井ボード張替え EP塗り
天井ボード張替え EP塗り (LGS下地共)

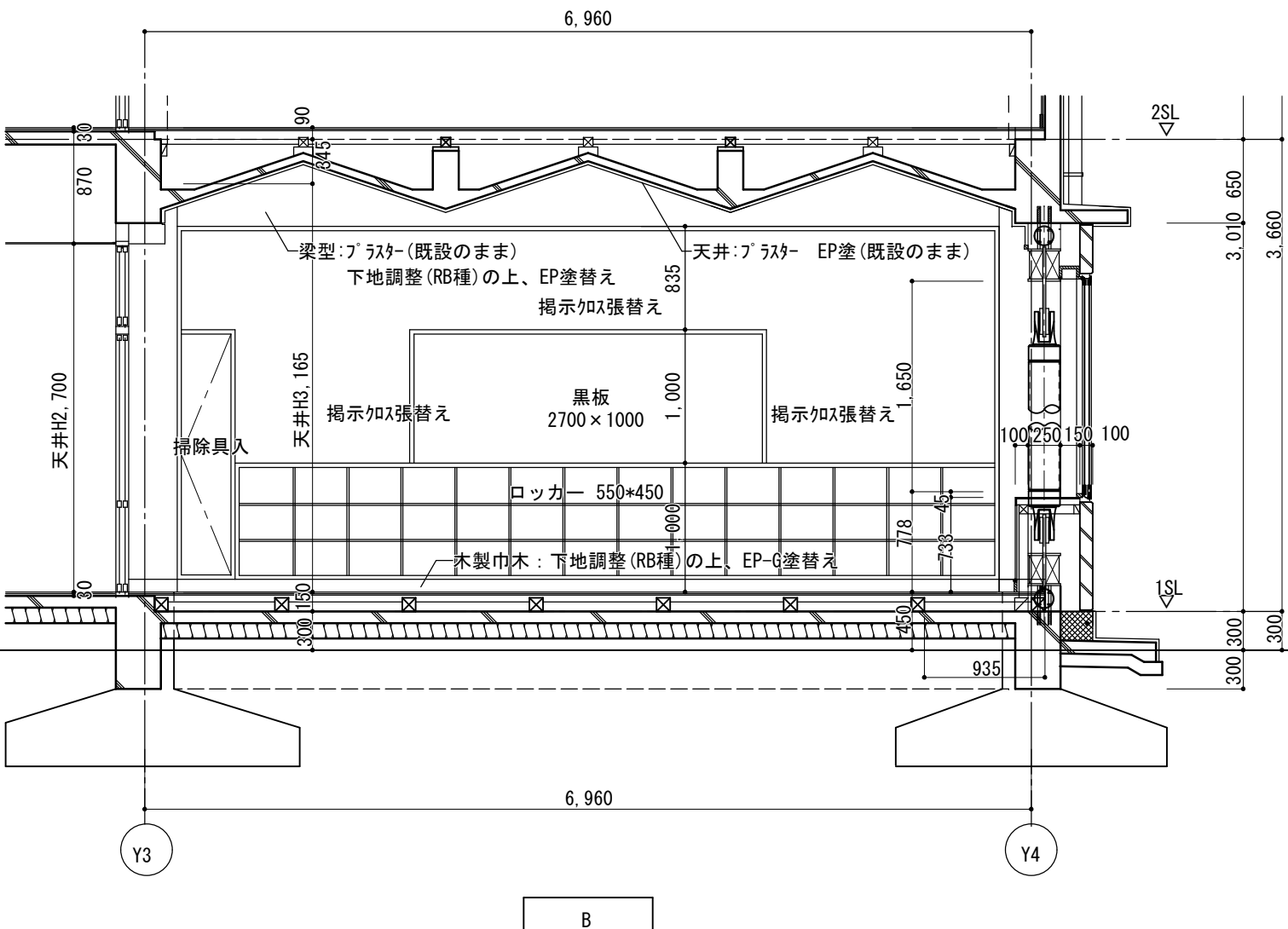
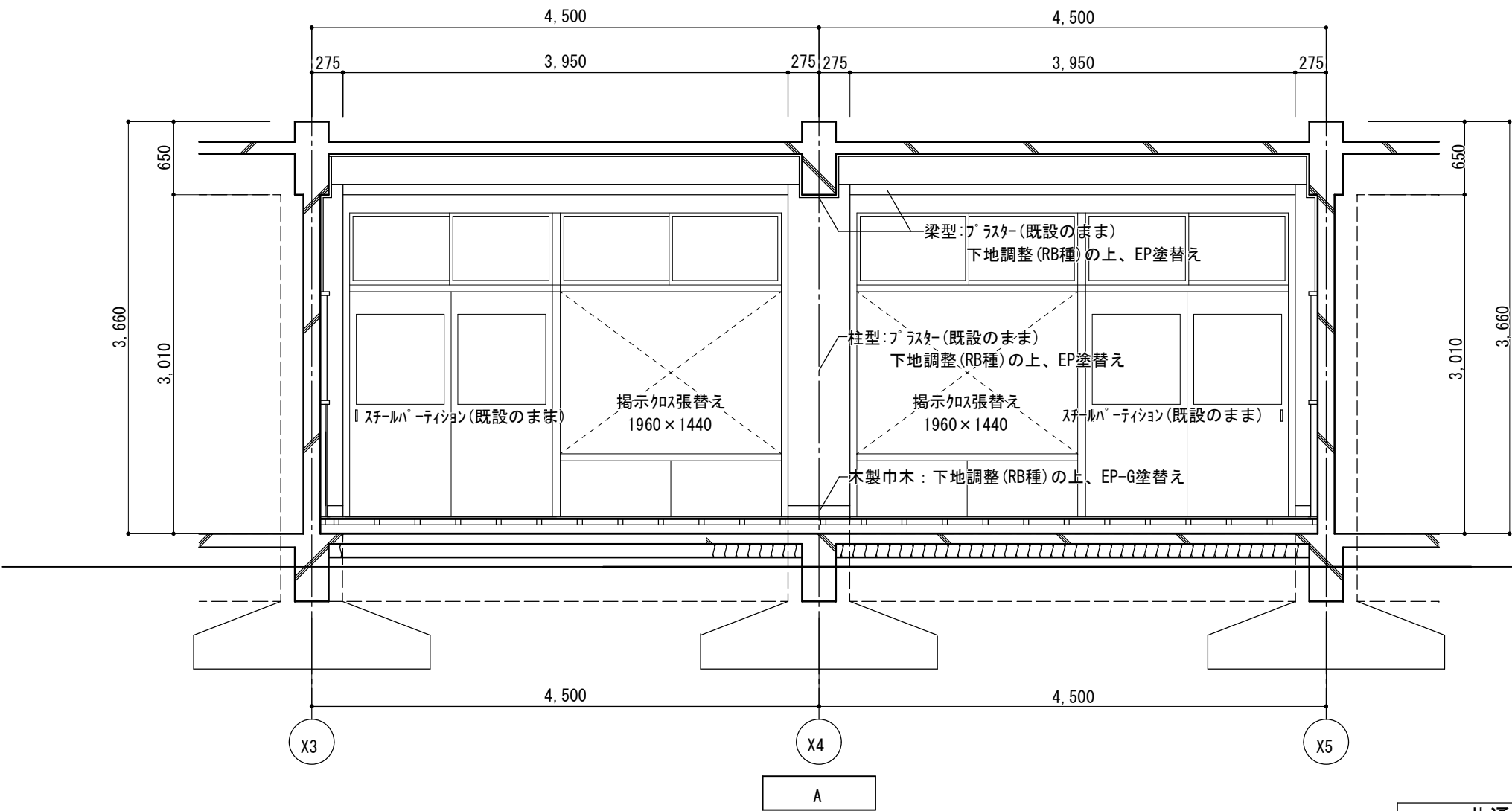
《1、2階 普通教室》



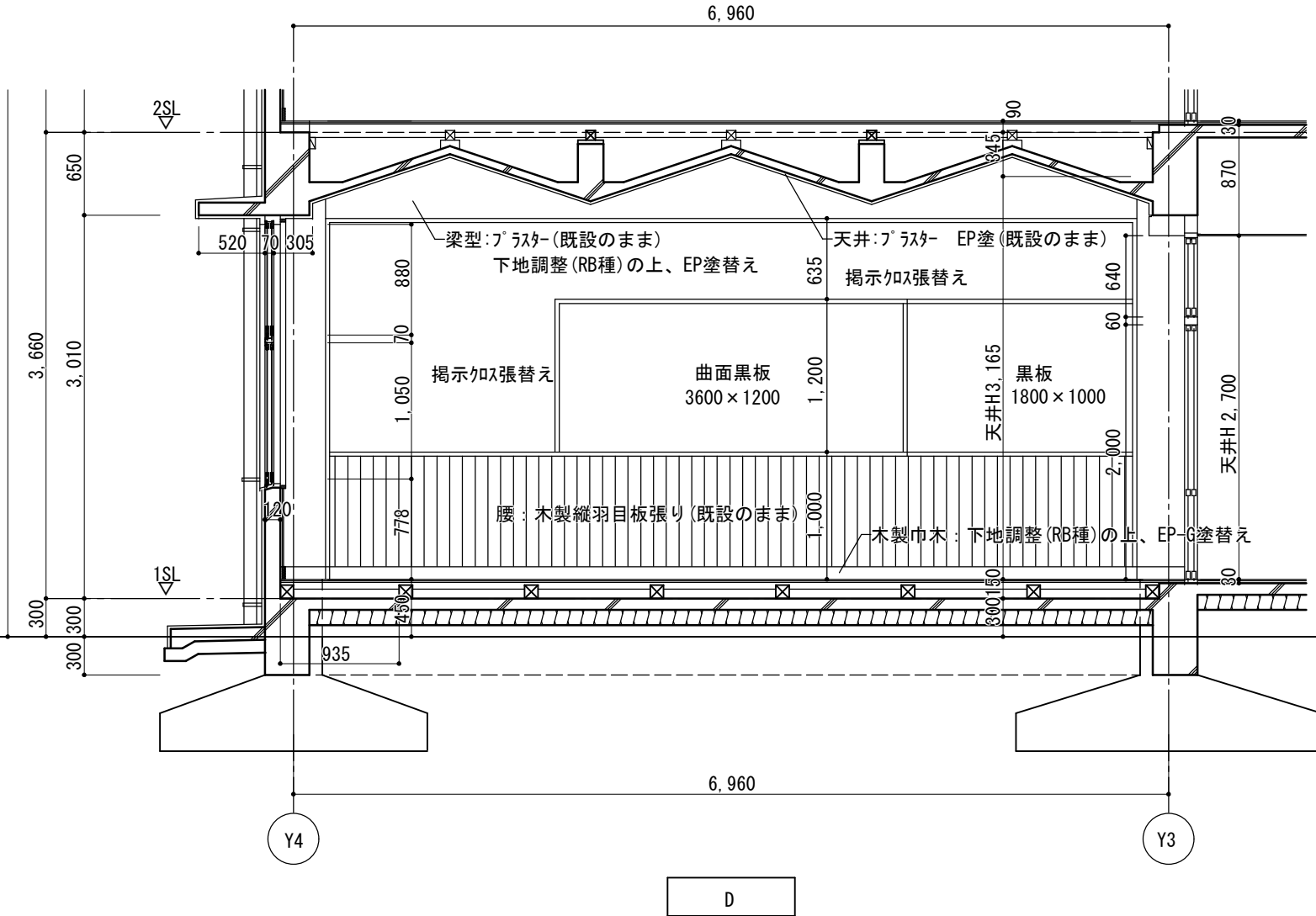
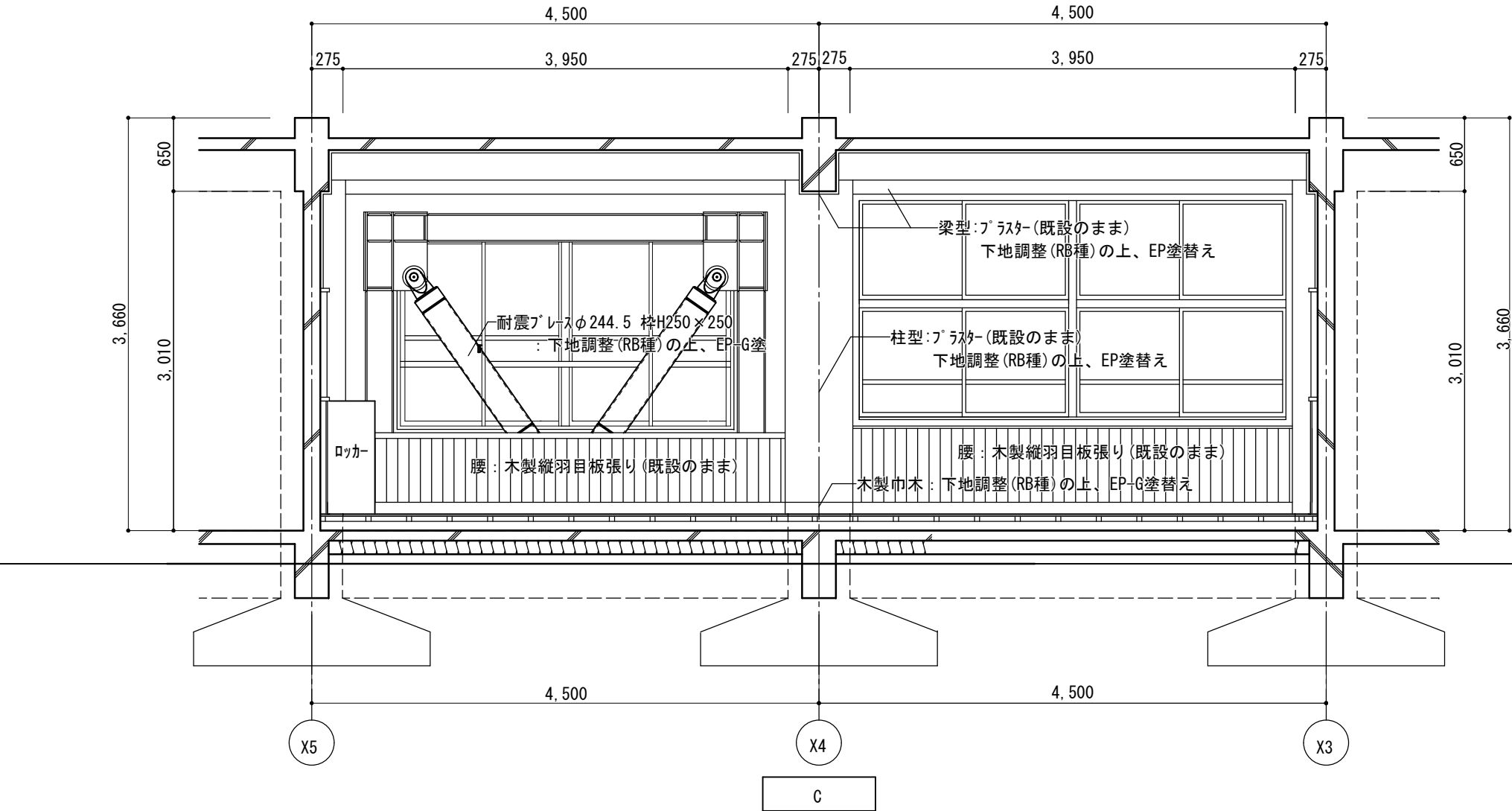
1、2階 普通教室 平面詳細図 S=1/50

共通教室			教室数
3階			
2階	(2-1) (学習室2) (2-2)		3
1階	(1-1) (学習室1) (1-2)		3

《1、2階 普通教室》

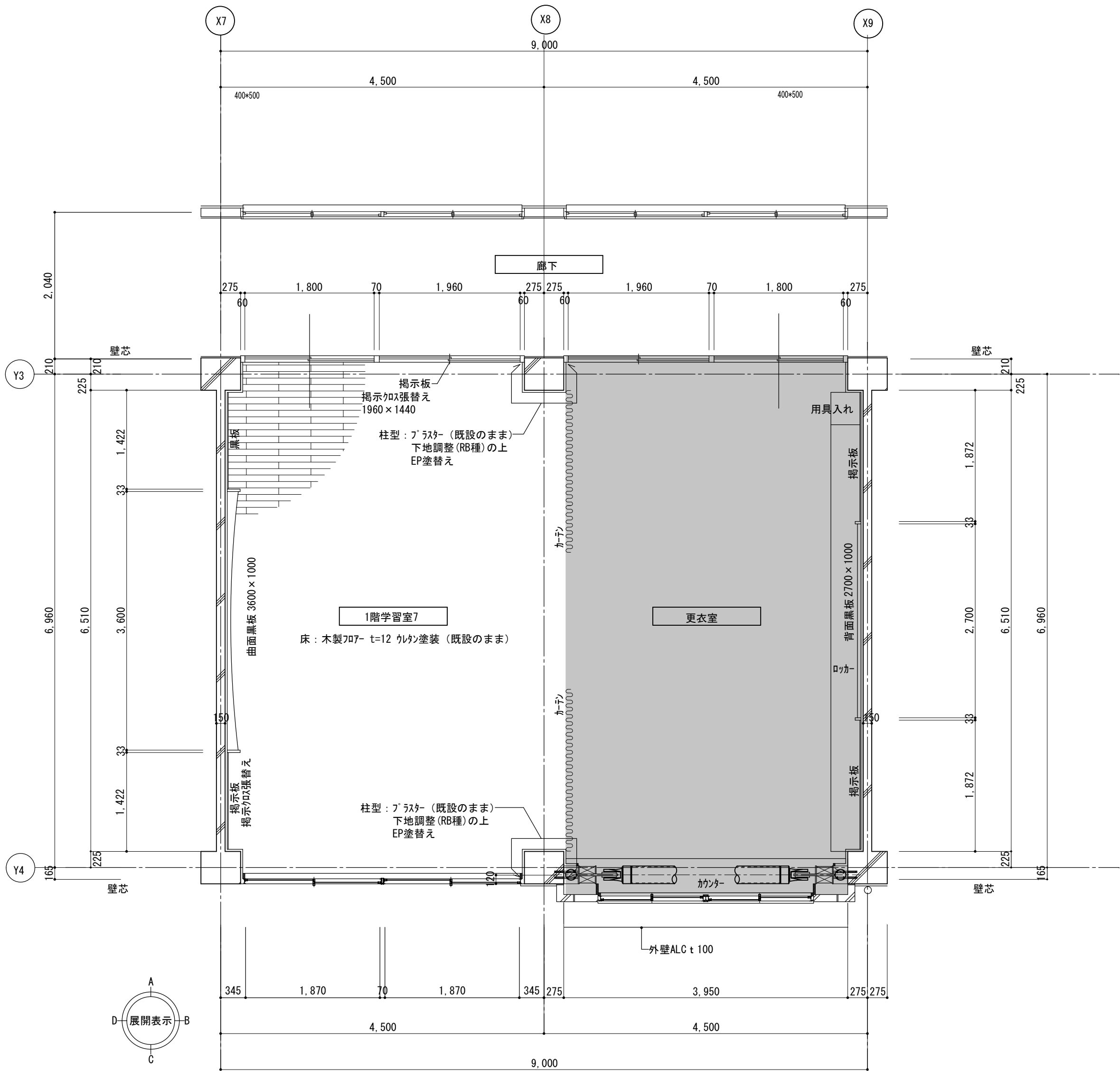


共通教室	教室数
3階	
2階	(2-1) (学習室2) (2-2) 3
1階	(1-1) (学習室1) (1-2) 3



1、2階 普通教室 展開図 S=1/50

《1階学習室7》



1階 学習室7 平面詳細図 S=1/50

凡 例

■ : 塗装改修対象外範囲

共通教室		教室数
3階		
2階		
1階	(学習室7)	1

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/50

■drawing title
1階 学習室7 平面詳細図

■project title
津市立白山中学校長寿化改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

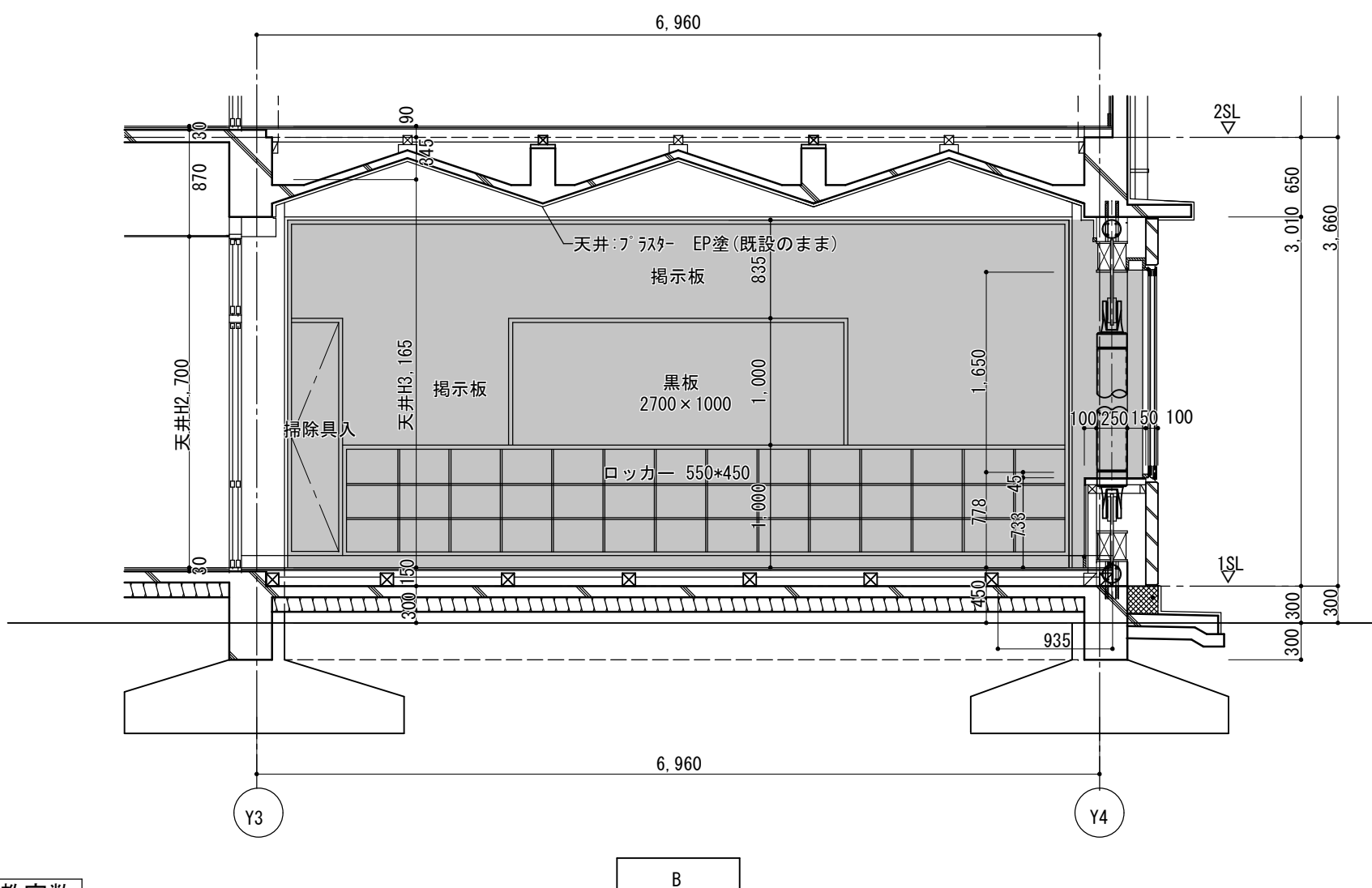
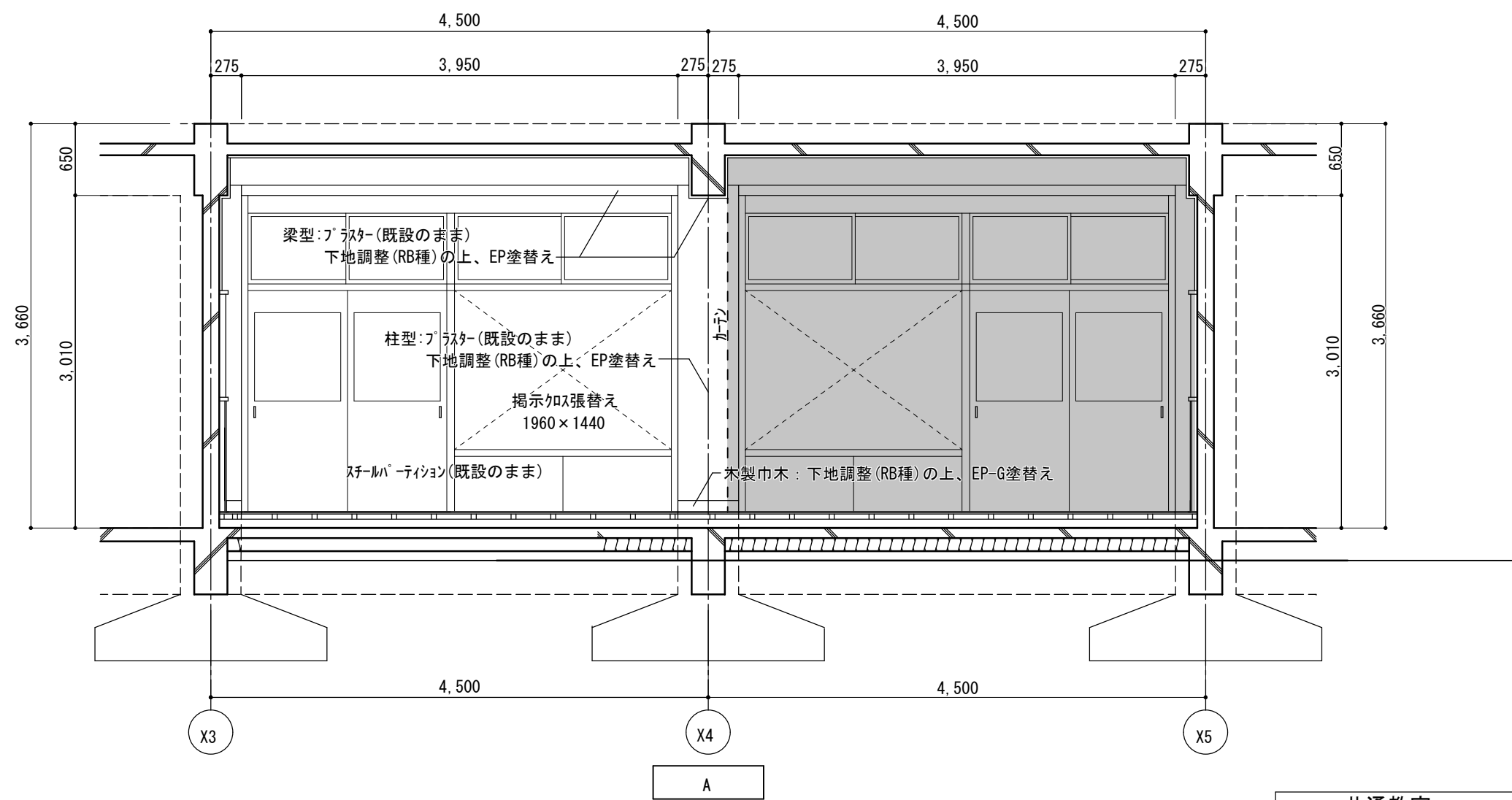
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

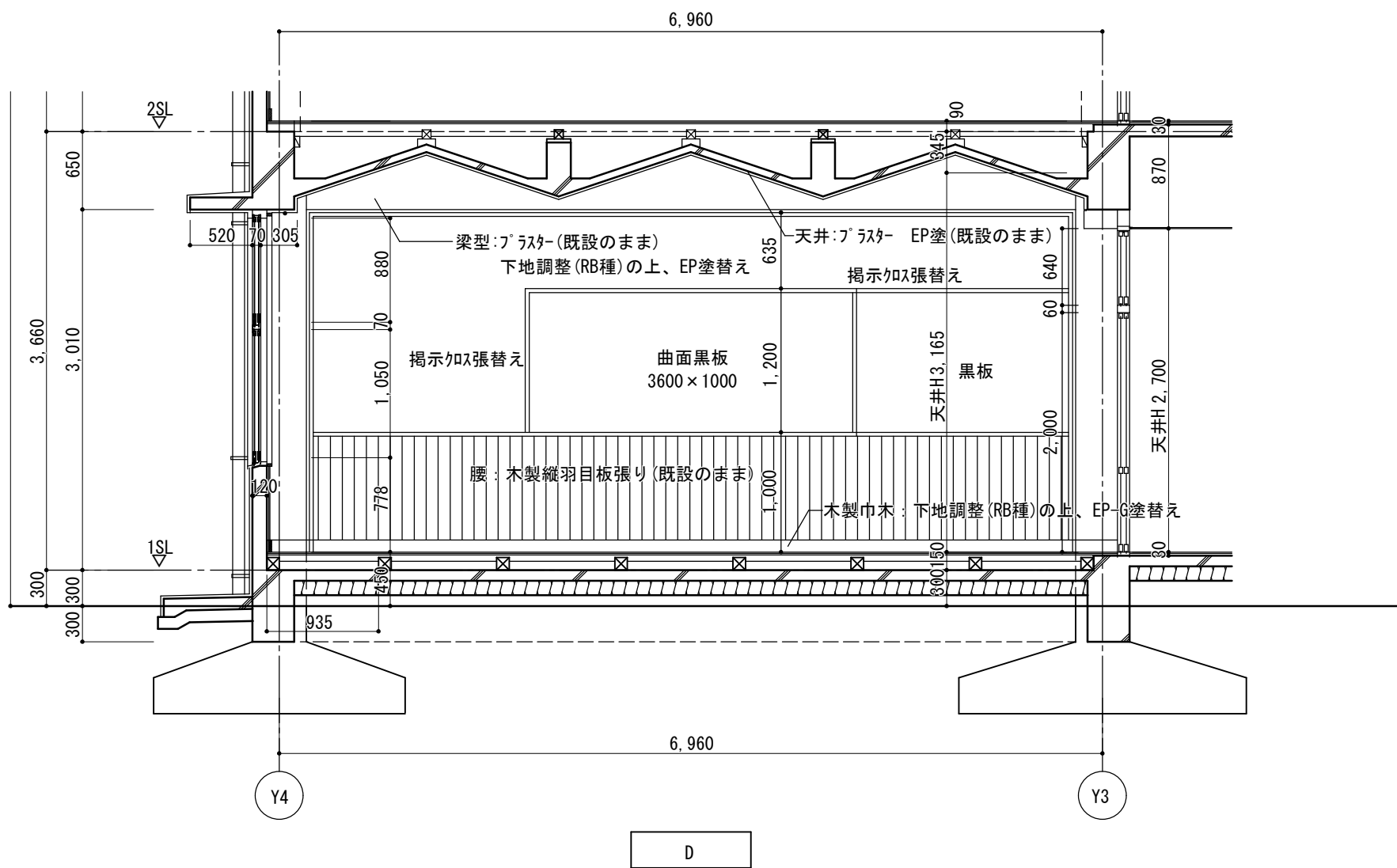
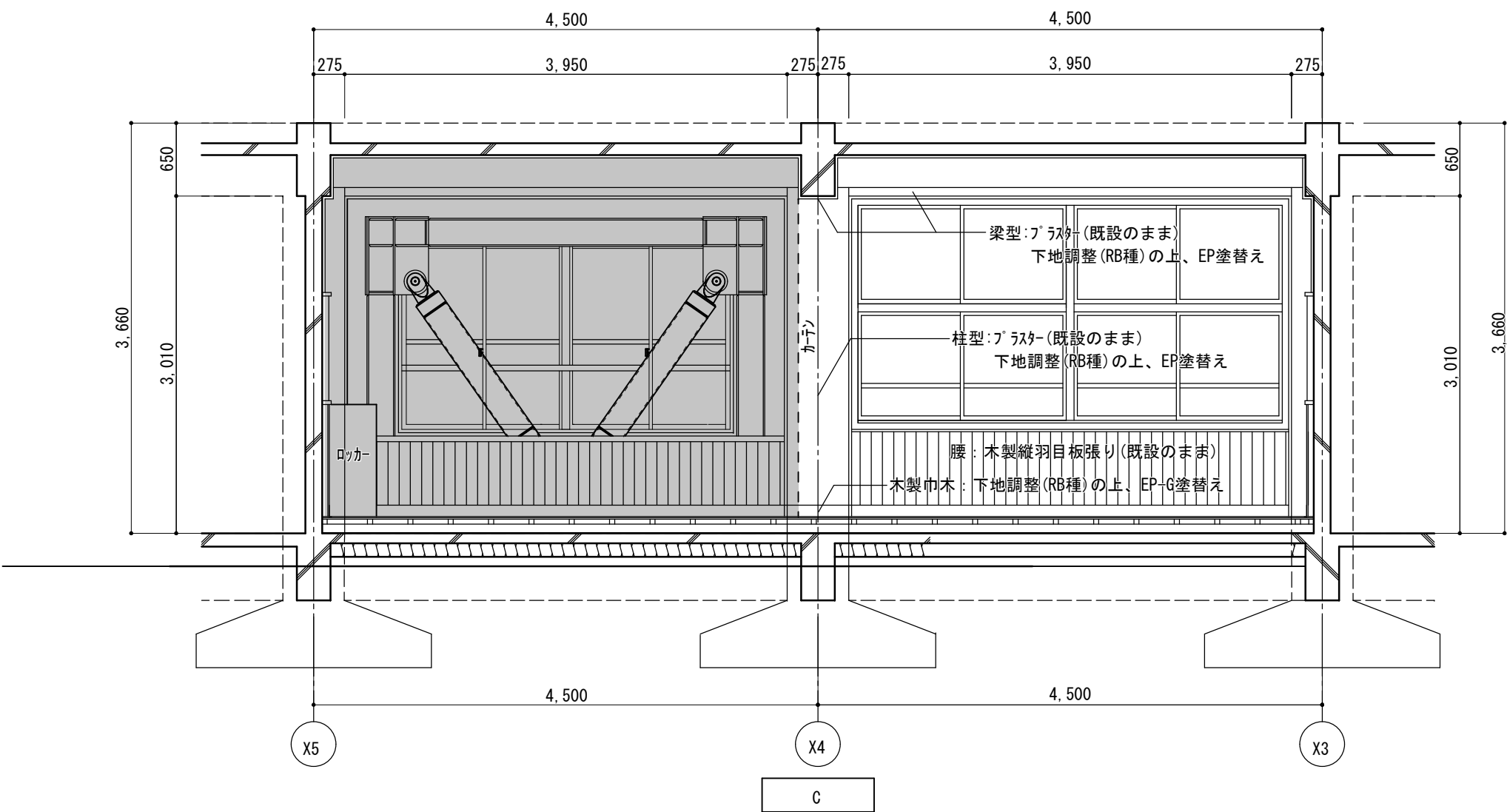
■sheet no.

A-21
原図: A2

《1階学習室7》



共通教室		教室数
3階		
2階		
1階	(学習室7)	1



1階学習室7展開図 S=1/50

凡 例

：塗装改修対象外範囲

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/50

■drawing title
1階学習室7展開図

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

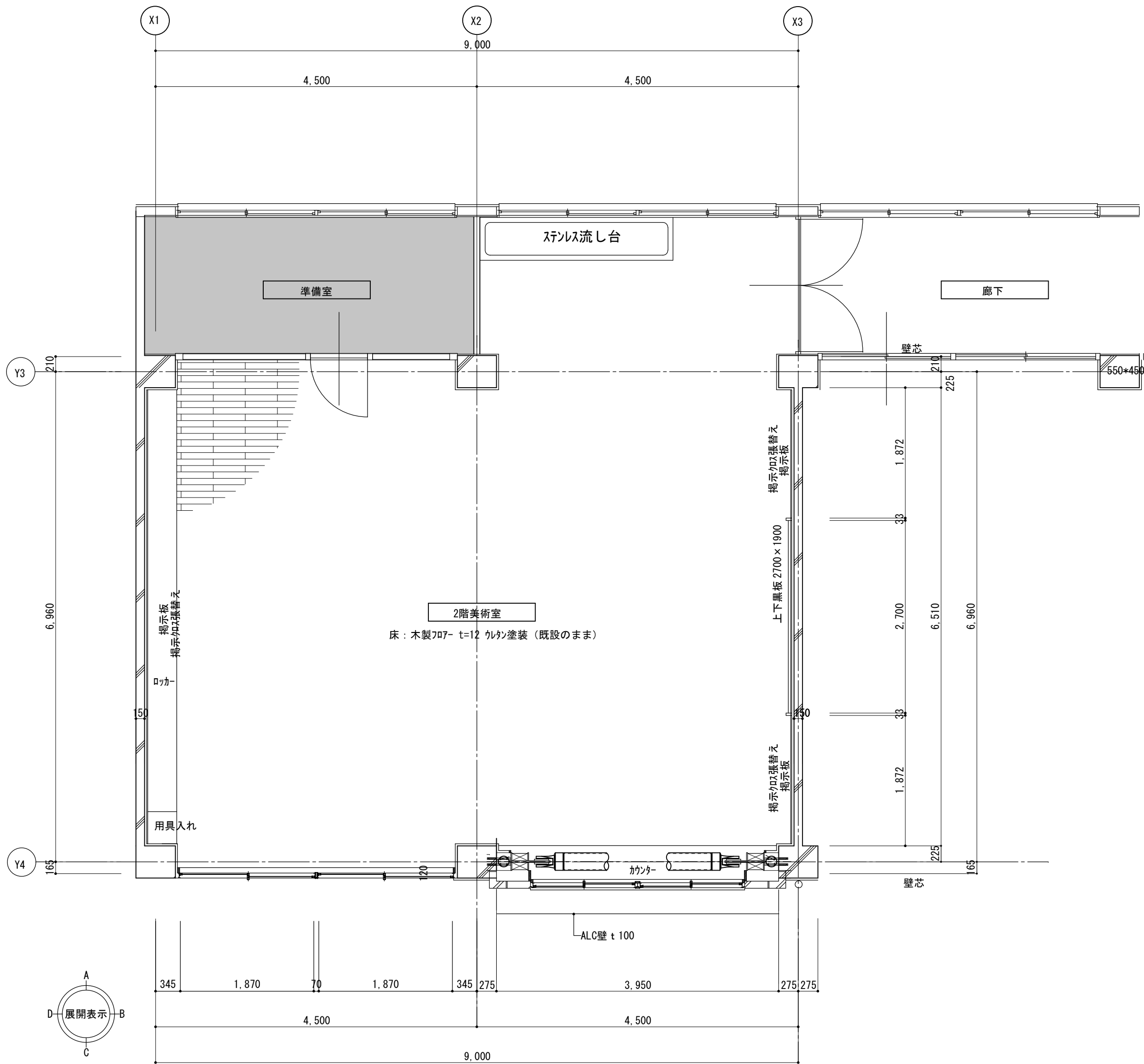
■drawing no.

■sheet no.

A-22

原図：A2

《2階美術室》

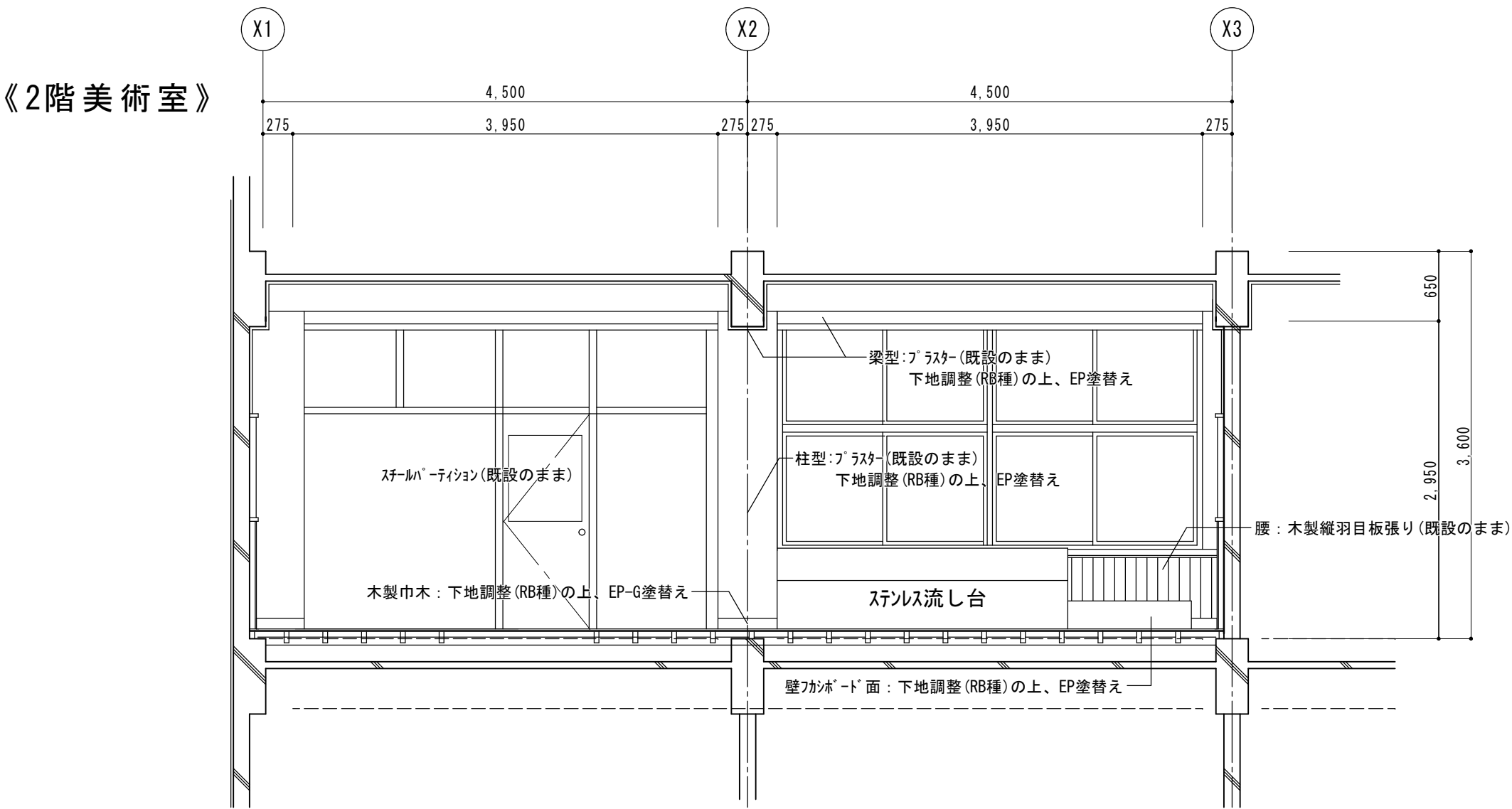


2階 美術室 平面詳細図 S=1/50

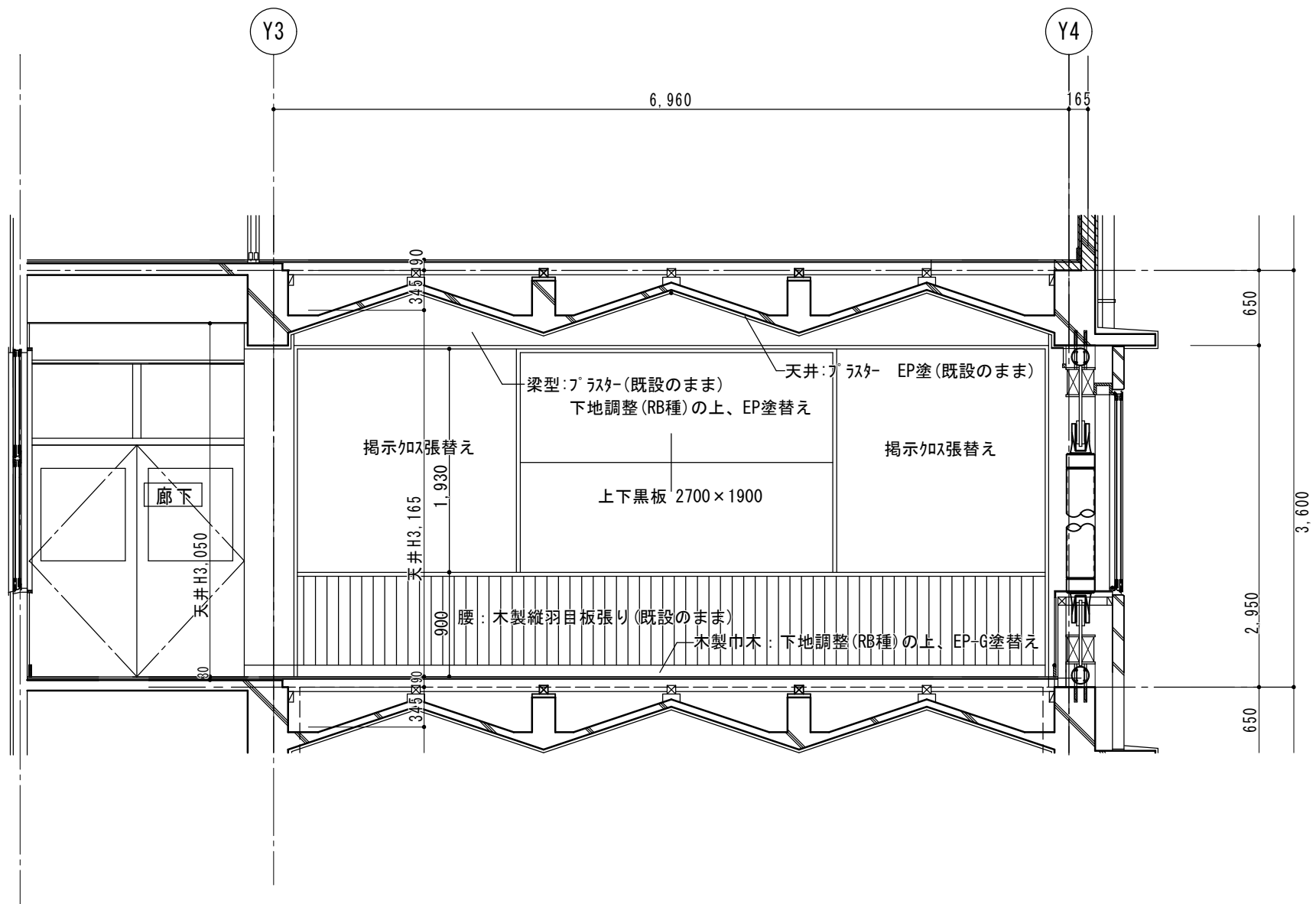
凡 例
: 塗装改修対象外範囲

共通教室		教室数
3階		
2階	美術室	1
1階		

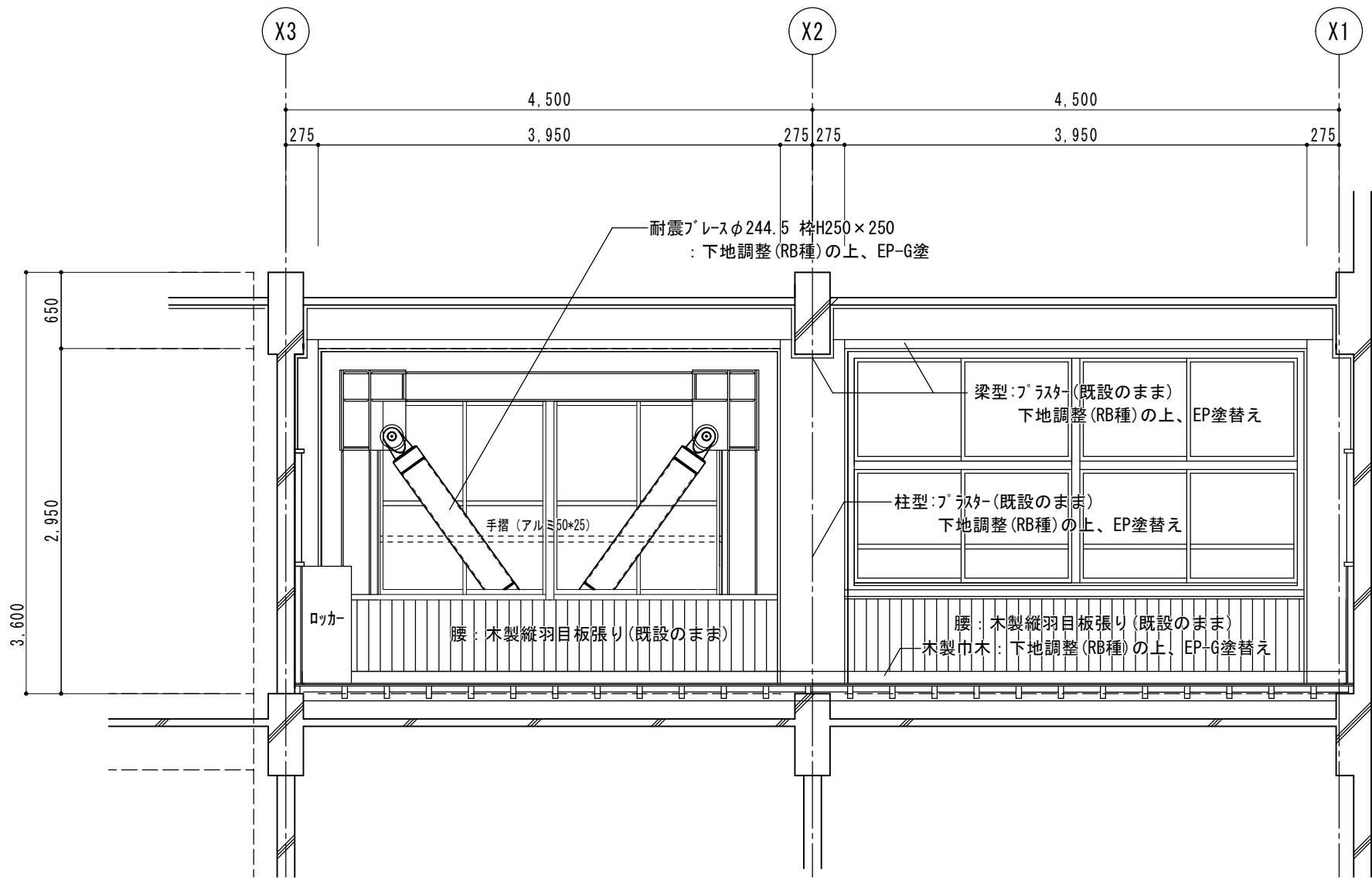
《2階美術室》



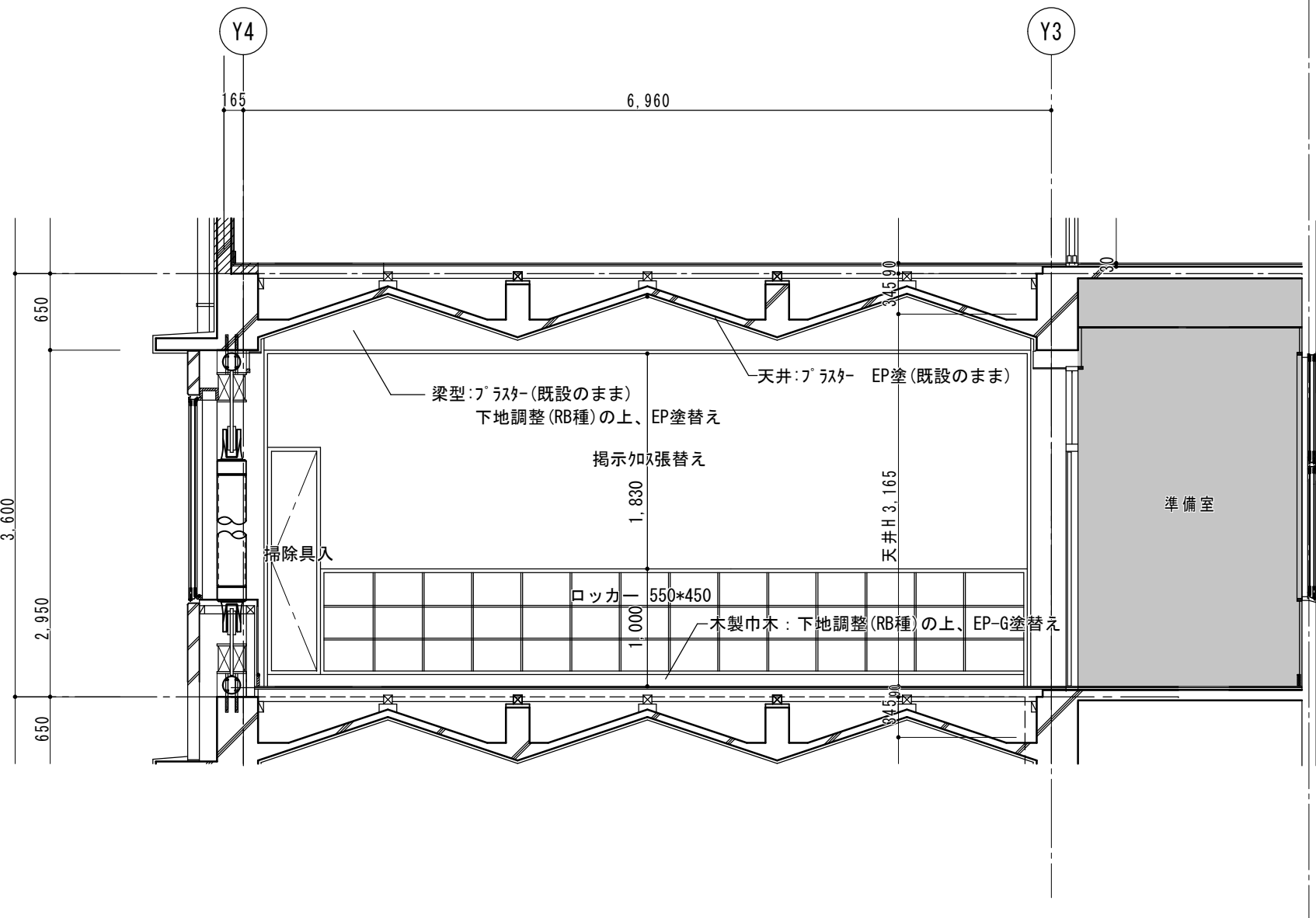
A



B



C

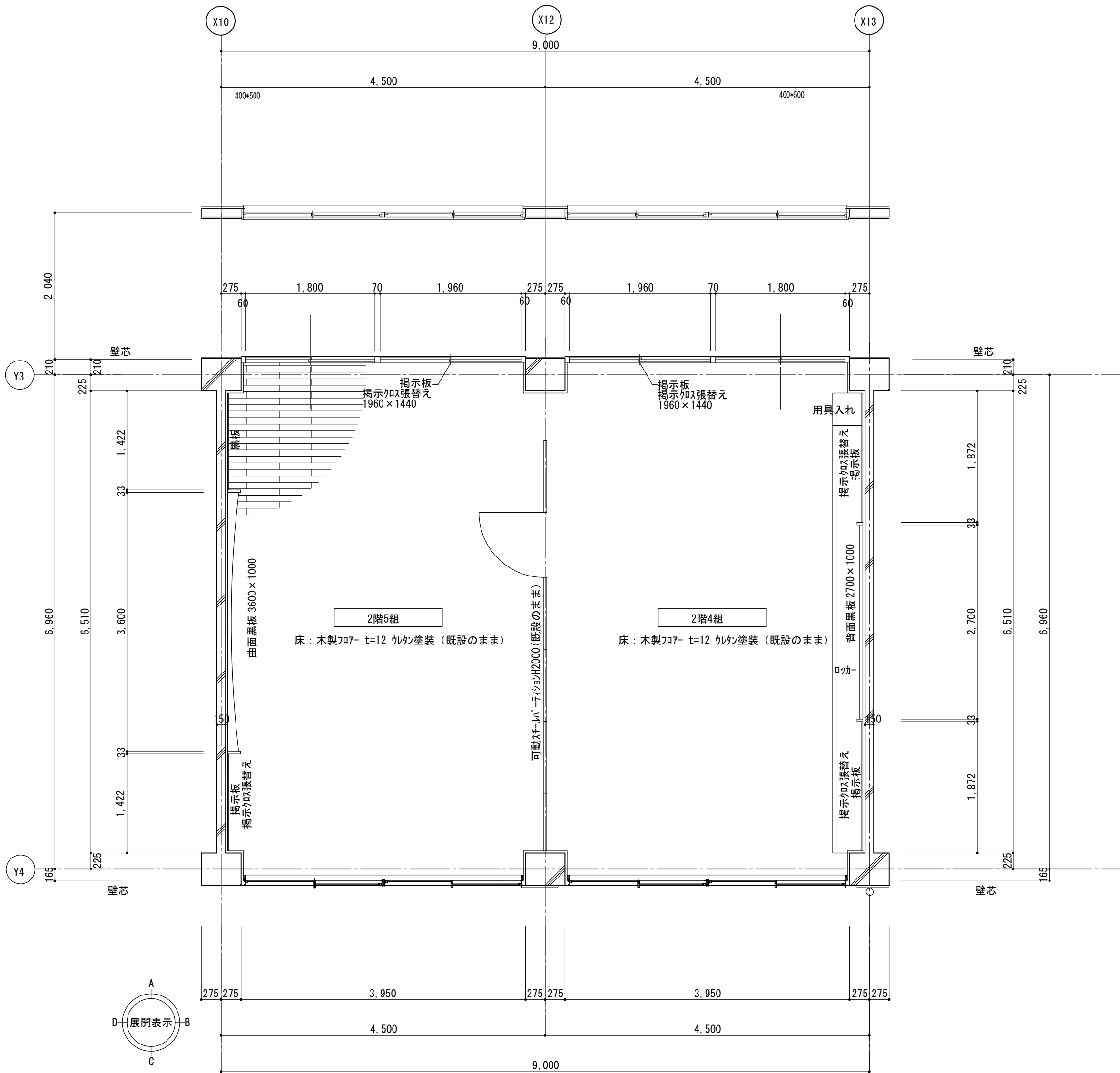


D

2階 美術室 展開図 S=1/50

凡 例
：塗装改修対象外範囲

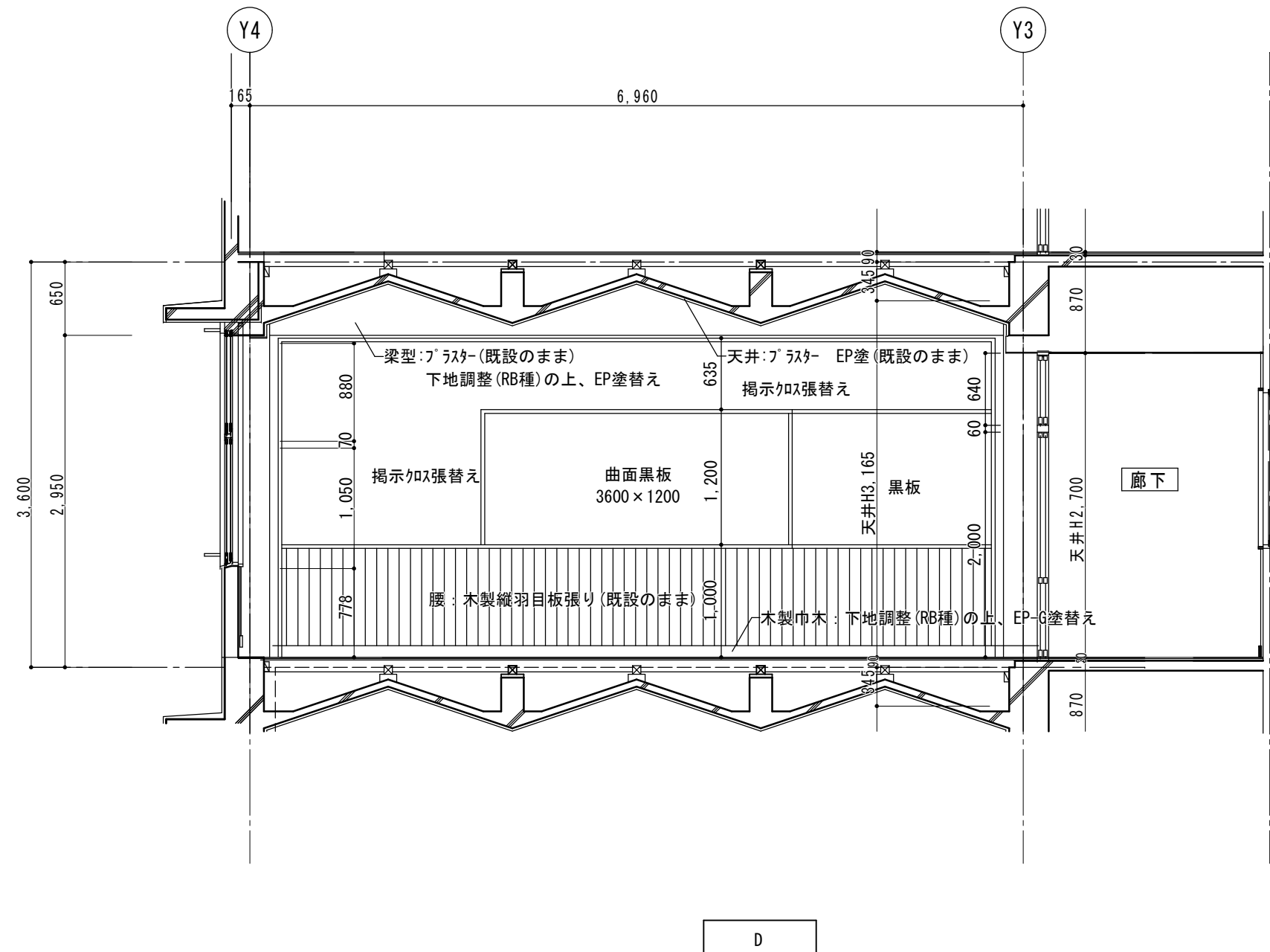
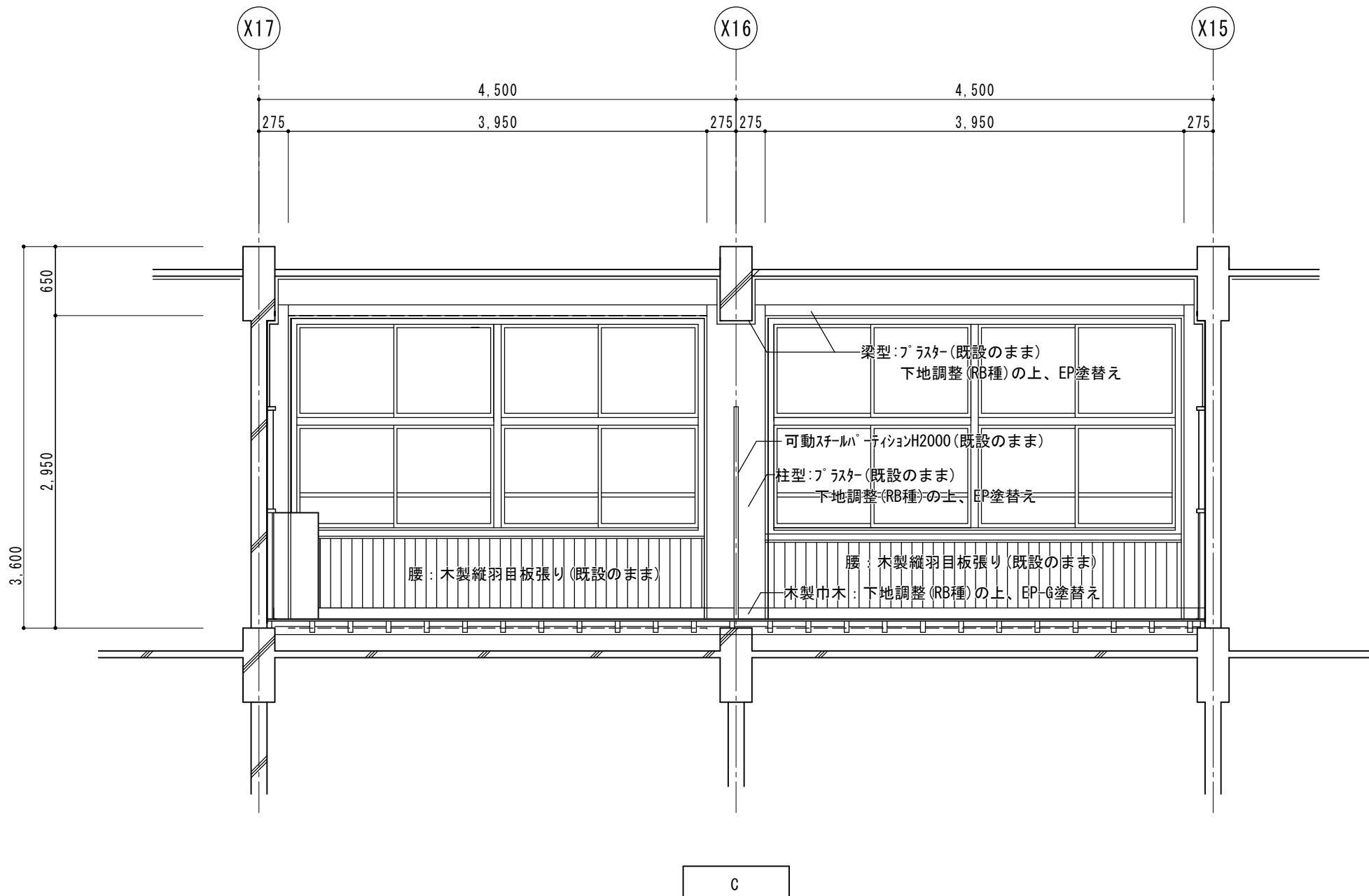
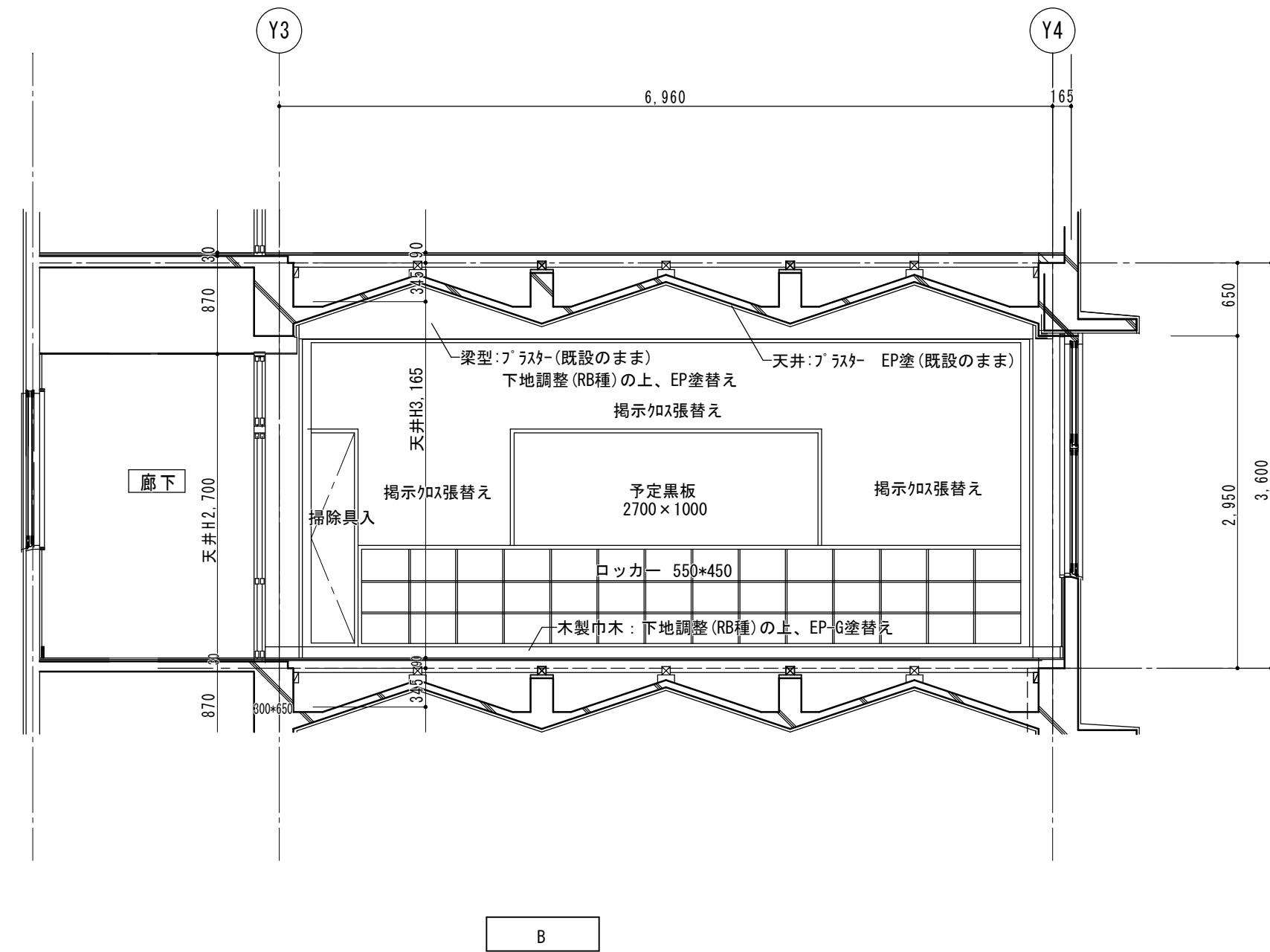
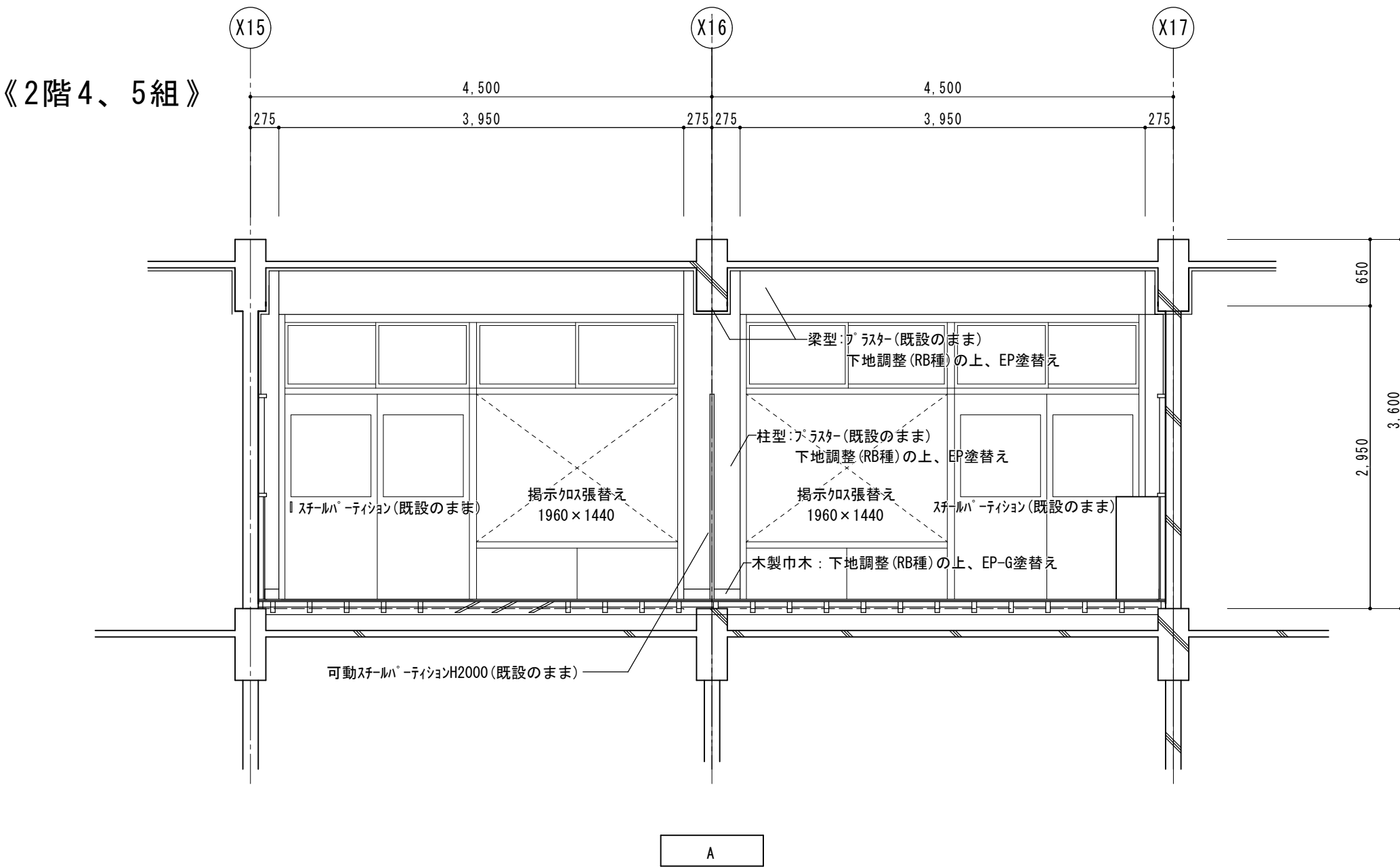
《2階4、5組》



2階4、5組平面詳細図 S=1/50

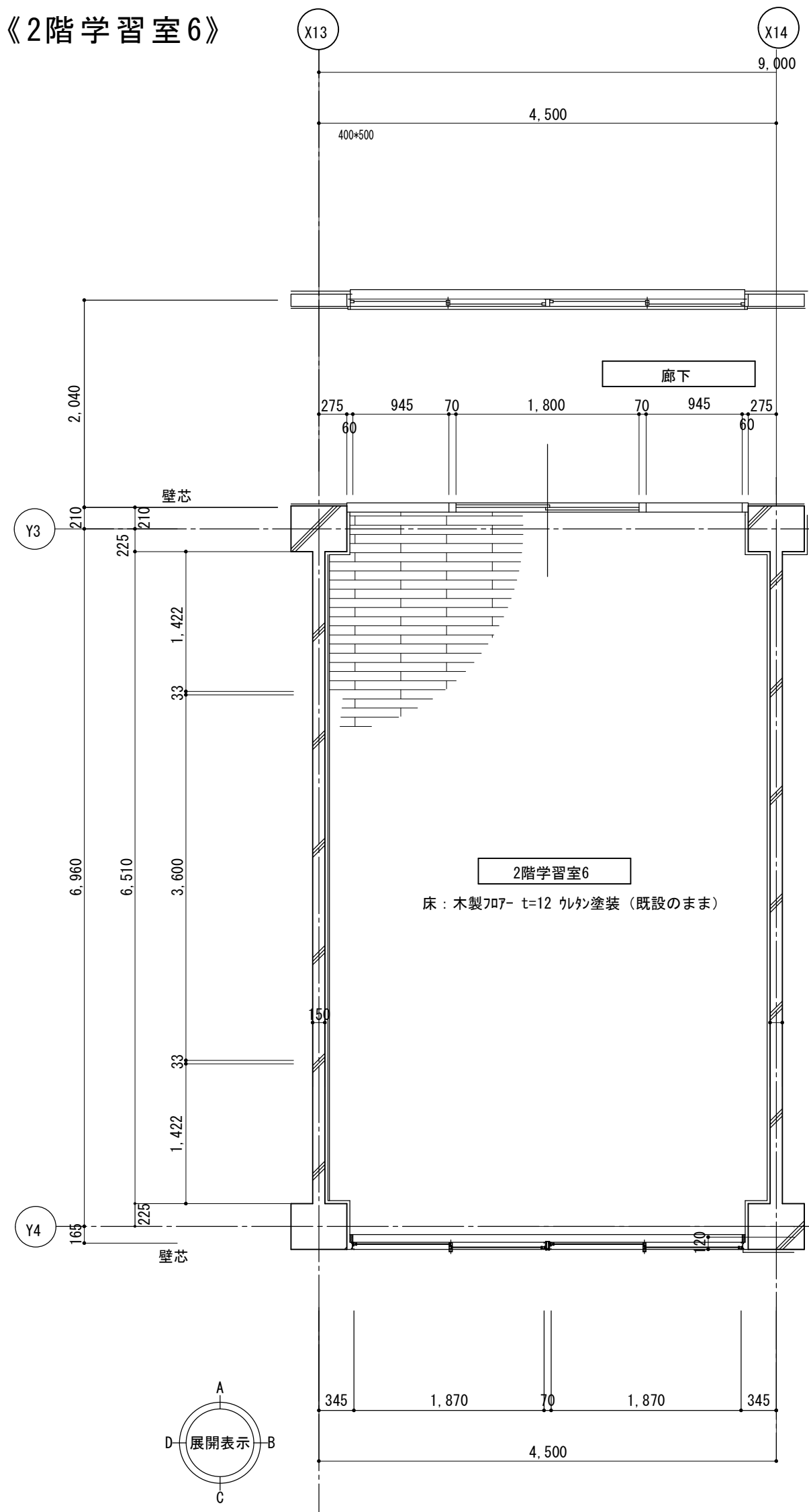
共通教室		教室数
3階		
2階	(4組) (5組)	2
1階		

《2階4、5組》



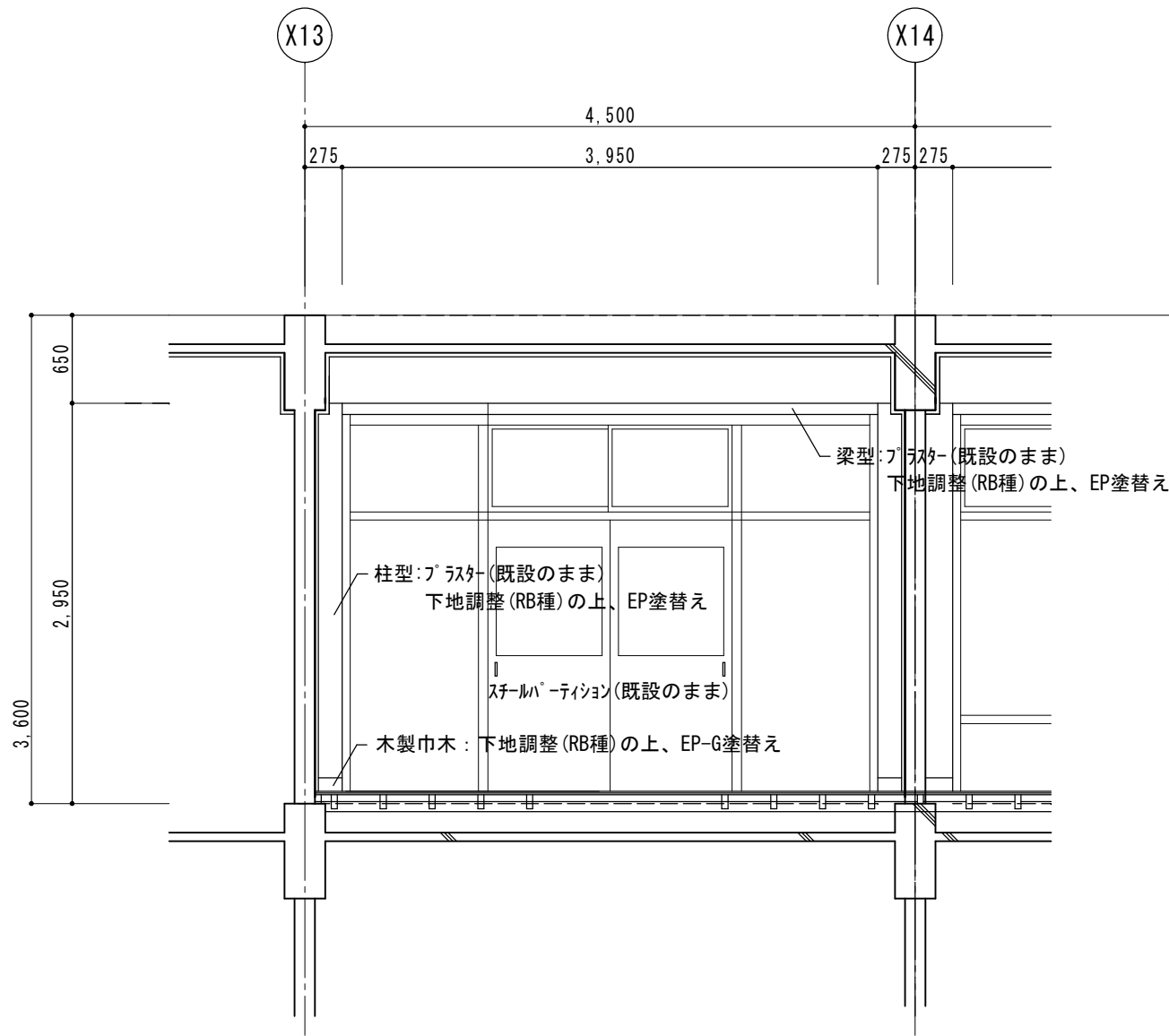
2階 4、5組 展開図 S=1/50

《2階学習室6》

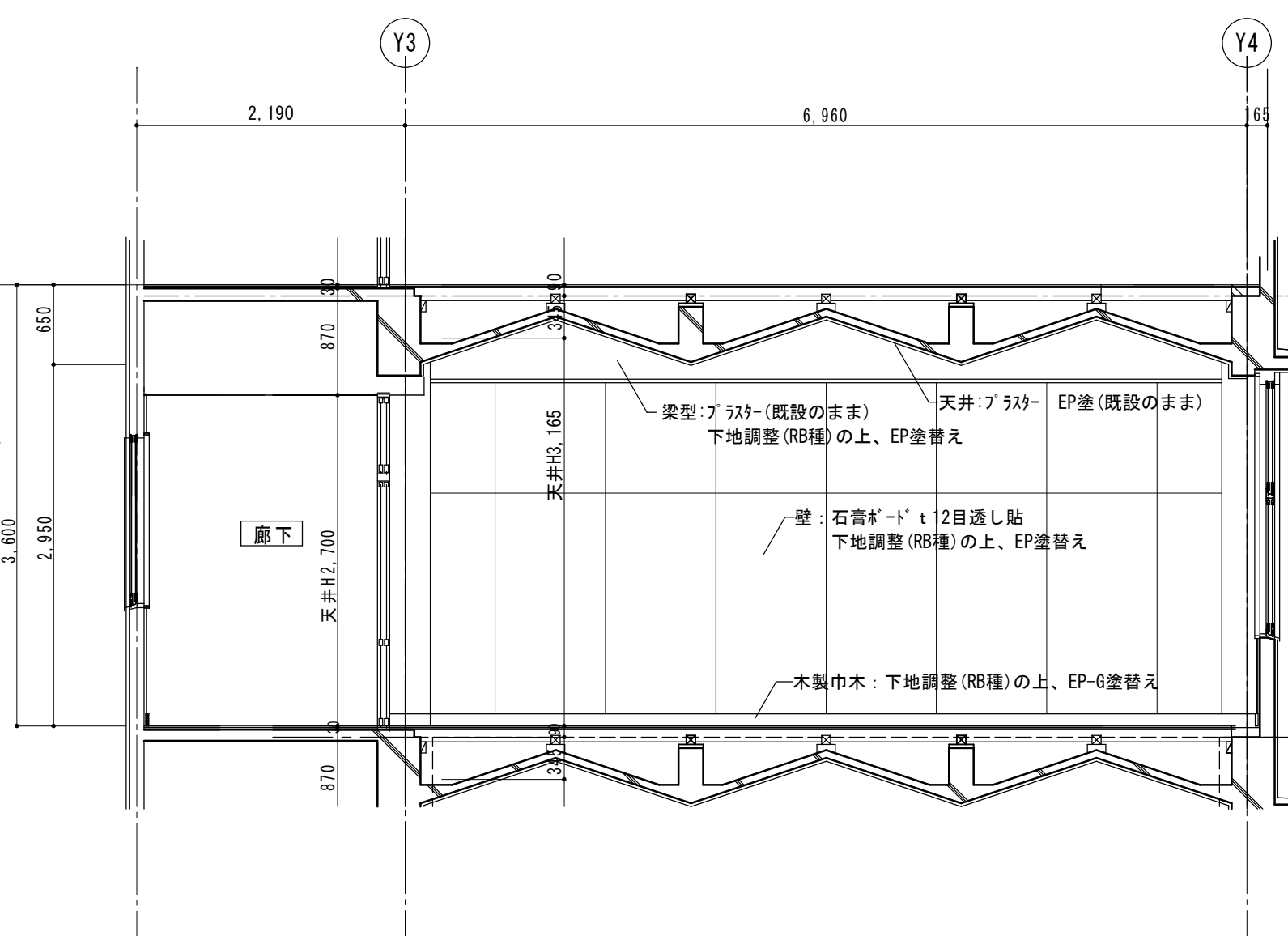


共通教室		教室数
3階		
2階	(学習室6)	1
1階		

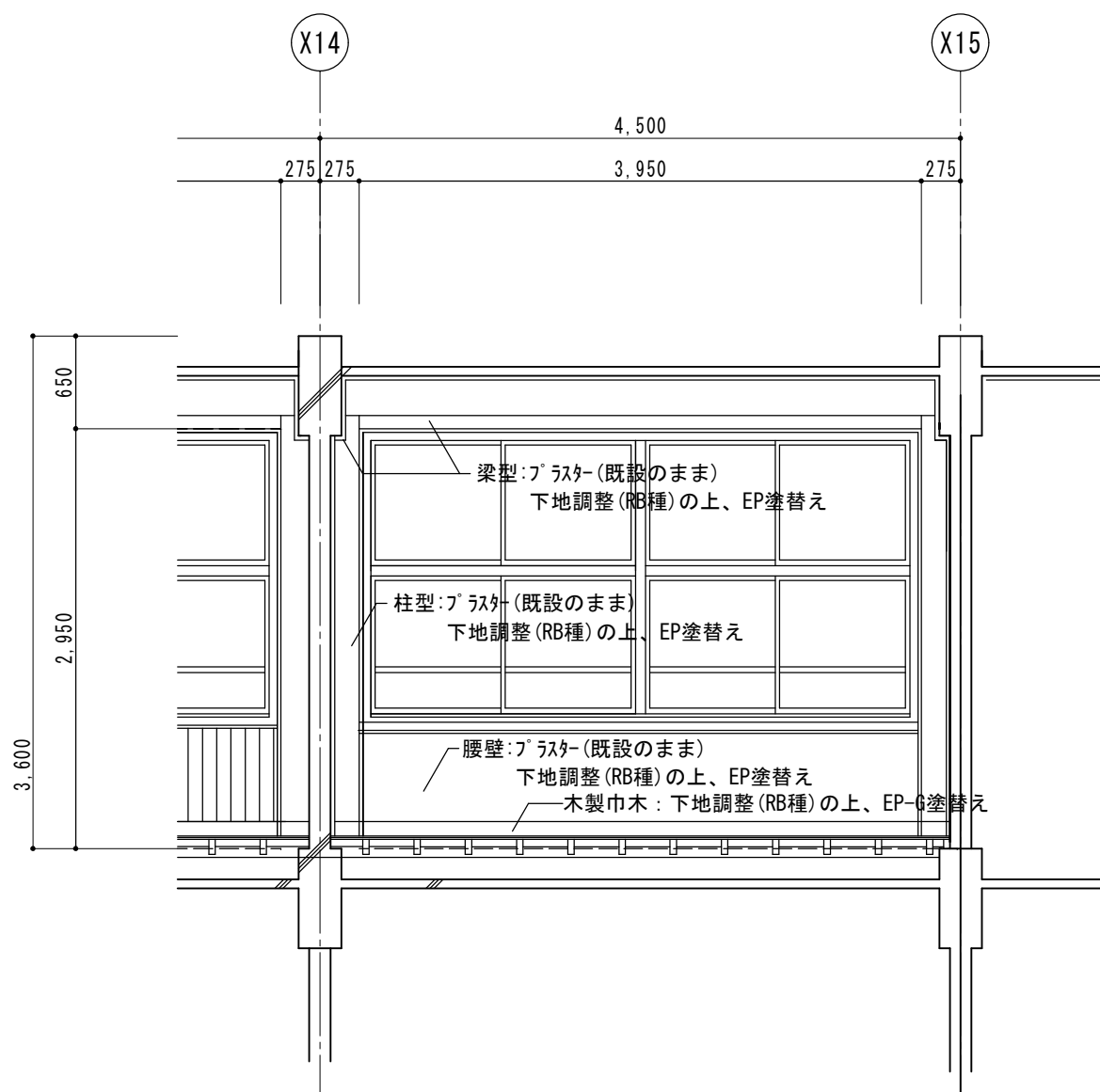
2階 学習室6 平面詳細図 S=1/50



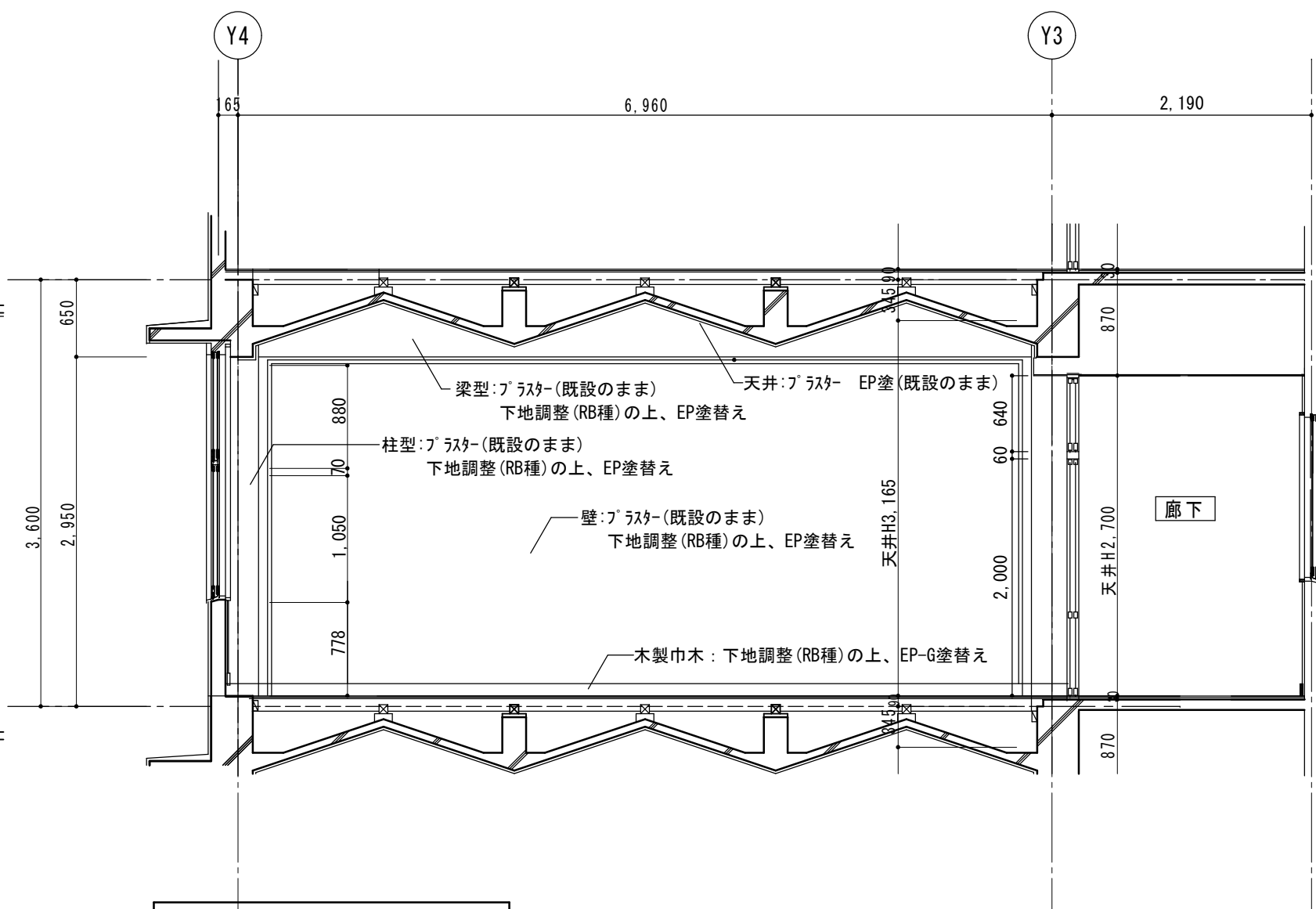
A



B



C



D

2階 学習室6 展開図 S=1/50

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/50

2階 学習室6 平面詳細図、展開図

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

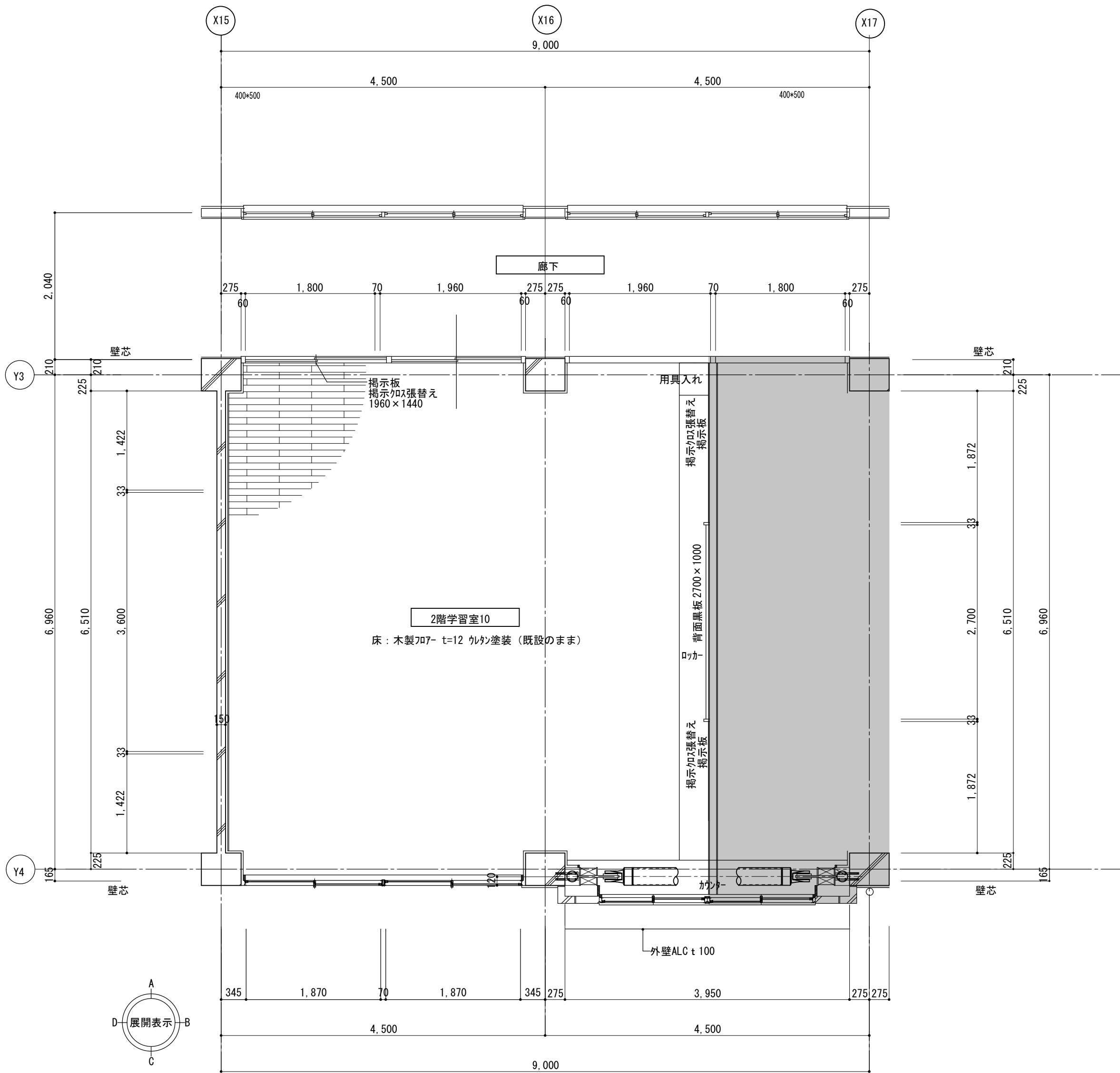
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no. ■sheet no.

A-27
原図: A2

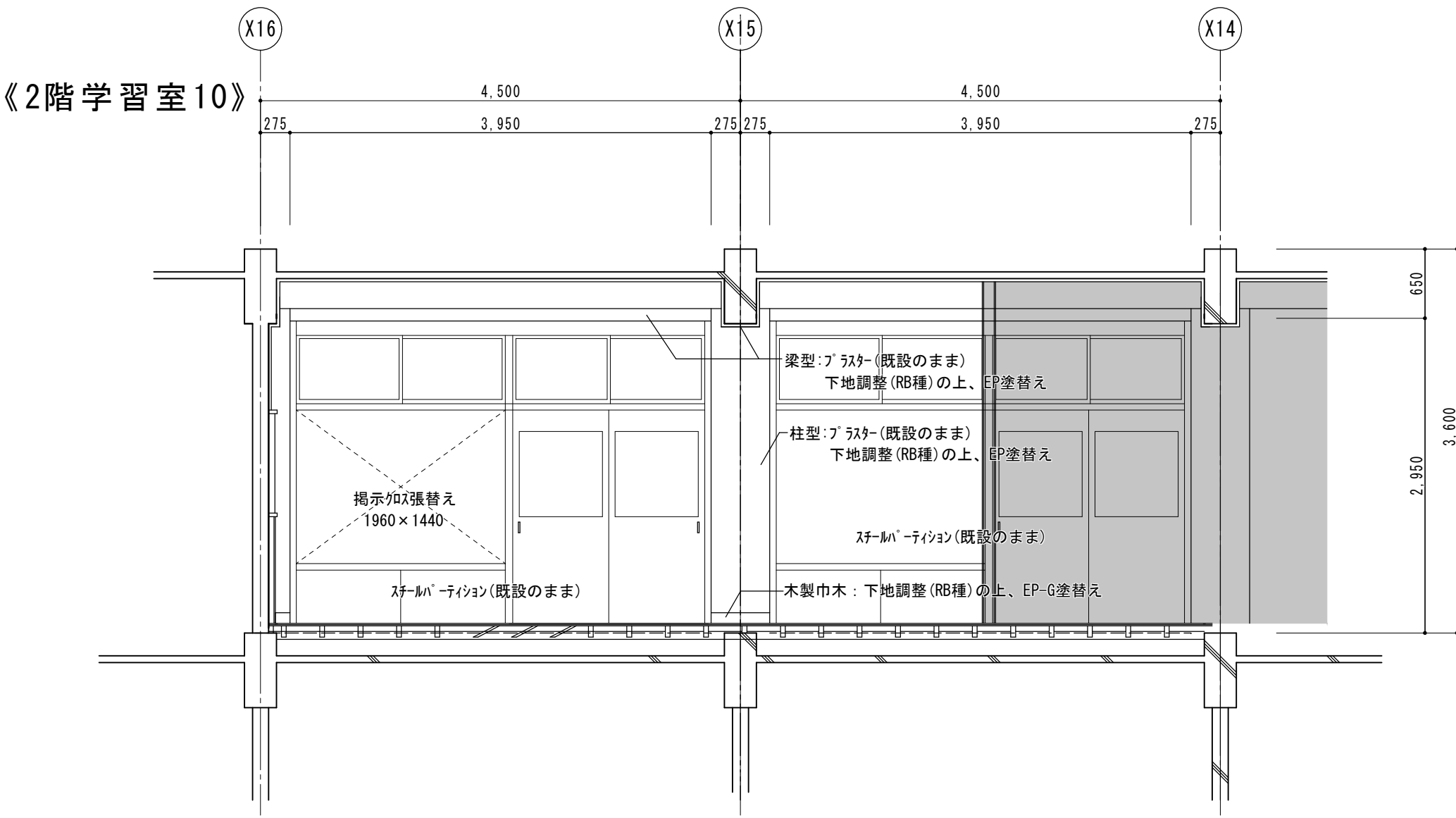
《2階学習室10》



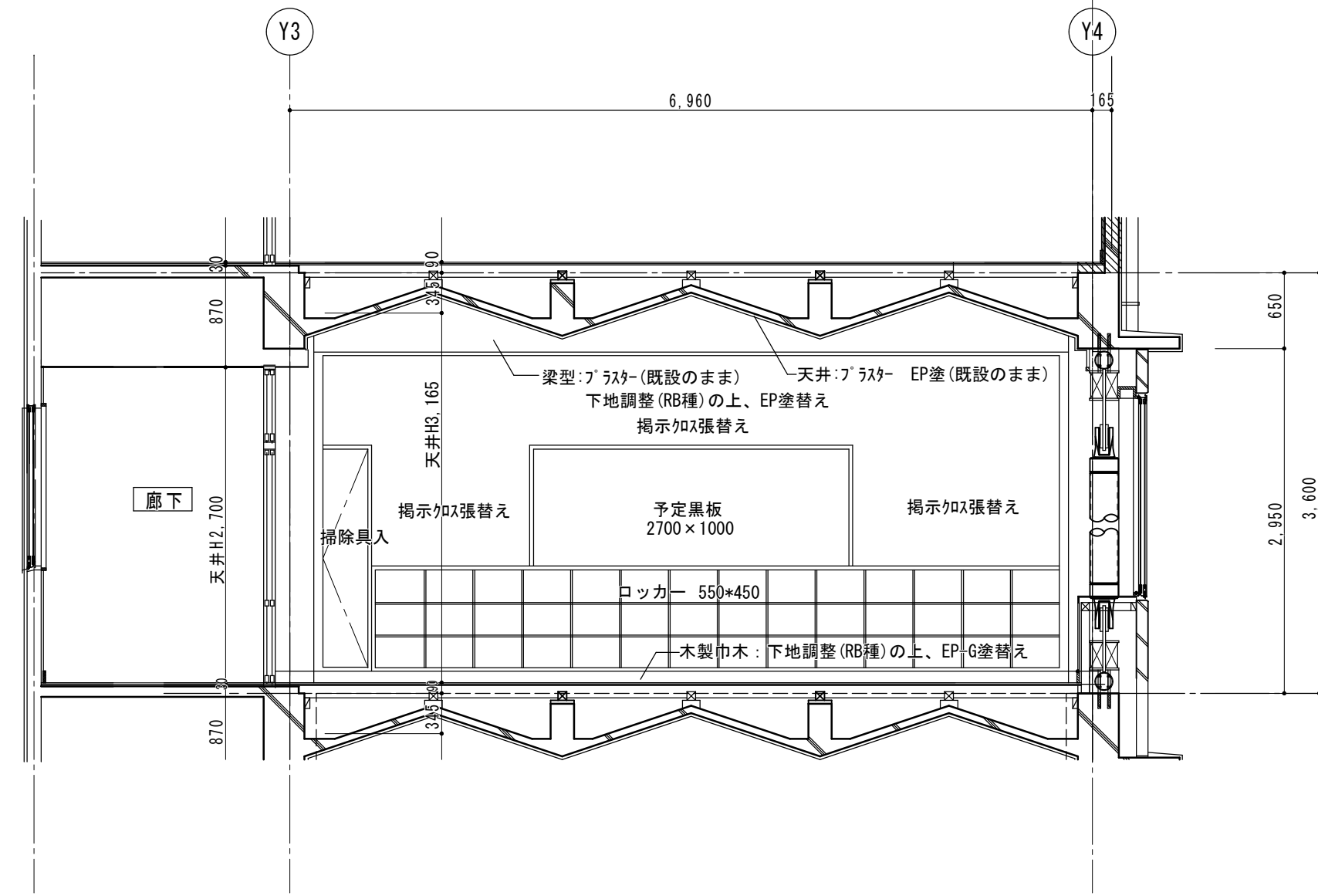
2階 学習室10 平面詳細図 S=1/50

共通教室		教室数
3階		
2階	(学習室10)	1
1階		

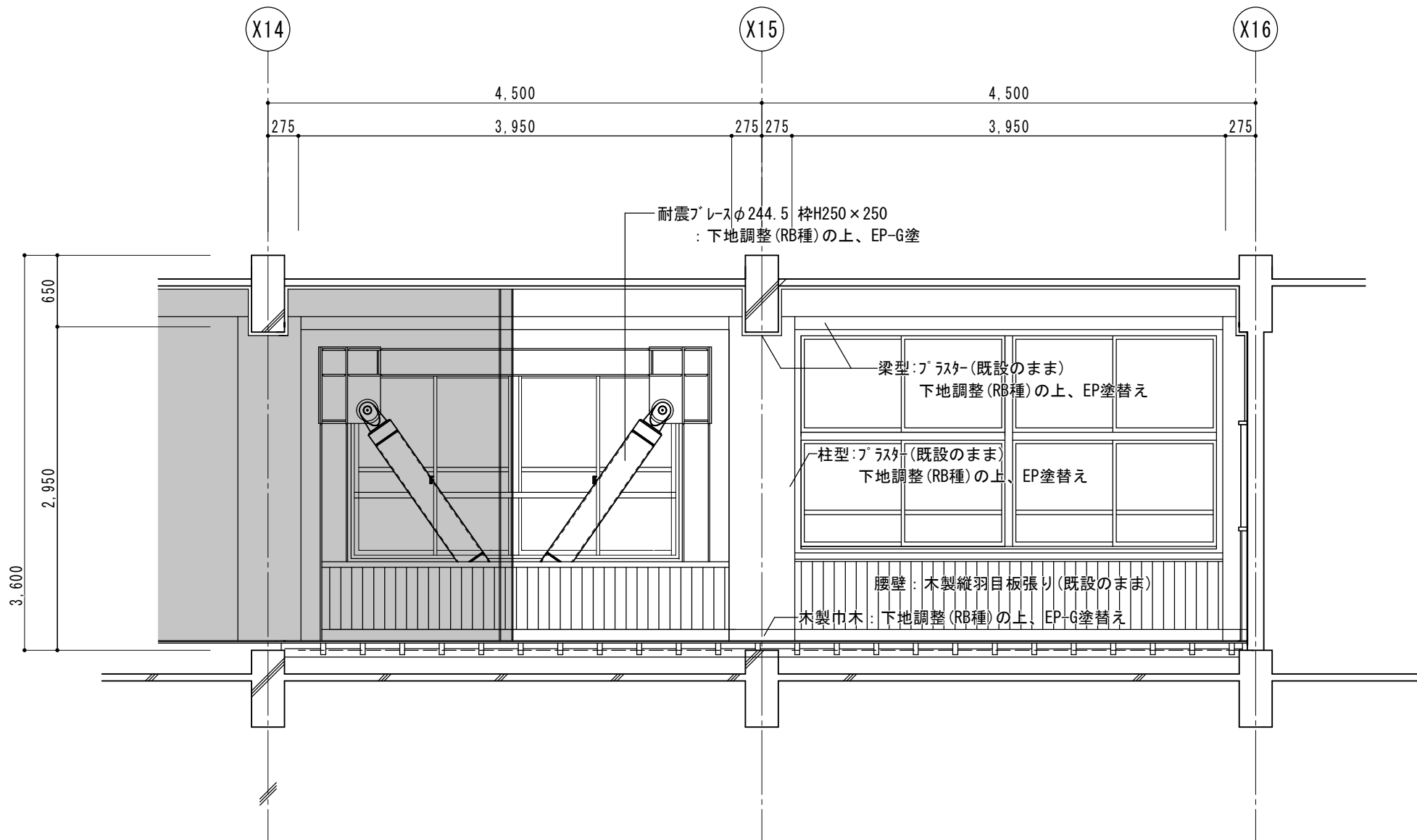
《2階学習室10》



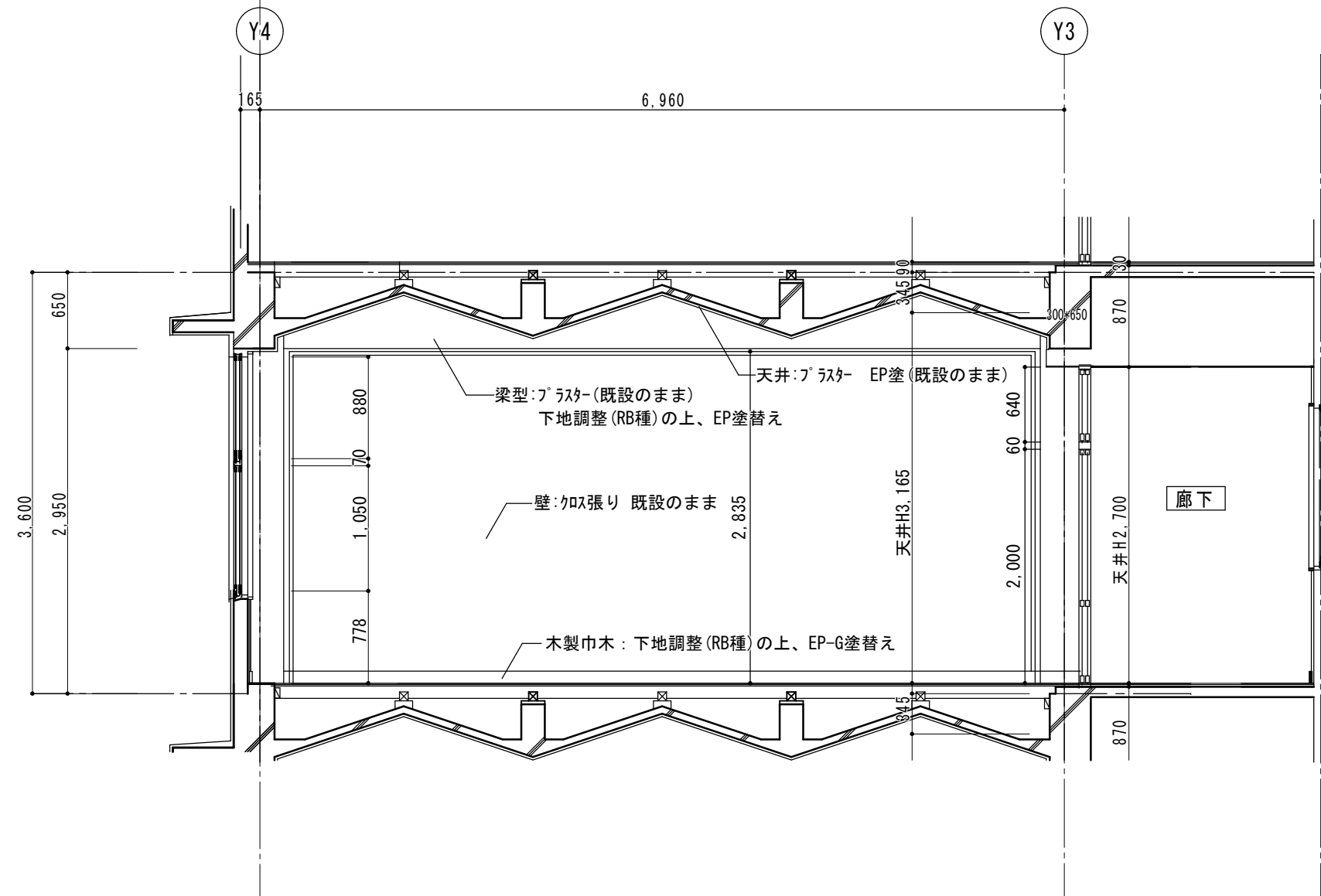
A



B



C



D

2階 学習室10 展開図 S=1/50

凡例

：塗装改修対象外範囲

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/50

■drawing title
2階 学習室10 展開図

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

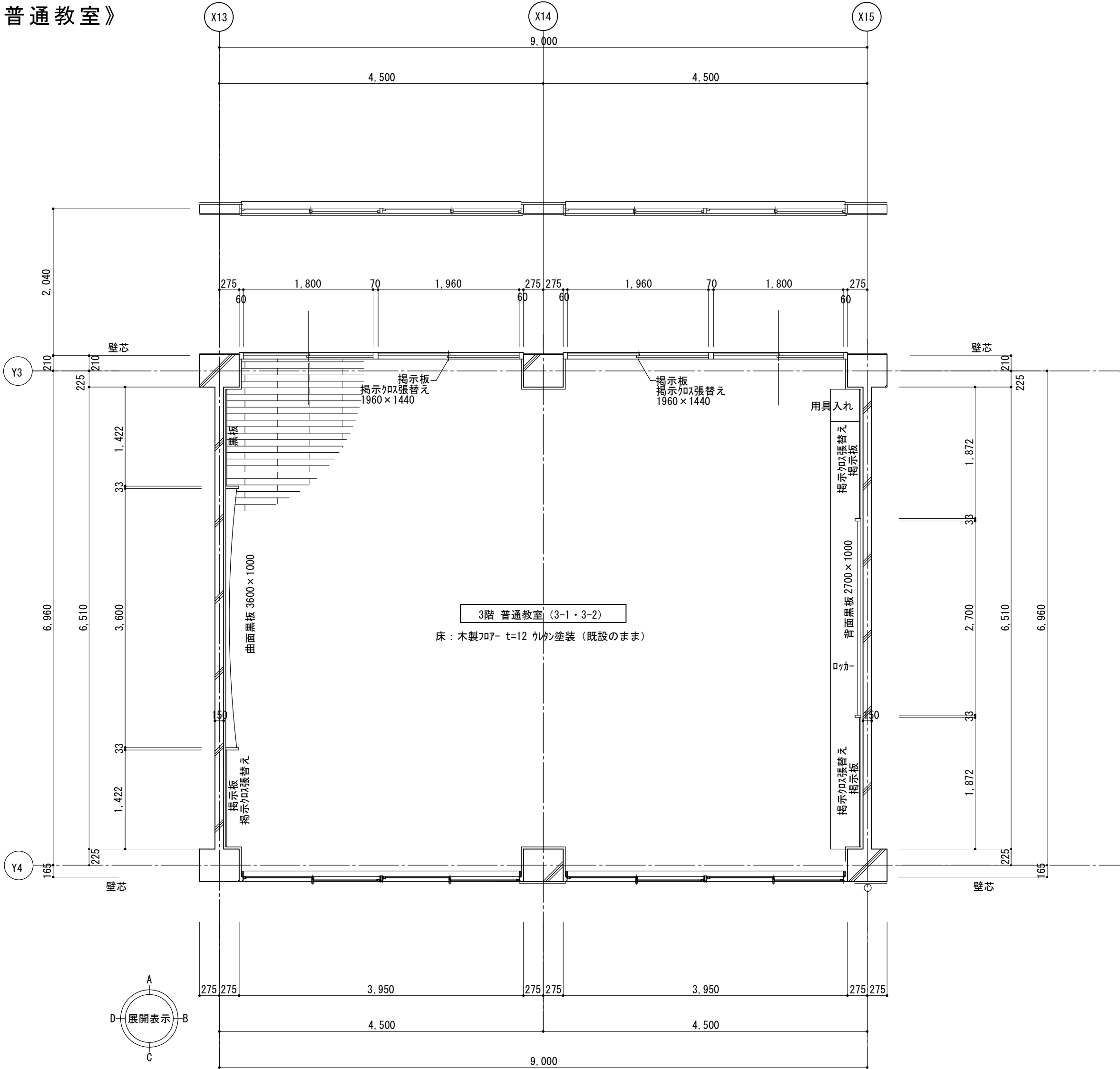
■drawing no.

■sheet no.

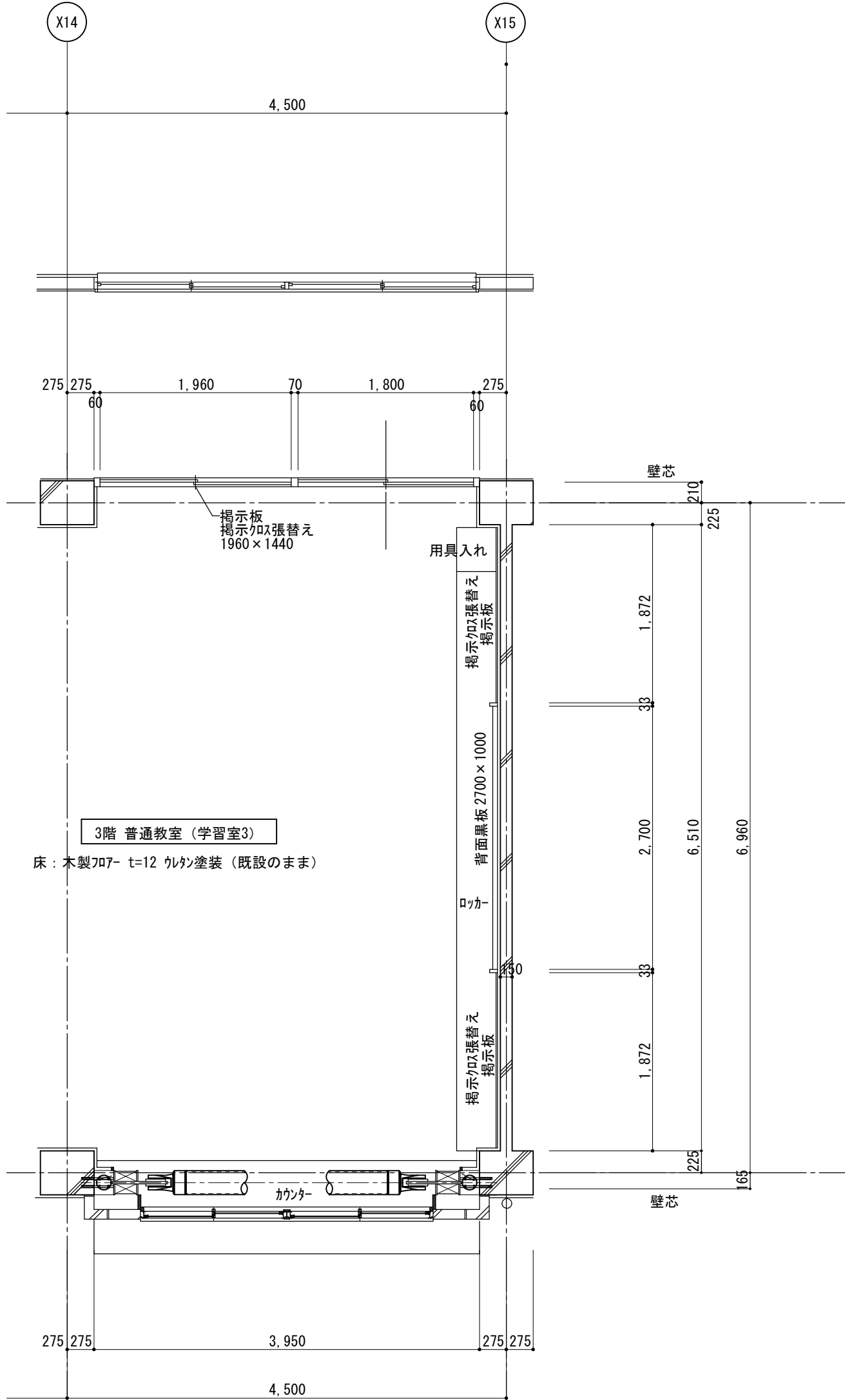
A-29

原図：A2

《3階普通教室》

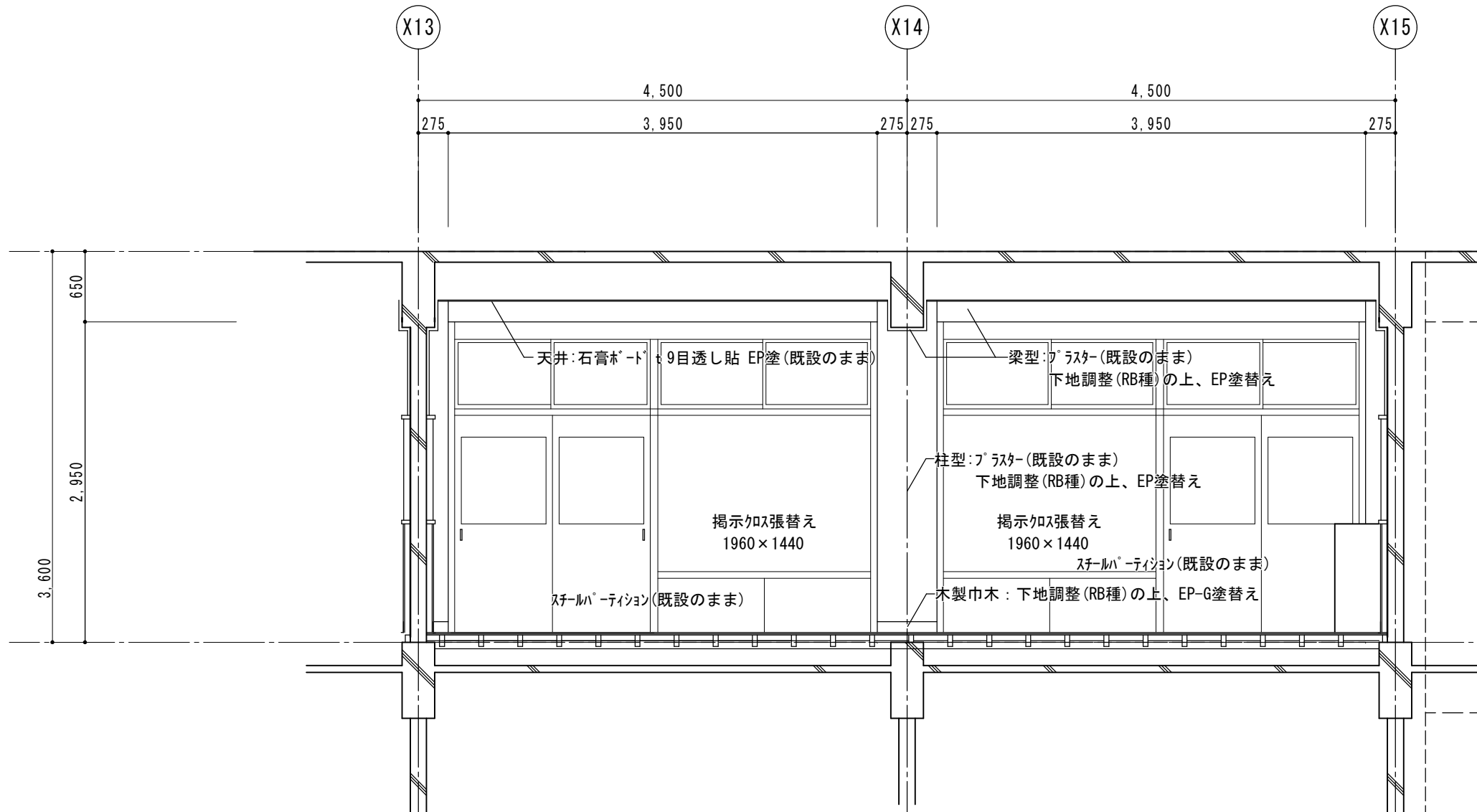


3階 普通教室 平面詳細図 S=1/50

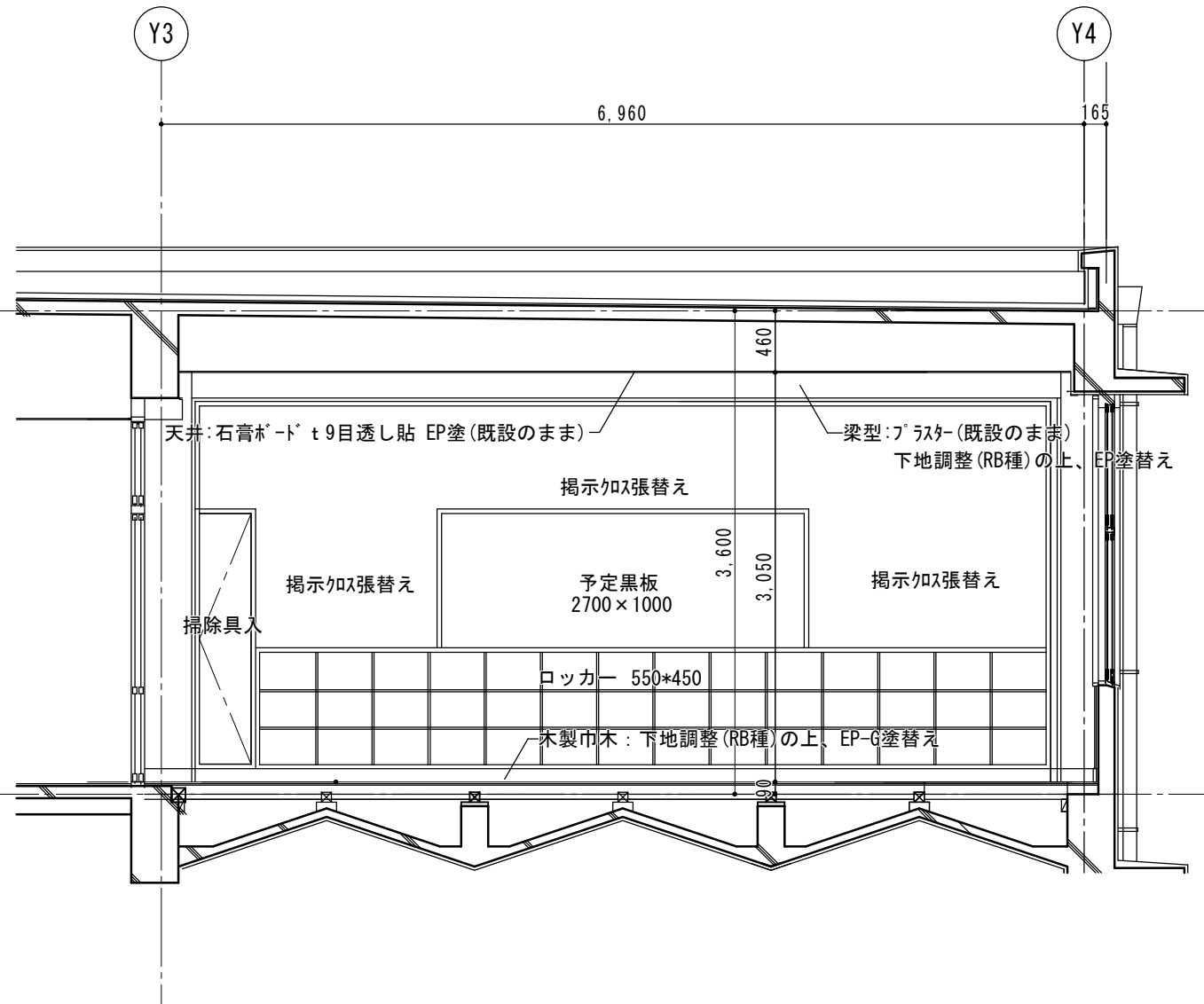


共通教室		教室数
3階	(3-1) (学習室3) (3-2)	3
2階		
1階		

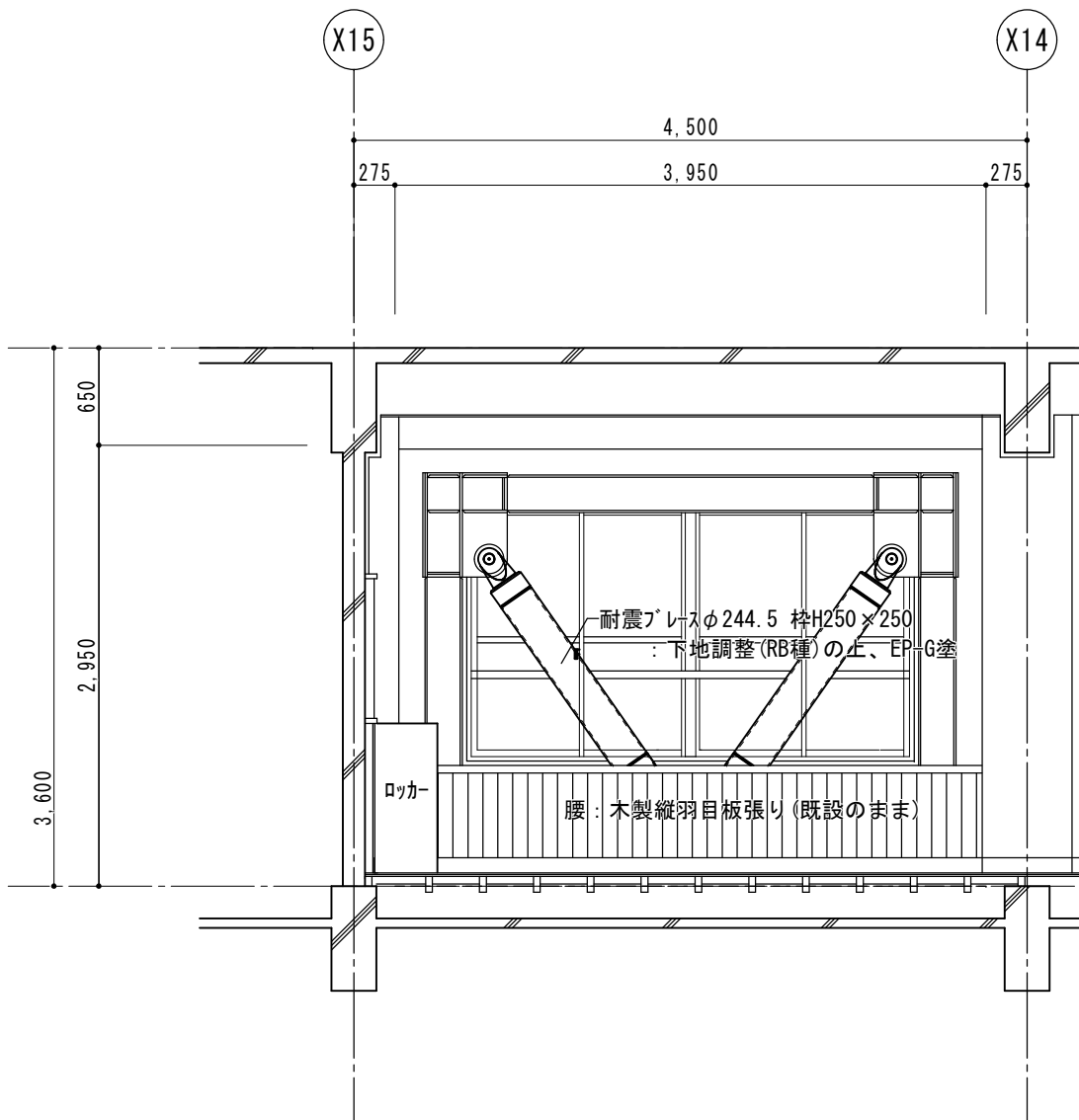
《3階普通教室》



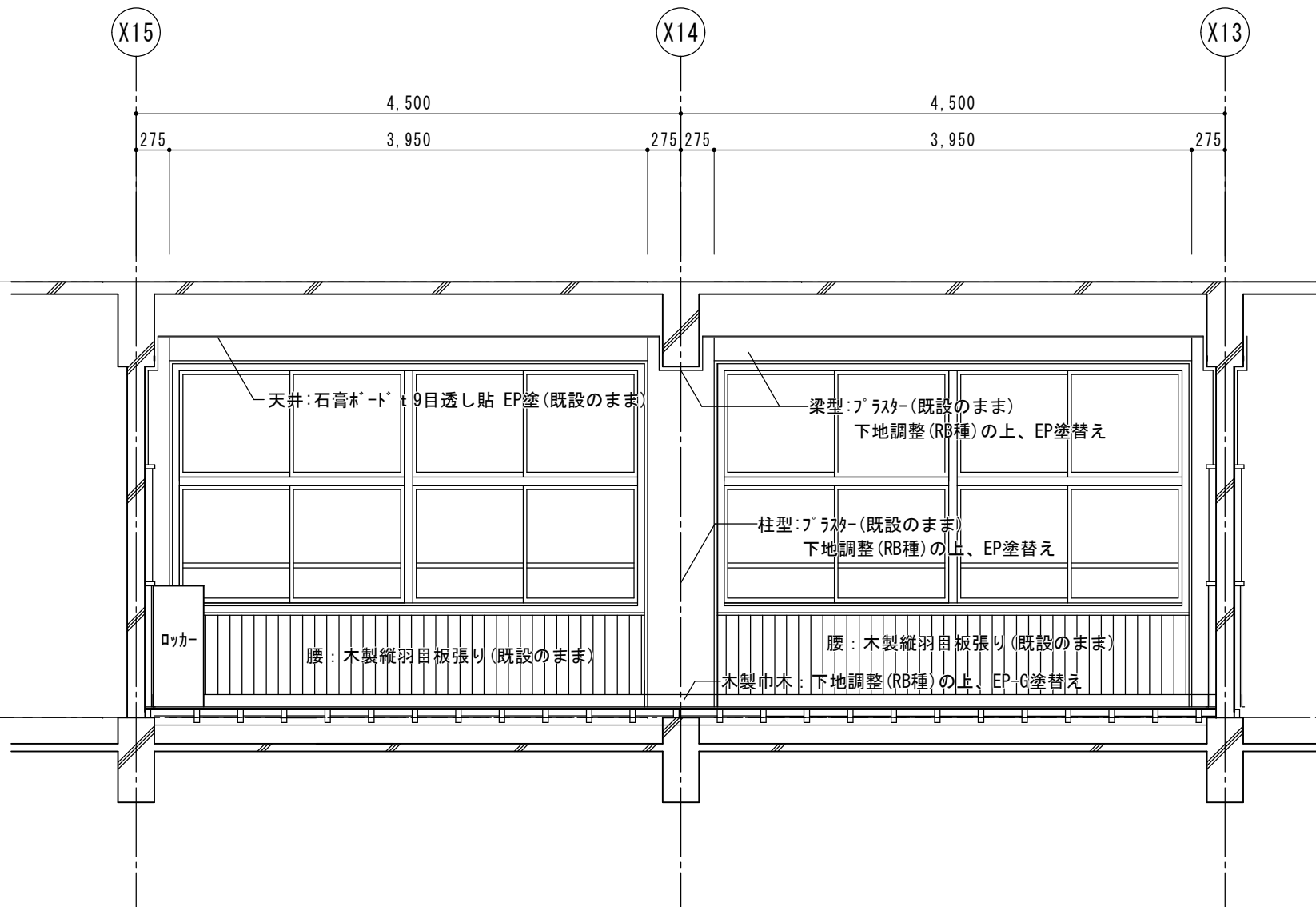
A



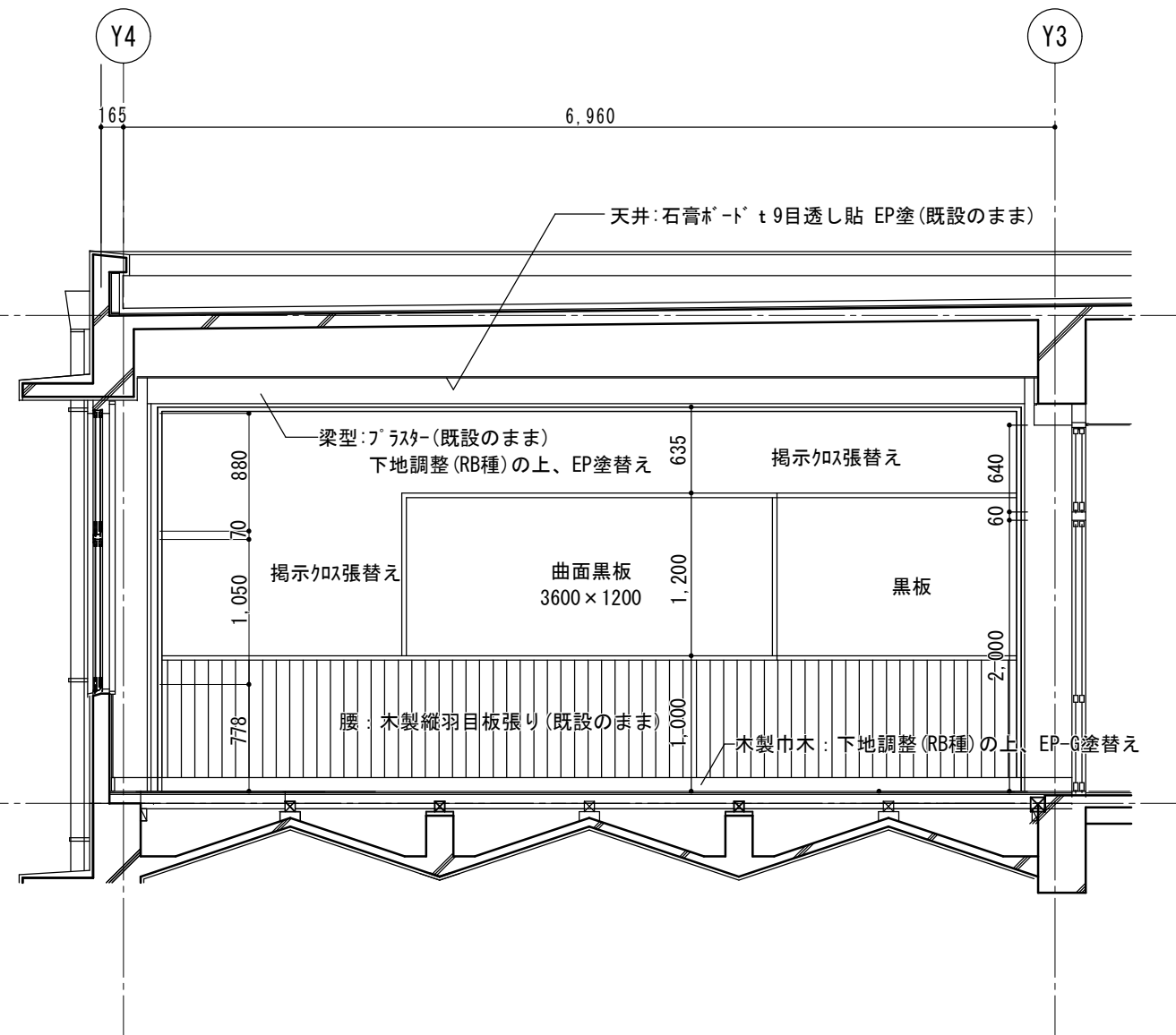
B



C
(学習室3)



C
(3-1・3-2)



D

3階 普通教室 展開図 S=1/50

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/50

■drawing title
3階 普通教室 展開図

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

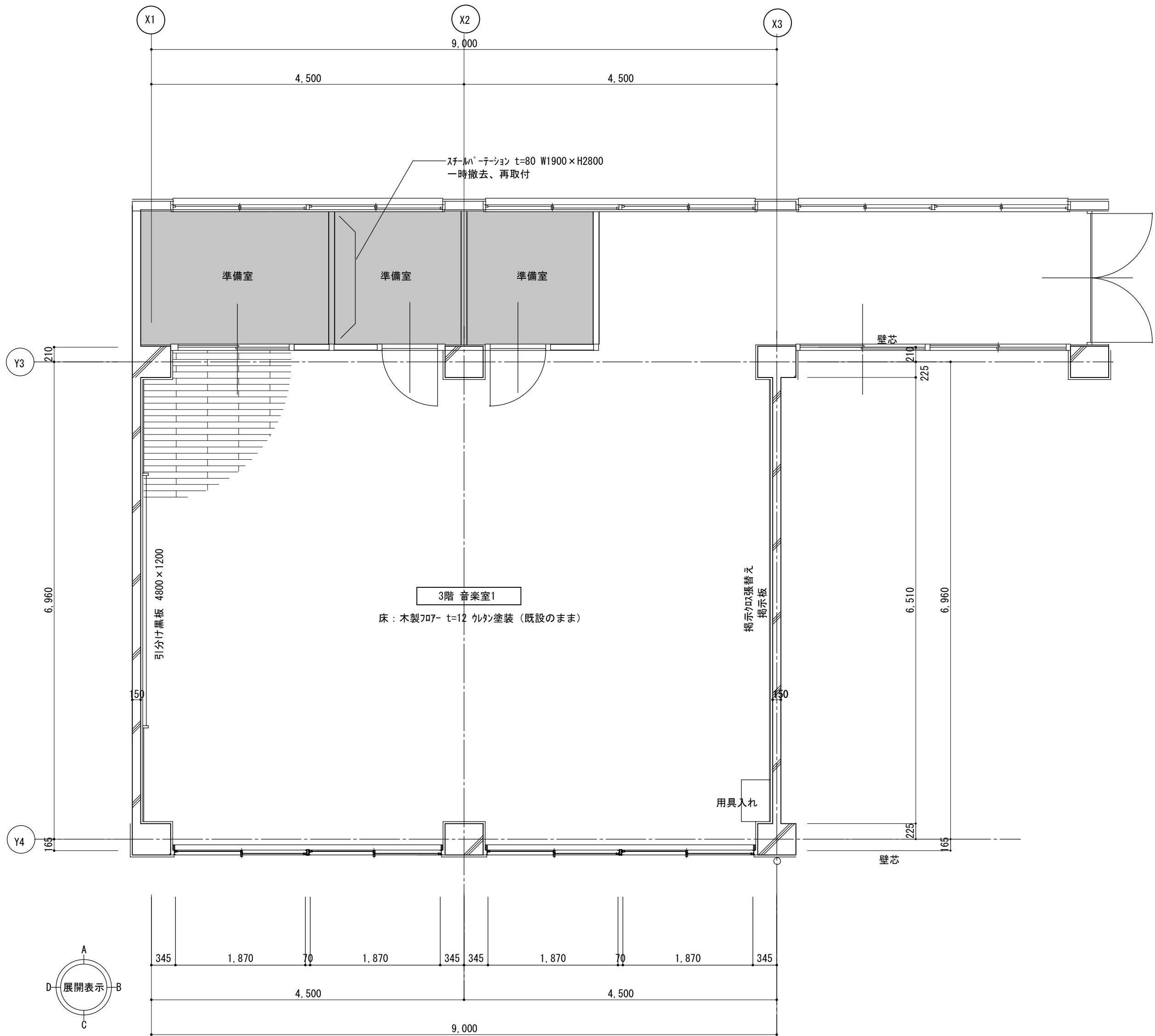
一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-31
原図: A2

《1、2階音樂室1》



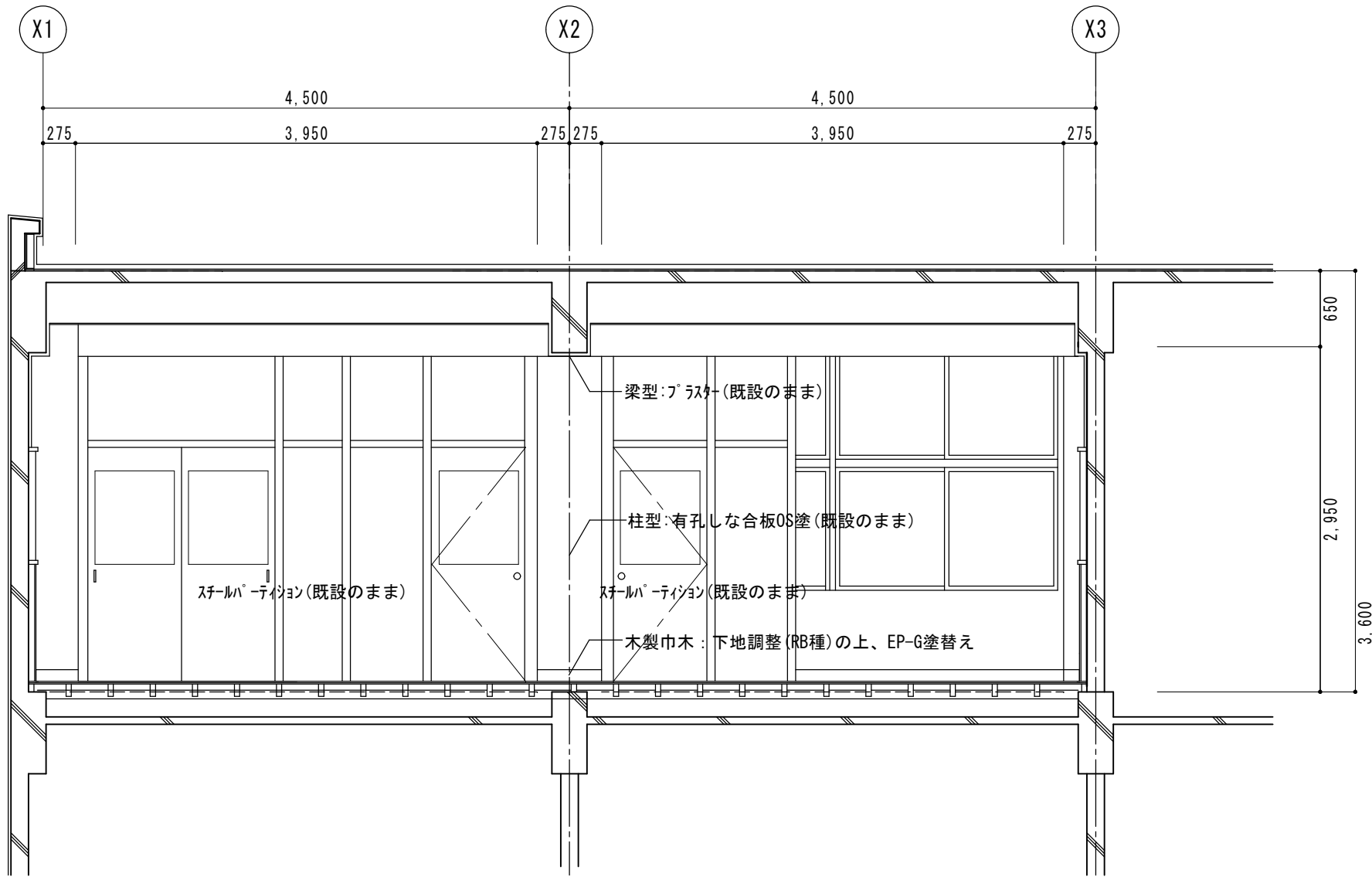
3階 音楽室1 平面詳細図 S=1/50

凡 例

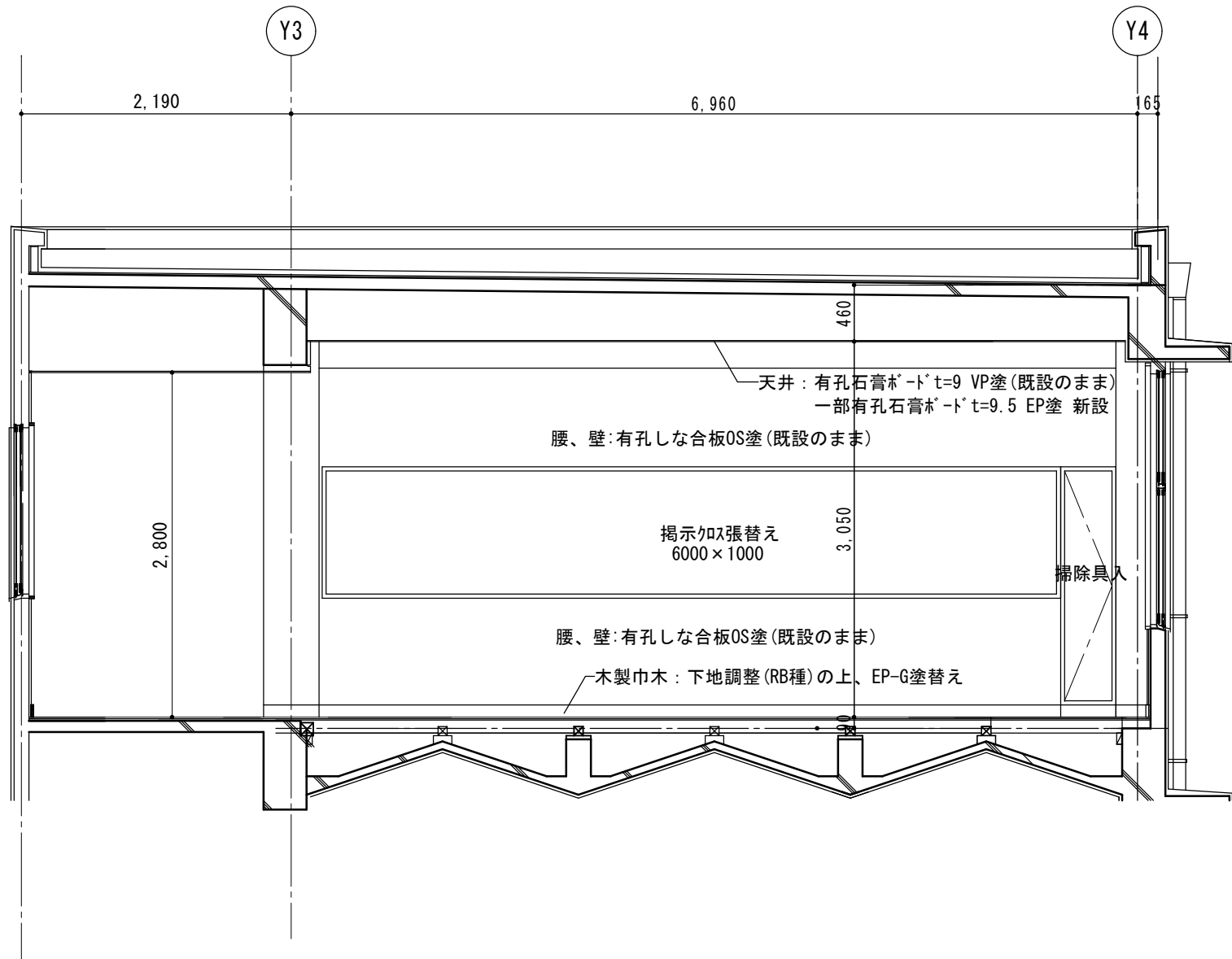
: 塗裝改修対象外範圍

共通教室		教室数
3階	(音楽室1)	1
2階		
1階		

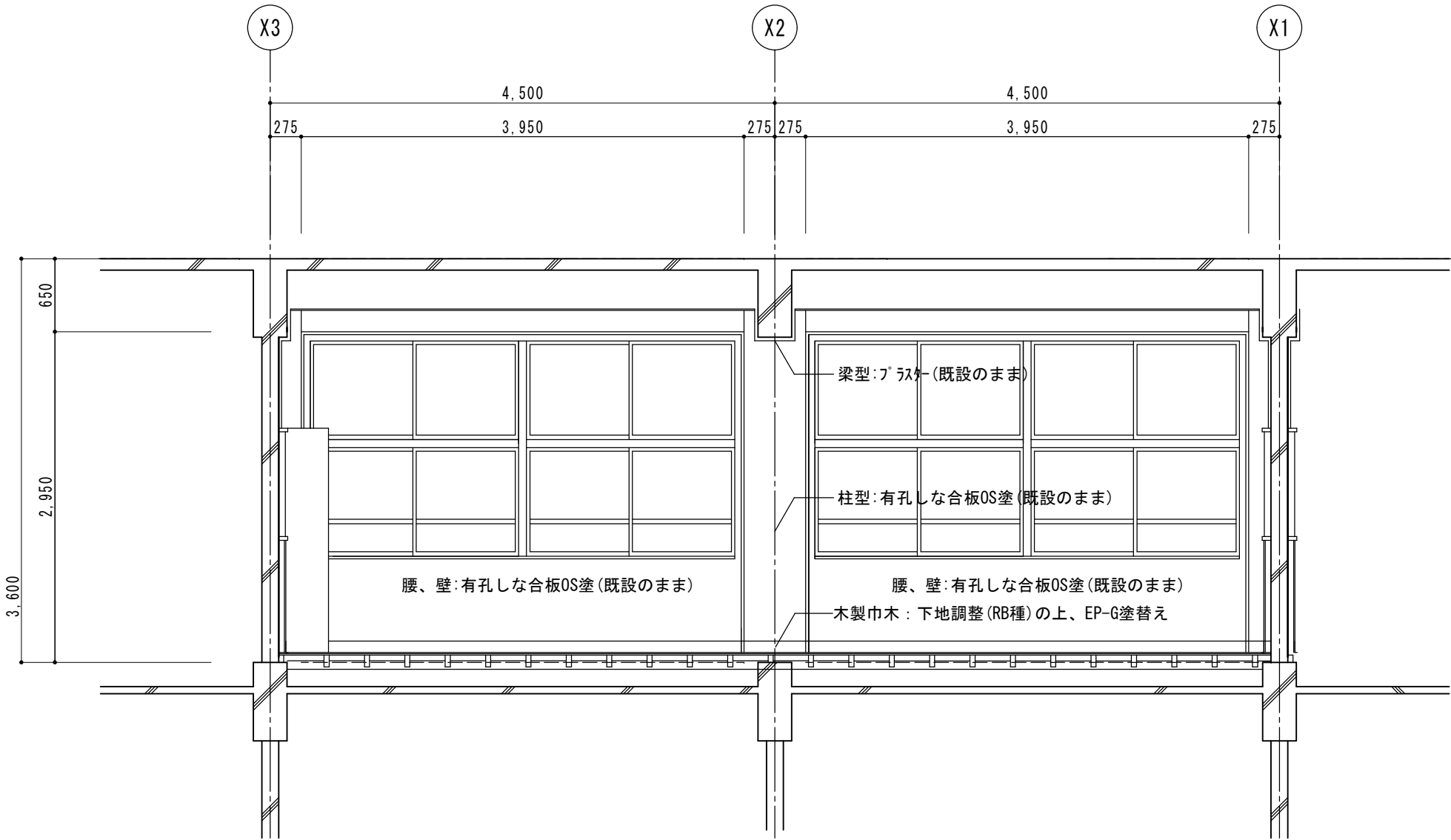
《3階音楽室1》



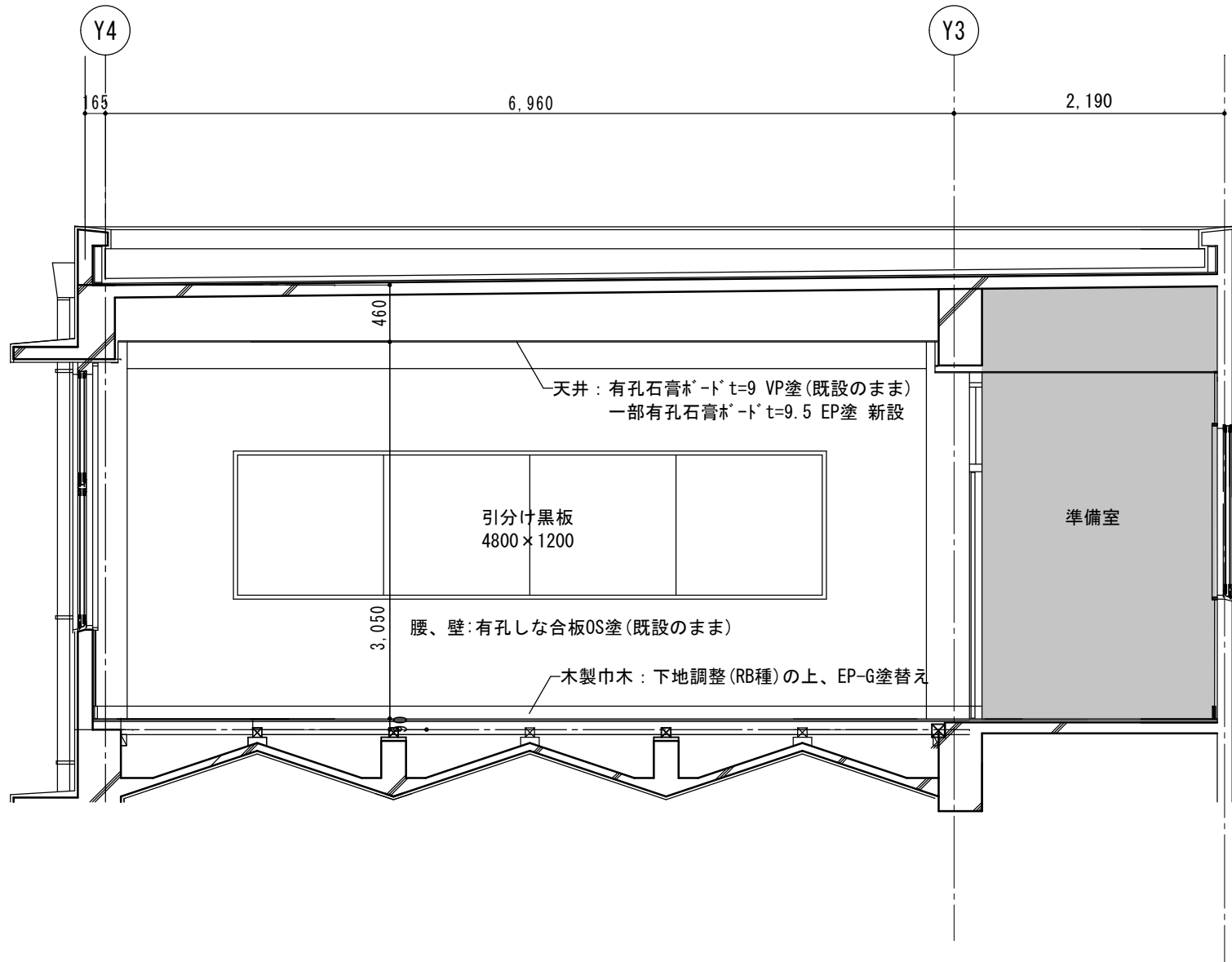
A



B



C



D

3階 音楽室1 展開図 S=1/50

凡 例

■ : 塗装改修対象外範囲

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/50

■drawing title
3階 音楽室1 展開図

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

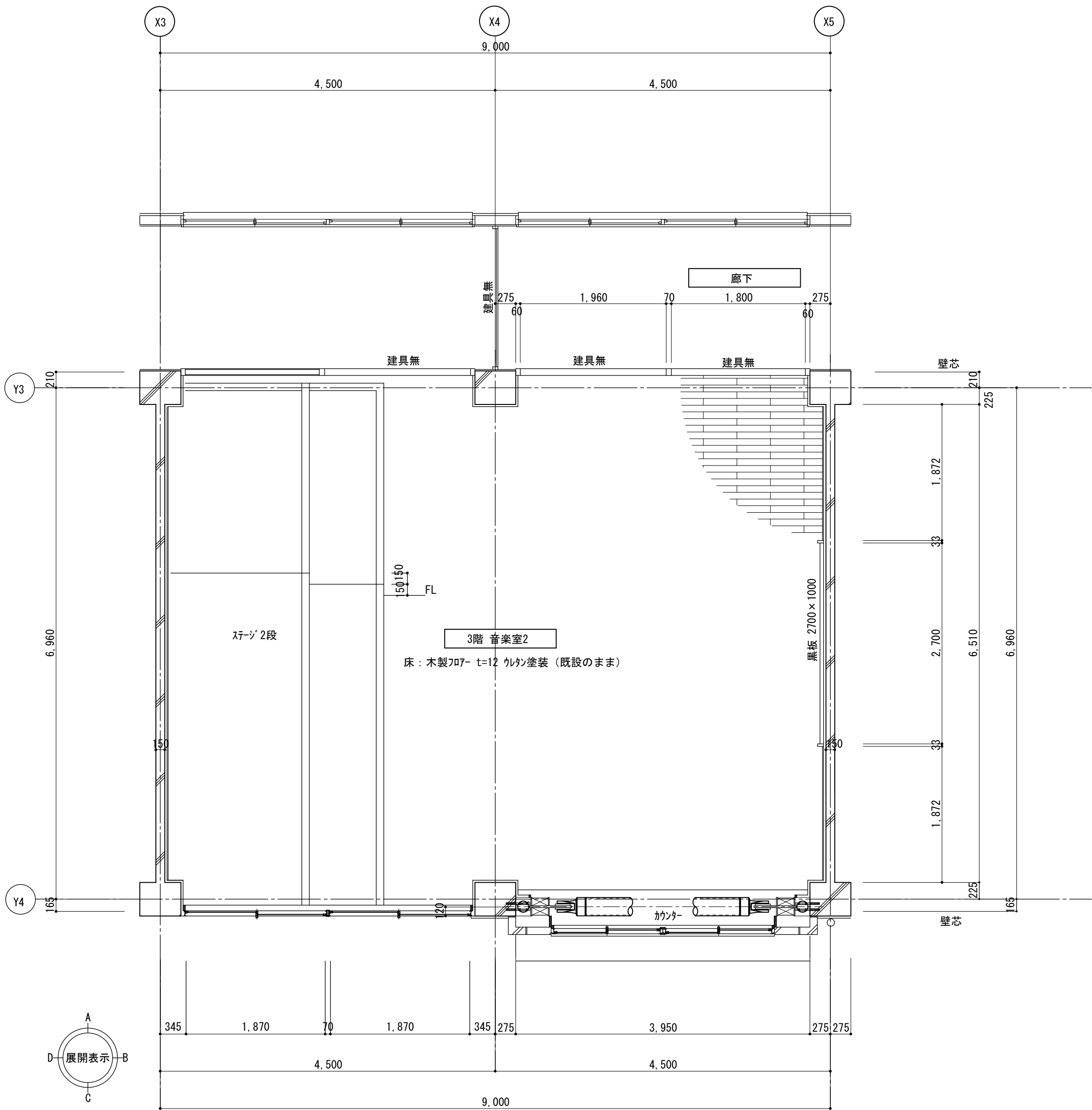
■drawing no.

■sheet no.

A-33

原図: A2

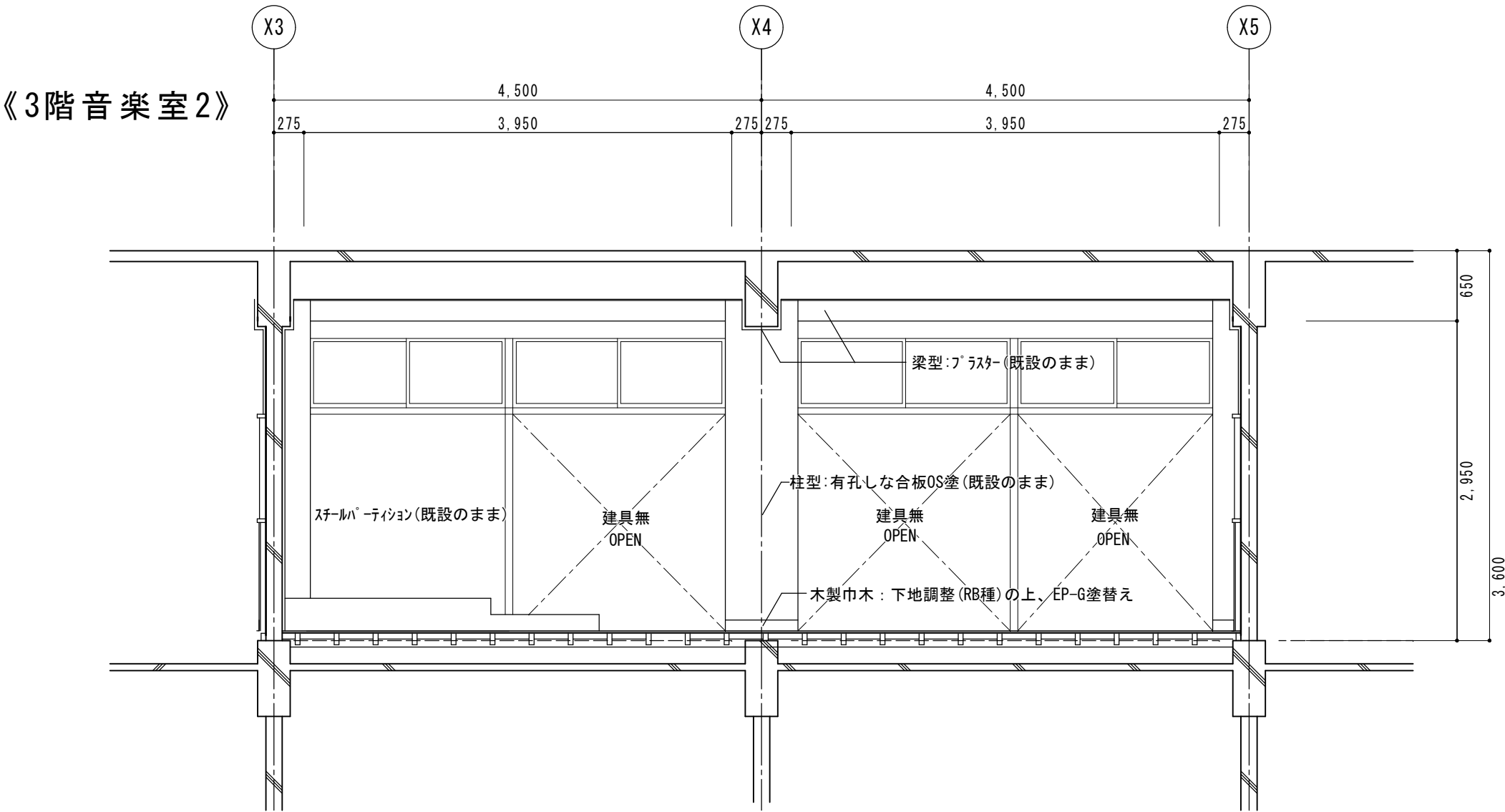
《3階音楽室2》



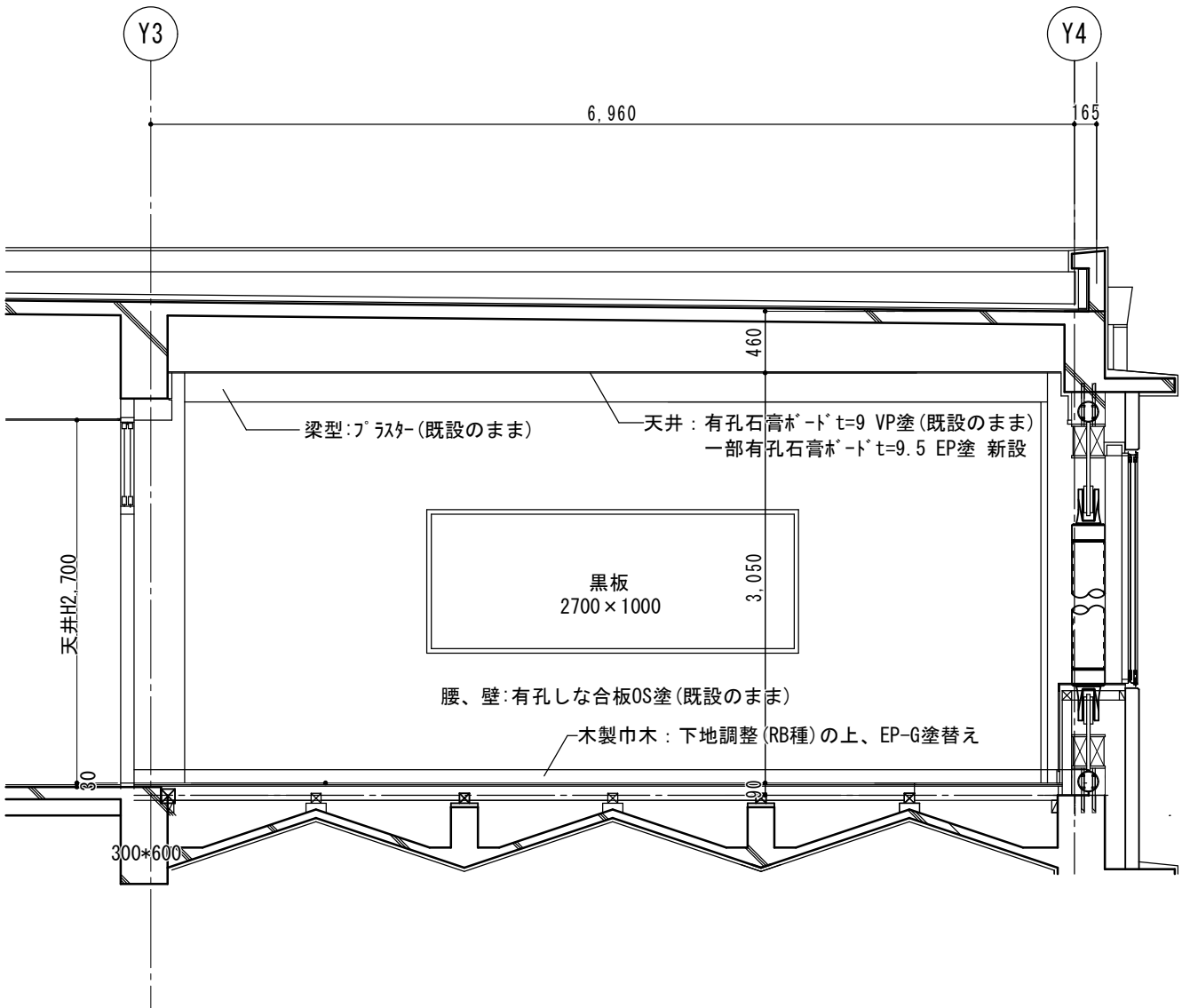
3階 音楽室2 平面詳細図 S=1/50

共通教室		教室数
3階	(音楽室2)	1
2階		
1階		

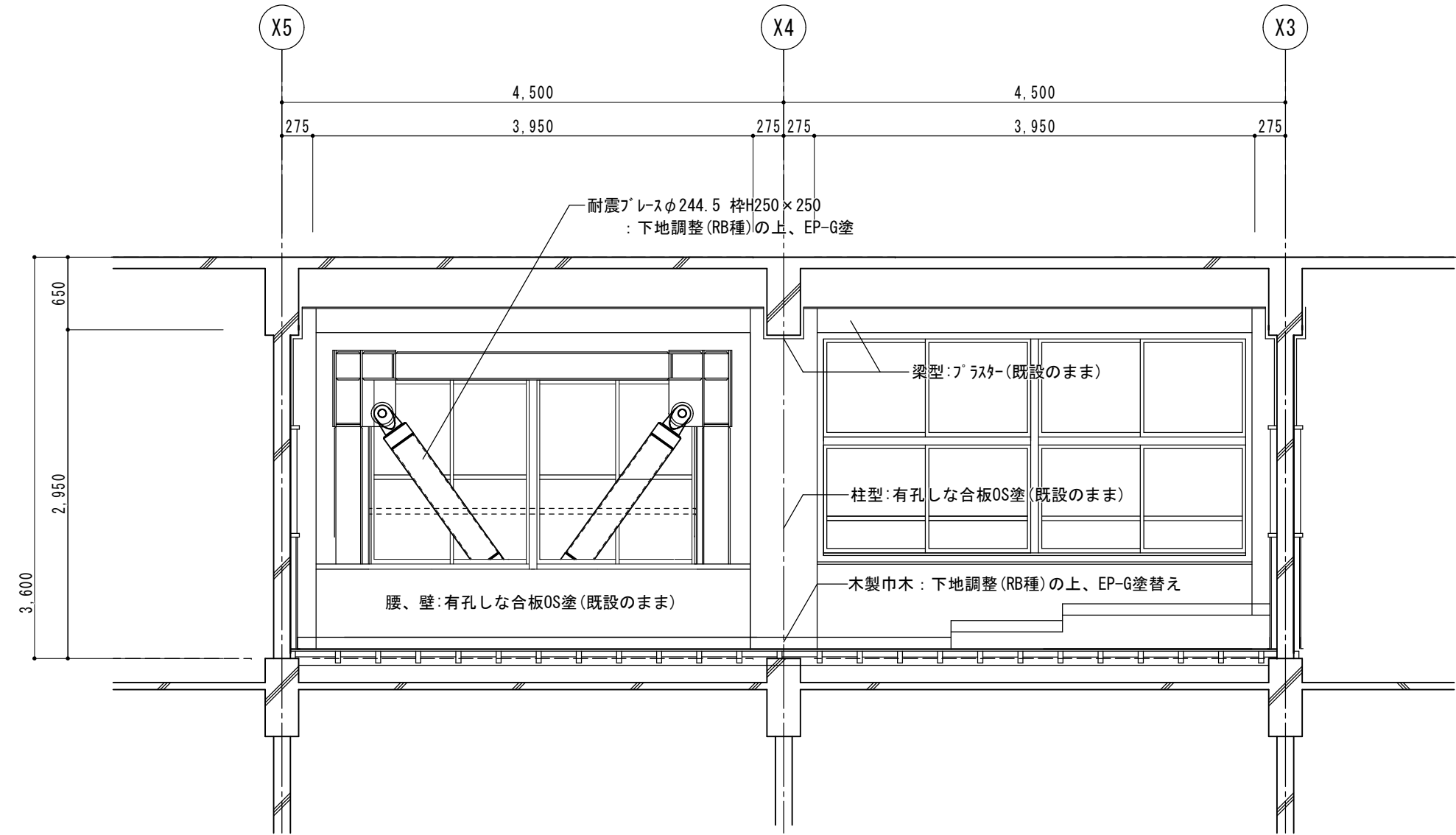
《3階音楽室2》



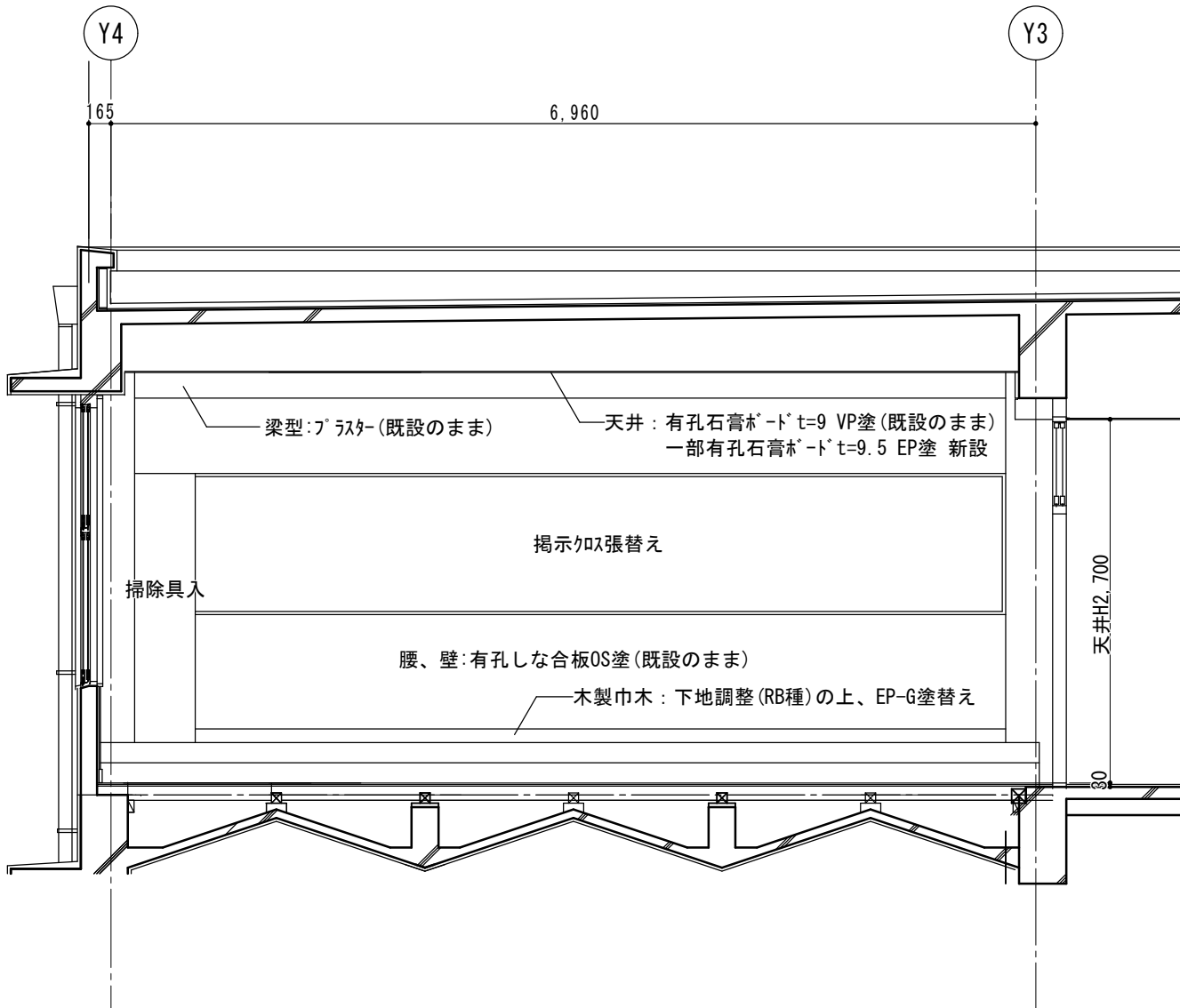
A



B

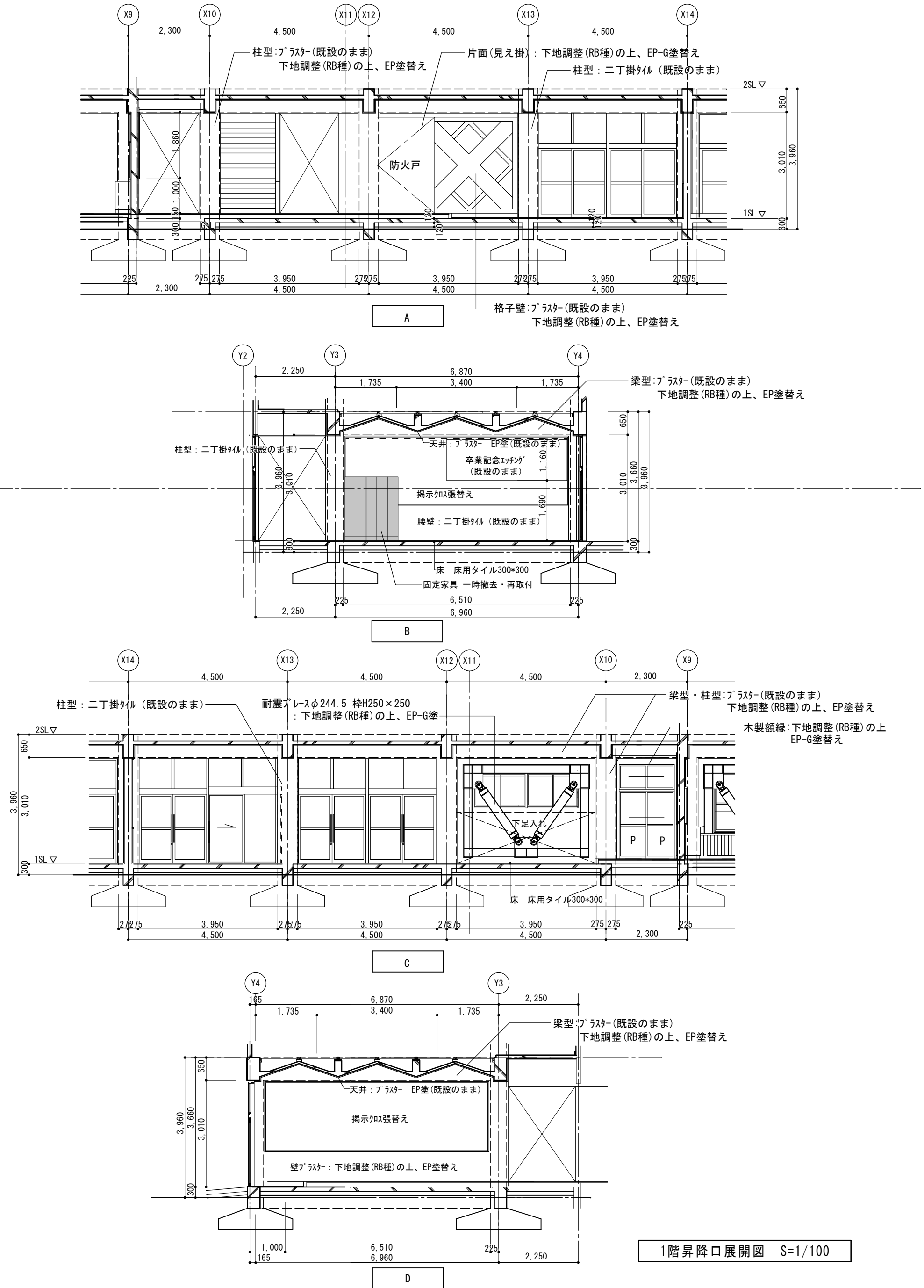
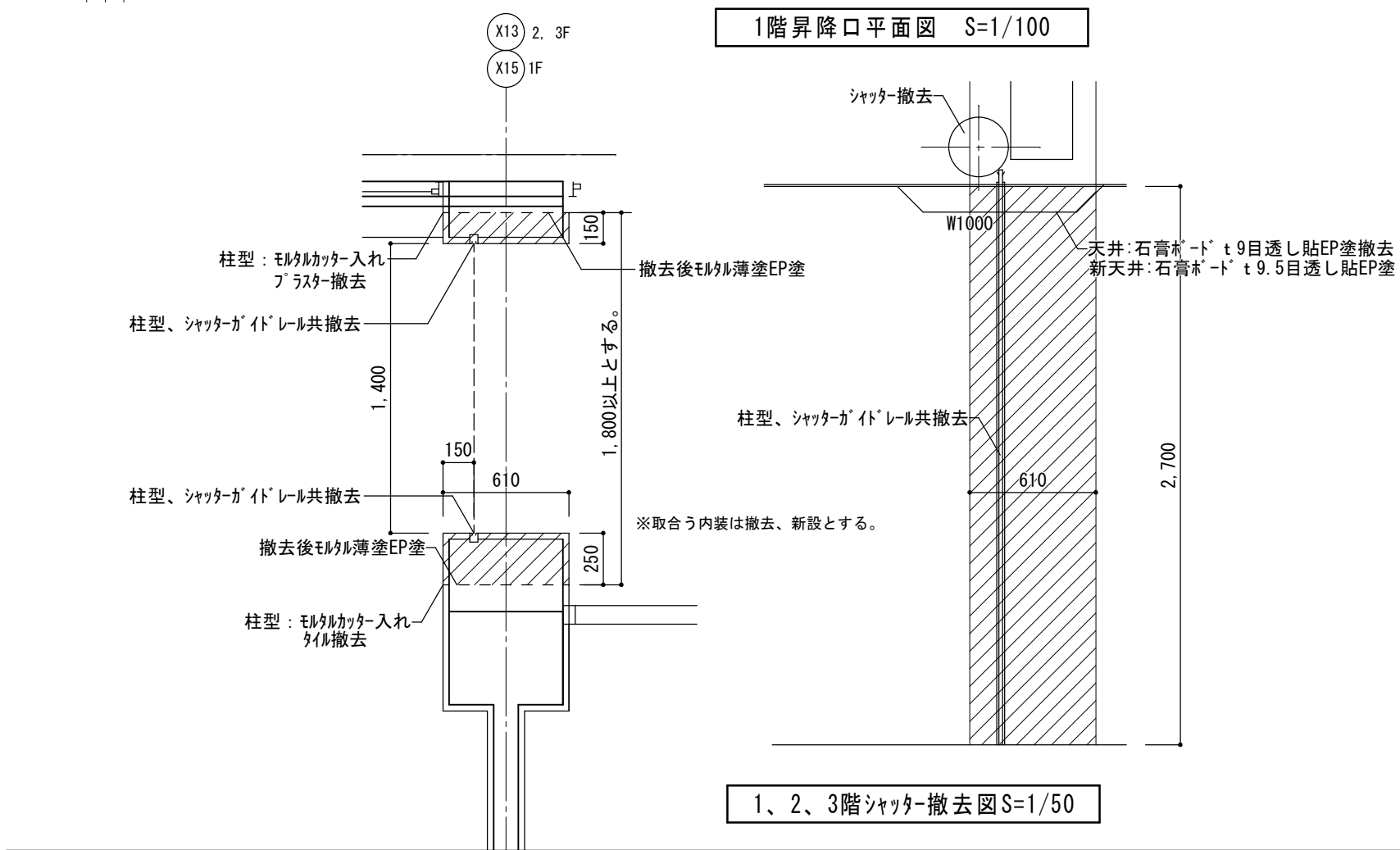
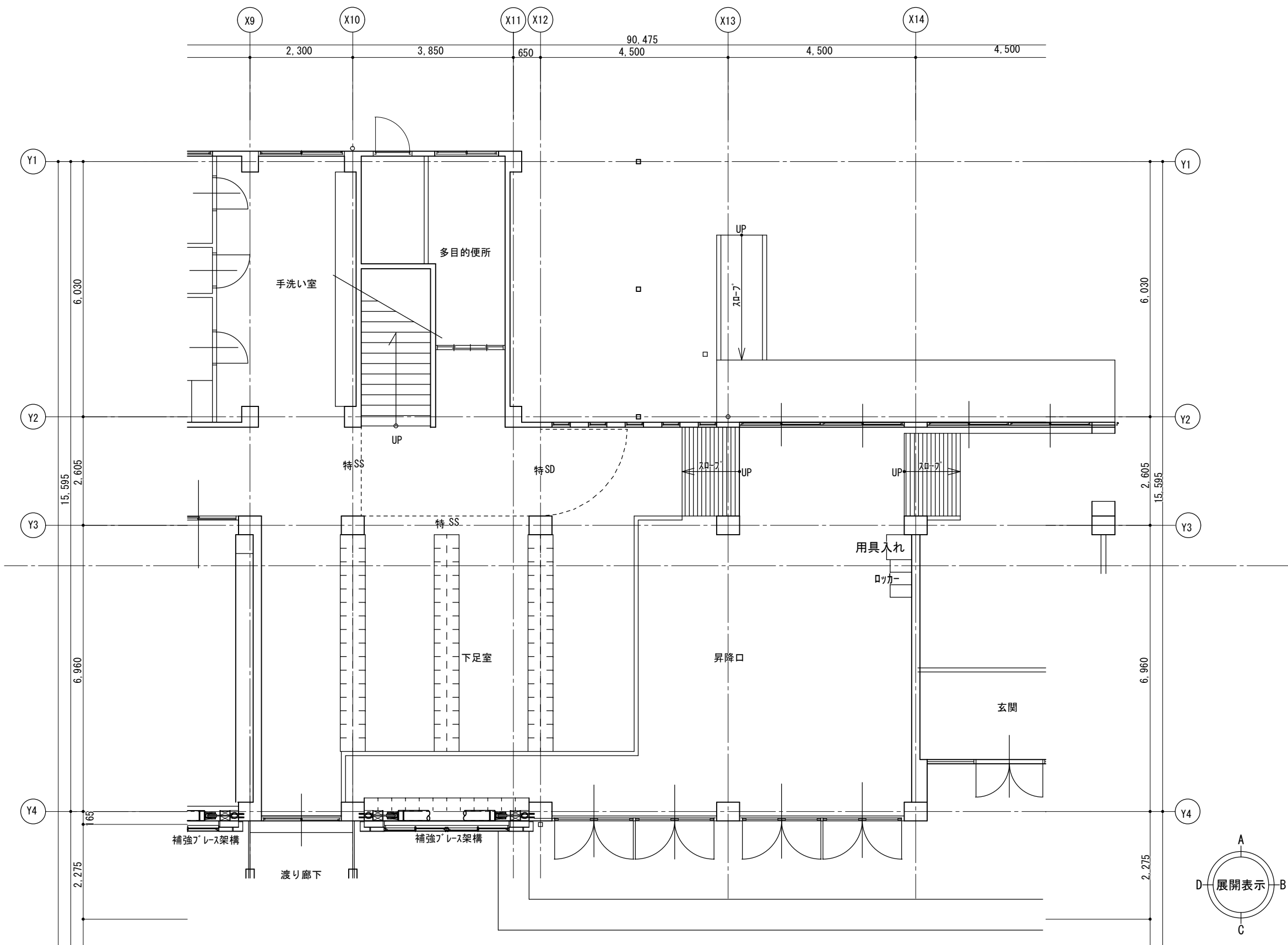


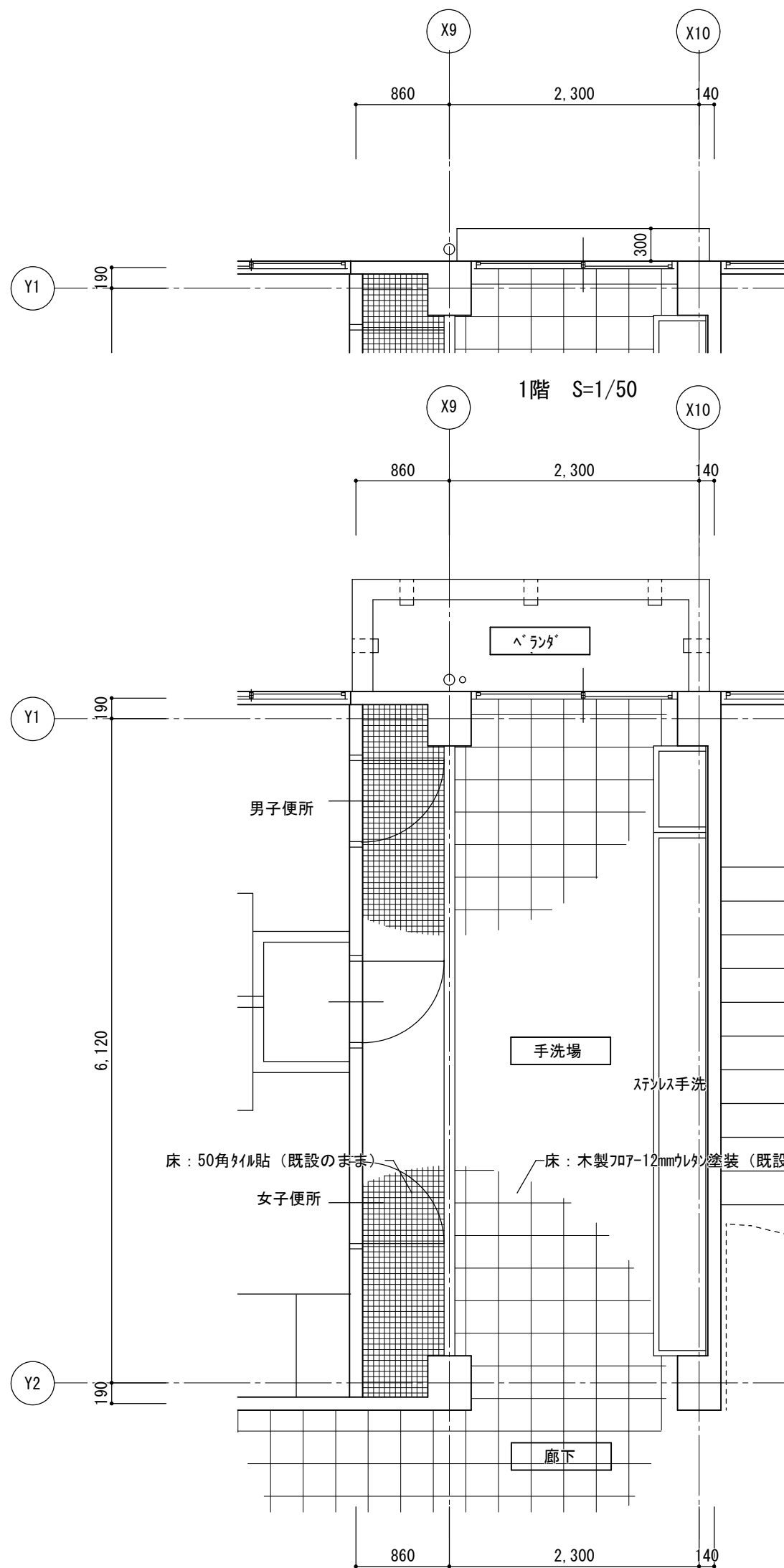
C



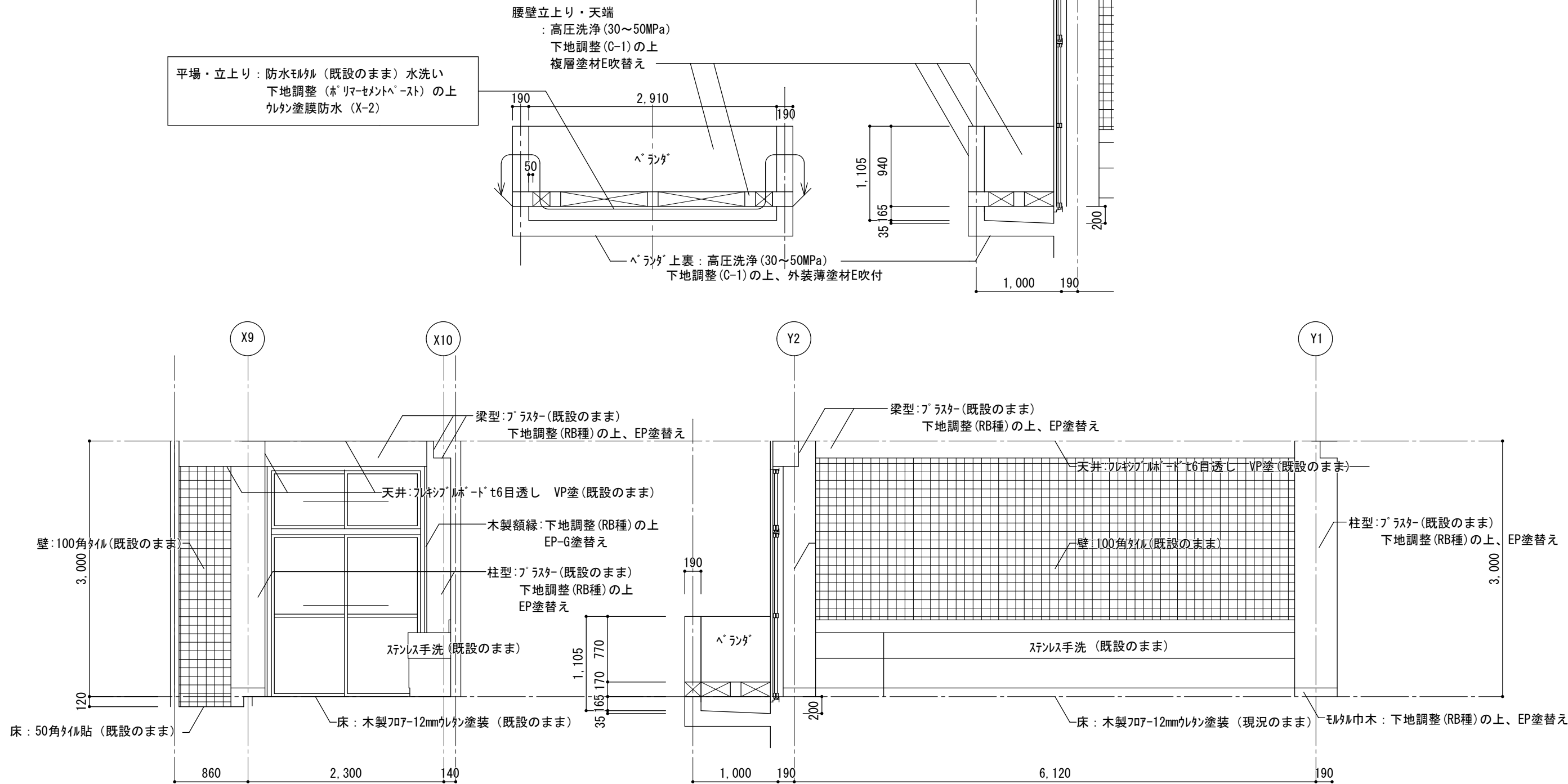
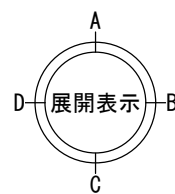
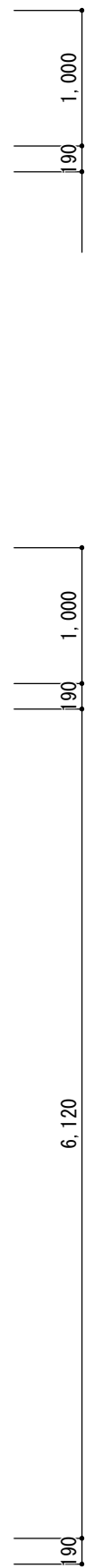
D

3階 音楽室2 展開図 S=1/50



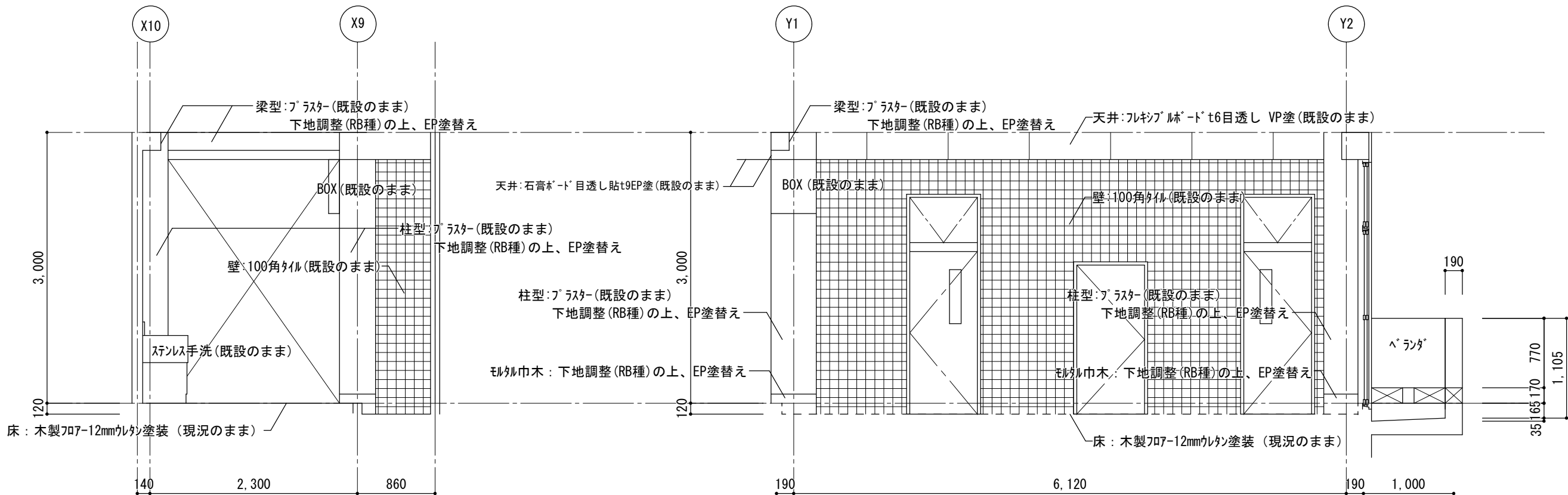


1～3階手洗場平面詳細図 S=1/50



A

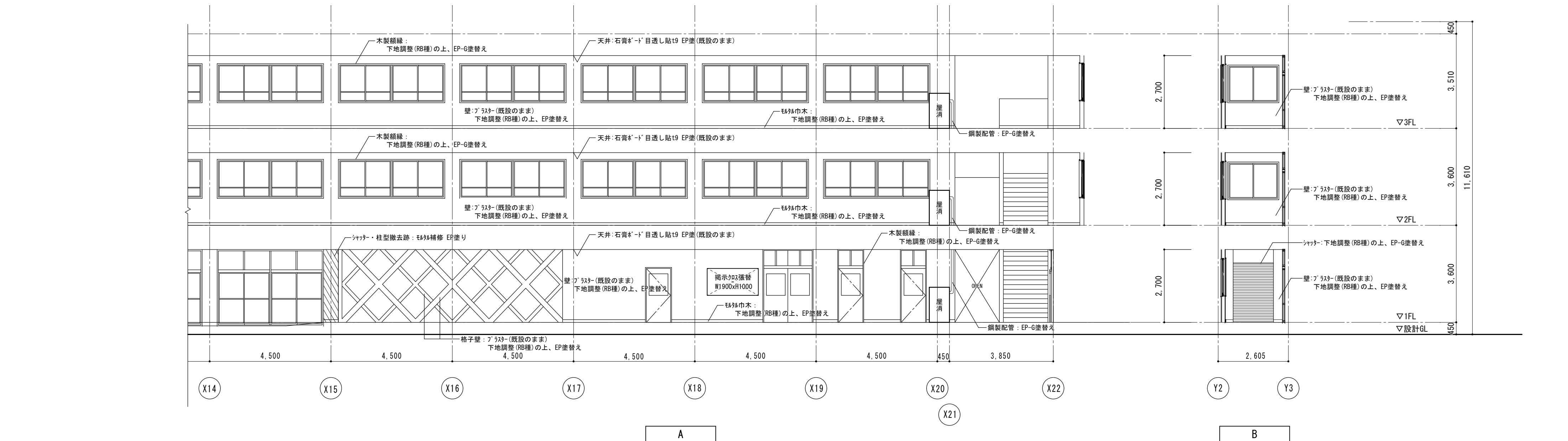
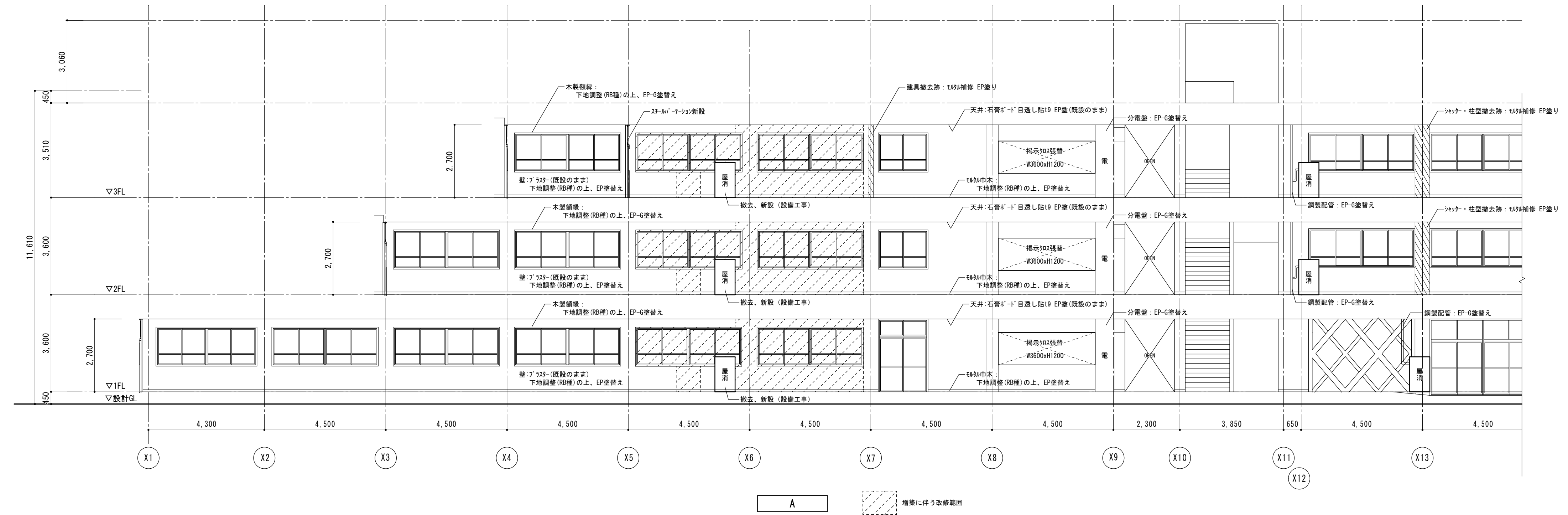
B

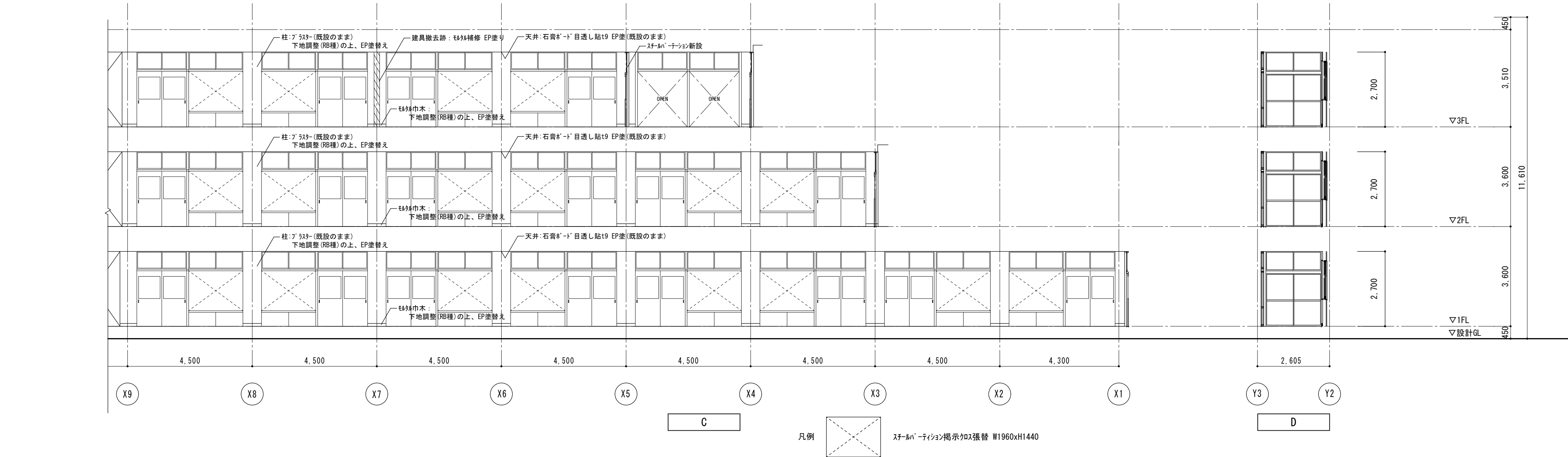
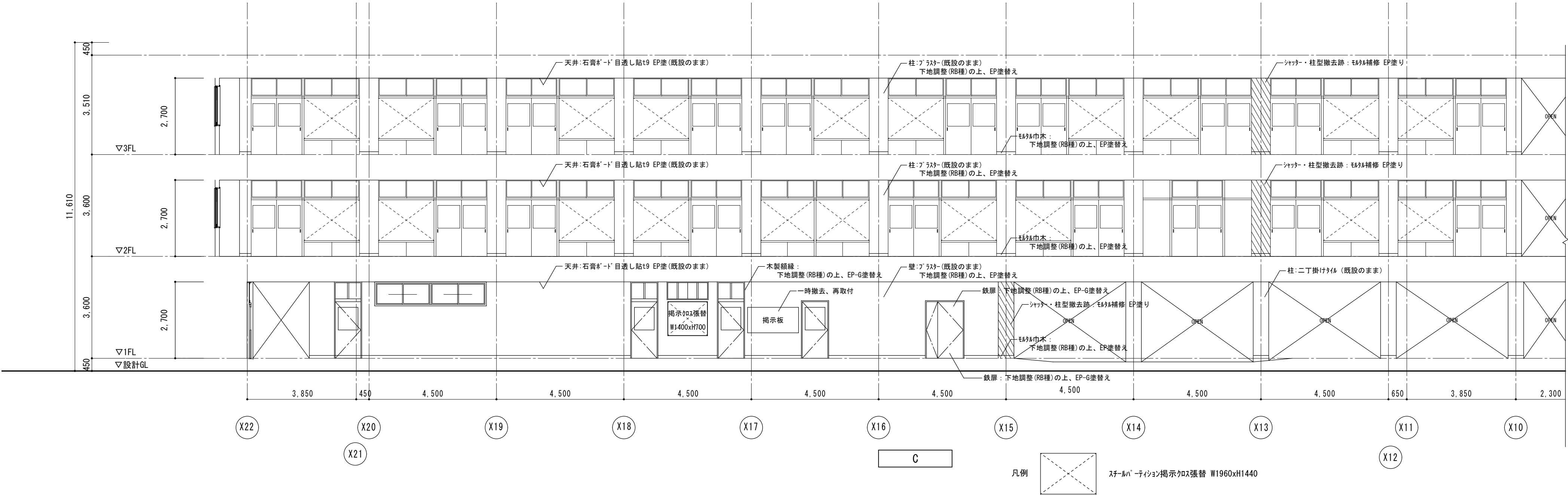


C

D

1～3階手洗場展開図S=1/50





memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1/100

drawing title
廊下展開図 2

project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

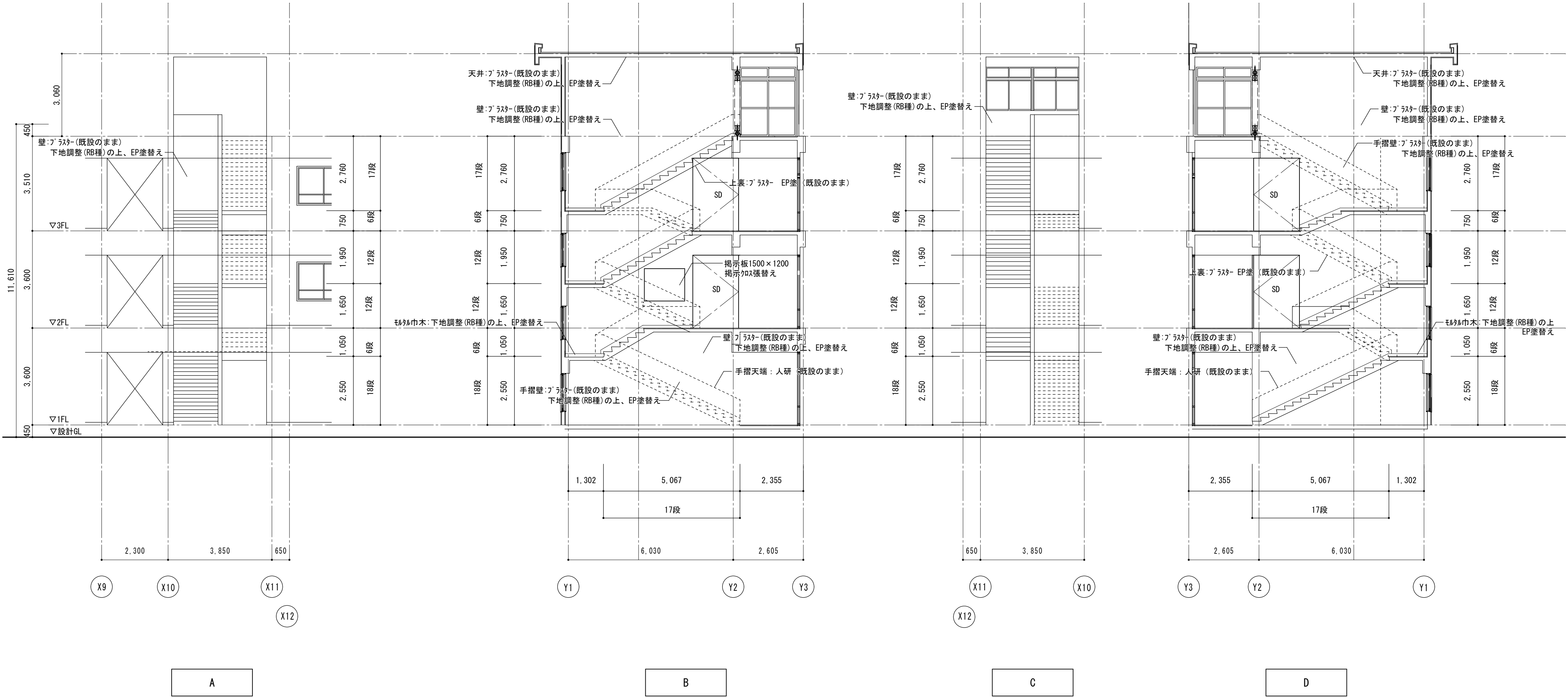
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

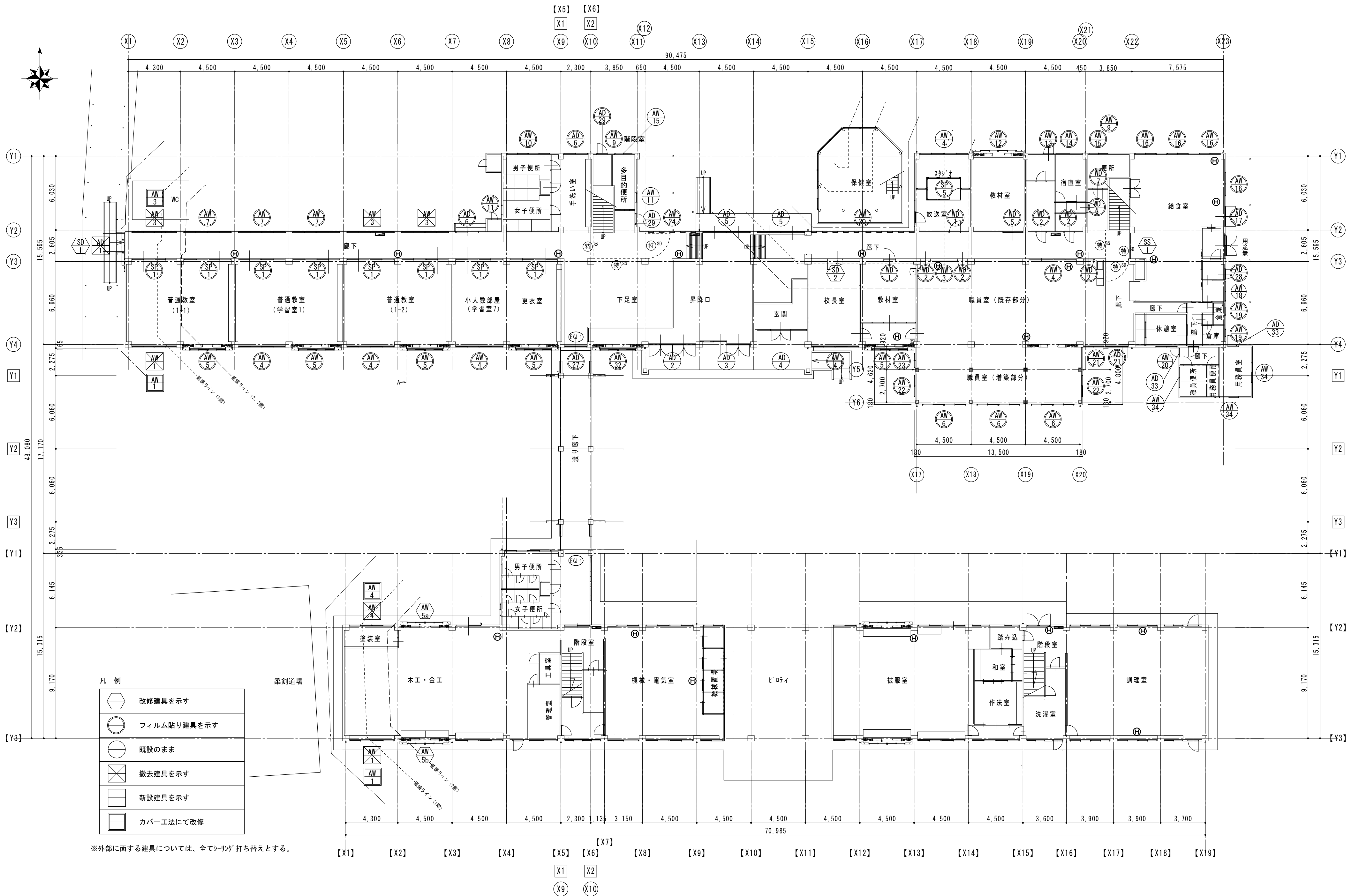
sheet no.

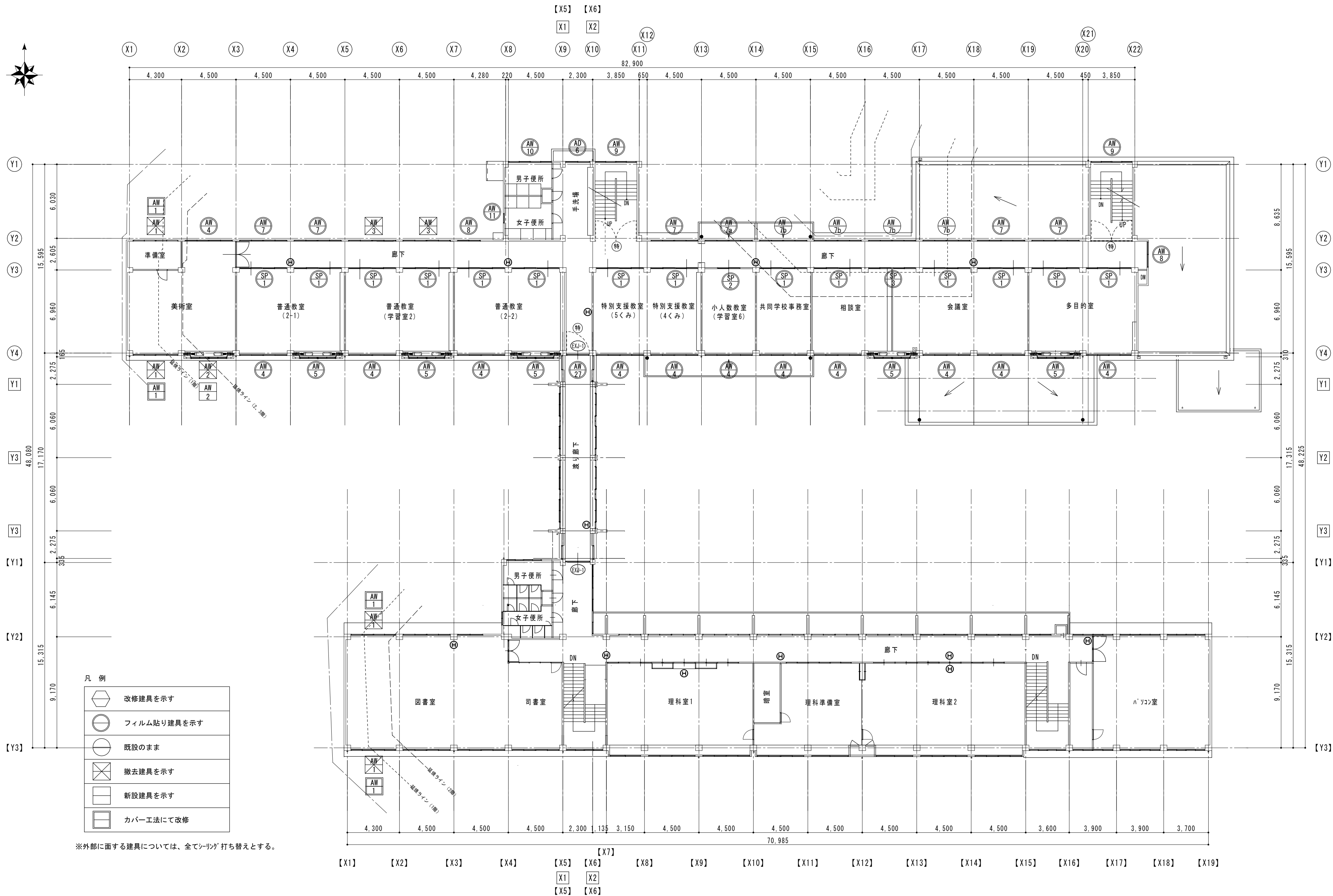
A-39
原図: A2



西階段展開図 S=1/100

※防火戸片面 (見え掛) : 下地調整 (RB種) の上、EP-G塗替え 枠共
1700×2700





凡 例	
	改修建具を示す
	フィルム貼り建具を示す
	既設のまま
	撤去建具を示す
	新設建具を示す
	カバー工法にて改修

※外部に面する建具については、全てシーリング打ち替えとする。

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/200

■drawing title
2階建具表キプラン

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

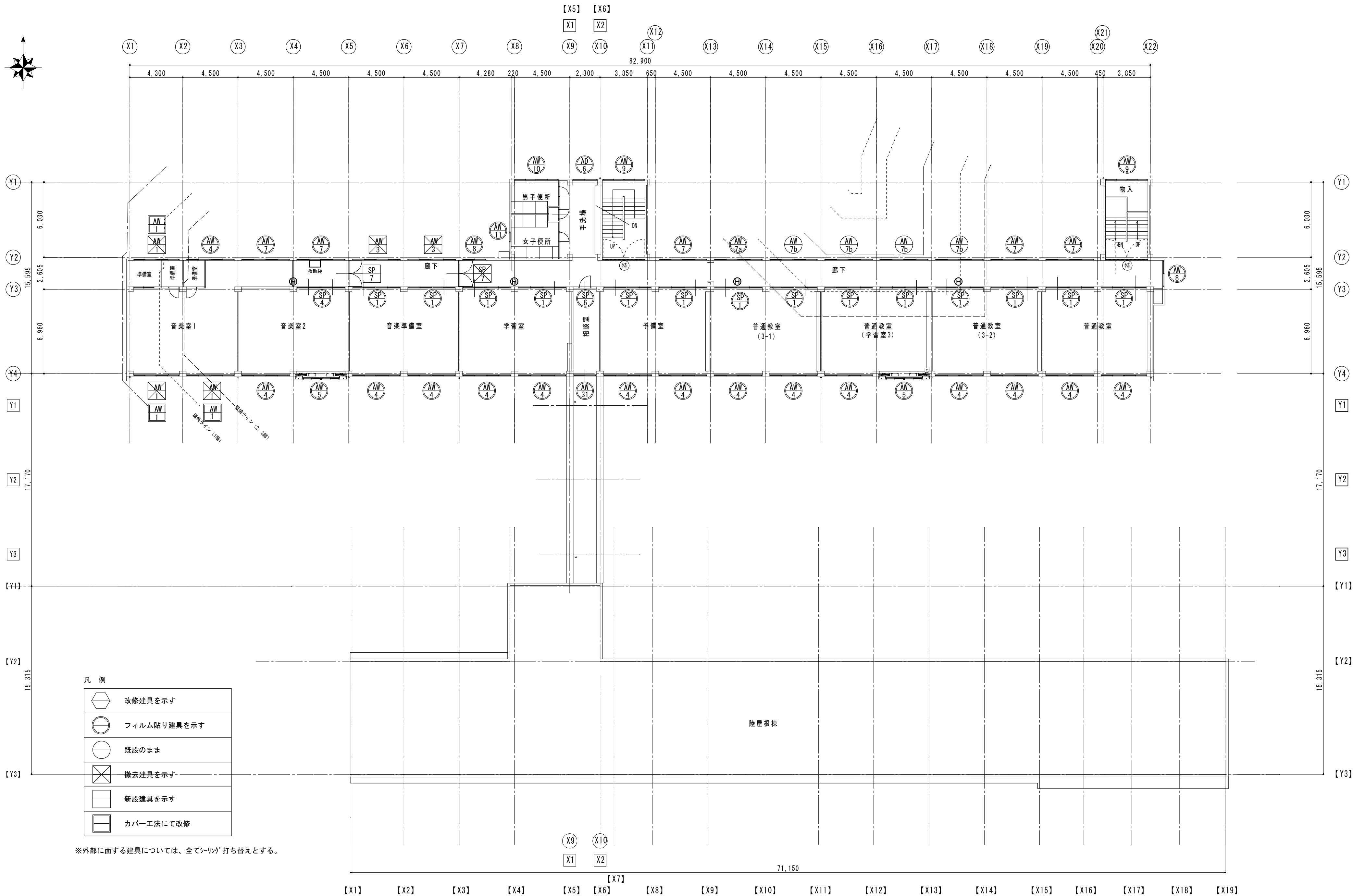
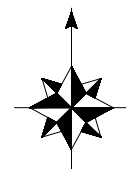
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-43
原図: A2



■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/200

■drawing title
3階建具表キープラン

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

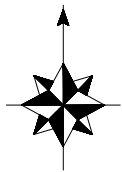
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

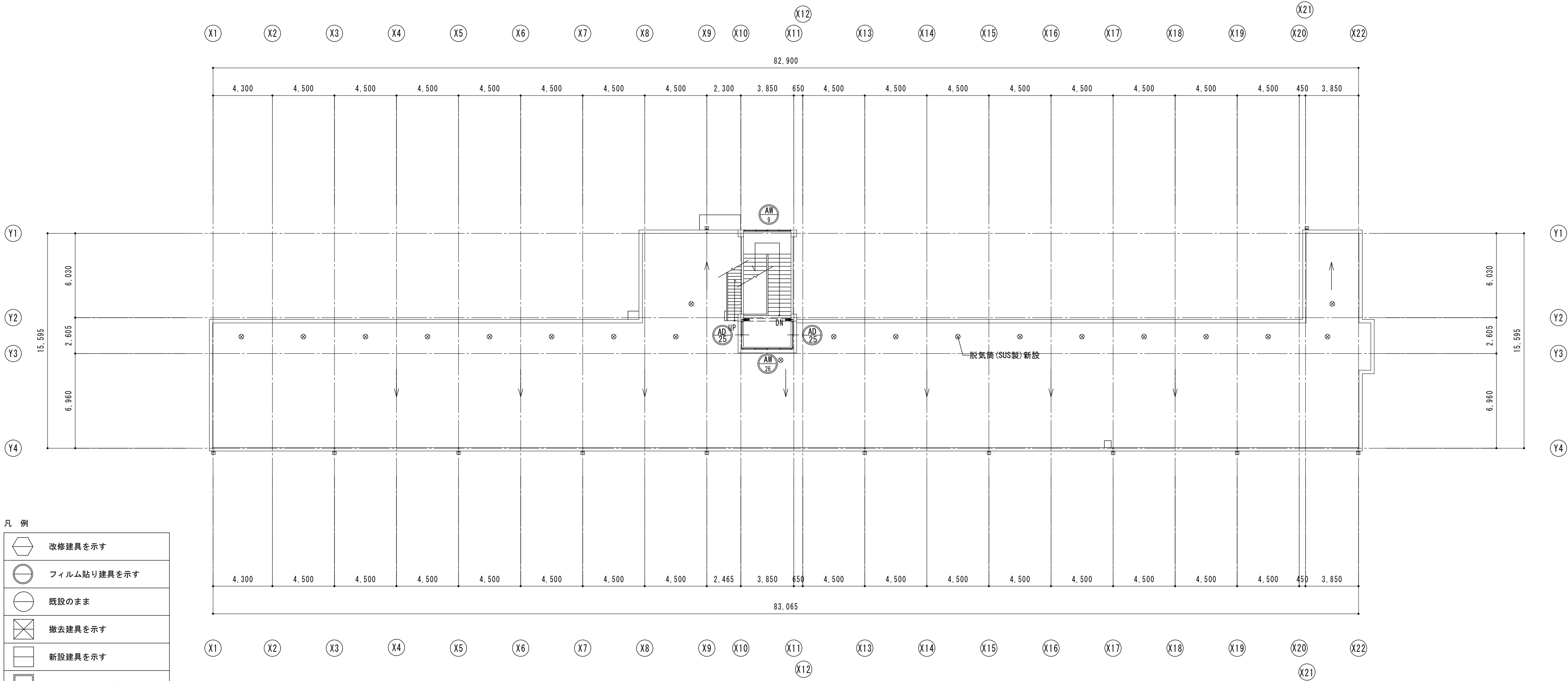
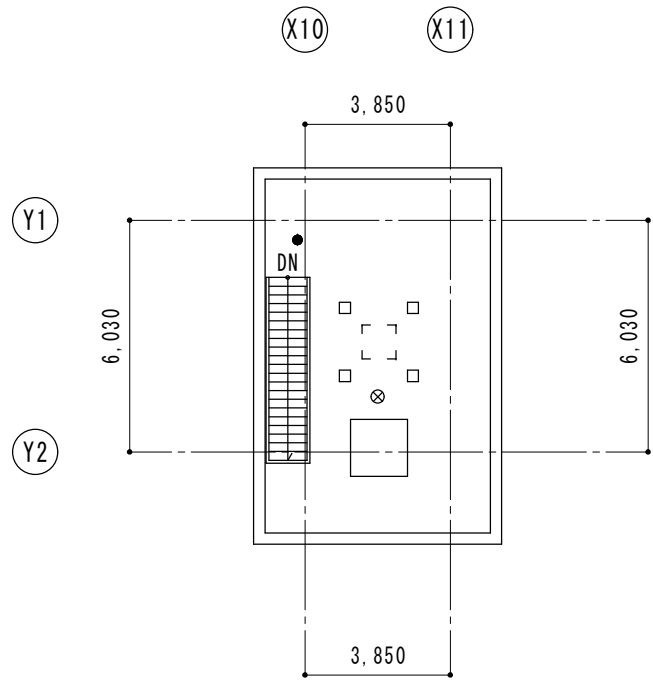
■drawing no.

■sheet no.

A-44
原図: A2



PH階 屋根伏図 1/200



凡 例

	改修建具を示す
	フィルム貼り建具を示す
	既設のまま
	撤去建具を示す
	新設建具を示す
	カバー工法にて改修

※外部に面する建具については、全てｼｰﾘﾝｸﾞ 打ち替えとする。

■memo

■check

client
architect
contractor

■scale

S=1/200

■drawing title

R階建具表ｷｰﾌﾟﾗﾝ

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

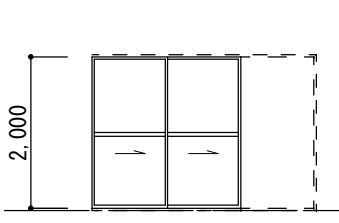
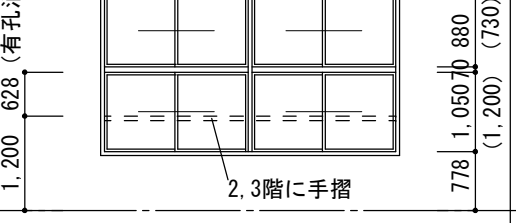
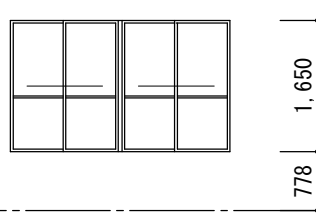
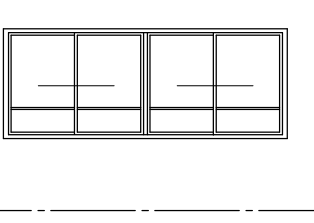
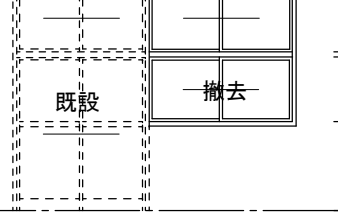
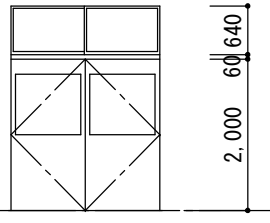
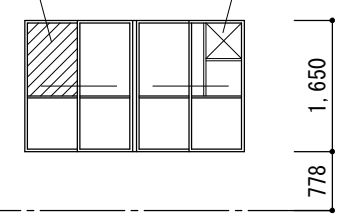
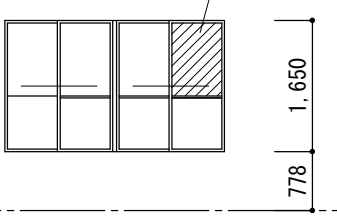
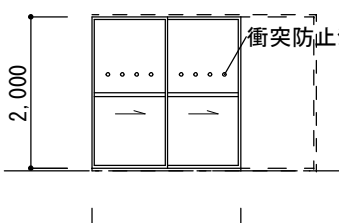
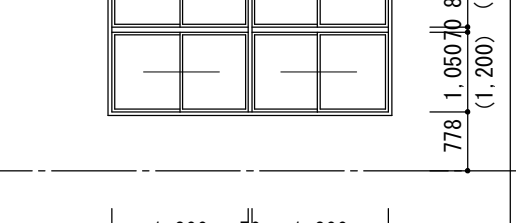
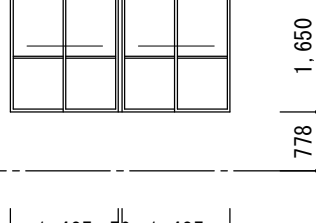
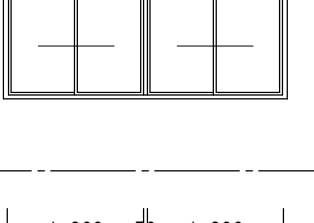
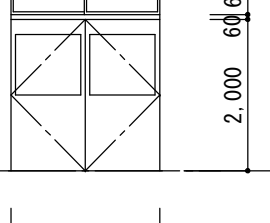
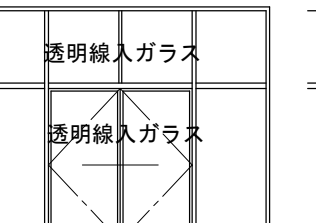
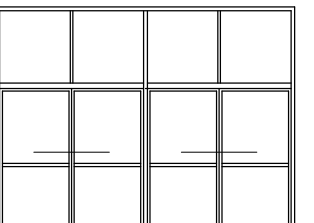
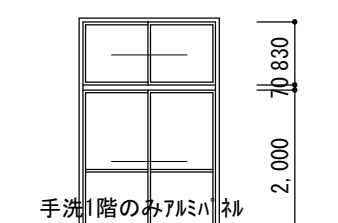
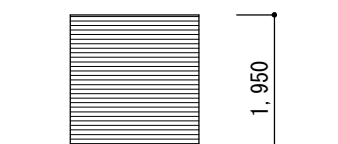
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-45
原図：A2

記号・数量	AD 2 × 1	AW 3 × 9	AW 2 × 1 ALC	AW 3 × 7	AW 4 × 1	SP 7 × 1	AW 5a × 1 ALC	AW 5b × 1 ALC
形状	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	撤去 	改修 	改修 
場所	管理棟1階廊下（西面）	管理棟1階普通教室（1-1）、2階美術室、3階音楽室1 特別教室棟1階木工・金工室、2階図書室	管理棟2階美術室	管理棟1～3階廊下	特別教室棟1階木工・金工	管理棟3階廊下（音楽室準備室前）	特別教室棟1階木工・金工室	特別教室棟1階木工・金工室
形式	7mm枠引戸（片引） 外付	7mm窓、連窓引違い窓	7mm連窓引違い窓	7mm連窓引違い窓	7mm段窓連窓引違い窓	軽量スチールドア（両開き）	7mm連窓引違い窓	7mm連窓引違い窓
見込	100		70	70	70	90	70	70
材質・仕上	7mmシルバ-	7mmシルバ-	7mmシルバ-	7mmシルバ-	7mmシルバ-	化粧鋼板	7mmシルバ-	7mmシルバ-
硝子		透明ガラス	透明ガラス	透明ガラス	透明ガラス	学校用強化型ガラス t=5	透明ガラス	透明ガラス
金物	引手、棒錠、その他一式		クレント、7mmアングルビース、7mm水切 他一式	クレント、7mm額縁、7mm水切 他一式	クレント、7mm額縁、7mm水切 他一式	省摺SUS304 t1.2、差し込み栓錠、クレント、その他一式	クレント、7mmアングルビース、7mm水切 他一式	クレント、7mmアングルビース、7mm水切 他一式
備考								
記号・数量	SD 1 × 1	AW 1 × 9	AW 2 × 1 ALC	AW 3 × 1	AW 4 × 1	SP 7 × 1		
形状	新設 防火設備 (告示1360号) 	新設 防火設備 (告示1360号) 	新設 防火設備 (告示1360号) 	新設 防火設備 (告示1360号) 	新設 防火設備 (告示1360号) 	新設 		
場所	管理棟1階廊下（西面）	管理棟1階普通教室（1-1）、2階美術室、3階音楽室1 特別教室棟1階木工・金工室、2階図書室	管理棟2階美術室	管理棟1～3階廊下	特別教室棟1階木工・金工	管理棟3階廊下（音楽室前）		
形式	スチール枠引戸（2枚片引戸） 外付	7mm窓、連窓引違い窓	7mm連窓引違い窓	7mm連窓引違い窓	7mm段窓連窓引違い窓	軽量スチールドア（両開き）		
見込	100	70	70	70	70	90		
材質・仕上	スチールカラー（RC用）	7mmシルバ-	7mmシルバ-	7mmシルバ-	7mmシルバ-	化粧鋼板		
硝子	網入り透明ガラス t=6.8	網入り透明ガラス t=6.8	網入り透明ガラス t=6.8	網入り透明ガラス t=6.8	網入り透明ガラス t=6.8	学校用強化型ガラス t=5		
金物	引手、棒錠、その他一式	クレント、7mm額縁、7mm水切 他一式	クレント、7mmアングルビース、7mm水切 他一式	クレント、7mm額縁、7mm水切 他一式	クレント、7mm額縁、7mm水切 他一式	省摺SUS304 t1.2、差し込み栓錠、クレント、その他一式		
備考								
記号・数量	AD 2 × 1	AD 3 × 1	AD 4 × 1	AD 5 × 2	AD 6 × 4		SS 1 × 1	
形状								
場所	1階昇降口	1階昇降口	1階昇降口	1階昇降口（北面）	1階廊下1～3階手洗室		1階給食室	
形式	7mm段窓、連窓両開き戸	7mm段窓、連窓片引き及び両開き戸	7mm段窓、両袖付両開き戸	7mm段窓、連窓引違い戸	7mm段窓引違い戸		スチールジャッキ	
見込								
材質・仕上	7mmシルバ-	7mmシルバ-	7mmシルバ-	7mmシルバ-	7mmシルバ-		スラットOP塗 下地調整(RB種)の上、EP-G塗替え	
硝子	透明線入ガラス	透明線入ガラス	透明線入ガラス	西側：線入透明ガラス 下7mmハル板	透明ガラス			
金物								
備考								

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/100

■drawing title
建具表 1

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

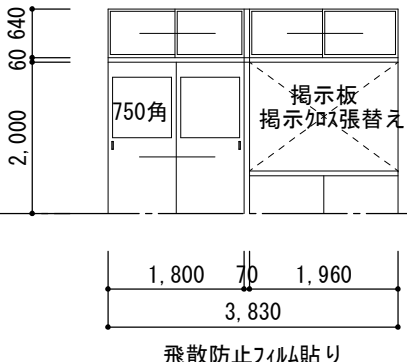
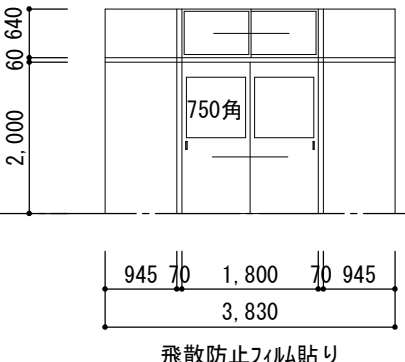
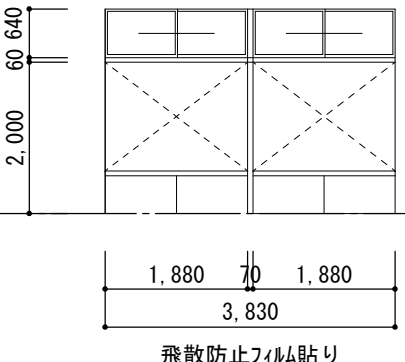
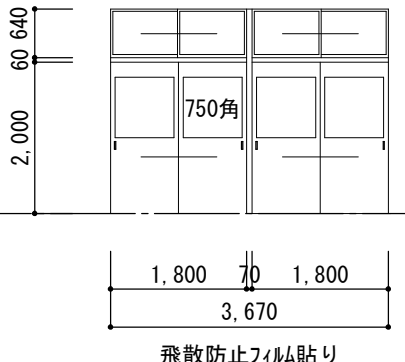
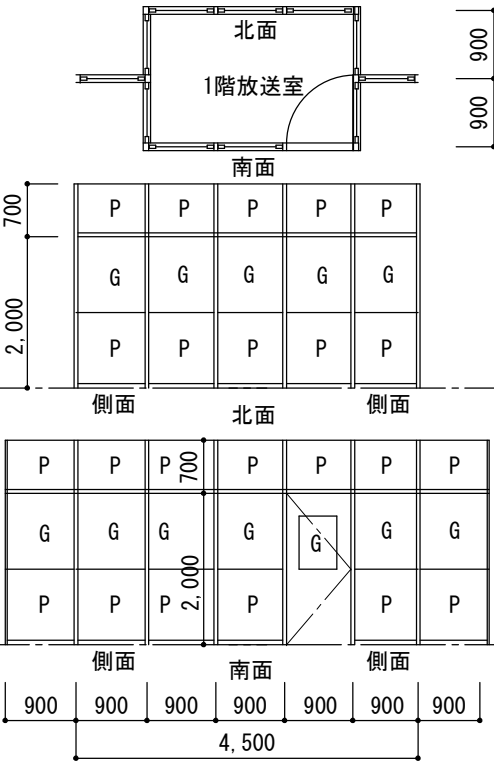
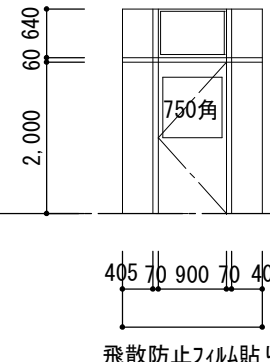
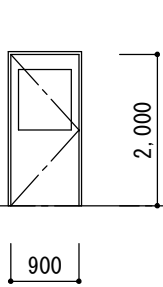
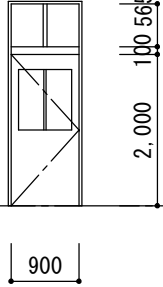
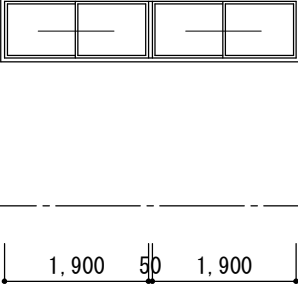
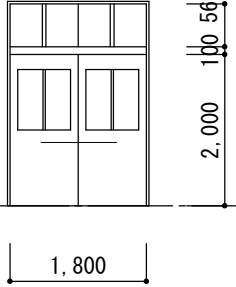
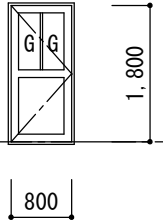
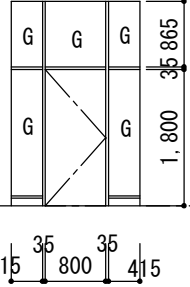
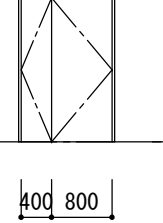
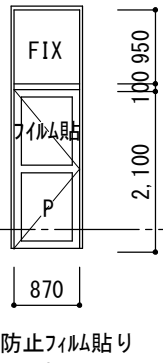
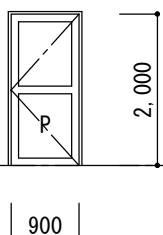
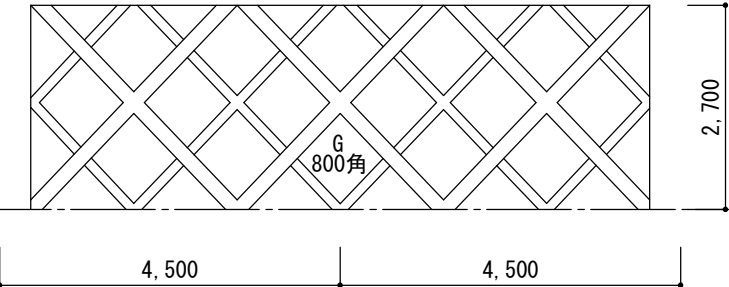
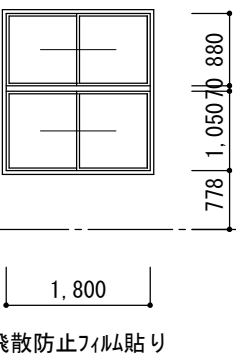
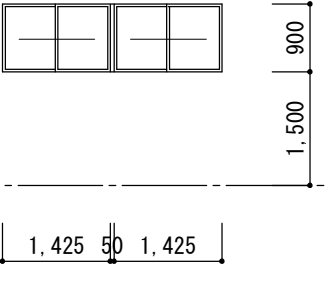
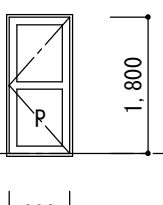
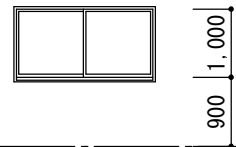
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-46
原図：A2

記号・数量	 × 36	 × 1	 × 1	 × 1	 × 1	 × 1		
形状								
場所	1～3階各教室（廊下側）	2階学習室6（廊下側）	2階相談室、会議室（廊下側）	3階音楽室（廊下側）		3階相談室（廊下側）		
形式	スチールパネーション	スチールパネーション	スチールパネーション	スチールパネーション		スチールパネーション		
見込		（廊下側）						
材質・仕上	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板		化粧鋼板		
硝子	透明ガラス	透明ガラス	透明ガラス	透明ガラス		透明ガラス		
金物								
備考					1階放送室 スチールパネーション			
記号・数量	 × 3	 × 6	 × 1	 × 1	 × 1	 × 1	 × 1	 × 1
形状								
場所	1階教材室	1階職員室、宿直室	1階職員室	1階職員室	1階教材室	1階宿直室	1階便所	1階校長室
形式	木製片開き戸	木製片開き戸欄間付き	木製FIX窓	木製連窓引き違い窓	木製引き違い欄間付き	木製引き違い欄間付き	木製引き違い欄間付き	スチール親子ド7
見込								
材質・仕上								OP塗 下地調整(RB種)の上、EP-G塗替え
硝子	型ガラス	型ガラス	型ガラス	型ガラス	型ガラス	型ガラス	型ガラス	
金物								
備考								
記号・数量	 × 1	 × 1	 × 1		 × 1	 × 1	 × 2	 × 3
形状								
場所	1階給食室	1階多目的便所前 多目的便所横倉庫	1階廊下		3階相談室（南面）	1階昇降口（南面耐震ブレイ設置部）	1階用務員室	1階用務員室
形式	アルミ片開戸段窓FIX窓	アルミ片開戸	アルミFIX窓		アルミ段窓、連窓引き違い窓	アルミ連窓引違窓	アルミ片開戸	アルミ引違窓
見込								
材質・仕上	アルミシルバー	アルミシルバー			アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー
硝子	透明ガラス	網入透明ガラス 型板ガラス	網入透明ガラス		透明ガラス	透明ガラス	網入透明ガラス	網入透明ガラス
金物								
備考								

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/100

■drawing title
建具表 3

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

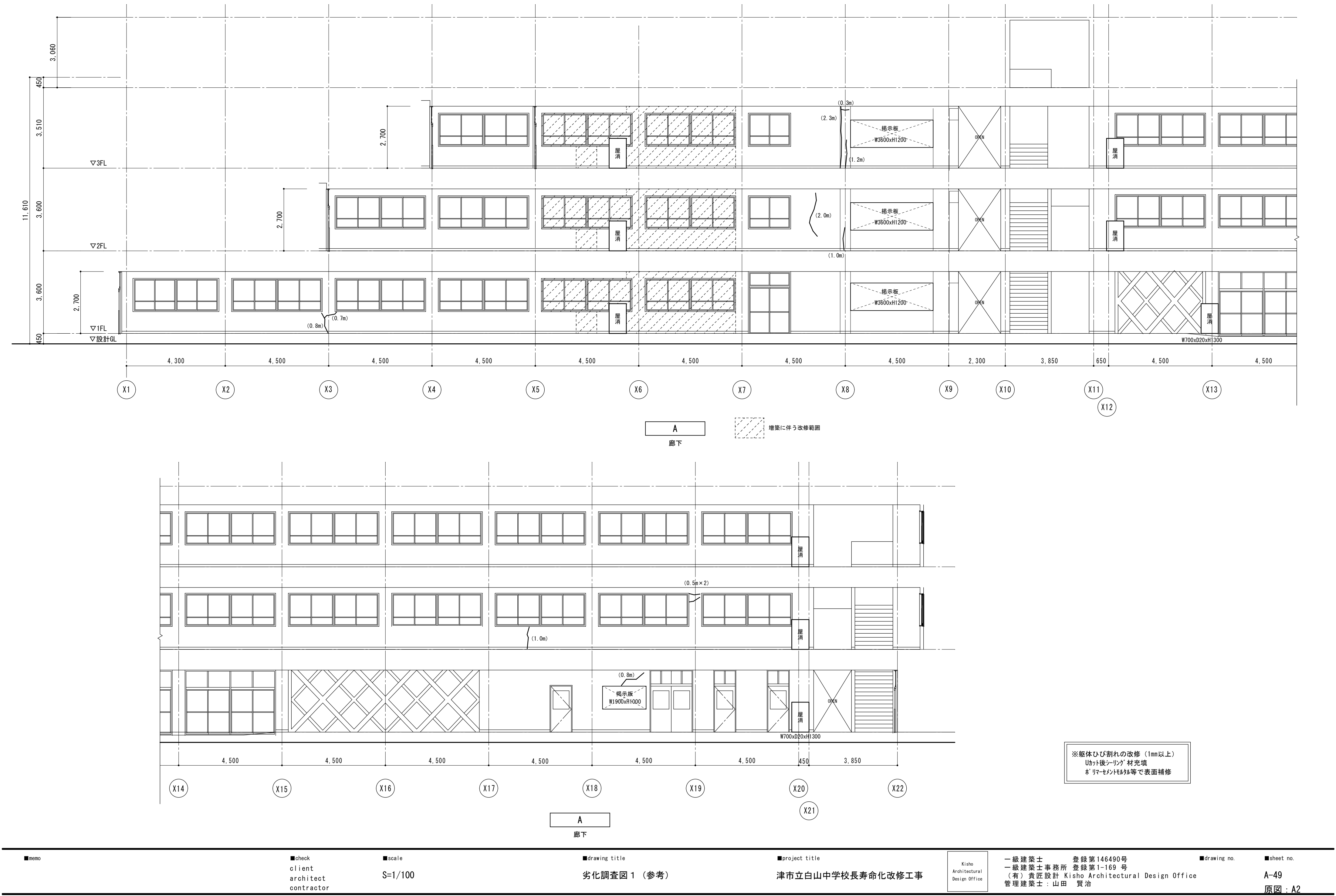
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
（有）貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-48
原図：A2



■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/100

■drawing title
劣化調査図 1 (参考)

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

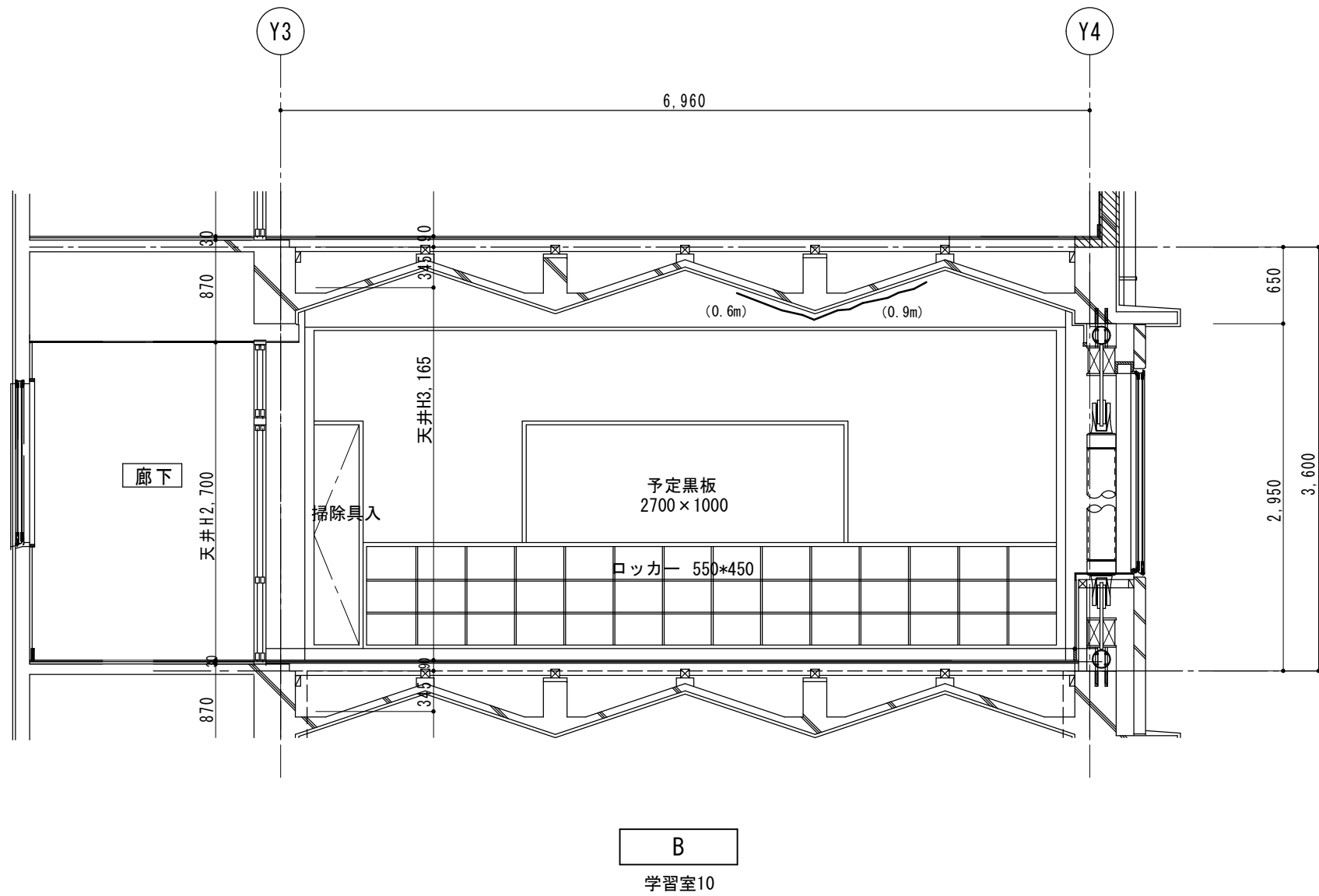
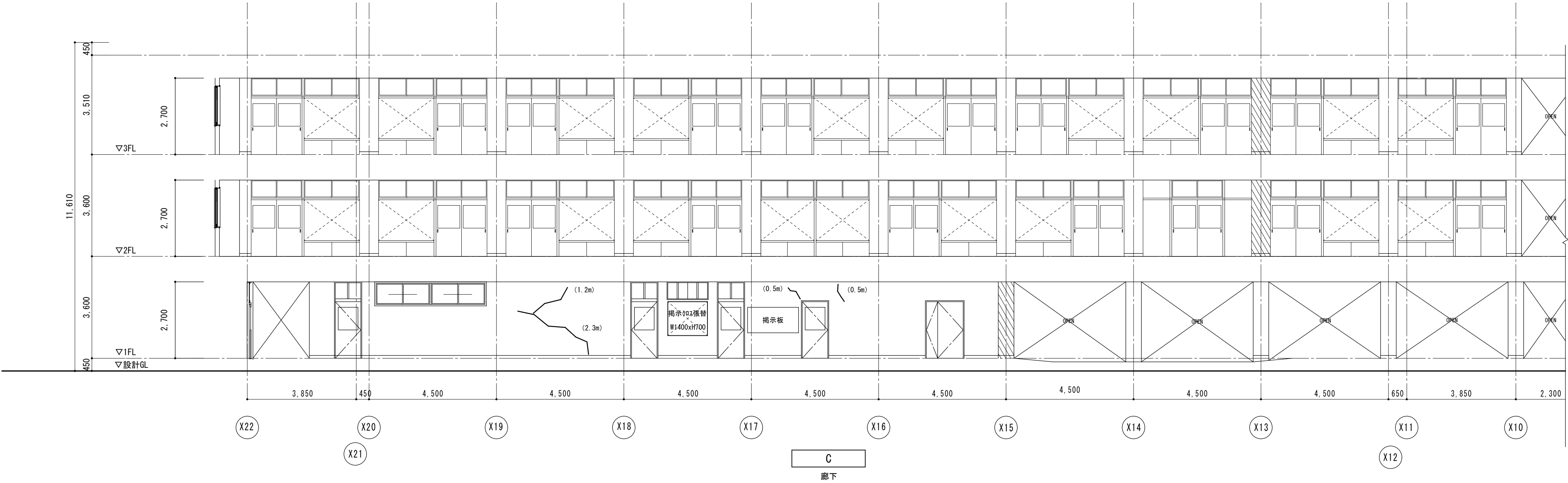
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-49
原図: A2



※躯体ひび割れの改修（1mm以上）
Uカット後シーリング材充填
※リマーセメントモルタル等で表面補修

■memo

■check
client
architect
contractor

■scale
S=1/100
S=1/50

■drawing title
劣化調査図2（参考）

■project title
津市立白山中学校長寿命化改修工事

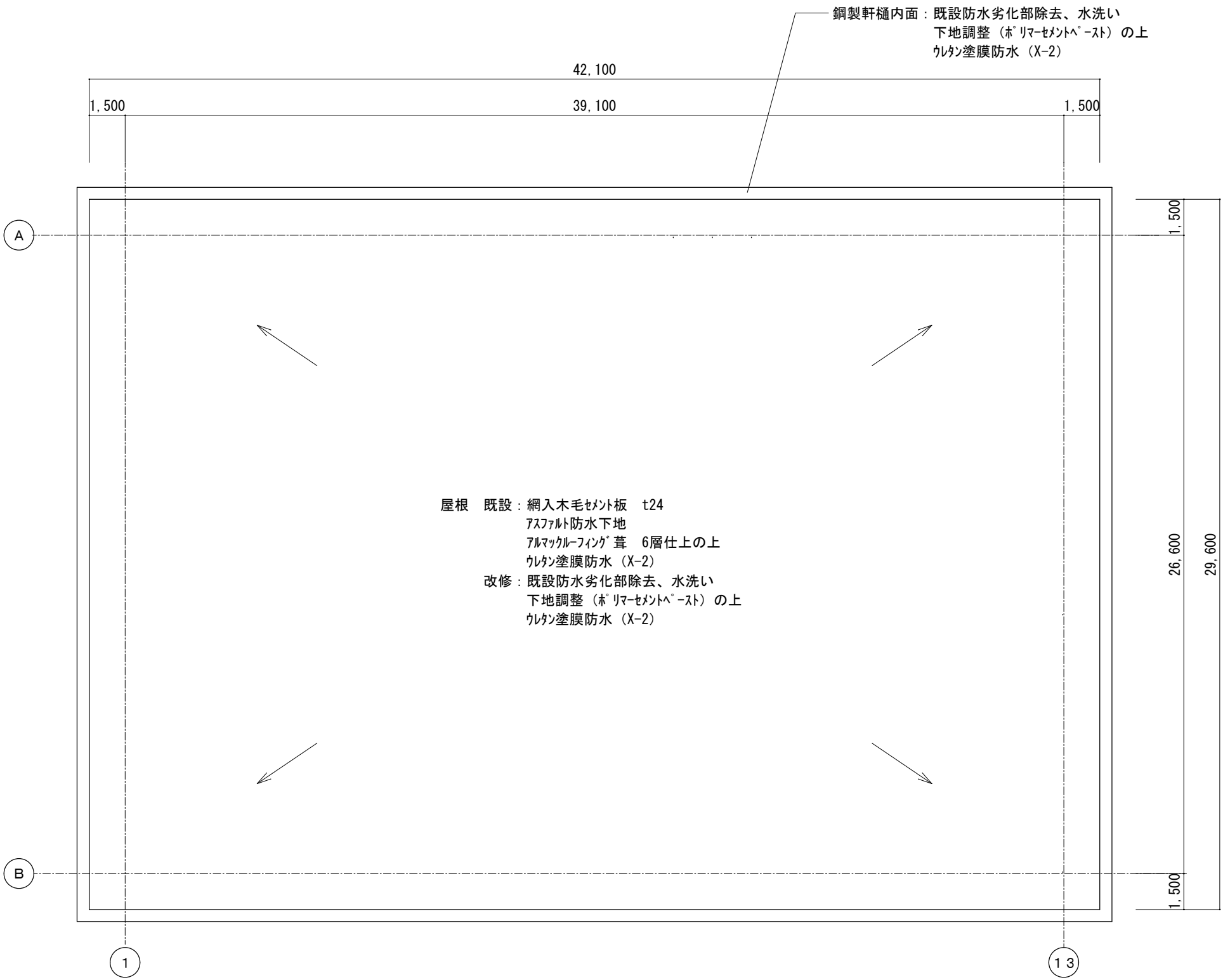
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
（有）貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

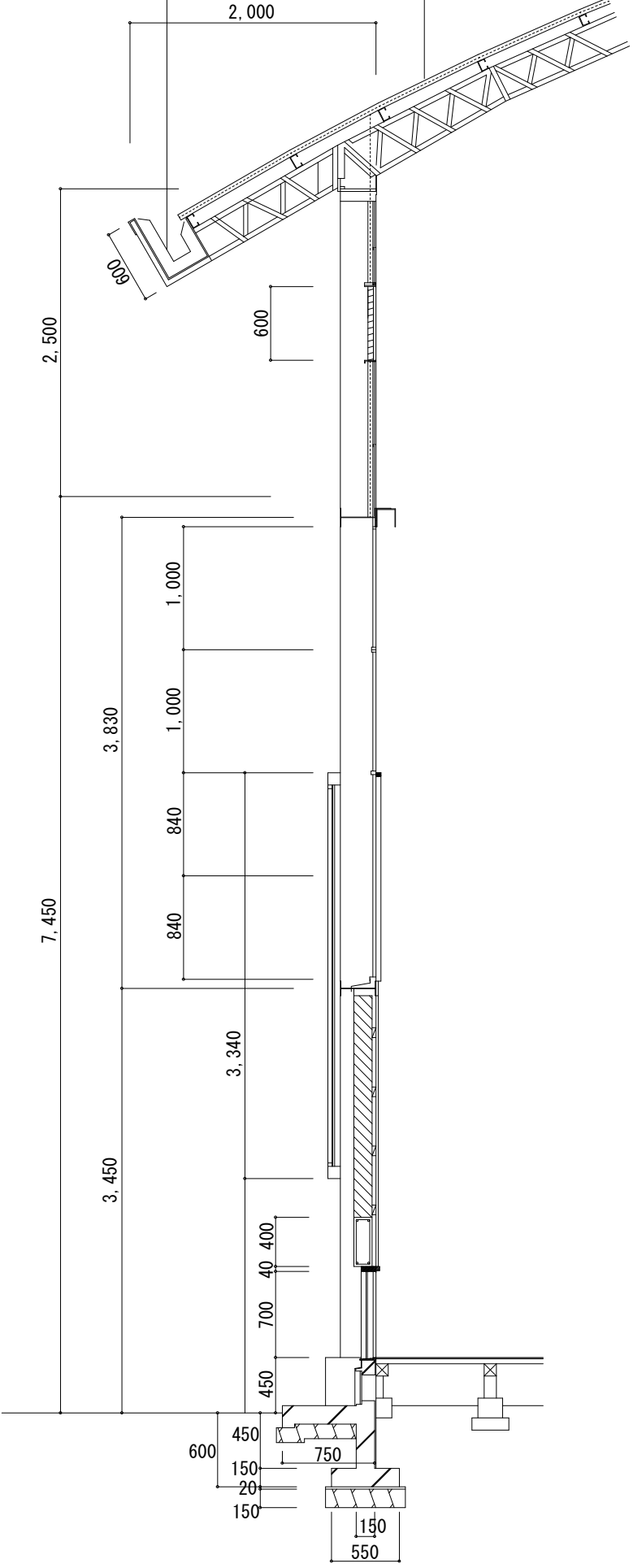
A-50
原図：A2



屋根伏図 S = 1 / 2 0 0

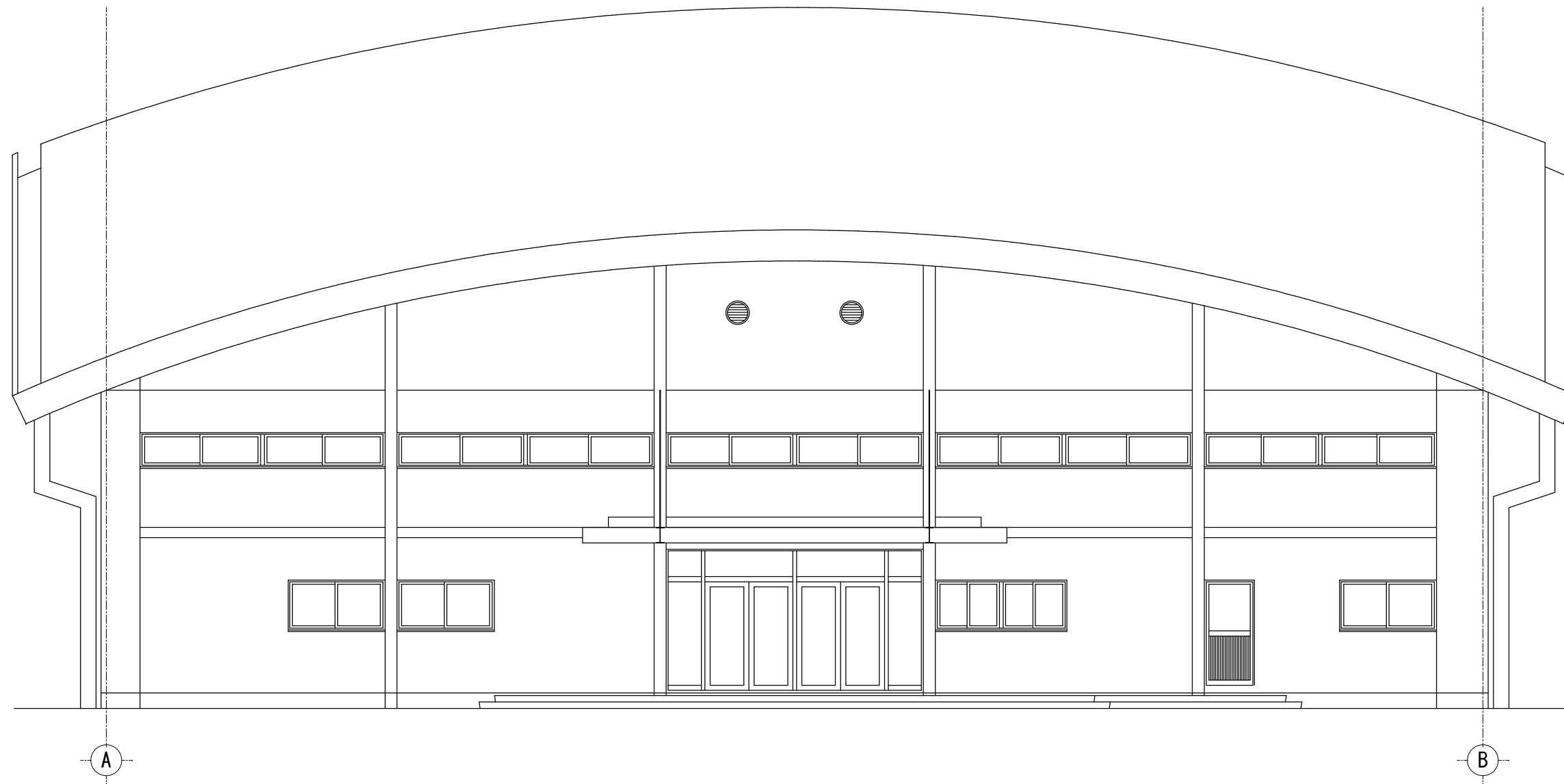
鋼製軒樋内面：既設防水劣化部除去、水洗い
下地調整（※リマセメントペースト）の上
ウレタン塗膜防水（X-2）

屋根 既設：網入木毛セメント板 t24
アスファルト防水下地
アルマクルーフィング 葺 6層仕上の上
ウレタン塗膜防水（X-2）
改修：既設防水劣化部除去、水洗い
下地調整（※リマセメントペースト）の上
ウレタン塗膜防水（X-2）



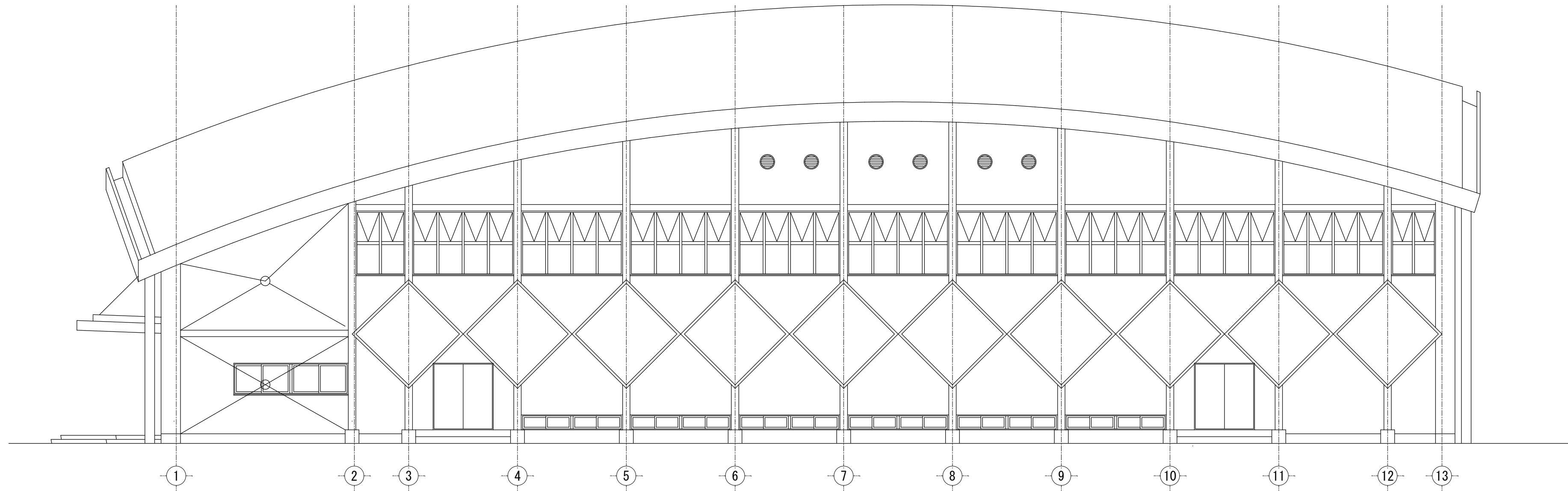
矩計図 S = 1 / 5 0

津市立白山中学校長寿命化改修工事		縮尺 1/200 1/50
図面名称	屋内運動場 屋根伏図・矩計図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. A-51



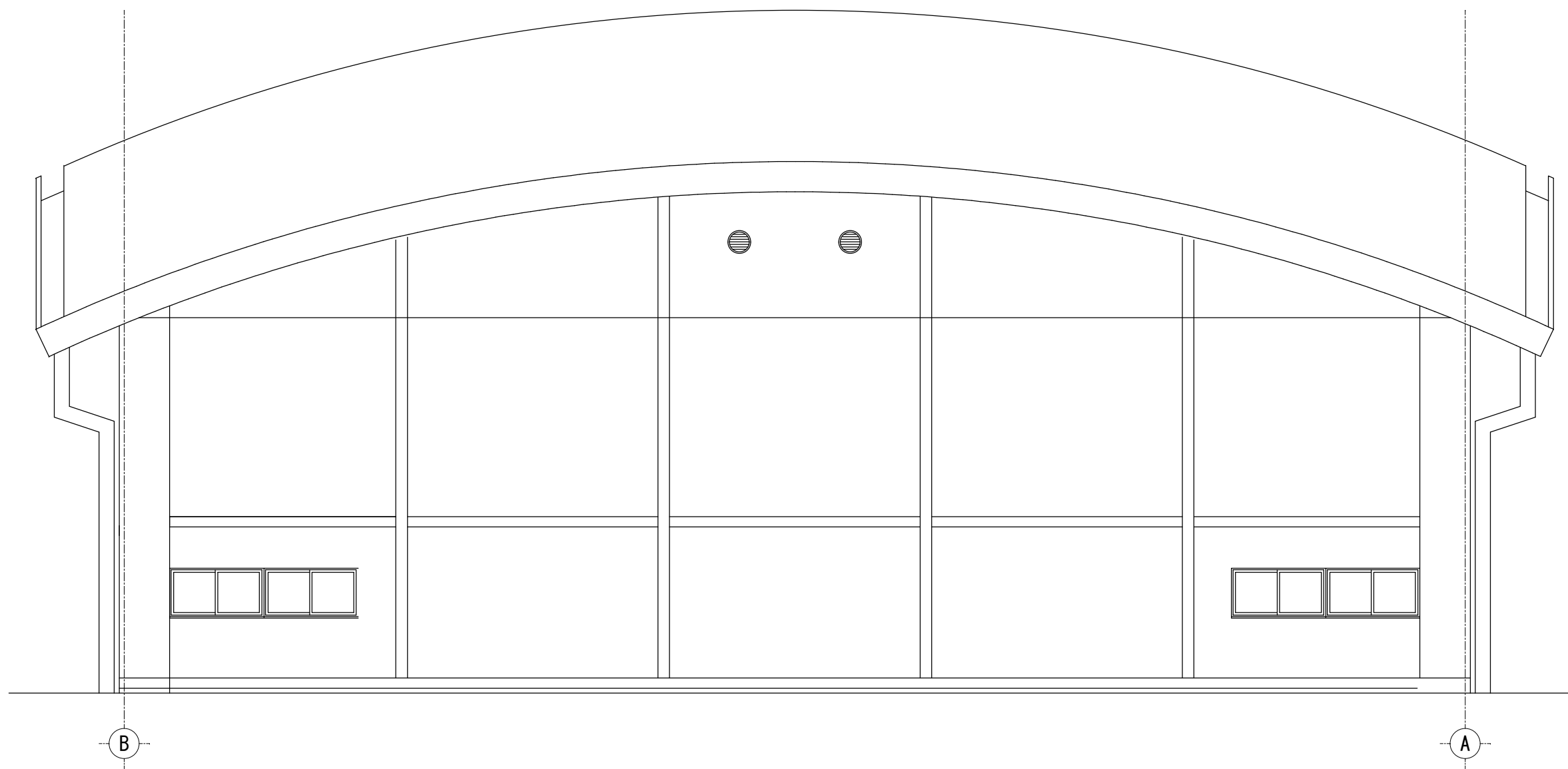
南立面図 S = 1 / 100

屋根仕上	
既設	網入木毛セメント板 t24 アスファルト防水下地 アルマックル-フィンゲ 葺 6層仕上の上 ウレタン塗膜防水 (X-2)
改修	既設防水劣化部除去、水洗い 下地調整 (ホリマセメントベスト) の上 ウレタン塗膜防水 (X-2)



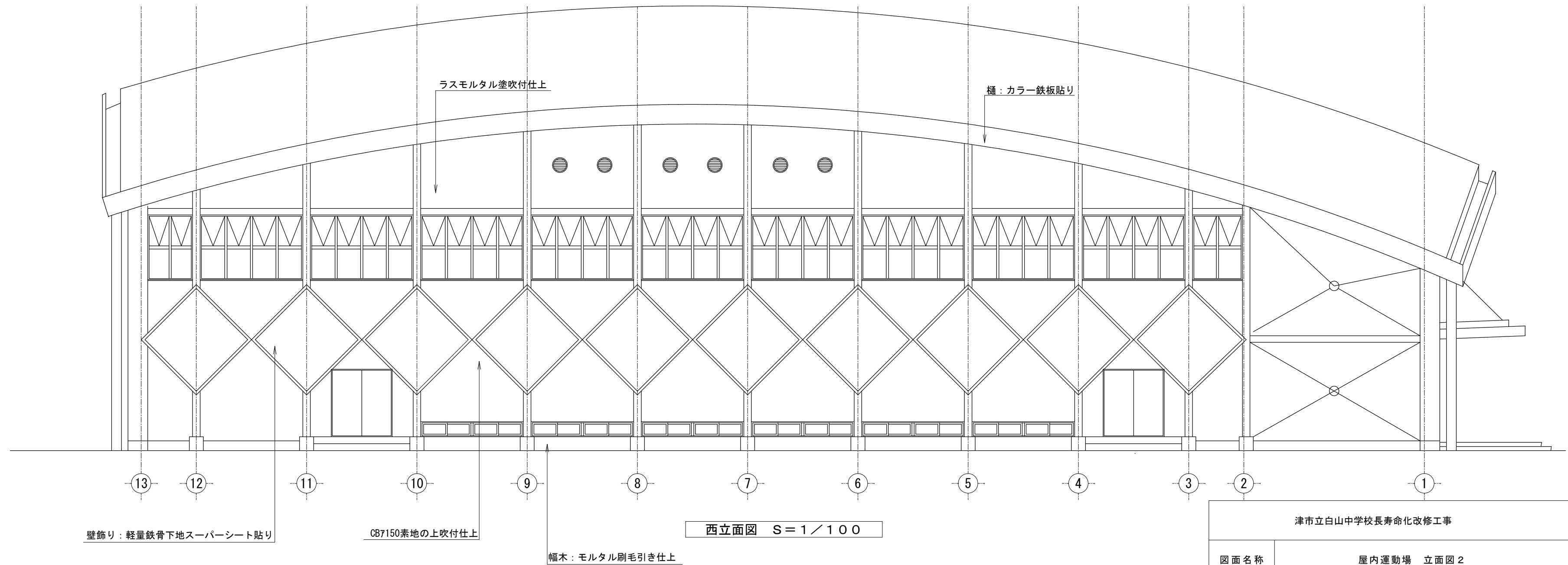
東立面図 S = 1 / 100

津市立白山中学校長寿命化改修工事		縮尺 1/100
図面名称	屋内運動場 立面図 1	原図 : A 2
津市建設部営繕課		No. A-52



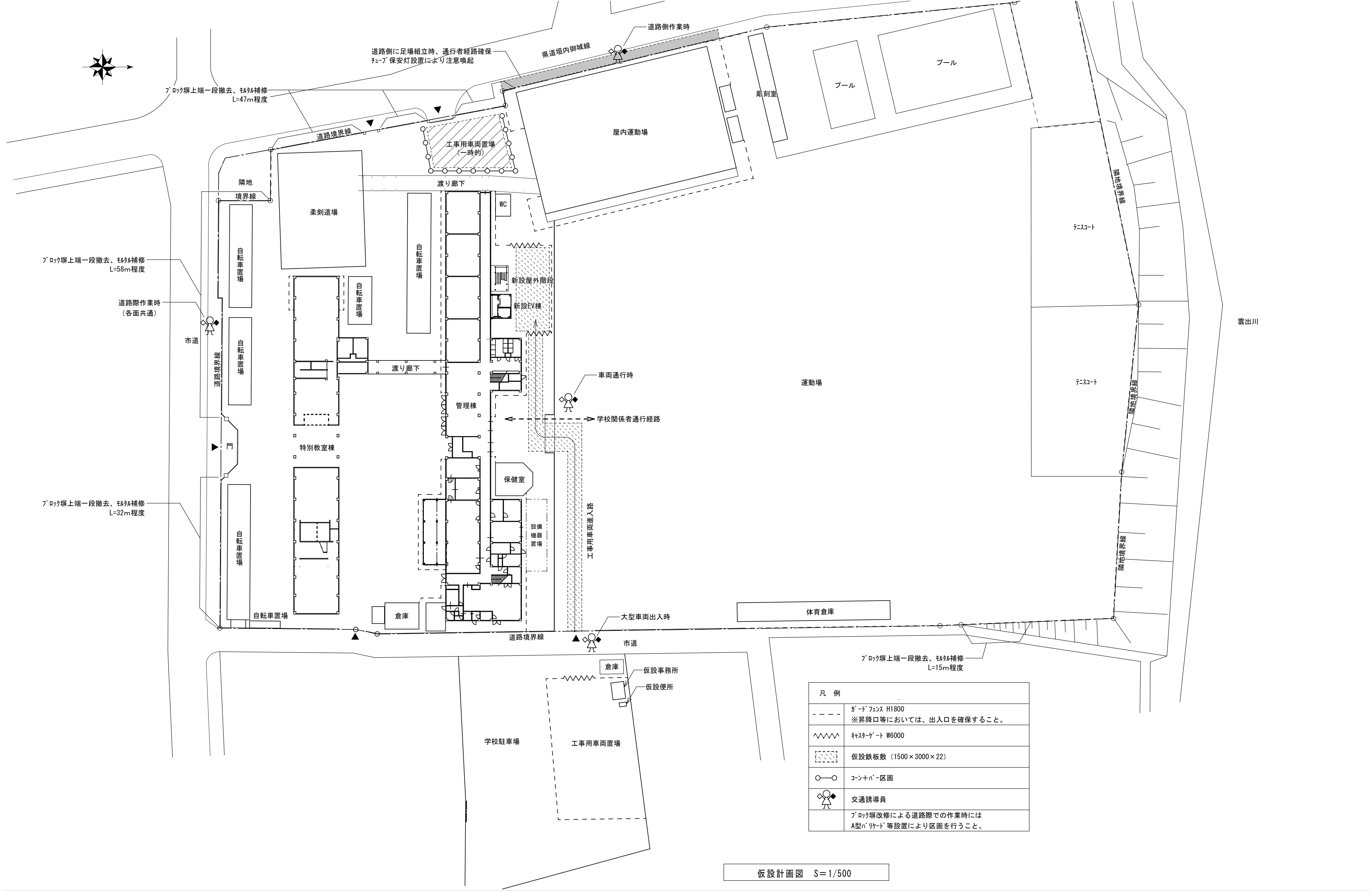
北立面図 S = 1 / 1 0 0

屋根仕上	
既設	網入木毛セメント板 t24 アスファルト防水下地 アルマックル-フィンゲ 葺 6層仕上の上 ウレタン塗膜防水 (X-2)
改修	既設防水劣化部除去、水洗い 下地調整 (ホリマセメントベ-スト) の上 ウレタン塗膜防水 (X-2)



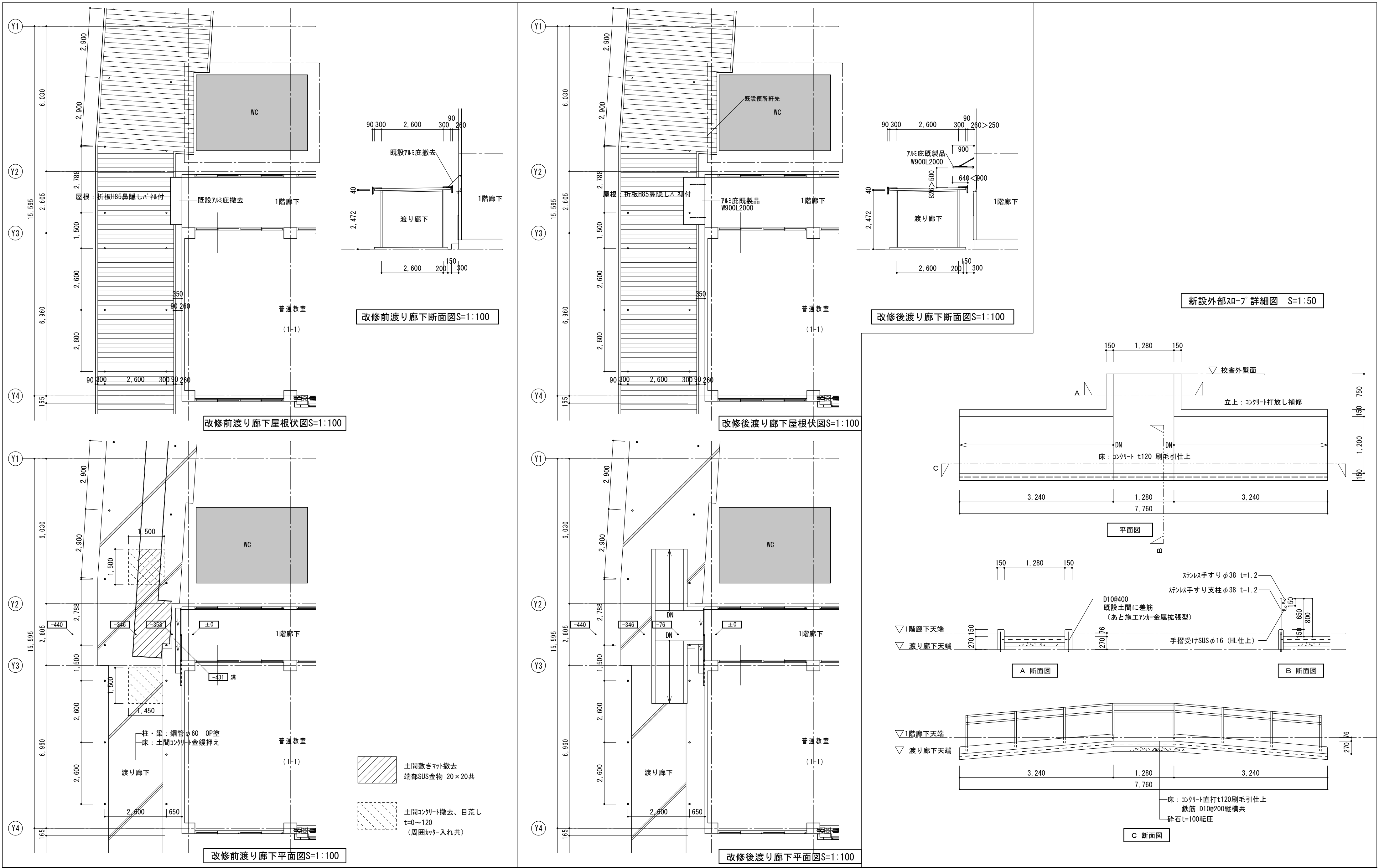
西立面図 S = 1 / 1 0 0

津市立白山中学校長寿命化改修工事		縮尺 1/100
図面名称	屋内運動場 立面図 2	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. A-53



凡 例	
---	ガードフェンス H1800 ※昇降口等においては、出入口を確保すること。
~~~~~	キャスターゲート W6000
	仮設鉄板敷 (1500×3000×22)
○—○	コソナバード区画
	交通誘導員
	ブロック塀改修による道路際での作業時には A型バリアード等設置により区画を行うこと。

仮設計画図 S=1/500



memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/100

drawing title  
渡り廊下外構図

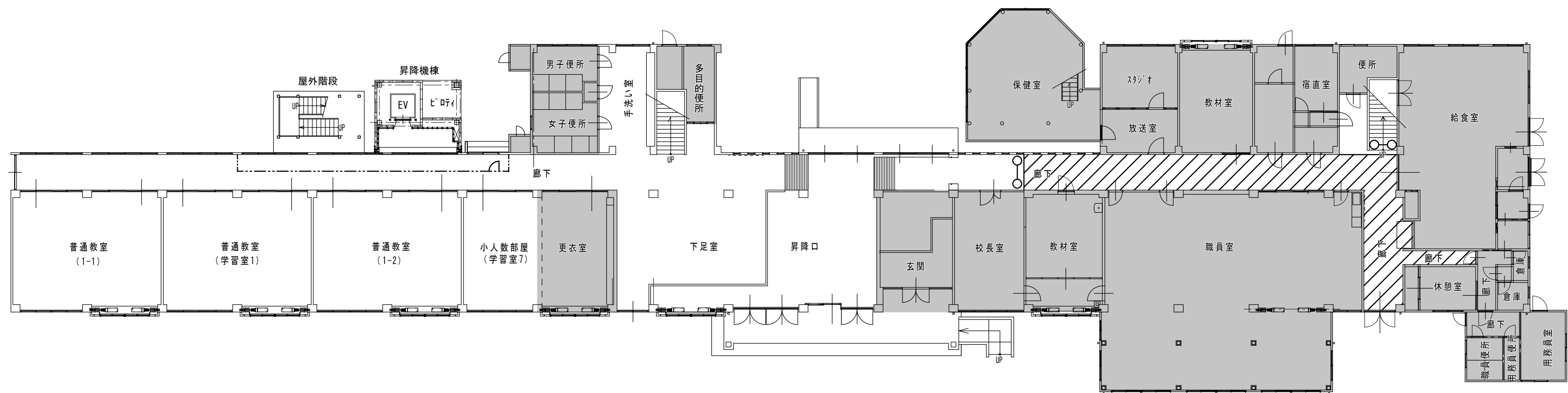
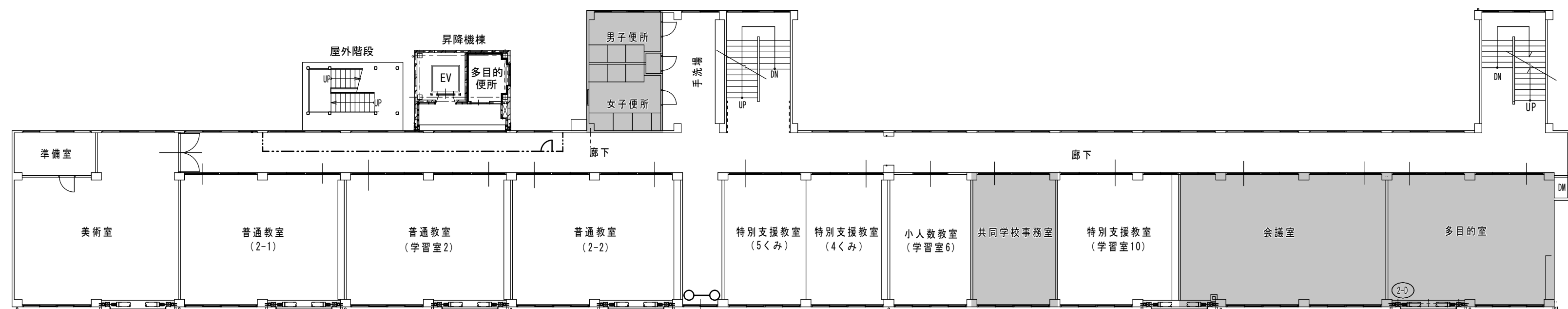
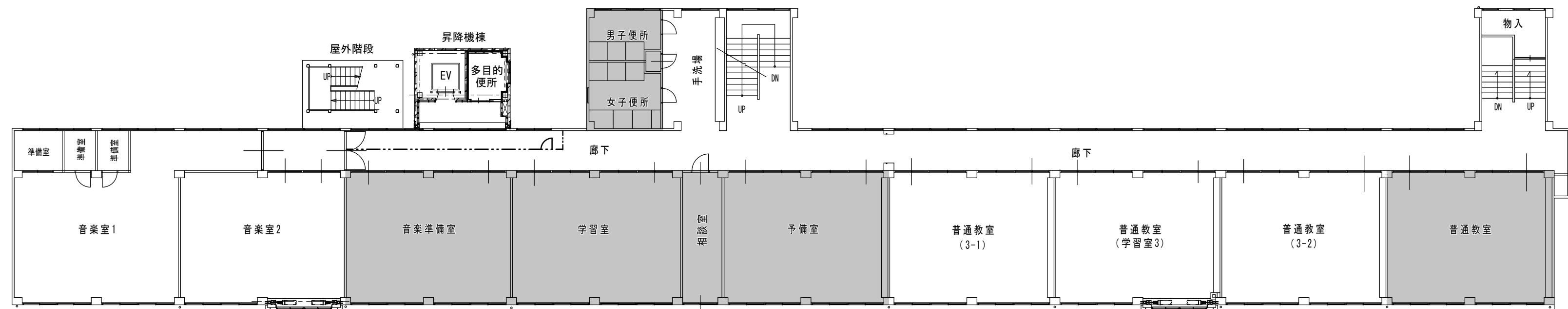
project title  
津市立白山中学校改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
A-55  
原図: A2



## 凡 例

 : 8月校休日 施工範囲

○—○ : コーン+バー区画

—ㄣ—：仮設間仕切壁（扉・南京錠共）

■ memo

```

■check
client
architect
contractor

```

■ scale  
S=1/200

■drawing title

内部仮設計画図

■project title

津市立白山中学校校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■ sheet no.

A-56

原図：A2

工事特記仕様書

I. 工事名津市立白山中学校改修工事

II. 工事概要

1. 工事場所津市白山町川口 地内

2. 敷地面積18,783.00 m²

3. 工事内容

棟名称昇降機棟・屋外階段

構造鉄骨造3階建

建築面積昇降機棟：22.01 m² 屋外階段：8.19 m²

延べ面積昇降機棟：60.78 m² 屋外階段：－

工事項目建築工事、電気設備工事、機械設備工事

III. 建築工事仕様

① 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」令和4年版）(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」令和4年版）による。

② 特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3)項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。  1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版）   2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版）   3) 津市公共建築物等木材利用方針
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 改修特記による

③発生材の処理等  
(1.3.11)

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。  
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

・分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
屋根	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
その他 ( )	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

○引渡を要するもの ○無  
・特別管理産業廃棄物 ・有( ) 処理方法( )  
・石綿含有成形板等解体時の留意点  
1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。  
2.可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。  
3.飛散されない様にすること。  
4.保護具及び作業着を着用すること。  
5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。  
6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

○再資源化を図るもの ○コンクリート塊  
・アスファルトコンクリート塊  
・建設発生材  
・( )  
引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。  
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

④建設副産物情報交換システムの利用  
受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。  
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。  
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

⑤三重県産業廃棄物税  
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。  
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

⑥電気保安技術者  
(1.3.3)

⑦技能士  
(1.5.2)

・配置する

職種別に可能なものについては積極的に活用のこと

⑧建築材料等

9.化学物質の濃度測定  
(1.5.9)

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（・図示（図面番号： ） ・（ ））  
測定方法（・バツシブ法 ・アクティブ法 ）  
測定時期 ・（ ）  
報告書提出部数 2部

⑩特別な材料の工法  
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪騒音・振動の防止  
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑫工事写真  
(1.2.4)  
営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。  
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。  
なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（令和5年3月1日付け国営建技第14号）」による。

⑬完成図等  
(1.7.1)  
(1.7.2)  
(1.7.3)  
○作成する ○完成図 ・保全に関する資料 ・（ ）  
○完成図作図範囲（設計図を訂正）  
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（図面サイズについては監督員と協議による。）により提出すること。

⑭完成写真  
○デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。  
（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部  
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。  
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮設備工事との取合い  
施工範囲  
○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強  
○図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強  
○駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ  
施工図  
○設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯設計GL  
・図示（図面番号： ）

⑰養生その他  
工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならない補修すること。

⑱事故の発生時  
工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。  
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲消防法関係の手続き  
1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成  
・本工事（・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事）  
・別途工事  
2) 防火対象物使用開始届出書  
書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

⑳労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

㉑不正軽油の使用の禁止

22.屋外広告物

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

1) 一般事項  
工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。  
2) 調査の協力  
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。  
3) 是正措置  
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title  
新宮特記仕様書 1

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.  
AEV-01  
原図：A2

仮設工事

②

1. 監督員事務所  
(2. 3. 1)

・設置する。  
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所の設備・備品  
(2. 3. 1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所

構内既存の施設

・利用できる

・利用できない

④工事用水

構内既存の施設

・利用できる（・有償

・無償）

・利用できない

⑤工事用電力

構内既存の施設

・利用できる（・有償

・無償）

・利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

⑥足場

内部足場の種別（参考）

・脚立

・棚足場

・（）

外部足場の種別（参考）

・手摺先行据置枠組本足場

・その他（）

防護シート等による養生

・適用する

・適用しない

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

・足場（つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。

1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者

2）労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者

3）全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

⑦交通誘導警備員

配置

・図示(図面番号：)

③

①埋戻し及び盛土  
(3. 2. 3)  
(表3. 2. 1)

②建設発生土の処理  
(3. 2. 5)

3. 山留めの撤去  
(3. 3. 3)

種別

・A種

・B種

・C種

・D種

・処分地指定

処分地（）

・処分地未定につき相互協議する。

・

・

・

・

鋼矢板等の抜き跡の処理

・砂充填

・（）

山留め壁等

・撤去

・存置

④

地業工事

1. 杭の施工管理

杭工事特記仕様書による。

2. 適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。  
国土交通省告示第468号「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

3. 施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。  
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

4. 根拠資料

特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。  
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

5. 試験杭及び試験掘(4. 2. 2)

・試験杭

位置、本数及び寸法

図示（図面番号：）

・試験掘

位置、本数及び寸法

図示（図面番号：）

6. 支持層

支持層の位置、土質

図示（図面番号：）

・（）

（）mm以下

（4. 3. 4）

（4. 5. 5）

7. 水平方向の位置ずれ

（4. 3. 4）

（4. 5. 5）

8. 杭の載荷試験(4. 2. 3)

試験方法

・鉛直載荷

・水平載荷

・（）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

位置、本数

図示（図面番号：）

載荷荷重（kN）

報告書

・提出部数

2部

9. 地盤の載荷試験(4. 2. 4)

試験方法

・平板載荷

・（）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

位置

図示（図面番号：）

載荷荷重（kN）

報告書

・提出部数

2部

10. 既製コンクリート杭(4. 3. 1)

（表4. 3. 1）

（4. 3. 3）

（4. 3. 4）

（4. 3. 5）

（4. 3. 6）

（4. 3. 8）

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考

先端形状

・開放型

・閉そく型

施工方法

・セメントミルク工法

・オーガーの支持層への掘削深さ

・（）m

図示（図面番号：）

・杭の支持層への根入れ深さ

・（）m

図示（図面番号：）

・根固め液及び杭周固定液の管理試験

・標準仕様書[4. 3. 4(ロ)]

・（）

・特定埋込杭工法

・杭の根入れ深さ

・（）m

図示（図面番号：）

継手

・アーク溶接

・無溶接継手（工法：）

杭頭の処理

・行う

・行わない

11. 鋼杭地業  
(4. 4. 3)  
(4. 4. 4)  
(4. 4. 5)  
(4. 4. 6)  
(4. 3. 5)  
(4. 3. 8)  
(7. 2. 5)

・鋼管杭

・SKK400

・SKK490

・H形鋼杭

・SHK400

・SHK490M

径

・φ300

・φ350

・φ400

・φ450

・φ（）

長さ（）m

継手の工法

・現場溶接

・機械式継手

溶接材料

・標準仕様書[7. 2. 5](1)(2)以外（）

・特定埋込杭工法

・杭の根入れ深さ

・（）m

図示（図面番号：）

杭頭処理の方法

・ガス切断

・（）

12. 場所打ちコンクリート杭地業  
(4. 5. 1)  
(4. 5. 4)  
(4. 5. 5)  
(4. 5. 6)

施工方法

・アースドリル工法

・リバーシ工法

・オールケーシング工法

・鋼管コンクリート杭工法

底掘

・行わない

・行う（）

杭の根入れ深さ

・（）m

図示（図面番号：）

孔壁の超音波測定

・行う

・行わない

帯筋の加工及び組立

図示（図面番号：）

鉄筋の最小かぶり厚さ（）mm

鉄筋かごの補強

・図示（図面番号：）

継手

・重ね継手

・（）

（表4. 5. 1）

コンクリートの種別

・A種

・B種

設計基準強度（）N/mm²

セメントの種類

・高炉セメントB種

・（）

スランブ（cm）

・18

・（）

構造体強度補正値（S）

・3N/mm²

・（）

13. 地盤改良

・（）工法

・六価クロム溶出試験

・室内配合試験

・一軸圧縮試験

⑭砂及び砂利地業(4. 6. 2)  
(4. 6. 3)

砂利

・再生クラッシャラン

・切込砂利

・切込碎石

・（）

砂

・シルト

・山砂

・川砂

・砕砂

・（）

施工範囲

・図示（図面番号：）

厚さ(mm)

・60

・（100）

・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑮捨コンクリート地業(4. 6. 4)

厚さ(mm)

・50

・（）

施工範囲

・図示（図面番号：）

・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑯床下防湿層(4. 6. 2)  
(4. 6. 5)

施工範囲

・図示（図面番号：）

ポリエチレンフィルム厚さ

・0. 15mm以上

・（）

・防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

⑤

鉄筋工事

①鉄筋の種類  
(5. 2. 1)  
(表5. 2. 1)

種類の記号	径	備 考
・SD295	・D16以下	
・SD345	・D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

②溶接金網  
(5. 2. 2)

網目の形状、寸法

鉄線の径（mm）

・4

・5

・6

・（）

寸法(mm)

・100×100

・150×150

・（）

③内法直径  
(5. 3. 2)

90°未満の折曲げの内法直径

・図示（図面番号：）

④継手  
(5. 3. 4)  
(表5. 3. 2)  
(表5. 3. 3)

	径	部 位
・重ね継手	D16以上	地中梁
・ガス圧接		

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

・標準仕様書[5. 3. 4](3)(7)

・図示（図面番号：S-2. 3）

継手位置

・各部配筋参考図による

・図示（図面番号：S-2. 3）

鉄筋定着

・標準仕様書[表5. 3. 4]

・図示（図面番号：S-2. 3）

・標準仕様書[図5. 3. 3]

・図示（図面番号：S-2. 3）

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔  
(5. 3. 5)(表5. 3. 6)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

・標準仕様書[表5. 3. 6]

・図示（図面番号：S-2. 3）

⑥各部配筋  
(5. 3. 7)

7. 圧接完了後の試験(5. 4. 10)

抜取試験方法

・超音波探傷試験

・引張試験

引張試験方法

・標準仕様書[5. 4. 10](イ)(b)

・（）

8. 機械式継手及び溶接継手  
(5. 5. 3)  
(5. 5. 5)  
(5. 6. 3)  
(5. 6. 5)

・機械式継手

適用箇所（）

種類（）

性能（）

施工完了後の継手部の試験（）

不合格となった継手部への措置（）

鉄筋相互のあき（）mm

・溶接継手

適用箇所（）

工法（）

性能（）

施工完了後の溶接部の試験（）

不合格となった溶接部への措置（）

鉄筋相互のあき（）mm

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title  
新宮特記仕様書2

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.  
■sheet no.  
AEV-02  
原図：A2

⑥コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度(6.2.1)(6.2.2)(6.2.4)(6.10.1)(6.10.2)(6.10.3)(6.11.1)(6.11.3)(表6.2.2)(表6.10.1)

②コンクリートの類別(6.2.1)(表6.2.1)

③コンクリートの仕上り(6.2.5)(表6.2.4)(表6.2.5)

④セメント(6.3.1)(表6.3.1)

⑤骨材(6.3.1)

⑥コンクリートの材料(6.3.1)(6.3.1)(表6.3.2)

⑦打継ぎ(6.6.4)

8.養生(6.7.2)

⑨型枠(6.6.4)(6.8.1)(6.8.2)(表6.8.1)(6.8.4)

10.寒中コンクリート(6.11.1)

⑪暑中コンクリート(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ
②1+S(N/mm²)	基礎・デッキスラブ		②18(cm)
②1(N/mm²)	土間		②18(cm)
②18(N/mm²)	捨てコンクリート		②15(cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・(N/mm²)			・t/m³	・(cm)
・				
・				

・常時土又は水に直接接する部分 図示(図面番号: )

類別 ②Ⅰ類・Ⅱ類  
・大臣認定品 図示(図面番号: )

合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種類  
・A種 ②B種・C種  
仕上りの平たんさ  
・a種・b種 ②c種

種類 ②普通ポルトランドセメント、混合セメントA種・( )  
高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種  
・適用箇所 図示(図面番号: )

アルカリシリカ反応性による区分  
②A  
・B  
  
・特殊な骨材の使用  
・フェロニッケルスラグ細骨材  
・銅スラグ細骨材  
・電気炉酸化スラグ骨材  
・再生骨材H

混和材料 ②図示(図面番号: )  
混和剤の種類、使用方法、使用量  
②標準仕様書[6.3.1](4)(a)、標準仕様書[6.3.2](4)(f)  
・( )  
混和材の種類、使用方法、使用量  
・標準仕様書[6.3.1](4)(b)、標準仕様書[6.3.2](4)(f)  
・( )  
構造体強度補正值(S) ②標準仕様書[表6.3.2] ②・( )

位置 ②標準仕様書[6.6.4](1) ②図示(図面番号: )

・普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ( )日以上

材料 ②複合合板(厚さ(mm) ②12 ②・( ))  
打増し厚さ ②図示(図面番号: )  
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法  
・図示(図面番号: )  
・断熱材の兼用  
・MCR工法用シート  
スリーブの材種、規格等  
・鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管・溶融亜鉛めっき鋼板  
・つば付き鋼管 ②図示(図面番号: )  
型枠存置期間及び取外し  
・普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ( )日  
適用期間( )  
・構造体強度補正值(S)は積算温度を基に定める

構造体強度補正值(S)  
②6 N/mm² ②・( )

12.マスコングリート(6.13.1)(6.13.2)(表6.13.1)

13.無筋コンクリート(6.14.1)

14.流動化コンクリート(6.15.1)

①適用箇所 ②図示(図面番号: )  
セメントの種類  
・普通ポルトランドセメント  
・中庸熟ポルトランドセメント  
・低熟ポルトランドセメント  
・高炉セメントB種  
・フライアッシュセメントB種  
・シリカセメント  
スランプ ②15cm ②・( )  
混和剤の種類 ②標準仕様書[6.13.2](2)(7) ②・( )  
混和材の種類 ②標準仕様書[6.13.2](2)(4) ②・( )  
構造体強度補正值(S) ②標準仕様書[表16.3.1] ②・( )

コンクリートの種類 ②普通コンクリート ②・( )  
適用箇所 ②標準仕様書[6.14.1]  
・(7)・(4)・(9)・(エ)・(オ)・(カ)  
・上記以外の適用箇所( )  
設計基準強度 ②18(N/mm²) ②・( ) (N/mm²)  
スランプ ②15cm ②18cm  
適用箇所 ②図示(図面番号: )

②配置する  
  
(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場  
・J ②R・M・H・S  
  
種類、形状及び寸法 ②図示(図面番号: )

種類  
②トルシヤ形高力ボルト(S10T)  
・JIS形高力ボルト2種(F10T)  
・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)  
・( )  
高力ボルトのねじの呼び  
②図示(図面番号: )  
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
②図示(図面番号: )  
すべり試験の試験方法 ②・( )  
JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合  
・回転量( )°

5.普通ボルト(7.2.3)(表7.2.3)(7.3.2)

6.溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)

⑦アンカーボルト(7.2.4)(7.3.2)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)

摩擦面の処理  
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)  
・りん酸塩処理  
すべり試験の試験方法 ②・( )  
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
②図示(図面番号: )

種類  
構造用 ②ABR400B ②・(SD490)  
建方用 ②SS400 ②・( )  
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み  
・A種・B種  
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上りの程度  
②標準仕様書[表7.2.3]  
②図示(図面番号: )  
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法  
②図示(図面番号: )  
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
②図示(図面番号: )

⑧溶接材料(7.2.5)

⑨ターンバックル(7.2.6)

⑩デッキプレート(7.2.7)(7.7.8)

11.スタッド(7.2.8)

⑫柱底均しモルタル(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

13.材料試験等(7.2.10)

⑭ボルトの孔径(7.3.8)

⑮仮組(7.3.10)

⑯溶接作業における技能資格者(7.6.3)

⑰溶接部の開先(7.6.4)

⑱溶接施工(7.6.7)

⑲溶接部の試験(7.6.12)

⑳錆止め塗装(7.8.2)(7.8.4)

材料  
②標準仕様書[7.2.5](1)(2)以外の溶接材料 ( )

種類及びねじの呼び等  
②図示(図面番号: )  
建築用ターンバックル胴 ②割枠式 ②・( )  
建築用ターンバックルボルト ②羽子板ボルト ②・( )

材質、形状及び寸法 ②図示(図面番号: )  
溶接方法 ②図示(図面番号: )

種類等 ②図示(図面番号: )

柱底均しモルタルの工法、厚み  
②A種(30)mm ②B種( )mm  
無収縮モルタルの材料及び調合  
②標準仕様書[7.2.9](2) ②・( )

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験  
・JIS G 0901により行う

普通ボルトの孔径(母屋又は胴縁の取付け)  
②ねじの呼び径±1.0mm ②・( )

②行わない ②行う  
仮組を行う範囲 ②図示(図面番号: )

溶接作業の技量付加試験  
②行わない ②行う

開先の形状  
②図示(図面番号: )

鋼製エンドタブの切除  
②適用及び切断範囲 ②図示(図面番号: )  
切断面の仕上げ  
②標準仕様書[7.6.7(1)(a)(b)] ②図示(図面番号: )

鋼製エンドタブに代わるその他の工法  
鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ(セラミックタブ又はフラックスタブ)を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。  
1.相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。  
2.製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者(溶接技能者・A級以上)、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者として。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者として。  
板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部  
・低応力高サイクル疲労を受ける部位 ②図示(図面番号: )  
スカラップの形状 ②図示(図面番号: )

試験の種類  
溶接部の外観試験方法 ②( 目視 )  
②超音波探傷試験 ②・( )

溶接区分	AQUL(%)	検査水準	備考
現場溶接			②全数試験
工場溶接	②2.5 ②4.0	②6	

耐火被覆材の接着する面への塗装  
塗装範囲 ②図示(図面番号: )  
種別  
②標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] ( A )種  
・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2] ( )種

8  
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

①補強コンクリートブロック造(8.2.2)(8.2.3)(8.2.5)(8.2.7)(8.2.8)(表8.2.1)

2.コンクリートブロック帳壁及び塀(8.3.2)(8.3.3)(8.3.4)(8.3.7)(表8.3.1)

③ALCパネル(8.4.2)(8.4.3)(表8.4.2)(8.4.5)(表8.4.3)

4.押出成形セメント板(8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装  
塗装範囲 ②図示(図面番号: )  
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内壁(鉄骨に溶接されたものに限る)  
・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] ( )種

部位	種類	材料	工法	耐火性能
柱・梁	耐火被覆	ロックウール	吹付	60分耐火

接合部(ボルト接合の場合)  
②普通ボルト接合 ②・( )

種類  
②空洞ブロック16  
②図示(図面番号: )  
正味厚さ、モジュール呼び寸法  
②図示(図面番号: )  
各部の配筋  
②図示(図面番号: )  
目地仕上げ  
②押し目地 ②化粧目地  
モルタルの調合  
②標準仕様書[8.2.3] ②・( )  
モルタル又はコンクリートの充填範囲 ②図示(図面番号: )  
ブロックの種類  
②図示(図面番号: )  
正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ  
②図示(図面番号: )  
モルタルの調合  
②標準仕様書[8.2.3] ②・( )  
化粧  
②有り ②無し  
塀の厚さ H≤2.0m ②120mm ②・( )  
H>2.0m ②150mm ②・( )  
各部の配筋  
②図示(図面番号: )  
モルタル又はコンクリートの充填範囲  
②図示(図面番号: )

区分	単位 荷重 (N/mm²)	呼び寸法			構法	耐火性能
		厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)		
②外壁 パネル	②・( )	②100 ②(125)	②・( )	②・( )	②A種 ②B種	②(1)時間 ②・無し
②間仕切 壁パネル	②・( )	②100 ②(125)	②・( )	②・( )	②C種 ②E種 ②D種	②(1)時間 ②・無し
②屋根 パネル	②・( )	②100 ②・( )	②・( )	②・( )	②F種	②・( )時間 ②・無し
②床 パネル	②・( )	②100 ②120 ②150	②・( )	②・( )	②F種	②・( )時間 ②・無し

パネル幅を300mm以下とする部分 ②適用あり  
外壁、屋根及び床パネル構法  
風圧力に対応した工法 ②適用あり  
パネル短編小口相互の伸縮目地幅(mm) ②・( )  
出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅(mm) ②・( )  
伸縮目地への耐火目地材の充填 ②適用する(材料: )

種類	表面形状及び 原料区分	板厚(mm)	働き幅 (mm)	工法
②外壁 パネル	②フラットパネル ②デザインパネル ②タイルベースパネル	②・( )	②・( )	②A種 ②B種
②間仕切 壁パネル	②フラットパネル ②デザインパネル ②タイルベースパネル	②・( )	②・( )	②B種 ②C種

パネル幅を300mm以下とする部分 ②適用あり  
パネル相互の目地幅(mm)  
②・長辺8以上、短辺15以上 ②・( )  
出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅(mm) ②15 ②・( )  
目地及び隙間の処理 ②・( )  
外壁パネル構法  
風圧力に対応した工法 ②適用あり  
間仕切壁パネル構法  
パネルに欠き込みを行う場合  
②パネル開口の限度 ②図示(図面番号: )

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title  
新宮特記仕様書3

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有)貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.  
AEV-03  
原図: A2

9

防水工事

1. アスファルト防水

(表9.2.3)～(表9.2.8)

(9.2.2)

(9.2.3)

改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]

・図示( )

厚さ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]

・図示( )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]

・図示( )

厚さ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]

・図示( )

絶縁用シート

・ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上)

・フラットヤーンクロス(70g/m²)

押え金物

・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)

・図示(図面番号: )

断熱材

・屋根保護防水断熱工法

厚さ( )mm

・屋根露出防水断熱工法

種類( )厚さ( )mm

(表9.2.3)～(表9.2.6)

屋根保護防水

立上り部の保護工法・図示(図面番号: )

乾式保護材・使用する

立上り部保護れんが・JIS R 1250・( )

断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁シート・設置する

(表9.2.7)

脱気装置

・設置数量 図示(図面番号: )種類( )

(表9.2.7)

屋根露出防水における仕上塗料

(表9.2.8)

・図示(図面番号: )種類( )使用量( )

(表9.2.9)

屋内防水密着工法における保護層

・図示(図面番号: )

E-1の工程3・行う・行わない

(9.2.4)

防水層の下地モルタル塗り

・図示(図面番号: )

立上りのコンクリート打放し仕上りの種類

種別・B種・( )

屋根露出防水絶縁断熱工法

ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置

・図示(図面番号: )

(9.2.5)

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ・水下 80mm以上・( )

床タイル張り・水下 60mm以上・( )

立上り部の保護方法

・乾式保護材・れんが押え・コンクリート押え

・モルタル押え(屋内等)・( )

屋上排水溝

・図示(図面番号: )

2. 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)

(9.3.3)

改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示( )

厚さ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示( )

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3]

・図示( )

厚さ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3]

・図示( )

押え金物の材質、形状、寸法

・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)

・( )

仕上塗料

・図示(図面番号: )種類( )使用量( )

脱気装置・設置数量 図示(図面番号: )種類( )

(表9.3.3)

断熱材

・屋根露出防水絶縁断熱工法

種類( )厚さ( )mm

防湿用シートの設置・有り・無し

③合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)

(9.4.3)

(9.4.4)

種類・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]

・図示( )

(表9.4.1)

厚さ・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]

・図示( )

(表9.4.2)

可塑性移行防止用シート

④発砲ポリエチレンシート・( )

固定金具 材質、寸法形状( )

・図示(図面番号: )

断熱材 種類、厚さ

・機械的固定工法 図示(図面番号: )

・接着工法 図示(図面番号: )

仕上塗料

・図示(図面番号: )種類( )使用量( )

防湿用フィルムの設置・有り・無し

屋内保護密着工法

モルタル塗り厚さ・( )mm

立上り部の保護モルタル塗厚さ・7mm以下・( )mm

目地処理(接着工法)

PC下地・図示(図面番号: )

増張り(S-F1、SI-F1)

PC入隅部・図示(図面番号: )

機械的固定工法

風圧力に対応した工法・図示(図面番号: )

脱気装置

⑤設置数量 図示(図面番号: AEV-12)種類( ステンレス )

4. 塗膜防水

(9.5.3)

(表9.5.1)

(表9.5.2)

施工箇所	種別
	X-1
	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置(X-1)

・設置数量 図示(図面番号: )種類( )

保護層(Y-2)・保護コンクリート・保護モルタル

仕上塗料(X-1、X-2)

・図示(図面番号: )種類( )使用量( )

防水層の下地

壁及び天井部の仕上げ・コンクリート打放し仕上げ(B種)

⑥図示(図面番号: )

防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理

⑦標準仕様書[9.6.4](2)(7)後段・( )

標準仕様書[9.6.4](2)(4)及び(7)以外の処理・( )

・標準仕様書[表9.7.1]による

施工箇所	目地寸法	種類	仕上
外部取合	10×10	MS-2	・省略
建具周り	10×10	MS-2	・省略
ALC目地	20×20	PU-2	

接着性試験

⑧簡易接着性試験・引張接着性試験

⑦保証書

工事区分	材料名	保証年数
防水工事	⑨防水	⑩10年・年

※防水工事業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

1. 共通

(10.1.3)

2. 天然石

(10.2.1)

(表10.2.1)

(表10.2.2)

3. テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・300型 ・400型	・( )

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・( ) ・( )	・( )

4. その他の材料

(10.2.3)

取付用モルタル・図示(図面番号: )

目地用モルタル・図示(図面番号: )

浸透性吸水防止剤・図示(図面番号: )

石裏面処理材・図示(図面番号: )

裏打ち処理材・図示(図面番号: )

充填材料・図示(図面番号: )

5. 外壁湿式工法

(10.2.2)

(10.2.3)

受金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号: )

アンカーの材質及び寸法

材質・SS400・( )寸法( )

あと施工アンカーの材質及び寸法・( )

(10.3.2)

ドレンパイプの材質

・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ

・( )

石材の厚さ・25mm以上・( )

石裏面処理・適用する

裏打ち処理・適用する

下地ごしらえ

・流し筋工法・あと施工アンカー工法

・あと施工アンカー横筋流し工法

目地 一般目地

目地幅・6mm以上・( )

シーリング材の有無・有り・無し

伸縮調整目地

位置・標準仕様書[表11.1.1]・図示(図面番号: )

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号: )

6. 内壁空積工法

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.4.2)

(10.4.3)

受金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号: )

アンカーの材質及び寸法 材質・SS400・( )寸法( )

あと施工アンカーの材質及び寸法・( )

石材の厚さ・20mm以上・( )

下地ごしらえ

・あと施工アンカー・横筋流し工法・あと施工アンカー工法

目地 一般目地

目地幅・6mm以上・( )

伸縮調整目地

位置・6mごと・図示(図面番号: )

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号: )

7. 外壁乾式工法

(10.2.2)

(10.5.2)

(10.5.3)

(表10.2.4)

金物の種類、形状、寸法・図示(図面番号: )

取り付け工法

・スライド方式・ロッキング方式

アンカーの材質及び寸法 材質・SUS304・( )寸法( )

あと施工アンカーの材質及び寸法・( )

石材の厚さ・30mm以上(外壁)・25mm以上(内壁)・( )

たば用穴の位置・図示(図面番号: )

裏打ち処理・適用する

風圧力に対応した工法・図示(図面番号: )

目地

目地幅・8mm以上・( )

シーリング材・適用する

8. 床及び階段の石張り

(10.3.3)

(10.6.2)

(10.6.3)

石材の厚さ・( )mm

石裏面処理・適用する(浸透性吸水防止剤)

裏打ち処理・適用する(浸透性吸水防止剤)

目地 一般目地

目地幅・屋内4mm以上、屋外3～6mm

・図示(図面番号: )

伸縮調整目地

位置・標準仕様書[10.6.2](5)(4)後段

・図示(図面番号: )

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号: )

9. 笠木、甲板等

(10.2.2)

(10.3.3)

取付け金物

・標準仕様書[10.2.2](3)(7)の各後段・( )

アンカーの材質及び寸法

材質・SUS304・( )寸法( )

(10.5.3)

あと施工アンカーの材質及び寸法・( )

(10.7.2)

取付工法・湿式工法・乾式工法

石材の厚さ・( )mm

石裏面処理・適用する

取付け代(乾式工法の場合)

・標準仕様書[10.5.3](2)・( )mm

石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)

・適用する 図示(図面番号: )

目地 一般目地

目地幅・( )mm

伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)

位置・図示(図面番号: )

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号: )

10. 隔て板

(10.7.3)

石材の厚さ・40mm・( )

11. タイル工事

1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)

位置・標準仕様書[表11.1.1]

・図示(図面番号: )

2. タイル張り

(11.1.4)

(表11.2.3)

(11.2.2)

(11.2.3)

(11.3.2)

(11.3.3)

(11.3.4)

(表11.3.2)

タイルの種類・工法

施工箇所	工法	種類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性

・試験張りを行う

・見本焼きを行う

・既調合モルタル材料( )

(11.2.6)

セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事

(11.3.5)

コンクリート素地面の処理・適用箇所 図示(図面番号: )

・目荒し工法・MCR工法

有機系接着剤あと張り工事

シーリング材の種類

打継、ひび割れ誘発目地・PU-2・( )

伸縮、その他目地・MS-2・( )

外装タイル接着剤張りの目地詰め

・行う・行わない

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title

新宮特記仕様書 4

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有)貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

AEV-04

原図: A2

12木工事

1. 木材

(12. 2. 1)

(12. 4. 1)

(12. 5. 1)

(12. 6. 1)

(12. 7. 1)

(表12. 2. 1)

木材の含水率

部材名称		種別	
下地材		A種	B種
造作材		A種	B種

「JAS 1083」による製材

	寸法	等級	含水率	保存処理	県産材
下地用製材	・ 図示 ( : )	・ ( )			
造作用製材	・ 図示 ( : )	・ ( )			
広葉樹製材	・ 図示 ( : )	・ ( )	・ 10% 以下		

「JAS 1083」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率

・ 図示 (図面番号 : )

造作材の材面の品質

・ A種

・ ( )

樹種

部位	樹 種	県産材

3. 集成材等

(12. 2. 1) (3)

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等

	品名・樹種・寸法 見付け材面数	見付け材面の品質	化粧薄板厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号 : )	・ 1等 ( )	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号 : )	・ 1等 ( )	

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等

樹種、寸法、見付け材面の品質及び含水率等

・ 図示 (図面番号 : )

4. 造作用単板積層材

(12. 2. 1) (4)

「JAS 0701」による造作用単板積層材

品名、寸法、表面の品質及び防虫処理

・ 図示 (図面番号 : )

「JAS 0701」以外の造作用単板積層材

寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理

・ 図示 (図面番号 : )

5. 直交集成材

(12. 2. 1) (5)

「JAS 3079」による直交集成材

品名、曲げ強度 (強度等級)、種別、接着性能 (使用環境)、樹種、寸法

・ 図示 (図面番号 : )

6. 合板等

(12. 2. 1) (6)

品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ

構造用合板の強度等級

・ 図示 (図面番号 : )

特殊加工化粧合板の化粧加工方法

・ オーバーレイ

・ プリント

・ 塗装

・ ( )

パーティクルボード

表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等

・ 図示 (図面番号 : )

7. 接合具等

(12. 2. 2)

(表12. 2. 2)

～ (表12. 2. 5)

8. 防虫・防蟻

・ 防虫処理

(12. 3. 1)

(12. 3. 2)

9. RC造等の間仕切軸組及び床組

(12. 4. 1)

10. 窓、出入口等

(12. 5. 1)

11. 床板張り

(12. 6. 1)

12. 壁及び天井下地

(12. 7. 1)

ミディアムデンシティーファーパーボード (MDF)

表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等

・ 図示 (図面番号 : )

造成材の化粧面の釘打ち

・ 隠し釘打ち

・ 釘頭埋め木

・ つぶし頭釘打ち

・ 釘頭現し

諸金物の形状、寸法、材質

・ 図示 (図面番号 : )

防腐・防蟻処理

薬剤加圧注入

適用部材、保存処理性能区分

・ 図示 (図面番号 : )

薬剤の塗布等

処理方法

・ 薬剤の製造所の仕様

・ ( )

附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による処理

薬剤の種類、適用部材

・ 図示 (図面番号 : )

薬剤の接着剤への混入

・ ( )

合板等の加圧注入

・ ( )

防虫処理

・ ( )

間仕切軸組に用いる木材

・ 杉

・ 松

・ ( )

床組に用いる木材 (土間スラブ 類の土台、転ばし大引、転ばし根太)

・ ひのき

・ 保存処理材

・ ( )

床組に用いる木材 (上記以外)

・ 杉

・ 松

・ ( )

吊元杵、水掛りの下杵、敷居

・ ひのき

・ ( )

上記以外

・ 松

・ 杉

・ ( )

緑甲板、上がりがまち

・ ひのき

・ ( )

木材

・ 杉

・ 松

・ ( )

14金属工事

④とい

(13. 5. 2)

(表13. 5. 1)

(表13. 5. 2)

(13. 5. 3)

(表13. 5. 4)

材種

・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

・ 配管用銅管 (白管)

・ ( )

表面処理鋼板の塗膜の種類

・ ( )

耐酸被覆鋼板 材質等

・ ( )

受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔

・ 図示 (図面番号 : )

軒どいの取付け間隔 (多雪地域)

・ 0. 5m以下

・ ( )

鋼管製といの防露巻工法

・ 標準仕様書 [表13. 5. 4]

・ ( )

①アルミニウム

(14. 2. 1)

(表14. 2. 1)

表面処理の種類

・ AB-1

・ AB-2

・ AC-1

・ AC-2

・ BA-1

・ BA-2

・ BB-1

・ BB-2

・ BC-1

・ BC-2

・ C (常温乾燥形の塗装 ( ) )

陽極酸化被膜の着色方法

・ 二次電解着色

・ ( )

陽極酸化被膜の色合い等

・ ( 標準色 )

②鉄鋼の垂鉛めっき

(14. 2. 2) (表14. 2. 2)

垂鉛めっきの種類

・ A種

・ B種

・ C種

・ D種

・ E種

・ F種

③軽量鉄骨

天井下地

(14. 4. 2)

(表14. 4. 1)

(14. 4. 3)

(表14. 4. 2)

(14. 4. 4)

屋内

・ 19形

・ ( )

屋外

・ 25形

・ ( )

屋外の野縁受等の間隔

・ 図示 (図面番号 : )

吊りボルトの補強方法 (@900mm超)

・ 図示 (図面番号 : )

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・ 天井ふところ > 3. 0m

・ 図示 (図面番号 : )

・ 耐震天井

・ 図示 (図面番号 : )

・ 耐風圧の補強

・ 図示 (図面番号 : )

④軽量鉄骨壁下地

(14. 5. 3)

(表14. 5. 1)

(14. 5. 4)

スタッド、ランナーの種類

・ 50形

・ 65形

・ 90形

・ 100形

・ スタッドの高さによる区分

・ 図示 (図面番号 : )

スタッドの高さ5m超

・ 図示 (図面番号 : )

出入口、開口部の補強

・ 標準仕様書 [14. 5. 4] (5) 後段

・ ( )

5. 金属成形板張り

(14. 6. 2)

(14. 6. 3)

施工箇所		
種 別	・ アルミニウム	
	・ ステンレス	・ 鋼
形 状	・ スパンドレル形	
	・ パネル形	
表面処理	・	

取付け用下地

・ 図示 (図面番号 : )

長尺ものにおける伸縮調整継手

・ 設ける

・ 図示 (図面番号 : )

⑥アルミニウム製笠木

(14. 7. 2)

(14. 7. 3)

(表14. 7. 1)

部材の種類

・ 175形

・ 250形

・ 300形

・ 350形

表面処理

・ ( )

固定方法

・ 図示 (図面番号 : )

風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・ 図示 (図面番号 : )

⑦天井見切縁

⑧点検口

15左官工事

1. ラス系下地

(15. 2. 4)

通気工法

・ 二層下地

・ 単層下地

直張り工法

・ ラスモルタル下地

・ ラスシートモルタル下地

ラス及び補強用平ラス

材料記号	種類	質量 (kg/m ² )
・ K	・ ( )	・ ( )
・ ( )		

ラスシート

山高 (mm)	山ピッチ (mm)	質量 (kg)	溶接ピッチによる区分
・ ( )	・ ( )	・ ( )	・ ( )

外張断熱工法

・ 図示 (図面番号 : )

ステーブルの形状、寸法

・ 図示 (図面番号 : )

換気口部の措置

・ 標準仕様書 (木造) [11. 4. 3] (2) (ウ)

・ ( )

耐力壁のラスシートの施工

・ 図示 (図面番号 : )

2. せっこうボード

その他のボード下地

(15. 2. 5)

せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ

・ 図示 (図面番号 : )

・ ( )

木質系セメント板の種類、厚さ

・ 図示 (図面番号 : )

・ ( )

3. こまひ下地及び木ずり下地

(15. 2. 6)

(15. 2. 7)

耐力壁の指定

・ 図面 (図面番号 : )

木ずり用小幅板の樹種

・ 杉 (芯がり材)

・ 図示 (図面番号 : )

④モルタル塗り

(15. 3. 2)

(15. 3. 5)

材料

・ 現場調査材料

・ 既調査材料

既製目地材

・ 使用する

・ 図示 (図面番号 : )

床の目地

・ 図示 (図面番号 : )

下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験 (外壁タイル張り等)

・ 実施する

⑤仕上塗材仕上

(15. 6. 2)

(表15. 6. 1)

種 類	呼 び 名	仕 上 形 状	工 法
薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	・ 吹付け
	・ 内装薄塗材E	・ 着色骨材砂壁状	
	・ ( )	・ 砂壁状ジュラク	
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 吹放し	・ 吹付け
		・ 凸部処理	
		・ 平たん状	
		・ 凹凸状	
	・ 外装厚塗材Si	・ 吹放し	・ 吹付け
		・ 凸部処理	
		・ 平たん状	
		・ 凹凸状	
複層仕上塗材	・ 外装厚塗材E	・ 吹放し	・ こて
		・ 凹凸状	
	・ ひき起こし		
軽量骨材仕上塗材	・ 吹放し	・ 凸部処理	・ こて
	・ 凹凸状		
	・ ひき起こし		
複層仕上塗材	・ 複層塗材E	・ ゆず肌状	・ ローラー
	・ 複層塗材RE	・ 凸部処理	
	・ 防水型複層塗材E	・ 凹凸状	
軽量骨材仕上塗材	・ 防水型複層塗材RE	・ 凹凸状	・ 吹付け
	・ ( )	・ ( )	
	・ ( )	・ ( )	
内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの)	・ 吹付け用軽量塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け
	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状	
	・ ( )	・ ( )	

内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの)

・ JIS A 6909 調湿形

複層仕上塗材の耐候性

・ 耐候形 3 種

・ ( )

外装厚塗材Cの上塗材

・ セメントスタッコ以外の場合

・ 材所要量 ( ) kg/m²

外装厚塗材Si、Eの上塗材の適用

・ あり

・ なし

■memo

■check

■scale

■drawing title

■project title

Kisho Architectural Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

新宮特記仕様書5

津市立白山中学校長寿命化改修工事

AEV-05  
原図: A2

15

左官工事

(表15.6.2)

複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観			
・アクリル系	・溶剤系	・艶有	・艶無	・メタリック	
	・弱溶剤系	・艶有	・艶無		
	・水系	・艶有	・艶無		
・シリカ系	・水系	・艶無			
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有	・艶無	・メタリック	
	・弱溶剤系	・艶有	・艶無		
	・水系	・艶有	・艶無		
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有	・艶無	・メタリック	
	・弱溶剤系	・艶有	・艶無		
	・水系	・艶有	・艶無		
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有	・艶無	・メタリック	
	・弱溶剤系	・艶有	・艶無		
	・水系	・艶有	・艶無		

6.マステック塗材塗り(表15.7.2)(表15.7.1)

種別

・A種

・B種

7.しっくい塗り(表15.10.1)(表15.10.2)(表15.10.3)(表15.10.4)

下地

・標準仕様書[15.10.1]

・( )

材料

・既調合材料(色しっくい・適用する・適用しない)

・現場調合材料

調合及び各層の塗厚

せっこうボード下地

・標準仕様書[表15.10.1]

・( )

モルタル塗り下地

・標準仕様書[表15.10.2]

・( )

せっこうラスボード下地

・製造所仕様による

・( )

木ずり下地

・標準仕様書[表15.10.3]

・( )

せっこうプラスター下地、こまい土壁下地

・標準仕様書[表15.10.4]

・( )

その他の下地

・( )

工法

上塗り仕上げ工法

・などで切り仕上げ

・パターン仕上げ

8.こまい壁塗り(表15.11.2)(表15.11.3)(表15.11.4)(表15.11.5)(表15.11.7)(表15.11.8)(表15.11.2)(表15.11.8)(表15.11.9)

のりの種類

土壁用

・ふのり

・つのまた

・ぎんなんそう

・粉末海藻

・( )

砂壁用

・ふのり

・つのまた

・こんにゃくのり

・にかわ

・合成分子系混和剤

・( )

色土の種類

土物仕上げ

・( )

ちりじゃくり

・( )

大津仕上げ

・( )

ちりじゃくり

・( )

色砂の種類

・( )

下塗りの調合

・標準仕様書[表15.11.2]

・( )

塗厚

・標準仕様書[表15.11.8]

・( )

耐力壁の指定

・図示(図面番号: )

工程種別

・A種

・B種

9.ロックウール吹付け(表15.12.3)

仕上げ吹付け厚さ

( )mm

16

建具工事

1.防火戸(表16.1.3)

防火戸の指定

・図示(図面番号: )

ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの

・図示(図面番号: )

2.見本の製作等(表16.1.4)

建具見本の製作

・実施する

特殊な建具の仮組

・実施する

3.防犯建物部品(表16.1.6)

防犯建物部品

・図示(図面番号: )

4.7mm以上製建具(表16.2.2)(表16.2.1)(表16.2.2)(表14.2.2)(表16.2.5)

外部建具の性能等級等

コンクリート系下地、鉄骨下地

⊙A種

・B種

・C種

・( )

木下地

・D種

・E種

・( )

表面処理

種別

・( )

⊙標準色

・特注色

内部建具

表面処理

種別

・( )

・標準色

・特注色

5.網戸等(表16.2.3)

形式

・可動式

・固定式

防虫網

網の材質

・合成樹脂

・ガラス繊維入り合成樹脂

・ステンレス(SUS316)

・( )

線径

・0.25mm以上

・( )

網目

・16メッシュ

・18メッシュ

・( )

6.樹脂製建具(表16.3.2)(表16.3.3)(表16.3.4)

外部建具の性能等級等

コンクリート系下地、鉄骨下地

・A種

・B種

・C種

・( )

木下地

・D種

・E種

・( )

建具の遮音性能等級

・T-1

・T-2

・( )

外部建具の断熱性能等級

・H-4

・H-5

・H-6

・H-7

・H-8

・( )

外部建具の日射熱取得性能等級

・( )

ガラス

・複層ガラス

・( )

建具枠見込み寸法

・図示(図面番号: )

表面色

・標準色

・特注色

水切り板

ぜん板

・図示(図面番号: )

建具周りの止水処理(外部に面するもののみ)

・製造所の仕様による

・( )

7.鋼製建具(表16.4.1)(表16.4.2)

簡易気密型ドアセット

・図示(図面番号: )

外部建具の耐風圧性

・S-4

・S-5

・S-6

耐震ドアの面内変形追随性

・( )等級

防音ドア、防音サッシの遮音性

・( )等級

断熱ドア、断熱サッシの断熱性

・( )等級

鋼板類の厚さ

・[表16.4.2]

・図示(図面番号: )

くつずりの仕上げ

・HL

・( )

H>2400mm又はW>950mm

・図示(図面番号: )

標準型钢製建具

型式	幅(mm)	高さ(mm)	
片開き	・900	・950	・2000
親子開き	・1200	・1250	
面開き	・1800	・1900	・2100

8.鋼製軽量建具(表16.5.1)

簡易気密型ドアセット

・図示(図面番号: )

耐震ドアの面内変形追随性

・( )等級

防音ドア、防音サッシの遮音性

・( )等級

断熱ドア、断熱サッシの断熱性

・( )等級

鋼板類の種類

・図示(図面番号: )

召合せ、縦小口包み板等の材質

・鋼板

・ステンレス鋼板

・アルミニウム合金押出型材

鋼板類の厚さ

⊙[表16.5.1]

・図示(図面番号: )

H>2400mm又はW>950mm

・図示(図面番号: )

9.ステンレス製建具(表16.6.2)(表16.6.3)(表16.6.4)(表16.6.5)(表16.4.1)

簡易気密型ドアセット

・図示(図面番号: )

外部建具の耐風圧性

・S-4

・S-5

・S-6

防音ドアセット、防音サッシの遮音性

・( )等級

断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性

・( )等級

耐震ドアセットの面内変形追随性

・( )等級

表面仕上げ

・HL

・鏡面仕上げ

曲げ加工

・普通曲げ

・角出し曲げ

10.木製建具(表16.7.2)(表16.7.3)(表16.7.1)(表16.7.2)(表16.7.6)(表16.7.7)

建具材の含水率

・A種

・B種

フラッシュ戸、戸ぶすまの表面材

・合板(・普通合板・天然木化粧合板・特殊加工化粧合板)

・MDF

区分(表表面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性)

・図面(図面番号: )

(表16.7.3)(表16.7.4)(表16.7.8)

フラッシュ戸の形状

表面板の厚さ

・標準仕様書[表16.7.6]

・( )

引戸の召合わせ

・いんろう付き

・図示(図面番号: )

かまち戸

かまち、鏡板の樹種

・図示(図面番号: )

ふすま

種別

・I型

・II型

上張の種類

・図示(図面番号: )

縁の仕上げ

・図示(図面番号: )

枠及びくつずりの材料

・図示(図面番号: )

各木製建具の見込み寸法

・標準仕様書[表16.7.7]

・図示(図面番号: )

11.建具用金物(表16.8.2)(表16.8.1)(表16.8.3)(表16.8.2)(表16.8.3)(表16.8.4)(表16.8.5)

金物の種類、見え掛かり部等の材質等

⊙標準仕様書[表16.8.1]

・図示(図面番号: )

表16.8.1中の*印の適用及び備考中の特記について

・図示(図面番号: )

丁番の枚数、大きさ

金属製建具

⊙標準仕様書[表16.8.2]

・( )

樹脂製建具

・標準仕様書[表16.8.3]

・( )

木製建具

・標準仕様書[表16.8.4]

・( )

戸車、レールの外径等

⊙標準仕様書[表16.8.5]

・( )

レバーハンドル、クレセント等の取付け位置

⊙図示(図面番号: )

マスターキー

⊙製作する

・製作しない

・監督員と協議の上システムを決定する

キーボックス

・要

⊙不要

鍵の製作本数等

⊙3本一組とし、室名札を付ける

・( )

12.自動ドア開閉装置(表16.9.1)(表16.9.2)(表16.9.1)(表16.9.2)(表16.9.3)(表16.9.3)(表16.9.4)

駆動装置の性能値

多機能トイレ出入口以外

・標準仕様書[表16.9.1]

・( )

多機能トイレ出入り口

・標準仕様書[表16.9.2]

・( )

検出装置の性能

・標準仕様書[表16.9.3]

・( )

戸の開閉方式

・図示(図面番号: )

引き戸用検出装置の種類

・( )

凍結防止措置

・行う

・行わない

・防錆の適用

13.自閉式上吊り引戸装置(表16.10.1)(表16.10.3)(表16.10.1)

性能値

⊙標準仕様書[表16.10.1]

・( )

14.重量シャッター(表16.11.2)(表16.11.1)(表16.11.3)

シャッターの種類

・図示(図面番号: )

外壁開口部のシャッター

・耐風圧強度( )Pa以上

開閉方式

・図示(図面番号: )

安全装置の設置箇所

・図示(図面番号: )

シャッターケース

・図示(図面番号: )

鋼板の種類

・図示(図面番号: )

・めっき付着量

・Z12

・F12

・( )

15.軽量シャッター(表16.12.2)(表16.12.1)(表16.12.3)(表16.12.4)

開閉方式

・図示(図面番号: )

・耐風圧強度( )Pa以上

保護装置の設置箇所

・図示(図面番号: )

スラットの材質、めっき付着量

・JIS G 3312

・Z06

・F06

・( )

・JIS G 3322

・AZ90

・( )

スラットの形状

・インターロッキング形

・オーバーラッピング形

16.オーバーヘッドドア(表16.13.2)(表16.13.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
・スチールタイプ	・バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス鋼板

耐風圧性能の区分

JIS A 4715

・( )

保護装置の設置箇所

・図示(図面番号: )

17.ガラス(表16.14.2)(表16.14.3)

板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等

⊙図示(図面番号: AEV-18)

留め材

⊙シーリング

・ガスケット( )

ガラス溝の寸法、形状等

⊙製造所の仕様による

・図示(図面番号: )

17

カーテンウォール工事

1.種類(表17.1.1)(表17.1.3)

・メタルカーテンウォール

・PCカーテンウォール

2.性能等(表17.1.3)(表17.2.2)(表17.3.2)

耐風圧性

( )

耐震性

( )

水密性

( )

気密性

( )

耐火性

( )

耐温度差性

( )

遮音性

( )

断熱性

( )

性能の確認・判定方法

( )

シーリング材の種類

( )

断熱材

( )

3.メタルカーテンウォール(表17.2.1)(表17.2.5)(表17.2.6)(表17.2.2)(表17.2.3)

カーテンウォールの材料

材料	規格等	見え掛り部の仕上げ	映像調整
・アルミニウム製	・標準仕様書[16.2.3]		・行う

製品の寸法許容差

・標準仕様書[表17.2.1]

ガラス溝の寸法、形状等

・製造所の仕様による

・図示(図面番号: )

取付け

躯体付け金物取付け位置の寸法許容差

・標準仕様書[表17.2.2]

・( )

カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差

・標準仕様書[表17.2.3]

・( )

ガラスの取付け

・図示(図面番号: )

4.PCカーテンウォール(表17.3.2)(表17.3.3)(表17.3.4)(表17.3.5)(表17.3.6)(表17.3.1)(表17.3.2)

カーテンウォールの材料

コンクリートの種類及び品質

・図示(図面番号: )

鉄筋

・SD295A

・( )

補強鉄線の径、網目寸法

・図示(図面番号: )

耐火目地材

・( )

配筋

・図示(図面番号: )

先付け材料

・仕上げ材( )

・建具枠( )

・ゴンドラ用ガイドレール( )

・( )

製品の寸法許容差等

・標準仕様書[表17.3.1]による

表面仕上げ材

・磁器質タイル

石材(・花こう岩・大理石

・( ))

取付け

カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差

・標準仕様書[表17.3.2]

・( )

ガラスの取付け

・図示(図面番号: )

18

塗装工事

1.材料

2.施工一般(表18.1.4)(表18.2.2)~(表18.12.2)

塗料塗り		施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類
種類	種別				
SOP	・A種 ・B種		鉄鋼面	・A種 ・B種 ・C種	
EP	・A種 ⊙B種		ボード面	⊙A種 ・B種	

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title  
新宮特記仕様書6

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有)貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.  
■sheet no.  
AEV-06  
原図: A2

18塗装工事

③耐候性塗料塗り (DP)  
(表18.7.2)  
(表18.7.1)  
(表18.7.3)  
(表18.7.2)  
(表18.7.4)  
(表18.7.3)  
4.ｽﾏｲﾝ塗り  
(表18.11.2)

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	ｺﾝｸﾘｰﾄ,ECF面における種別
鉄鋼面	屋外階段	①1級・2級 ・3級	・A種・B種 ・C種

19内装工事

①ビニル床シート張り  
(表19.2.2)  
(表19.2.1)  
(表19.2.3)  
2.ビニル床タイル張り  
(表19.2.2)  
(表19.2.1)  
3.特殊機能床材  
(表19.2.2)  
(表19.2.2)  
④ビニル幅木  
(表19.2.2)  
⑤施工  
(表19.2.3)  
6.ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き  
(表19.3.2)  
(表19.3.1)  
(表19.3.2)

種類	色柄	厚さ(mm)	継目
①FS ・( )	・無地②ﾌﾚｯｸﾞﾙ ・柄物	・2.0 ③(2.5 )	④熱溶接 ・突付け

接着剤の種類、施工箇所  
セメント系下地、木質系下地以外・図示(図面番号: )

寸法・色合	種類	半硬質	厚さ(mm)
・300×300 ( )	・コンポジションビニル床タイル(KT)		・2.0
・450×450 ( )	・コンポジションビニル床タイル(KT)	軟質	・( )
	・ホモジニアスビニルタイル		・( )

接着剤の種類、施工箇所  
セメント系下地、木質系下地以外・図示(図面番号: )

・帯電防止床シート・床タイル 寸法( )mm  
厚さ( )mm 種類( ) 性能( )  
・視覚障害者用床タイル  
種類(・ビニル床タイル・( ))  
形状(・300×300・( ))  
・耐動荷重性床シート  
種類( ) 厚さ( )mm  
・ゴム床タイル  
色柄( ) 種類( ) 寸法( ) 厚さ( )mm  
接着剤の種類、施工箇所  
セメント系下地、木質系下地以外・図示(図面番号: )  
・防滑性床シート・床タイル 種類( ) 寸法( ) 厚さ( )mm

種類・図示(図面番号: )  
高さ・図示(図面番号: ) ①100mm  
厚さ・図示(図面番号: ) ①1.5mm以上

下地 ①モルタル・セムﾌﾟﾗﾊﾞﾘﾝｸﾞ・木造・( )  
接合部の処理 ②熱溶接工法・( )

織りじゅうたん

種別	色柄	パイル形状	織り方
・A種 ・B種 ・C種	・無地 ・柄物 (標準品)	・ループ ・カット ・ループ併用	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法
・タフテッドカーベット	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	パイル長 ・5～7mm ・4～6mm	・グリッパバー ・全面接着
・タイルカーベット ・1種 ・2種	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	総厚さ、サイズ ・6.5mm ・500角	・全面接着

・帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)  
タイルカーベットの敷き方(全面接着工法)  
平場・市松敷き・模様流し・図示(図面番号: )  
階段部分・市松敷き・模様流し・図示(図面番号: )  
下敷き材・第2種1号、呼び厚さ8mm  
・図示(図面番号: )  
見切り、押え金物  
・材質( )・種類( )  
・形状(図面番号: )  
織じゅうたんの接合方法・ヒートボンド工法・( )

20ユニット及びその他工事

②断熱材  
(表19.9.3)  
(表19.9.4)  
1.フリーアクセスフロア  
(表20.2.2)  
2.可動間仕切  
(表20.2.3)  
3.移動間仕切  
(表20.2.4)  
4.トイレブース  
(表20.2.5)  
5.手すり  
(表20.2.6)  
6.階段滑り止め  
(表20.2.7)  
7.黒板及びホワイトボード  
(表20.2.9)  
8.鏡  
(表20.2.10)  
⑨表示  
(表20.2.11)

7.合成樹脂塗床  
(表19.4.3)  
(表19.4.4)  
(表19.4.5)  
～(表19.4.8)

8.フローリング張り  
(表19.5.2)  
(表19.5.3)  
(表19.5.4)  
(表19.5.5)  
(表19.5.2)  
～(表19.5.6)

9.畳敷き  
(表19.6.2)  
(表19.6.1)

⑩せっこうボード、  
その他のボード  
及び合板張り  
(表19.7.2)  
(表19.7.1)  
(表19.7.3)  
(表19.7.3)  
(表19.7.5)

材料	種別	樹種
・フローリングボード (根太張用)		・なら ・( )
・複合フローリング (根太張用)	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・( )
・フローリングボード (直張用)		・なら ・( )
・複合フローリング (直張用)	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・( )

材料	樹種	厚さ(mm)	幅・長さ	表面不陸緩衝材
・フローリングボード (直張用)	・なら ・( )			・合成樹脂発泡シート
・フローリングブロック (直張用)				
・複合フローリング (直張用)	・A種 ・B種 ・C種			

種類	種別	厚さ(mm)
①せっこうボード	強化PB(GB-F)	壁 ・9.5(準不燃) ②12.5(不燃)
		天井
①化粧せっこうボード	②トラバーチン模様 ・木目模様	・9.5(不燃) ③9.5(準不燃) ・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)
・ロックウール化粧 吸音板	・普通 ・立体模様	・9 ・( ) ・9 ・( )
・けい酸カルシウム板	・タイプⅡ0.8FK	・( )
・( )	・( )	・( )

合板張り  
・普通合板 表面の樹種名・生地のまま  
・(透明塗料塗り)ラワン・(不透明塗料塗り)しな  
・( )  
板面の品質( ) 厚さ( )mm  
防虫処理・( )  
・天然化粧合板 化粧板の樹種名・( )  
厚さ( )mm  
防虫処理・( )  
・特殊加工合板 化粧加工の方法  
・オーバーレイ・プリント  
・塗装・( )  
表面性能( ) 厚さ( )mm  
防虫処理・( )  
天井ボードの重ね張り・図示(図面番号: )  
合板類の張付け・A種・B種

21排水工事

1.排水管  
(表21.2.1)  
2.排水枳等  
(表21.2.1)

10.タラップ  
(表20.2.12)  
11.煙突  
ライニング  
(表20.2.13)  
12.ブラインド  
(表20.2.14)  
13.ロール  
スクリーン  
(表20.2.15)  
14.カーテン及び  
カーテンレール  
(表20.2.16)  
15.プレキャスト  
コンクリート工事  
(表20.3.2)  
(表20.3.3)  
(表20.3.4)  
16.間知石及び  
間知ブロック積  
(表20.4.2)  
(表20.4.3)

材料の種類・ステンレス  
仕上げ・研磨等なし・( )  
適用安全使用温度・( )℃  
工法・図示(図面番号: )

形式	スラット	開閉方式	スラットの 成形幅(mm)	ヘッドボックス・ ボトムレールの材質
・横形 ブラインド	・アルミニウム 合金 ・( )	・ギヤ式 ・コード式 ・( )	・25 ・( )	・鋼製 ・( )
・縦形 ブラインド	・アルミニウム 合金 ・( )	・ギヤ式 ・コード式 ・( )	・80 ・100 ・( )	

※幅、高さの寸法・図示(図面番号: )

操作方式・スプリング式・コード式・電動式  
寸法及び材質・図示(図面番号: )

カーテンの形式等

生地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ドレープ ・レース ・図示( )	・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ ・片ひだ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動
・暗幕 (遮光( )級)	・( )	・( )	・( )

暗幕用カーテン両端、上部及び召合せの重なり  
・300mm以上・( )・図示(図面番号: )  
カーテンレール・アルミ製・ステンレス製  
強さによる区分・10-90・( )  
形状・シングル・ダブル  
断面形状・角形・C形・D形  
仕上げ・アルマイト・( )  
付属金物(フック)・鋼製・樹脂製

補強鉄線の径・3.2mm・( )  
補強鉄線の網目寸法・( )  
設計基準強度Fc・図示(図面番号: )  
配筋・図示(図面番号: )  
取付方法・図示(図面番号: )

材種・( )  
種類及び質量区分・図示(図面番号: )  
積み方・谷積み・布積み  
目塗り・( )  
伸縮調整目地・材種( )・厚さ( )mm

22

1.排水管  
(表21.2.1)  
2.排水枳等  
(表21.2.1)

11.壁紙張り  
(表19.8.2)  
(表19.8.3)

施工箇所	種類	防火性能	品質

素地ごしらえ  
せっこうボード面・A種・B種  
コンクリート面・A種・B種  
モルタル・せっこうプラスター面・A種・B種

断熱材打込み工法  
断熱材の種類、厚さ ①図示(図面番号: )  
断熱材現場発泡工法  
断熱材の種類・A種1・A種1H・図示(図面番号: )  
断熱材の厚さ・図示(図面番号: )

フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材の寸法、フリーアクセスフロア高さ、耐震性能、  
所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗  
・図示(図面番号: )  
試験方法 20.2.2(2)(4)(a)～(d)  
寸法精度 20.2.2(2)(a)(a)～(c)

組立て方式  
・スタッド式・パネル式・スタッドパネル式  
パネル内建具寸法及び形状・図示(図面番号: )  
構成基材の種類・図示(図面番号: )  
遮音性・図示(図面番号: )  
表面仕上げ・図示(図面番号: )

操作方法・手動式・電動式  
表面材の材質及び仕上げ・図示(図面番号: )  
遮音性・図示(図面番号: )  
ハンガーレールの取付け下地の補強  
・標準仕様書[20.2.4](3)(4)・図示(図面番号: )  
パネルをランナーに取り付ける部品  
・標準仕様書[20.2.4](3)(1)・図示(図面番号: )  
ハンガーレール  
・標準仕様書[20.2.4](3)(4)・図示(図面番号: )  
ランナー  
・標準仕様書[20.2.4](3)(4)・図示(図面番号: )  
ハンガーレールの固定方法  
・溶接・あと施工アンカー(材質: 、寸法: )

表面材・メラミン樹脂系化粧板  
・ポリエステル樹脂系化粧板  
脚部・幅木・図示(図面番号: )  
扉小口の材質・ステンレス製・アルミ製  
ドアエッジの材質・製造所の仕様による・( )

材料の種類・アルミ・ステンレス(仕上げ: )

材種  
・ステンレスSUS304製ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)  
・( )  
寸法・約35mm・図示(図面番号: )  
工法・接着工法・埋込み工法

黒板の区分・焼付け・( )  
黒板の種類・鋼製黒板・ほうろう黒板・( )  
ホワイトボード・( )・図示(図面番号: )

厚さ・5mm・( )mm

室名札、ビクトリア、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、  
印刷等の種別、取付形式等  
①図示(図面番号: )  
・衝突防止表示 図示(図面番号: )  
・非常用進入口表示 図示(図面番号: )

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title  
新宮特記仕様書7

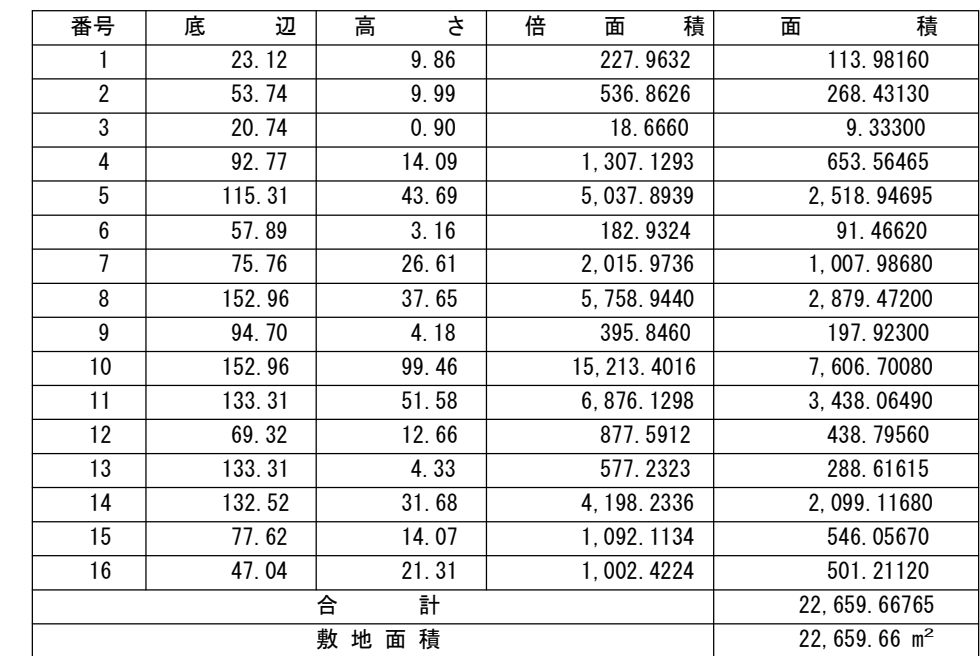
■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.  
AEV-07  
原図: A2



敷地求積図  $S=1/500$

外 部 仕 上 表																			
屋 根	平場：合成高分子系 $\text{LP}$ フイバーグシート防水 (S-F2) 接着工法 立上り：合成高分子系 $\text{LP}$ フイバーグシート防水 (S-F2) 接着工法 下地：コンクリート金鍍押え（水勾配付）〔合成床版用デッキプレート 1時間耐火仕様〕 LPフイバーグシート：横引 鋼鉄製100φ（ゴミ除去）			E V 外 壁	ALC $t=125$ 縦壁 $\text{ロック}$ 構造（1時間耐火）下地調整の上、複層仕上塗材E			巾 木	モルタル金コテ										
	既設 外 壁			EV取合い既設壁：下地調整の上複層仕上塗材E			エキスパンション		ステンレス製EXP. J（防水シート付） 三次元可動方式 $\text{クワ}$ ランス170±100可動仕様 耐火帯2層+ブラケット〔 1時間耐火 〕										
笠 木	笠木：7 $\times$ 1 $\times$ 175																		
樋	縦樋：V P管100φ（カラー） 掘み金物 ステンレス製 $\phi$ 900																		
外部仕上特記事項	1. 特記なき限り金物取合部はシーリング 充填のこと。																		
	【注】既設RC壁ハツ跡、鉄筋小口乾し止め塗とする。 ALC固定金物も耐火被覆 $\text{ロック}$ 吹付とする。																		
内 部 仕 上 表																			
階	室 名		床		巾 木		腰壁		壁	天 井				備 考					
			下地	仕 上	仕 上	H	下地	仕 上	仕 上	下地	仕 上	天井高	廻縁						
1 階	E Vホール	新 設	モルタル	ビニル床シート $t=2.5$		ソフト巾木	100	LGS65	石膏ボード $t=9.5$ 下地の上 ケイカル板 $t=6$ EP塗	石膏ボード $t=9.5$ 下地の上 ケイカル板 $t=6$ EP塗	LGS19型	化粧石膏ボード $t=9.5$		2700	塩ビ製	アルミサッシ撤去  床・壁・天井ーステンレス製エキスパンション金物 アルミコーナー見切			
		既設廊下	改修前	モルタル	ナラフローリングブロック $t=15$ 張り 合成樹脂塗リ（一部撤去）		モルタル巾木EP （一部撤去）	100	モルタル	コンクリート腰壁撤去		LGS19型	石膏ボード $t=9$ 目透かし VP塗（一部撤去）				2700		
	改修後		モルタル	ナラフローリングブロック $t=15$ 張り UC塗リ（一部新設）		モルタル巾木EP （一部新設）	100	モルタル	コンクリート打ち放し補修の上 EP塗		LGS19型	石膏ボード $t=9.5$ 目透かし EP塗（一部新設）							
2 階 3 階	E Vホール	新 設	モルタル	ビニル床シート $t=2.5$		ソフト巾木	100	LGS65	石膏ボード $t=9.5$ 下地の上 ケイカル板 $t=6$ EP塗	石膏ボード $t=9.5$ 下地の上 ケイカル板 $t=6$ EP塗	LGS19型	化粧石膏ボード $t=9.5$		2F 2700 3F 2550	塩ビ製	アルミサッシ撤去  天井点検口（アルミ枠450角）※3階 床・壁・天井ーステンレス製エキスパンション金物 アルミコーナー見切			
		既設廊下	改修前	モルタル	ナラフローリングブロック $t=15$ 張り 合成樹脂塗リ（一部撤去）		モルタル巾木EP （一部撤去）	100	モルタル	コンクリート腰壁撤去		LGS19型	石膏ボード $t=9$ 目透かし VP塗（一部撤去）				2F 2700 3F 2700		
	改修後		モルタル	ナラフローリングブロック $t=15$ 張り UC塗リ（一部新設）		モルタル巾木EP	100	モルタル	コンクリート打ち放し補修の上 EP		LGS19型	石膏ボード $t=9.5$ 目透かし EP塗（一部新設）							
1～3 階	多目的便所		新 設	モルタル	汚垂れ対応ビニル床シート $t=2.5$		同左立上	100	LGS65, 100	シーリング 石膏ボード $t=12.5$ 下地の上 ラミネ化粧板 $t=3$ 張り（ガラスカーネル24K $t=50$ 充填）	LGS19型	化粧石膏ボード $t=9.5$ ガラスカーネル24K $t=100$ 敷き込み		2400	塩ビ製				
ピ ッ ト			モルタル	モルタル塗りの上、ケイ酸質系塗布防水（C-SUI）		止水板			モルタル	モルタル塗りの上 ケイ酸質系塗布防水（C-SUI）（地中梁天び）									
内部仕上特記事項														耐火性能認定番号		防火性能認定番号		注記	
1 シーリングは特記なき限り建築工事共通仕様書9章5節シーリングによる。									柱：吹付ロックウール $t=25$ 1時間耐火 FP060CN-9460		化粧石膏ボード $t=9.5$ 準不燃 QM-9824		内装使用建材：F☆☆☆☆又は規制対象外の建材をすべて使用する						
2 図中モルタルとあるのは特記なき限り金鍍仕上とする。									梁：吹付ロックウール $t=25$ 1時間耐火 FP060BM-9408		石膏ボード $t=9.5$ 準不燃 QM-9828		天井裏等の措置：F☆☆☆☆又は規制対象外の建材をすべて使用する						
3 防火区画を形成する壁の隙間は、ロックウールを充填すること。									外壁：ALC $t=125$ 1時間耐火 一般指定告示第1399号		珪酸カルシウム板 $t=6.0$ 不燃 NM-1217		石綿・クロルポリホス使用不可						
4 LGS壁下地は、特記なき限りW=65とする。									間仕切壁：ALC $t=100$ 1時間耐火 一般指定告示第1399号										
5 設計図中の各寸法で既設建物との取合いのある寸法は必ず現地再調査のこと。									合成床版用デッキ（2、3階） 1時間耐火 FP060FL-9101				エレベーター出入口扉：特定防火設備 遮煙性能付						
									合成床版用デッキ（R階） 1時間耐火 FP060FL-9095		※認定番号は参考とする。								
■ 消防法による有窓階のチェック																			
	必要開口面積 (1/30) $\text{m}^2$	有効開口面積 $\text{m}^2$											判定						
			D2	D2'・	D2'・	W2	W1	D2'	A1										
1階	1983.29×1/30=66.109	>	(3.8×2×2)+(1.9×2)+(3.8×2×2×1/2)+(3.6×1.35×5×1/2)+(3.6×1.05×10×1/2)+(0.9×1.9×3)+(3.43×1.05×3×1/2)=68.18225											有窓					
			W2	W14	W1														
2階	1703.63×1/30=56.79	>	(3.6×1.35×9×1/2)+(3.6×0.9×13×1/2)+(3.6×0.58×18×1/2)=61.722											有窓					
			W2	W1															
3階	909.07×1/30=30.302	>	(3.6×1.35×9×1/2)+(3.6×0.58×16×1/2)=38.574											有窓					
■ 消防設備														用途：中学校 7項 従業員：2人+195.84 $\text{m}^2$ /3=67.28=67人 各棟67人					
・消火器ABC10型（図示は現況消火器）																			
・避難器具—3階廊下に1箇所（新設）																			
※収容人員 1階：71+6+4=81人（生徒+教師+臨時職員）																			
2階：75+6+4=85人																			
3階：63+5+4=72人 合計238人																			
・誘導灯：屋内運動場（別棟）に任意設置済																			
・既設屋内消火栓はEV新設部は移動とする。																			

■ 既設中学校耐火性能			
柱：	1時間耐火		
梁：	1時間耐火		
床： $t=120$	1時間耐火		
屋根： $t=120$	30分耐火		
階段： $t=130$	30分耐火		
外壁： $t=120$ （耐力）	1時間耐火		
間仕切壁： $t=120$ （耐力）	1時間耐火		

■ 耐火性能認定番号				■ 防火性能認定番号				注記	
柱：吹付 $\text{ロック}$ $t=25$	1時間耐火	FP060CN-9460	化粧P B $t=9.5$	準不燃 QM-9824	使用建築材料は全てノンアスベスト製品とする				
梁：吹付 $\text{ロック}$ $t=25$	1時間耐火	FP060BM-9408	P B $t=9.5$	準不燃 QM-9828	増築建物及び既存建物からアスベストの飛散のおそれはないものとする				
外壁：ALC $t=125$	1時間耐火	一般指定告示第1399号	珪酸カルシウム板 $t=8.0$ 不燃 NM-8578						
間仕切壁：ALC $t=125-100$	1時間耐火	一般指定告示第1399号	エレベーター出入口扉：特定防火設備 CAS-0519						
合成床版用デッキ（2・3階）	1時間耐火	FP060FL-9101	特定防火設備 平成12年建設省告示第1369号						
合成床版用デッキ（R階）	1時間耐火	FP060FL-9095							

【X5】

【X6】

X1

X2

X9

X10

X1

X2

X3

X4

X5

X6

X7

X8

Y1

Y2

Y3

Y4

Y1

4,300

4,500

4,500

4,500

4,500

4,500

4,500

4,500

2,300

15,595

6,030

2,605

6,960

165

2,275

6,060

空調室外機

空調室外機

電気盤

廊下

普通教室

普通教室

普通教室

つくし

男子便所

女子便所

掘り途中

UP

井戸

既設樹木撤去 樹高H1800・幹周100・枝張りW1500・本数8本

犬走り土間コン撤去 t=120 500×700程度

設備工事後 土間コン復旧 t=120 ワイヤメッシュφ×150×150共

敷地現況図 S=1/100

■memo

■check

client  
architect  
contractor

■scale

S=1/100

■drawing title

敷地現況図

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

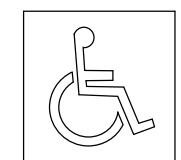
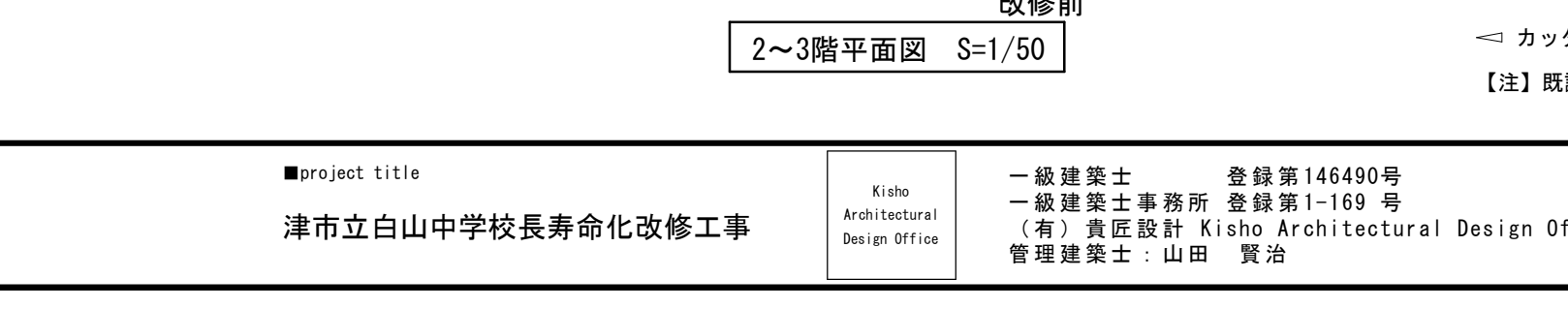
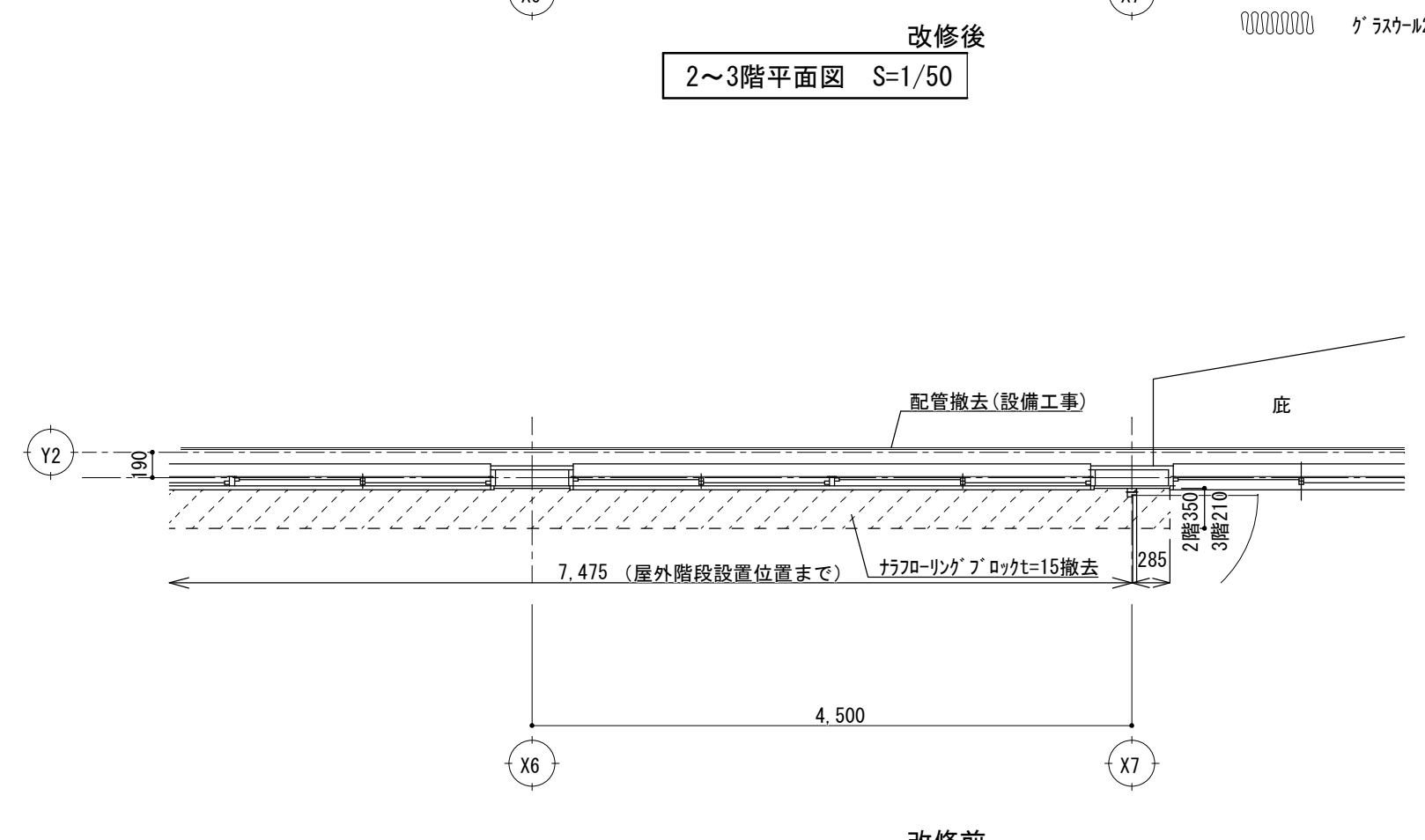
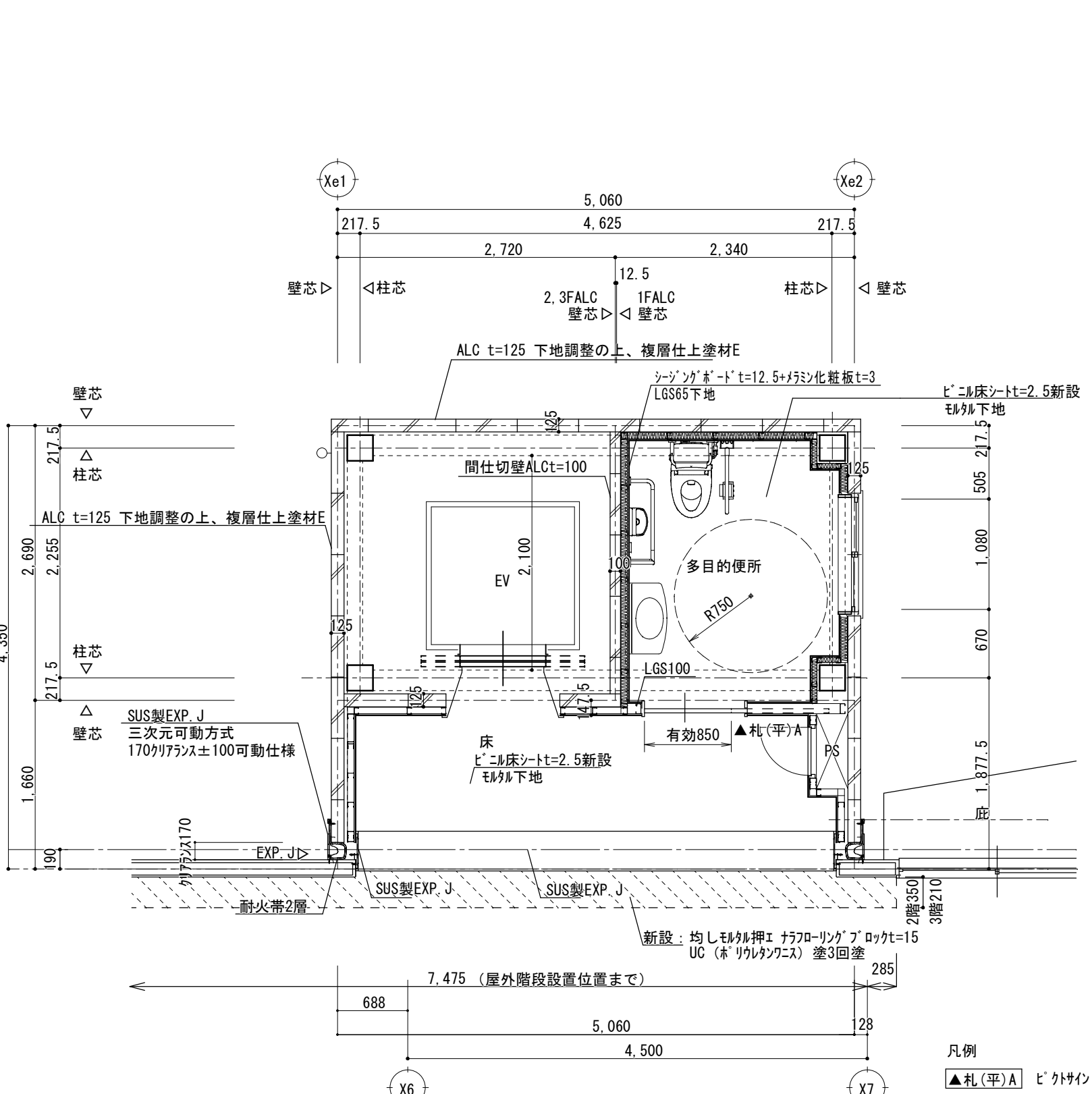
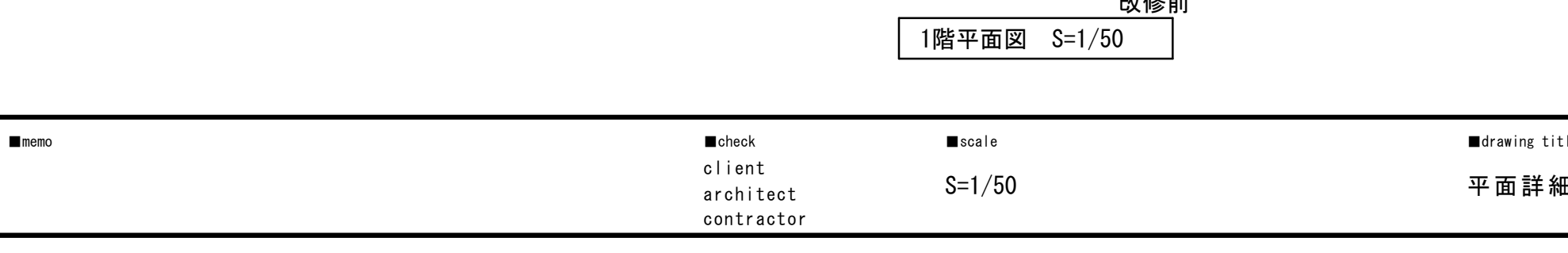
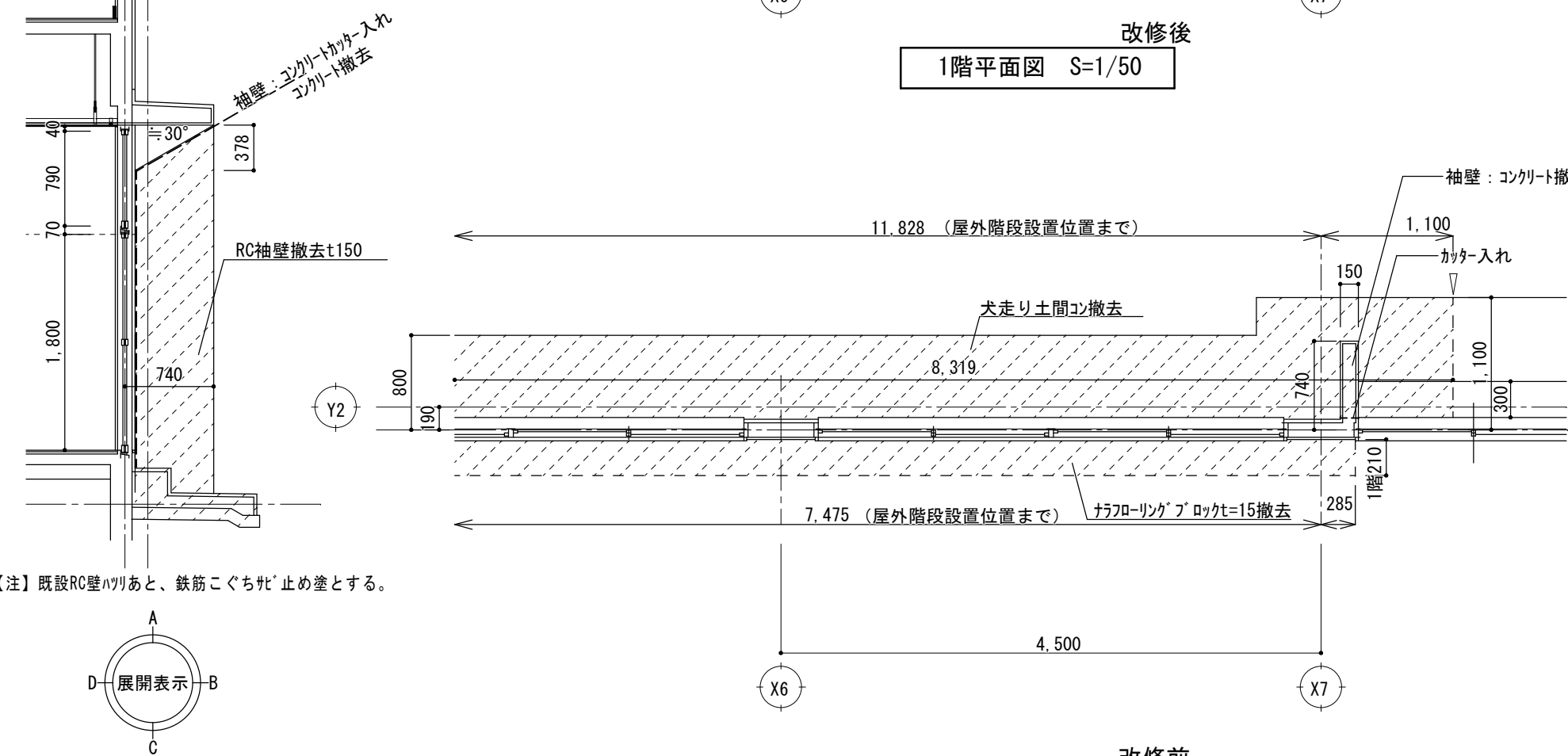
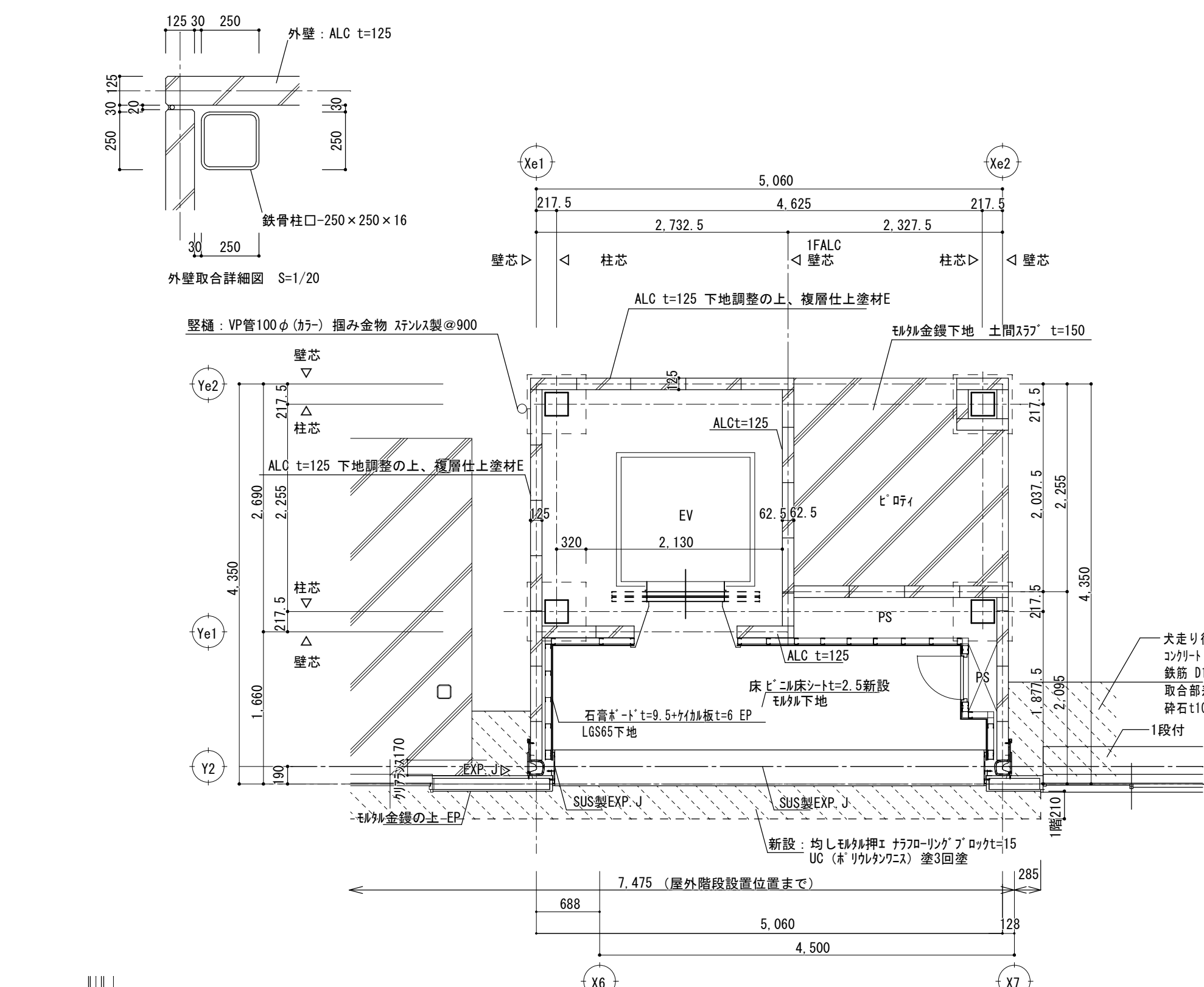
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

AEV-10

原図：A2

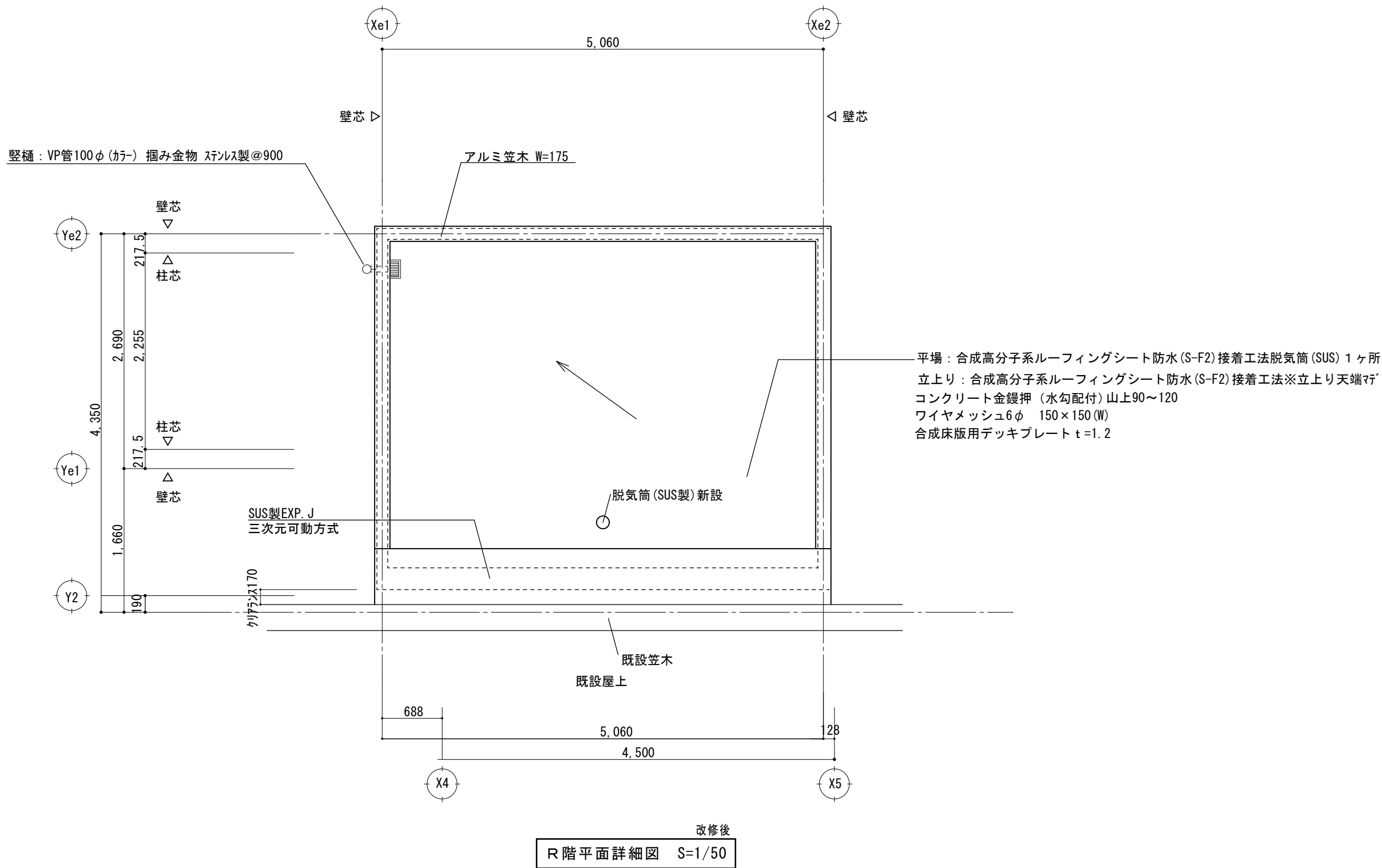


国土交通省仕様200角

- 凡例
- ▲札(平)A びくサイン：(平付型)新設 200×200程度 7カリ製
  - 〰〰〰〰〰〰 ガラスw24k t=50を示す

カッター入れを示す

【注】既設RC壁ハリ跡、鉄筋小口処理止め塗とする。



■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1/50

■drawing title  
R階平面詳細図（昇降機棟）

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

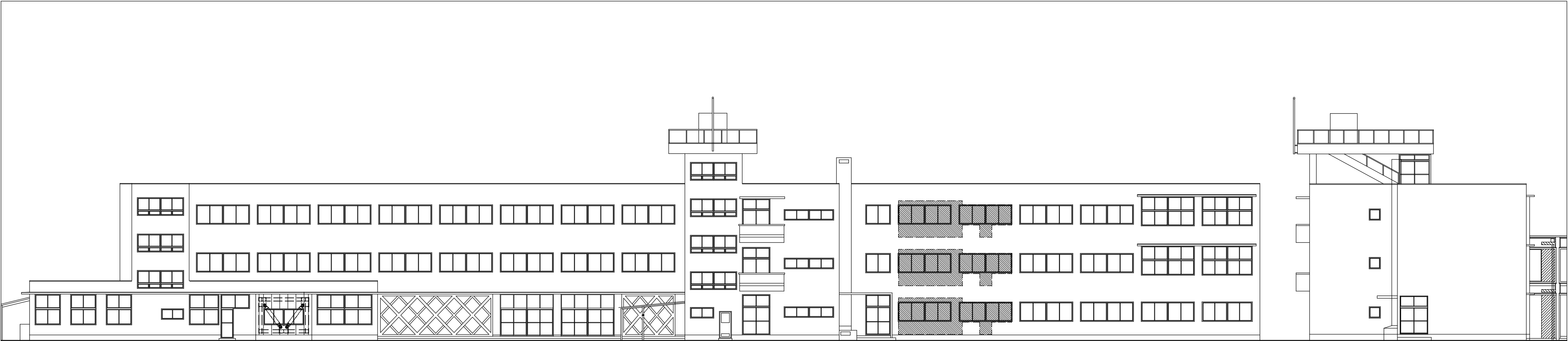
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

AEV-12

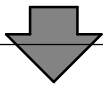
原図：A2



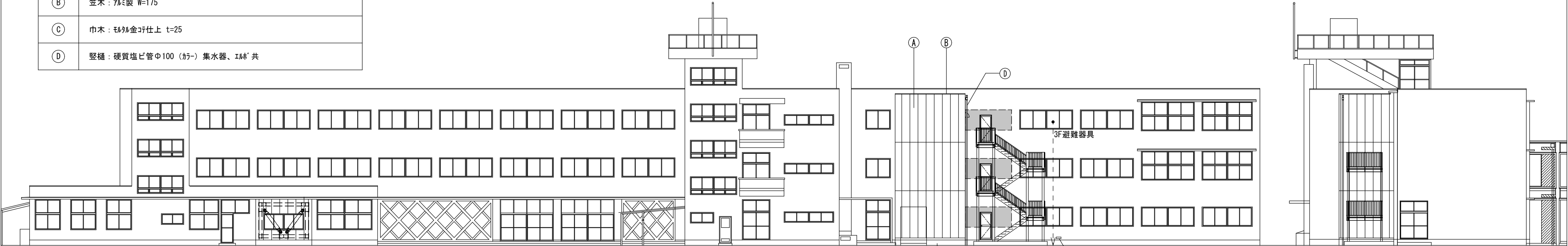
増築前北立面図 S=1/200

増築前西立面図 S=1/200

【凡例】  : 解体範囲を示す。



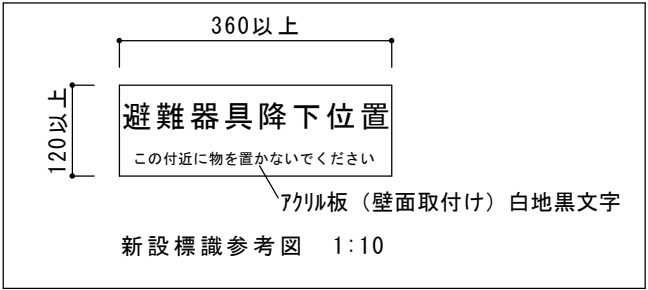
外壁仕上 凡例	
Ⓐ	外壁：ALC t=125 縦壁ロッキング工法 下地調整の上、複層塗材E 継目シーリング 共
Ⓑ	笠木：7mm製 W=175
Ⓒ	巾木：木外金コ仕上 t=25
Ⓓ	縦樋：硬質塩ビ管φ100 (カマ) 集水器、1mm 共



増築後北立面図 S=1/200

増築後西立面図 S=1/200

【凡例】  : 開口塞ぎコンクリート壁新設部分を示す。  
※コンクリート新設、下地調整の上、複層塗材E吹付



■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1/200

■drawing title  
立面図 (増築)

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

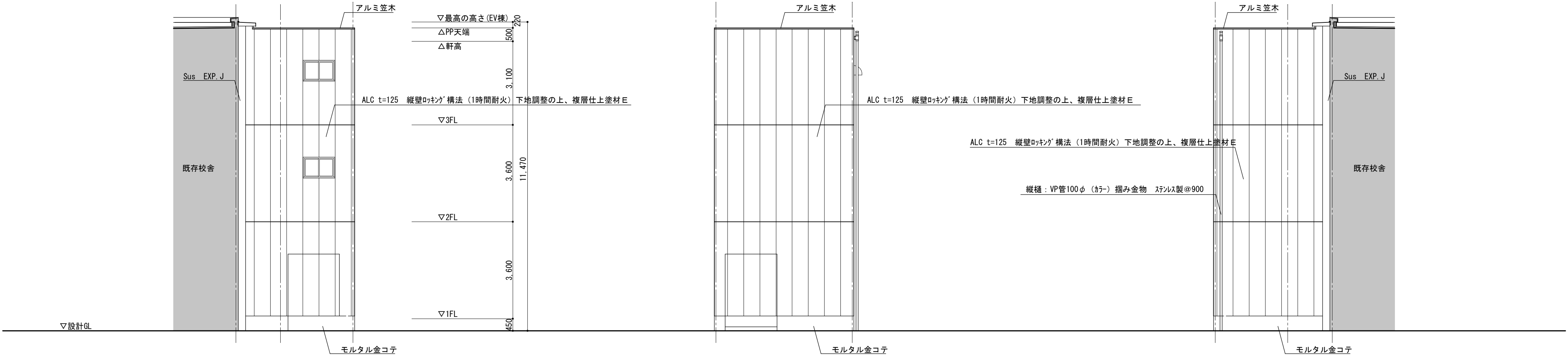
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

AEV-13

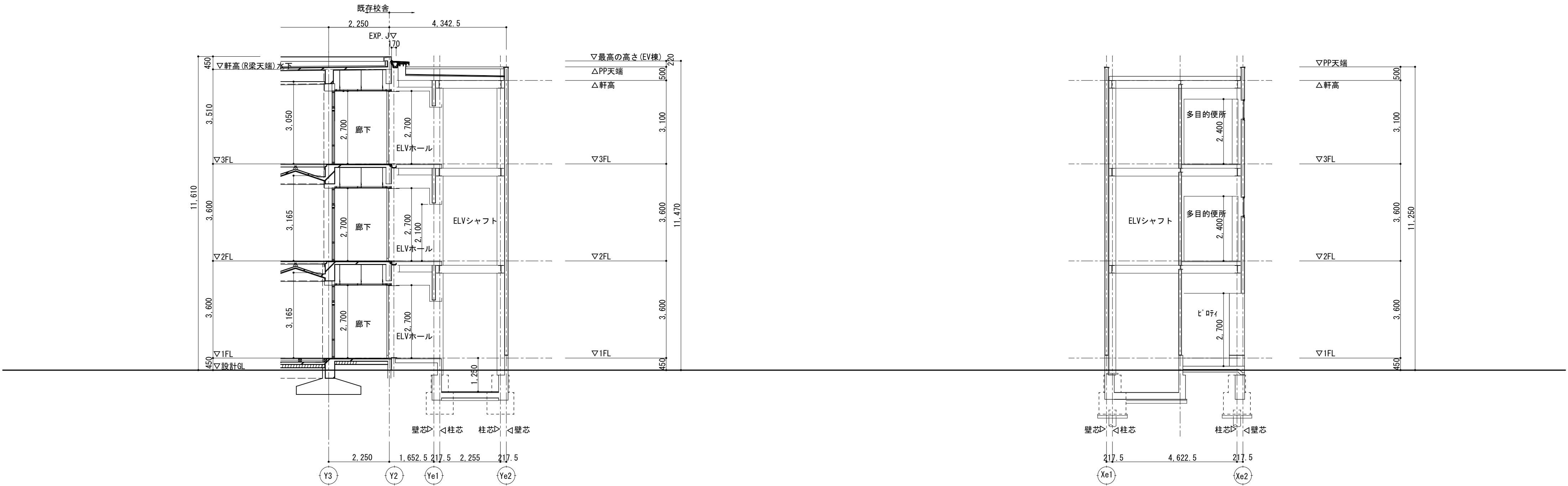
原図：A2



東 立面図 S=1/100

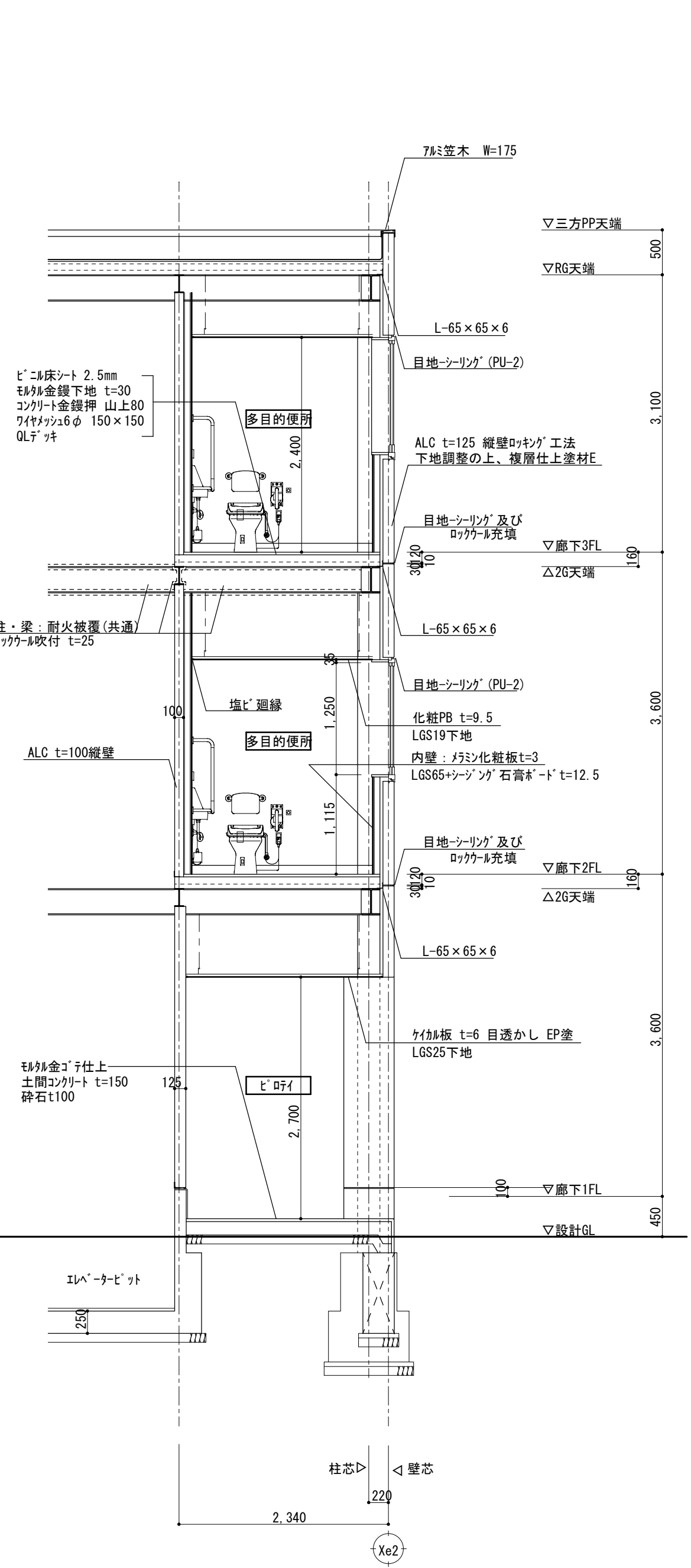
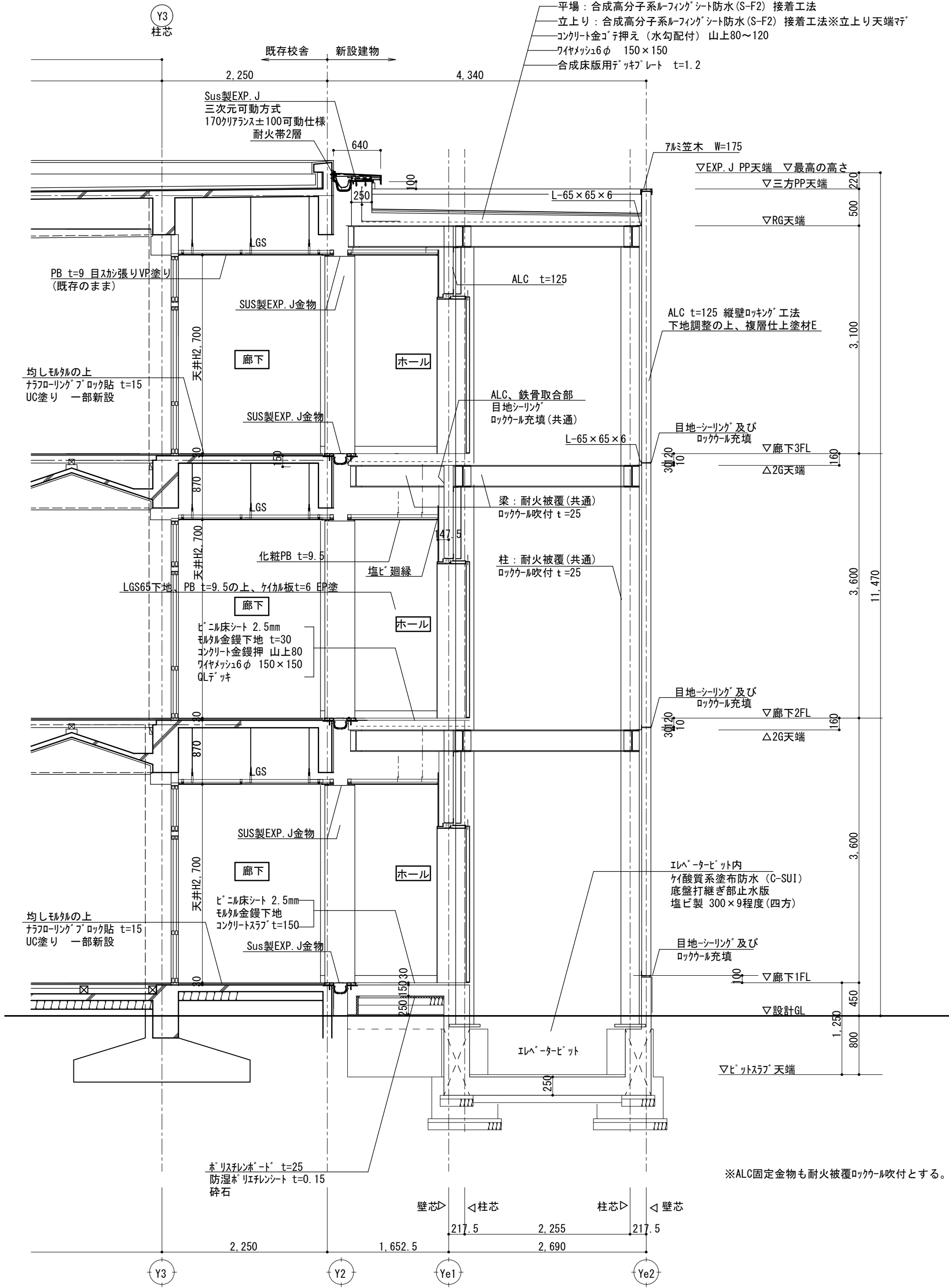
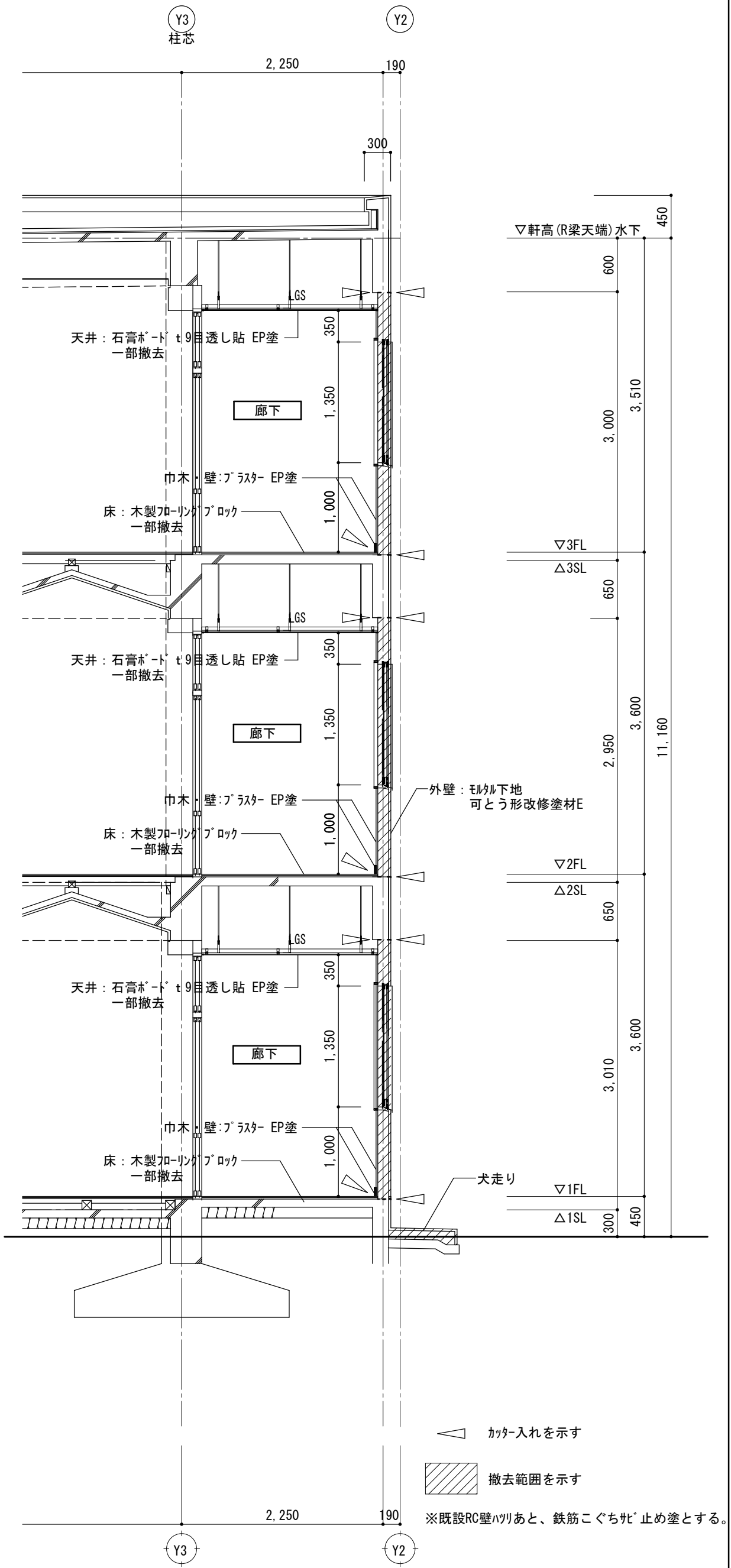
北 立面図 S=1/100

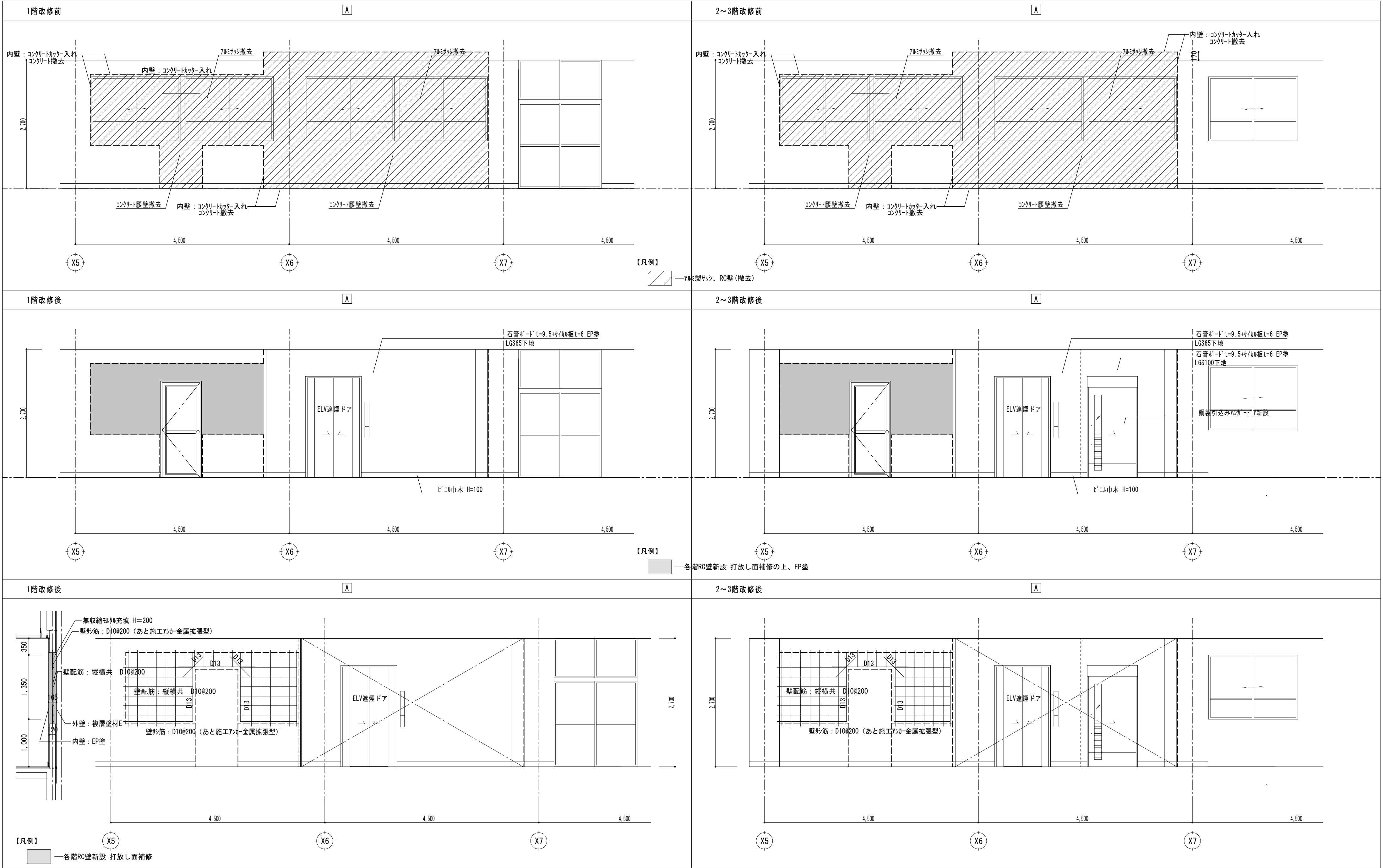
西 立面図 S=1/100

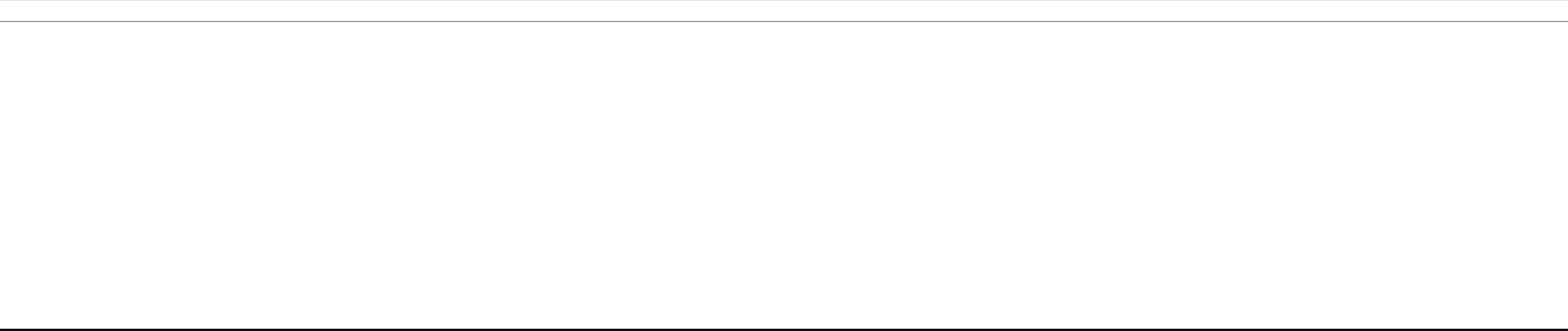
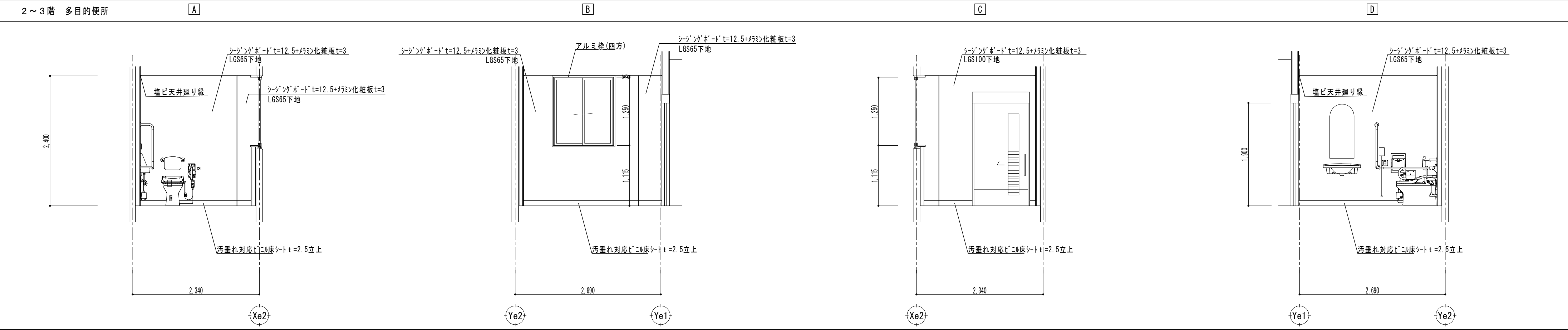
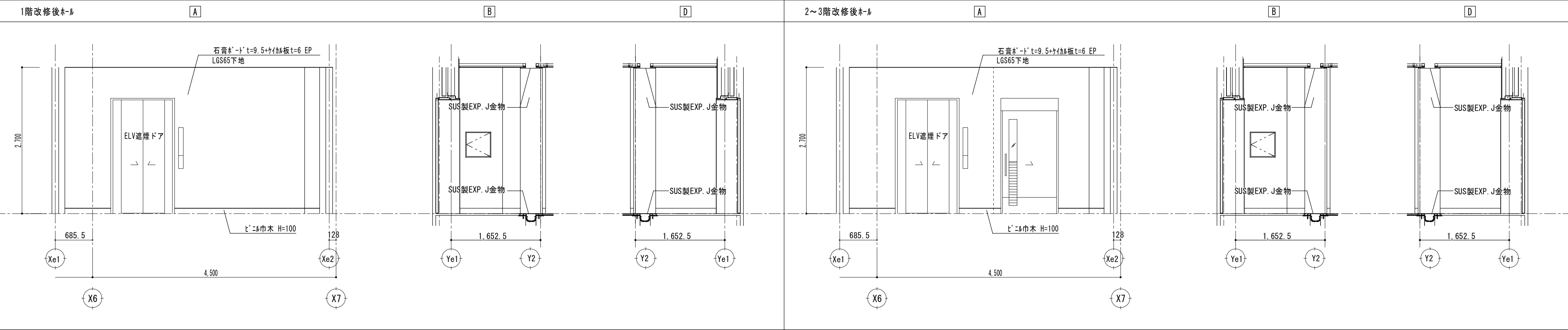


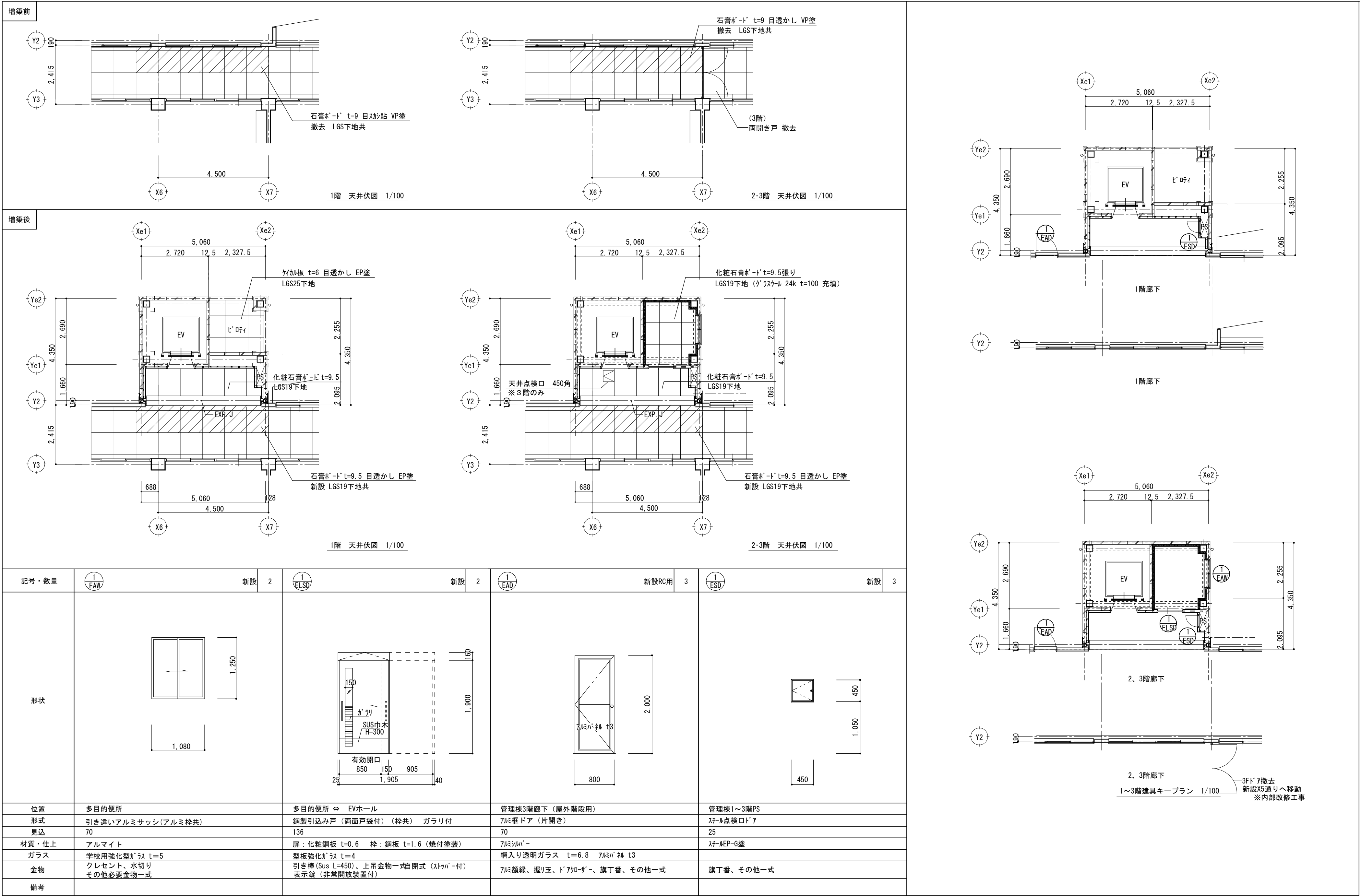
A-A 断面図 S=1/100

B-B 断面図 S=1/100

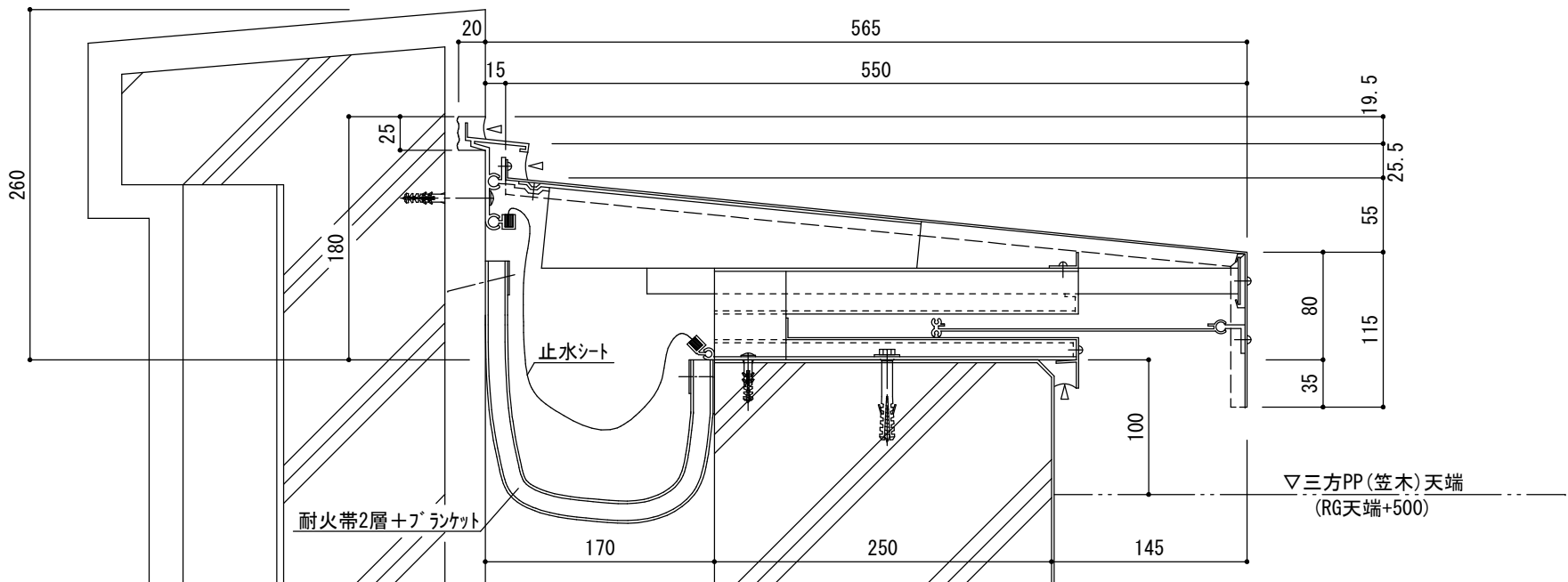
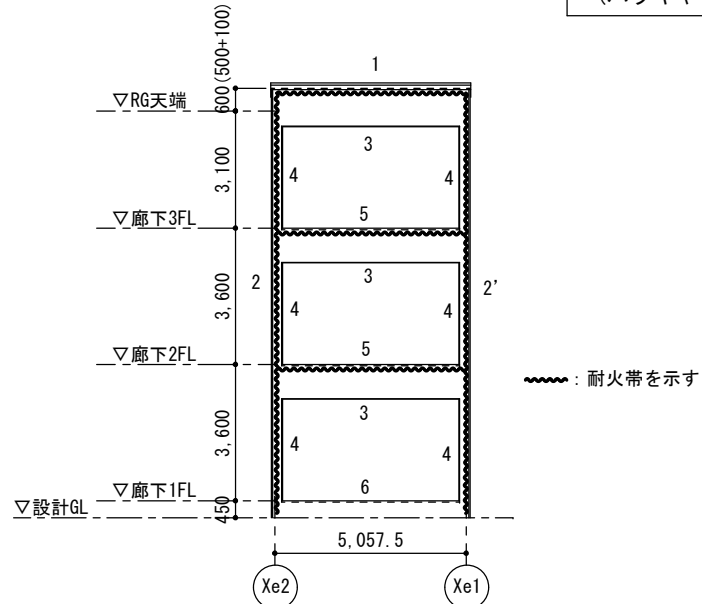








- ・ E X P ・ J システムに於いては、ステンレス製、三次元可動方式とする。
  - ・ 170mmクリアランス、±100mm可動仕様とする。
  - ・ 構造体が変位時に脱落・破壊が無い事を確認出来る仕様とする。
- * 以上の点を留意し、各仕様毎の条件を厳守する事により、各性能を保持する事。  
(パラキャップ社 170-100シリーズ同等以上の性能を有する事)



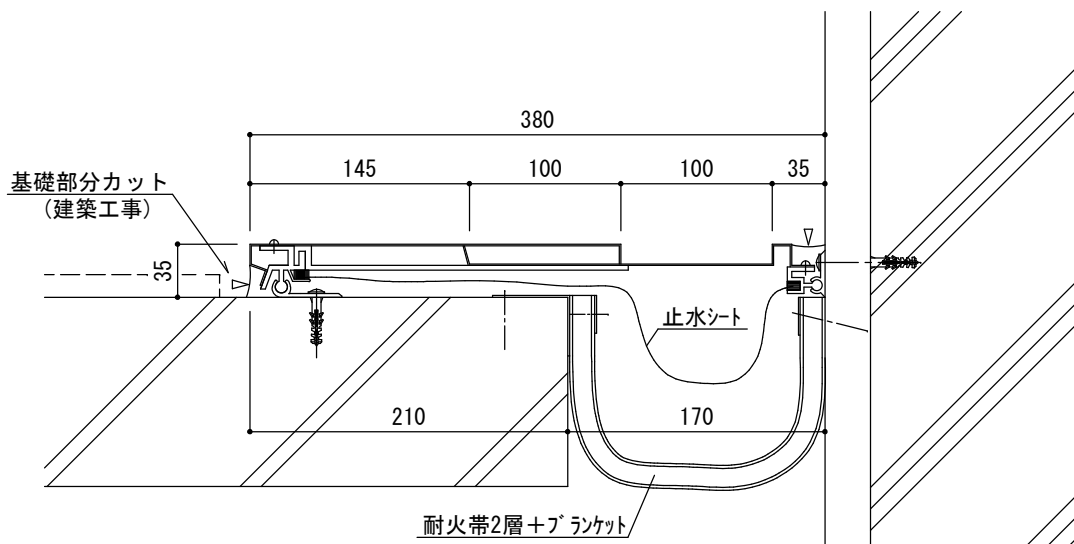
- ・ 止水シートは、Y方向可動用レール使用の事。  
(Y方向可動時にシートを破断させない事)
- ・ 可動式回転軸仕様とする(Z方向可動対策)
- ・ ジョイントは本体曲げ箱目地ジョイント方式とし、ジョイント材仕様は不可とする。
- ・ カバーはビス止め方式とし、 嵌合方式は不可とする
- ・ 端末小口は全面可動式小口蓋とし、一部分的可動は不可とする。  
(一部分的可動ではXYZ三次元運動に対応出来ない為)
- ・ カバー・下地材にて外部と内部を遮断し、下地材及びゴムを取付ける為に隙間が生ずる事のないようにする。  
(気密性を高める)
- ・ 下地材は、立骨方式とする。

* 上記条件厳守のこと

2' は逆勝手とする    (UZL-AF 170-100)

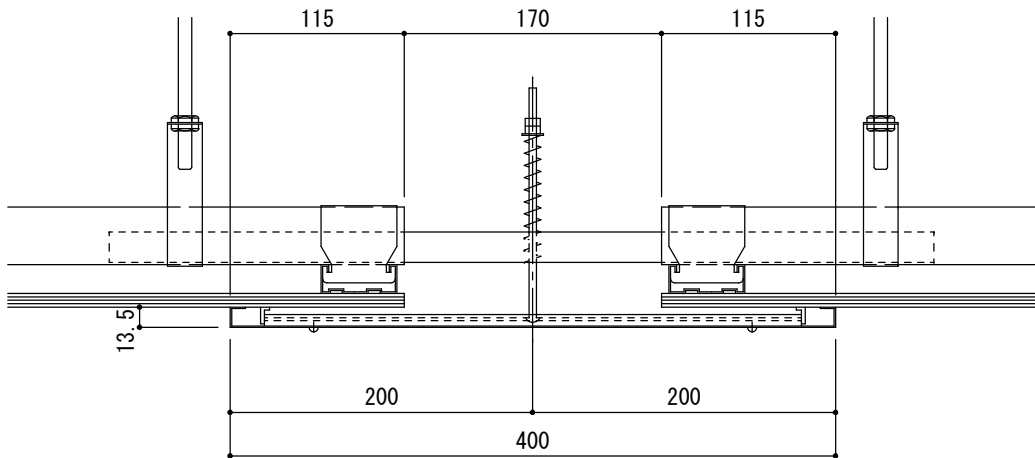
- ・ ジョイントは本体同志の差込み方式（印籠方式）とし、ジョイント材使用は不可とする。
- ・ 下地は、可動式回転軸仕様(Y方向可動対策)。
- ・ カバーはビス止め方式とし、嵌合方式は不可とする。  
又、カバーは2枚パネル方式とし、1枚パネル方式は不可とする。
- ・ 外部に於いては、変位時に僅かでも隙間を発生させない事  
(よって、1枚パネル方式は不可)

* 上記条件厳守のこと



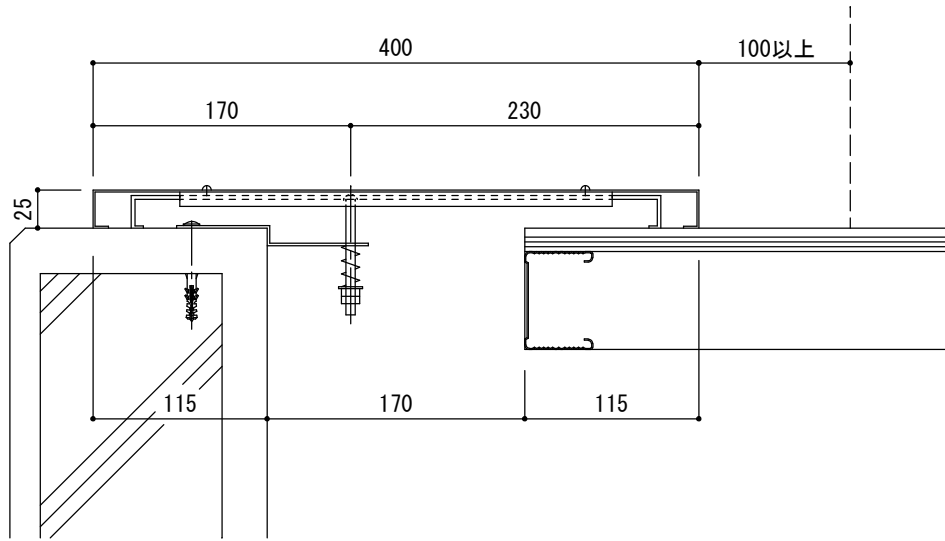
- ・ カバーはビス止め方式とし、嵌合方式は不可とする
- ・ 非破壊端末アジャスト装置付きとする(Y方向への変位量確保)
- ・ 単純な片側固定方式にはしない事(Z方向可動時に隙間が生ずる事のない事・カバーにたわみが発生しない事)

* 上記条件厳守のこと



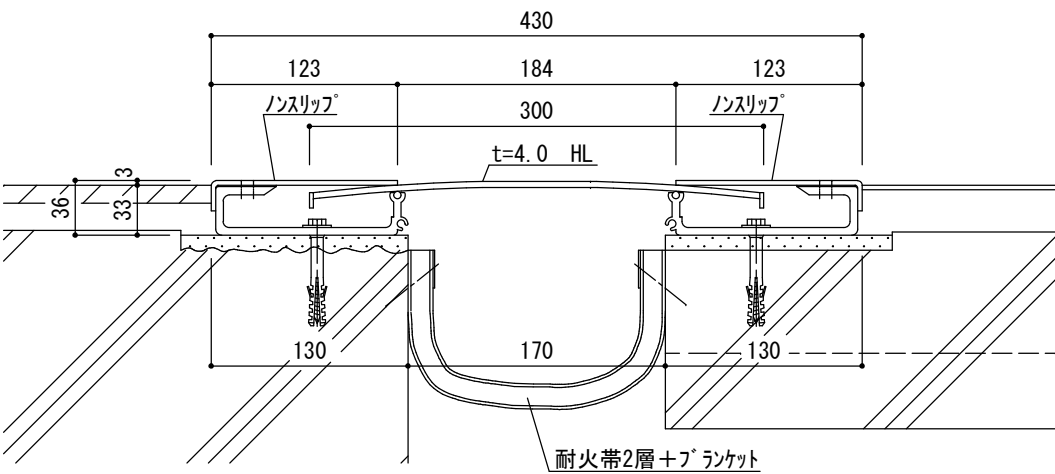
- ・ カバーはビス止め方式とし、嵌合方式は不可とする
- ・ 非破壊端末アジャスト装置付きとする(Z方向への変位量確保)
- ・ 単純な片側固定方式にはしない事(Y方向可動時に隙間が生ずる事のない事・カバーにたわみが発生しない事)

* 上記条件厳守のこと



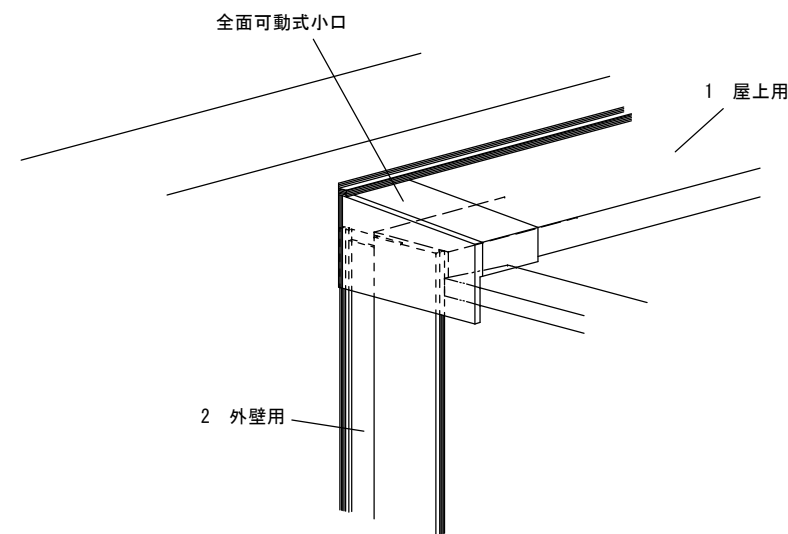
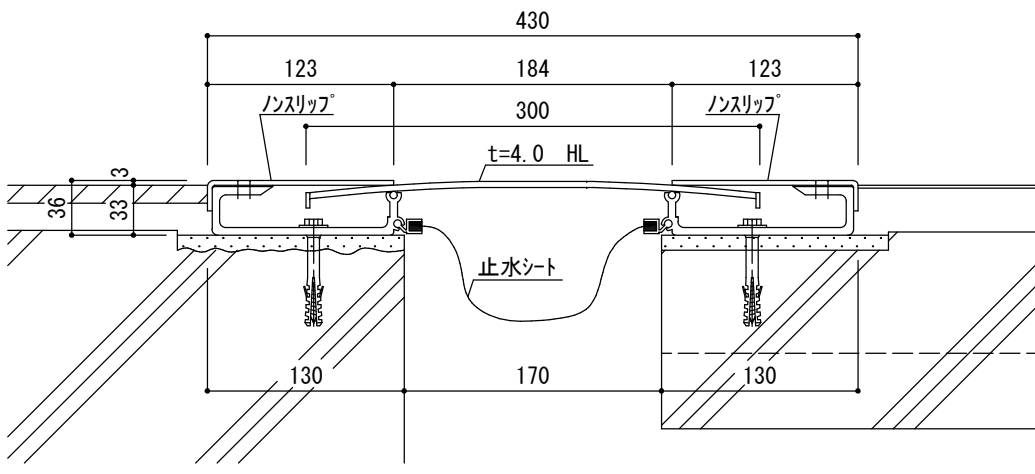
- ・ 非破壊端末アジャスト装置付きとする
- ・ スライドカバーの接点はステンレスとし、アルミ及びゴム系は不可とする(荷重はステンレス製シャフトにて受ける事とする)

* 上記条件厳守のこと

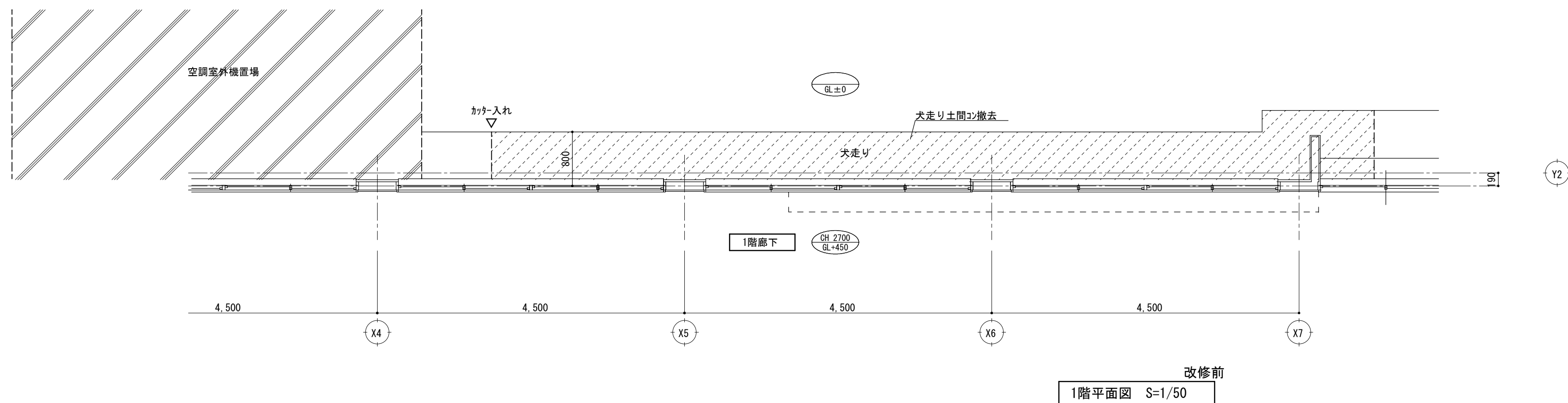
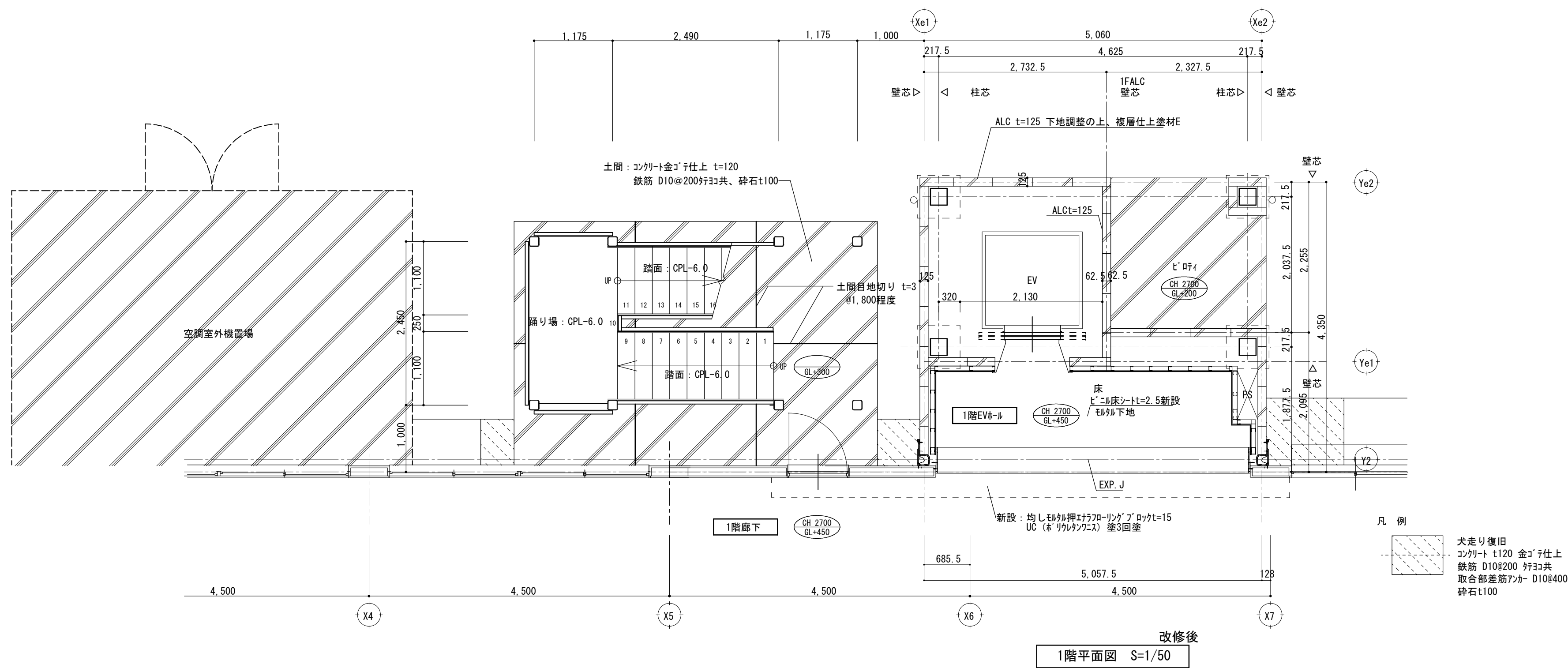


- ・ 非破壊端末アジャスト装置付きとする
- ・ スライドカバーの接点はステンレスとし、アルミ及びゴム系は不可とする(荷重はステンレス製シャフトにて受ける事とする)
- ・ 止水シートは、Y方向可動用レール使用の事  
(Y方向可動時にゴムを破断させない事)

* 上記条件厳守のこと



< 参考図 >



memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/50

drawing title  
1階平面図（屋外階段）

project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

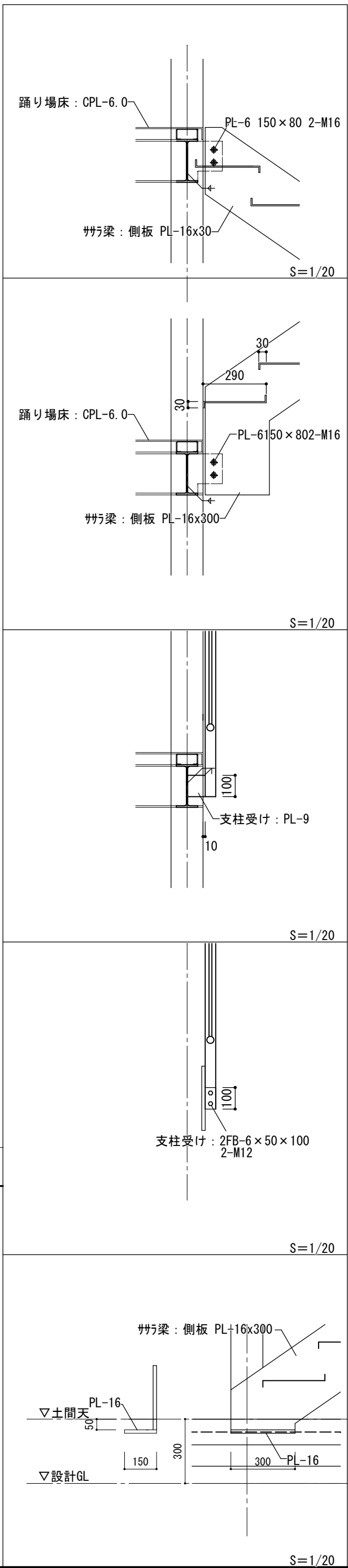
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

drawing no.

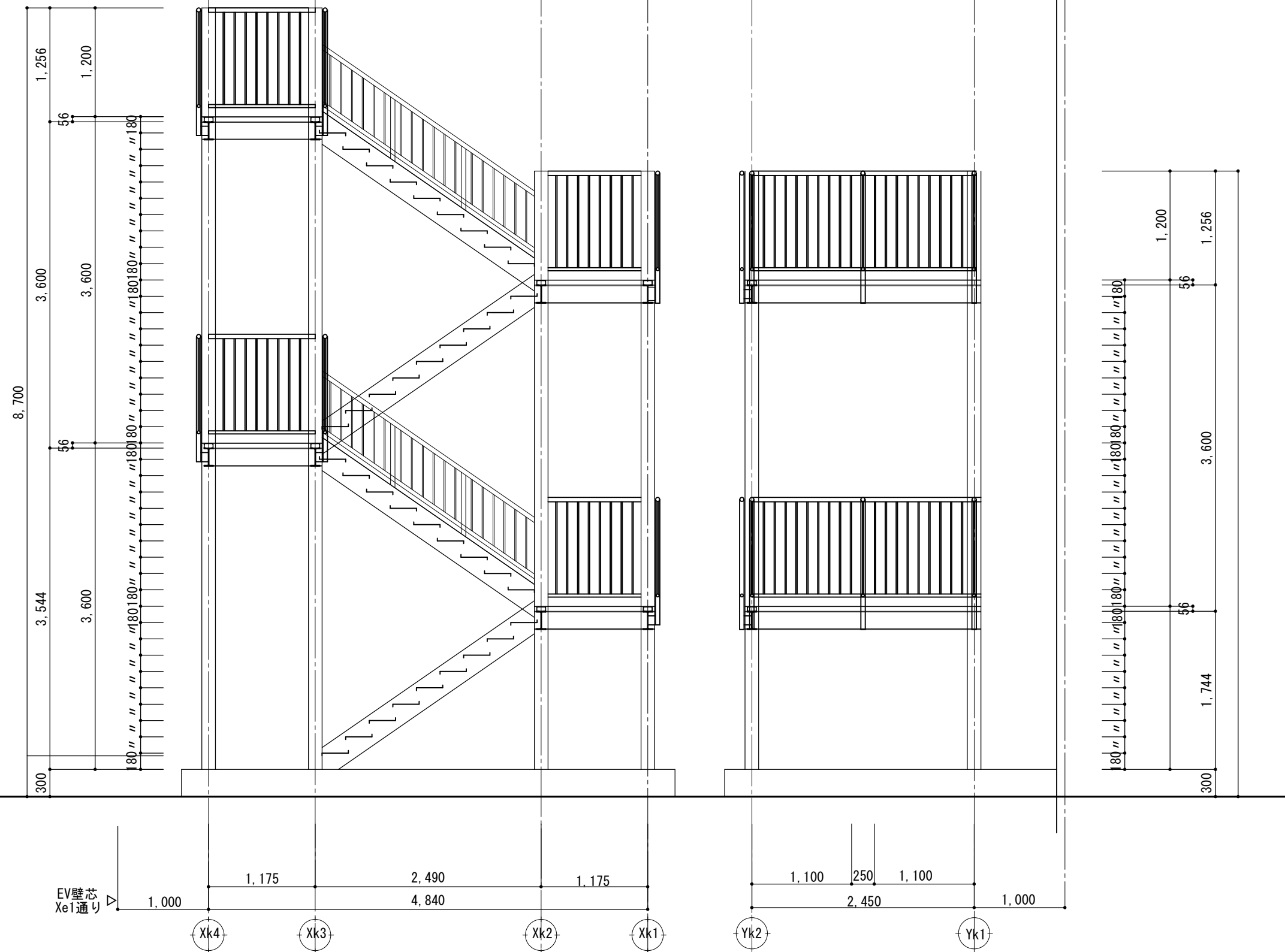
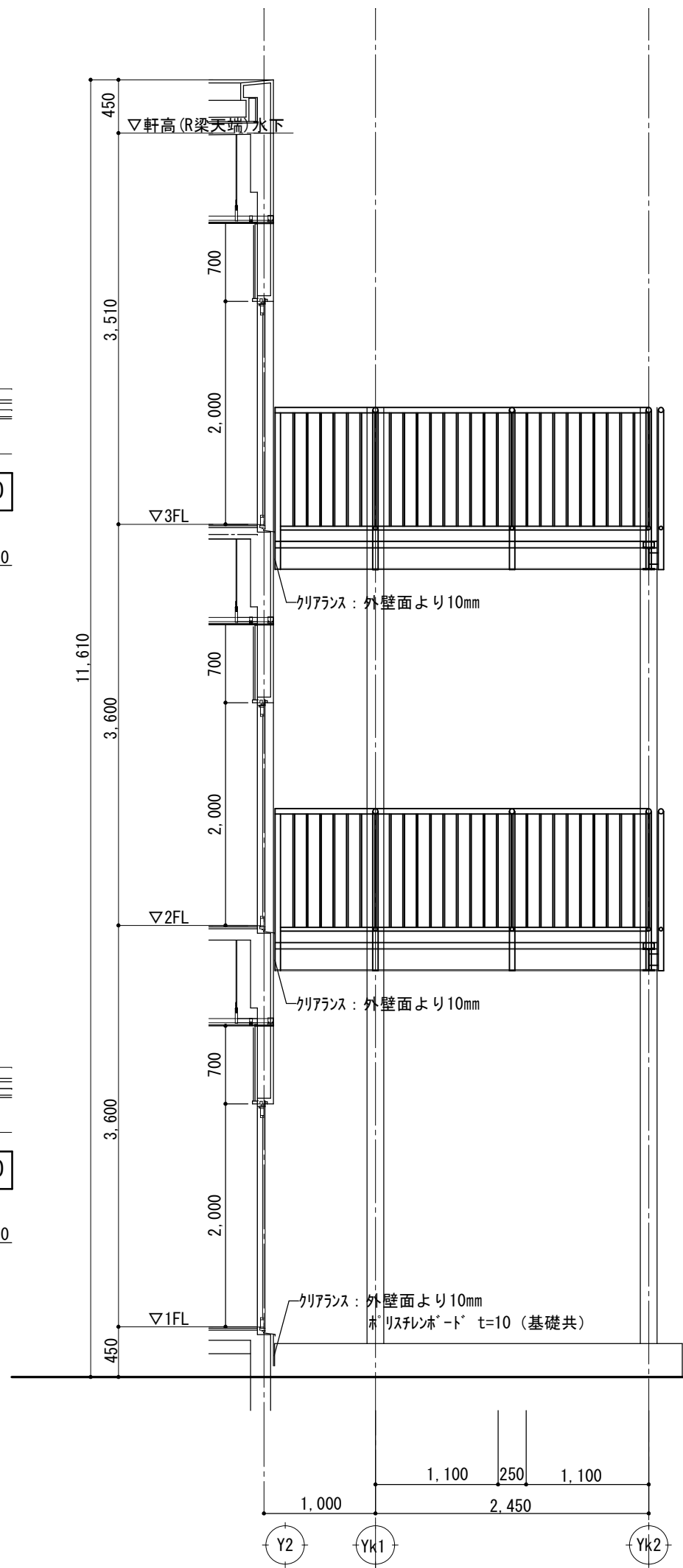
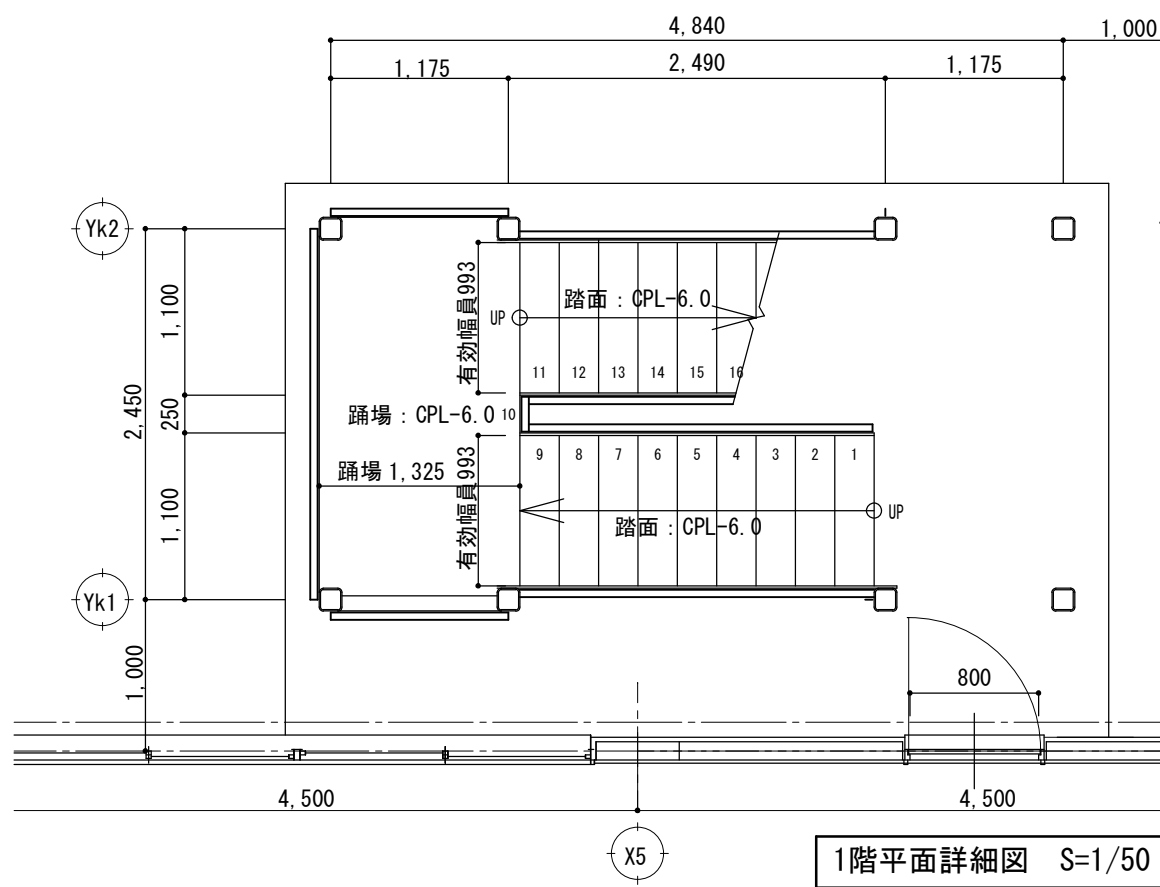
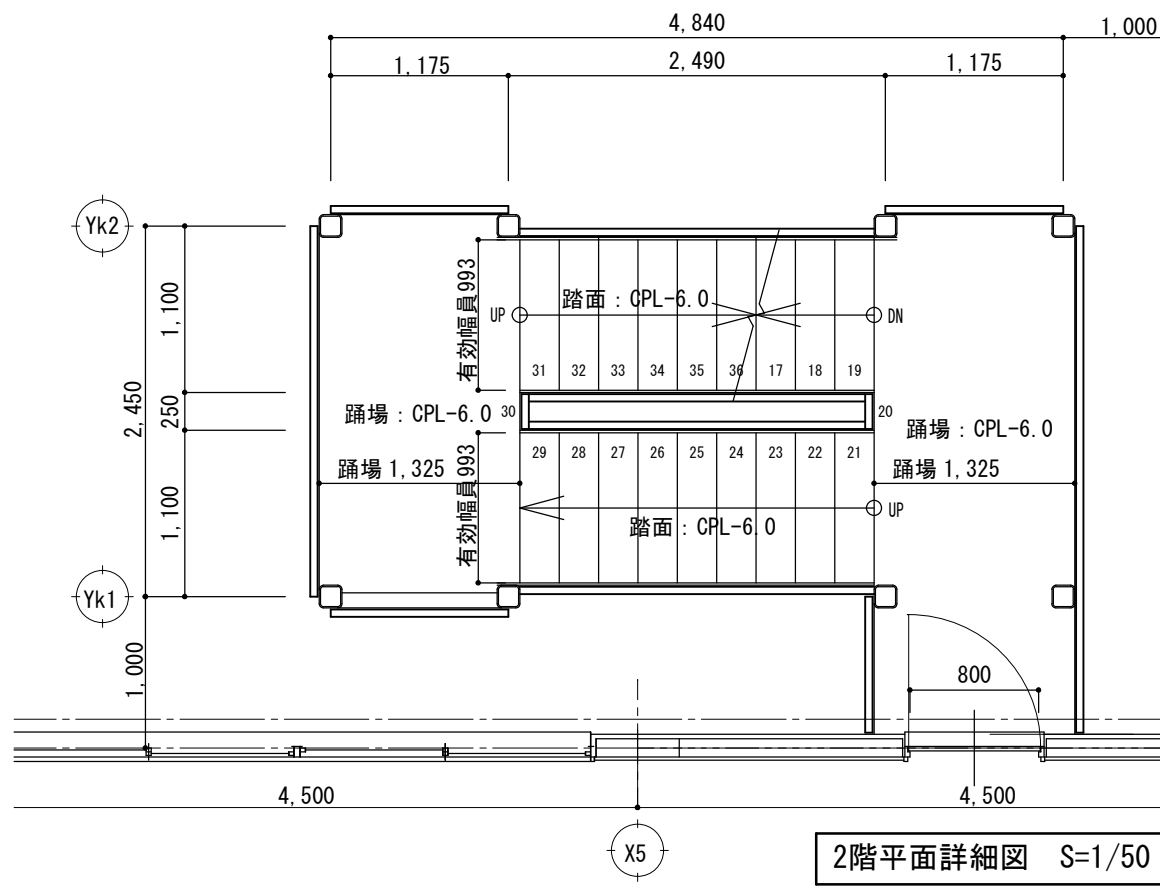
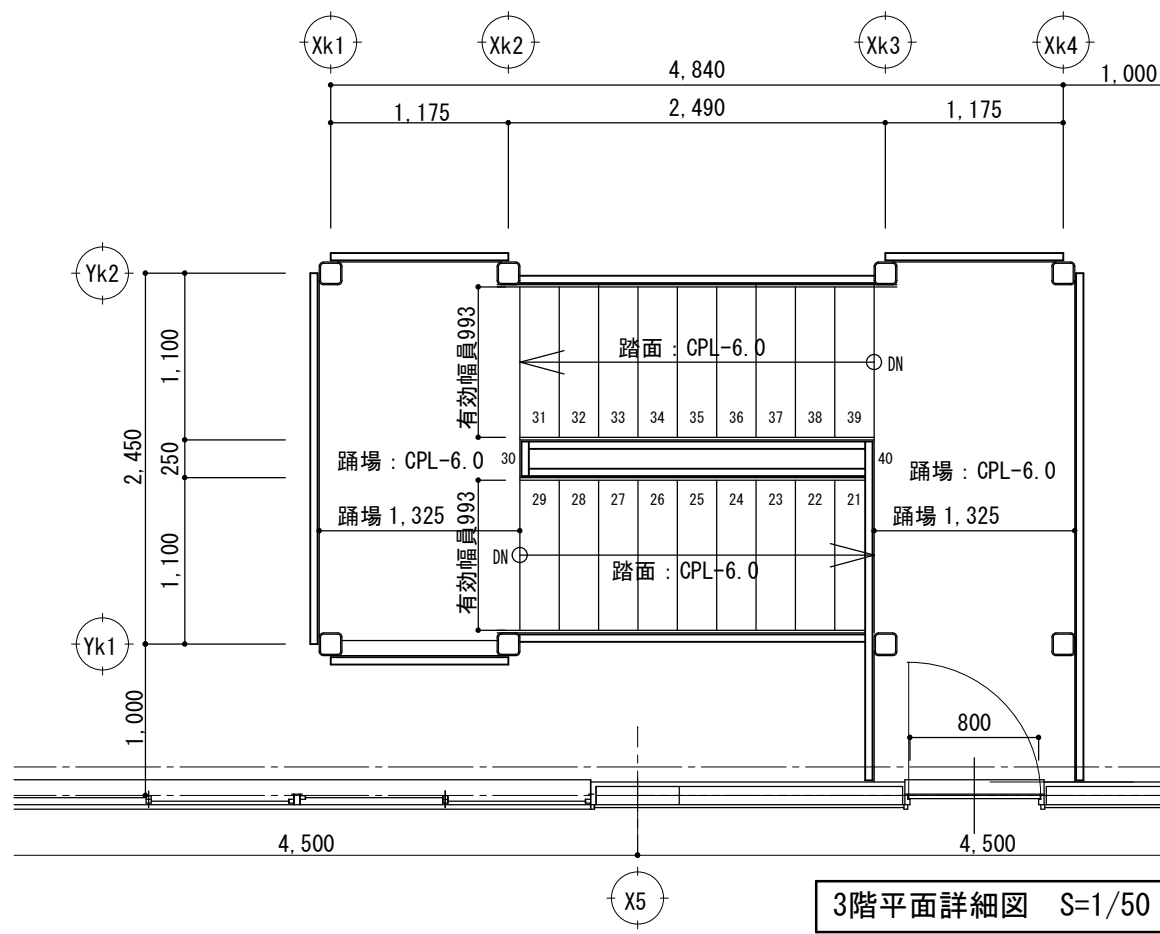
sheet no.

AEV-20

原図：A2



矩計図 S=1/50



※鉄骨屋外階段及び柱、梁は全て錆止めの上DP塗とする。

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/50

drawing title  
屋外階段 平面詳細図、立面図

project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

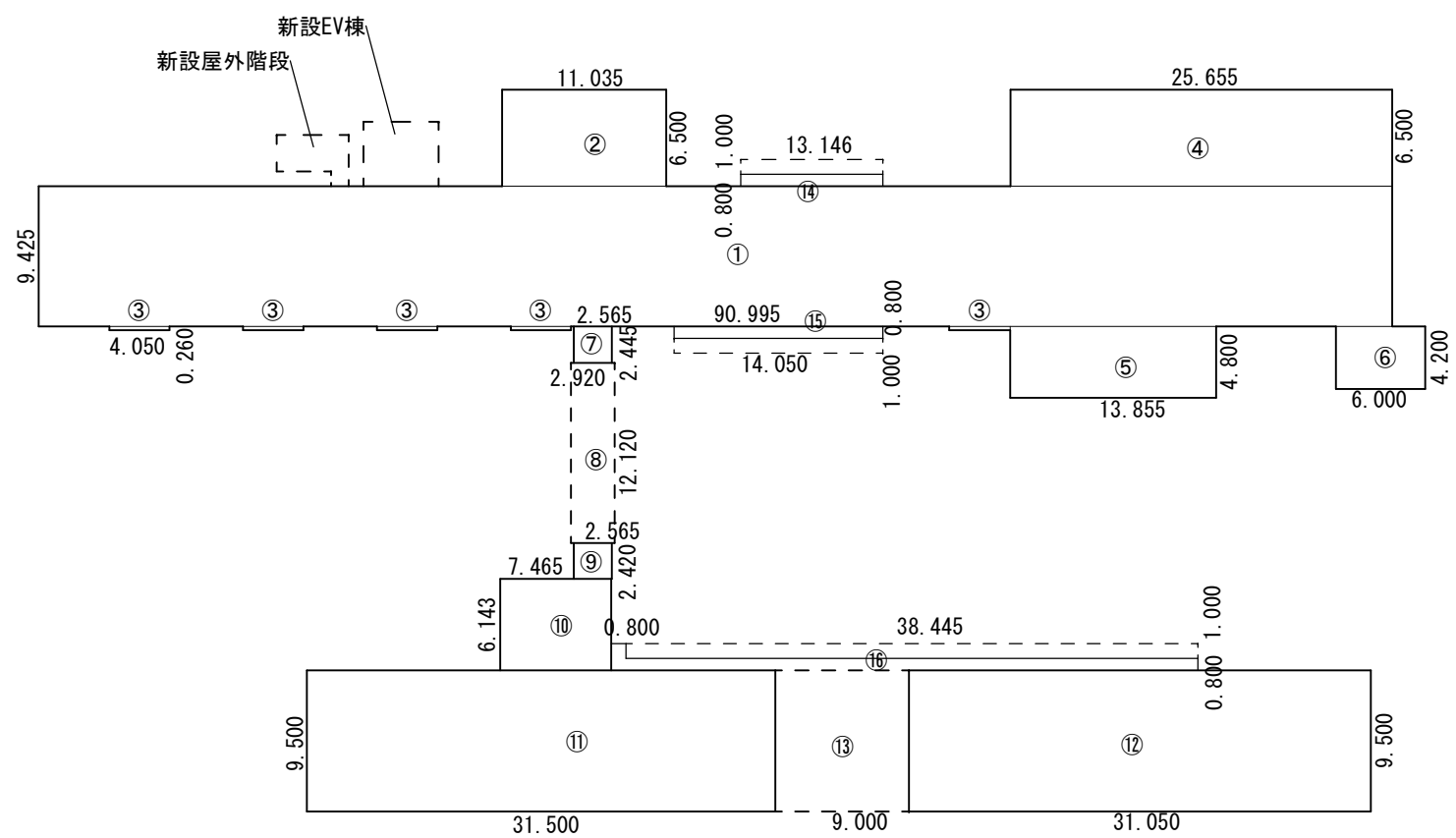
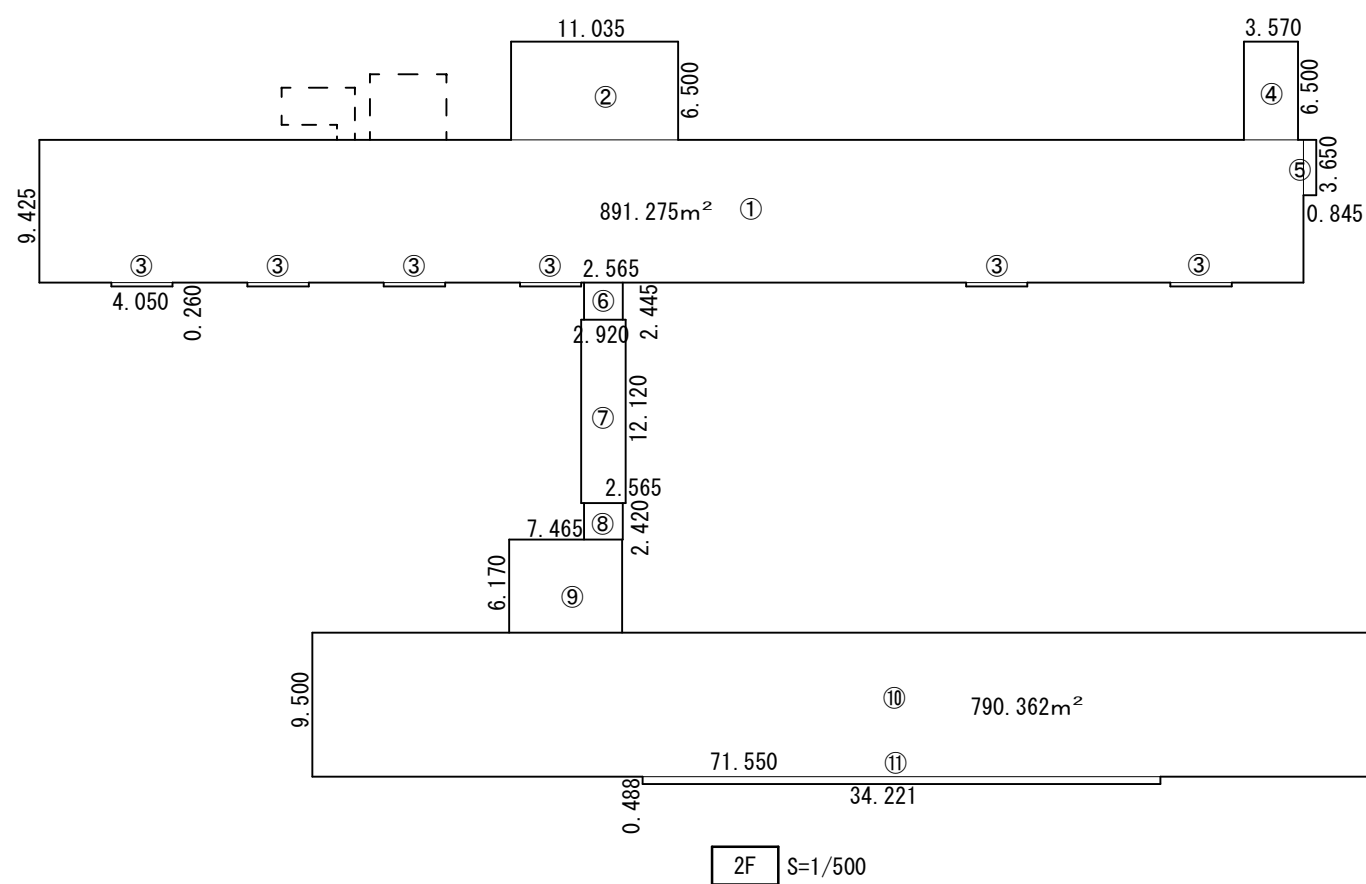
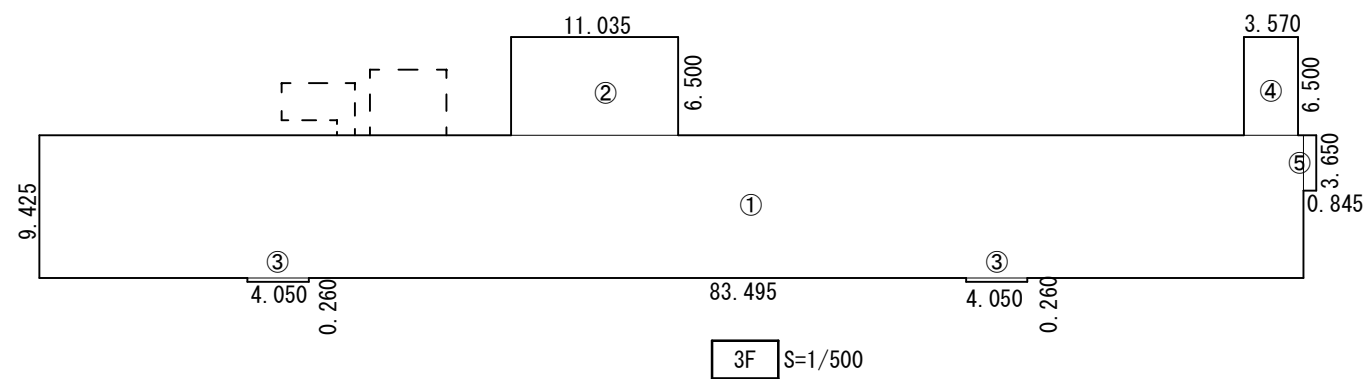
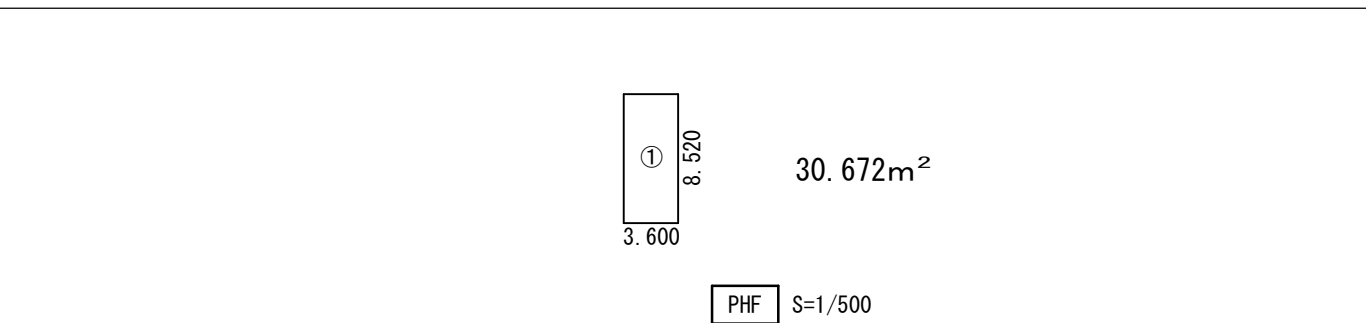
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

AEV-22

原図: A2

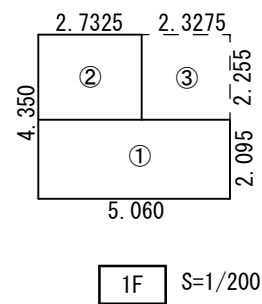
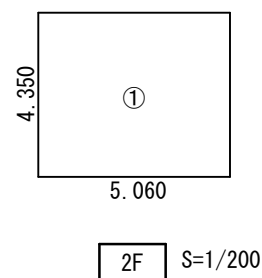
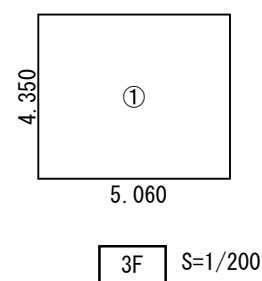


①	3.6	×	8.52	=	30.672
PH計					30.672

①	83.495	×	9.425	=	786.94
②	11.035	×	6.500	=	71.728
③	4.050	×	0.260	×	2 = 2.106
④	3.570	×	6.500	=	23.205
⑤	0.845	×	3.650	=	3.084
3F計					887.063

①	83.495	×	9.425	=	786.94
②	11.035	×	6.500	=	71.728
③	4.050	×	0.260	×	6 = 6.318
④	3.570	×	6.500	=	23.205
⑤	0.845	×	3.650	=	3.084
⑥	2.565	×	2.445	=	6.271
⑦	2.920	×	12.120	=	35.39
⑧	2.565	×	2.420	=	6.207
⑨	7.465	×	6.170	=	46.059
⑩	71.550	×	9.500	=	679.725
⑪	34.221	×	0.488	=	16.7
2F計					1,681.627

①	90.995	×	9.425	=	857.628
②	11.035	×	6.500	=	71.728
③	4.050	×	0.260	×	5 = 5.265
④	25.655	×	6.500	=	166.758
⑤	13.855	×	4.800	=	66.504
⑥	6.000	×	4.200	=	25.2
⑦	2.565	×	2.445	=	6.271
⑧	2.920	×	12.120	=	35.39
⑨	2.565	×	2.420	=	6.207
⑩	7.465	×	6.143	=	45.857
⑪	31.500	×	9.500	=	299.25
⑫	31.050	×	9.500	=	294.975
⑬	9.000	×	9.500	=	85.5
1F計					1,966.533
⑭	13.146	×	0.800	=	10.517
⑮	14.050	×	0.800	=	11.24
⑯	(38.445X0.8)+(0.8X1.8)			=	32.196
建築面積					2,020.486

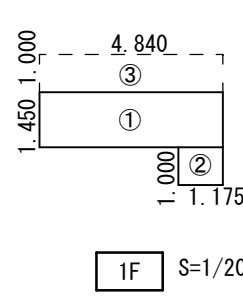
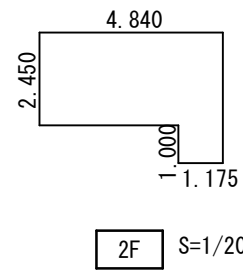
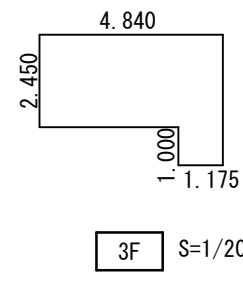


①  $5.06 \times 4.35 = 22.011$   
3F計 22.011

$$\begin{array}{rcll} \textcircled{1} & 5.06 & \times & 4.35 & = & 22.011 \\ 2\text{F計} & & & & & 22.011 \end{array}$$

①	5.06	×	2.095	=	10.6007
②	2.7325	×	2.255	=	6.1617875
1F計					16.7624875
③	2.3275	×	2.255	=	5.2485125
建築面積					22.011

③  $2.3275 \times 2.255 = 5.2485125$   
建築面積 22.011



床面積不要

床面積不要

床面積不要

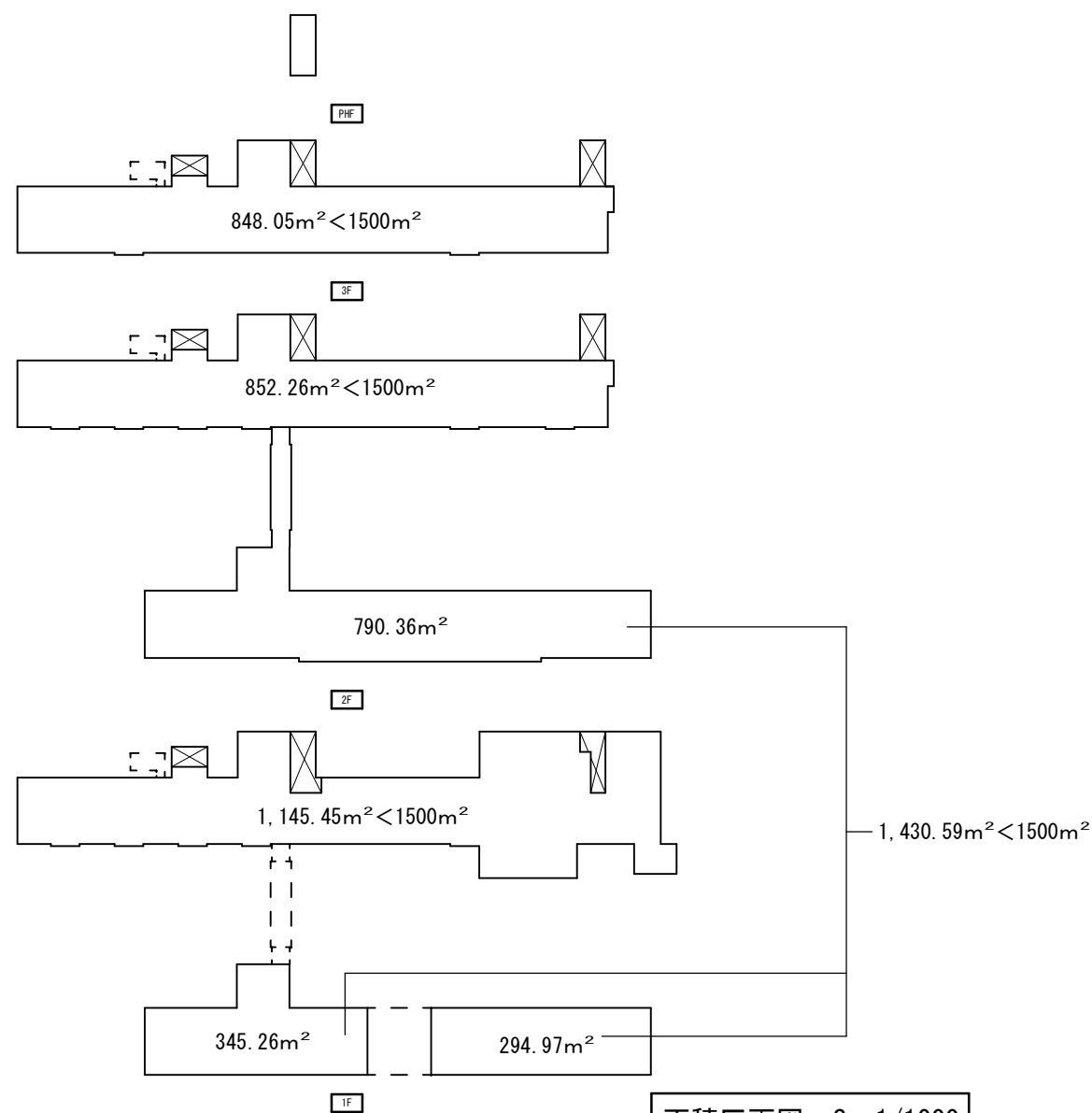
①	4.84	×	1.45	=	7.018
②	1.0	×	1.175	=	1.175
1F計					8.193
③	4.84	×	1.0	=	4.84

$$\text{建築面積 } ① + ② = 8.193$$

新設 EV棟 面積表

### 新設 屋外階段棟 面積表

申請建物面積表				
用途・構造	新設EV棟	新設屋外階段棟	既設 管理渡り廊下特別教室棟	合計
建築面積	22. 01㎡	8. 19㎡	2, 020. 48㎡	2, 050. 68㎡
1階床面積	16. 76㎡		1, 966. 53㎡	1, 983. 29㎡
2階床面積	22. 01㎡		1, 681. 62㎡	1, 703. 63㎡
3階床面積	22. 01㎡		887. 06㎡	909. 07㎡
PH階			30. 67㎡	30. 67㎡
延床面積	60. 78㎡		4, 565. 88㎡	4, 626. 66㎡
敷地面積				22, 659. 66㎡



構造特記仕様書

§1 一般事項

選択項目は、●印を適用し、●が無い場合は、＊印を適用する。  
●印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2 設計図書の優先順位は下記による。

1) 本特記仕様書

2) 設計図

3) 標準図

● 鉄筋コンクリート構造配筋標準図

● 鉄骨工作標準図

○ 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図

○ 高強度せん断補強筋施工仕様書

○ 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図

4) 仕様書( ○ 公共建築協会 ＊ 日本建築協会 )

5) 日本建築学会標準仕様書 , JASS5 , JASS6

1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。

1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。

第三者機関による検査・試験費用は工事費に(＊含む ○含まない)

1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。

1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は( ○ 意匠図 ○ 構造図 ＊ 設備図 )による。

1-7 その他

§2 構造計算ルート

2-1

方 向

構造計算ルート

X	○ ルート1	○ ルート2	● ルート3
Y	○ ルート1	○ ルート2	● ルート3

2-2 鉄筋の継手及び定着

構造計算ルート別による主筋等の継手重ね長さにとり付け梁の定着長さ  
＊ 建築基準法施行令第73条(政令第73条)による仕様規定  
● 日本建築学会 JASS5(2009)・鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説  
● 日本建築学会 RC規準2010  
XY両方向共にルート3及び境界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5(2009)鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2010とすることができる。

§3 仮設工事、土工事

3-1 山留め、根切り

3-2 埋戻し土、盛土、残土処分

埋戻し土 ＊ 根切り土の中の良土 ○ 搬入良土  
盛土 ＊ 根切り土の中の良土 ○ 搬入良土  
残土処分 場内均し ＊ 場外搬出処分(＊ 自由 ○ 指定場所 )

§4 地業工事

4-1 基礎及びスラブ下地業 (単位mm)

場 所		※(1)		厚 さ	
		捨てコンクリート厚さ	A: 砕 石 B: 割栗石		
基 礎	独立、布	＊50○90○100	＊A○B	＊60	●100○150
	ベタ	＊50○60○100	＊A○B	＊60	○100○150
地 中 梁		＊50○60○100	＊A○B	＊60	○100○150
構造スラブ		＊50○60○100	＊A○B	＊60	○100○150
土間スラブ	屋内	＊50○60○100	＊A○B	＊50	●100○150
	屋外	＊50○60○100	＊A○B	＊50	●100○150

注(1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。  
(2) 端部aは100以上とする。



4-2 設計地耐力 長期 kN/㎡ 短期 kN/㎡ 終局 kN/㎡  
地耐力載荷試験 ○ 行う ( 箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ＊ 行わない

4-3 地盤改良

○ 無筋コンクリート地業 ○ 締固め工法 ○ ソイルセメント杭  
○ セメント系固化工材搅拌 ○ 圧密排水工法  
[ ○ 載荷試験 ○ 一軸圧縮試験 ] ○ 行う ( 箇所) ＊ 行わない  
[ ○ 六価クロム溶出試験 ] ○ 行う ＊ 行わない

4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭 ※詳細は構造図による

1) 杭種

○ PHC杭 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○  
○ ST杭 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○  
○ 鋼管杭 tmm ○ ○ ○ ○  
○ PRC杭 ○ I種 ○ II種 ○ III種 ○ IV種  
○ 節杭 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○

2) 工法

○ 打撃工法 ○ 油圧ハンマー ○ ディーゼルハンマー  
○ 埋込み工法 ○ プレボーリングセメントミルク注入工法  
○ プレボーリング拡大根固め工法(認定工法/HiFB工法)

杭周固定液 ＊ あり ○ なし

  
○ 中掘拡大根固め工法(認定工法)  
○ 回転埋設根固め工法(認定工法)  
○ 先端羽根付き鋼管杭工法(認定工法)

3) 杭径、設計耐力、本数表

杭 径(羽根部)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備 考

4) 杭の構成は設計図による。

5) 杭頭補強

○ かご筋 ○ スタッド溶接 ○ 杭外周溶接

4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭

1) 工法

○ アースドリル工法 ○ 底底アースドリル工法  
○ リバース工法 ○ オールケーシング工法(○ ペノト工法 ○ )  
○ BH工法 ○

2) 杭径、設計耐力、本数表(括底部は施工後を示す)

杭 径(括底部)mm	管厚mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備 考
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						

3) 杭先端深さ GLー m

4) 孔壁測定(2方向)

＊ 行う (○ 全数 ○ %) ○ 行わない

5) 使用材料 コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。

コンクリート Fc (○ 普通ポルトランドセメント○ 高炉セメントB種 )  
鉄筋 ○ D 以下 SD295A ○ D 以上 SD345  
○ D 以上 SD390  
鋼管(リブ付) ○ SKK400 ○ SKK490

4-6 杭打地業共通事項

1) [○ 杭長決定用先行杭 ○ 試験掘] ○ 行う (1本) ○ 行わない  
2) 載荷試験 ○ 行う ( 箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ＊ 行わない  
3) SL塗布 ○ 行う ＊ 行わない

§5 鉄筋工事

5-1 材種

種 類	径	継 手
●SD295	D16以下	＊重ね継手 ○スパイラル○工場溶接
●SD345	D19以上	○重ね継手 ＊溶接継手 ○機械継手( 級)
○SD390	D 以上	＊溶接継手 ○機械継手( 級)
○SD490	D 以上	＊溶接継手 ○機械継手( 級)
●溶接金網		●重ね継手
○ 高強度せん断補強筋	○1275級	P
	○785級	K
	○685級	UD UR

溶接継手 ＊ ガス圧接 ○ 突き合せ溶接(D16以下は重ねアーク溶接でも可)  
溶接部の検査(第三者機関による)  
○ 抜取り検査  
○ 引張り試験(JISZ3120)

1検査ロットにつき ＊ 3本 ○  
○ 超音波探傷試験(JISZ3062) ○ 熱間押抜き試験

1検査ロットにつき ○ 30箇所 ○  
不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。  
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接箇所の数量で200箇所以内

5-2 梁貫通補強

補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-3 その他

基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として○①一般 ○②地反力を受けるとする。  
鉄筋の組立は適切な位置にスパーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。  
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。  
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1 設計基準強度 (N/㎠)²

1) セメント ＊ 普通ポルトランドセメントJISR5210 ○高炉セメントB種  
○ 低熱ポルトランドセメントJISR5210 ○  
2) 粗骨材 ○ 砂利 ＊ 砕石 ○ 高炉スラグ骨材 ○人工軽量骨材 ○再生骨材  
最大径(mm)＊ 20○25○40  
3) 躯体 (使用区分は設計図の輪組図に示す)

○ 普通コンクリート  
○ Fc18 ●Fc21 ○Fc24 ○Fc27 ○Fc30 ○Fc ○Fc  
○ 軽量コンクリート (＊1種 2種 気乾単位容積質量 ＊18.5○ )  
○ LFc18 OLFc21 OLFc24 OLFc27 OLFc30 OLFc

4) 土間コンクリート ●Fc21 (ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)

5) 捨てコンクリート ●Fc18

6) 防水押さえコンクリート OFc OLFc (気乾単位容積質量 ＊18.5 ○ )

7) かさ上げコンクリート OFc OLFc (気乾単位容積質量 ＊18.5 ○ )

6-2 混和材 ＊AE減水剤 ○ 高性能AE減水剤 ○ 躯体防水材 ○ 膨張材

6-3

箇 所	基礎・地中梁	一 般		備 考
スランブ c m	18	18		
水セメント比 %				60以下
単位水量 k g/㎠ ³				185以下
単位セメント量 k g/㎠ ³				270以上

6-4 試験 (躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)

1) 骨材 [ ●塩分含有量 ●アルカリシリカ反応性 ] ＊ 行う ○ 行わない  
2) フレッシュコンクリート [ ●スランブ ●空気量 ] ＊ 行う ○ 行わない  
3) 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 ＊ 行う ○ 行わない  
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験 ○ 行う ＊ 行わない  
5) マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析) ○ 行う ＊ 行わない

6-5 調査 (補正値は工事費に含む)

計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度Fd  
○ 短期(18) ＊ 標準(24) ○ 長期(30) ○ 超長期(36)  
調査管理強度 Fm=Max(Fc、Fd)+S S=3~6  
材齢28日の調査強度Fは下記の面式を満足するものとする。  
F≥Fm+1.73σ F≥0.85Fm+3σ

6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

	基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁 下
コンクリート	15℃以上	3日	17日
	5℃以上	5日	25日
場合	0℃以上	8日	28日
圧縮試験による場合	5N/㎠ ²	0.85Fcまたは12N/㎠ ²	設計強度

6-7 住宅性能表示

劣化等級 ○ 等級2 ○ 等級3  
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さが変わる場合があるので注意すること。

6-8 Fc60を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書による。

§7 鉄骨工事

7-1 材種及び使用箇所

規 格 名 称	鋼 材 名	柱	通し ダイア	内ダイア	大梁	ブレース小梁、他
一般構造用圧延鋼材	●SS400 ○					○ ○
溶接構造用圧延鋼材	○SM400A ○SM490A					
建築構造用圧延鋼材	○SN400A ○					
	●SN400B ○SN490B				○	
一般構造用角形鋼管	○SN400C ●SN490C		○			
	○STKR400 ○STKR490					
冷間成形角形鋼管	●BCR295 ○	○				
	○BCP235 ○BCP325					
熱間成形角形鋼管	○SHC400B ○SHC400C					
	○SHC490B ○SHC490C					
一般構造用炭素鋼管	○STK400 ○STK490					
一般構造用軽量形鋼	●SSC400 ○					○

7-2 高力ボルト

高 力 ボ ル ト の 種 類	使用 箇 所
トルシア形高力ボルト	●S10T 全般
JIS形高力ボルト	●F10T トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	○F8T 母材が亜鉛メッキされている部分

7-3 普通ボルト、アンカーボルト

1) 材質 ○SS400 ○SS490(M 以上)  
○ABR400 ○ABR490 ○ABM400 ○ABM490(ABMはM24以上)

2) 大臣認定柱脚(メーカー仕様による) ●使用する ○使用しない

7-4 頭付きスタッド

径	長 さ (mm)	使用 箇 所
16φ	○80○100○120○150○	小梁(合成梁)
19φ	○80○100○120○150○	
22φ	○100○120○150○ ○	

7-5 溶接材料

1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。

2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとす。

7-6 スクラップ形状 ＊ スクラップ工法 ○ノンスクラップ工法

7-7 継手

	柱	梁
フランジ	○ 高力ボルト ○ 現場溶接	＊ 高力ボルト ○ 現場溶接
ウェブ	○ 高力ボルト ○ 現場溶接	＊ 高力ボルト ○ 現場溶接

7-8 溶接手法及び管理

使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。

7-9 デッキプレート (単位mm)

1) 床用 高さ ○ 板厚 ○  
2) 合成スラブ用 高さ ●50 板厚 ●1.2  
3) 型枠用 高さ ○ 板厚 ○ 形版 タイプ  
4) 防錆処理 ○ブライマー ○亜鉛メッキ ○Z12 ○Z27

7-1 錆止め塗装(工場塗 ＊ 2回 ○1回、現場タッチアップ程度とする)

1) 素地こしらえ ＊ ケレン ● プラスト  
2) 錆止め塗料

適用		塗 料		種 別	標準膜厚
室外	室内	鉛・カルジー錆止めペイント	JISK5674		30μm
＊	＊	一般用錆止めペイント	JISK5621	○1種	○2種
	○	ジンクリッチブライマー	JISK5552	○1種	●2種 15μm
●	○	構造物用さび止めペイント	JISK5551	○1種	○2種 30μm

3) 溶融亜鉛メッキ ○ 行う ○ 行わない

7-11 溶接部の検査(受入検査) ＊ 行う ○ 行わない

1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。  
2) 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCIW検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。  
3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。  
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2007 付則6 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。  
5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」2008により、合格判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。  
6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2007」表5.1溶接箇所数の数え方による。  
7) 受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。

a) 工場溶接の場合

i. 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所220箇所以内で構成する。  
ii. 抜取り数は各ロット毎に20箇所をランダムにサンプリングする。  
iii. サンプリングの結果、不合格が無い場合はロットを合格とし、不合格が1又は2箇所の場合は更に同一ロットの中から20箇所をサンプリングし、合計40箇所の不合格が3箇所以下の場合を合格とする。不合格が4箇所を超えた場合は残り全数の検査を行う。

  
b) 現場溶接の場合

i. 全数検査とする。

8) 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならばならない。  
9) ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」等を参考にする。

7-12 鉄骨製作工場

国土交通省大臣認定(グレード)					
○S	○H	○M	○R	J	

§8 コンクリートブロック・ALCパネル 工事

8-1 コンクリートブロック

1) 種類 ○A種 ○B種 ○C種  
2) 厚さmm ○100 ○120 ○150 ○190

8-2 ALCパネル

1) 使用箇所 ○床 ○屋根 ●外壁 ○内壁  
2) 厚さmm ○75(80)○100 ●125 ○150 ○175  
3) 外壁取り付け構法

方 向	構 法	使用 箇 所	備 考
縦	○ スライド構法		
	● ロッキング構法	外壁	
横	○ カバープレート構法		
	○ ボルト止め構法		

建築設備の構造安全性の確認

令第129条の2の3の事項 ※■は、設計が該当する場合を示す。  
・ 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものととして、以下の構造方法による。  
■ 建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。  
□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。  
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。  
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。  
■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、  
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。  
■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。  
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。  
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。  
□ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

岡本設計株式会社 岡本 敏成  
一級建築士登録 第195735号  
構造一級建築士登録 第5700号

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title

構造特記仕様書 (EV棟)

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

S-01

原図：A2

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

1-1  
基本事項

1-2  
その他

2-1  
鉄筋の表示記号

2-2  
鉄筋の折り曲げ

2-3  
鉄筋の定着及び重ね継手の長さ  
「JASS5 (2009)」

§ 1 一般事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。  
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。  
また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5 (2009)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。  
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。  
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

§ 2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	○	×	◇	◎	○	◎	⊗	◎	○	⊕	⊗
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

・フックのない場合

・フックのある場合

・本数に差がある場合

・機械式継手表示

・溶接継手表示  
(ガス圧接、突合せ溶接)

柱・梁・基礎の主筋及びその他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径 (D)	
180°		余長 4 d 以上	柱・梁主筋	SD295	D16以下	3d以上
			基礎主筋	SD345	D19～D41	4d以上
135°		余長 6 d 以上	あばら筋	SD390	D41以下	5d以上
			スラブ筋			
90°		余長 8 d 以上	壁筋	SD490	D25以下	5d以上
					D219～D41	6d以上

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ² )	重ね継手の長さ		定着の長さ	
		上段 直線 L1 下段 フック付 L1h	上段 直線 L2 下段 フック付 L2h, La	小梁・床スラブ	
SD295 (SD345) ()はSD345を示す	18	45d (50d) 35d	40d 30d, 20d	15d	床スラブの場合 L3=20d L3h=10d
	21	40d (45d) 30d	35d 25d, 15 (20) d	(20d)	
	24～27	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20d (25d), 15 (20) d	15d	
	30～36	35d 25d	30d 25d, 15d	15d	
	39～45	30d (35d) 20d (25d)	25d (30d), 15d	15d	
	48～60	30d 20d	25d 15d, 15d	15d	
SD390 (SD490) (-)は適用外	21	50d (-) 35d (-)	40d (-) 30d (-), 20d (-)	20d (-)	SD490は適用外
	24～27	45d (55d) 35d (45d)	40d (45d) 30d (35d), 20 (25) d	15d (-)	
	30～36	40d (50d) 30d (35d)	35d (40d) 25d (30d), 20 (25) d	15d (-)	
	39～45	40d (45d) 30d (35d)	35d (40d) 25d (30d), 20 (25) d	15d (-)	
48～60	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20d (25d), 15 (20) d	15d (-)		

一般定着の直線L2またはフック付のL2h、La、Lbの図

1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、またフック付のL2hは仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。  
2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。

2-4  
継手一般

2-5  
鉄筋のフック

2-6  
鉄筋のあき

2-7  
かぶり厚さ

3. 構造特記仕様書2-2で政令第73条とした場合、主筋等の重ね長さと柱に取り付け梁の定着長さは上表L1・L2かつ40d (軽量コンクリートを使用する場合は50d) とする。  
4. 構造特記仕様書2-2でJASS5 (2009)、RC規準2010とした場合、主筋等の継手長さと柱に取り付け梁の定着長さは設計者の指示による。  
参考値として上表JASS5 (2009)にL1・L2を示す。

1. 溶接継手

2. 機械式継手

3. 重ね継手 (下記のいずれかとする。壁、スラブ筋でD16以下の場合を除く)

4. D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。  
(溶接、機械式継手等による)

5. 溶接継手を行う場合は原則として同一鋼種とし、鉄筋径の差はガス圧接の場合は2サイズ、突合せ溶接の場合は1サイズまでとする。

6. 突合せ溶接継手及び機械継手の場合はメーカー仕様による。

・下記の1.～7.に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。  
1. あばら筋及び帯筋  
2. 煙突の鉄筋  
3. 柱及び梁 (基礎梁を除く) の出隅部分の鉄筋 (下図参照)

4. 単純梁の下端筋、片持ちスラブの上端筋の先端  
5. 最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭、四隅の鉄筋  
6. 杭基礎の基礎筋 (偏心基礎及び杭2本打以上の場合)  
7. 鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

・鉄筋のあきaは、原則として下記による。  
呼び名の数値dの1.5倍以上  
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上 ) かつ25以上  
※ Dは最外径を示す

・鉄筋形が異なる場合は大きい方による、機械接合はカップラー径。  
・二段筋のあきは1.5dとする。

鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部 位	かぶり厚さ (mm)	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ	30 (20)
	床スラブ	30 (20)
	非耐力壁	40 (30)
	柱	40 (30)
土に接する部分	耐力壁	50 (40)
	擁壁	50 (40)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・耐力壁	50 (40)
	基礎・擁壁	70 (60)

1. ( ) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。  
2. 「仕上げあり」とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上のある場合とする。  
3. ※1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。  
4. ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10mm加算する。  
5. 柱、梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

§ 3 柱

溶接継手 (機械式継手)

重ね継手

1. 印内に継手中心部を設けることを原則とする。

3-2  
主筋の定着

3-3  
帯筋

3-4  
補助筋

(L2) 確保できない場合は右図による。

※ 余長D'は柱有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによっても良い。

・第一帯筋 (D13以上使用の事) は、梁面に入れ、その間を設計ピッチ 以下に割り付ける。  
・帯筋の加工は下図による。

交互配筋

135°フック

パネルゾーン部分は割りフープでも可

副帯筋 (180°フック) も可

・パネルゾーンは設計図によるが、明記なき場合は下記による。  
ただし、帯筋量 (Pw) は0.2%以上とする。  
※1. 設計ピッチの1.5倍以下とする。 □ 形以上の場合は同径同材質で □ 形@100以下とする。  
※2. 基礎部分は、同径で □ 形@150 以下とする。

・スパイラル筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。  
1. 末端は1.5巻以上の添巻きをし、図aのフックをつける。  
2. 重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図a又は図bのフックをつける。

図a

図b

図c

図d

図e

図f

図g

図h

図i

図j

図k

図l

図m

図n

図o

図p

図q

図r

図s

図t

図u

図v

図w

図x

図y

図z

図aa

図ab

図ac

図ad

図ae

図af

図ag

図ah

図ai

図aj

図ak

図al

図am

図an

図ao

図ap

図aq

図ar

図as

図at

図au

図av

図aw

図ax

図ay

図az

図ba

図bb

図bc

図bd

図be

図bf

図bg

図bh

図bi

図bj

図bk

図bl

図bm

図bn

図bo

図bp

図bq

図br

図bs

図bt

図bu

図bv

図bw

図bx

図by

図bz

図ca

図cb

図cc

図cd

図ce

図cf

図cg

図ch

図ci

図cj

図ck

図cl

図cm

図cn

図co

図cp

図cq

図cr

図cs

図ct

図cu

図cv

図cw

図cx

図cy

図cz

図da

図db

図dc

図dd

図de

図df

図dg

図dh

図di

図dj

図dk

図dl

図dm

図dn

図do

図dp

図dq

図dr

図ds

図dt

図du

図dv

図dw

図dx

図dy

図dz

図ea

図eb

図ec

図ed

図ee

図ef

図eg

図eh

図ei

図ej

図ek

図el

図em

図en

図eo

図ep

図eq

図er

図es

図et

図eu

図ev

図ew

図ex

図ey

図ez

図fa

図fb

図fc

図fd

図fe

図ff

図fg

図fh

図fi

図fj

図fk

図fl

図fm

図fn

図fo

図fp

図fq

図fr

図fs

図ft

図fu

図fv

図fw

図fx

図fy

図fz

図ga

図gb

図gc

図gd

図ge

図gf

図gg

図gh

図gi

図gj

図gk

図gl

図gm

図gn

図go

図gp

図gq

図gr

図gs

図gt

図gu

図gv

図gw

図gx

図gy

図gz

図ha

図hb

図hc

図hd

図he

図hf

図hg

図hi

図hj

図hk

図hl

図hm

図hn

図ho

図hp

図hq

図hr

図hs

図ht

図hu

図hv

図hw

図hx

図hy

図hz

図ia

図ib

図ic

図id

図ie

図if

図ig

図ih

図ii

図ij

図ik

図il

図im

図in

図io

図ip

図iq

図ir

図is

図it

図iu

図iv

図iw

図ix

図iy

図iz

図ja

図jb

図jc

図jd

図je

図jf

図jg

図jh

図ji

図jj

図jk

図jl

図jm

図jn

図jo

図jp

図jq

図jr

図js

図jt

図ju

図jv

図jw

図jx

図jy

図jz

図ka

図kb

図kc

図kd

図ke

図kf

図kg

図kh

図ki

図kj

図kk

図kl

図km

図kn

図ko

図kp

図kq

図kr

図ks

図kt

図ku

図kv

図kw

図kx

図ky

図kz

図la

図lb

図lc

図ld

図le

図lf

図lg

図lh

図li

図lj

図lk

図ll

図lm

図ln

図lo

図lp

図lq

図lr

図ls

図lt

図lu

図lv

図lw

図lx

図ly

図lz

図ma

図mb

図mc

図md

図me

図mf

図mg

図mh

図mi

図mj

図mk

図ml

図mm

図mn

図mo

図mp

図mq

図mr

図ms

図mt

図mu

図mv

図mw

図mx

図my

図mz

図na

図nb

図nc

図nd

図ne

図nf

図ng

図nh

図ni

図nj

図nk

図nl

図nm

図nn

図no

図np

図nq

図nr

図ns

図nt

図nu

図nv

図nw

図nx

図ny

図nz

図oa

図ob

図oc

図od

図oe

図of

図og

図oh

図oi

図oj

図ok

図ol

図om

図on

図oo

図op

図oq

図or

図os

図ot

図ou

図ov

図ow

図ox

図oy

図oz

図pa

図pb

図pc

図pd

図pe

図pf

図pg

図ph

図pi

図pj

図pk

図pl

図pm

図pn

図po

図pp

図pq

図pr

図ps

図pt

図pu

図pv

図pw

図px

図py

図pz

図qa

図qb

図qc

図qd

図qe

図qf

図qg

図qh

図qi

図qj

図qk

図ql

図qm

図qn

図qo

図qp

図qq

図qr

図qs

図qt

図qu

図qv

図qw

図qx

図qy

図qz

図ra

図rb

図rc

図rd

図re

図rf

図rg

図rh

図ri

図rj

図rk

図rl

図rm

図rn

図ro

図rp

図rq

図rr

図rs

図rt

図ru

図rv

図rw

図rx

図ry

図rz

図sa

図sb

図sc

図sd

図se

図sf

図sg

図sh

図si

図sj

図sk

図sl

図sm

図sn

図so

図sp

図sq

図sr

図ss

図st

図su

図sv

図sw

図sx

図sy

図sz

図ta

図tb

図tc

図td

図te

図tf

図tg

図th

図ti

図tj

図tk

図tl

図tm

図tn

図to

図tp

図tq

図tr

図ts

図tt

図tu

図tv

図tw

図tx

図ty

図tz

図ua

図ub

図uc

図ud

図ue

図uf

図ug

図uh

図ui

図uj

図uk

図ul

図um

図un

図uo

図up

図uq

図ur

図us

図ut

図uu

図uv

図uw

図ux

図uy

図uz

図va

図vb

図vc

図vd

図ve

図vf

図vg

図vh

図vi

図vj

図vk

図vl

図vm

図vn

図vo

図vp

図vq

図vr

図vs

図vt

図vu

図vv

図vw

図vx

図vy

図vz

図wa

図wb

図wc

図wd

図we

図wf

図wg

図wh

図wi

図wj

図wk

図wl

図wm

図wn

図wo

図wp

図wq

図wr

図ws

図wt

図wu

図wv

図ww

図wx

図wy

図wz

図xa

図xb

図xc

図xd

図xe

図xf

図xg

図xh

図xi

図xj

図xk

図xl

図xm

図xn

図xo

図xp

図xq

図xr

図xs

図xt

図xu

図xv

図xw

図xx

図xy

図xz

図ya

図yb

図yc

図yd

図ye

図yf

図yg

図yh

図yi

図yj

図yk

図yl

図ym

図yn

図yo

図yp

図yq

図yr

図ys

図yt

図yu

図yv

図yw

図yx

図yy

図yz

図za

図zb

図zc

図zd

図ze

図zf

図zg

図zh

図zi

図zj

図zk

図zl

図zm

図zn

図zo

図zp

図zq

図zr

図zs

図zt

図zu

図zv

図zw

図zx

図zy

図zz

・補助金はD10をピッチ600以内に割り付ける。

巾止め筋

二段配筋の場合

3-5  
柱のコンファインド補強

4-1  
主筋の継手

4-2  
主筋の定着及び余長

外柱

中柱

4-3  
あばら筋副あばら筋

補強する柱は設計図による。(柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。)

a スパイラル帯筋@60～75 (有効間隔50程度)  
b 溶接閉鎖型帯筋@60～75 (有効間隔50程度)

§ 4 梁

・印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は、柱面より500以上はなすこと。  
・定着形状を下記以外とする場合は設計図による。

3/4以上かつLa  
Lo/4  
D' 以上  
つり筋2-D13 (束ね筋) 以上とする。  
二段筋  
最上階  
a1/a2 ≤ 1/6  
a1/a2 > 1/6  
Lo/4  
D' 以上  
外柱の下端筋は上向きの方が望ましい  
一般階  
3/4以上かつLa  
全長L2

※余長D'は梁有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによっても良い。

・梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋 □ をあばら筋と同径同ピッチで落とし込む。

梁成が異なる場合

(水平に定着してもよい)

2巻き  
D  
e/D ≤ 1/6  
e/D > 1/6

第一あばら筋  
腹筋  
設計ピッチ以下

※ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL2とする。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑩は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。  
※柱面より梁成の範囲は、180°フック又は135°フックが望ましい。

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title

■project title  
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

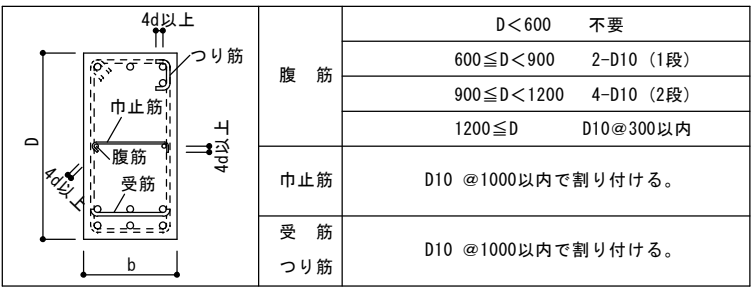
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.  
S-02  
原図：A2

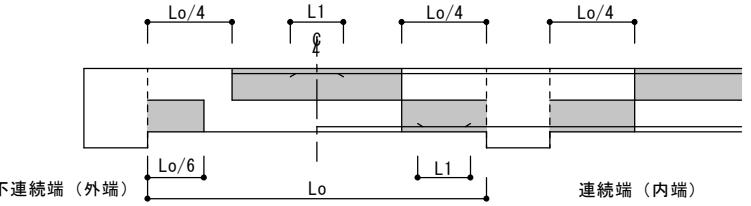
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

4-4  
補 助 筋

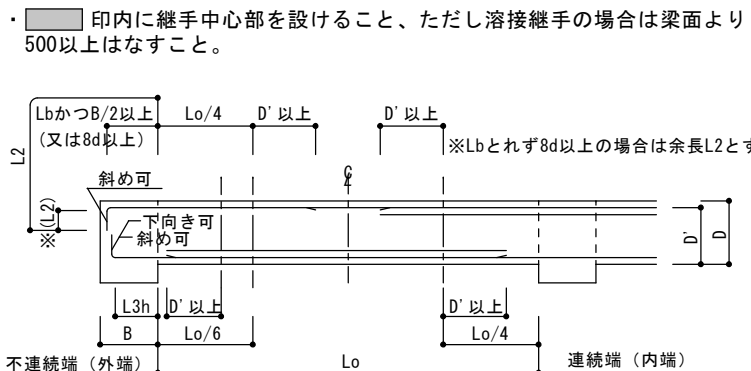


4-5  
小 梁 及 び  
片 持 梁

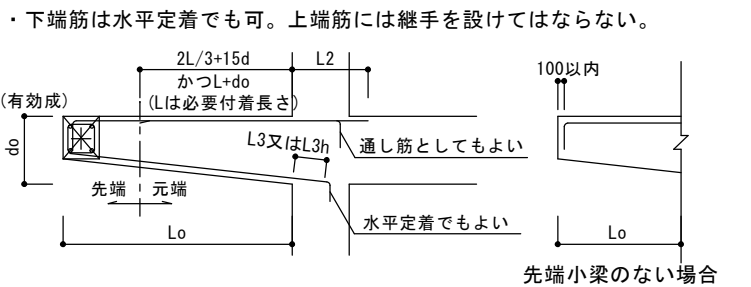
a) 小 梁 継 手



定 着

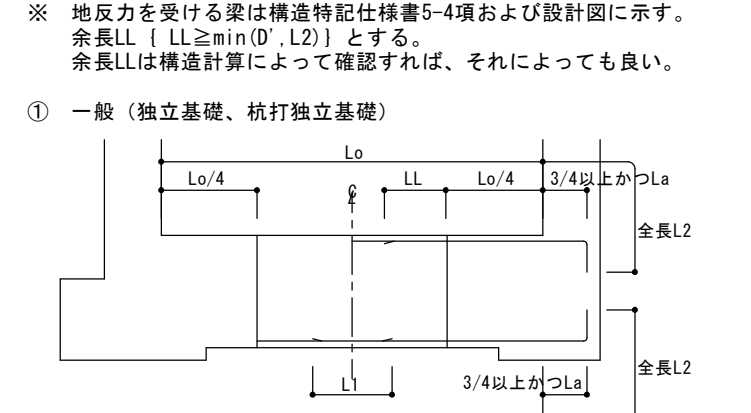


b) 片 持 梁 定 着 継 手

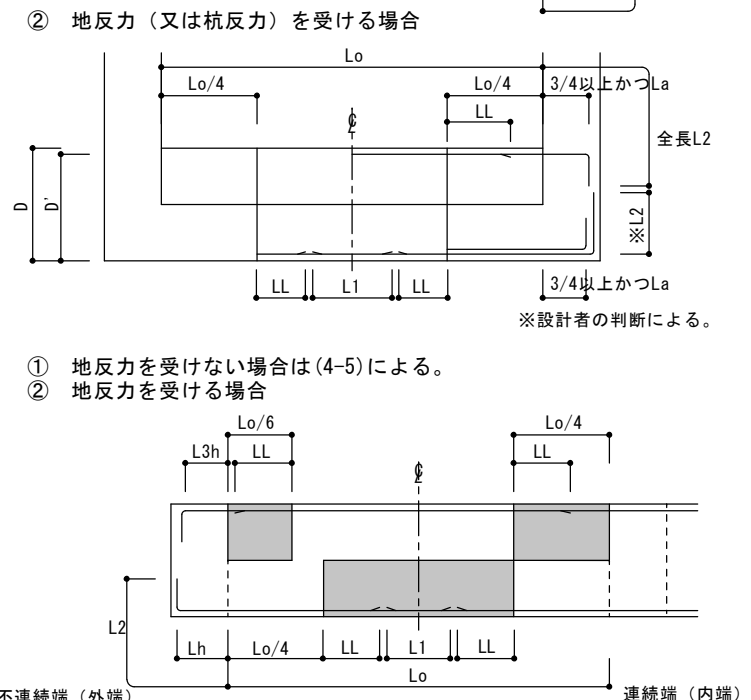


4-6  
基礎梁および  
基 礎 小 梁

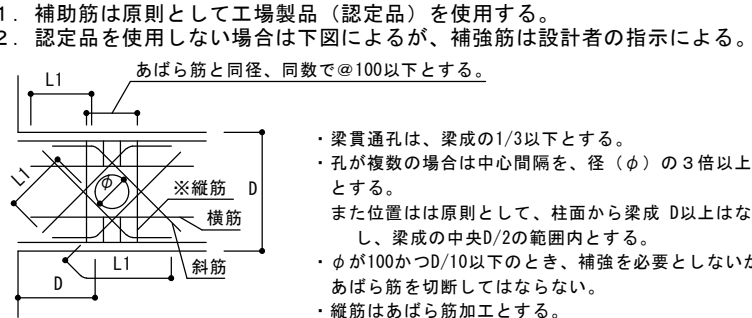
a) 基礎梁の  
継手及び  
定着



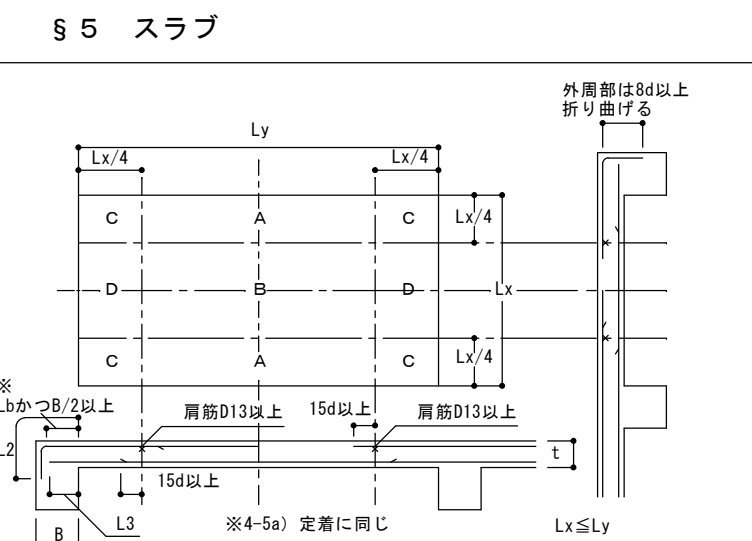
b) 基礎小梁の  
継手及び  
定着



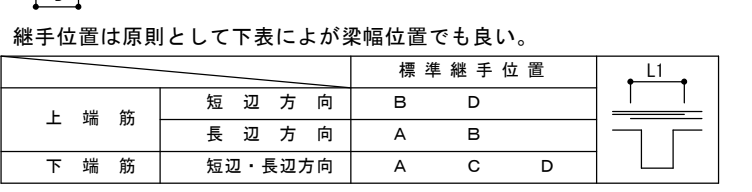
4-7  
梁の貫通補強



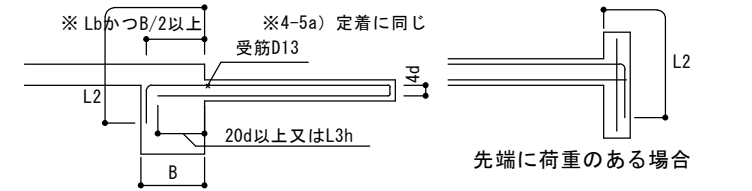
5-1  
鉄筋の折曲げ  
及び定着



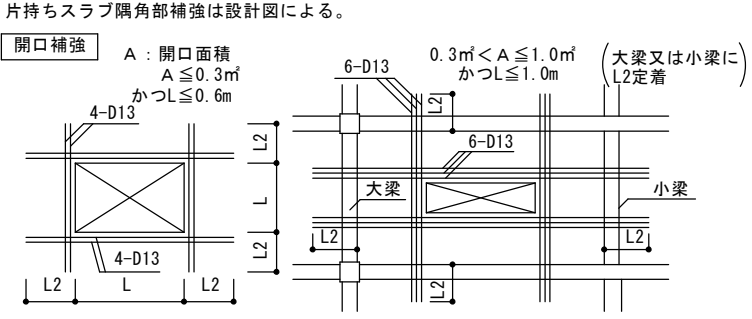
5-2  
継 手



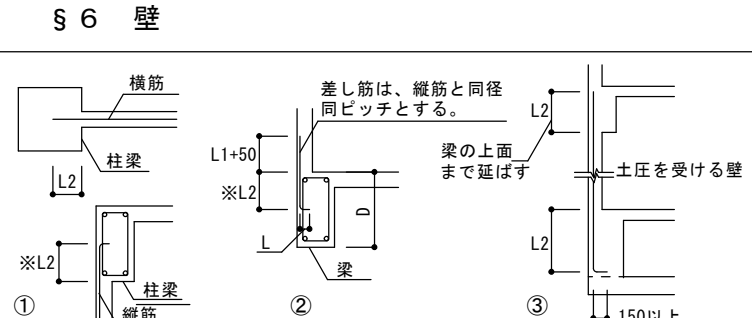
5-3  
片 持 ち  
ス ラ ブ



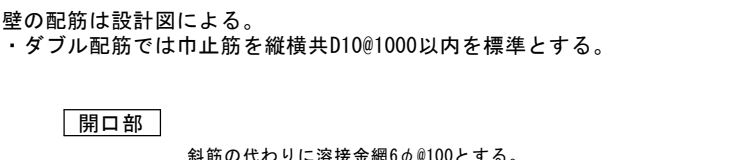
5-4  
補 強 筋



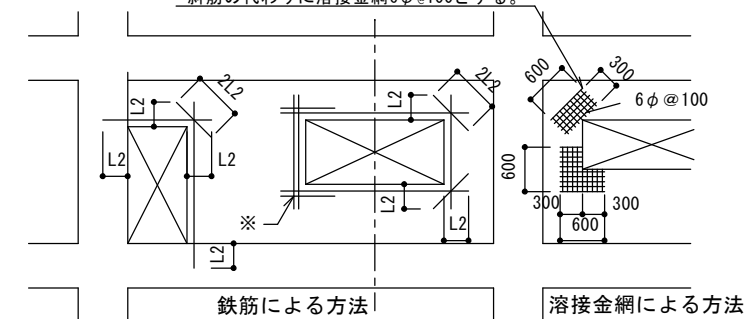
6-1  
定 着 及 び  
継 手



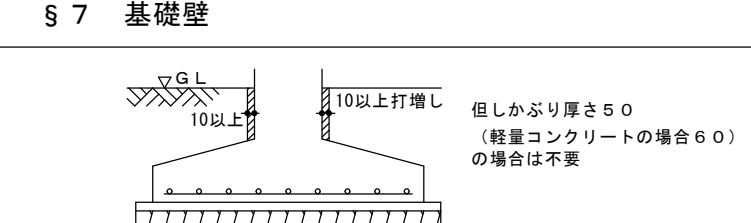
6-2  
壁 配 筋



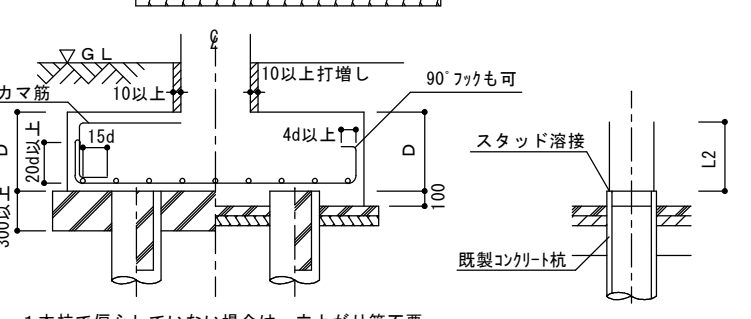
6-3  
補 強 筋



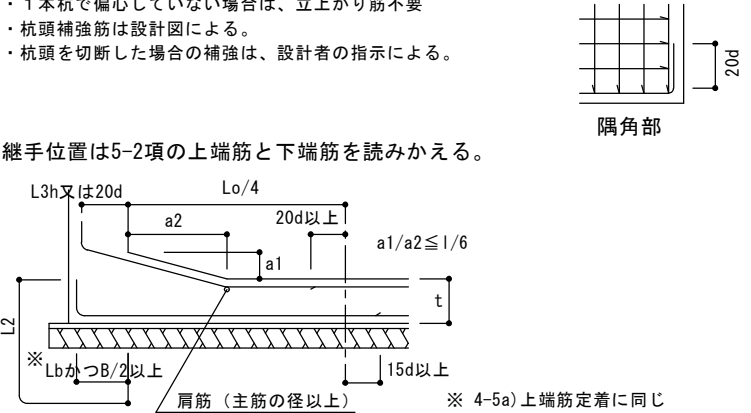
7-1  
独 立 基 礎



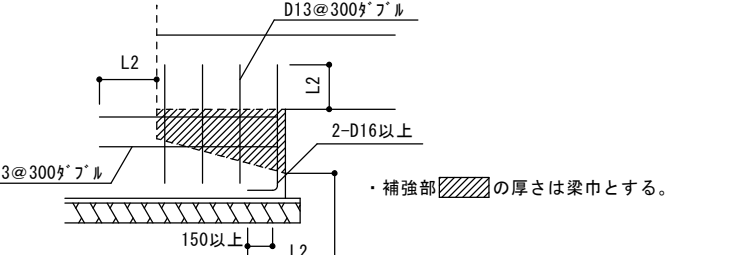
7-2  
杭 基 礎



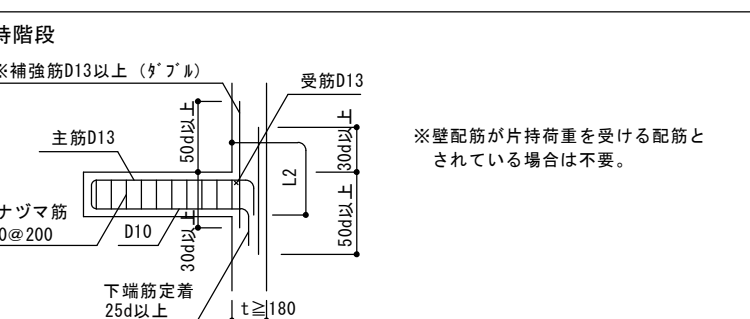
7-3  
べた基礎継手  
及び定着



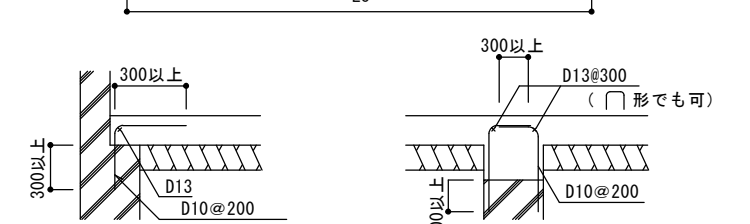
7-4  
基礎と基礎梁



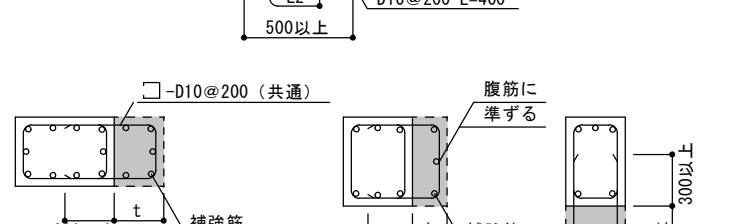
8-1  
階 段



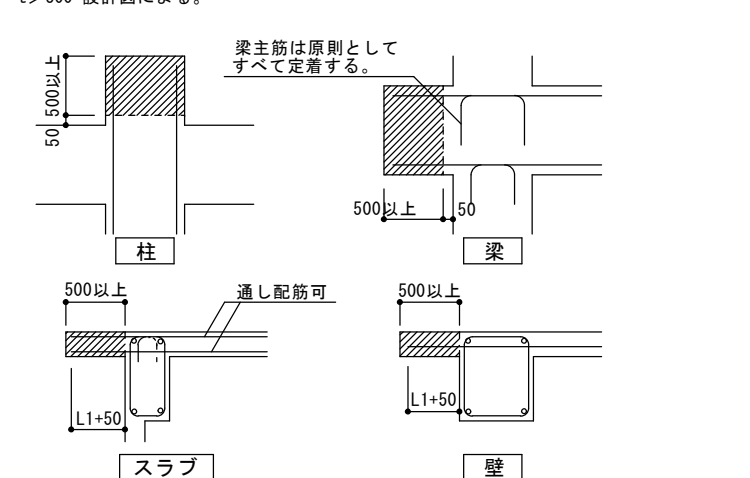
8-2  
土間コンクリート



8-3  
打増し補強



8-4  
増 築 予 定



## § 1 一般事項

- ## § 2 共通事項

### § 3 ボルト接合

## § 5 継手



1. 工法概要

1.1 構成部材

①アンカーボルト  
②注入座金  
③Mナット  
④ベースバックグラウト(グラウト材)  
⑤定着座金  
⑥テンプレート

⑦フレームポスト  
⑧フレームベース  
⑨ステコンアンカー(コネクリートアンカー)  
⑩ベースプレート

(注)上記①～⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。  
(注)上記⑥～⑩は現場状況により仕様が変わる場合がある。

1.2 柱脚の定着方法概要

グラウトロート  
グラウト材  
注入座金  
注入栓(技術等)

2. 柱

F値(N/mm ² )	鋼種	採用
235	BCP235	○
	STKR400	
295	BCR295	
	TSC295	

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート

●材質  
SN490B [JIS G 3136]

形状 (イ) 形状 (ハ)

3.3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3.4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

適用アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

適用アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

3.5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	通用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

呼び	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	単位 mm
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

呼び	異形部呼び名	L	X	単位 mm
M30	D32	695	45	490
M33	D35	720	45	490
M36	D38	770	60	490

注1) 据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

3.6 フレームベース

i) Aタイプ

ii) Cタイプ

iii) 特Cタイプ

3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

タイプ	最低h寸法 (mm)
Aタイプ	50
Cタイプ ※	50
特Cタイプ	50

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●形状  
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースパック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

●コンクリート  
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm²以上とする。

●鉄筋  
SD295 (D13, D16)  
SD345 (D19, D22)

4.2 配筋

※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。  
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4.3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。  
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。

基礎梁天端あるいはフーチング天端

5. 工場製作 (溶接)

■組立  
●ベースプレートの中心線(ヶ*線)に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法 (完全溶込み溶接)  
●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より )

図	溶接方法	適用板厚T(mm)	ルート間隔G(mm)		ルート面R(mm)		開先角度α1(°)		溶接姿勢
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差	
	被覆アーク溶接	6~	7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			9	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35		
	ガスシールドアーク溶接	6~	6	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35		

許容差：記号+∞は制限無しを示す。  
*2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差(上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差)を示す。

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

柱心 テンプレート中心線 けがき線

アンカーボルト

e1: 柱心とテンプレートのけがき線との許容差

標準許容差

-2≤e1≤2  
基準高さより誤差は  
-3≤e≤10

6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。

ベースバックグラウト

約30mm

2/3程度

6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6. 2アンカーボルト据付け及び6. 6 ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title  
ベースパック柱脚工法 標準図 (EV棟)

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有)貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.  
S-06  
原図: A2

# Q Lデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様② JFE 建材 株式会社

## 耐火補強筋不要仕様 [耐火認定FP060FL-0099, 0100, 0101, 0102, 0126, FP120FL-0127用]

Q Lデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、Q Lデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

## 設 計

材料／デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚 (mm)	表 面 処 理
■ Q L 9 9 - 5 0	□ 1.0	□裏面防錆処理(一次塗装) ^{*1} □ Q L プライマー (P) ^{*2}
□ Q L 9 9 - 7 5	■ 1.2	■ 亜鉛めっき □ Z12 ■ Z27
	□ 1.6	□ JFE エナメル (高耐食溶融めっき鋼板) □ V18 □ V27
		□ その他 ( ) □ 無し [*]

*1 現場搬入までの一次防錆 (J I S K 5 6 2 1 2種または3種相当)  
*2 板厚 1.2mm, 1.6mmに限る

材 質 J I S G 3 3 5 2に定めるSDP1T, SDP2, SDP2G

材料／コンクリート

種 類	■普通コンクリート
設計基準強度	□18 ■21 □( ) N/mm ²
厚さ(Q Lデッキ山)	□60 □70 ■80 □85 □90 □95 □100 □( ) mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

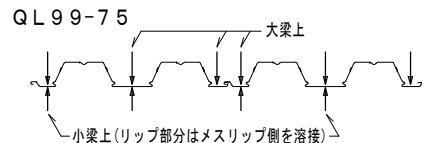
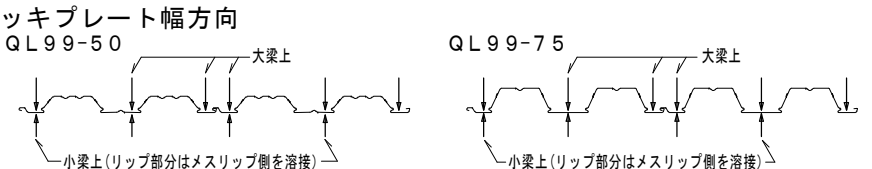
■ 溶 接 金 網	J I S G 3 5 5 1	□φ6-150×150 □φ6-100×100
□ 異 形 鉄 筋	J I S G 3 1 1 2, 3 1 1 7	□D10-@200 □( )

接 合	
■焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
□打込み鉄	接合箇所は特記による
□頭付きスタッド	J I S B 1198 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22 各長さ・ピッチは特記による ※最小長さはデッキ高さ+30mm以上とする。
□そ の 他	

耐 火	Q L 9 9 - 5 0		Q L 9 9 - 7 5	
	■FP060FL-0100 □FP060FL-0101 □FP060FL-0126		□FP060FL-0102 □FP060FL-0099	
床1時間				
床2時間				
そ の 他	□( ) □( ) □( )		□FP120FL-0127	
□指定なし	□( ) □( ) □( )			

特 記	
支保工有無	その他:
■無 □有	

焼抜き栓溶接  
デッキプレート幅方向  
Q L 9 9 - 5 0



デッキプレートスパン方向

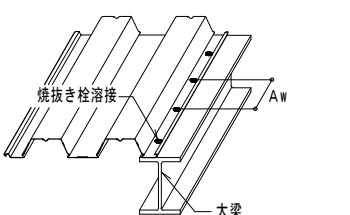
「Q Lデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$A_w = \frac{1.5 Q_a}{Q_0} \times 1000 \text{ mm かつ } 600 \text{ mm 以下}$$

A_w: 焼抜き栓溶接ピッチ  
Q₀: 設計最大せん断力(N/m)  
Q_a: 焼抜き栓溶接1個当たりの長期許容せん断力(N)

板厚	1.0	1.2	1.6
Q _a (N)	4,000	4,900	7,350 (SPW) 6,860 (APW)

A_w = ( 600 ) mm (注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要です。



耐 火 仕 様

○共通事項 支持梁・鉄骨梁、コンクリート:設計基準強度18~36 N/mm²の普通コンクリート  
溶接金網[JIS G 3551]又は異形鉄筋[JIS G 3112, G 3117] 寸法は下表参照  
耐火補強筋:不要

【Q L 9 9 - 5 0】

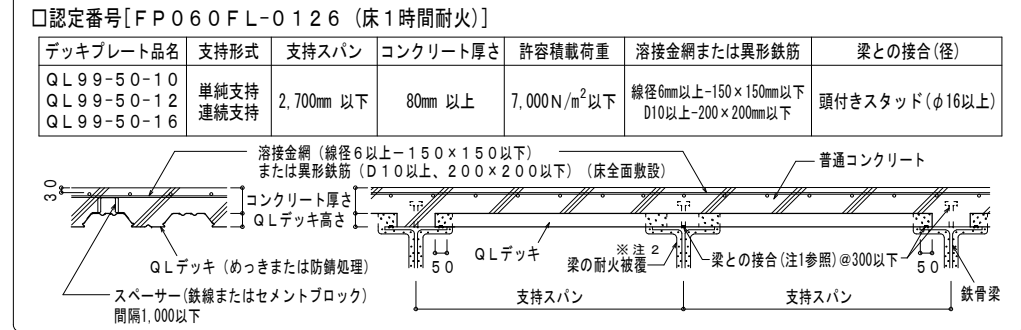
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(倍)
Q L 9 9 - 5 0 - 1 0 Q L 9 9 - 5 0 - 1 2 Q L 9 9 - 5 0 - 1 6	単純支持 連続支持	2.700m 以下	80mm 以上	5,400 N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)

□認定番号[F P 0 6 0 F L - 0 1 0 1 (床1時間耐火)]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(倍)
Q L 9 9 - 5 0 - 1 0 Q L 9 9 - 5 0 - 1 2 Q L 9 9 - 5 0 - 1 6	単純支持 連続支持	3.000m 以下	80mm 以上	3,500 N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鉄(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)

□認定番号[F P 0 6 0 F L - 0 1 2 6 (床1時間耐火)]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(倍)
Q L 9 9 - 5 0 - 1 0 Q L 9 9 - 5 0 - 1 2 Q L 9 9 - 5 0 - 1 6	単純支持 連続支持	2.700m 以下	80mm 以上	7,000 N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	頭付きスタッド(φ16以上)



【Q L 9 9 - 7 5】

□認定番号[F P 0 6 0 F L - 0 1 0 2 (床1時間耐火)]

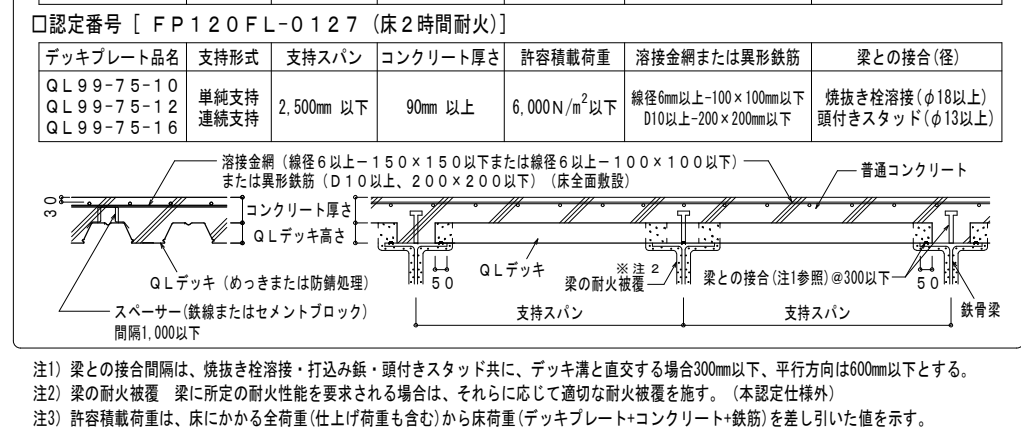
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(倍)
Q L 9 9 - 7 5 - 1 0 Q L 9 9 - 7 5 - 1 2 Q L 9 9 - 7 5 - 1 6	単純支持 連続支持	3.000m 以下	80mm 以上	5,400 N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 頭付きスタッド(φ13以上)

□認定番号[F P 0 6 0 F L - 0 0 9 9 (床1時間耐火)]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(倍)
Q L 9 9 - 7 5 - 1 0 Q L 9 9 - 7 5 - 1 2 Q L 9 9 - 7 5 - 1 6	単純支持 連続支持	3.400m 以下	80~100mm	3,500 N/m ² 以下	縦径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	頭付きスタッド(φ16以上)

□認定番号[F P 1 2 0 F L - 0 1 2 7 (床2時間耐火)]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(倍)
Q L 9 9 - 7 5 - 1 0 Q L 9 9 - 7 5 - 1 2 Q L 9 9 - 7 5 - 1 6	単純支持 連続支持	2.500m 以下	90mm 以上	6,000 N/m ² 以下	縦径6mm以上-100×100mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 頭付きスタッド(φ13以上)



注1) 梁との接合間隔は、焼抜き栓溶接・打込み鉄・頭付きスタッド共に、デッキ溝と直交する場合300mm以下、平行方向は600mm以下とする。  
注2) 梁の耐火被覆 梁に所定の耐火性能を要求される場合は、それらに応じて適切な耐火被覆を施す。(本認定仕様)  
注3) 許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上り荷重も含む)から床荷重(デッキプレート+コンクリート+鉄筋)を差し引いた値を示す。

アクセサリ

フラッシング	クローサー	ハンガー金具
Q Lデッキ附付の幅調整に用いる。 定尺2.4m、t=1.2mmまたは1.6mm	Q Lデッキの小口みさぎ用	天井センサー用金具 (Q Lデッキ下溝を利用して取付)

デ ッ キ プ レ ー ト と 梁 と の 接 合

1) 頭付きスタッド 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。	2) 打込み鉄 施工は打込み鉄製造業者の施工要領による。 施工の仕様等については別途製造業者へご確認ください。 日本ヒルティ(株)	3) 焼抜き栓溶接 国土交通省告示第326号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第606号(平成19年6月20日改正)の 第2様式ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。(梁フランジの表面処理条件:黒皮または一般錆止め塗装) 合成スラブ工委会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。
------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

焼抜き栓溶接 [SPW] — アーク手溶接 —

工 程	手 順 ・ 要 領
1) アーク発生	Q Lデッキを梁にのせ(隙間2mm以下)溶接棒を Q Lデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2) Q Lデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、 10mm弱で“の”の手を描いてQ Lデッキを焼抜く。
3) 押し込み・溶着	溶接棒を梁上で押し込み、焼抜きの内側を なぞるように円中央へ2~3回転しながら溶着。
4) 溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き 上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。
5) 手磨・要領	溶接時間の目安:電流値210(A)の場合8秒程度

自動焼抜き栓溶接 [A.P.W.] — CO₂アークスポット溶接 —

(1) 一次側電源の必要容量 : 仮設電力の場合 18 KVA以上 3相 200V  
 発電機の場合 35 KVA以上 3相 200V

(2) ワイヤの種類と直径 : YGW 11、12 φ1.2mm

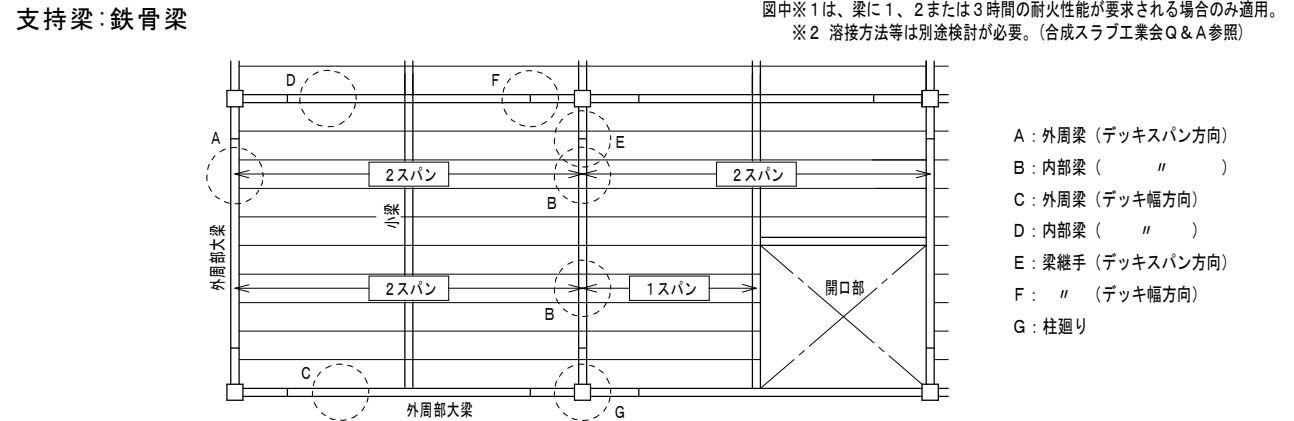
(3) 標準溶接条件: 下表

Q Lデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流 (A)	電圧 (V)	アークタイム (秒)
1.2mm	6~9mm未満	300~320	33~35	3.0~4.0
	9mm以上	300~320	33~35	3.0~4.0
1.6mm	6~9mm未満	300~320	34~36	3.5~4.5
	9mm以上	300~320	34~36	4.0~4.5

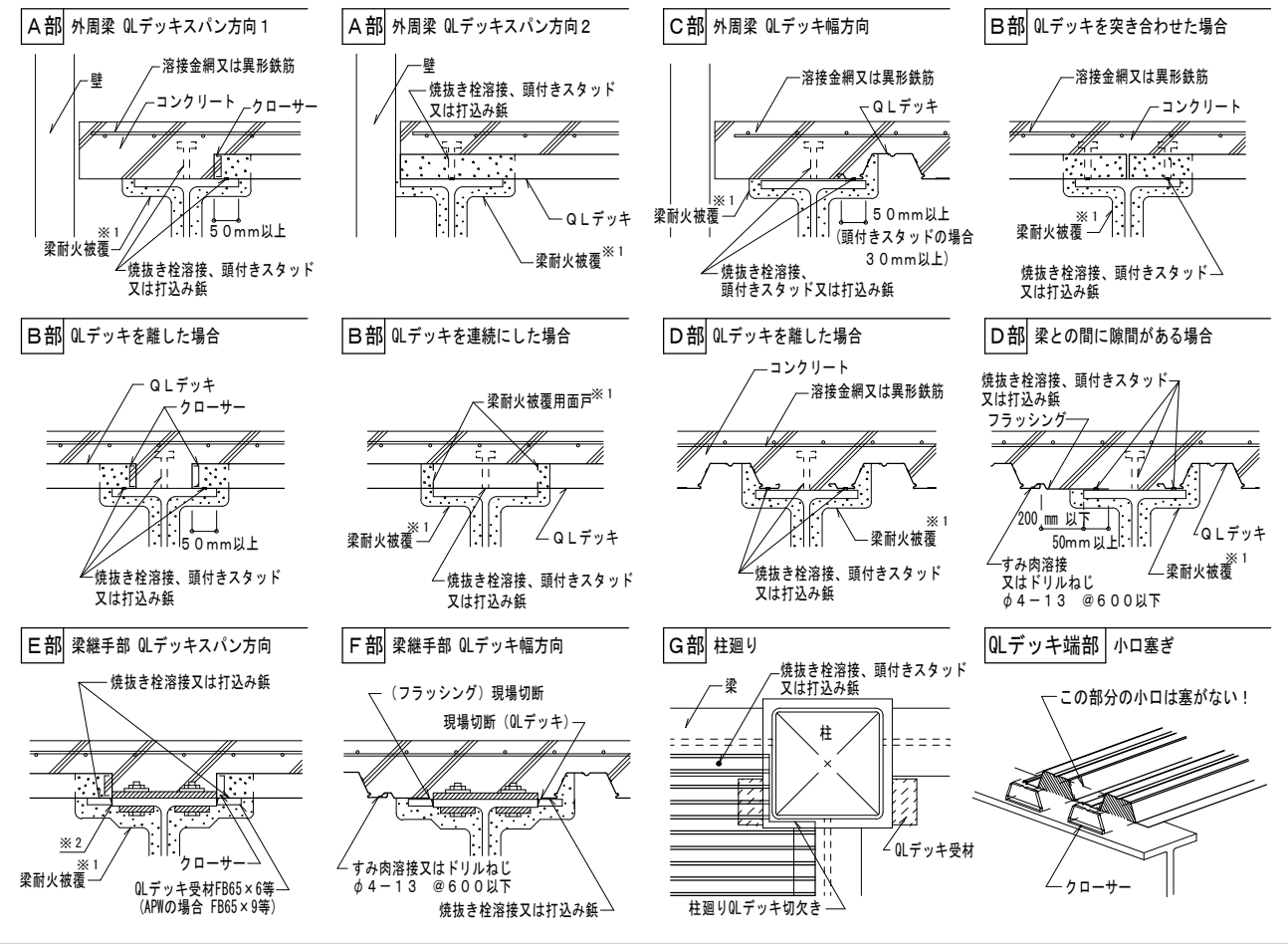
注1. デッキプレート 板厚 1.0mm 表面条件: Z12, Z27, 裏面塗装  
 2. CO₂ガス流量: 2.0ℓ/分以下

## 標 準 納 ま り

支持梁:鉄骨梁

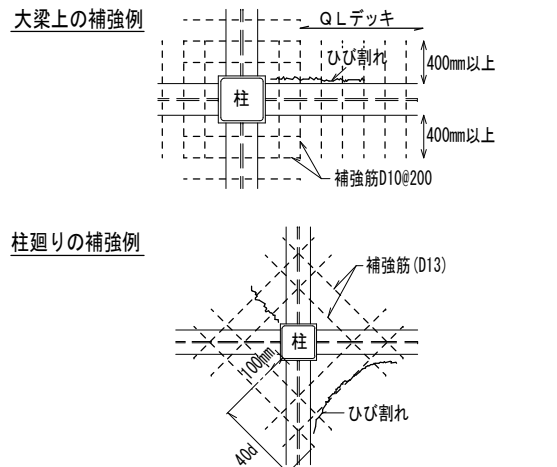


A: 外周梁 (デッキスパン方向)  
B: 内部梁 ( " )  
C: 外周梁 (デッキ幅方向)  
D: 内部梁 ( " )  
E: 梁継手 (デッキスパン方向)  
F: " (デッキ幅方向)  
G: 柱廻り



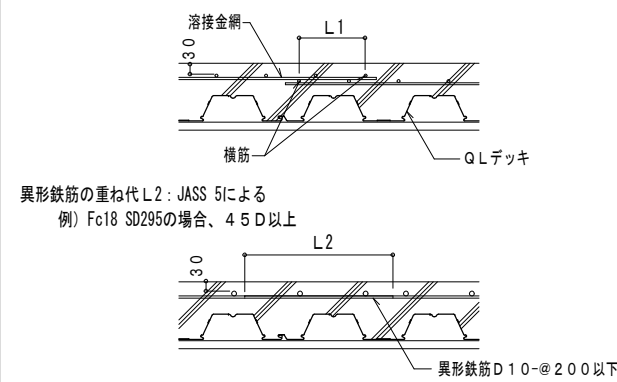
(参考) ひび割れ拡大防止のための留意事項

【1】設計上の留意点	【2】施工上の留意点
1) 小梁の剛性を大きくする。 2) ひび割れ拡大防止のため補強筋を設ける。(右図補強例参照) 3) スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。 (コンクリート厚さをQ Lデッキ山上から 80~90mmと厚くする。) 4) デッキプレートは各溝で梁に接合すること。 頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをワークスポット溶接するのが望ましい。	1) 水セメント比を小さくする。 【例】単位水量 175ℓ/㎡以下 ベースコンクリートスラブ 10cm スラブ厚 15cm 高性能A E減水剤 2) 溶接金網の位置一かぶり厚さ30mm—を確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋する) 3) コンクリート打込み後1週間以内は載荷作業を行わない。歩行程度は可。 4) 打込み後初期には散水や養生シート等で湿度養生を行う。 直射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。 5) 打込み後4~7日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。



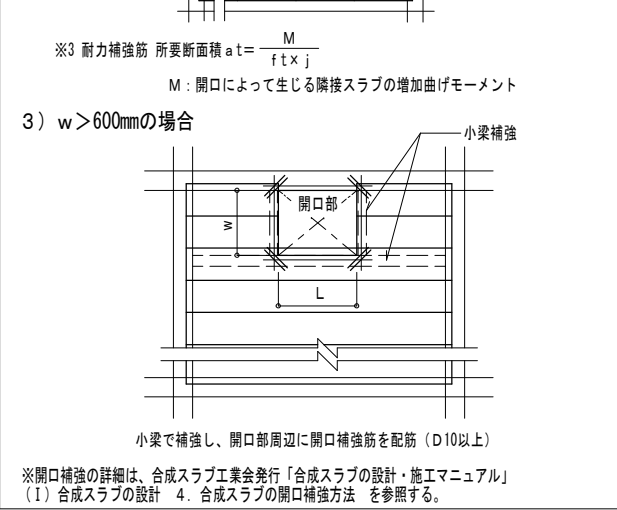
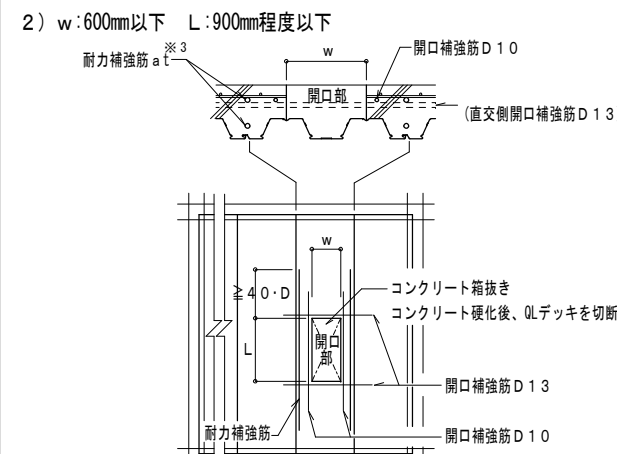
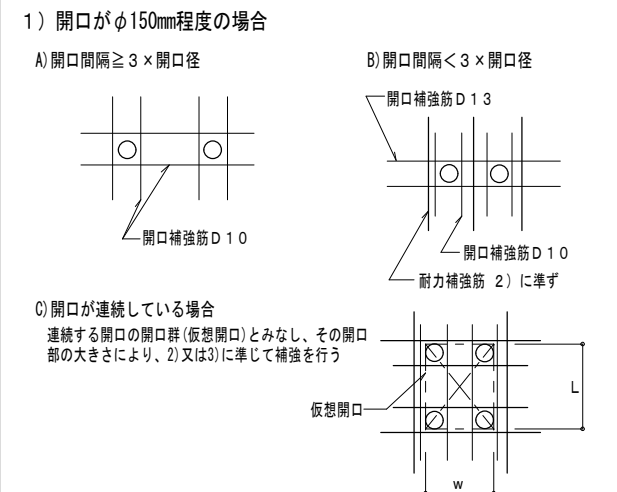
スラブの配筋

コンクリート表面よりのかり厚さが30mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。  
溶接金網の重ね代L1: 1メッシュと50mm以上、且つ150mm以上  
(縦径6-150×150の場合200mm以上、縦径6-100×100の場合150mm以上)



※配筋のスペーサーは鉄線またはセメントブロックとし、間隔は1.0m以下とする。

開口部補強案



※開口部補強の詳細は、合成スラブ工委会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」  
(1) 合成スラブの設計 4. 合成スラブの開口補強方法を参照する。

施 工

施工順序	敷 込 み
墨 出 し 敷込み仮止め溶接 ↓ Q Lデッキと梁との接合 1) 頭付きスタッド 2) 打込み鉄 3) 焼抜き栓溶接 ↓ ひび割れ防止筋敷込み ↓ 検 査 ↓ コンクリート打設	鉄骨梁の場合 1) 墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。 

工 程	手 順 ・ 要 領
1) アーク発生	Q Lデッキを梁にのせ(隙間2mm以下)溶接棒を Q Lデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2) Q Lデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、 10mm弱で“の”の手を描いてQ Lデッキを焼抜く。
3) 押し込み・溶着	溶接棒を梁上で押し込み、焼抜きの内側を なぞるように円中央へ2~3回転しながら溶着。
4) 溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き 上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。
5) 手磨・要領	溶接時間の目安:電流値210(A)の場合8秒程度

検 査
【焼抜き栓溶接 (SPW) 及び自動焼抜き栓溶接 (A.P.W.)】 □事前検査 SPW: 適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。 1) 溶接時の計測 2) 溶接棒の消費長さによる確認— 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、1.0mm程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが4.5~5.3mmであること。 A.P.W.: 試し溶接を行って溶接径を確認する。 □溶接後の外観検査 1) 溶接箇所の確認 2) 焼き切れ、余盛り不足の有無 3) 標準余盛り径 SPW: 10mm以上 A.P.W.: 25mm±3 □不良部の修繕 SPW の場合: スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。 不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で修繕。 A.P.W.の場合: 重ね溶接して修繕する。 【そ の 他】 (1) Q Lデッキ相互の嵌合状況 (2) ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況

特記事項:

その他の納まり・参考例等については、Q Lデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title

Q Lデッキ合成スラブ設計・施工標準 (EV棟) 津市立白山中学校長寿命化改修工事

■project title

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴臣設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

S-07  
原図: A2

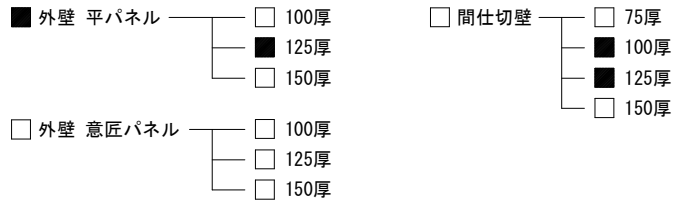
ヘーベル 外壁・間仕切壁《縦壁ロッキング構法》  
縦壁HDR構法(一般用) 設計施工標準図

I ALCパネル仕様

1 ALCパネル仕様

JIS A 5416 軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル) に適合するもの

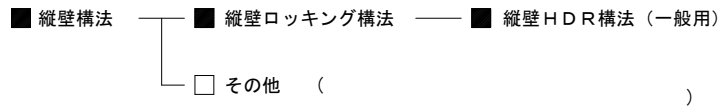
2 ALCパネル使用部位およびパネル厚



※150厚は一部の納まりが異なるため、別途専用の設計施工標準図をご用意いたします。

3 ALC外壁仕様

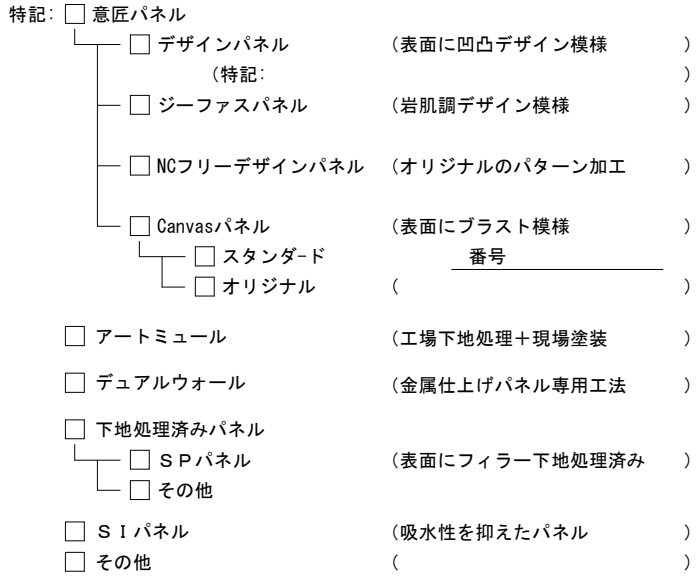
(1) パネル取付け構法



(2) 設計風圧力

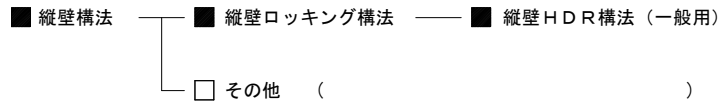
階	～	階	正	負	[ N/m ² ]
階	～	階	正	負	[ N/m ² ]
階	～	階	正	負	[ N/m ² ]
階	～	階	正	負	[ N/m ² ]

(3) パネル特殊仕様



4 ALC間仕切壁仕様

(1) パネル取付け構法



(2) パネル特殊仕様

(特記: )

II 関連資材仕様

1 シーリング材 (ALCパネル間)

※モジュラスの低いもの(経年時の50%引張応力の値が0.3N/mm2以下)を選定 (JIS A 5758 に基づく耐久性区分 )

(1) 種類

■ ポリウレタン系 ———— ■ 耐久性区分 8020

□ 変成シリコン系 ———— □ 耐久性区分 8020  
□ 耐久性区分 9030

□ その他 ( ) ———— 耐久性区分 ( )

(2) その他特記事項

(品名: )

2 耐火目地材

ロックウール保温板(JIS A 9504) または  
高温断熱ウールAESブランケット(JIS R 3311)品質同等

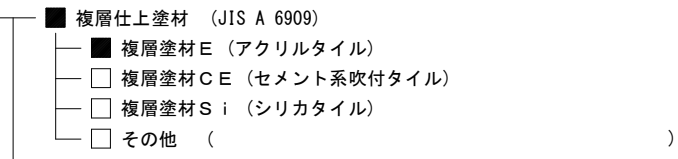
3 防錆塗料 (ALC下地鋼材、開口部補強鋼材塗装用)

特記による ( )

III 内外装仕様

1 外装仕上げ

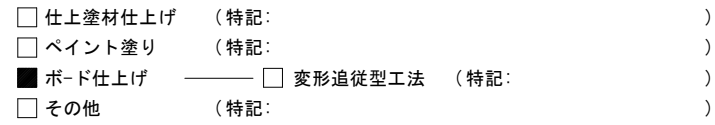
■ 仕上塗材仕上げ (特記:



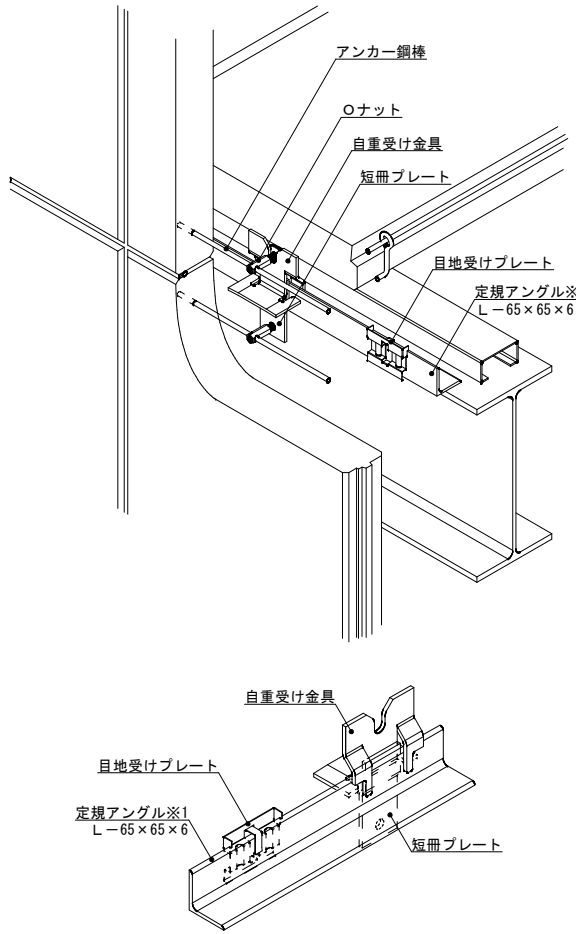
□ 張り仕上げ

□ その他 ( )

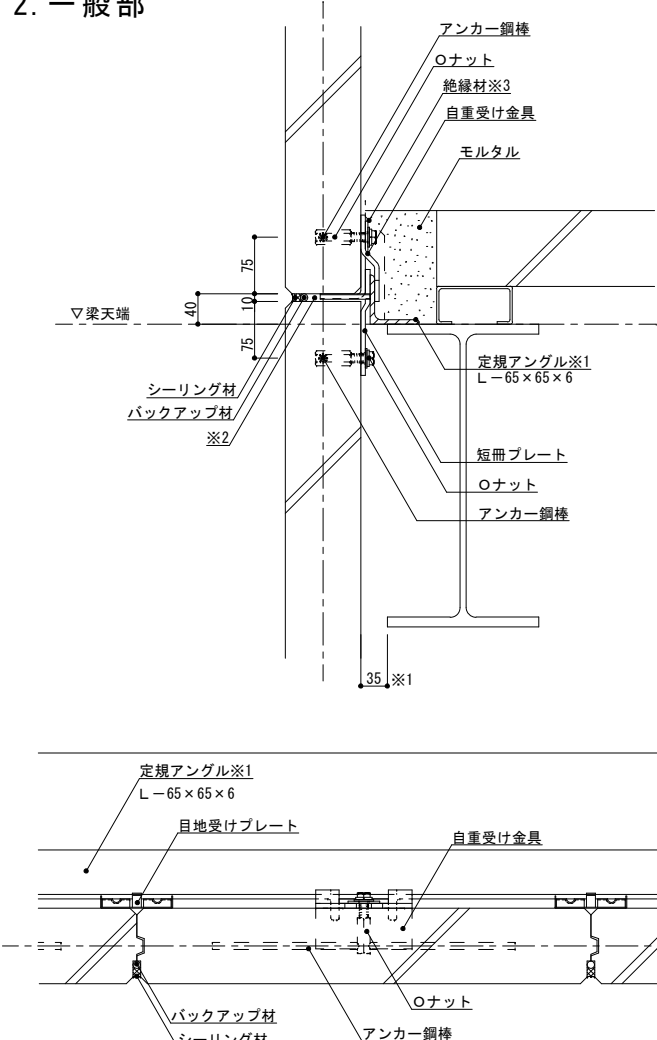
2 内装仕上げ



1. 構法概要 (縦壁HDR構法 (一般用) )

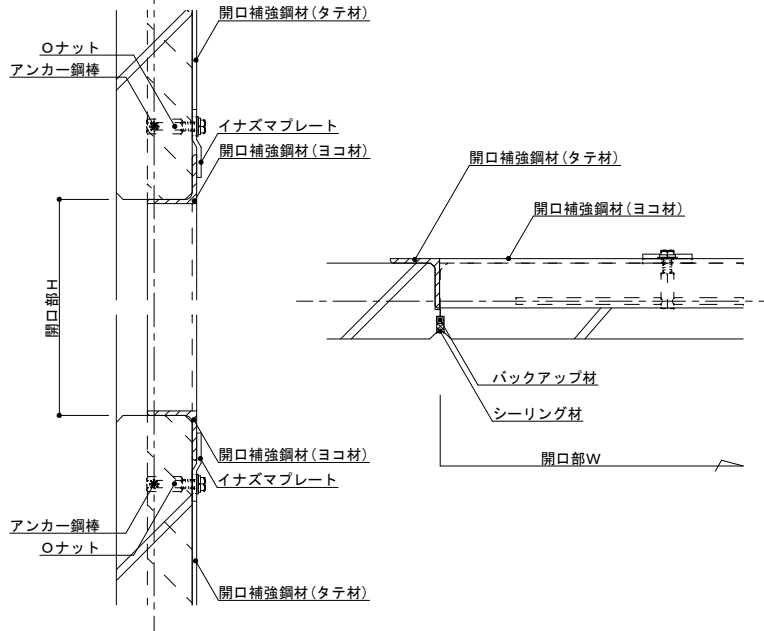


2. 一般部

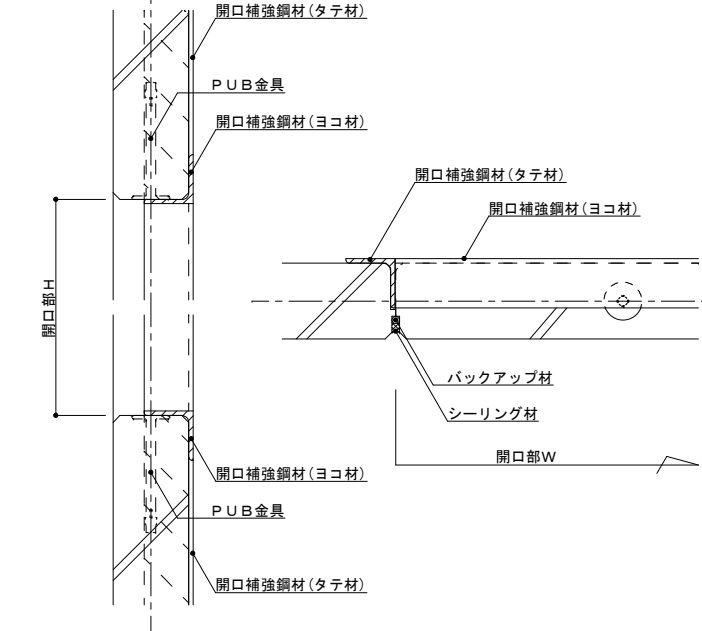


3. 開口部

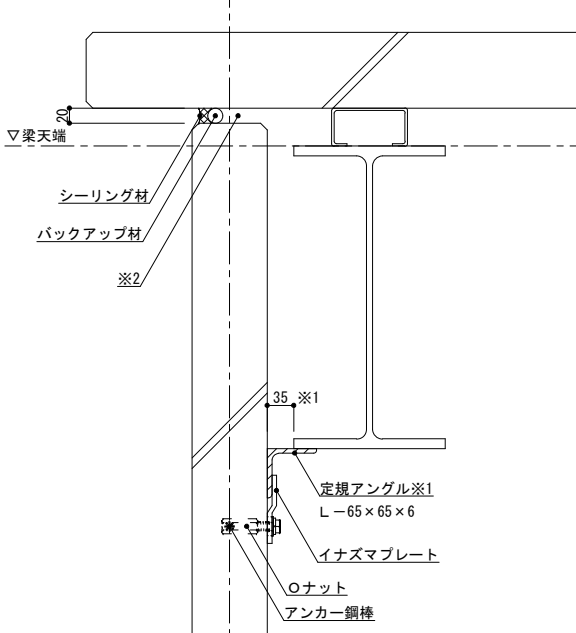
(1) Oナットを使用する場合



(2) PUB金具を使用する場合

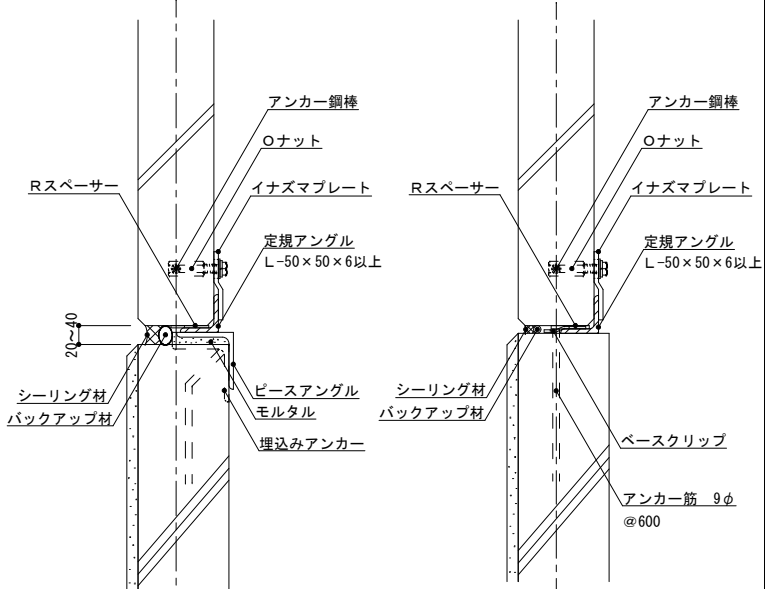


4. 軒先部

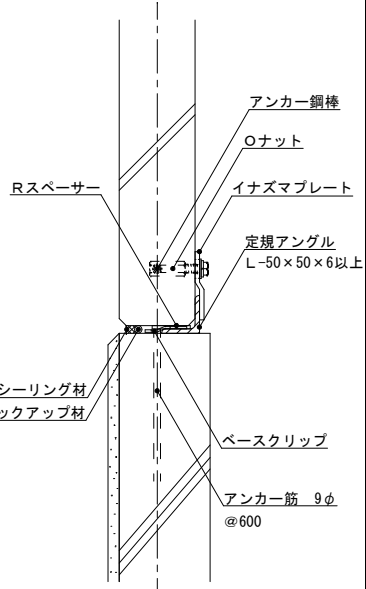


5. 布基礎部

(1) 埋込みアンカー仕様

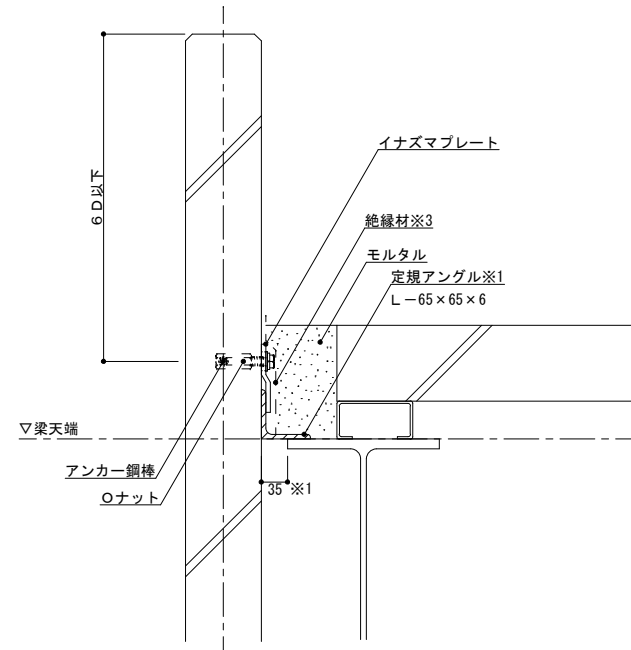


(2) ベースクリップ仕様

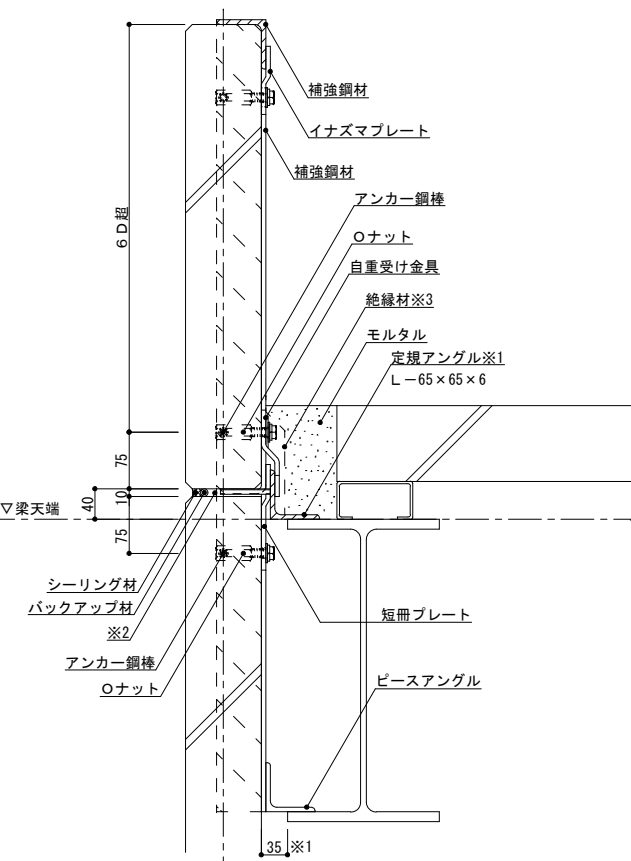


6. パラペット部

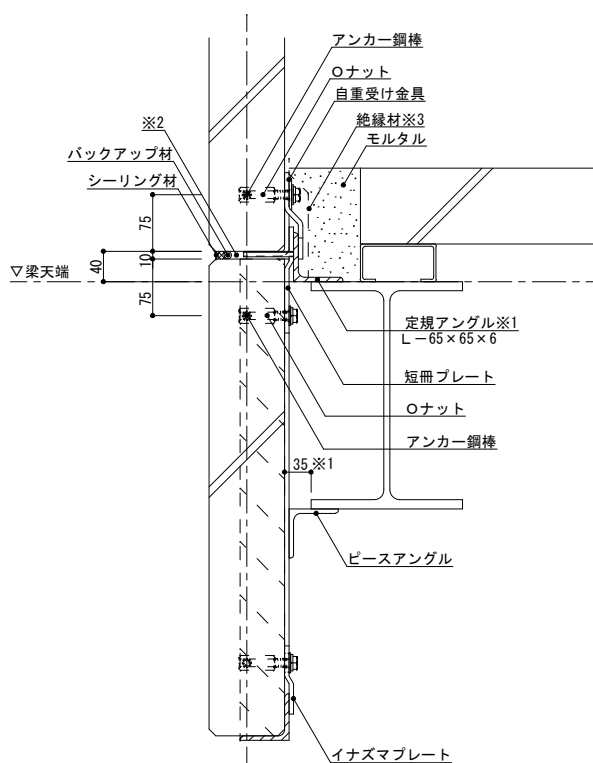
(1) はね出し寸法 6 D 以下 O: パネル有効厚



(2) はね出し寸法 6 D 超



7. 下がり壁部



※1 平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルなどはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45～50mmとする。  
※2 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする。  
※3 絶縁材：床取合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。

岡本設計株式会社 岡本 成敏  
一級建築士登録 第195735号  
構造一級建築士登録 第5700号

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title

ALC設計・施工標準図 (EV棟)

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

S-08

原図: A2

ボーリング柱状図

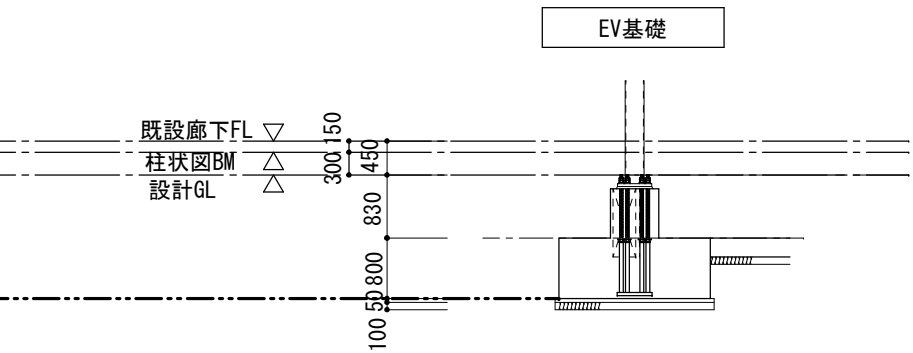
調査名 津市立白山中学校改修工事に係る地質調査業務委託

事業・工事名 令和5年度 営教総第1－23号

ボーリングNo.

ボーリング名	NO.1		調査位置		三重県津市白山町川口 地内				北緯	34° 38' 39.60"	
発注機関	津市建設部 営繕課				調査期間		令和 5年 7月 10日 ～ 5年 10月 2日		東経	136° 20' 11.59"	
調査業者名	三重企業株式会社 電話(059-225-3078)		主任技師	浦中 盛	現場代理人	浦中 盛	コア鑑定者	浦中 盛	ボーリング責任者	小久保 暢人	
孔口標高	KBM -0.28m	角 上 90° 下 0°	方 北 270° 西 90° 東 180°	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機 KR-100H 型		ハンマー 落下用具	半自動落下装置法		
総掘進長	9.00m	度	向		エンジン	YANMAR-NFD9型		ポンプ	KANO式 V-4P 型		

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日
1	0.58	0.58	表土(シルト質砂)	暗茶	緩い	含水中位、粒子均一の細砂主体 φ=20mm程度の歪角観察	1.15 2 2 2 6 10 20 30		1-1	○	細砂分
2	1.36	1.36	硬固り砂	茶灰	硬い	含水中位、砂は粒子均一の細砂 φ=10~20mm程度、シルト混在	1.45 10 11 12 33 20 30		1-2	○	細砂分
3	2.45	2.45	砂礫	暗茶褐灰	固	含水中~高位を示す、砂は粒子均一の細砂を主体とする φ=10~30mm程度の歪角~歪円礫 所々φ=50~80mm程度の粗礫を混在する 全体に高含水状で、崩壊性著しい	2.15 13 15 17 45 30 30		1-3	○	細砂分
4	4.15	4.15	砂	暗灰	極固	砂質、泥岩の互層からなり、砂岩が優勢を示す	3.45 47 3 1 50 11 50 4.15 50 2 750				
5	5.00	5.00	砂	暗灰	極固	全体に新鮮・硬質な状態を呈す 1~5~15cm前後の無柱状の棒状コアとして採取される	5.00 50 1 50 1 500				
6	6.01	6.01	砂	暗灰	極固	局所的に風化作用が進み、クラックが多くみられる	6.01 50 1 50 1 500				
7	7.00	7.00	砂	暗灰	極固	8.00m以降では泥岩が優勢を示している	7.00 50 1 50 1 500				
8	8.00	8.00	砂	暗灰	極固		8.00 50 1 50 1 500				
9	9.00	9.00	砂	暗灰	極固		9.00 50 1 50 1 500				
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											



岡本設計株式会社 岡本 成敏  
一級建築士登録 第195735号  
構造一級建築士登録 第5700号

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/100

drawing title  
柱状図 (EV棟)

project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

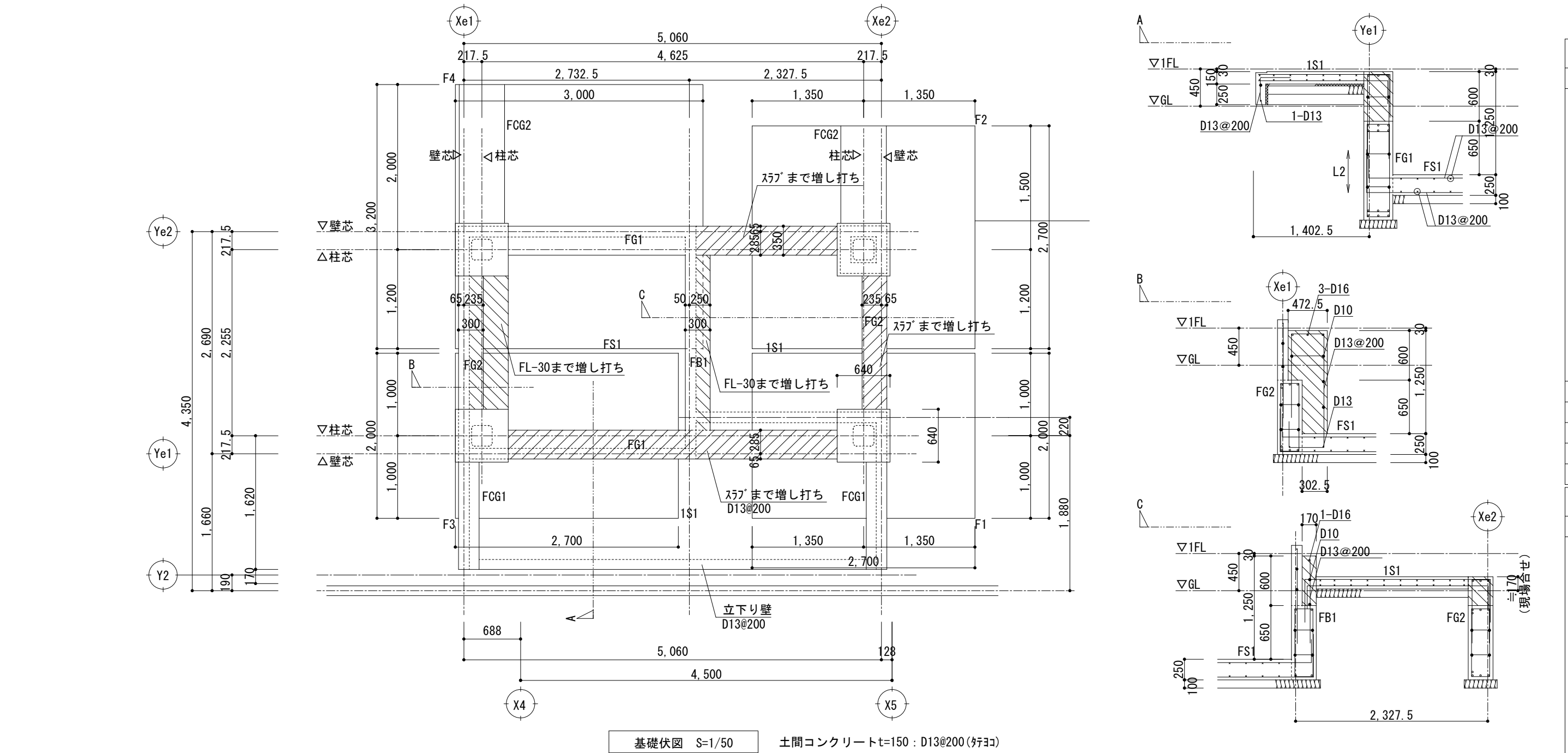
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

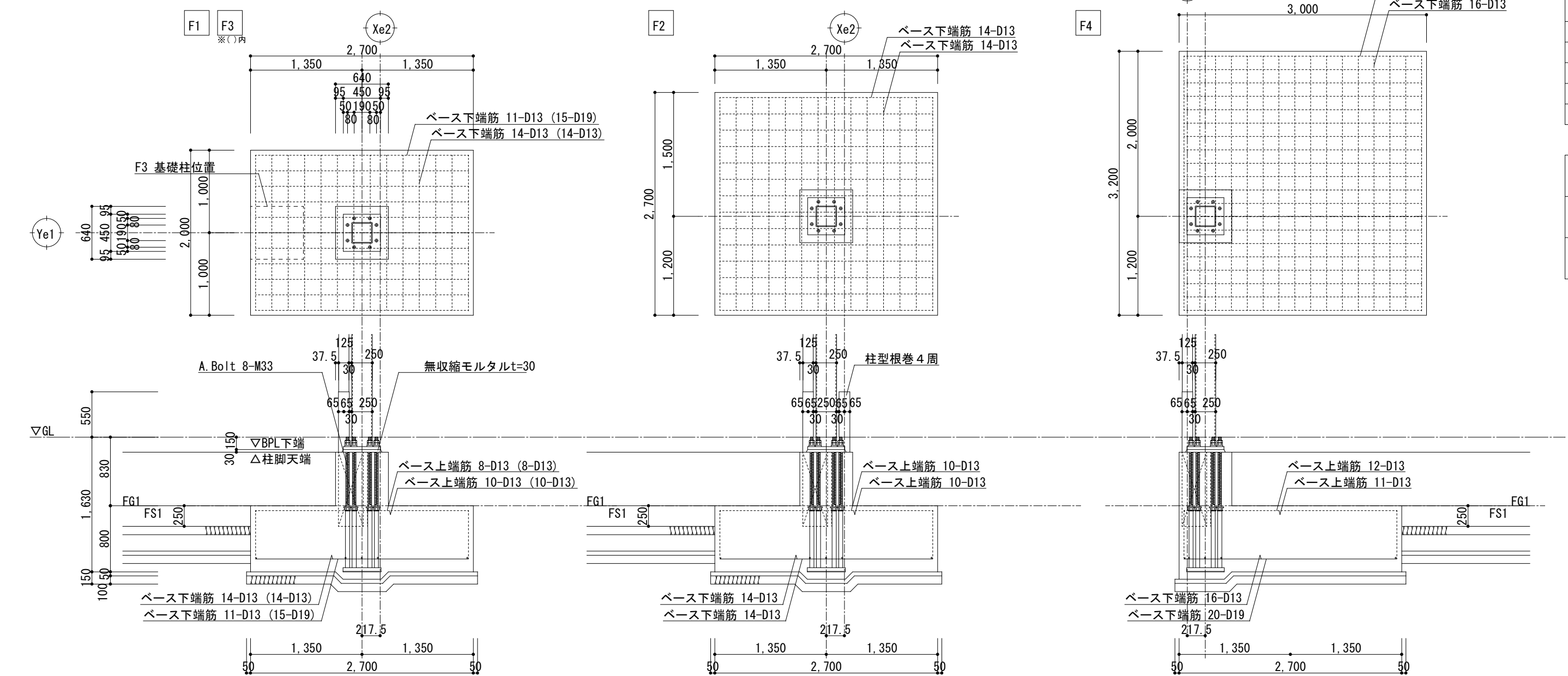
sheet no.

S-09

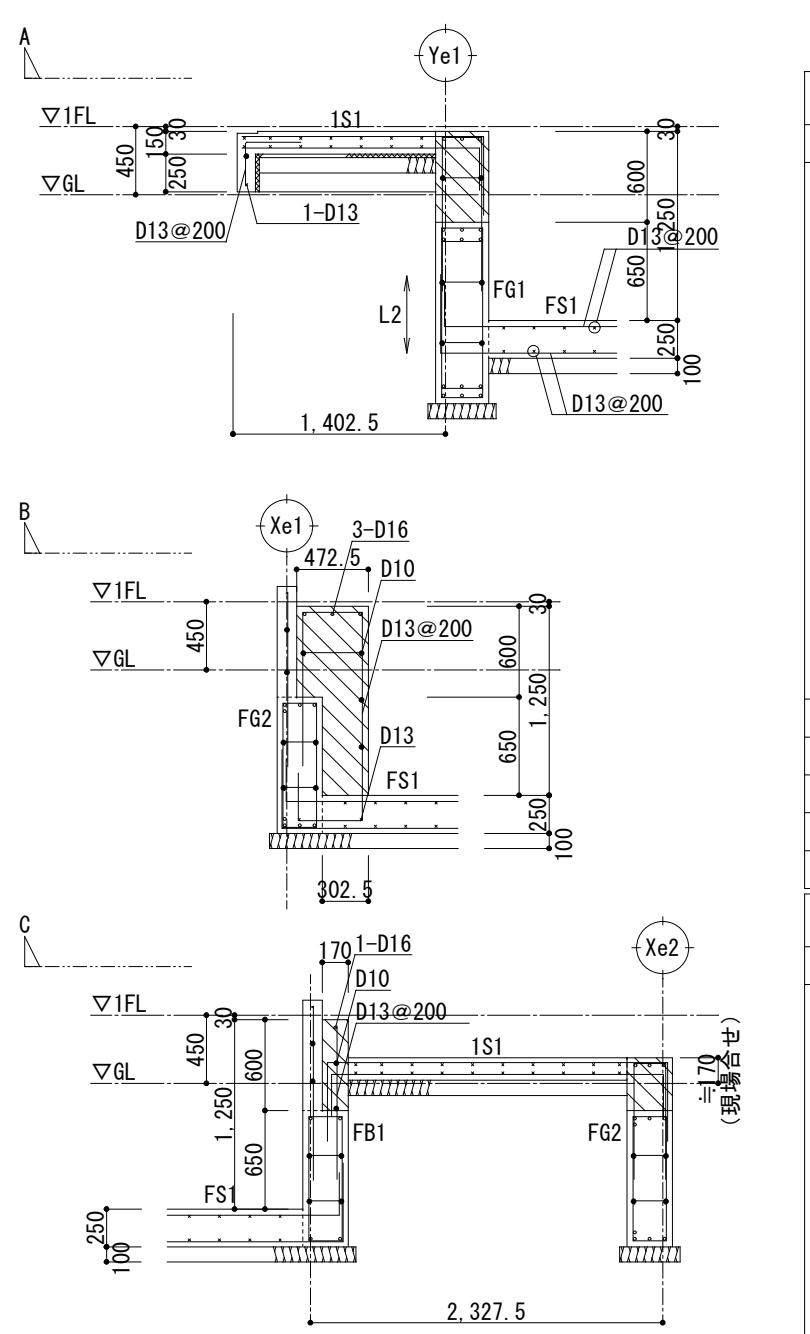
原図: A2

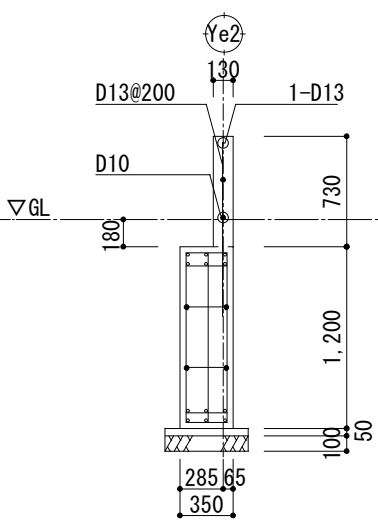
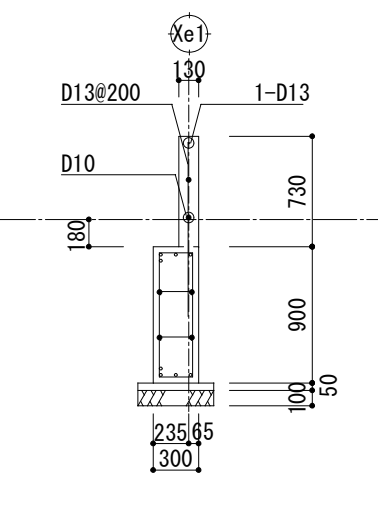
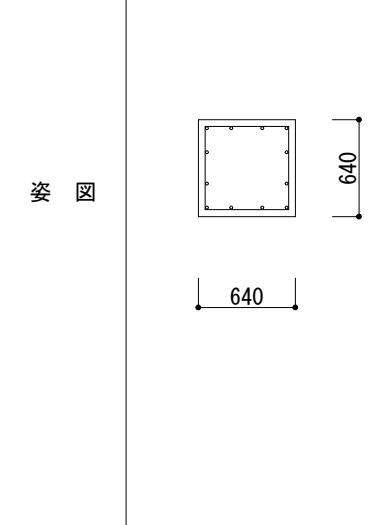
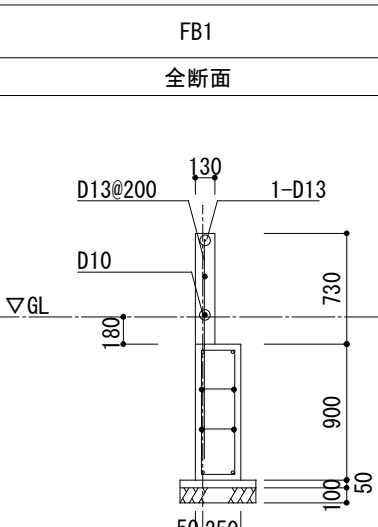
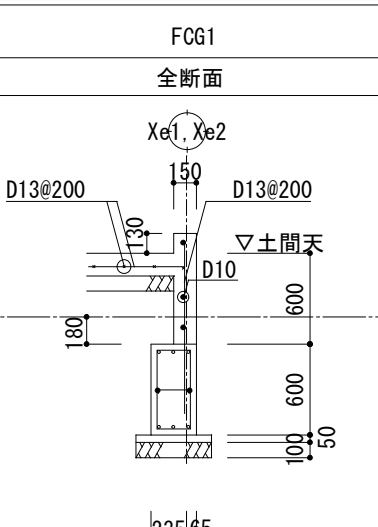
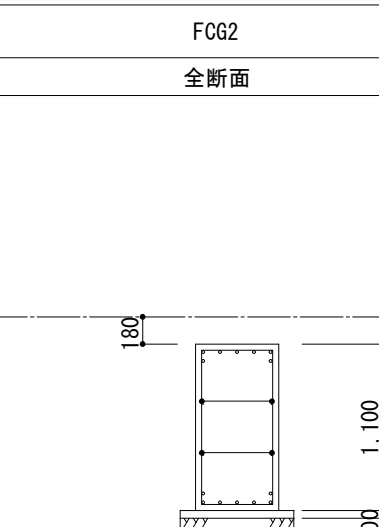


基礎伏図 S=1/50 土間コンクリートt=150 : D13@200(ﾀﾞｯｺ)



基礎詳細図 S=1/50

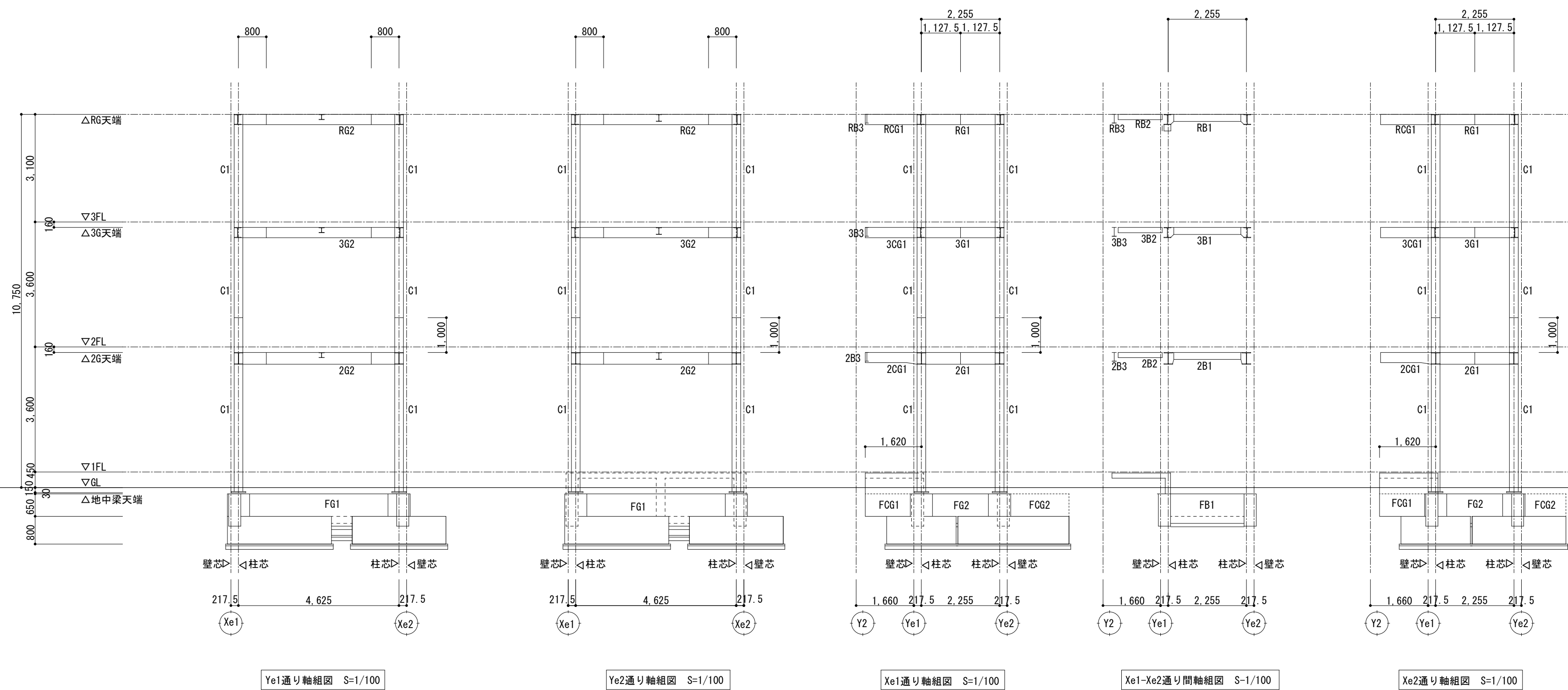
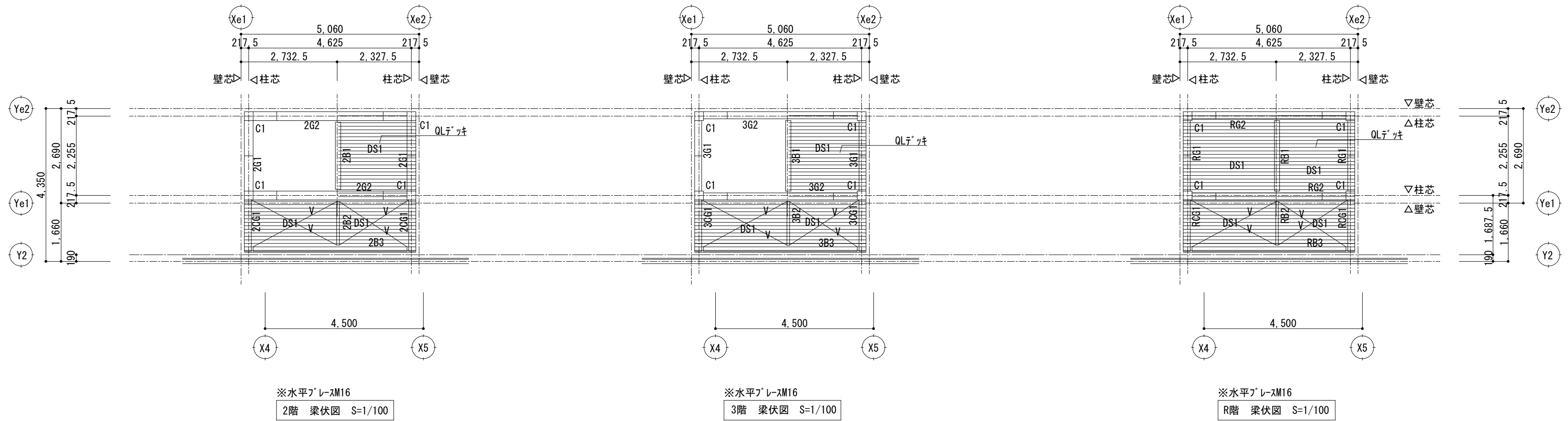


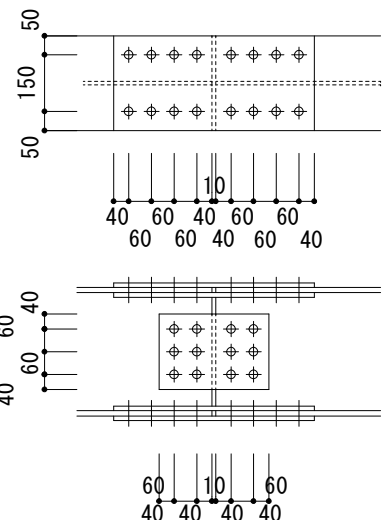
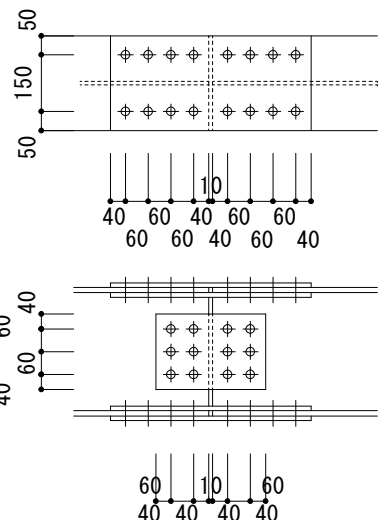
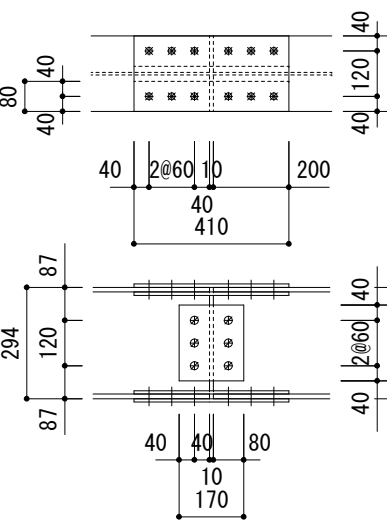
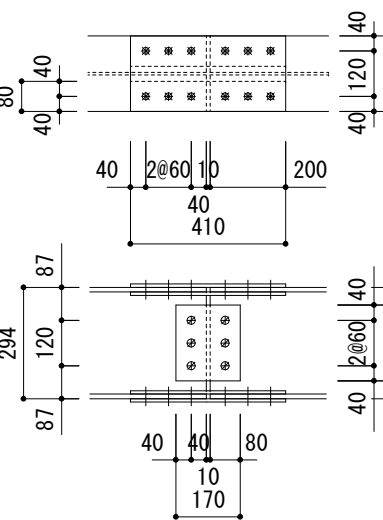
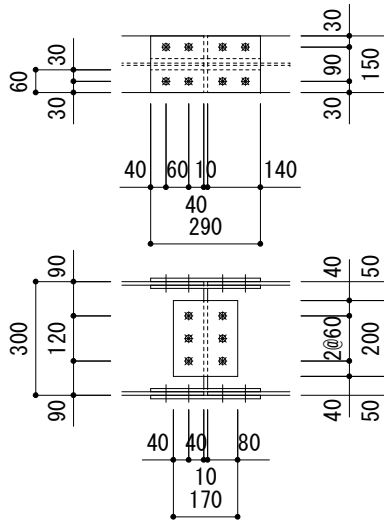
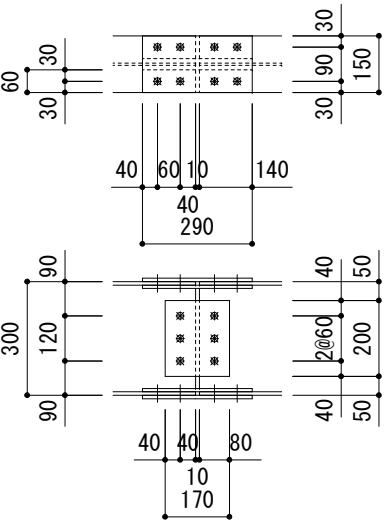
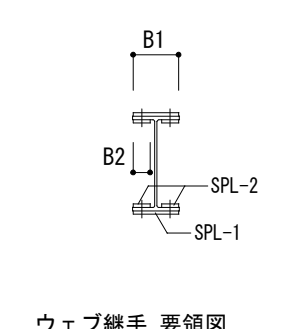
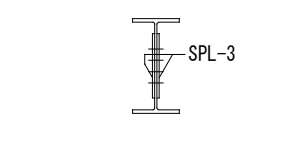
地中梁・柱脚リスト 1/50			柱脚リスト			
符 号	FG1	FG2	符 号	FC1		
位 置	全断面	全断面	位 置	全断面		
※ 図			※ 図			
	上端筋	6-D25		4-D19	主筋	12-D19
	下端筋	6-D25		4-D19	HOOP	D13@100
	S T P	□ D-13@200		D-13@200	柱アンカー	ベースバック 25-16V (特Cタイプ)
	腹筋	4-D13		4-D13		
巾止筋	D10@1000以内	D10@1000以内				
符 号	FB1	FCG1	FCG2			
位 置	全断面	全断面	全断面			
※ 図						
	上端筋	2-D19	3-D19	7-D22		
	下端筋	2-D19	3-D19	7-D22		
	S T P	D-13@200	D-13@200	D-13@200		
	腹筋	4-D13	2-D13	4-D13		
巾止筋	D10@1000以内	D10@1000以内	D10@1000以内			

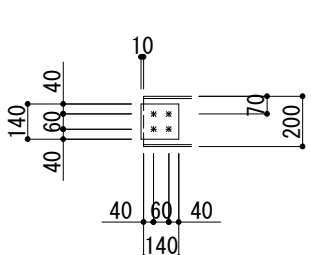
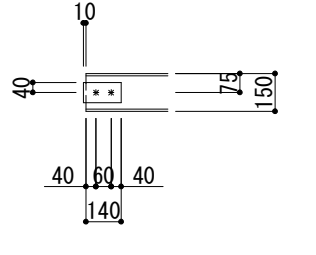
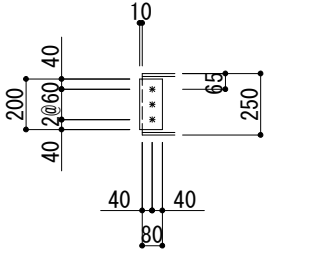
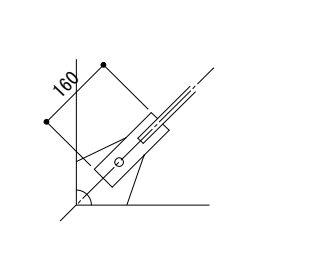
スラブリスト 1/50						
符 号	t	位 置	短辺方向		長辺方向	
			端部	中央	端部	中央
FS1	250	上端筋	D13@200	←	D13@200	←
		下端筋	D13@200	←	D13@200	←
1S1	150	上端筋	D13@200	←	D13@200	←
		下端筋	D13@200	←	D13@200	←

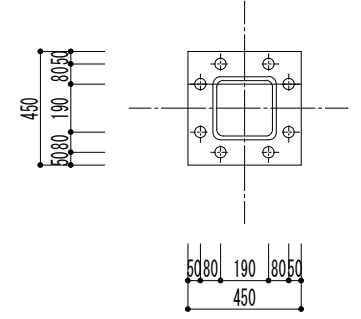
- ① 使用材料
- コンクリート (基礎)  $21+S \text{ N/mm}^2$  (立上・立下・増打共)
  - 土間コンクリート  $21 \text{ N/mm}^2$
  - 鉄筋 D-16以下 SD295  
D-19以上 SD345
  - 鉄骨 SN400B  
BCR295
  - H.T.B S10T
  - デッキプレート 合成床版用デッキプレート (SDP2G) 1時間耐火仕様  
t=1.2 山高 H=50 溶融亜鉛メッキ Z12  
コンクリート  $21+S \text{ N/mm}^2$   
RF T=80~120 ワイヤメッシュ 6φ-150×150  
2.3F T=80 ワイヤメッシュ 6φ-150×150  
JISK 5674 (工場1回、現場1回塗)
  - 錆止
- ② 製作工場Rグレード以上 (※全国鉄鋼工業連合会)
- ③ 全ての工事は大臣官房官庁営繕部監修、建築工事仕様書、建築改修工事共通仕様書による。

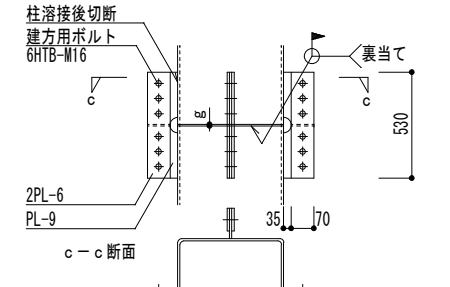
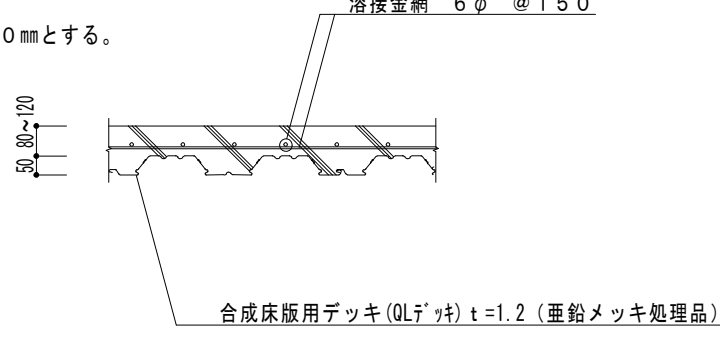
岡本設計株式会社 岡本 成敏  
一級建築士登録 第195735号  
構造一級建築士登録 第5700号



鉄骨大梁・大梁継手リスト											※ 特記なき限り 鉄骨材質 SN400B H:ロールH型钢 HTB S10T																			
符 号		2G1		2G2		3G1		3G2		RG1		RG2																		
部 材		H-340×250×9×14		H-340×250×9×14		H-294×200×8×12		H-294×200×8×12		H-300×150×6.5×9		H-300×150×6.5×9																		
詳細図														フランジ継手 要領図    ウェブ継手 要領図    ボルト径  <table><tr><th></th><th>e1</th><th>P</th></tr><tr><td>M16</td><td>40</td><td>60</td></tr><tr><td>M20</td><td>40</td><td>60</td></tr></table>									e1	P	M16	40	60	M20	40	60
			e1	P																										
		M16	40	60																										
		M20	40	60																										
フランジ		32-M20	2PL-530×250×12 4PL-530×100×12	32-M20	2PL-530×250×12 4PL-530×100×12	24-M20	2PL-410×200×9 4PL-410×80×9	24-M20	2PL-410×200×9 4PL-410×80×9	16-M16	2PL-290×150×9 4PL-290×60×9	16-M16	2PL-290×150×9 4PL-290×60×9																	
ウェブ		12-M20	2PL-290×200×9	12-M20	2PL-290×200×9	HTB 6-M20	2PL-170×200×9	HTB 6-M20	2PL-170×200×9	6-M16	2PL-170×200×6	6-M16	2PL-170×200×6																	

鉄骨雑部材リスト ※ 特記なき限り 鉄骨材質 SS400 H:ロールH型钢 HTB S10T											小梁等継手リスト											
符 号		部 材		G・P・L		H・T・B		備 考			符 号		RB1, 3B1, 2B1		RB2, 3B2, 2B2		RB3, 3B3, 2B3		水平プレート		接合部要領図	
RB1		H-200×100×5.5×8		PL-6		2×2-M16					部 材		H-200×100×5.5×8		H-150×75×5×7		H-250×125×6×9		M16			
RB2		H-150×75×5×7		PL-6		2-M16					詳細図											
RB3		H-250×125×6×9		PL-9		3-M16																
RCG1		H-300×150×6.5×9						元端剛接合（鉄骨詳細図参照）														
3B1		H-200×100×5.5×8		PL-6		2×2-M16																
3B2		H-150×75×5×7		PL-6		2-M16																
3B3		H-250×125×6×9		PL-9		3-M16																
3CG1		H-300×150×6.5×9						元端剛接合（鉄骨詳細図参照）														
2B1		H-200×100×5.5×8		PL-6		2×2-M16																
2B2		H-150×75×5×7		PL-6		2-M16																
2B3		H-250×125×6×9		PL-9		3-M16																
2CG1		H-300×150×6.5×9						元端剛接合（鉄骨詳細図参照）														
水平プレート		M16		PL-9		1-M16																
											ガセットプレート		PL-6		PL-6		PL-9		PL-9			
											ボルト		2×2-M16		2-M16		3-M16		1-M16			

鉄骨柱リスト S=1:30 ※ 特記なき限り 鉄骨材質 BCR295 (ダイヤフラム SN490C)											柱現場溶接継手											DS1 スラブ リスト S=1:20										
符 号		C 1																														
階	3 F	□-250×250×12																														
	2 F	□-250×250×12																														
	1 F	□-250×250×16																														
柱脚	B・P・L	450×450×32																														
	A・BOLT	8-M33 (SD490)																														
詳細図		ベースバック25-16V (特Cタイプ)																														
																																

詳細図				・パネルゾーン及び通しRの材質は、特記なき限り、接続する柱及び梁と同材質とする。又、接続する柱及び梁の材質の異なる場合は、強度の大きい方の材質とする。			

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

S=1/20, 1/30

■drawing title

鉄骨断面リスト (EV棟)

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

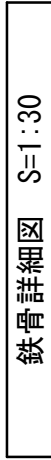
■drawing no.

■sheet no.

S-12

原図: A2

岡本設計株式会社 岡本 成敏  
一級建築士登録 第195735号  
構造一級建築士登録 第5700号



構造特記仕様書

§1 一般事項

選択項目は、●印を適用し、●が無い場合は、＊印を適用する。  
●印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2 設計図書の優先順位は下記による。

1) 本特記仕様書

2) 設計図

3) 標準図

● 鉄筋コンクリート構造配筋標準図

● 鉄骨工作標準図

○ 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図

○ 高強度せん断補強筋施工仕様書

○ 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図

4) 仕様書( ○ 公共建築協会 ＊ 日本建築協会 )

5) 日本建築学会標準仕様書 , JASS5 , JASS6

1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。

1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。

第三者機関による検査・試験費用は工事費に(＊含む ○含まない)

1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。

1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は( ○ 意匠図 ○ 構造図 ＊ 設備図 )による。

1-7 その他

§2 構造計算ルート

2-1

方 向

構造計算ルート

X	● ルート1-1 ○ ルート2 ○ ルート3
Y	● ルート1-1 ○ ルート2 ○ ルート3

2-2 鉄筋の継手及び定着

構造計算ルート別による主筋等の継手重ね長さにとりに付く梁の定着長さ  
＊ 建築基準法施行令第73条(政令第73条)による仕様規定  
● 日本建築学会 JASS5(2009)・鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説  
● 日本建築学会 RC規程2010  
XY両方向共にルート3及び境界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5(2009)鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規程2010とすることができる。

§3 仮設工事、土工事

3-1 山留め、根切り

3-2 埋戻し土、盛土、残土処分

埋戻し土 ＊ 根切り土の中の良土 ○ 搬入良土  
盛土 ＊ 根切り土の中の良土 ○ 搬入良土  
残土処分 場内均し ＊ 場外搬出処分(＊ 自由 ○ 指定場所 )

§4 地業工事

4-1 基礎及びスラブ下地業 (単位mm)

場 所	捨てコンクリート厚さ	※(1)		厚 さ
		A: 砕 石	B: 割栗石	
基 礎	独立、布	＊50○90○100	＊A○B	＊60 ●100○150
	ベタ	＊50○60○100	＊A○B	＊60○100○150
地 中 梁		＊50○60○100	＊A○B	＊60○100○150
構造スラブ		＊50○60○100	＊A○B	＊60○100○150
土間スラブ	屋内	＊50○60○100	＊A○B	＊50 ●100○150
	屋外	＊50○60○100	＊A○B	＊50 ●100○150

注(1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。  
(2) 端部aは100以上とする。

a

4-2 設計地耐力

長期 kN/㎡ 短期 kN/㎡ 終局 kN/㎡

地耐力載荷試験 ○ 行う ( 箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ＊ 行わない

4-3 地盤改良

○ 無筋コンクリート地業 ○ 締固め工法 ○ ソイルセメント杭  
○ セメント系固材材搅拌 ○ 圧密排水工法  
[ ○ 載荷試験 ○ 一軸圧縮試験 ] ○ 行う ( 箇所) ＊ 行わない  
[ ○ 六価クロム溶出試験 ] ○ 行う ＊ 行わない

4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭 ※詳細は構造図による

1) 杭種

○ PHC杭 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○  
○ ST杭 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○  
○ 鋼管杭 tmm ○ ○ ○ ○  
○ PRC杭 ○ I種 ○ II種 ○ III種 ○ IV種  
○ 節杭 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○

2) 工法

○ 打撃工法 ○ 油圧ハンマー ○ ディーゼルハンマー  
○ 埋込み工法 ○ プレボーリングセメントミルク注入工法  
○ プレボーリング拡大根固め工法(認定工法/HiFB工法)

杭周固定液 ＊ あり ○ なし

  
○ 中掘拡大根固め工法(認定工法)  
○ 回転掘根固め工法(認定工法)  
● 先端羽根付き鋼管杭工法(認定工法)

3) 杭径、設計耐力、本数表

杭 径(羽根部)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備 考

4) 杭の構成は設計図による。

5) 杭頭補強

○ かご筋 ○ スタッド溶接 ○ 杭外周溶接

4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭

1) 工法

○ アースドリル工法 ○ 底底アースドリル工法  
○ リバース工法 ○ オールケーシング工法( ○ ペノト工法 ○ )  
○ BH工法 ○

2) 杭径、設計耐力、本数表(括底部は施工後を示す)

杭 径(括底部)mm	管厚mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備 考
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						

3) 杭先端深さ GLー m

4) 孔壁測定(2方向)

＊ 行う ( ○ 全数 ○ % ) ○ 行わない

5) 使用材料 コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。

コンクリート Fc (○ 普通ポルトランドセメント○ 高炉セメントB種 )  
鉄筋 ○ D 以下 SD295A ○ D 以上 SD345  
○ D 以上 SD390  
鋼管(リブ付) ○ SKK400 ○ SKK490

4-6 杭打地業共通事項

1) [ ○ 杭長決定用先行杭 ○ 試験掘 ] ○ 行う (1本) ○ 行わない  
2) 載荷試験 ○ 行う ( 箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ＊ 行わない  
3) SL塗布 ○ 行う ＊ 行わない

§5 鉄筋工事

5-1 材種

種 類	径	継 手
●SD295	D16以下	＊重ね継手 ○スパイラル○工場溶接
●SD345	D19以上	○重ね継手 ＊溶接継手 ○機械継手( 級)
○SD390	D 以上	＊溶接継手 ○機械継手( 級)
○SD490	D 以上	＊溶接継手 ○機械継手( 級)
○溶接金網		○重ね継手
○高強度せん断補強筋	○1275級 P ○785級 K ○685級 UD UR	○重ね継手 ○スパイラル○工場溶接

溶接継手 ＊ ガス圧接 ○ 突き合せ溶接(D16以下は重ねアーク溶接でも可)  
溶接部の検査(第三者機関による)  
○ 抜取り検査  
○ 引張り試験(JISZ3120)

1検査ロットにつき ＊ 3本 ○  
○ 超音波探傷試験(JISZ3062) ○ 熱間押抜き試験  
1検査ロットにつき ○ 30箇所 ○  
不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。  
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接箇所の数量で200箇所以内

5-2 梁貫通補強  
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-3 その他

基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として○①一般 ○②地反力を受けるとする。  
鉄筋の組立は適切な位置にスパーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。  
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。  
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1 設計基準強度 (N/mm²)

1) セメント ＊ 普通ポルトランドセメントJISR5210 ○高炉セメントB種  
○ 低熱ポルトランドセメントJISR5210 ○  
2) 粗骨材 ○ 砂利 ＊ 砕石 ○ 高炉スラグ骨材 ○人工軽量骨材 ○再生骨材  
最大径(mm) ＊ 20○25○40  
3) 躯体 (使用区分は設計図の輪組図に示す)  
○ 普通コンクリート  
○ Fc18 ●Fc21 ○Fc24 ○Fc27 ○Fc30 ○Fc ○Fc  
○ 軽量コンクリート ( ＊1種 ○2種 気乾単位容積質量 ＊18.5○ )  
○ LFc18 ○LFc21 ○LFc24 ○LFc27 ○LFc30 ○LFc

4) 土間コンクリート ●Fc21 (ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)

5) 捨てコンクリート ●Fc18

6) 防水押さえコンクリート ○Fc ○LFc (気乾単位容積質量 ＊18.5 ○ )

7) かさ上げコンクリート ○Fc ○LFc (気乾単位容積質量 ＊18.5 ○ )

6-2 混和材 ＊AE減水剤 ○高性能AE減水剤 ○躯体防水材 ○膨張材

6-3

箇 所	基礎・地中梁	一 般	捨てコンクリ	備 考
スランブ c m	18	18	15	
水セメント比 %				60以下
単位水量 k g/㎡				185以下
単位セメント量 k g/㎡				270以上

6-4 試験 (躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)

1) 骨材 [ ●塩分含有量 ●アルカリシリカ反応性 ] ＊ 行う ○ 行わない  
2) フレッシュコンクリート [ ●スランブ ●空気量 ] ＊ 行う ○ 行わない  
3) 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 ＊ 行う ○ 行わない  
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験 ○ 行う ＊ 行わない  
5) マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析) ○ 行う ＊ 行わない

6-5 調査 (補正値は工事費に含む)

計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度Fd  
○短期(18) ＊標準(24) ○長期(30) ○超長期(36)  
調査管理強度 Fm=Max(Fc、Fd)+S S=3~6  
材齢28日の調査強度Fは下記の面式を満足するものとする。  
F≥Fm+1.73σ F≥0.85Fm+3σ

6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

	基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁 下
コンクリート	15℃以上 3日	17日	
の材齢による	5℃以上 5日	25日	28日
場合	0℃以上 8日	28日	
圧縮試験による場合	5N/mm ²	0.85Fcまたは12N/mm ²	設計強度

6-7 住宅性能表示

劣化等級 ○等級2 ○等級3  
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さが変わる場合があるので注意すること。

6-8 Fc60を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書による。

§7 鉄骨工事

7-1 材種及び使用箇所

規 格 名 称	鋼 材 名	柱	通し ダイヤ	内ダブ	大梁	ブレース小梁、他
一般構造用圧延鋼材	●SS400 ○					○ ○
溶接構造用圧延鋼材	○SM400A ○SM490A					
建築構造用圧延鋼材	○SN400A ○					
	●SN400B ○SN490B				○	
一般構造用角形鋼管	○SN400C ●SN490C		○			
	○STKR400 ○STKR490					
冷間成形角形鋼管	●BCR295 ○	○				
	○BCP235 ○BCP325					
熱間成形角形鋼管	○SHC400B ○SHC400C					
	○SHC490B ○SHC490C					
一般構造用炭素鋼管	○STK400 ○STK490					
一般構造用軽量形鋼	○SSC400 ○					

7-2 高力ボルト

高 力 ボ ル ト の 種 類	使用 箇 所
トルシア形高力ボルト	●S10T 全般
JIS形高力ボルト	●F10T トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	○F8T 母材が亜鉛メッキされている部分

7-3 普通ボルト、アンカーボルト

1) 材質 ○SS400 ○SS490(M 以上)  
○ABR400 ○ABR490 ○ABM400 ○ABM490(ABMはM24以上)

2) 大臣認定柱脚(メーカー仕様による) ○使用する ○使用しない

7-4 頭付きスタッド

径	長 さ (mm)	使用 箇 所
16φ	○80○100○120○150○	小梁(合成梁)
19φ	○80○100○120○150○	
22φ	○100○120○150○ ○	

7-5 溶接材料

1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。

2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7-6 スクラップ形状 ＊ スクラップ工法 ○ノンスクラップ工法

7-7 継手

	柱	梁
フランジ	○高力ボルト ○現場溶接	＊高力ボルト ○現場溶接
ウェブ	○高力ボルト ○現場溶接	＊高力ボルト ○現場溶接

7-8 溶接手法及び管理  
使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。

7-9 デッキプレート (単位mm)

1) 床用 高さ ○ 板厚 ○  
2) 合成スラブ用 高さ ○50 板厚 ○1.2  
3) 型枠用 高さ ○ 板厚 ○ 形版 タイプ  
4) 防錆処理 ○プライマー ○亜鉛メッキ ○Z12 ○Z27

7-1 錆止め塗装(工場塗 ＊ 2回 ○1回、現場タッチアップ程度とする)

1) 素地こしらえ ＊ ケレン ● プラスト  
2) 錆止め塗料

適用		塗 料		種 別	標準膜厚
室外	室内	鉛・カルシウム・錆止めペイント	JISK5674		30μm
＊	＊	一般用錆止めペイント	JISK5621	○1種 ○2種	
	○	ジンクリッチプライマー	JISK5552	○1種 ●2種	15μm
●	○	構造物用さび止めペイント	JISK5551	○1種 ○2種	30μm

3) 溶融亜鉛メッキ ○ 行う ○ 行わない

7-11 溶接部の検査(受入検査) ＊ 行う ○ 行わない

1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。  
2) 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCIW検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。  
3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。  
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2007 付則6 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。  
5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程・同解説」2008により、合格判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。  
6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2007」表5.1溶接箇所数の数え方による。  
7) 受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。

a) 工場溶接の場合

i. 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所220箇所以内で構成する。  
ii. 抜取り数は各ロット毎に20箇所をランダムにサンプリングする。  
iii. サンプリングの結果、不合格が無い場合はロットを合格とし、不合格が1又は2箇所の場合は更に同一ロットの中から20箇所をサンプリングし、合計40箇所の不合格が3箇所以下の場合を合格とする。不合格が4箇所を超えた場合は残り全数の検査を行う。  
b) 現場溶接の場合

i. 全数検査とする。  
ii. 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならばならない。  
9) ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」等を参考にする。

7-12 鉄骨製作工場

国土交通省大臣認定(グレード)					
(S)	(H)	(M)	(R)	J	

§8 コンクリートブロック・ALCパネル 工事

8-1 コンクリートブロック

1) 種類 ○A種 ○B種 ○C種  
2) 厚さmm ○100 ○120 ○150 ○190

8-2 ALCパネル

1) 使用箇所 ○床 ○屋根 ●外壁 ○内壁  
2) 厚さmm ○75(80)○100 ●125 ○150 ○175  
3) 外壁取り付け構法

方 向	構 法	使用 箇 所	備 考
縦	○スライド構法		
	○ロッキング構法	外壁	
横	○カバープレート構法		
	○ボルト止め構法		

建築設備の構造安全性の確認

令第129条の2の3の事項 ※■は、設計が該当する場合を示す。  
・ 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。  
■ 建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。  
□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。  
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。  
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。  
■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、  
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。  
■ 建築物の部分を通って配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。  
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。  
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。  
□ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

岡本設計株式会社 岡本 敏成  
一級建築士登録 第195735号  
構造一級建築士登録 第5700号

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

■drawing title

構造特記仕様書(屋外階段棟)

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

S-14

原図: A2

## ボーリング柱状図

調 査 名 津市立白山中学校改修工事に係る地質調査業務委託

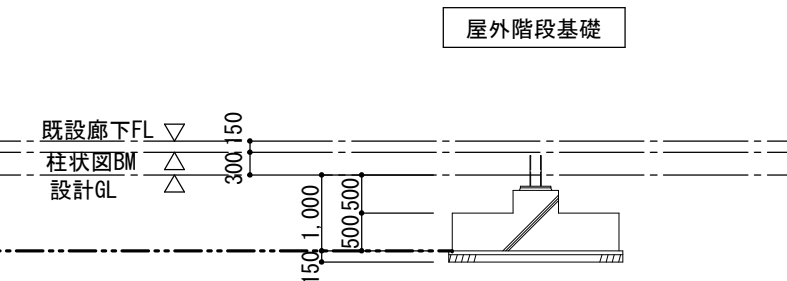
[illegible]

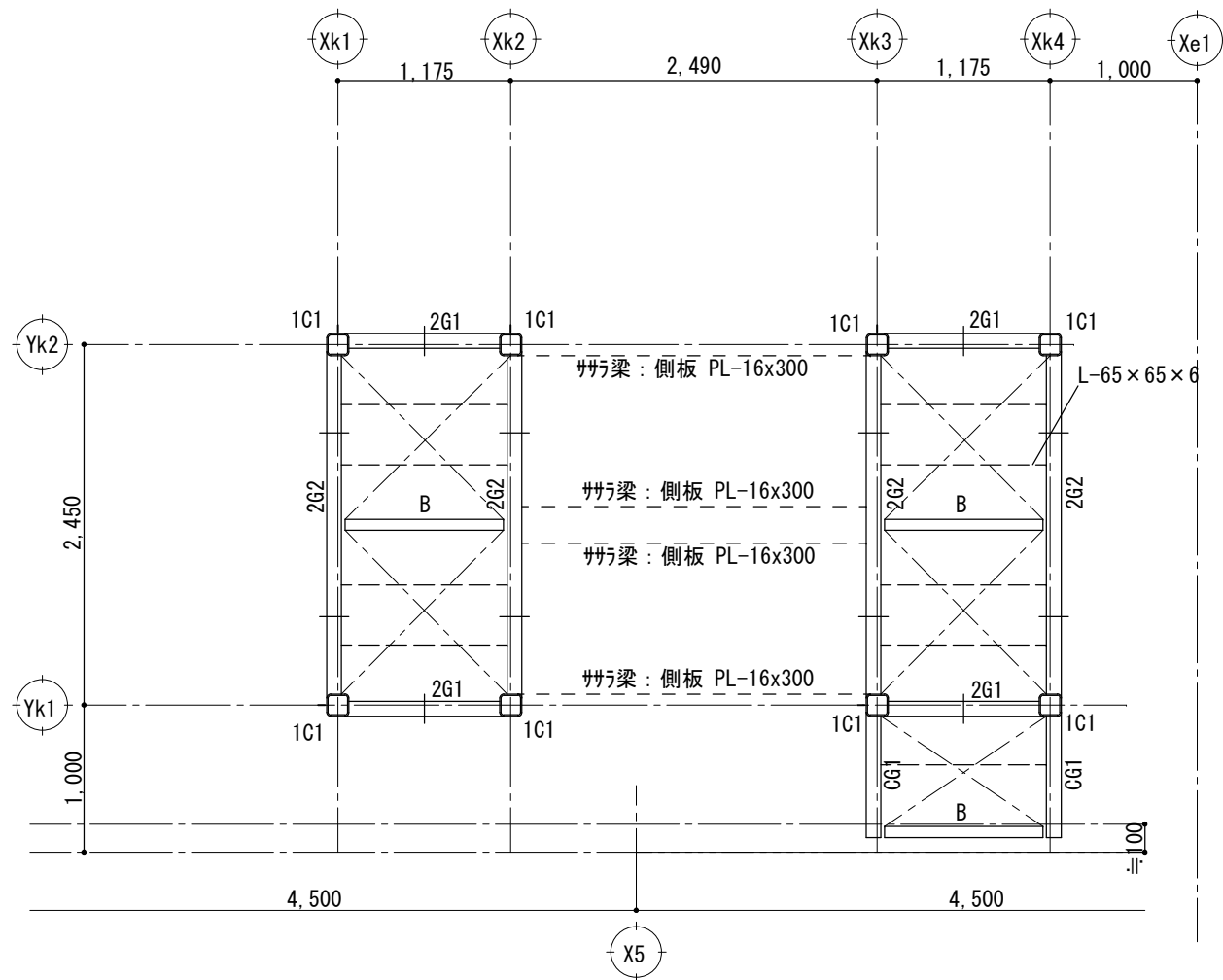
事業・工事名 令和5年度 営教総第1-23号

2-1 No.

ボーリング名	N0.1		調査位置		三重県津市白山町川口 地内					北 緯	34° 38' 39.60"				
発 注 機 関	津市建設部 営繕課					調査期間	令和 5年 7月 10日 ～ 5年 10月 2日					東 経	136° 20' 11.59"		
調 査 業 者 名	三重企業株式会社 電話(059-225-3078)		主任技師		浦中 盛		現 場 代 理 人	浦中 盛		コ ン タ ク タ ス ト ア 定 者	浦中 盛	ボーリング 責 任 者	小久保 暢人		
孔 口 標 高	KBM -0.28m	角	上	方	北 0° 27° 0' 西 180° 南 東	地盤 勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用 機種	試 錐 機		KR-100H 型		ハンマー 落下用具	半自動落下装置法	
総 掘 進 長	9.00m	度	下 0°	向				エ ン ジ ン	YANMAR-NFD9型		ポ ン プ	KANO式 V-4P 型			

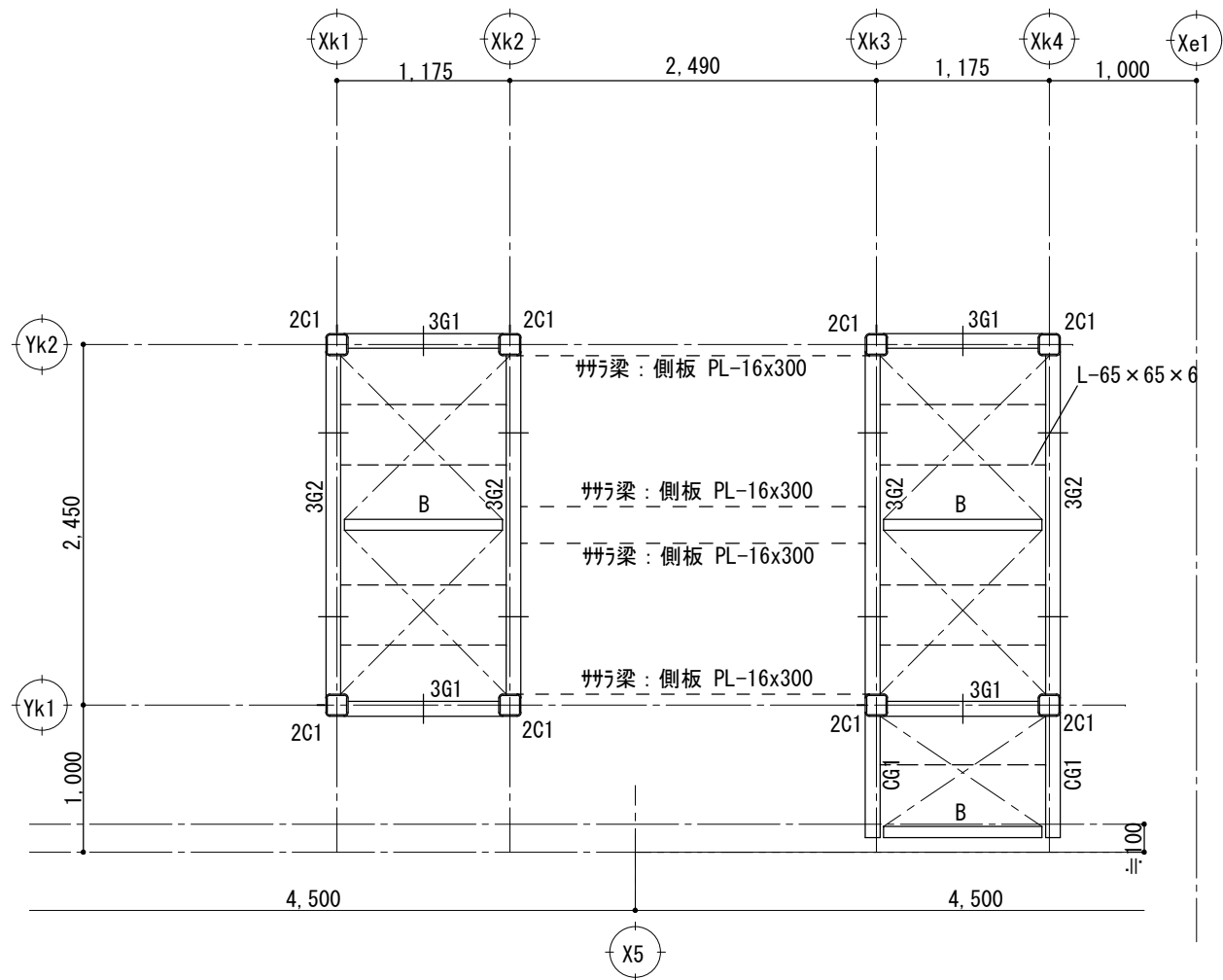
標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験				原位置試験名 （および結果） (m)	試料採取方法	室内試験(月)
											深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数／貫入量 (cm)	N値			
										8/10 1.70	1.14 1.45 2.15 2.45 3.15 3.45 4.15 4.25 5.00 5.02 6.00 7.00 7.01 8.00 8.01 9.00 9.00	2 2 10 11 13 15 17 47 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50					





2階梁伏図 S=1/50

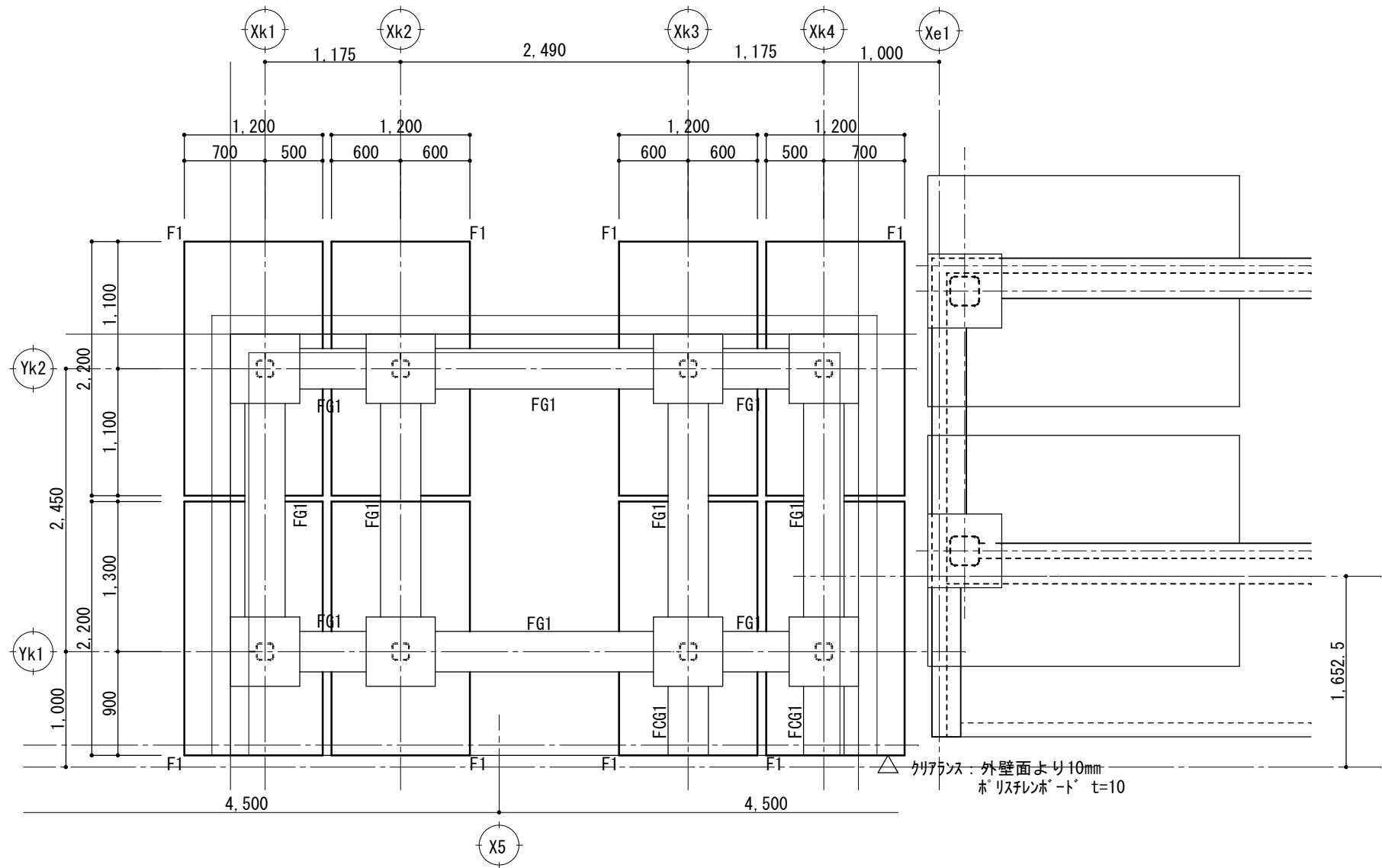
※ 特記なき限り、梁上端 = 2FL とする。



3階梁伏図 S=1/50

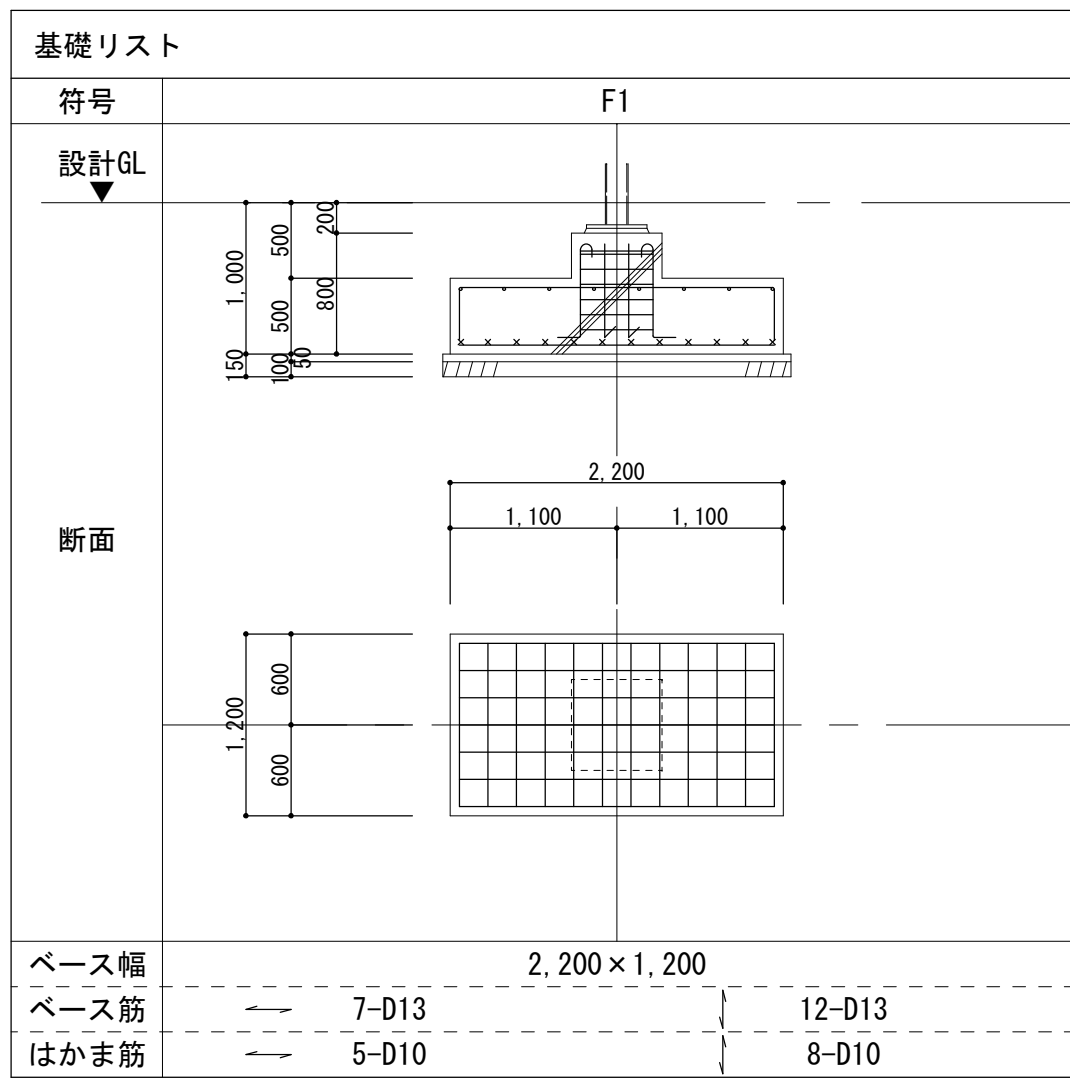
※ 特記なき限り、梁上端 = 3FL とする。

柱脚リスト	
符号	
B. PL	25 × 350 × 350 (SN490B)
A. BOLT	4-M20 L=500 (ABR490)
定着板	12 × 60 × 60
主筋	12-D19
帯筋	D10-@100
頭筋	2-D10



基礎伏図 S=1/50

※ 特記なき限り、梁上端 = 1FL とする。



基礎梁リスト	
符号	FG1、FCG1
位置	全域
設計GL	
断面図	
b × D	350 × 600
上端筋	3-D19
下端筋	3-D19
腹筋	2-D10
あばら筋	D10-200@

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1/50

■drawing title  
基礎伏図、梁伏図、基礎リスト  
(屋外階段棟)

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

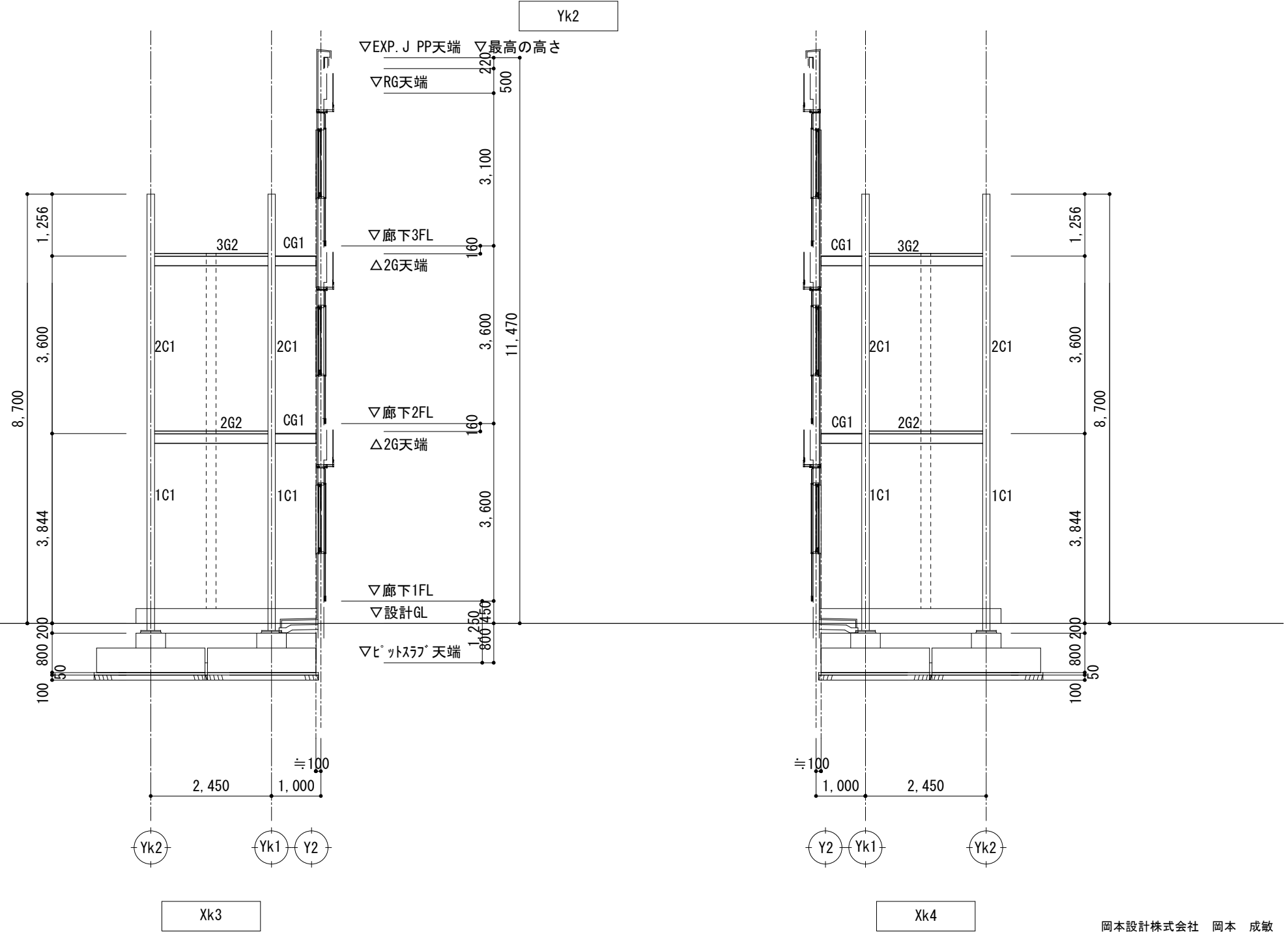
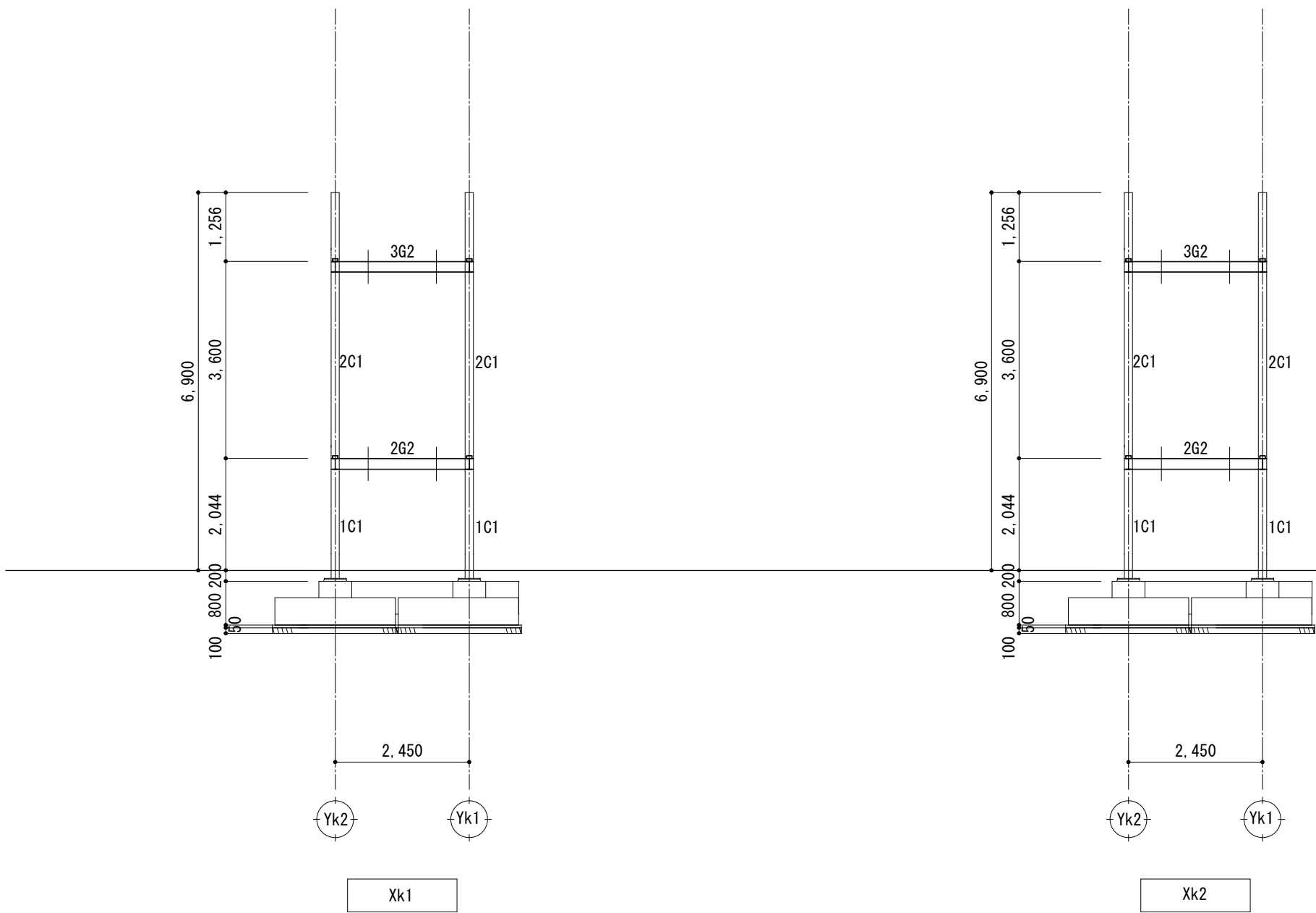
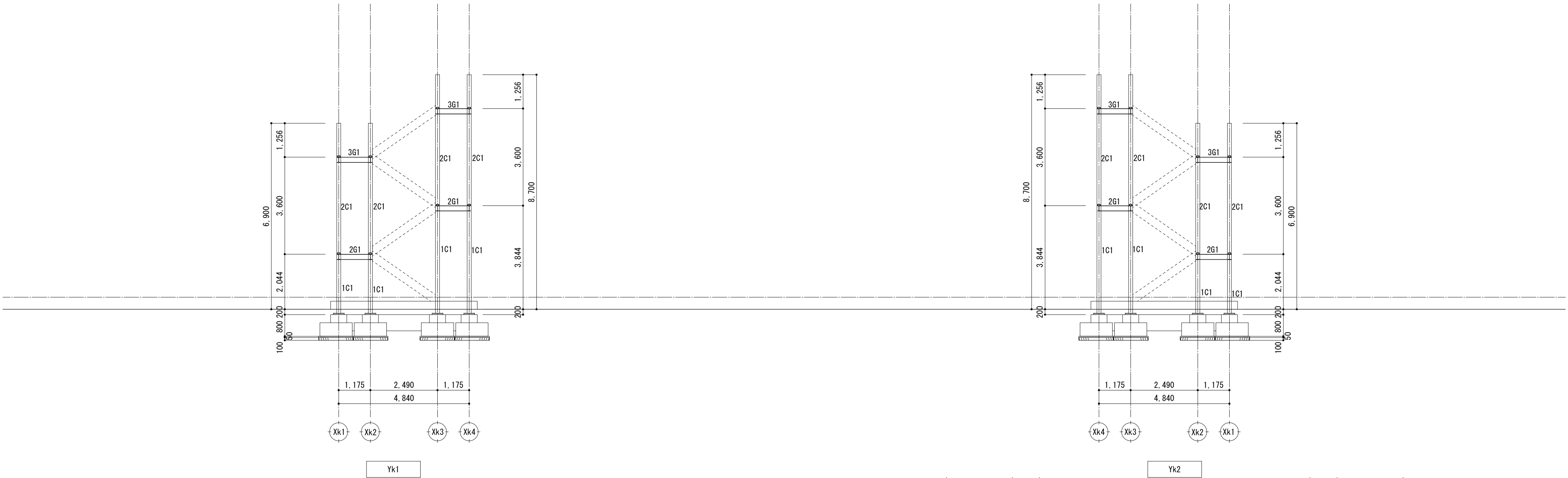
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

S-16  
原図: A2

岡本設計株式会社 岡本 成敏  
一級建築士登録 第195735号  
構造一級建築士登録 第5700号



鉄骨大梁・大梁継手リスト																※ 特記なき限り 鉄骨材質 SN400B H：ロールH型钢 HTB S10T																																																																																																
符 号		2 G 1				2 G 2								3 G 1				3 G 2																																																																																														
部 材		H-200×100×5.5×8				H-200×100×5.5×8								H-200×100×5.5×8				H-200×100×5.5×8																																																																																														
詳細図																																																																																																																
フランジ	16-M16	2 P L-16×290×100				16-M16	2 P L-16×290×100								16-M16	2 P L-16×290×100				16-M16	2 P L-16×290×100																																																																																											
ウェブ		4-M16	2 P L-6×170×140			4-M16	2 P L-6×170×140							4-M16	2 P L-6×170×140			4-M16	2 P L-6×170×140																																																																																													

鉄骨雑部材リスト ※ 特記なき限り 鉄骨材質 SS400 H:ロールH型钢 HTB S10T															
符 号	部 材				G・P L		H・T・B		備 考						
B	H-150× 75× 5×7				P L-6		2-M16								
CG1	H-200×100×5. 5×8								元端剛接合						
ササrah	P L-300×16				P L-9		2-M20								
水平アレス	M16				P L-9		1-M16								
嵩上げ	C-100×50×20×2. 3														
根太	L-65×65×6														
踊り場床・踏面	C P L-6														
根太	L-65×65×6														
手摺	手摺上 φ48.6x3.2 (40A) 手摺中 φ13.8x2.3 (8A) 手摺下 φ42.7x3.5 (32A)														

フランジ継手 要領図

ウェブ継手 要領図

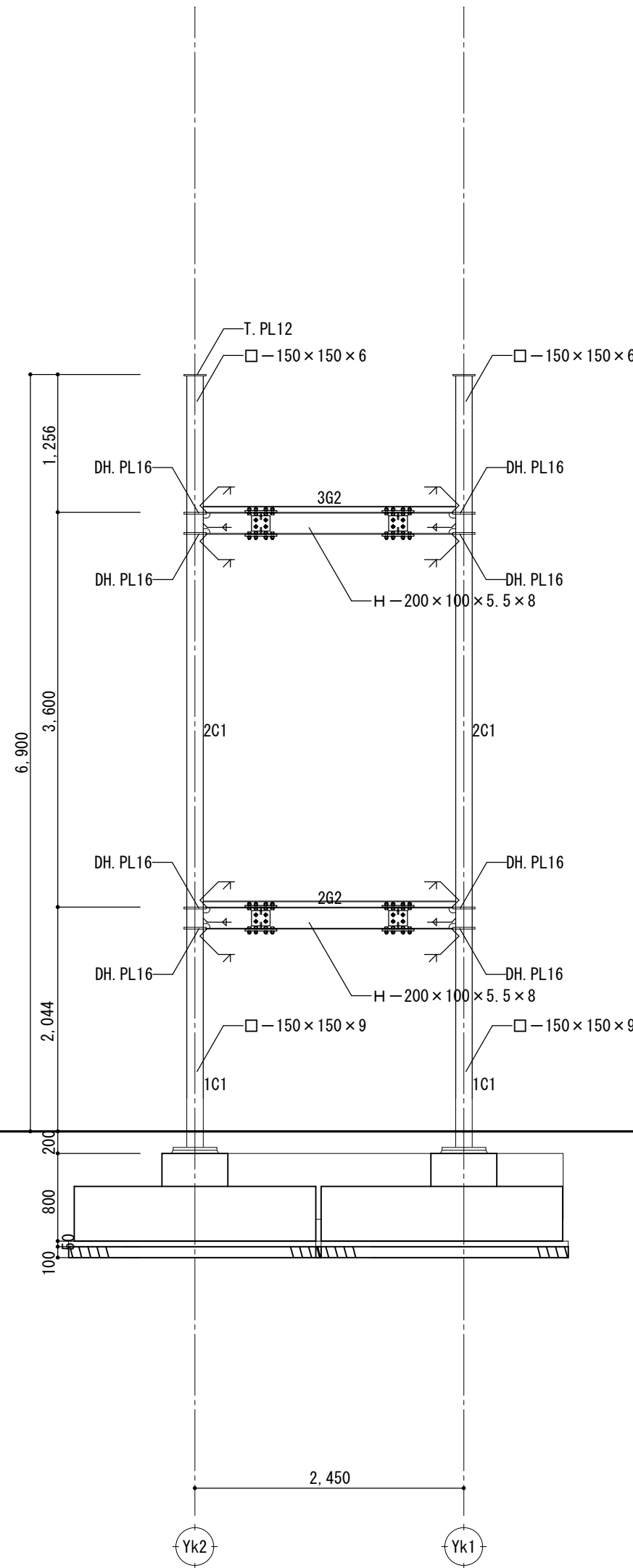
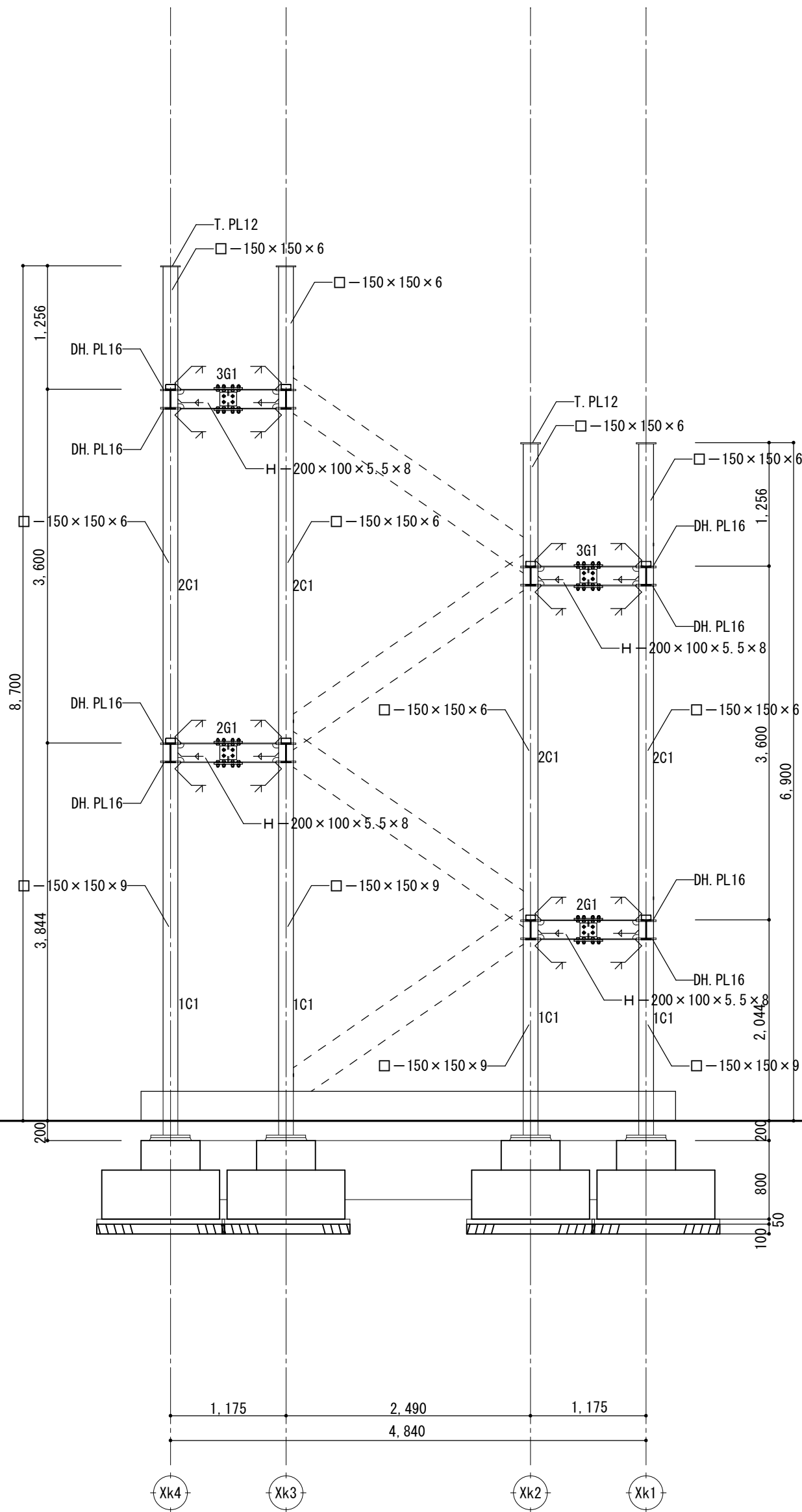
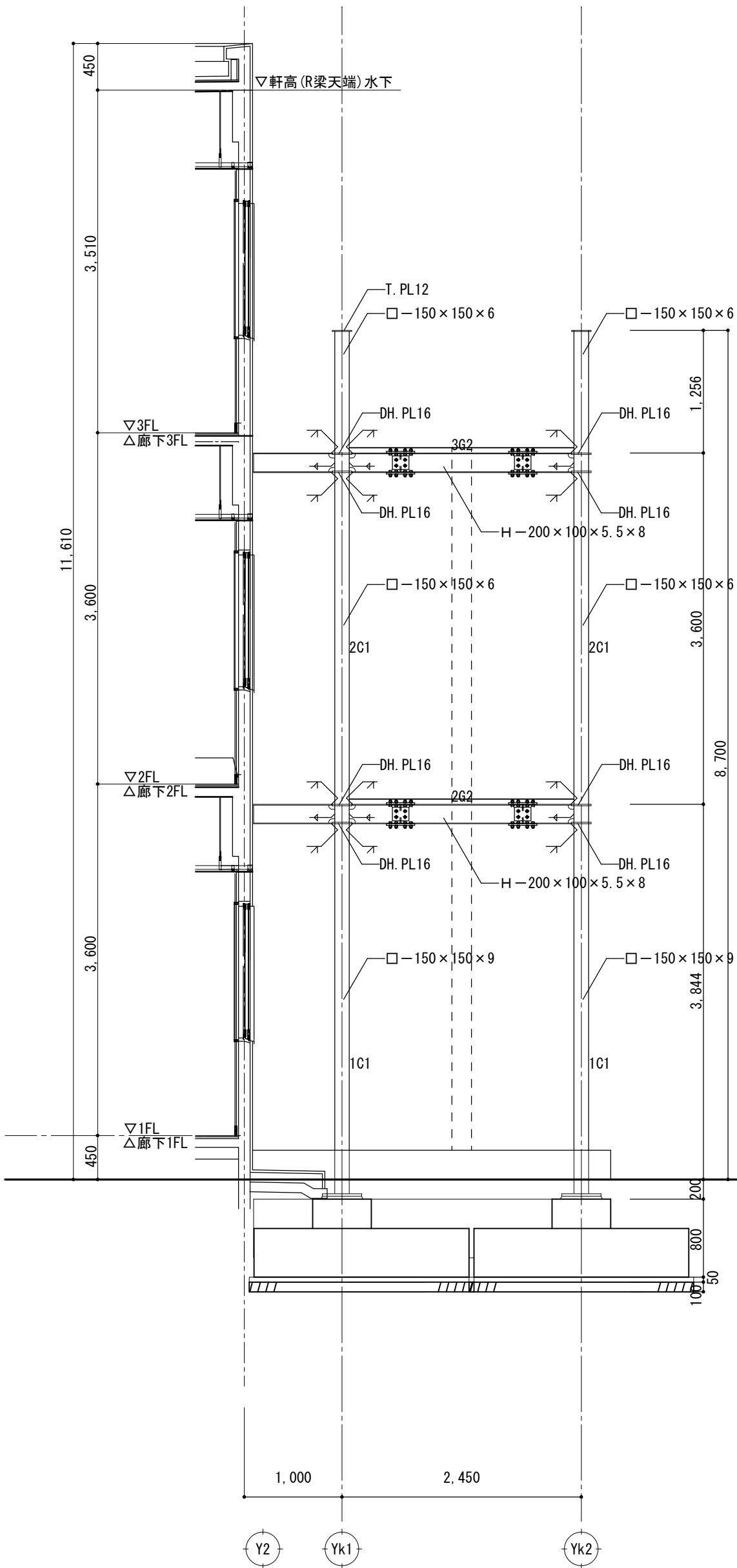
接合部要領図

・リブPLはガセットPLの1サイズダウンかつ6mm以上  
・p、eは下表とする

ボルト径	e 1	P
M16	40	60
M20	40	60

ボルト径	M16
P	60
e	40

鉄骨柱リスト S=1:30 ※ 特記なき限り 鉄骨材質 BCR295 (ダイヤフラム SN490C)															
符 号		C 1													
階	2 F	□-150×150×6													
	1 F	□-150×150×9													
	B・P L	350×350×25 (SN490B)													
柱脚	A・BOLT	4-M20 (ABR490)													
詳細図															



岡本設計株式会社 岡本 成敏  
一級建築士登録 第195735号  
構造一級建築士登録 第5700号

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/100

drawing title  
鉄骨詳細図（屋外階段棟）

project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
（有）貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

drawing no.

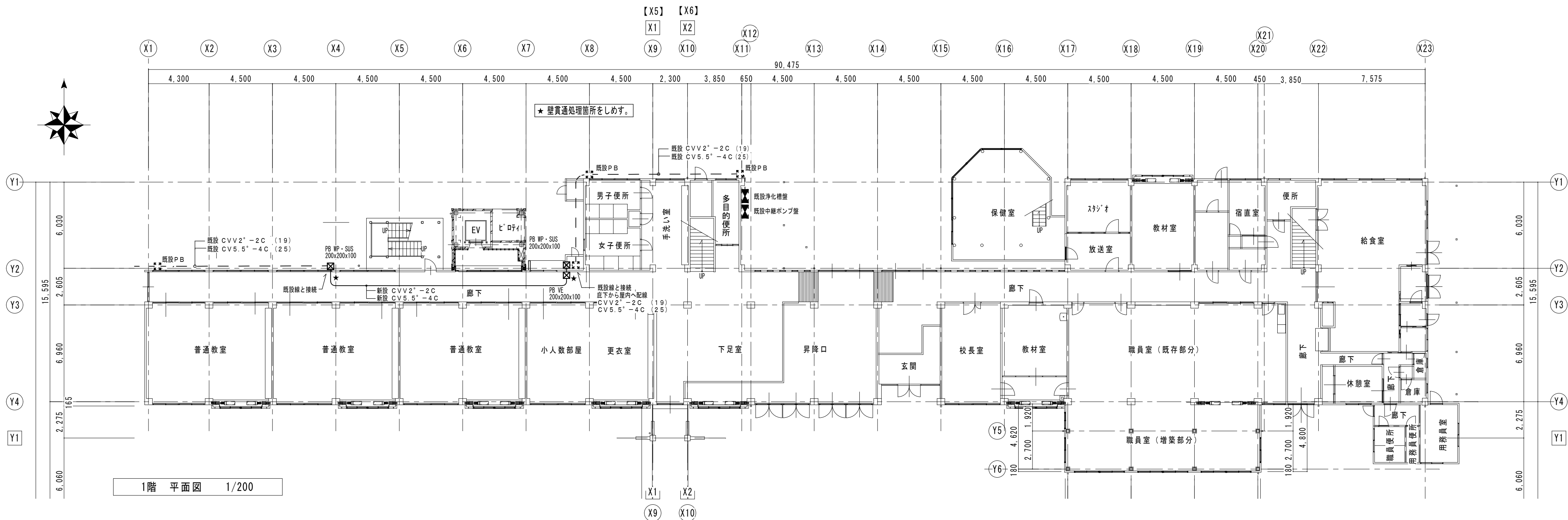
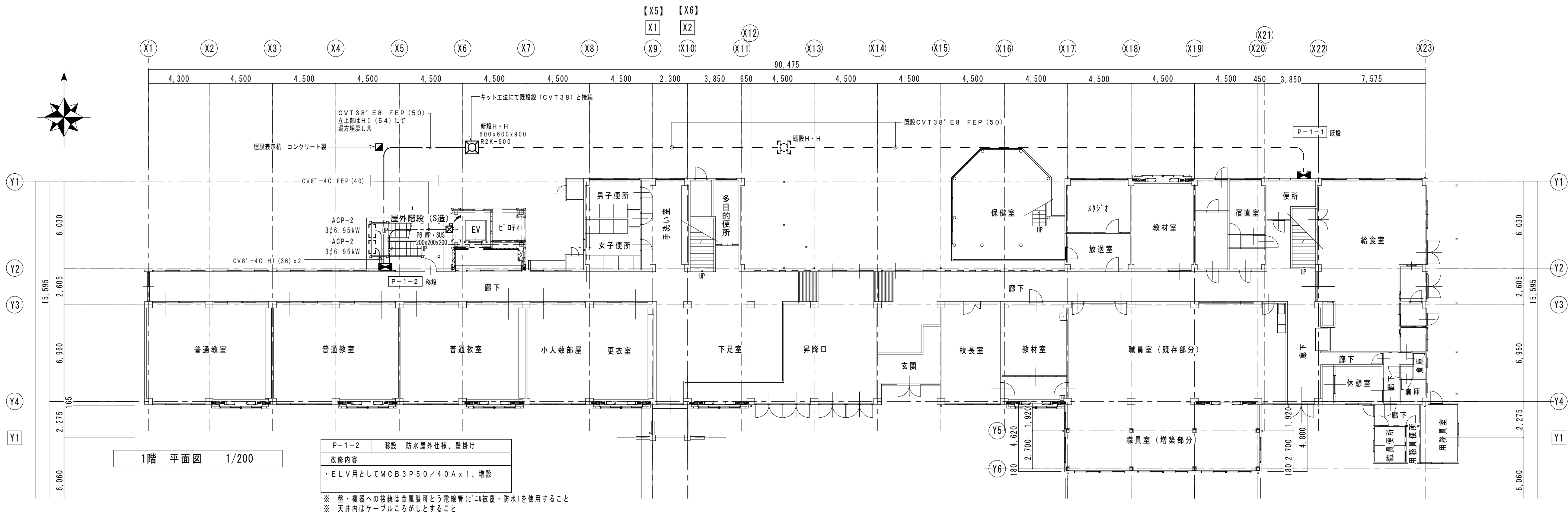
sheet no.

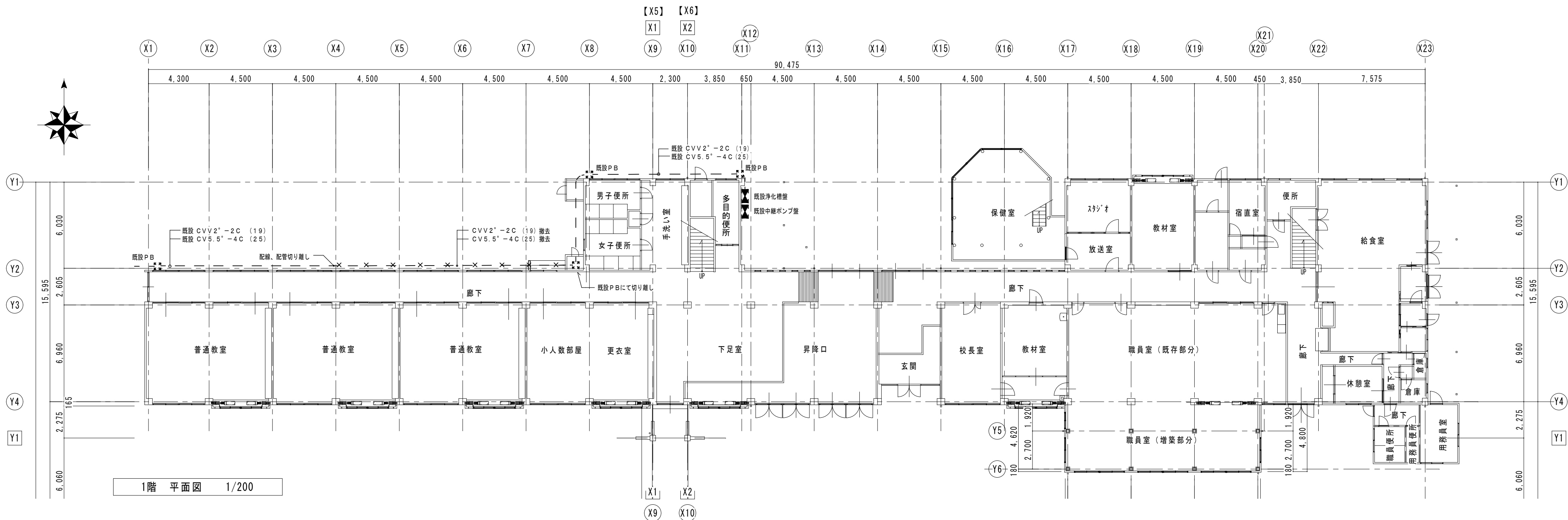
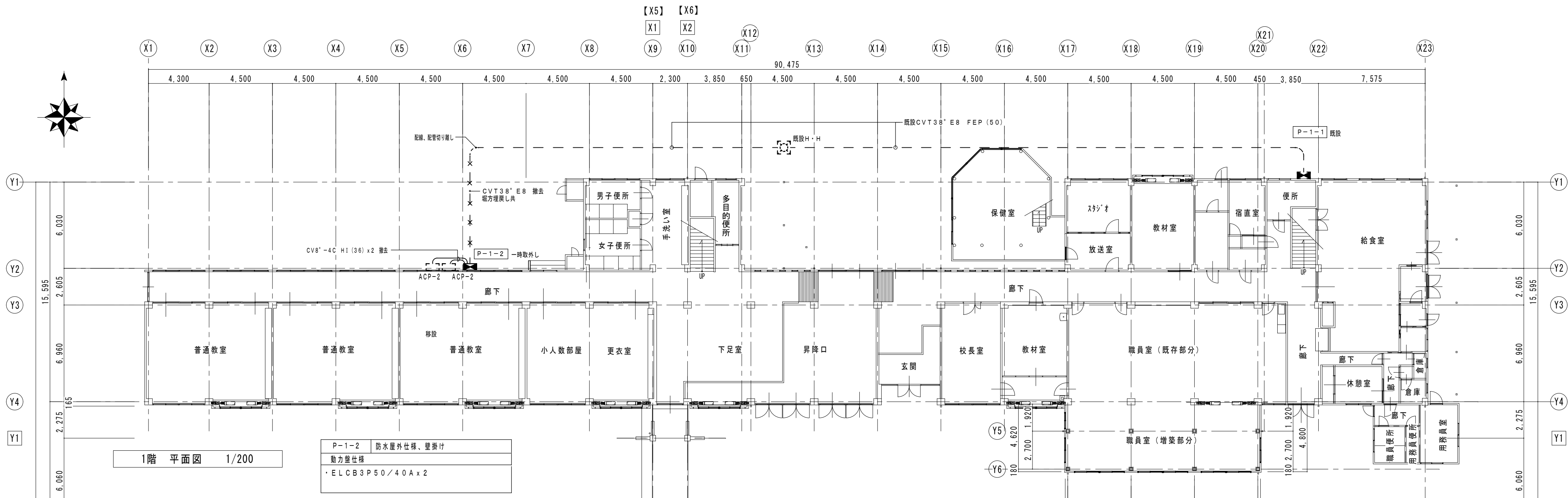
S-19  
原図：A2

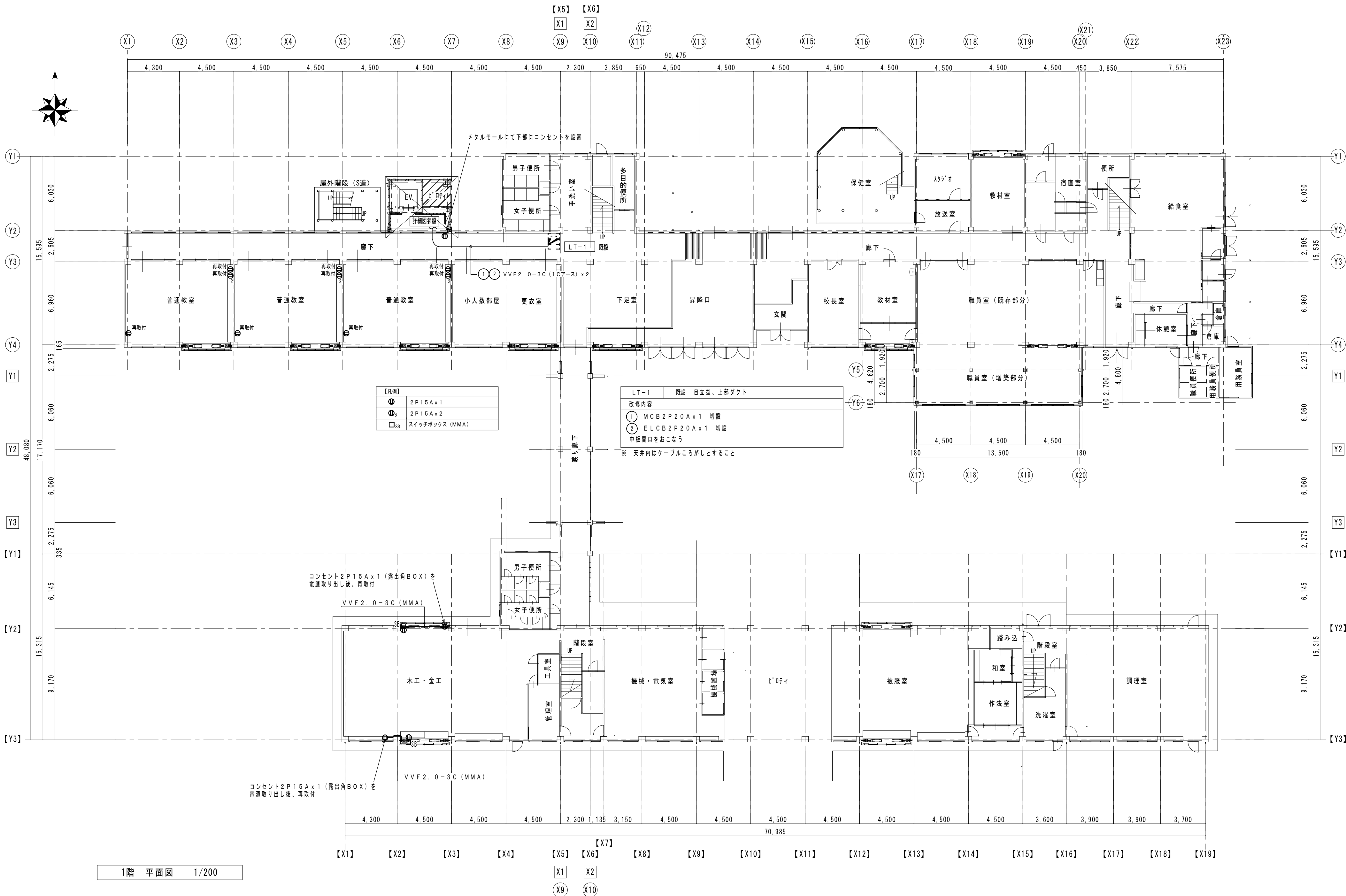


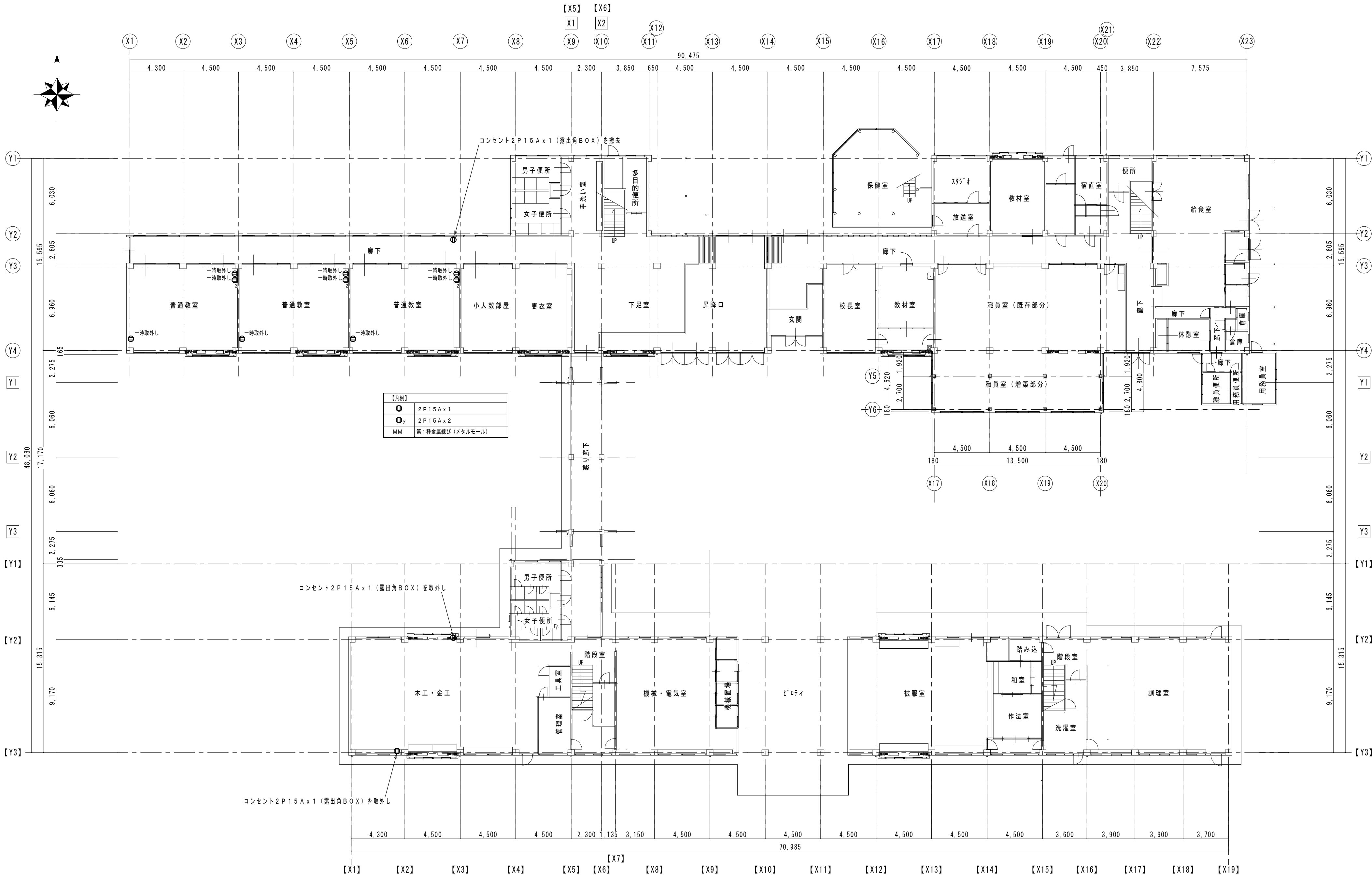












memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/200

drawing title  
電灯コンセント設備 1階平面図 (改修前)

project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

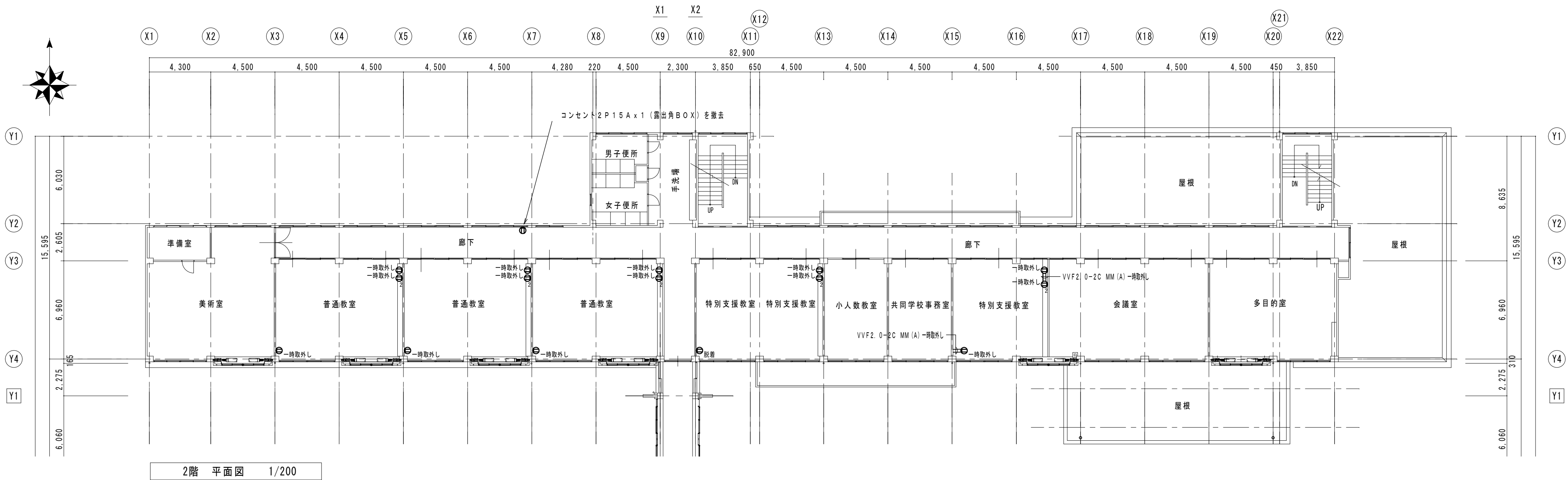
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

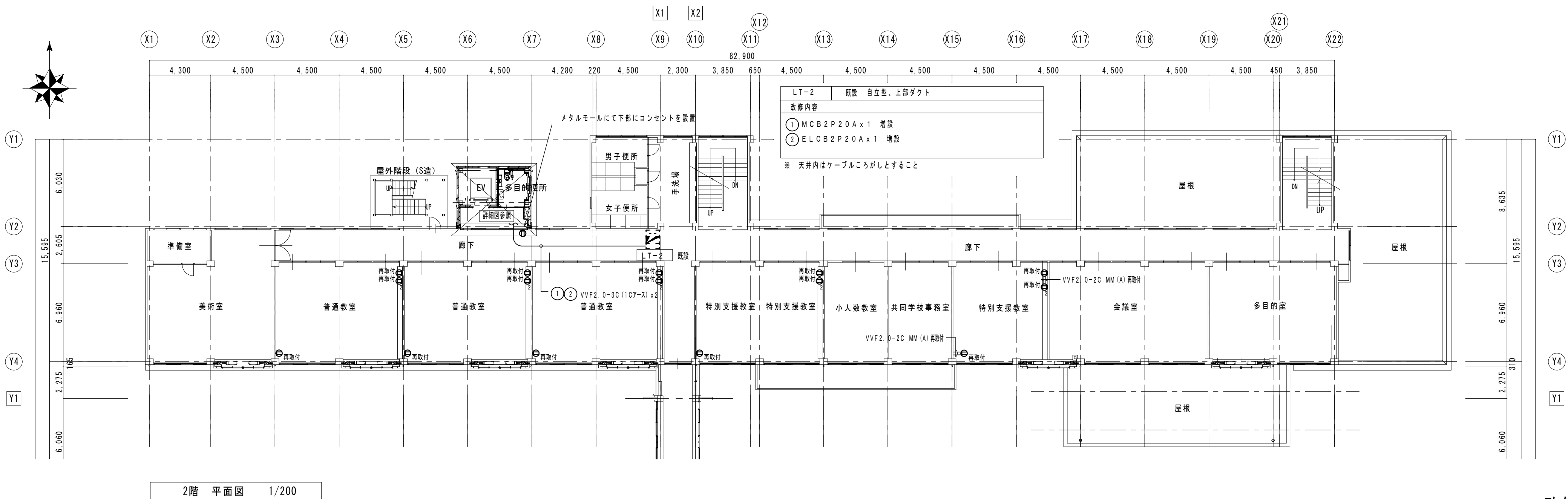
sheet no.

E-07

原図: A2



改修前



改修後

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/200

drawing title  
電灯コンセント設備 2階平面図 (改修前・後)

project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

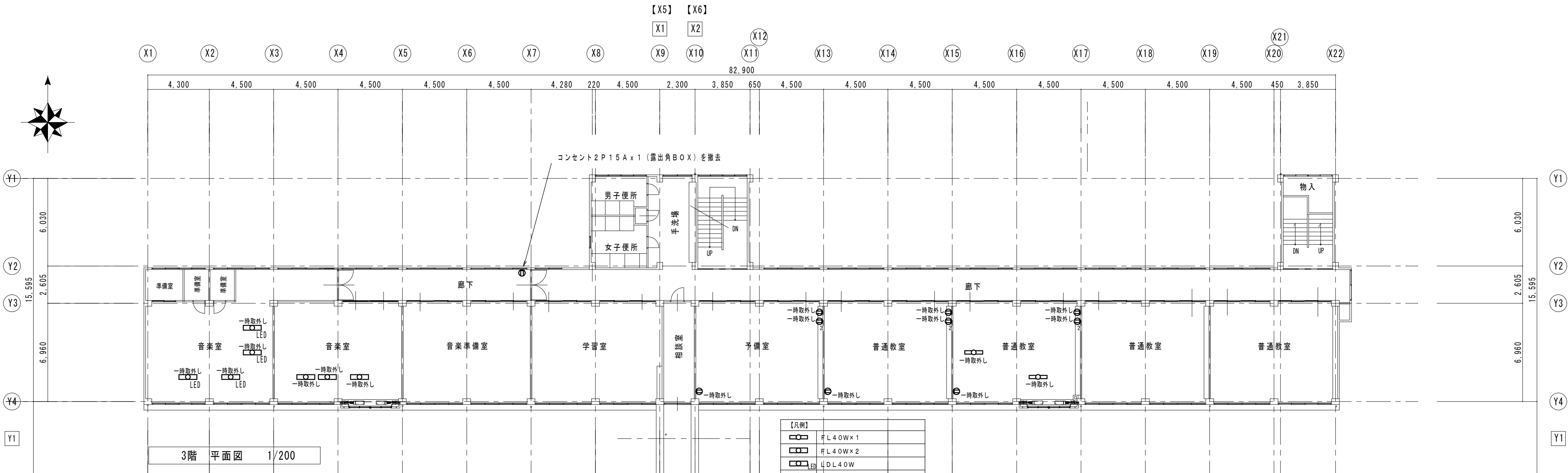
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

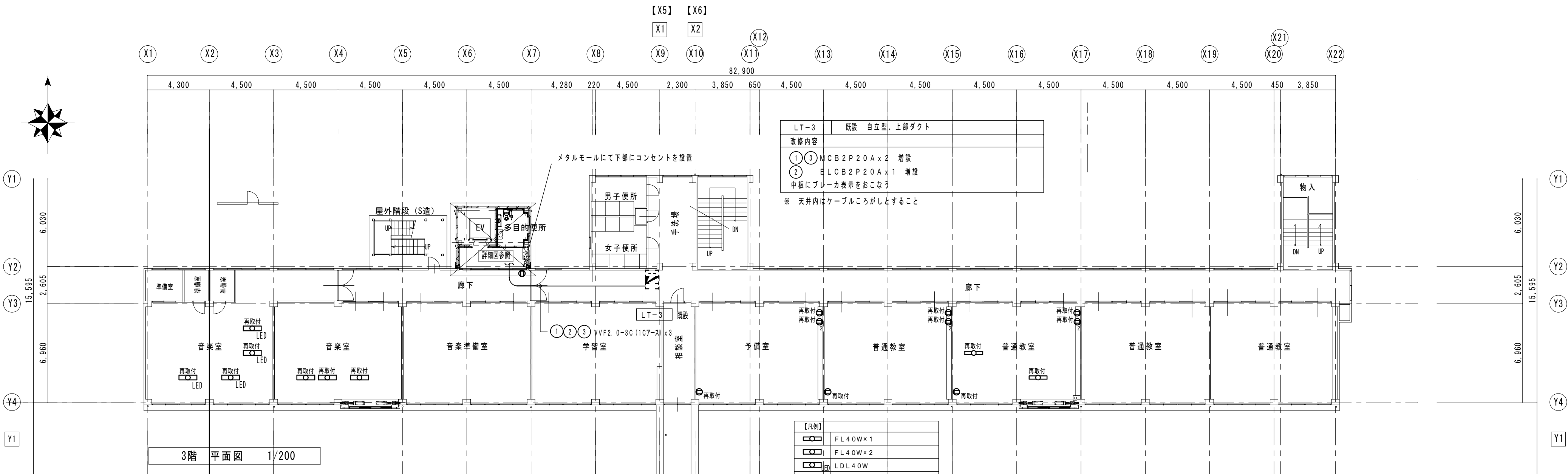
sheet no.

E-08

原図: A2



改修前



改修後

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/200

drawing title

電灯コンセント設備 3階平面図 (改修前・後)

project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

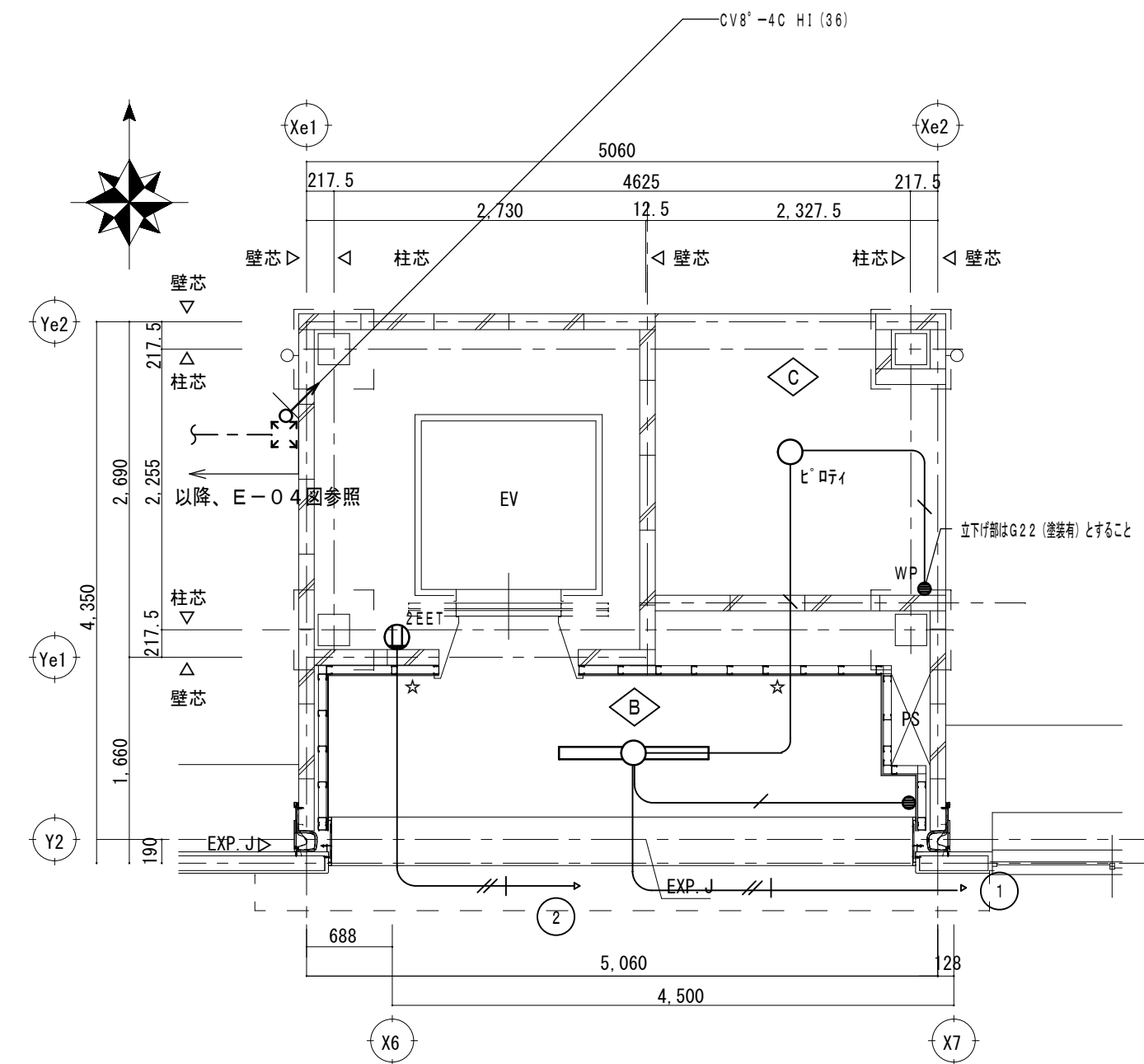
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

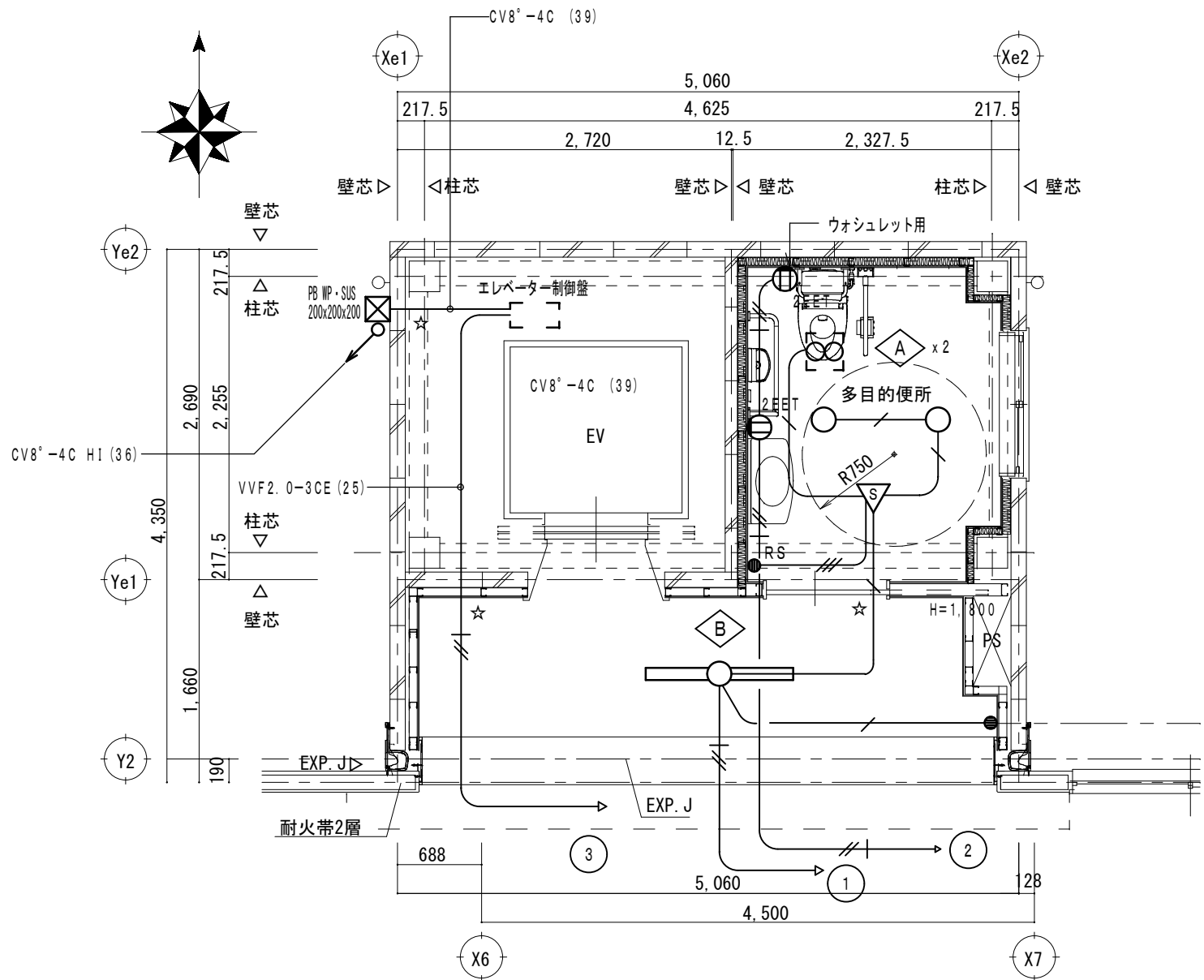
sheet no.

E-09

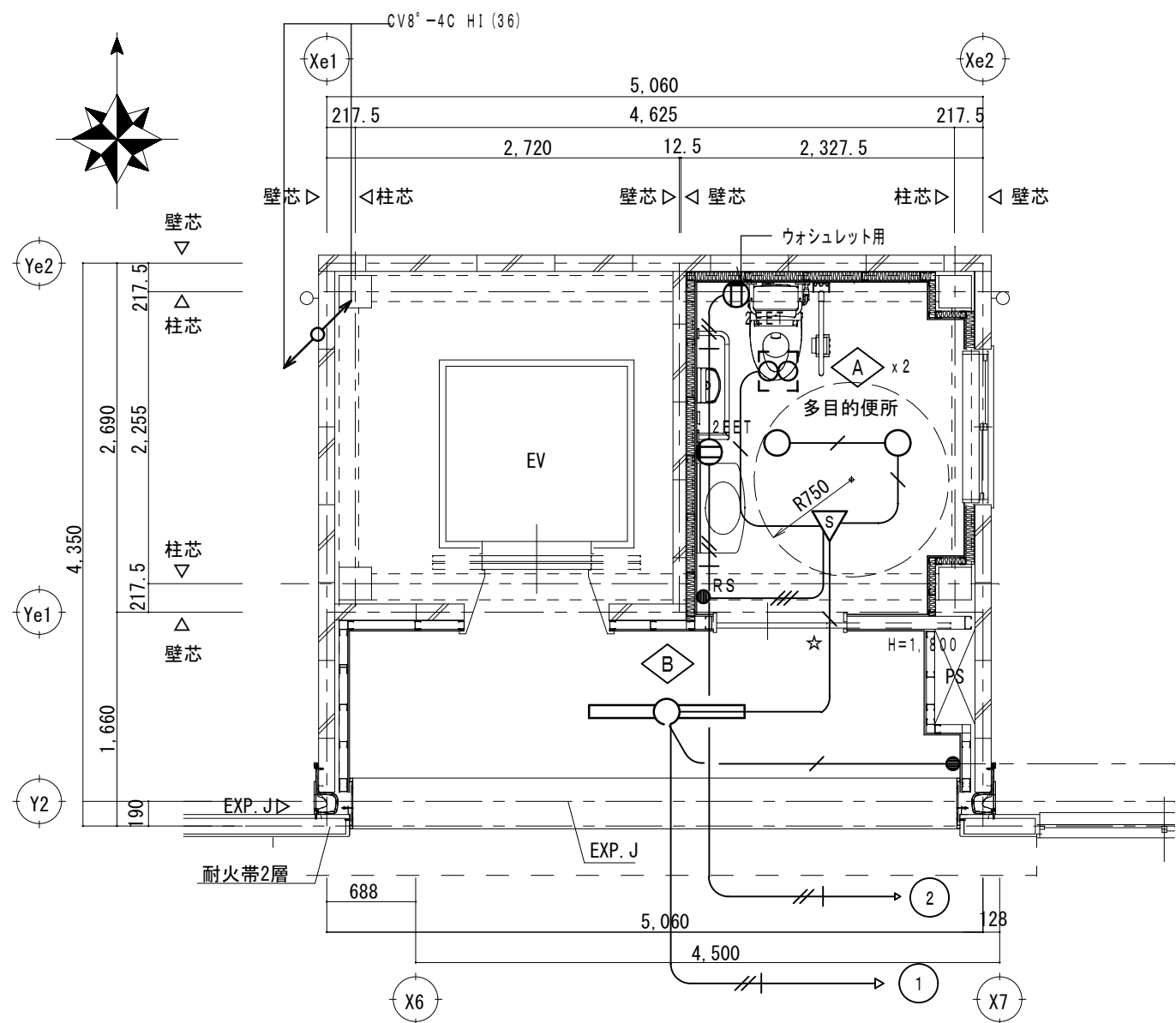
原図: A2



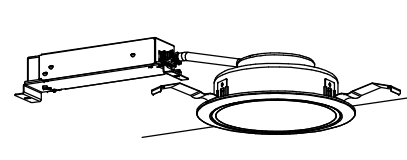
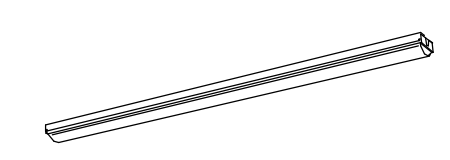
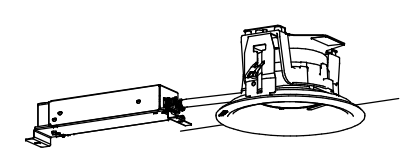
改修後  
1階平面詳細図 S=1/50



改修後  
3階平面詳細図 S=1/50



改修後  
2階平面詳細図 S=1/50

△ LEDダウンライト 150形 消費電力:11.6W 相当    公共型番: LRS1-13	△ LED一体型ベースライト直付型 FHF32Wx1 消費電力:20.6W 高出力相当    公共型番: LSS1-4-30
△ LED軒下用ダウンライト 防雨型 150形 消費電力:11.6W 相当    公共型番: LRS1RP-13	

特記事項	
1. 記入なき配管配線は下記とする	
	VVF2.0-3C (1C7-ス) 天井転がし
	VVF1.6-3C (1C7-ス) 天井転がし
	VVF1.6-3C 天井転がし
2. 凡例	
	2EET:埋込コンセント 2P15A x 2, E+ET付
	△ S:人感センサー 換気扇連動型
	● RS:操作ユニット 2回路用
	● WP:埋込スイッチ 1P15A x 1 防水
	●:埋込スイッチ 1P15A x 1
	☆:防火壁及び区画壁貫通箇所をします。国土交通省認定の工法にて処理の事とする。

※壁内配線はPF管にて保護すること。

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/50

drawing title  
動力、電灯コンセント設備  
1～3階平面詳細図

project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

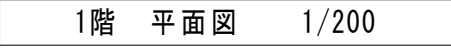
Kisho  
Architectural  
Design Office

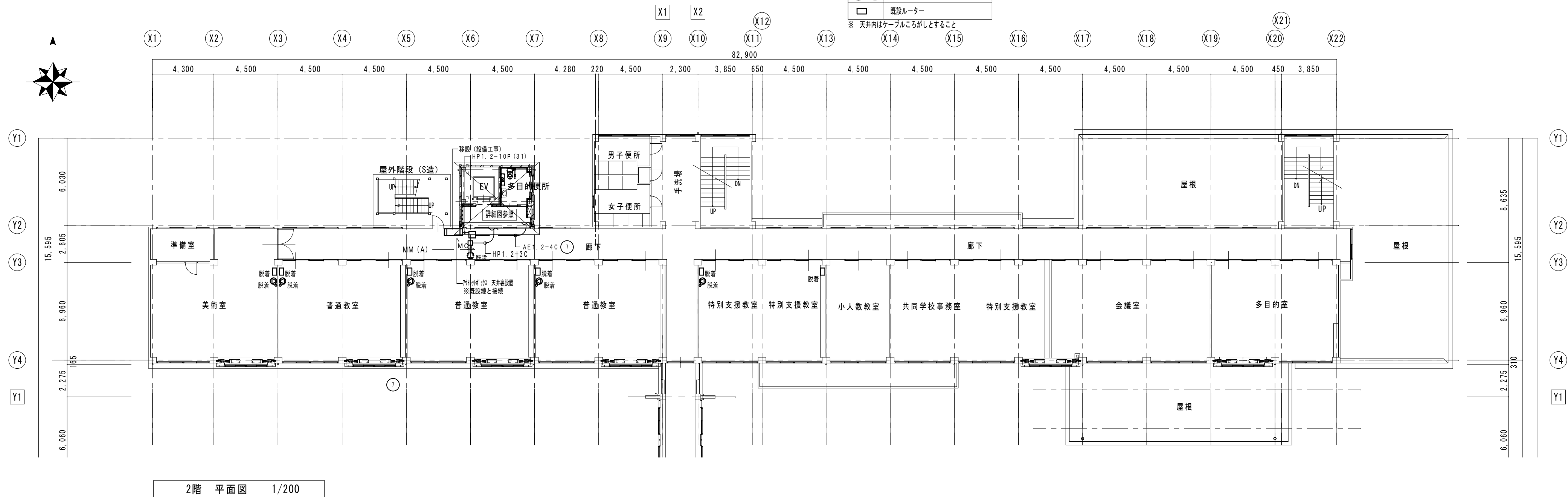
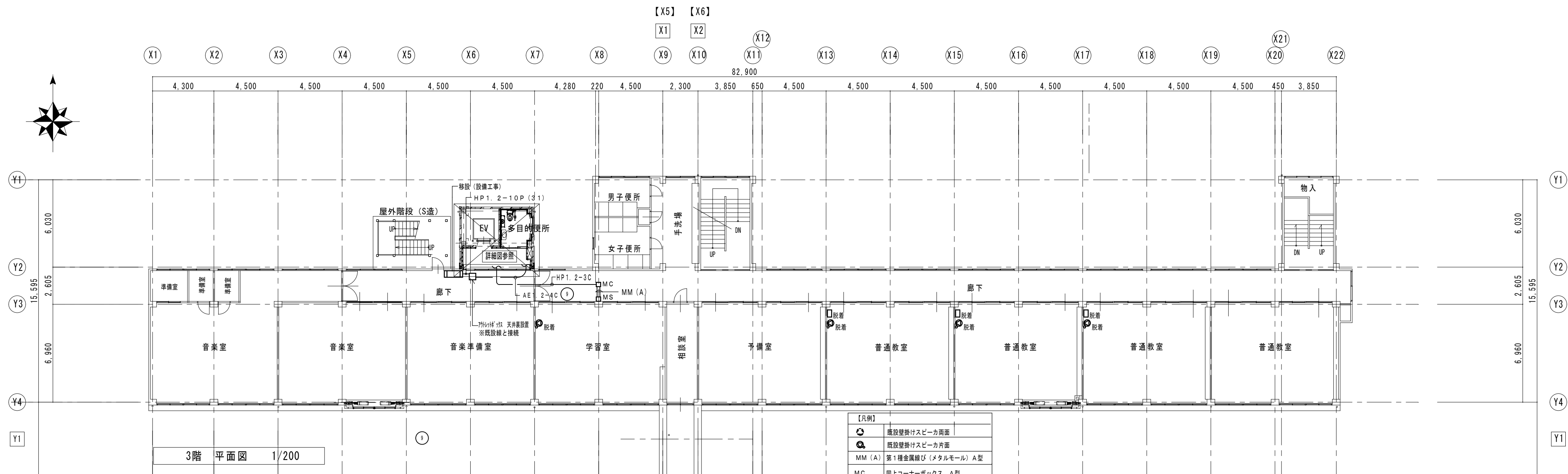
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

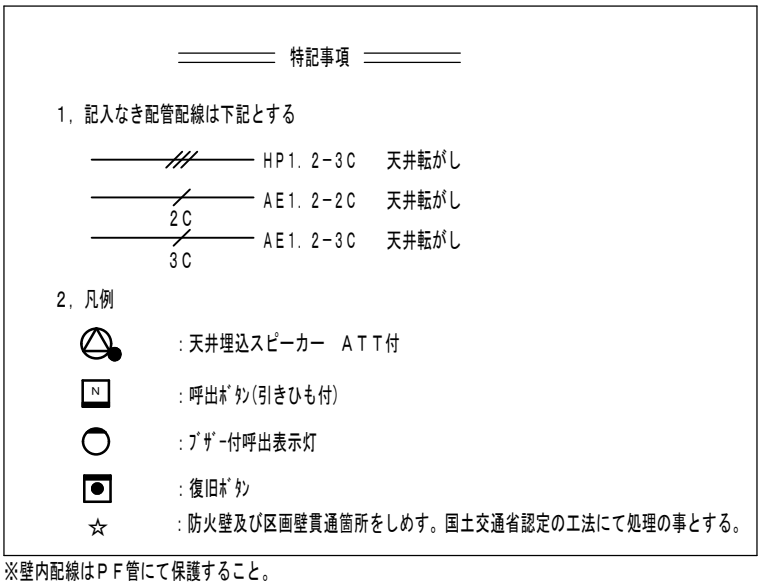
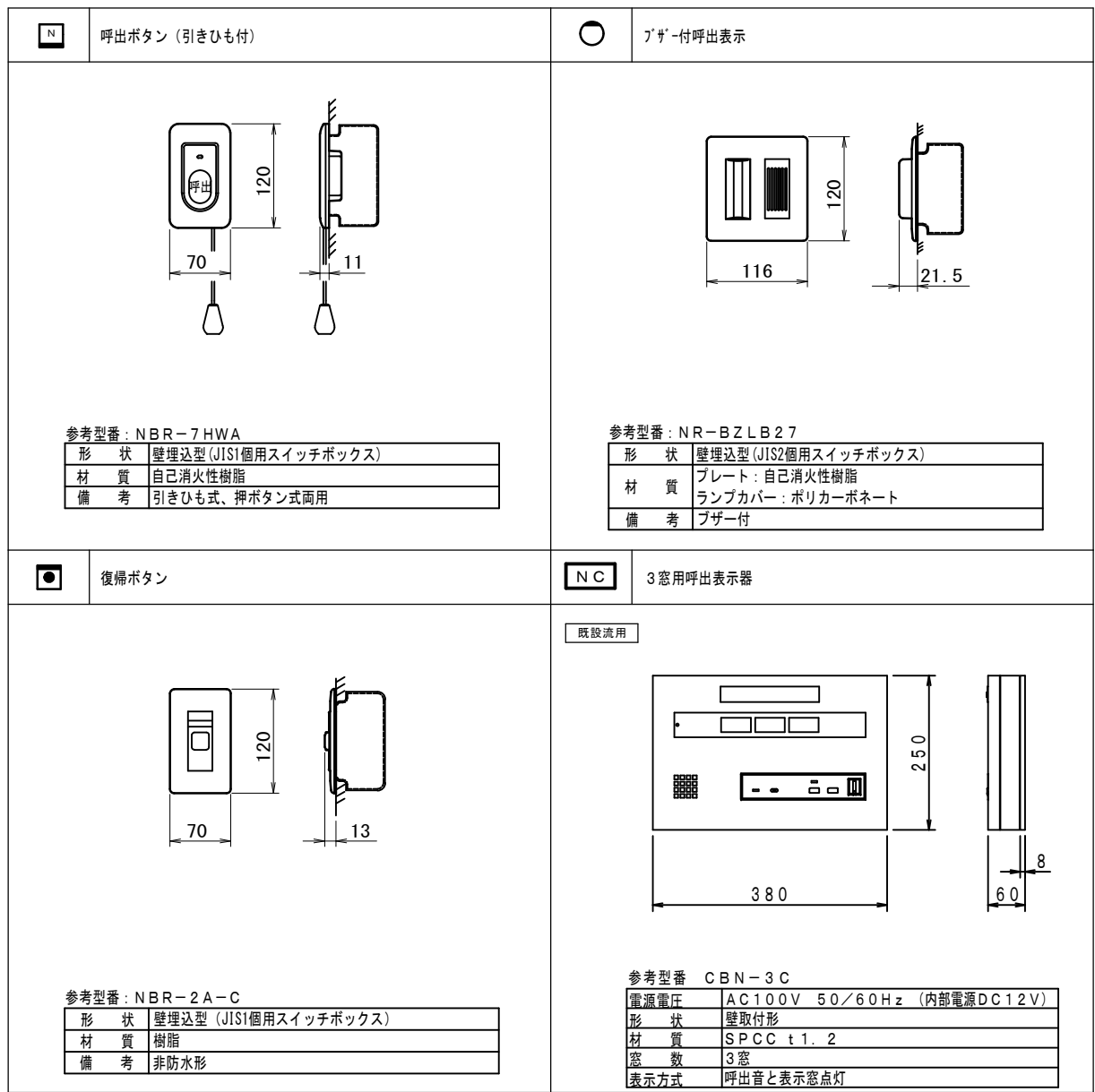
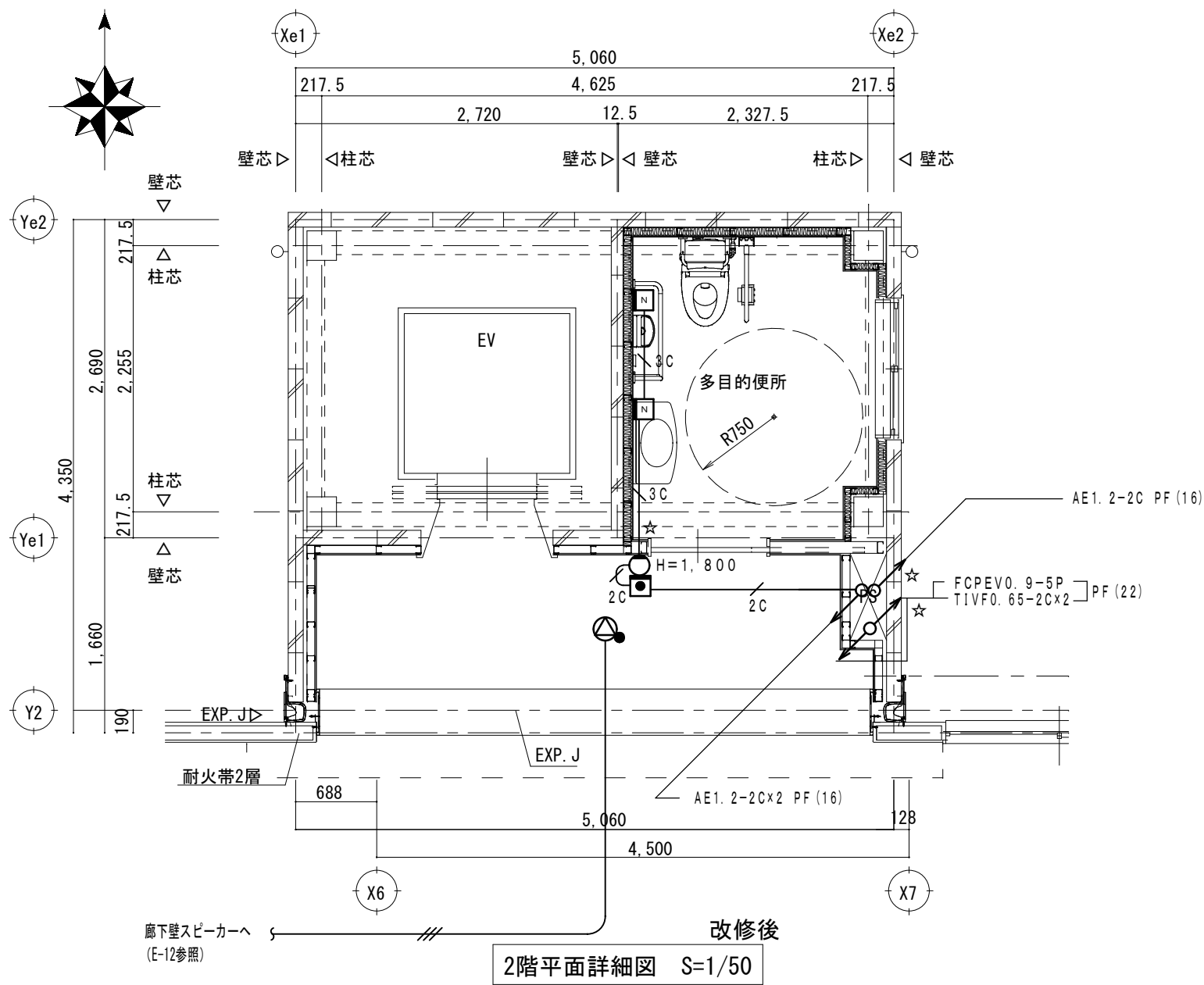
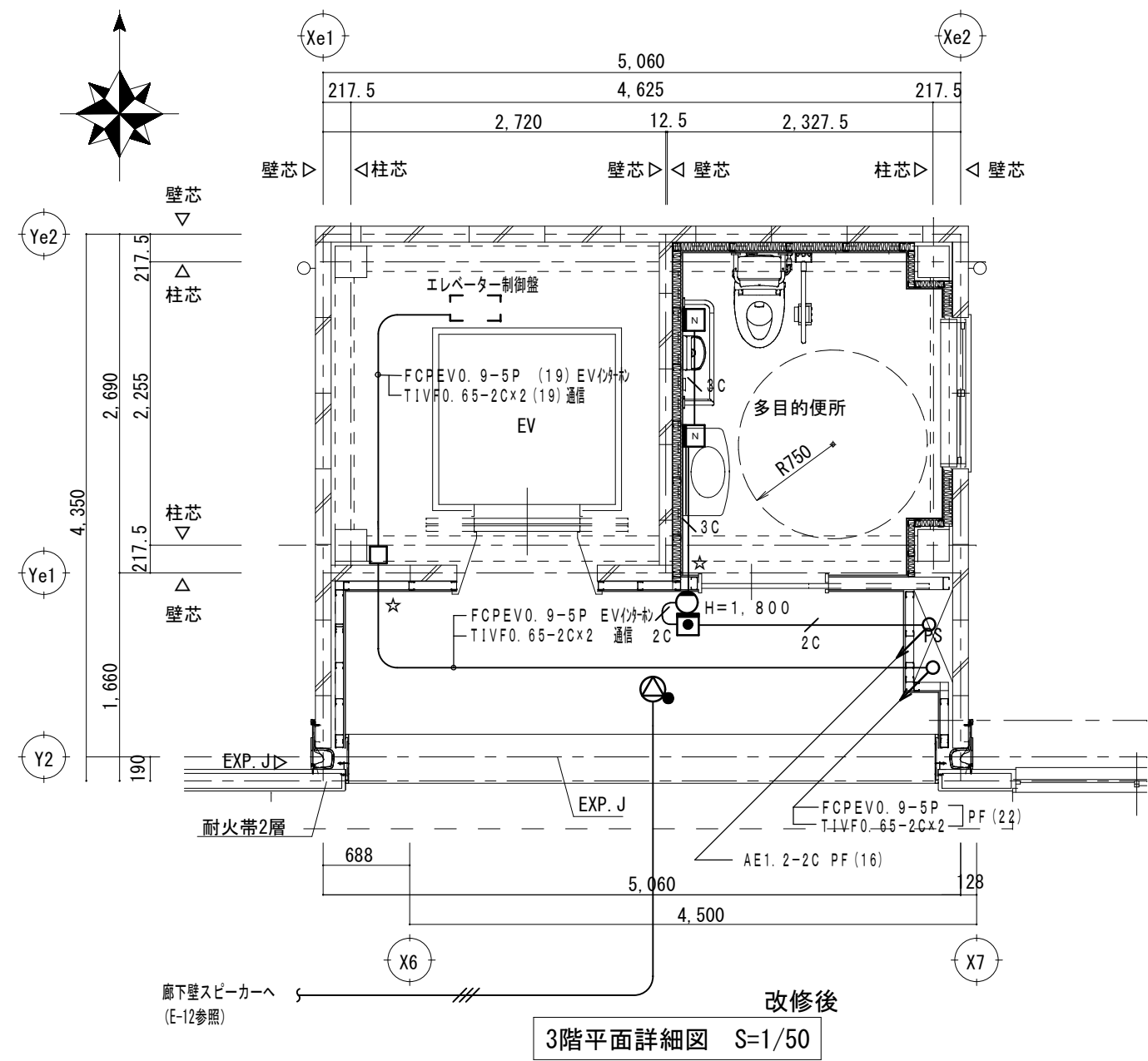
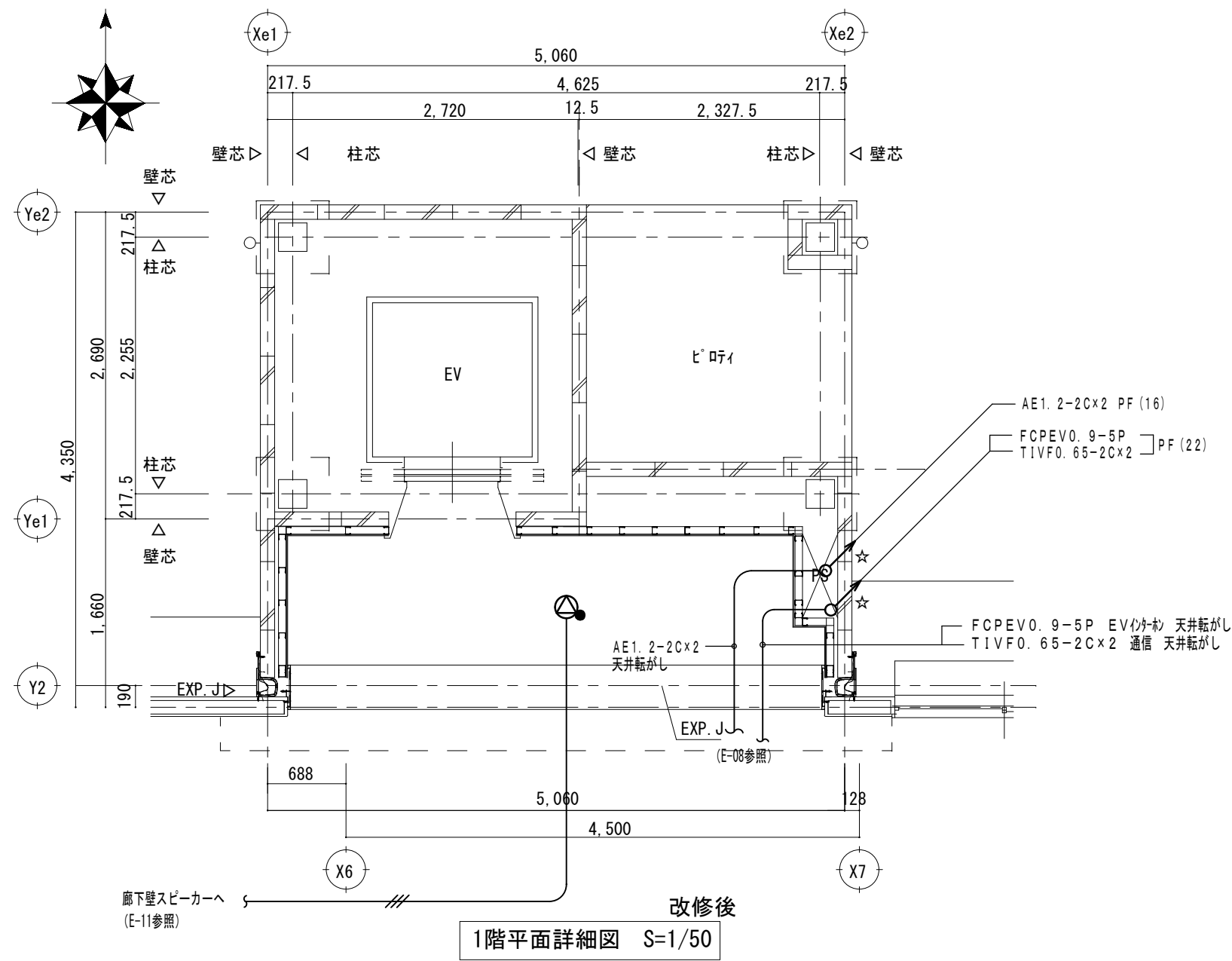
drawing no.

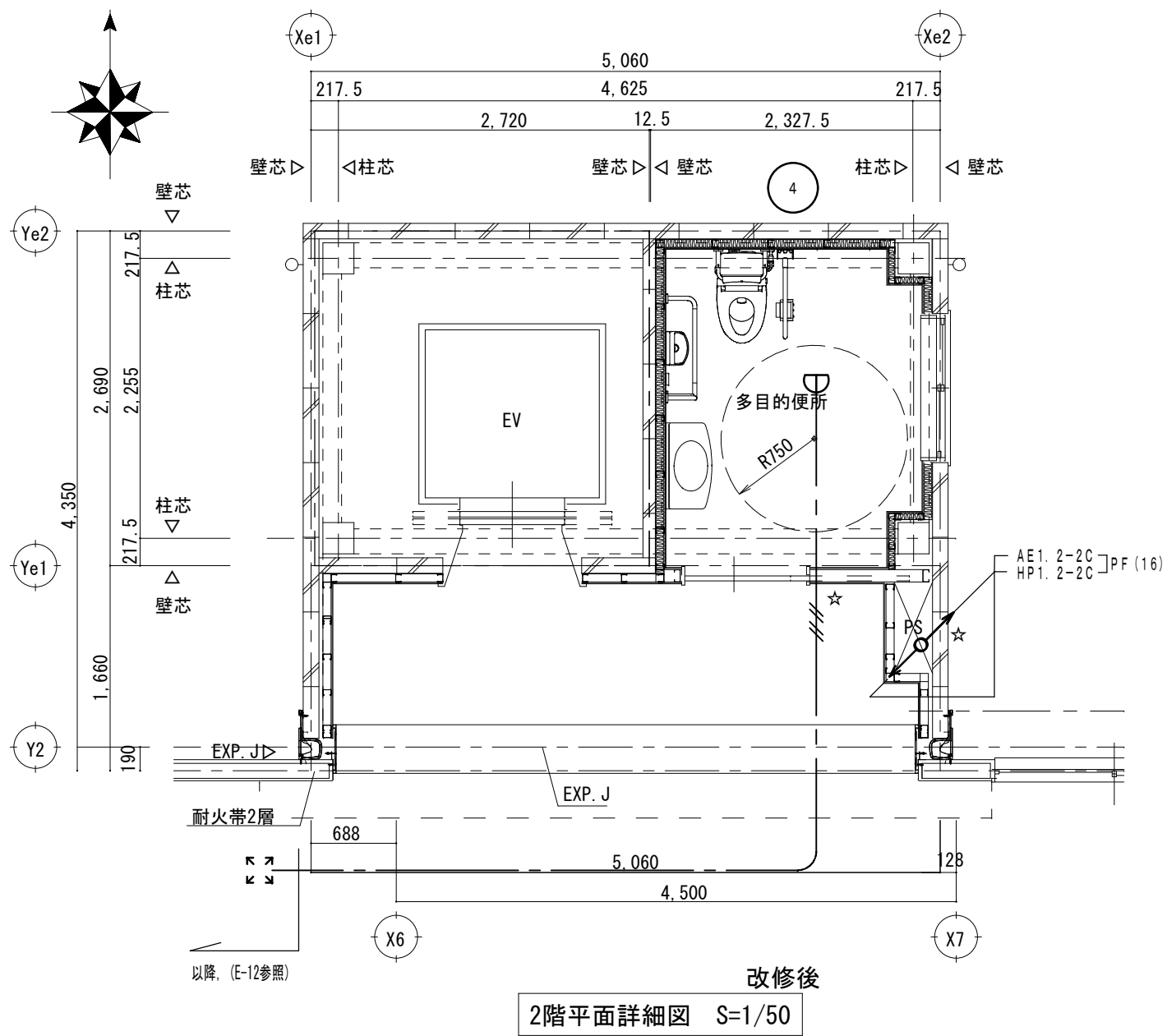
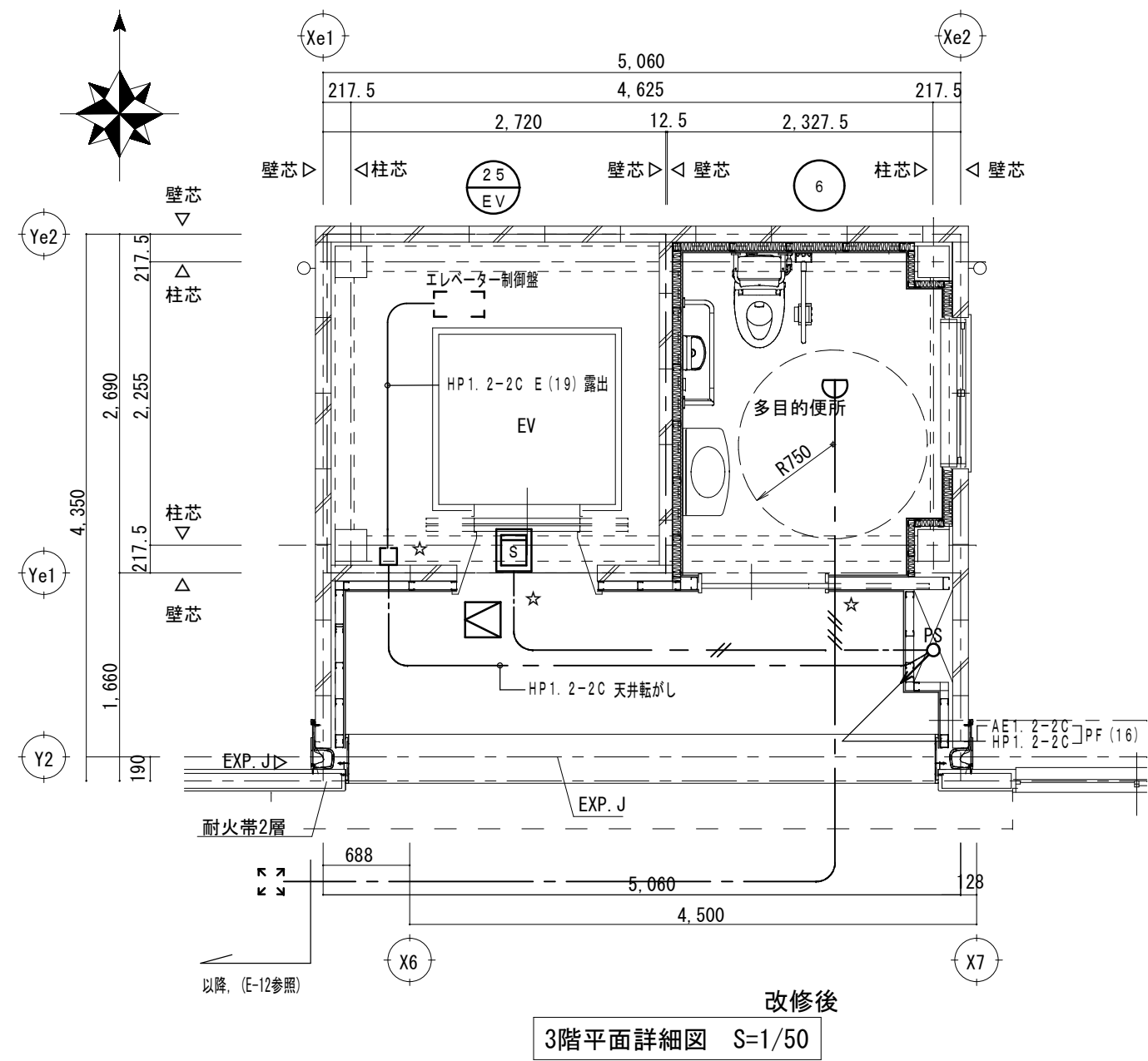
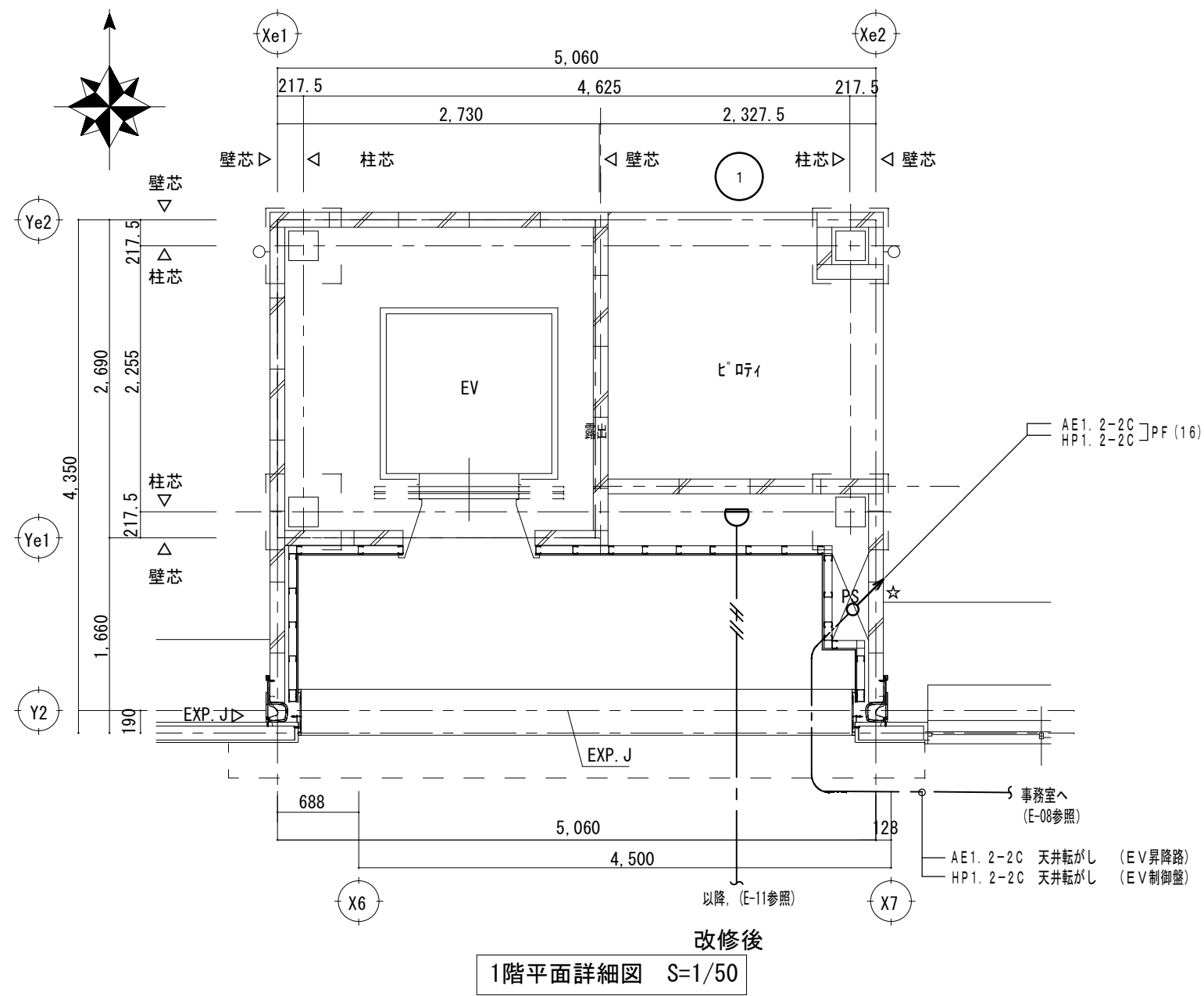
sheet no.

E-10  
原図: A2









特記事項

1. 記入なき配管配線は下配とする

AE1. 2-2C 天井転がし

AE1. 2-4C 天井転がし

2. 凡例

○ : 定温式スポット型熱感知器 1種防水

◐ : 差動式スポット型熱感知器 2種

□S : 光電式スポット型煙感知器 2種 点検ボックス収納

☆ : 防火壁及び区画壁貫通箇所をしめす。国土交通省認定の工法にて処理の事とする。

◻ : 天井点検口 450×450 (建築工事)

※壁内配線はPF管にて保護すること。

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/50

drawing title  
自動火災報知設備  
1~3階平面詳細図

project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

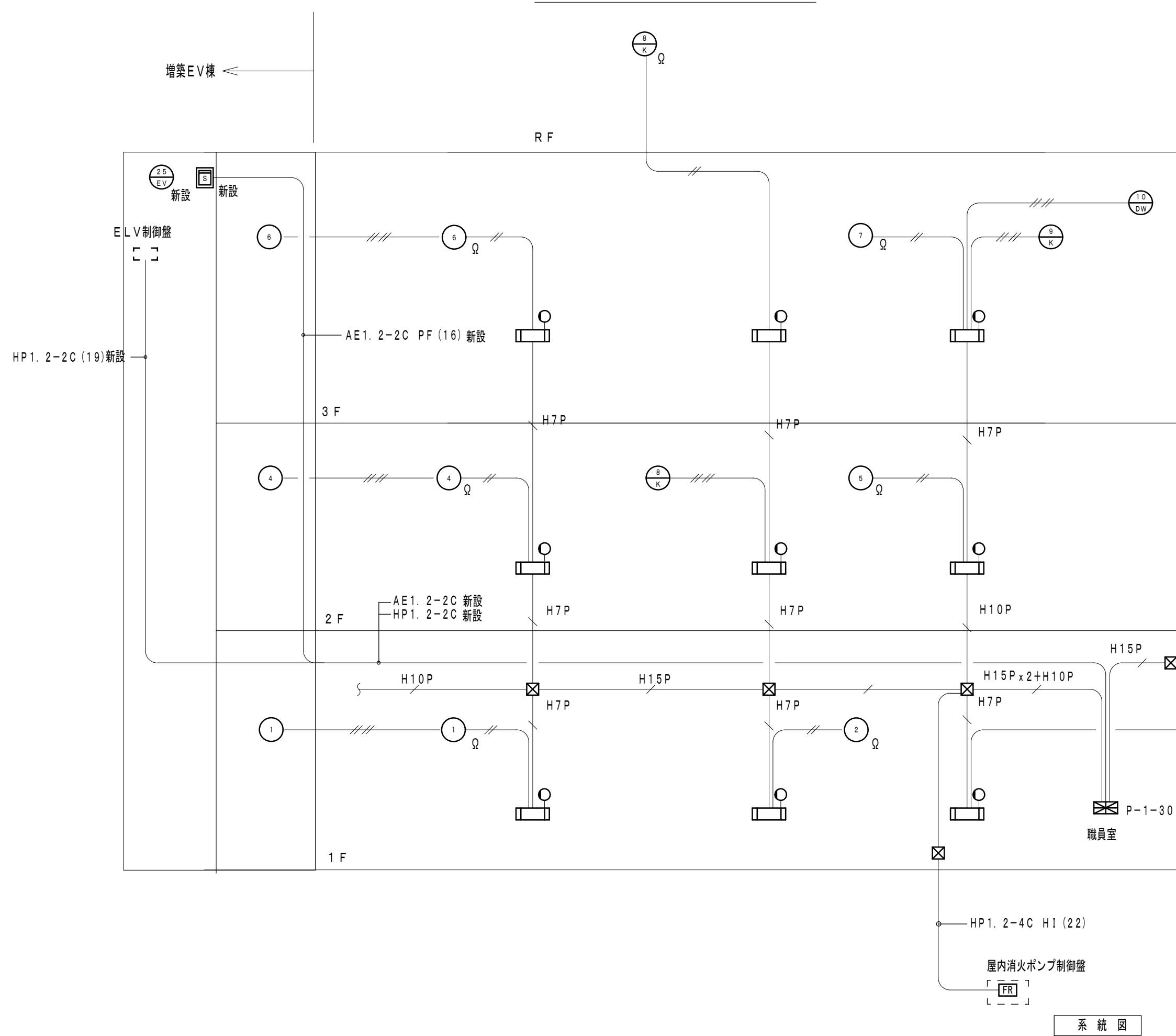
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

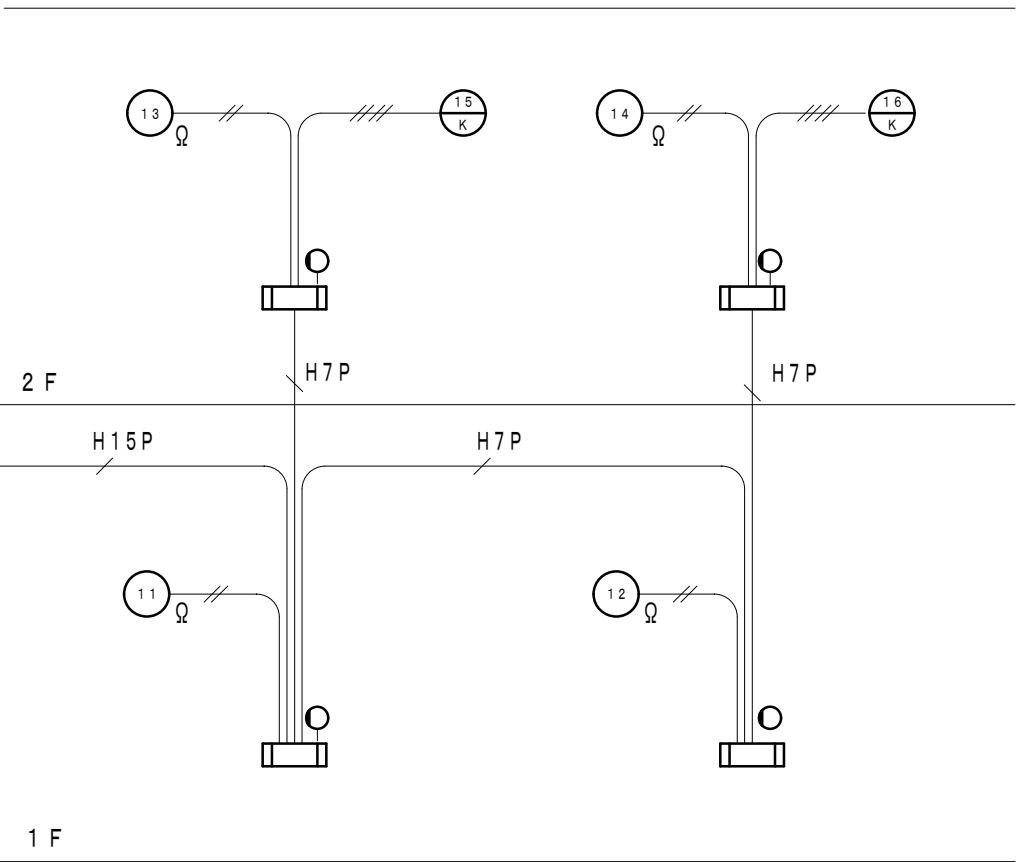
drawing no.

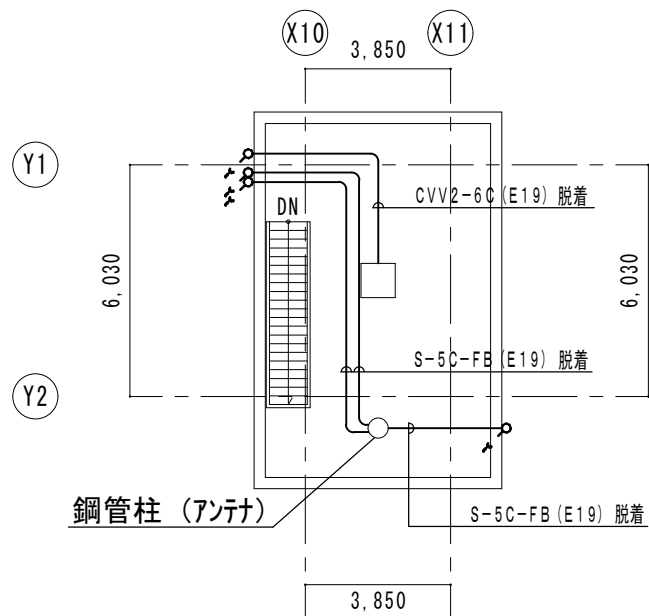
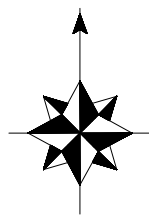
sheet no.

E-14  
原図: A2

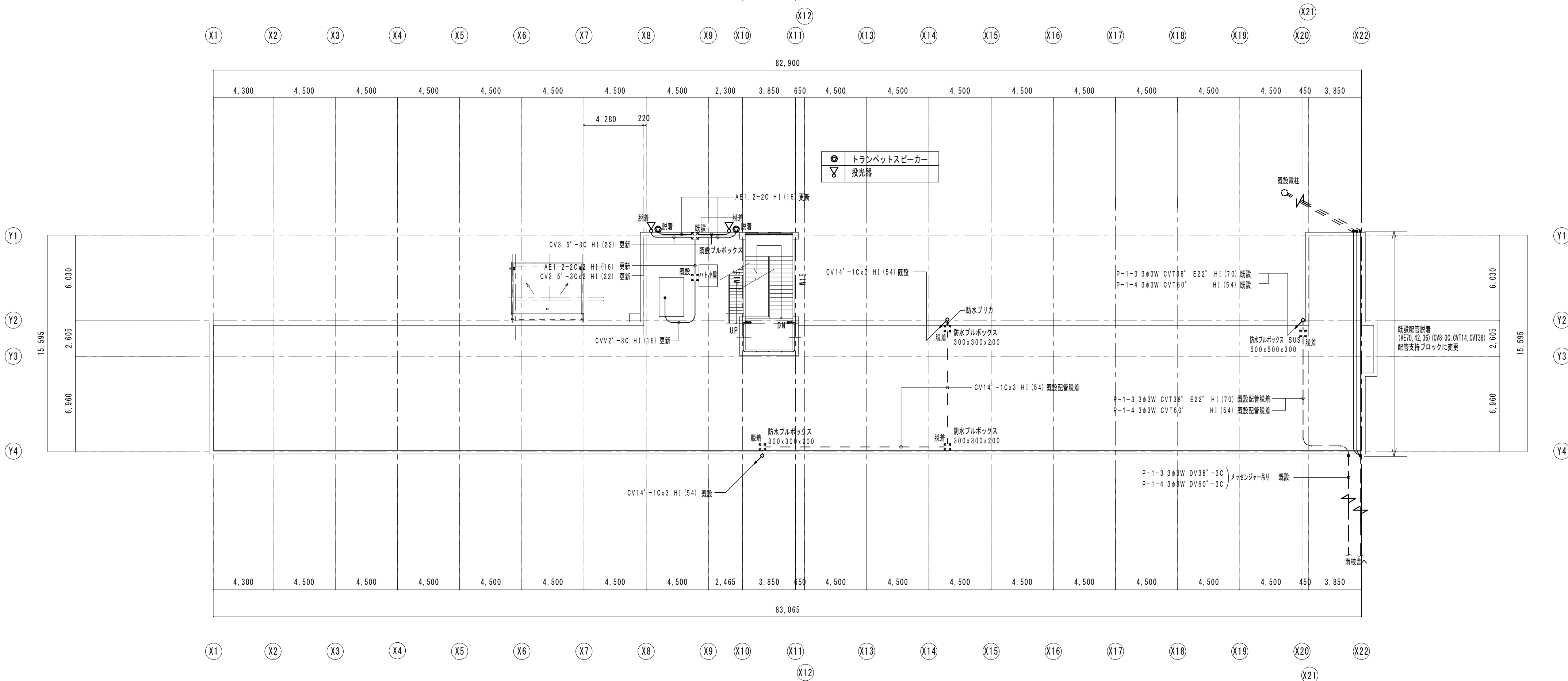


記 号	名 称	仕 様	備 考
	受 信 機	P型1級30L	
	機 器 収 納 B O X	屋内消火栓BOXと一体型	Ⓐ Ⓑ Ⓓ 組込
	表 示 灯	AC24V LED	
Ⓐ	発 信 機	P型1級	機器収納BOXに組込
Ⓑ	電 鈴	DC24V	機器収納BOXに組込
	差動式スポット型熱感知器	2種 露出型	
	定温式スポット型熱感知器	1種 防水 露出型	
	定温式スポット型熱感知器	1種 露出型	
	定温式スポット型熱感知器	特種 露出型	
	光電式スポット型煙感知器	2種 露出型	
	光電式スポット型煙感知器	2種 露出型	点検口BOX付
	屋内消火栓起動リレー		
	屋内消火栓起動押ボタン		機器収納BOXに組込
Ω	終 端 抵 抗		
Ⓝ Ⓞ	警 戒 区 域 番 号		
(注記事項)			
1、記入なき配管配線は、下記とする。			
AE1.2-2C			
AE1.2-4C			
H HP1.2-2C			
H7P HP1.2-7P			
H10P HP1.2-10P			
H15P HP1.2-15P			
配線保護の必要な場合、配管等にて保護とする。			





PH階 屋根伏図 1/200



R階 平面図 1/200

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1/100

■drawing title  
屋上平面図

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

E-16  
原図: A2

機械設備工事特記仕様書

1 工事名称津市立白山中学校長寿命化改修工事工事

2 工事場所津市 白山町川口 地内

3 建築概要建築図に準じる  
校舎棟 R 〇造 3 階建  
増築 E V 棟 S 造 3 階建  
屋外階段 S 造 3 階建  
消火令の適用 7 項

4 適用基準図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による  
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」  
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」  
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）令和4年版」  
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和4年版」  
独立行政法人 建築研究所監修  
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」  
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、  
なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。

5 一般事項  
工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。  
設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と通りの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。  
他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による近似的な仕上り不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。  
(1) 提出図書 ■建築工事に準じる  
完成図等：・作成する（・完成図・保全に関する資料・（））  
・完成図作図範囲（設計図を訂正）  
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権第27条及び第28号に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。  
※工事写真は営繕工事写真撮影要領（国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版））に従い撮影すること。  
なお、デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板情報電子化について（令和5年3月1日付付国営建設第14号）」による。  
※建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。  
(2) 機器及び材料等  
工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。  
尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。  
又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。  
(3) 官公署等への届出手続  
工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担する。  
1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成  
■本工事 □建築工事 □電気設備工事 ■機械設備工事  
□別途工事  
2) 防火対象物使用開始届出書  
書類の作成（機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。  
(4) 品質管理  
工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。  
チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。  
(5) 出来形管理  
以下の項目について、出来形管理の對象として管理を行うこと。  
1) 各種機器据付  
・耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）  
・基礎寸法・水平、垂直等  
2) 配管・ダクト工事  
・支持間隔・振れ止め支持間隔  
3) 屋外排水工事  
・排水勾配・樹の深さ  
4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ  
(6) 製品確認  
発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。  
□適用する ■適用しない  
(7) 耐震安全性の分類  
構造体（ ）類 建築非構造部材（ ）類 建築設備（ ）類  
(8) 機器の地震力（主要機器） □図示による  
機器名  
設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0）  
水槽類  
設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0）  
その他監督員が指示するもの  
冷媒（フロン類）の回収 □適用する ■適用しない  
冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。  
・フロン回収行程管理票  
・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）  
撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ボンブダウン）を行うこと。  
パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。  
(10) 中間技術検査  
実施回数（ ）回  
実施する段階（ ）

(11) 発生材の処理等 ■建築工事に準じる  
本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。  
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により異なる場合は、監督員と協議するものとする。  
1) 引渡しを要するもの（ ）  
上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。  
2) 特別管理産業廃棄物（ ）  
処理方法（ ）  
なお施工に際して廃石綿等特別管理廃棄物及び疑わしき機器等が発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。  
3) 建設発生土（ □ 構内敷きならし □ 処分地指定 処分地（ ）  
（ □ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離（ ） km ）  
4) 現場内において再利用を図るもの（ ）  
5) 分別解体等の方法  

工 程	作業内容	分別解体等の方法
□ 新 築	□ 有	□ 手作業
□ 改 修	□ 無	□ 手作業、機械作業併用
□ 解 体		

  
6) 再資源化を図るもの（ □ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊  
□ 建設発生木材 ）  
7) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。（マフタA、B2、D票を提示すること。）  
(12) 電気保安技術者  
□ 配置する ■ 配置しない  
(13) 施工条件  
監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 ■建築工事に準じる  
1) 施工可能日 □ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし（ ）  
2) 施工可能時間帯 □ 指定なし □ 指定あり（ 時 ～ 時 ）  
(14) 仮設工事 構内既存の施設 ■建築工事に準じる  
1) 便所 □ 利用できる □ 利用できない  
2) 工事用水 □ 利用できる（有償） □ 利用できる（無償） □ 利用できない  
3) 工事用電力 □ 利用できる（有償） □ 利用できる（無償） □ 利用できない  
※本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。  
(15) 足場 ■建築工事に準じる  
内部足場の種別（参考） □ 脚立 □ 棚足場 □（ ）  
外部足場の種別（参考） □ 手摺先行据置枠組本足場  
□ その他（ ）  
防護シート等による養生 □ 適用する □ 適用しない  
設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）により、「簡易しやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。  
足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。  
つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。  
1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者  
2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参加者」に必要な資格を有する者  
3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働安全防犯協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者  
(16) 建築材料等  
1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とする。  
品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。  
2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。  
3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。  
(認定製品の品名： )  
4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。  
(認定製品の品名： ・間伐材製工事用バリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板）（ ）  
(17) 三重県産業廃棄物税  
本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。  
また、産業廃棄物処理業計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。  
(18) 事故の発生時  
工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。  
なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。  
(19) 既設との取合い・養生  
本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。  
また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にならい復旧すること。  
(20) 不正軽油の使用の禁止  
1) 一般事項  
工事現場で使用し、又は使用される車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受けたる義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。  
2) 調査の協力  
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。  
また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。  
3) 是正措置  
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。  
また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。

(21) その他  
1) 使用機械  
低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。  
2) 測定機器の校正記録  
工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。  
測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。  
3) フロン回収及び充填  
当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（令和2年4月1日施行）等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。  
(22) 現場での安全確保（自主施工の原則）  
1) 受注者は工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。  
2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。  
(23) 建築副産物情報交換システムの利用  
受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び 再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。  
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。  
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。  
6 工事種目  

給排水衛生設備工事	■ 屋内給水設備工事	■ 屋外排水設備工事
□ 屋外給水設備工事	■ 衛生器具設備工事	■ 消火設備工事
□ 屋内排水通気設備工事	□ 屋外ガス設備工事	□ 屋内ガス設備工事
□ 給湯設備工事	□ 厨房機器設備工事	
□ 浄化槽設備工事		

  
空調設備工事  
■ 機器設備工事 ■ 配管設備工事 ■ 換気設備工事  
7 工事概要  
給排水衛生設備工事  
(1) 給水設備工事  
本工事は図示のごとく既設給水管より分岐し、高架水槽重力方式により所要の各所に配管する。  
(2) 屋外排水設備工事  
本工事は、汚水、雑排水を合流方式とし、既設汚水樹に至る配管、樹を勾配に十分留意し敷設するものとする。  
(3) 屋内排水通気設備工事  
本工事は汚水、雑排水を合流式により屋外樹に接続放流する。  
(4) 衛生器具設備工事  
衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けるものとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。  
(5) 消火設備工事  
本工事は図示の如く、既設消火配管を撤去し、新設する。  
空調設備工事  
(1) 機器設備工事  
本工事は、既設空冷ヒートポンプパッケージエアコン室外機を一時取外し、移設する。  
(2) 配管設備工事  
機器移設にともない、冷媒管の撤去、新設をおこなう。  
配管の振動及び共振に十分留意の上施工する。  
(3) 換気設備工事  
換気扇の設置ならびに付帯ダクト設備をおこなう。  
また、内装改修に伴い、換気設備の取外し再取付をおこなう。

8 総合調整  
(1) 風量調整  
■ 適用する □ 適用しない  
(2) 水量調整  
■ 適用する □ 適用しない  
(3) 室内外空気の温度測定  
□ 適用する ■ 適用しない  
(4) 室内外空気の湿度測定  
□ 適用する ■ 適用しない  
(5) 室内気流及びじんあいの測定  
□ 適用する ■ 適用しない  
(6) 騒音の測定  
□ 適用する ■ 適用しない  
(7) 飲料水の水質の測定（水道法施行規則第10条による水質検査）  
□ 適用する ■ 適用しない  
のうち 一般細菌、大腸菌、硝酸酸素素及び亜硝酸酸素素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度について測定を行うこと。  
※遊離残留塩素については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行うこと。  
(8) その他（ ）  
□ 適用する □ 適用しない

9 工事細目  
(1) 配管材料  
■ 給水管  
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116（一般：SGP-VB 地中：SGP-VU）  
□ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB 地中：SGP-FVD）  
※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。  
給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合（工場加工）とする。  
□ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742（一般・地中：H1VP）  
□ 水道配水用ポリエチレン管 JWWA K 144（地中：PE）  
□ 水道用ステンレス鋼鋼管JWWA G 115（最高使用圧力1.0MPa以下）  
□ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448（最高使用圧力2.0MPa以下）  
※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。  
■ 雑排水管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）  
※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、M.D継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き）  
■ 土間・一般：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）  
□ 土間：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）  
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。  
■ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。  
■ 通気管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）  
※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、M.D継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き）  
■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）  
□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）  
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可  
■ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。  
■ 汚水管  
□ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042  
※ 同上M.D継ぎ手 JPF MDJ 002  
■ 土間・一般：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）  
□ 土間：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）  
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。  
■ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。  
□ 給湯管  
□ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140（SGP-HVA）  
□ 水道用ステンレス鋼鋼管JWWA G 115  
□ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448  
□ ガス管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）  
□ 土間：塩化ビニル被覆鋼管（黒）  
□ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774（地中：PE）  
※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。  
□ ガス事業者の供給規定に準じる  
■ 消火管  
■ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）  
□ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（白） WSP041（SGP-VS）  
※ 地中埋設管VSは、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。  
■ 屋外埋設排水  
■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）  
□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）  
□ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58（REP-VU）  
□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797（RS-VU）  
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。  
□ コンクリート管 JIS A 5372（プレキャスト鉄筋コンクリート製品）（1類水路用連心力鉄筋コンクリート管）  
□ 冷温水配管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）  
□ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140（一般：SGP-HVA）  
□ 冷却水管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）  
□ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116（一般：SGP-VA、VB）  
□ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB）  
■ ドレナ管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）  
■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）（屋外 カラーVP）  
■ 保温層付硬質ポリ塩化ビニル管  
□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）  
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可。  
□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。  
■ 冷媒管  
□ 銅及び銅合金線目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300  
■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mmとする。  
※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。  
□ 油管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452 溶接接合  
□ 蒸気管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452  
□ プライン管  
□ 配管用炭素鋼鋼管（黒） JIS G 3452  
※ 弁類 揚水ポンプ（二次側）、消火ポンプ（二次側）、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は 5Kとする。  
塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。

■memo

■check

client  
architect  
contractor

■scale

S=1/200

■drawing title

機械設備工事特記仕様書 1

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

■drawing no.

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■sheet no.

M-01

原図：A2

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	—	2m 以下
	125A以上	—	3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下	—	1m 以下
	100A以上	—	2m以下

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	—	50A～100 A	125A～
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A～40A	50A～100A	125A～

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下  
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下  
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- ☐ 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
- ☐ ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- ☐ アングルフランジ工法
- ☐ 共板フランジ工法
- ☐ スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強
- ☐ 山形鋼 JIS G 3101 ☐ SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
- ☒ スパイラルダクト
- ☐ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料
- 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- グラスウール保温材 保温板、保温筒、保温帯 JIS A 9504 40K  
(屋内一般等)
- 給水管 ■ 排水管 ☐ 給湯管 ■ 消火管 (露出部)
- ☐ 蒸気管 (往) ☐ 蒸気管 (還) ☐ 冷水・冷温水管 ■ 冷媒管
- (屋外等)
- ☐ 給湯管 (70℃以上) ☐ 温水管 ☐ 蒸気管 ☐ 冷水・冷温水管
- ☐ 冷媒管 ☐ ☐ ☐
- ☐ ロックウール保温材 保温板 JIS A 9504 1号又は2号  
(防火区画貫通部等) 保温帯、ブランケット JIS A 9504 1号
- ☐ 給水管 ☐ 排水管 ☐ 給湯管 ☐ 温水管
- ☐ 蒸気管 ☐ 冷水・冷温水管 ☐ 冷媒管 ☐ 消火管
- ☐ ポリスチレンフォーム保温材 保温板、保温筒 JIS A 9511 3号  
(屋内一般等)
- ☐ 給水管 ☐ 排水管 ☐ 冷水・冷温水管 ☐ 冷水管 (2～4℃)
- ☐ フライン管 ☐ ☐
- (屋外等)
- ☐ 給水管 ☐ 排水管 ☐ 給湯管 ☐ 冷水・冷温水管
- ☐ フライン管 ☐ 消火管 ☐ ☐
- ☐ 合成樹脂調合ベイト塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイト) 1種  
(露出)
- ☐ 給水管 ☐ 排水管 ☐ 通気管 ☐ ドレン管
- ☐ ガス管 ☐ 消火管 ☐ 油管 ☐ 冷却水管
- ☐ ダクト (亜鉛鉄板製) ☐ ダクト (鋼板製) ☐
- ☐ さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種  
(露出)
- ☐ 蒸気管 (往) ☐ ダクト (鋼板製) ☐
- ☐ アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント)  
下塗りは錆止めペイント
- ☐ 蒸気管 (還) ☐

2) 保温厚

- ・ グラスウール、ロックウール
- |              |      |          |        |         |       |
|--------------|------|----------|--------|---------|-------|
| 保温厚 (mm)     | 20   | 25       | 30     | 40      | 50    |
| 給水・排水・ドレン・給湯 | ～80A | 100～150A | —      | 200A～   | —     |
| 膨張・温水・消火管    | —    | —        | 32～50A | 65A～    | —     |
| 蒸気管          | ～25A | —        | ～25A   | 32～200A | 250A～ |
| 冷水・冷温水・冷媒管   | —    | —        | —      | —       | —     |
- ・ ポリスチレンフォーム
- |                |      |       |      |          |        |       |
|----------------|------|-------|------|----------|--------|-------|
| 保温厚 (mm)       | 20   | 25    | 30   | 40       | 50     | 65    |
| 給水・消火・排水管      | ～80A | 100A～ | —    | —        | —      | —     |
| 冷水・冷温水管        | —    | —     | ～25A | 32～200A  | 250A～  | —     |
| 冷水管 (冷水温度2～4℃) | —    | —     | ～20A | 25A～100A | 125A～  | —     |
| フライン管          | —    | —     | —    | ～25A     | 32～80A | 100A～ |

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部 (ロックウール)
75mm	煙道 (ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&Mダラスクロス仕上
天井内・P・S内	7&Mダラス化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7&Mダラス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
- ※ 2) サヤ管工法：架構ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
- ※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P・S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
- 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ					カラー亜鉛鉄板 (屋内)
温水・膨張・還水					
貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ				カラー亜鉛鉄板 (屋内)	
熱交換器					

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、D・S内	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板	
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
	屋外露出、多湿箇所	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
サブライチャンパー			紙	保温板	ガラスクロス	銅電甲金網
消音チャンパー、エルボ			紙	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
煙道		ブランケット	鉄線	カラー鉄板		

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
- ※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S02による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
- ※ 3) 銅電甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. S A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )
2. E A
- ☐ 保温あり ■ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )
3. R A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )
4. O A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )
- チャンパー内貼施工
- ☐ 内貼あり ( mm ) ☐ 内貼なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (≒2サイズUP) なるものとする。
- 箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P・S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器・配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設構を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
- ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をたせる。
  - ・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
  - ・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
  - ・ 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには裏カバー及び点検口を設けること。

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale

S=1/200

■drawing title

機械設備工事特記仕様書 2

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

M-02

原図：A2

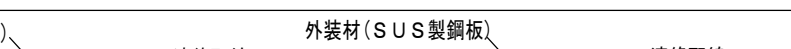
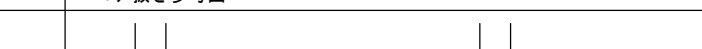
凡 例			
図示記号	名称	図示記号	名称
	給水管		排水金物
	給湯管		床上掃除口
	排水管		弁類
	通気管		排水ダクト
	ガス管		屋外フード(排気)
	水栓金具		天井・壁付換気扇
	フルシフト・リジ・ジョイント		壁付扇

衛生器具表							
名称	仕様・参考型番			2 階 多 目 の 便 所	3 階 多 目 の 便 所	合 計	
	L I X I L		T O T O				
洋風便器	BC-P110HM, DQ-PA150CH, CW-PA21LQE-NEC-R1 CF-63HST(紙巻器), 他一式 床給水	AC100V	CFS498BMC, TCF5524AUP, YH702(紙巻器), 他一式 床給水 AC100V		1	1	2
L型手すり	KF-926AE80D25J, 他一式		T112CL11, 他一式		1	1	2
跳ね上げ手すり	KF-481EHP70J, 他一式		T112HP7, 他一式		1	1	2
背もたれ	KFC-275T1U, 他一式		EWC383CR, 他一式		1	1	2
壁掛手洗器	AWL-71U2AM(S), 他一式 床給水	AC100V	LSA90ABS, 他一式 AC100V		1	1	2
カンター一体形壁掛洗面器	L275AN, AM311CV1(自動単水栓), 他一式 床給排水	AC100V	L270C, TLE28SA1A(自動単水栓), 他一式 床給排水 AC100V		1	1	2
化粧鏡	KF-W450H1000AH(450×1000:7-字形)		YM4510FAC(450×1000:7-字形)		1	1	2

小口径塩ビ樹詳細図（污水）	小口径塩ビ樹詳細図（雨水）   ※泥溜め150mm以上とする	塩ビ製蓋 詳細図（参考）
----------------------	--------------------------------------------	---------------------

記号	名称	樹種別	蓋仕様	管底	備考
1	汚水樹	100-200-45L	塩ビ	-350	新設
2	〃	100-200-45Y	〃	-400	〃
3	雨水樹	125-200-45L	〃	-350	〃
4	〃	125-200-45L	〃	-420	〃
A	汚水樹	100-200-90L	〃	-400	撤去

記号	形式・名称	仕様	台数	備考・既設機器型番
ACP-K1	パッケージエアコン	冷房能力：25.0kW	1	既成コンクリート梁台
	室外機	3相200v 冷房総合消費電力：11.82kW		PU-P280FA（三菱電機）
				取外し再取付
ACP-K2	パッケージエアコン	冷房能力：20.0kW 暖房能力：22.4kW	2	防護ネット
	室外機	3相200v 冷房総合消費電力：6.95kW 暖房総合消費電力：5.77kW		冷媒：R401（5.9kg）
				移設
ACP-K3	パッケージエアコン	冷房能力：14.0kW 暖房能力：16.0kW	1	保温・樹脂製カバー
	室内外機	3相200v 冷房総合消費電力：4.56kW 暖房総合消費電力：3.84kW		CU-P160X4（パナソニック）
				既設のまま
特記事項：図示の機器（室外機のみ）を一時取外し、再取付（移設）をおこなう。				
室外機－室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。室外機は耐震振れ止め、転倒防止を施す事。				

冷媒管保温要領   (合成樹脂製カバー)  	コア抜き参考図  
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

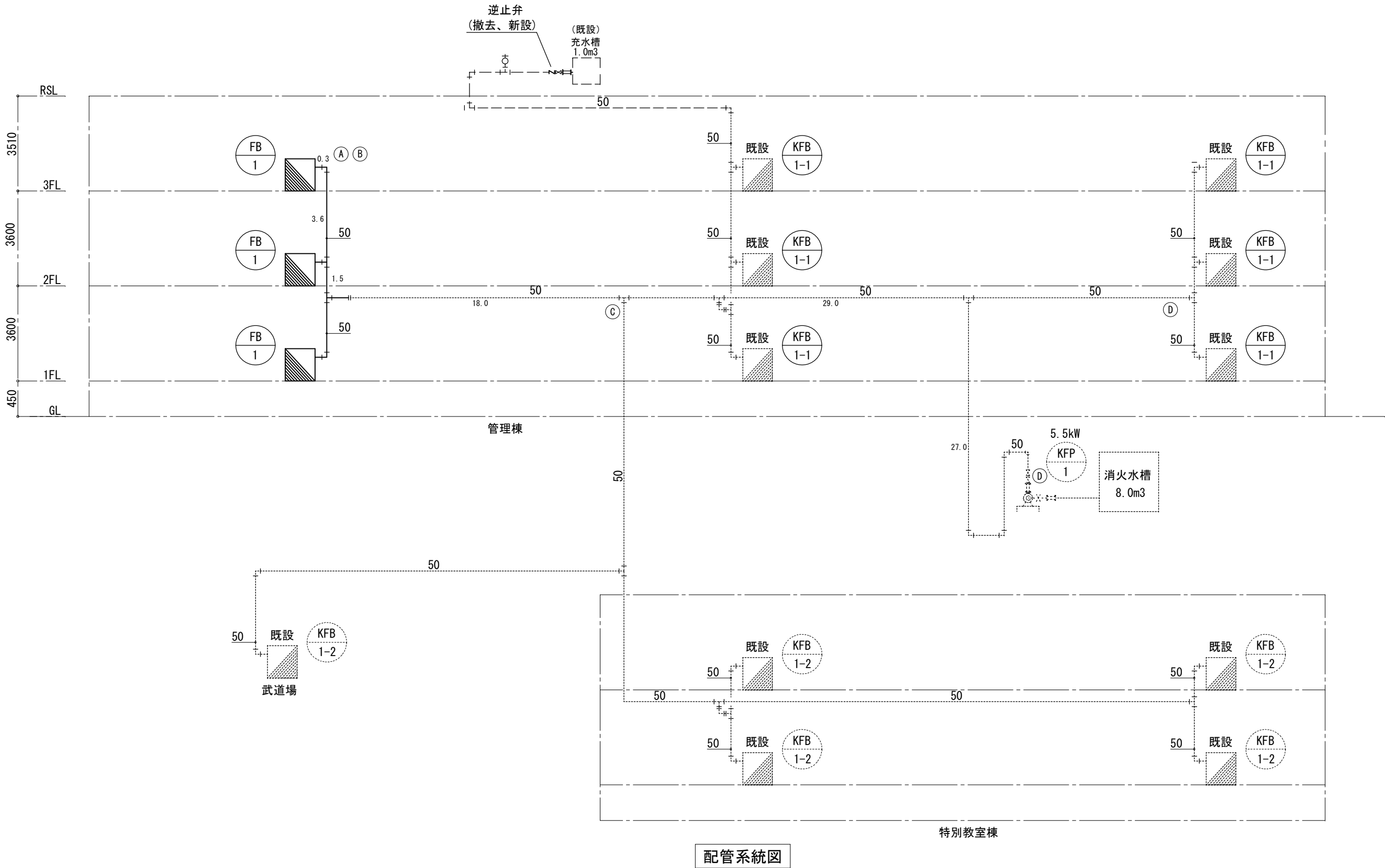
凡 例			
図示記号	名 称	配管材料	防露塗装仕様
—— R ——	冷媒管	空調用保温付被覆銅管	屋内露出：配管化粧カバー 屋外露出：ポリスチレン成形+SUS鋼板ラッキング
—— D ——	ドレン管	保温付VP ※屋外はカラーVPとする	

換気機器仕様								
記号	形式	風量 CMH	機外静圧 Pa	電源	消費電力 kw	備考	参考型番	数量
VF-1	天井扇(低騒音) φ150	150	60	単相100V	0.0235	天吊金具, SUS製フット(ｶﾞﾗﾘ付)	FY-27B7 (ﾊﾞｯﾂﾋﾞｯｸ)	2
VF-2	壁付換気扇 φ300	1044	-	単相100V	0.0300	ｳｪｰｰｶﾞｰ-, 防鳥網	FY-30EE6/43 (ﾊﾞｯﾂﾋﾞｯｸ)	2
VF-3 (撤去)	壁付換気扇 φ300	1068	-	単相100V	0.0350	ｳｪｰｰｶﾞｰ-, 防鳥網	VFM-30S1 (東芝)	5
特記事項	1、消費電力は参考値とする。							

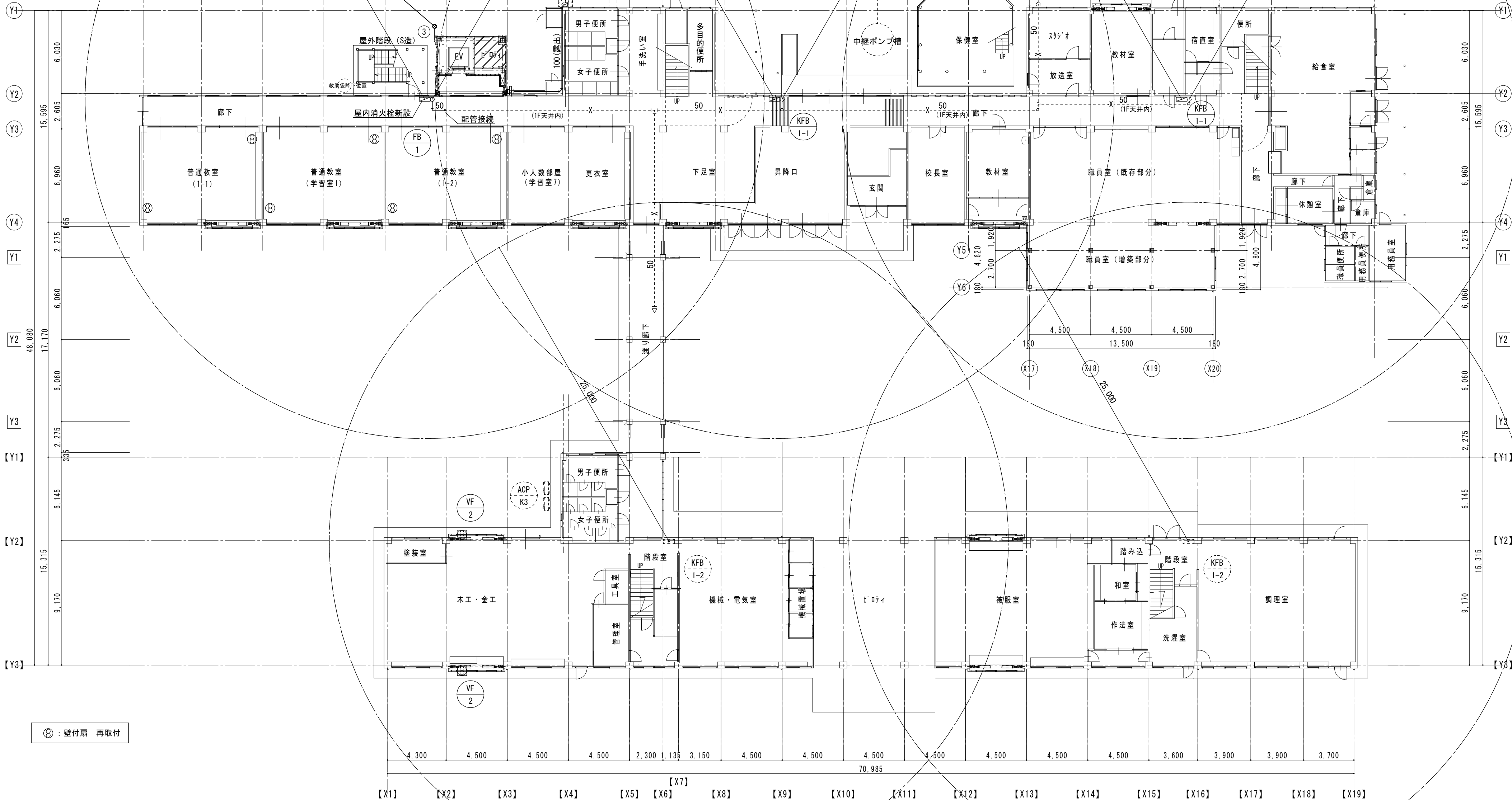
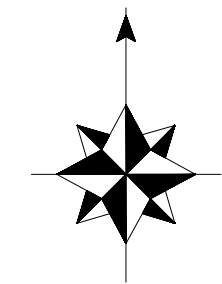
機 器 表								
記 号	名 称	仕 様	台数	電 気 容 量			設置場所	備 考
				φ	V	kW		
KFP-1	屋内消火栓ポンプユニット	三相 200V 5.5kW 300L/min 47mAq	1	3	200	5.5	ポンプ室	既設のまま

凡 例			
FB-1		屋内1号消火栓	3セット
		露出型 消防認定品 片袖扉 その他付属品一式	
KFB-1		(既設) 屋内1号消火栓	3セット
		撤去	
KFB-1-1		(既設) 屋内1号消火栓	6セット
		ホースのみ撤去、新設(15m×2本)	
KFB-1-2		(既設) 屋内1号消火栓	4セット
		既設のまま	

屋内消火栓計算書																			
1、配管摩擦損失水頭																			
区間	流量 L/min	管径 mm	直管長 m	90° エルブ		チース・クロス		仕切弁		逆止弁		アングル・フット弁		消火栓弁		相当長	合計	単位損失水頭 m/M	損失水頭 m
				数	1個当りの 相当長	数	1個当りの 相当長	数	1個当りの 相当長	数	1個当りの 相当長	数	1個当りの 相当長	数	1個当りの 相当長				
A-B	150	40	0.3	1	1.3		2.5		0.3		3.5		7.0	1	19.0	20.3	20.6	0.1231	2.53586
B-C	150	50	23.1	3	1.6	3	3.2		0.3		4.4		8.9			14.4	37.5	0.0382	1.4325
C-D	300	50	56.0	8	1.6	1	3.2	1	0.3	1	4.4		8.9			20.7	76.7	0.1377	10.56159
合計																		14.6	
2、全揚程 (H)																			
全揚程    = 摩擦損失水頭 + 実揚程 + ノズルの放水圧力水頭 + 消防ホースの摩擦損失水頭 = 14.6 + 9.5 + 17.0 + 3.6                    = 44.7m																			
3、ポンプ吐出量 (Q)																			
吐出量    = 150 × N                    N : 同時使用個数 = 150 × 2                    = 300L/min                    既設ポンプ流量300L/min : OK																			
4、ポンプ所要動力																			
所要動力 = (0.163 × Q × H / E) × K                    E : ポンプ効率                    K : 伝達効率 (1.1) = (0.163 × 0.3 × 44.7 / 0.5) × 1.1                    = 4.9kW                    既設ポンプ動力5.5kW : OK																			
5、水槽容量																			
QT = 2.6 × N                    N : 同時使用個数 = 2.6 × 2                    = 5.2m3    以上 (実容量)                    既設水槽容量8.0m3 : OK																			



配管系統図



1階 平面図 1/200

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/200

drawing title  
機械設備  
1階平面図 (改修後)

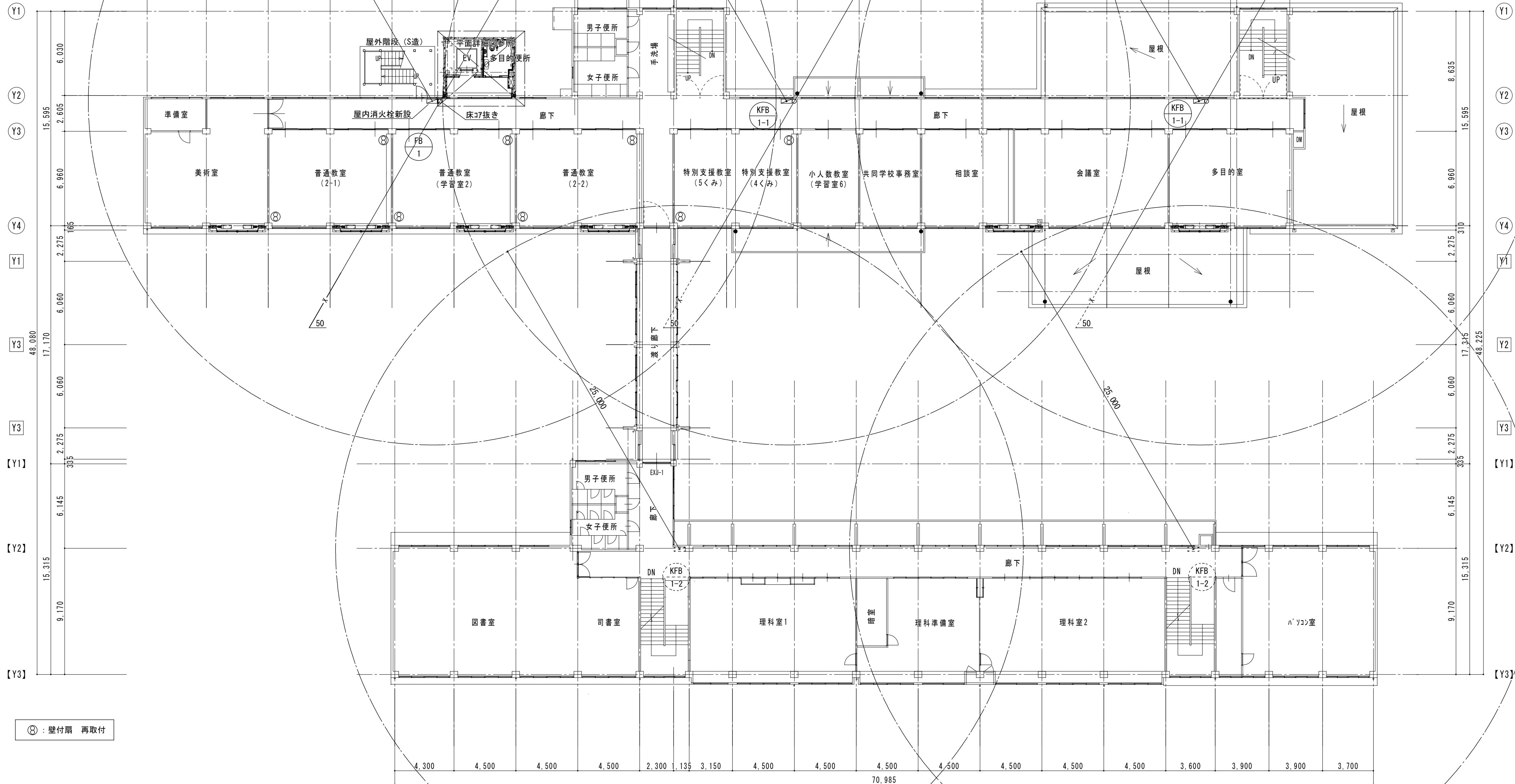
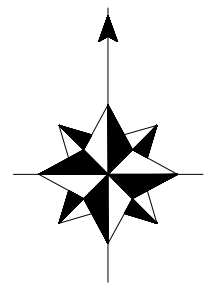
project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴底設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
M-05  
原図: A2



2階 平面図 1/200

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/200

drawing title  
機械設備  
2階平面図 (改修後)

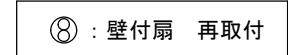
project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

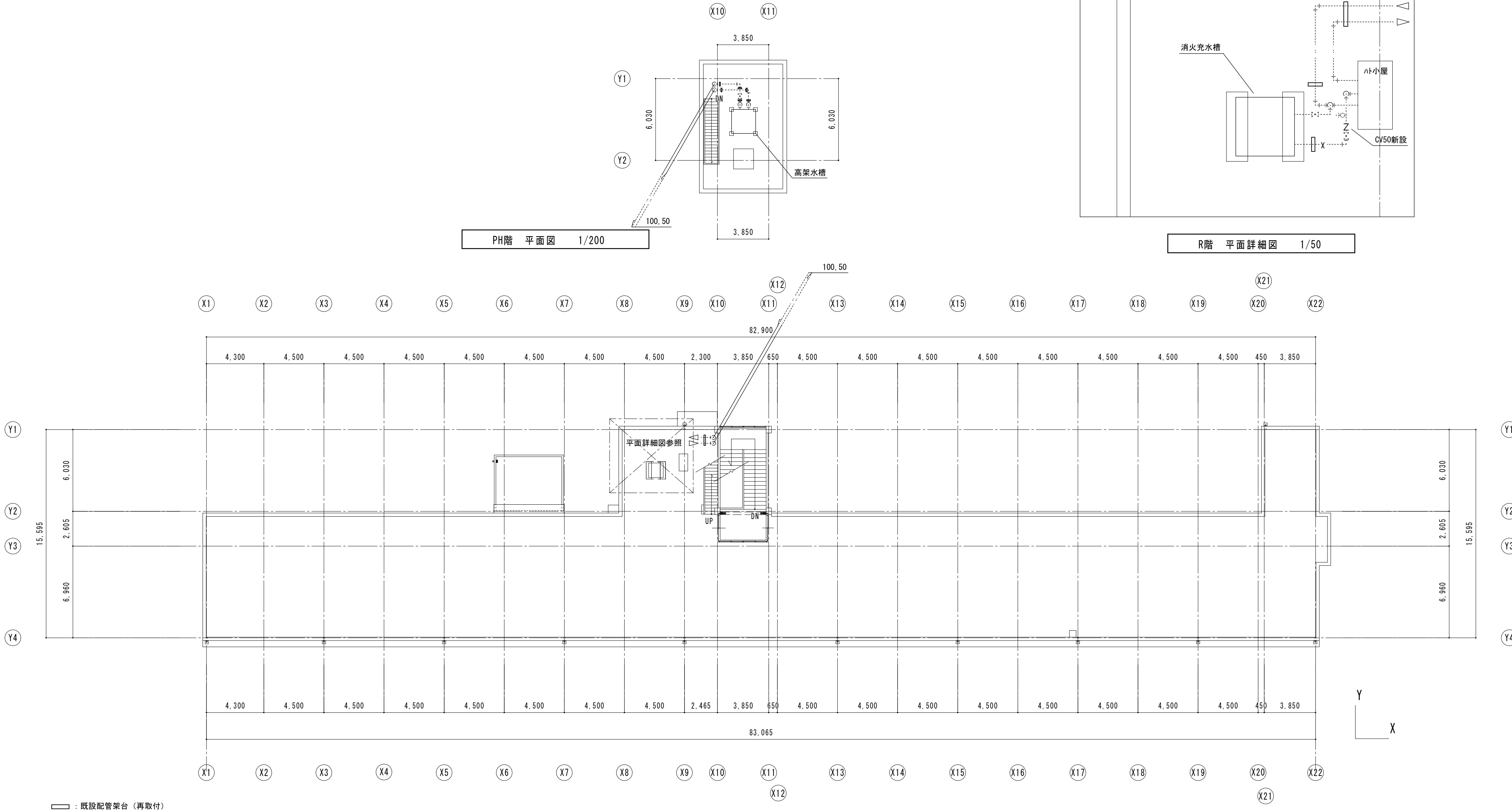
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
M-06  
原図: A2





□ : 既設配管架台 (再取付)

R階 平面図 1/200

R階 平面詳細図 1/50

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1/200

■drawing title  
機械設備  
R階平面図 (改修後)

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

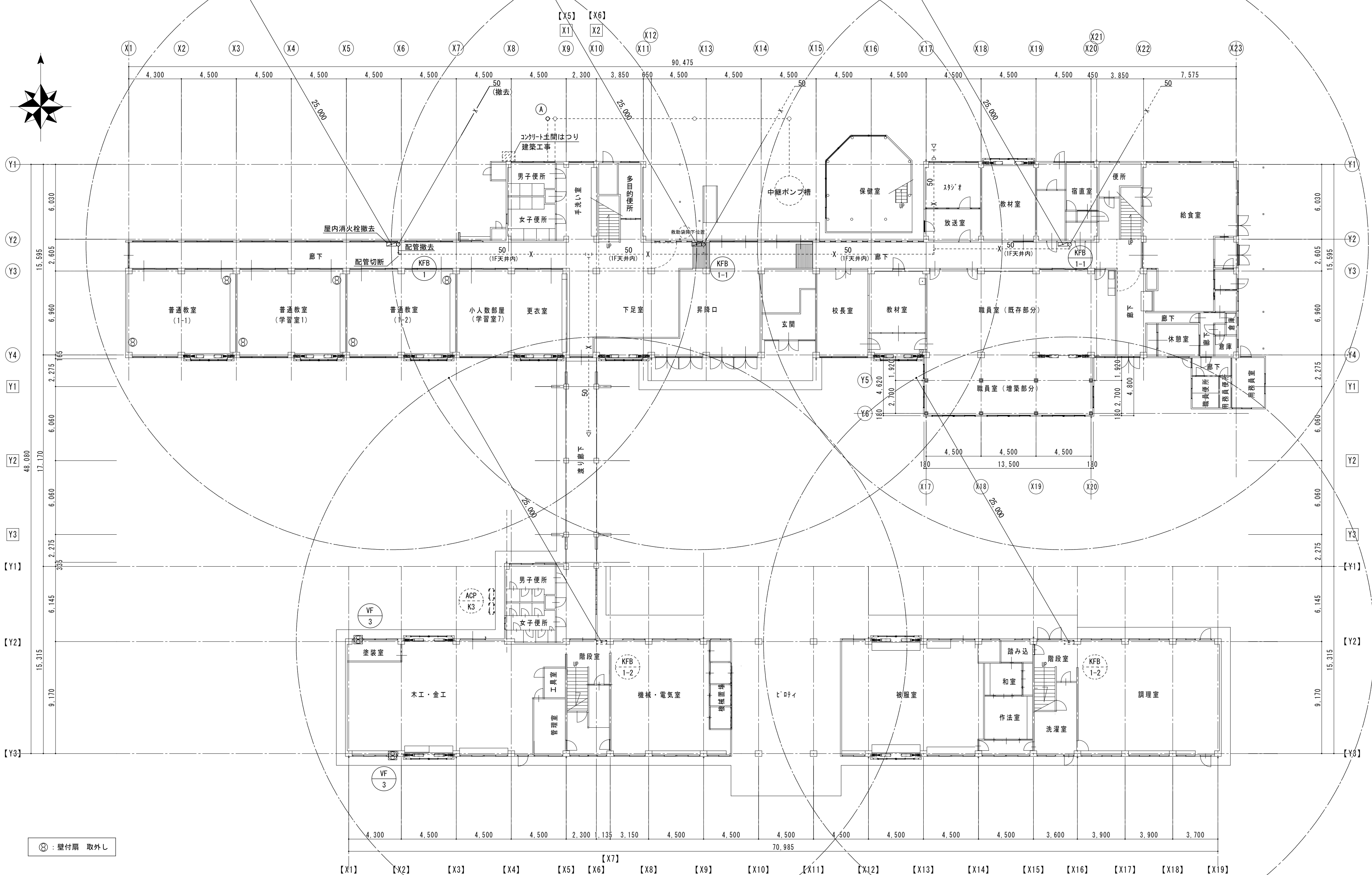
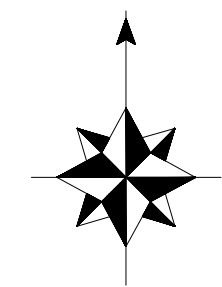
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

M-08  
原図: A2



⊗ : 壁付扇 取外し

1階 平面図 1/200

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/200

drawing title  
機械設備  
1階平面図 (改修前)

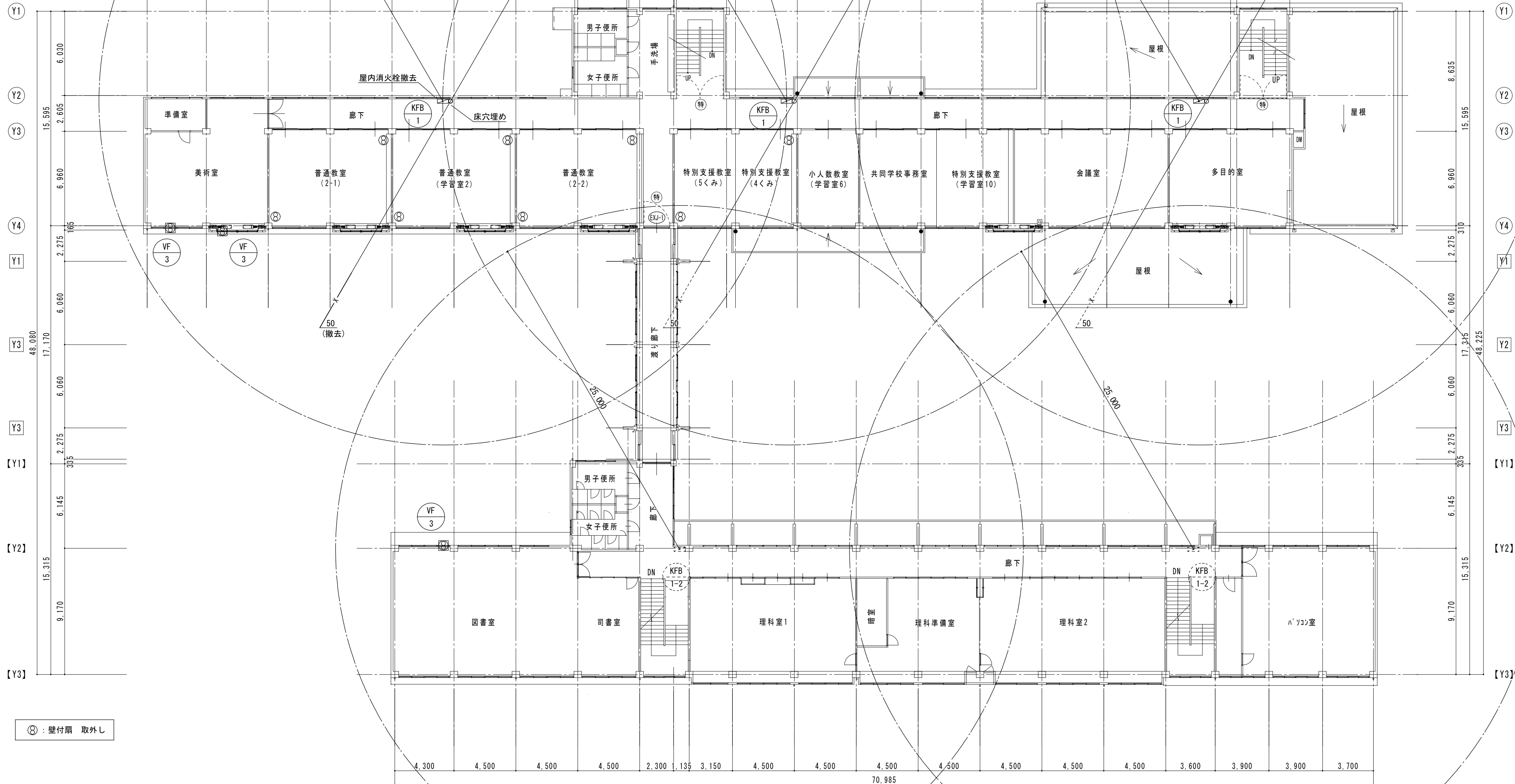
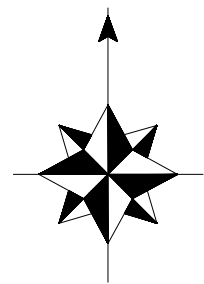
project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴底設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
M-09  
原図: A2



2階 平面図 1/200

memo

check  
client  
architect  
contractor

scale  
S=1/200

drawing title  
機械設備  
2階平面図 (改修前)

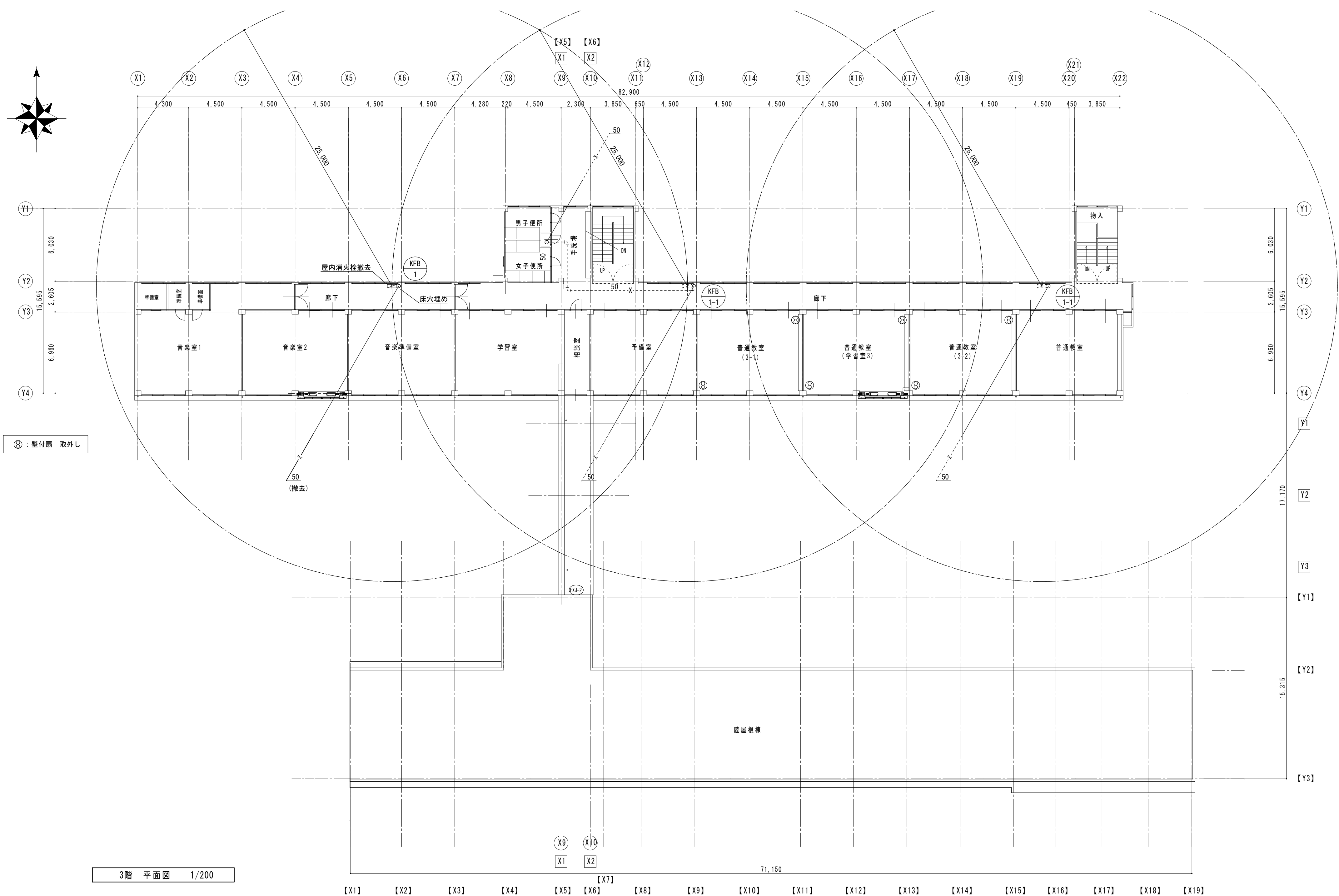
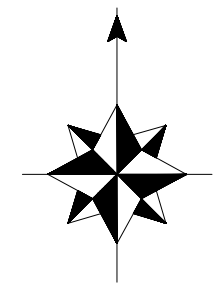
project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.  
M-10  
原図: A2



3階 平面図 1/200

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1/200

■drawing title  
機械設備  
3階平面図 (改修前)

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

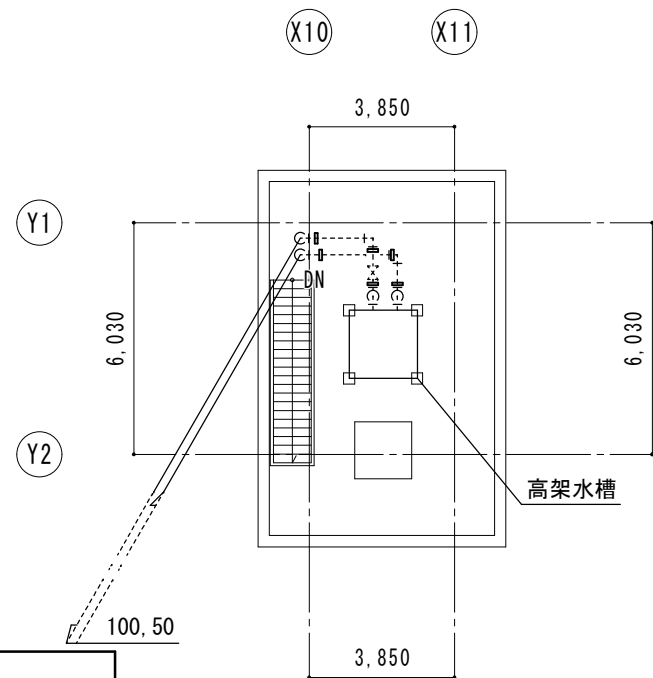
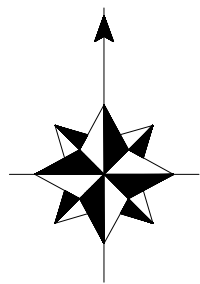
Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

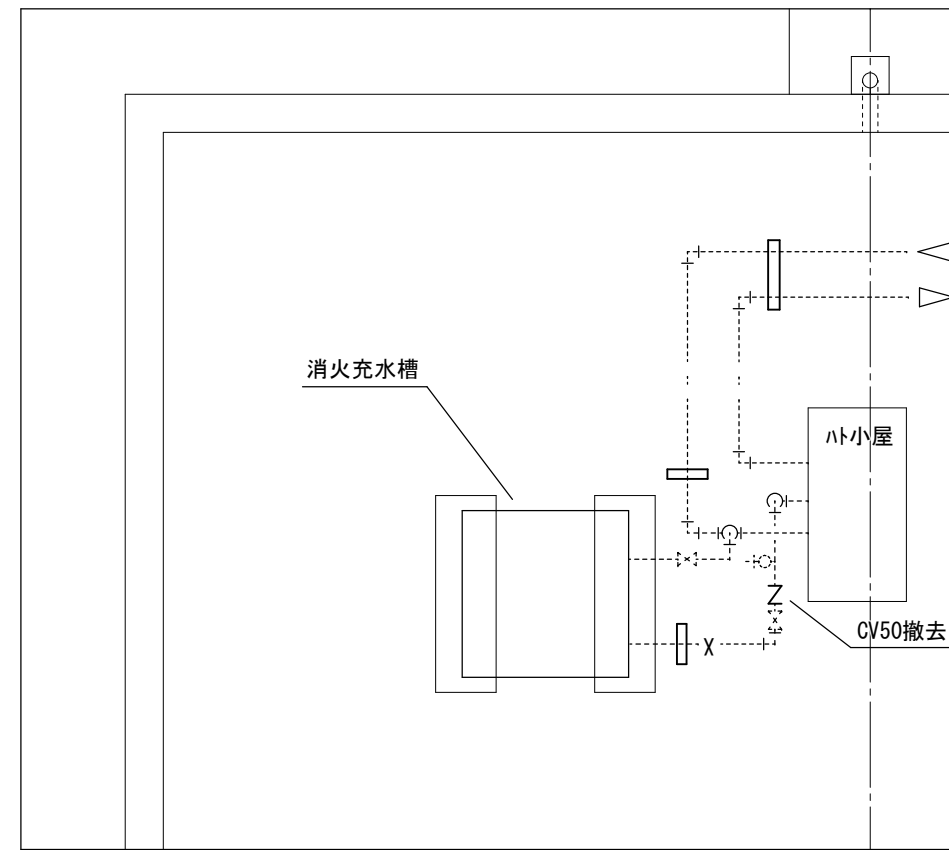
■drawing no.

■sheet no.

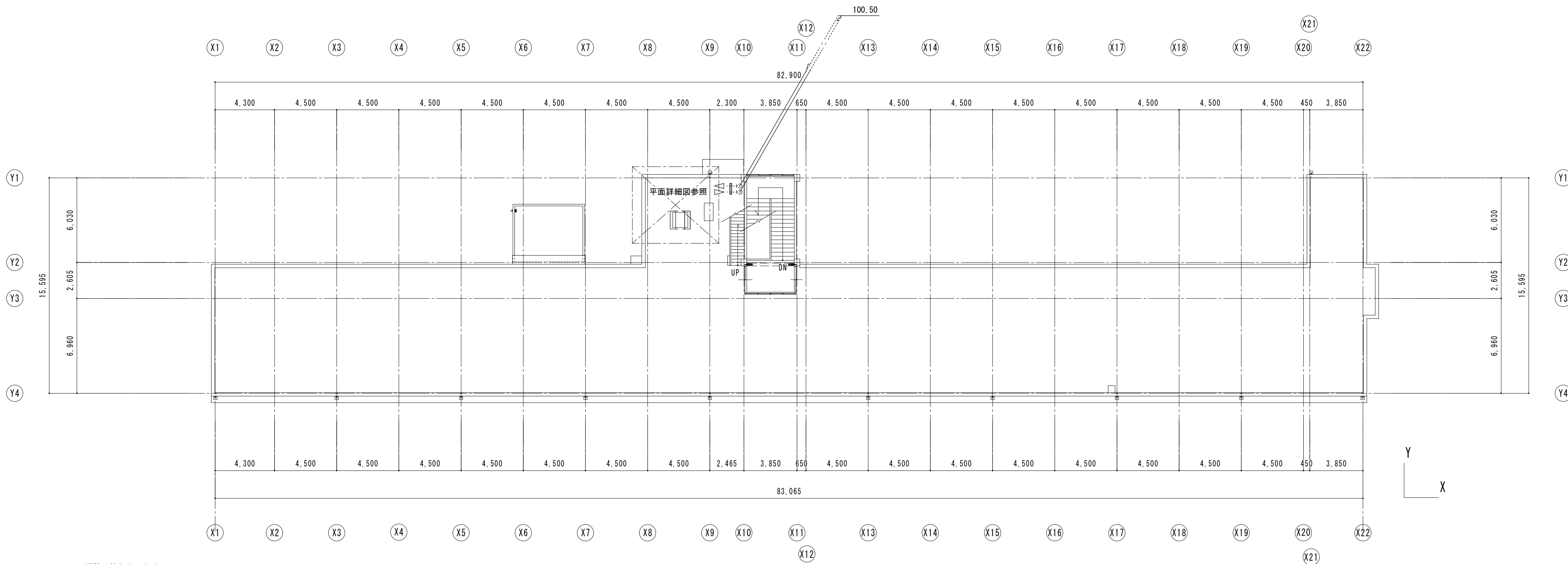
M-11  
原図: A2



PH階 平面図 1/200



R階 平面詳細図 1/50



□ : 既設配管架台 (取外し)

R階 平面図 1/200

■memo

■check  
client  
architect  
contractor

■scale  
S=1/200

■drawing title  
機械設備  
R階平面図 (改修前)

■project title  
津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

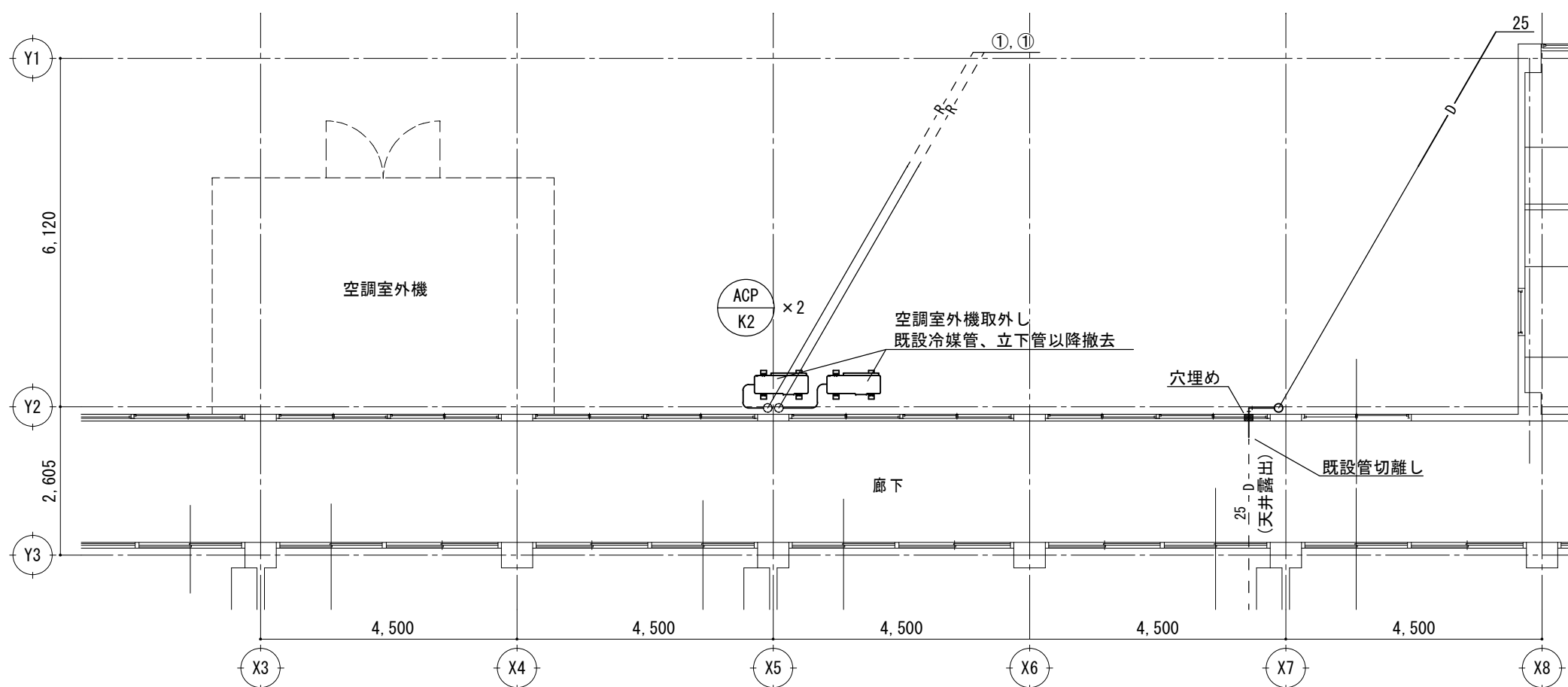
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士: 山田 賢治

■drawing no.

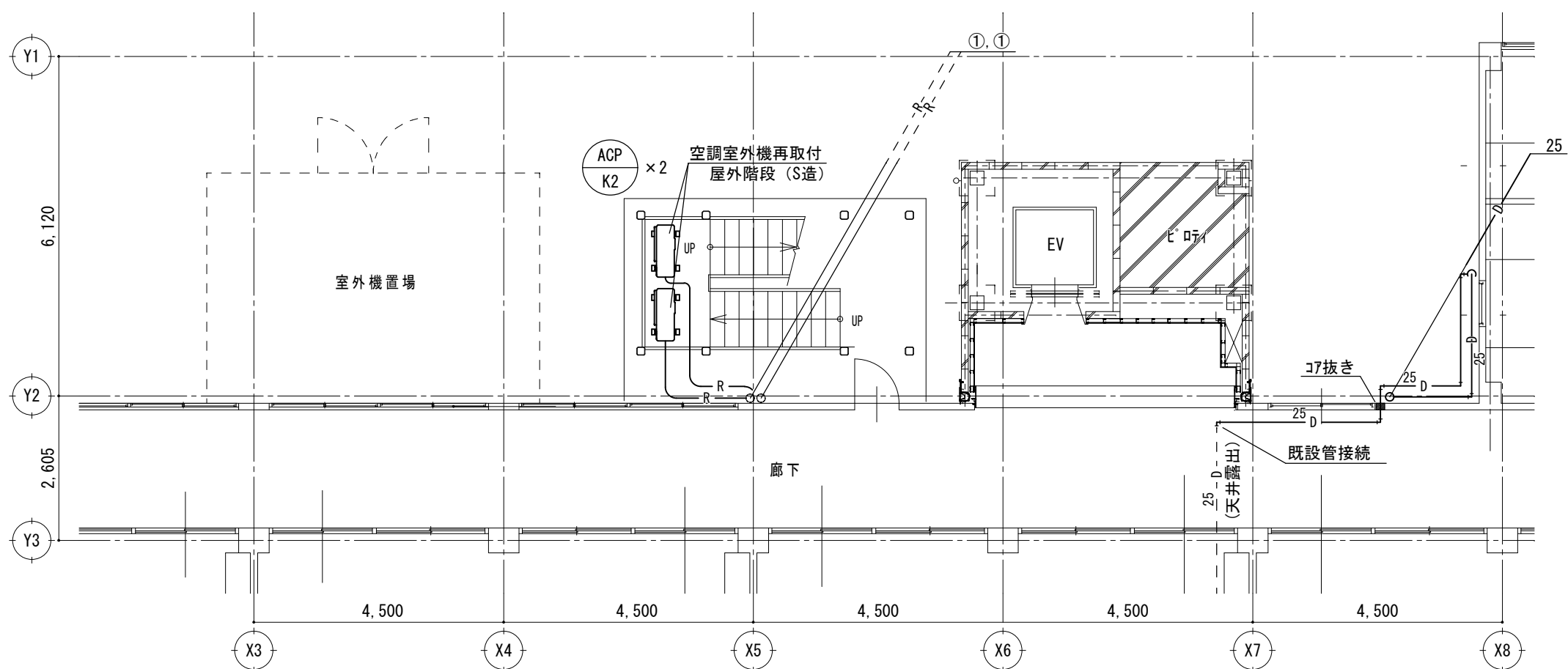
■sheet no.

M-12  
原図: A2

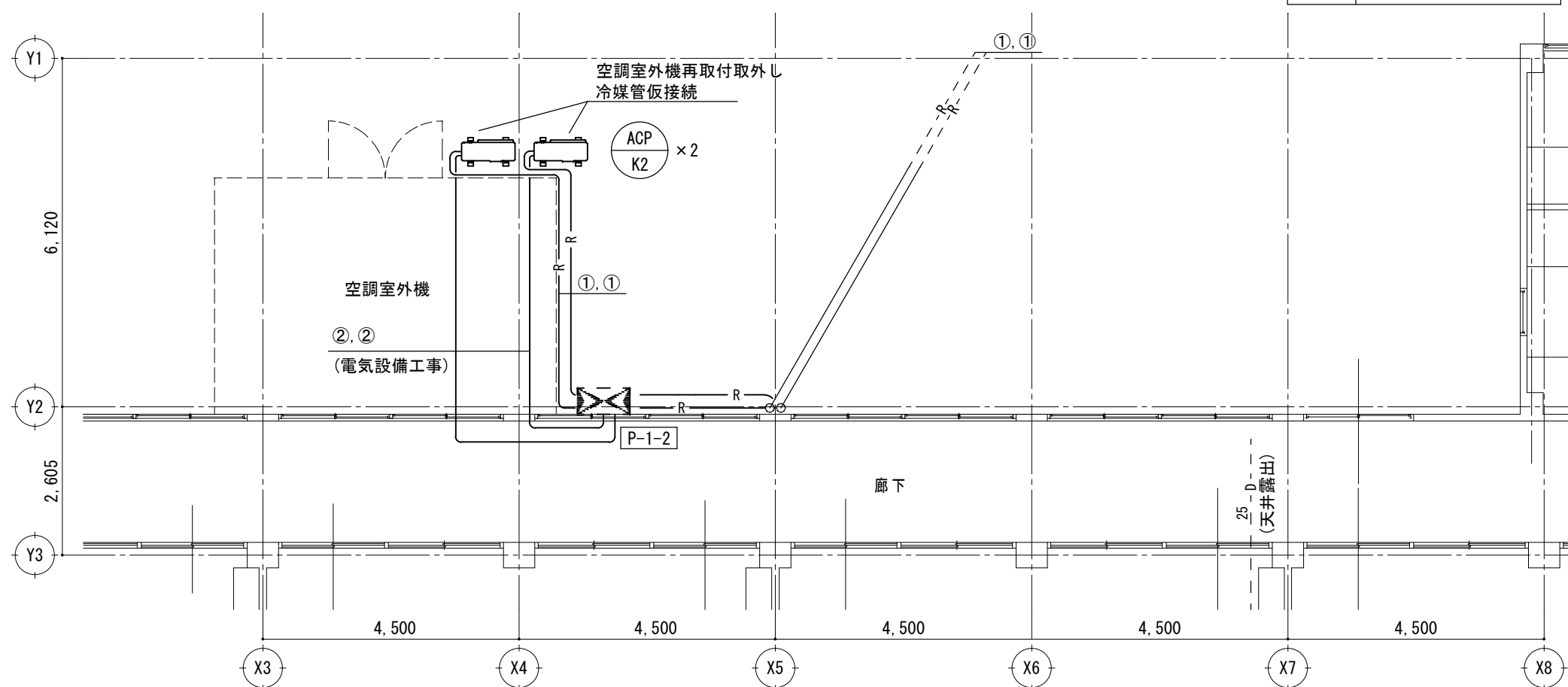
1 階平面図 (改修前)



1 階平面図 (改修後)

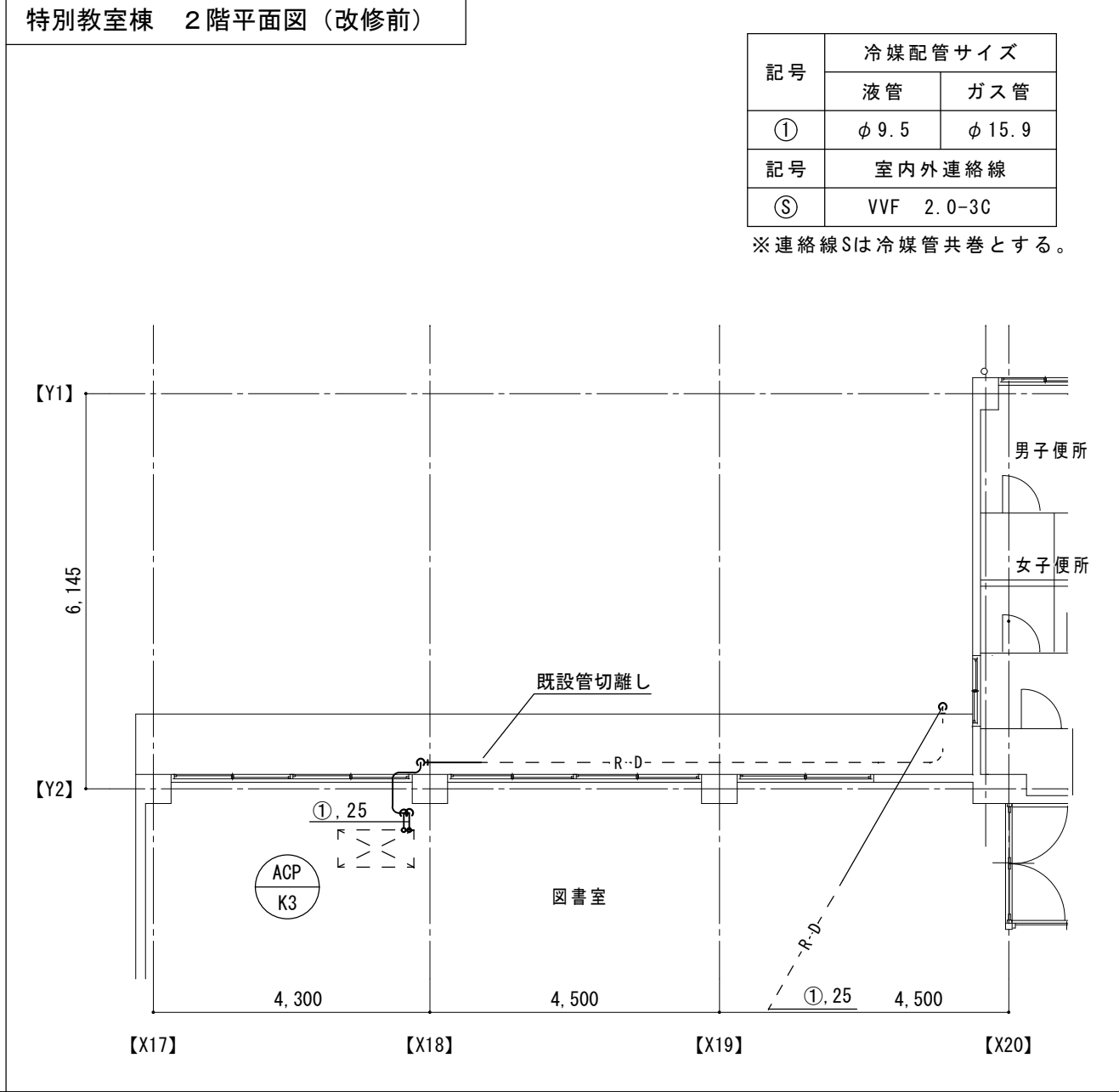
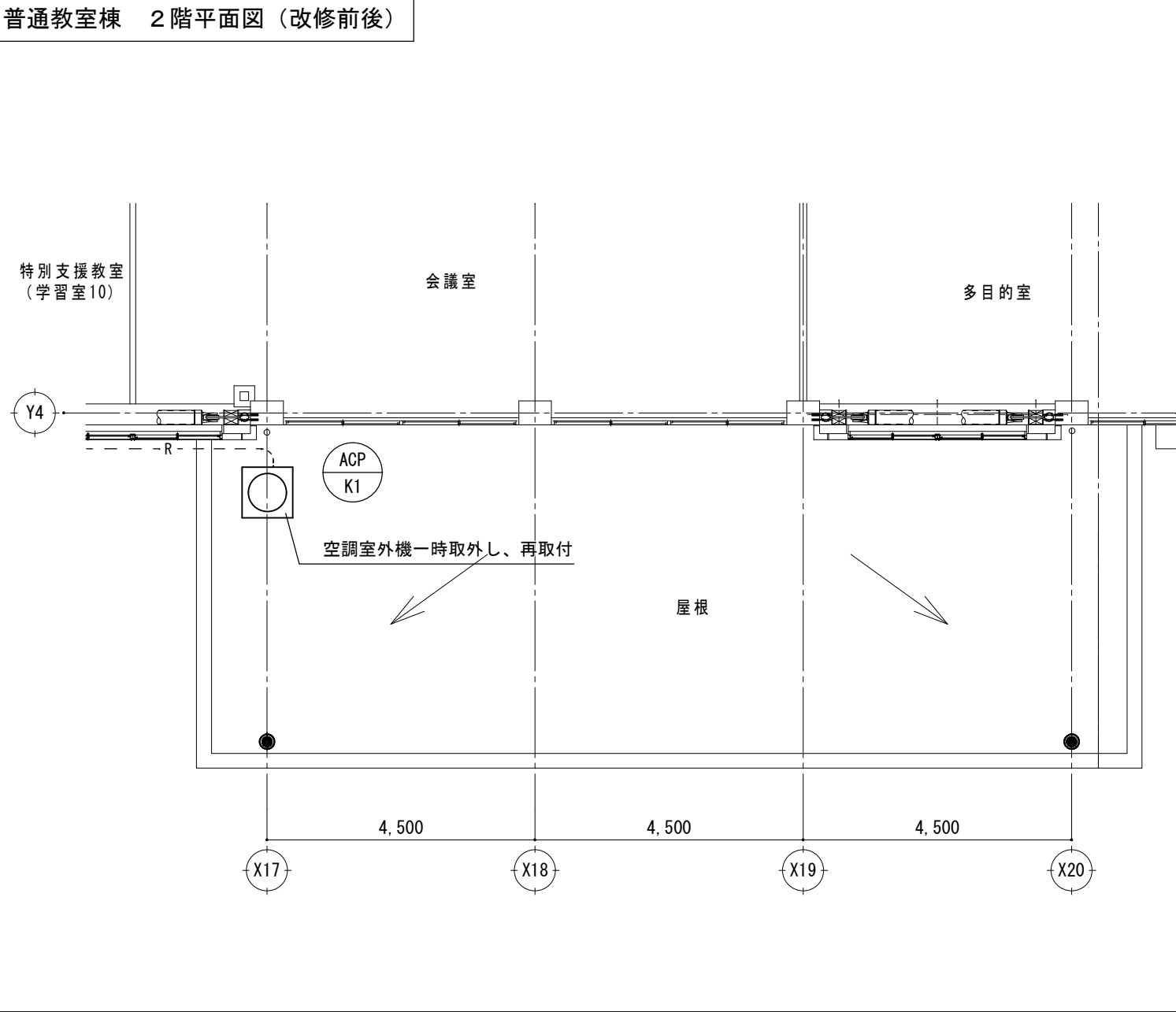
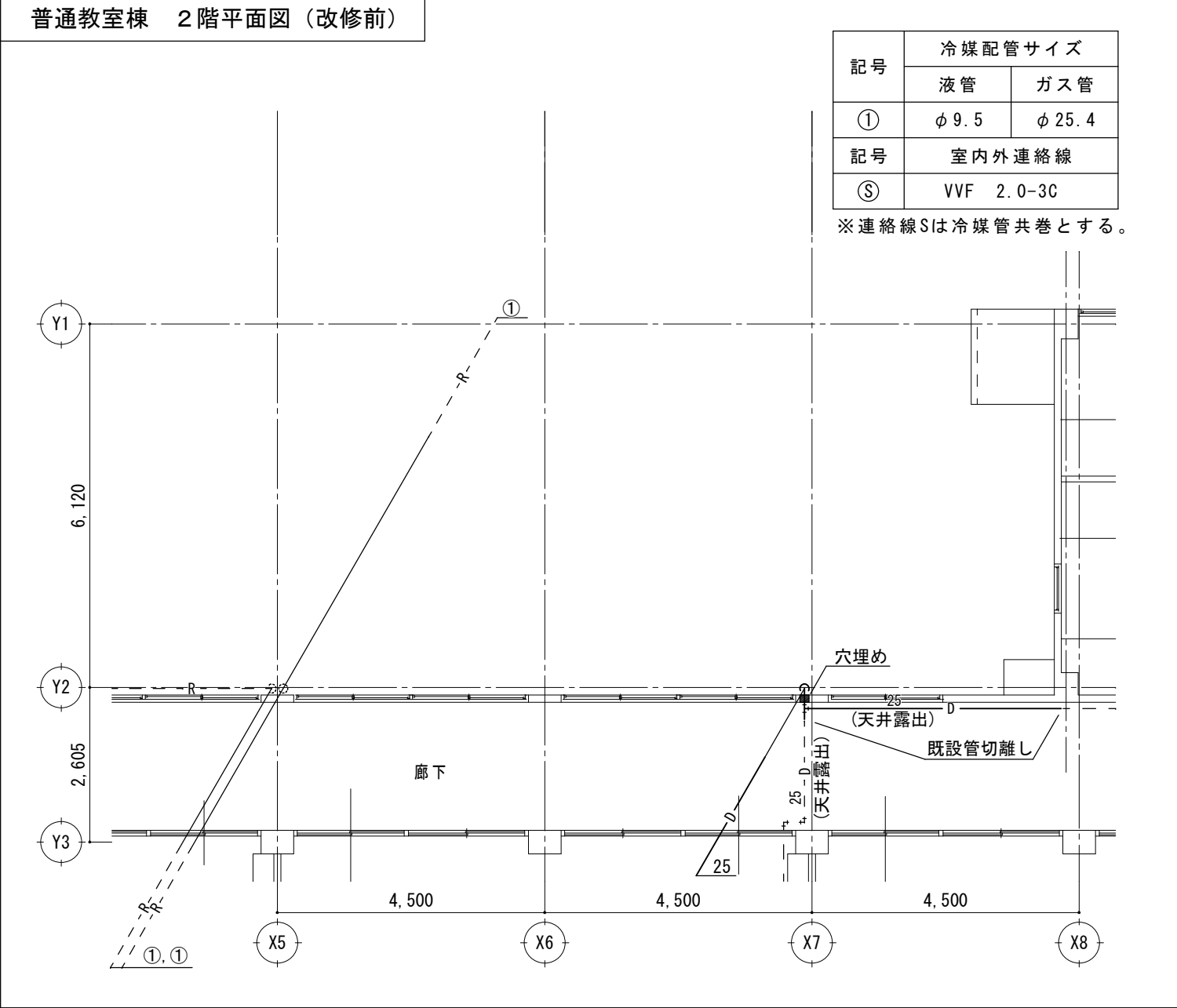
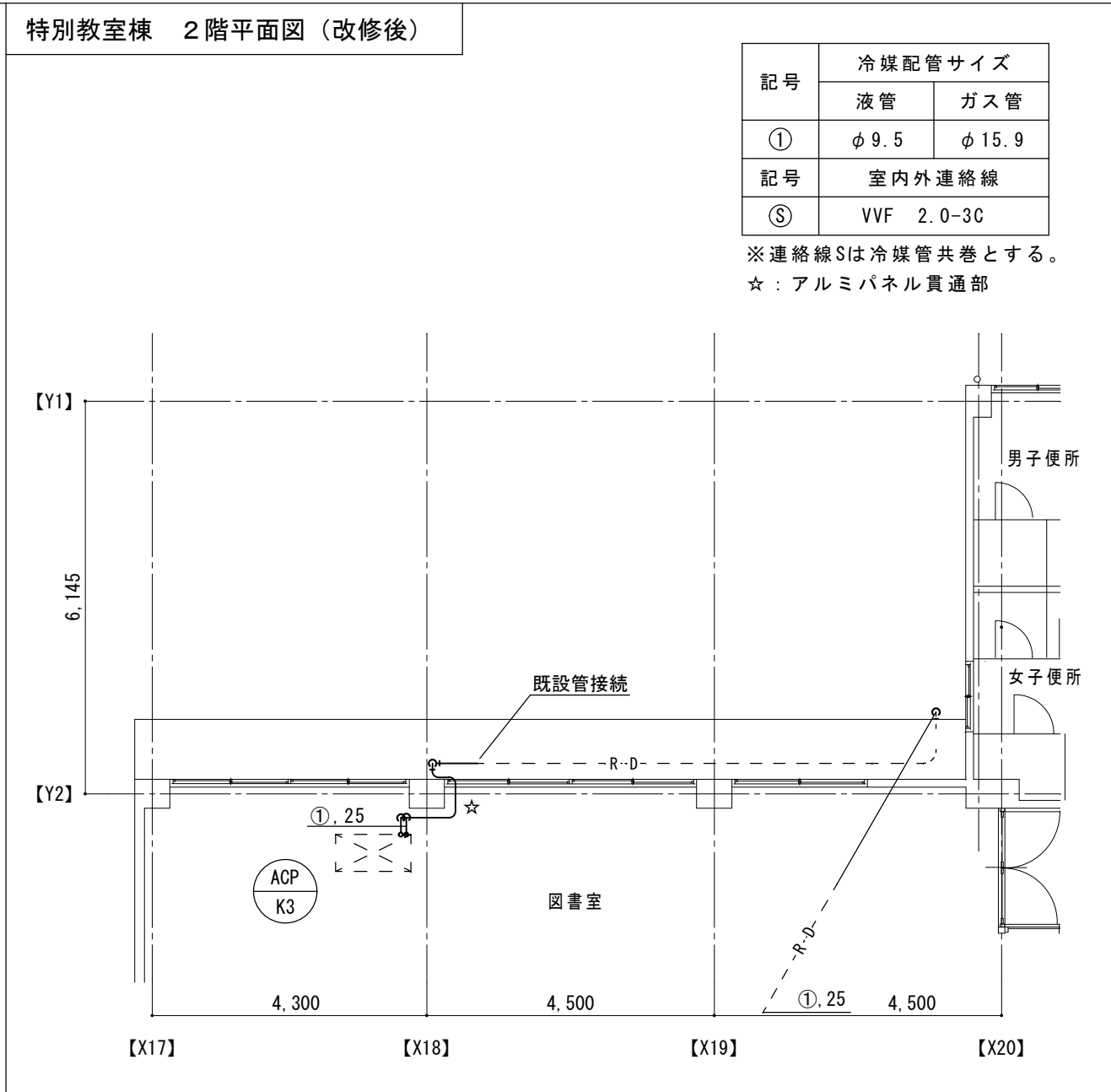
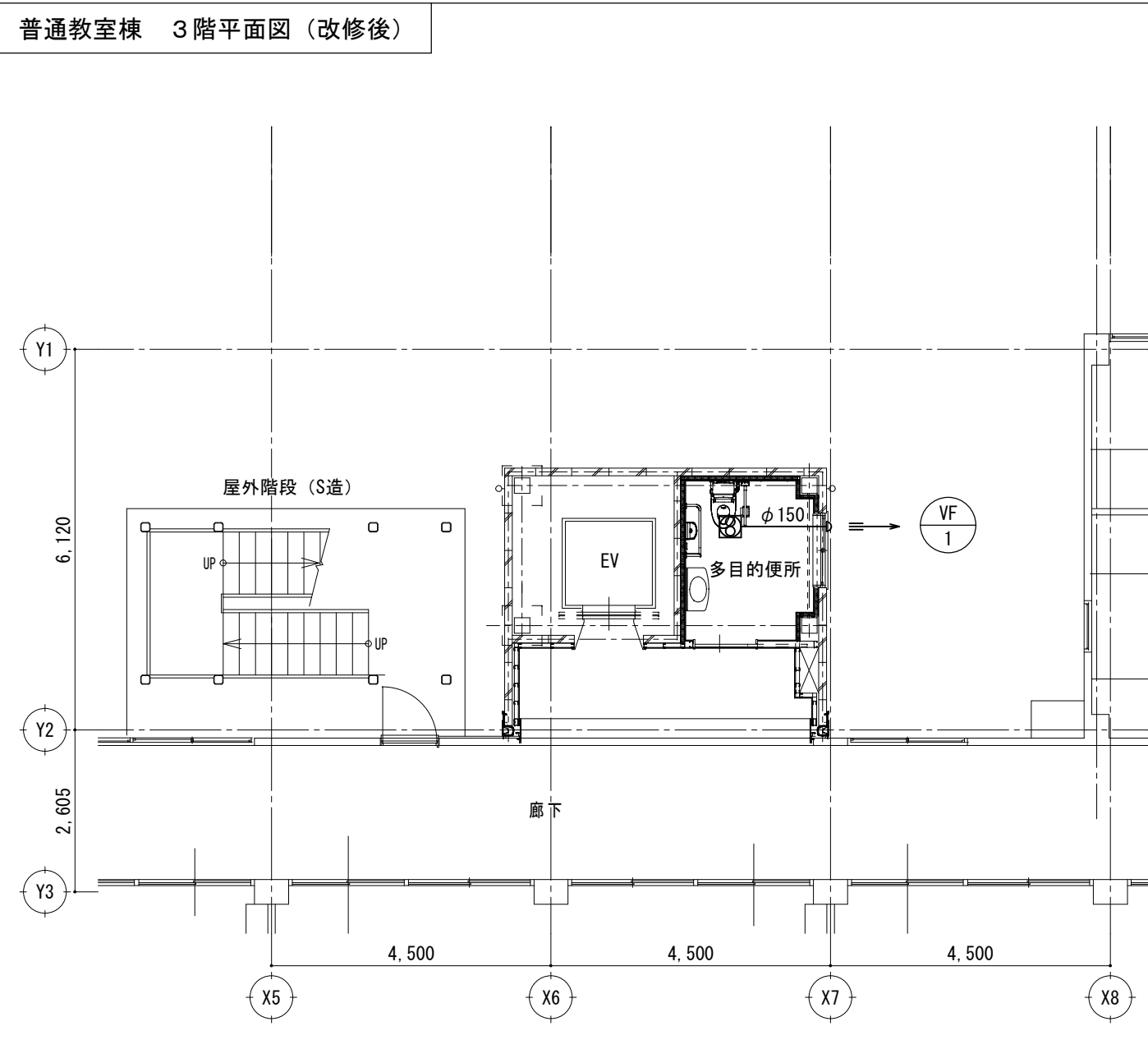
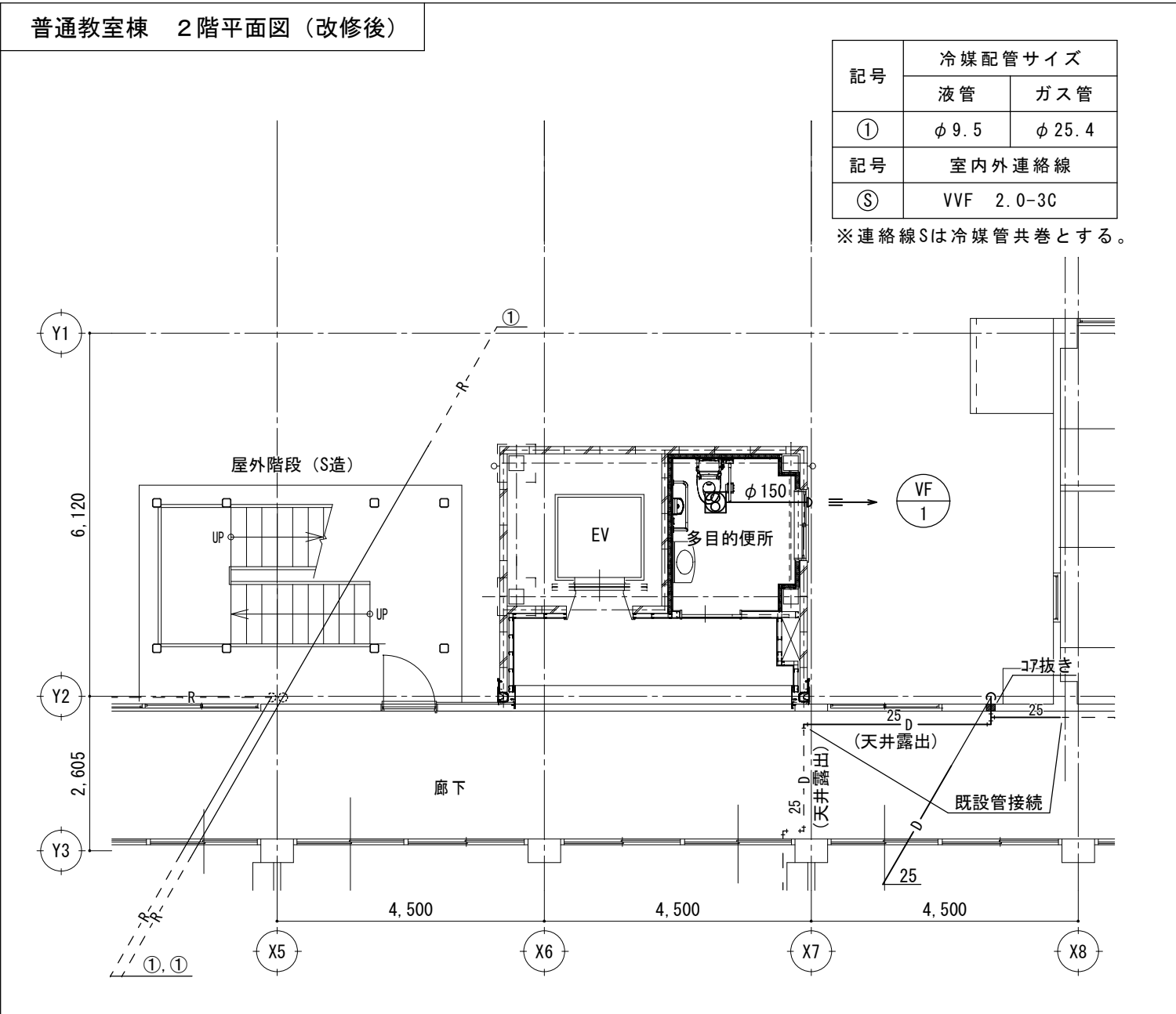


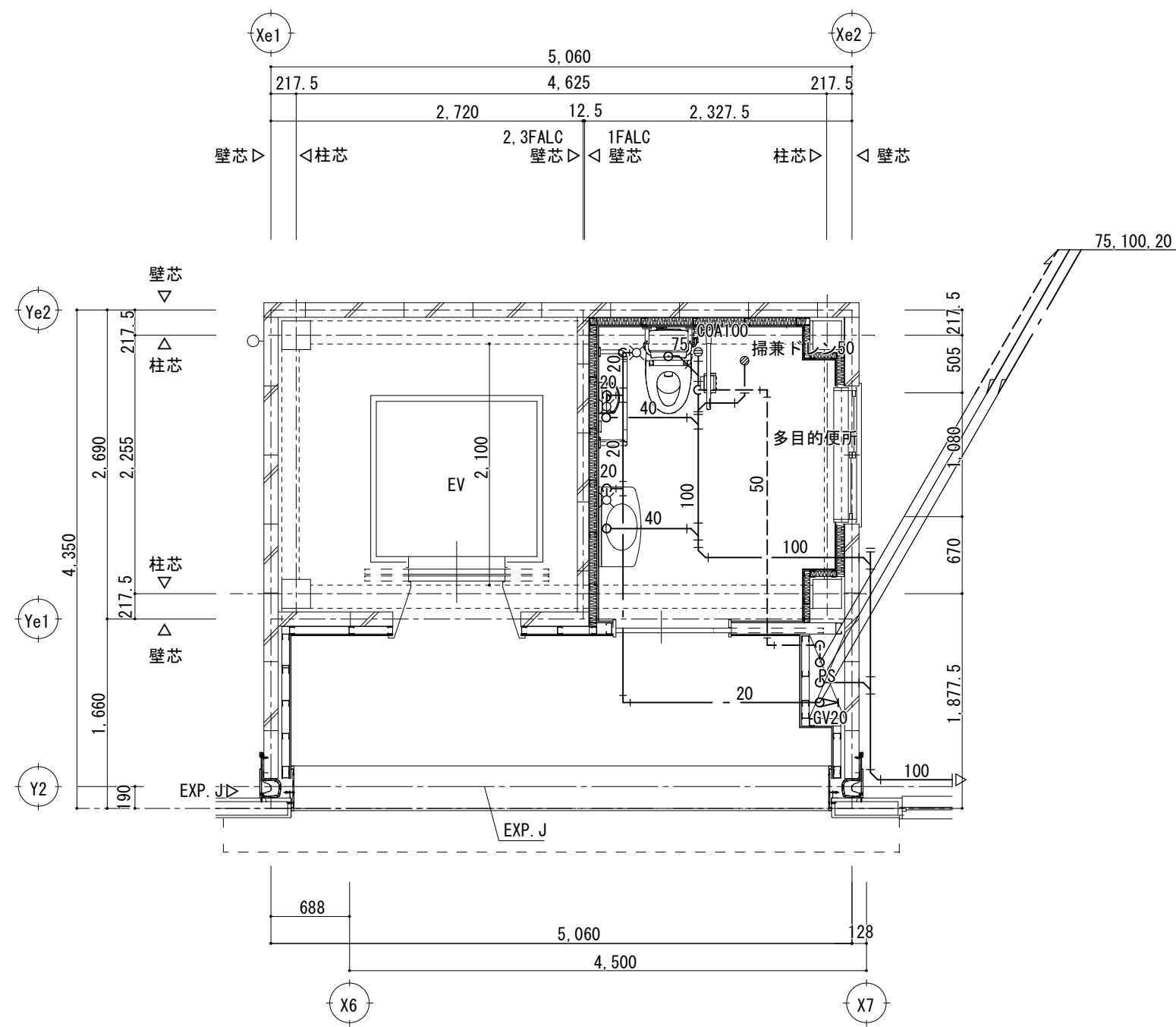
1 階平面図 (仮移設)



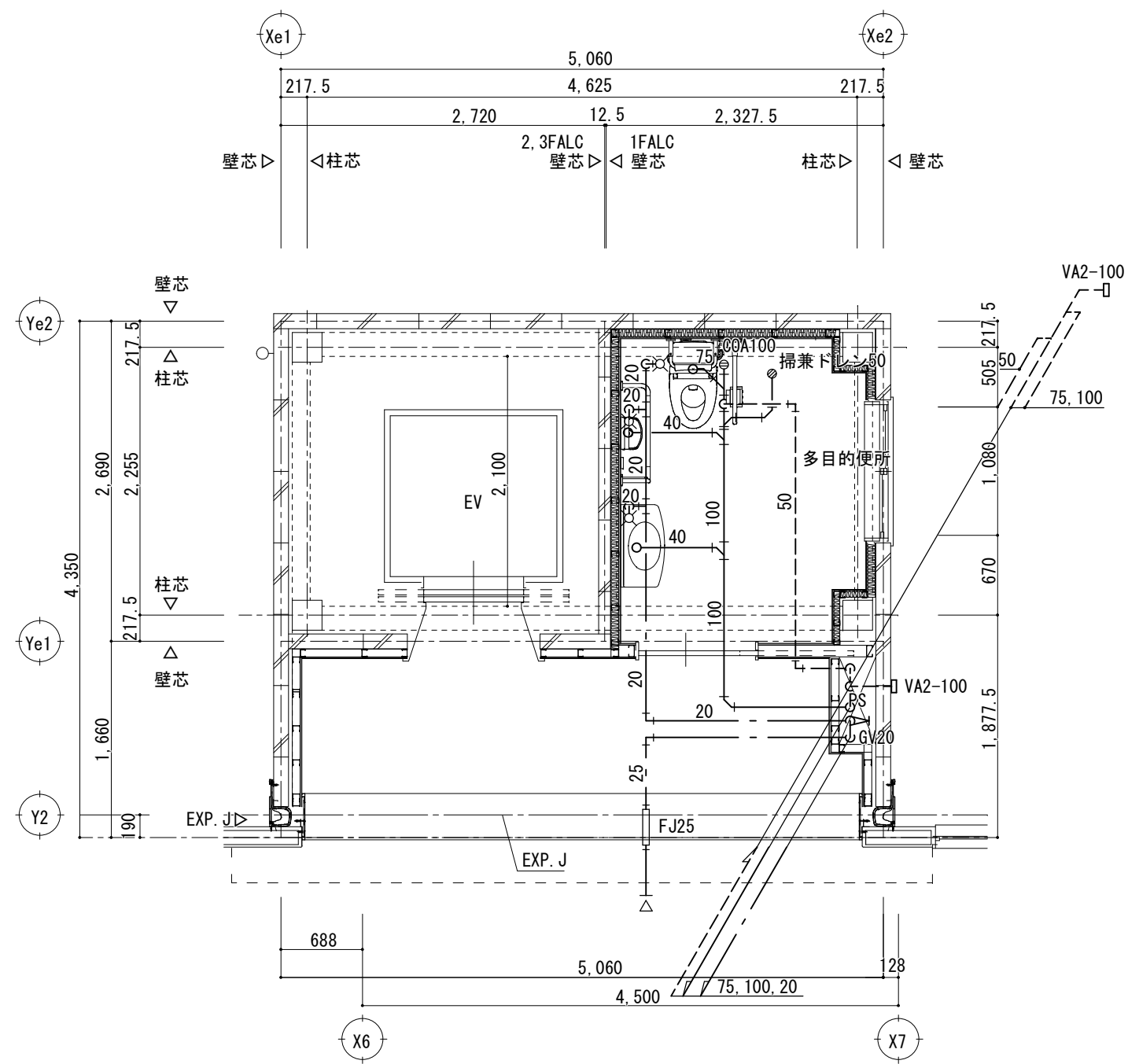
## 空調設備改修要領

1. 空調室外機の移設をおこなう。  
屋外階段の設置にともない、室外機の仮移設をおこなう。  
仮移設にともない、冷媒管および室内外連絡線、室外機電源を接続し、空調機が利用できるようにすること。  
冷媒管および室内外連絡線は新設撤去をおこなう。  
屋外階段の施工完了後、室外機の本移設をおこなう。
2. ドレン管は図示の通り、撤去新設をおこなう。
3. アンカーはケミカルアンカーとし、防振ゴムシート（ $t=10$ 以上）を敷くこと。
4. 室外機はSUS製フルートにて固定、ワットにて締付けすること。





2階平面詳細図 S=1/50



3階平面詳細図 S=1/50

※各階毎に満水継手を設置し、満水試験を実施すること。  
※配管架台は溶融亜鉛メッキとする。

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	P11-CO
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法開口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	01号機
その他仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版
	敷居間隔	10mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	乗場視覚障がい者用注意名板（追加分）	3枚
	地震時管制運転方式	P波＋S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消機能	あり
	乗場三方枠	大枠床広幕板なし 351mm～600mm ステンレスヘアライン（1～3階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（1～3階）
	乗場敷居	アルミ製（1～3階）
	乗場インジケータ	一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1～3階）
	乗場インジ	一体形ボタン ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1～3階）

乗場仕様	乗場インジ	乗場インジ運行表示灯1
乗場仕様	乗場インジ	乗場インジ専用乗場ボタンプレート
乗場仕様	乗場インジ	車いす専用乗場ボタン
乗場仕様	乗場インジ	乗場停止スイッチ
乗場仕様	乗場インジ	乗場停止スイッチ取付位置

かご室仕様	天井	天井
かご室仕様	正面壁	化粧鋼板
かご室仕様	側面壁	化粧鋼板
かご室仕様	袖壁材質	ステンレスヘアライン
かご室仕様	出入口上板	化粧鋼板
かご室仕様	かご室戸	化粧鋼板
かご室仕様	巾木	アルミ製
かご室仕様	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
かご室仕様	かご室敷居	アルミ製 2枚戸両引き用
かご室仕様	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
かご室仕様	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
かご室仕様	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
かご室仕様	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
かご室仕様	正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（10.1インチ）
かご室仕様	かご操作盤液晶インジケータ表示言語	2カ国語表示（日本語、英語）
かご室仕様	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
かご室仕様	車いす専用正かご操作盤インジケータタイプ	ドットLED（橙色）
かご室仕様	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
かご室仕様	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
かご室仕様	かご室換気	DCファン
かご室仕様	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）
かご室仕様	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾500）
かご室仕様	キックプレート	板厚2.0ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
かご室仕様	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
かご室仕様	床保護マット	あり

その他仕様	挟まれ防止ドアセンサ	あり
その他仕様	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサ）
その他仕様	遮煙機能	大臣認定品 2枚戸両引き用（1～3階）
その他仕様	点字名板取付方法	接着
その他仕様	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
その他仕様	おもり非常止め	なし
その他仕様	火災時管制運転方式	火報信号運動式
その他仕様	インターホン型式	6V1局
その他仕様	かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス
その他仕様	かご室スピーカー	あり
その他仕様	高調波対策種類	DCリアクトル（Ki＝1.8）
その他仕様	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2～3階）
その他仕様	レール支持方式	1フロア1ブラケット
その他仕様	煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付 【標準】
その他仕様	構重ビーム手配	エレベーター手配（施工後撤去あり）
その他仕様	仮設動力電源	1式（NAW03363）

## No.01号機

### 除外工事項目

#### 建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事  
（昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に対して、たわみは1mm以下となる部材を設置すること）
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
- 乗場機器取付け後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器揚置用のフック又はビームの設置工事（—kN）／台— ※別図による
- 通道階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から125mm以下）
- ビット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ビット床下部使用の場合の建築対策工事
- ビットが深い場合の埋め戻し・浅い場合はのり工事
- 段違いビット時のビット内保護構工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事  
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行うってください  
（対策例1）昇降路の壁（R）を厚くする  
※（200mm以上推奨）  
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（R）に直接接しない工法とする  
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする
- その他建築に関する工事

#### 設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（築ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×1.0本）／台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継室まで）
- 建設設備運動に必要な接続供給工事
- ビット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）  
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある  
かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）  
・5C～2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（平成12年建設省告示1413号第1第三号二により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります）  
発熱量 エレベーター駆動部（ $\frac{Q}{A}$ 5台）1  
＋エアコン（—W／台）
- 監視設備電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

#### 仮設工事関係

つぎの事項について、弊社で用意する場合は別途見積りとなります

- 据付工事用現場詰所および材料置場
- 据付工事用および試運転調整用電力、セメント、小石等
- 据付工事用の仮設電源（本設電源と同じ電源仕様に支給願います）
- 重量物の搬入に支障のない通路の確保
- 重量物の搬入横引き距離は30m以内とする
- エレベーターシャフトが隣接する場合の落下物防止区画対策・安全対策（ネット等）
- 安全柵の先行取り付け  
＊着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む
- 展望用エレベーターの場合の施工時のガラス部分養生

#### エレベーターの工事使用に係る件

- エレベーターを工事に使用される場合は、別途契約が必要です

##### 工事関連事項

- 現場検査立会とは、【完了検査】【引渡（施工）検査】の2回と致します
- 乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等、標準施工手順と異なる施工は本工事には含まません
- 施工写真撮影は本工事には含まません

### 注意事項

- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm² 以上のこと
- 電源電圧の変動は＋5%～－10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること  
（1）昇降路内の温度は－5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと  
（2）金属を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと  
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化水素ガス、アンモニアガスおよび海岸地区における潮風  
※昇降路標準環境の基準例  
硫化水素ガス…H2S＝0.005〔ppm〕以下  
亜硫酸ガス…SO2＝0.01〔ppm〕以下  
塩化水素ガス…HCl＝0.05〔ppm〕以下  
塩素ガス…Cl2＝0.005〔ppm〕以下  
アンモニアガス…NH3＝0.1〔ppm〕以下  
海岸地区における潮風…海岸より2km以上の地区（ブルサイドの場合は上記塩素ガスCl2基準値以下）  
※海岸より2km未満、ブルサイドの場合は昇降路内に潮風、ブル方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること  
②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵  
③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、炭粉  
（3）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと  
電磁波の電界強度が10V/m以下の環境とすること  
（4）原則、昇降路の設置場所は標高1000m以下の高さとすること
- （1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと（ひさし・風除室・水勾配・グレーティング・防潮板等）  
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、料置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管、ダクト等が露出しないようにすること  
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回路対応のものを使用すること
- 輸送可能な適応配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります  
次の対策をお勧めします  
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する  
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）  
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする

- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります  
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平12建告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります  
※法定のオーバーヘッド寸法確保および装置取付に支障が無いが、施工範囲と厚みを昇場機担当へ連絡し問題ないことを確認ください
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います  
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110、2130、JIS C-4034-1  
制御盤：JEM1021、1460  
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
- かごの内装デザイン等が別途工事の場合、品質保証（変色、はがれ、劣化等の外観変化）対象外となります  
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を順守のこと  
材質：不燃又は難燃認定品  
構造：装飾品（鏡等含む）には、エレベーター非常止め作動時または縦衝衝突時は4G（縦方向）、地震時は1G（横方向）相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ接着固定による劣化を考慮した取付構造とすること  
照度：かごの床面で50ルクス（乗用、乗台用以外にあっては25ルクス）以上の照度とする  
建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります  
・かご照明の自動停止機能により、照明のON/OFF回数が多い  
・かごの昇降による振動がある
- 施工作業時間条件：月曜日～土曜日 8：00～17：00  
尚、施工作業期間の内「4週6休」就労をさせていただきます

#### 乗場遮煙ドア設置上の条件

- 乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧a接点、接点電圧DC24V）

#### 外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。

管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要があります。

（建築基準法施行令第129条の10第3項第三号）  
もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。

- インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。  
管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
- 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。  
例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。

■memo

■check

client

architect

contractor

■scale

S=NONE

■drawing title

エレベーター詳細図（1）

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

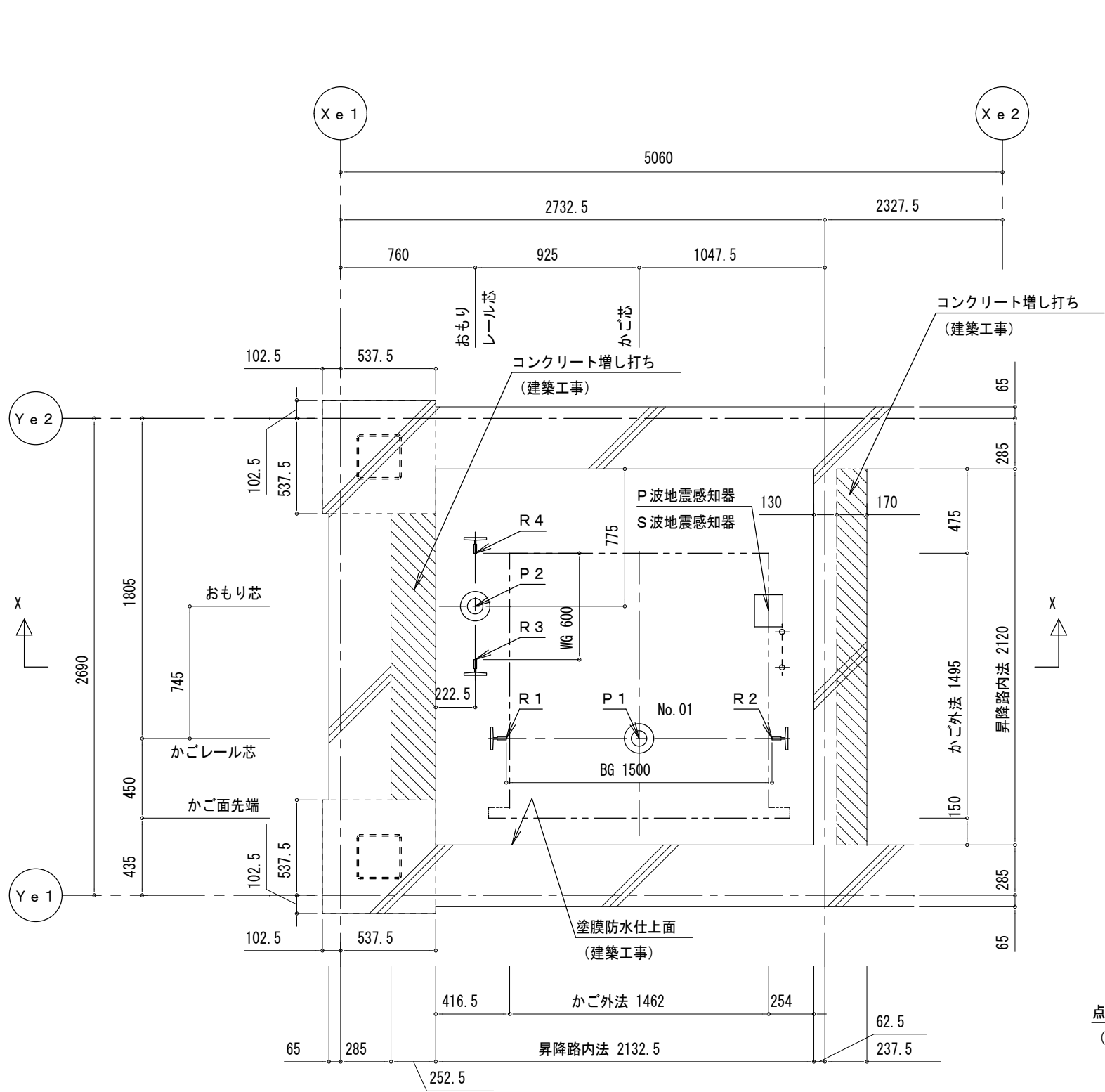
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
—(有)—興匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

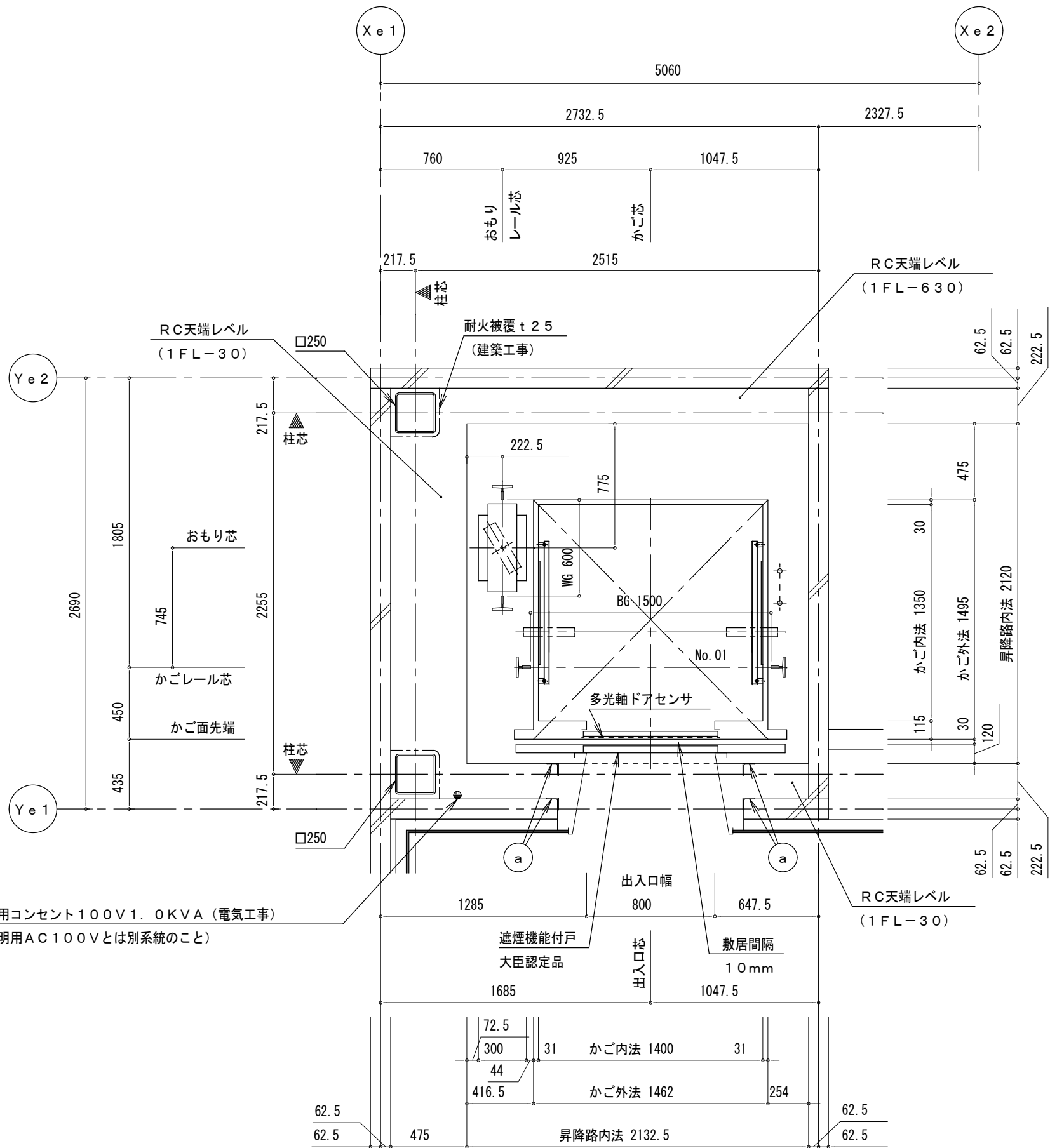
■sheet no.

EV-01

原図：A2



昇降路平面図 (1/30)  
(ピット)



昇降路平面図 (1/30)  
(1階)

部材記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事

高調波対策（高調波流出電流計算値）

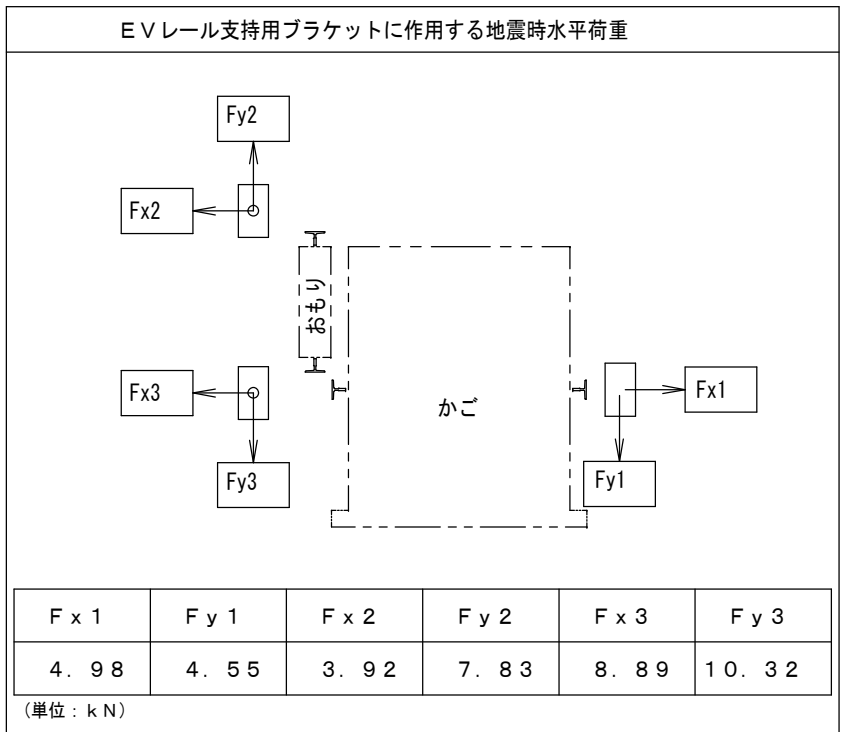
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P _i (kVA)	回路分類 細分N _{o.}	6パルス 換算係数 (K _i )	6パルス等価 容量 [K _i ×P _i ] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I _n (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	O1号機 (750kg~45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (K _i =1.8相当)					33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。  
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$

NO. 01



注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

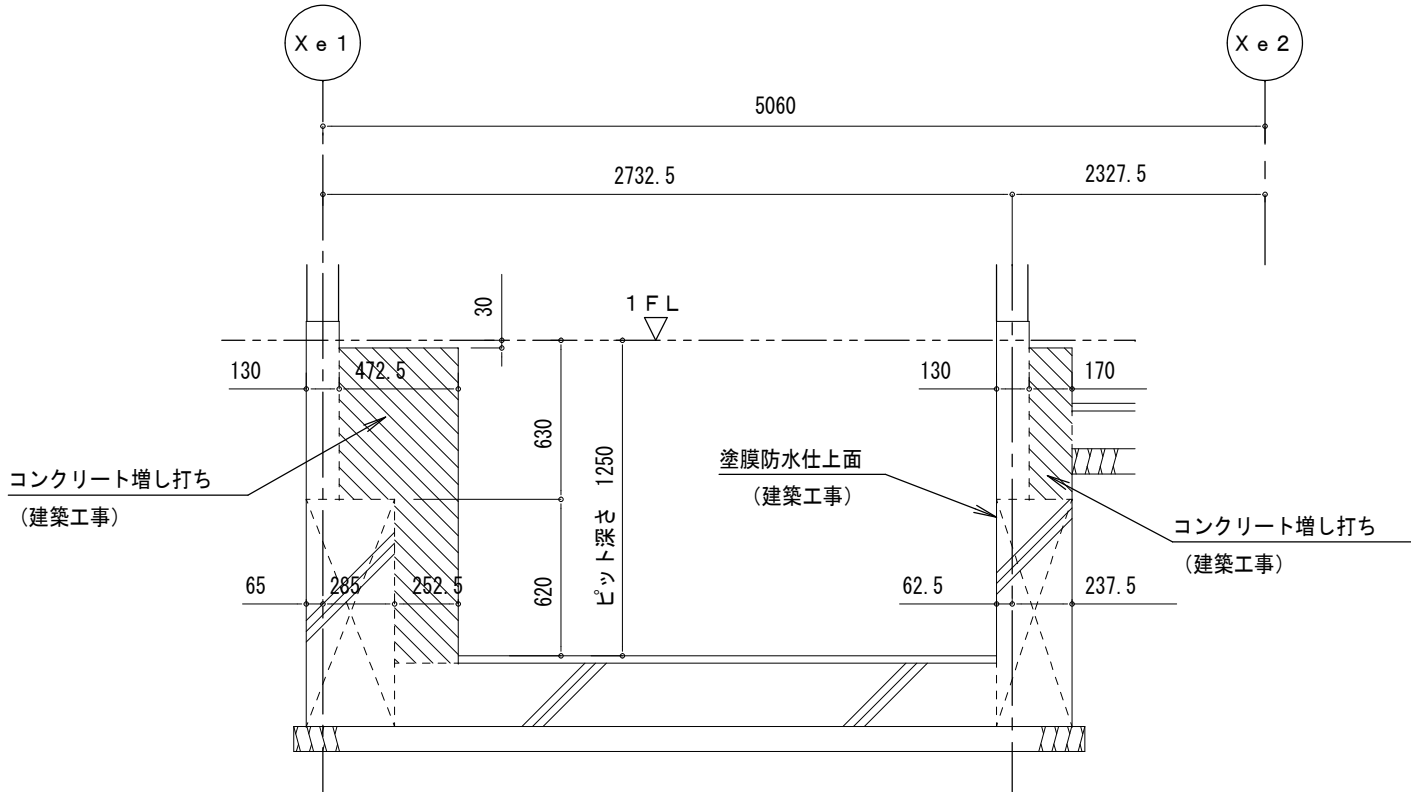
ピット荷重（短期荷重）	
P 1 (kN)	P 2 (kN)
75.2	63.5

レール下端部荷重（長期荷重）			
R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
3.6	23.4	43.4	19.8

ブラケット取付のため、  
ピット内の壁または梁は  
最下階F L面まで立ち上  
げて下さい（建築工事）

昇降路機器はピット底面・側面、  
梁・壁（コンクリートの場合）に  
あと施工アンカーにより取付を  
行います

図面は塗膜防水仕上後の  
有効寸法です。  
モルタル防水仕上の場合は  
仕上厚を考慮して下さい。



X-X断面

■memo

■check

■scale

■drawing title

■project title

■drawing no.

■sheet no.

client  
architect  
contractor

エレベーター詳細図（2）

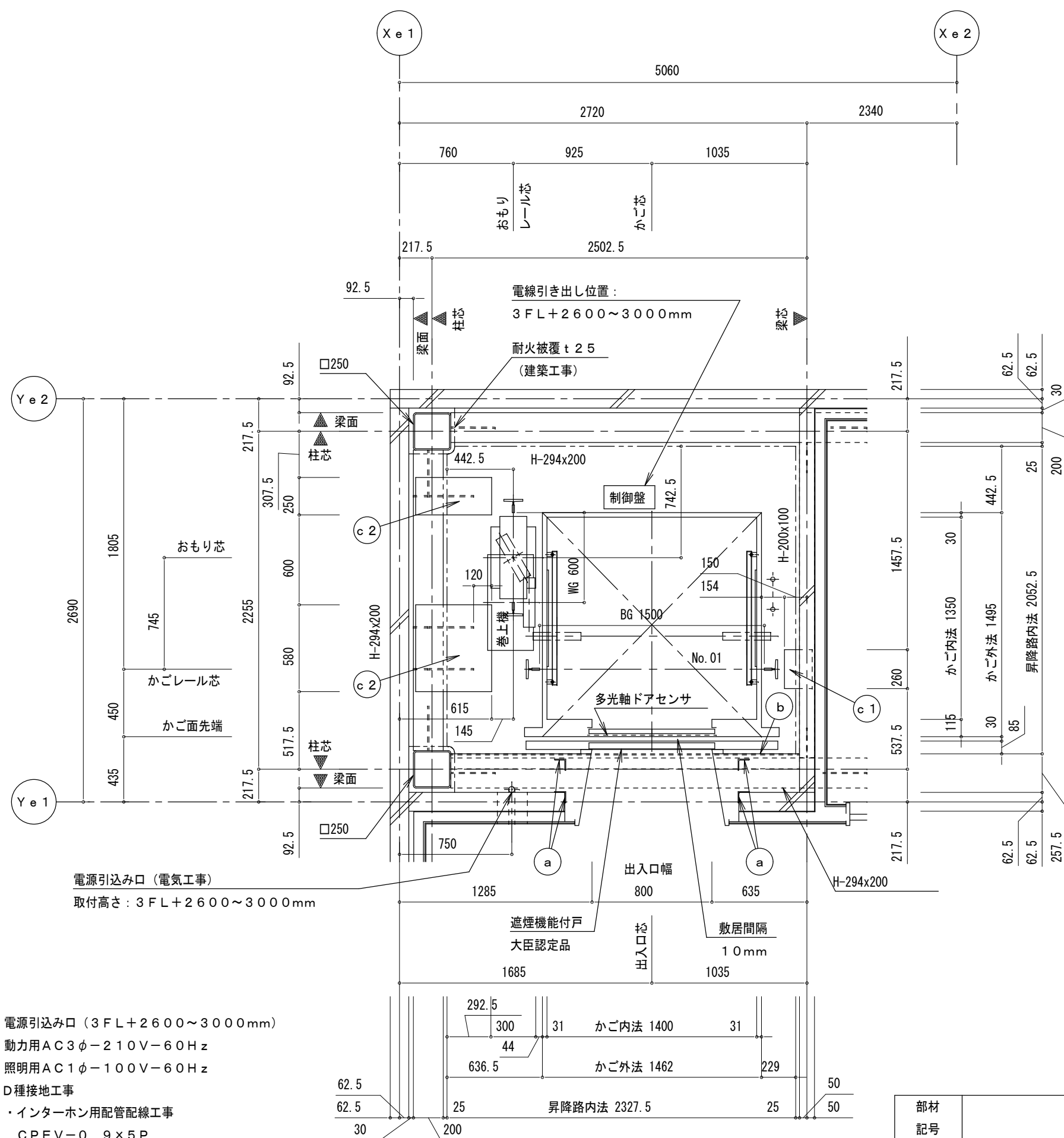
津市立白山中学校長寿命化改修工事

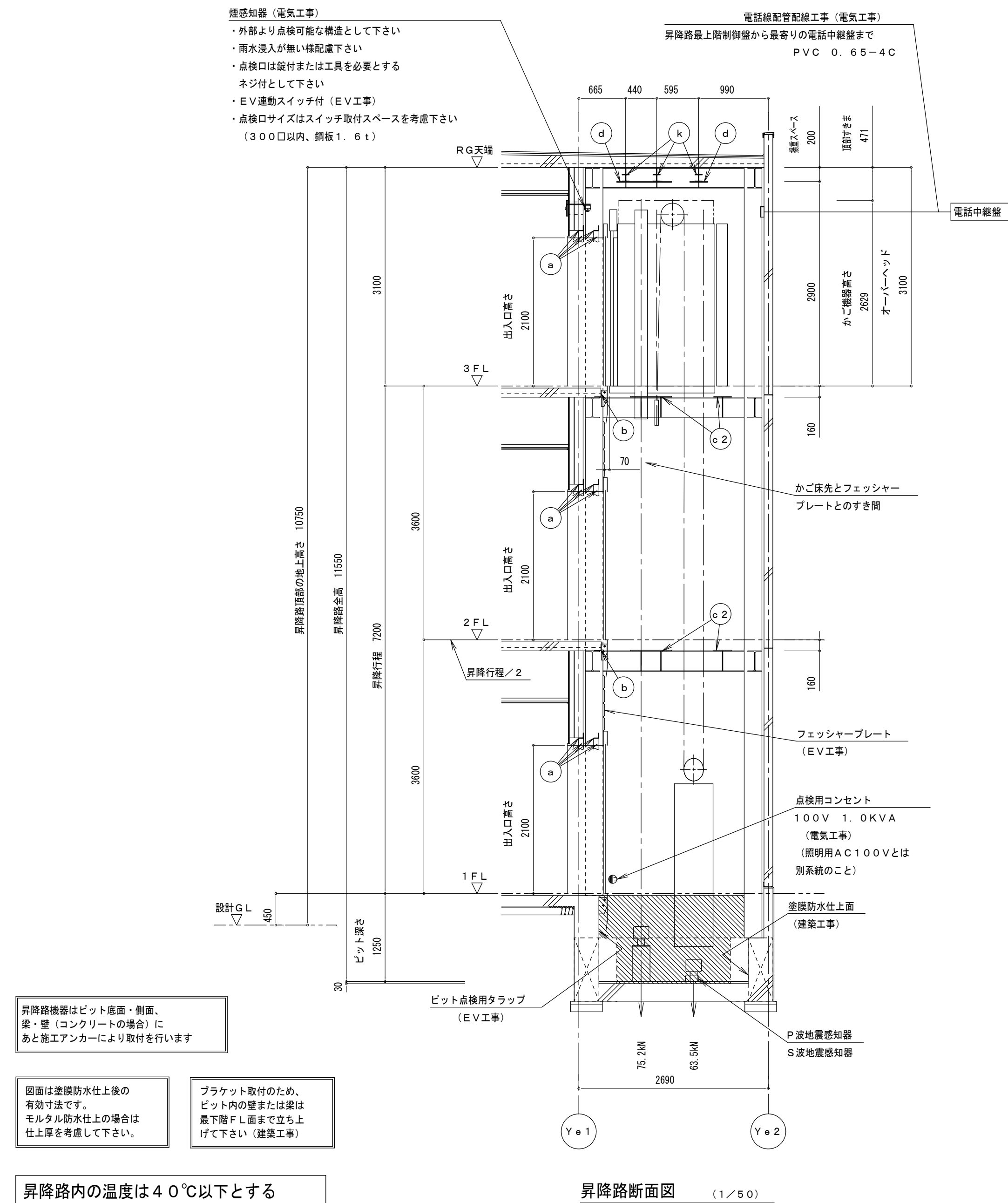
Kisho  
Architectural  
Design Office

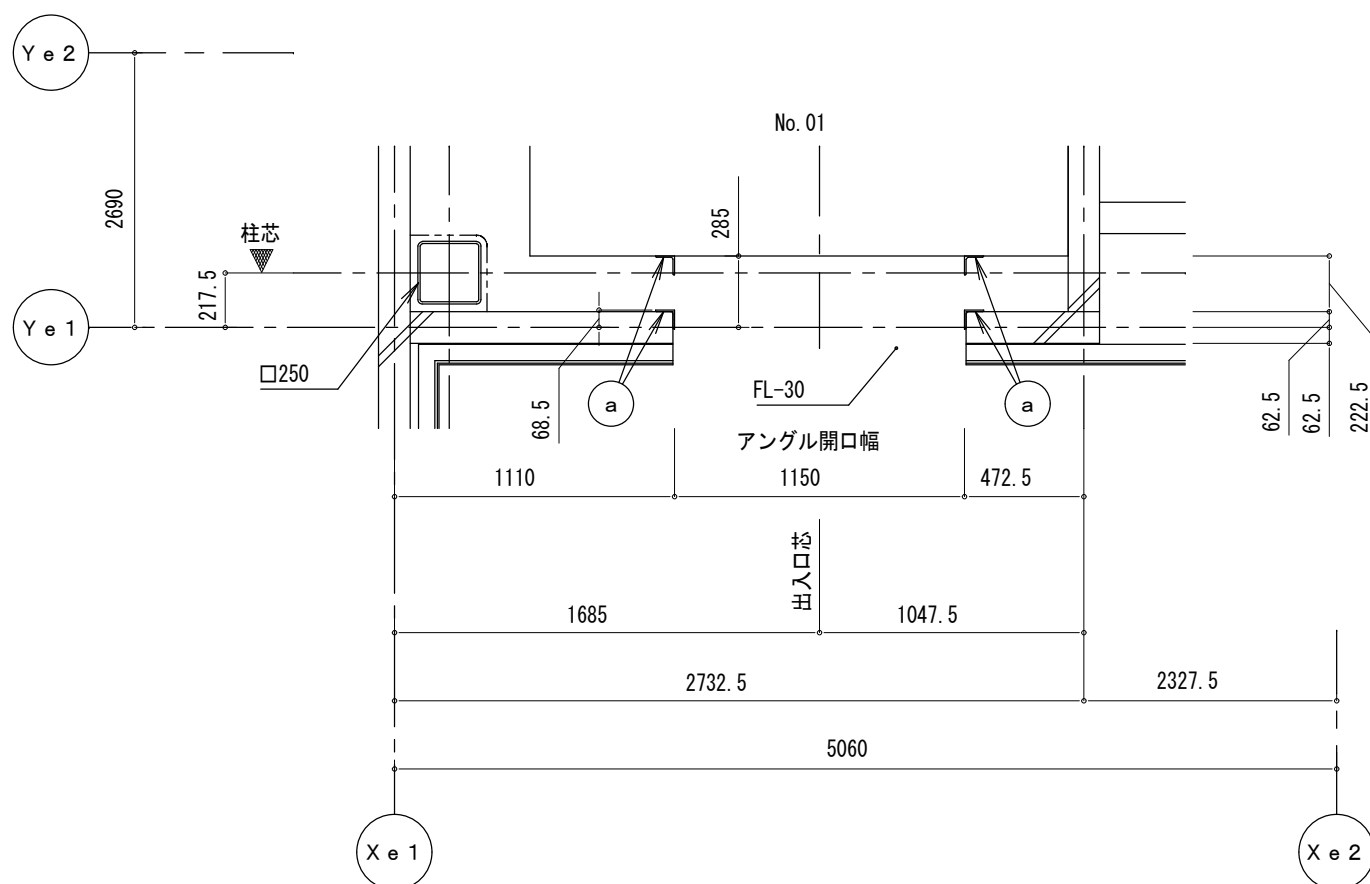
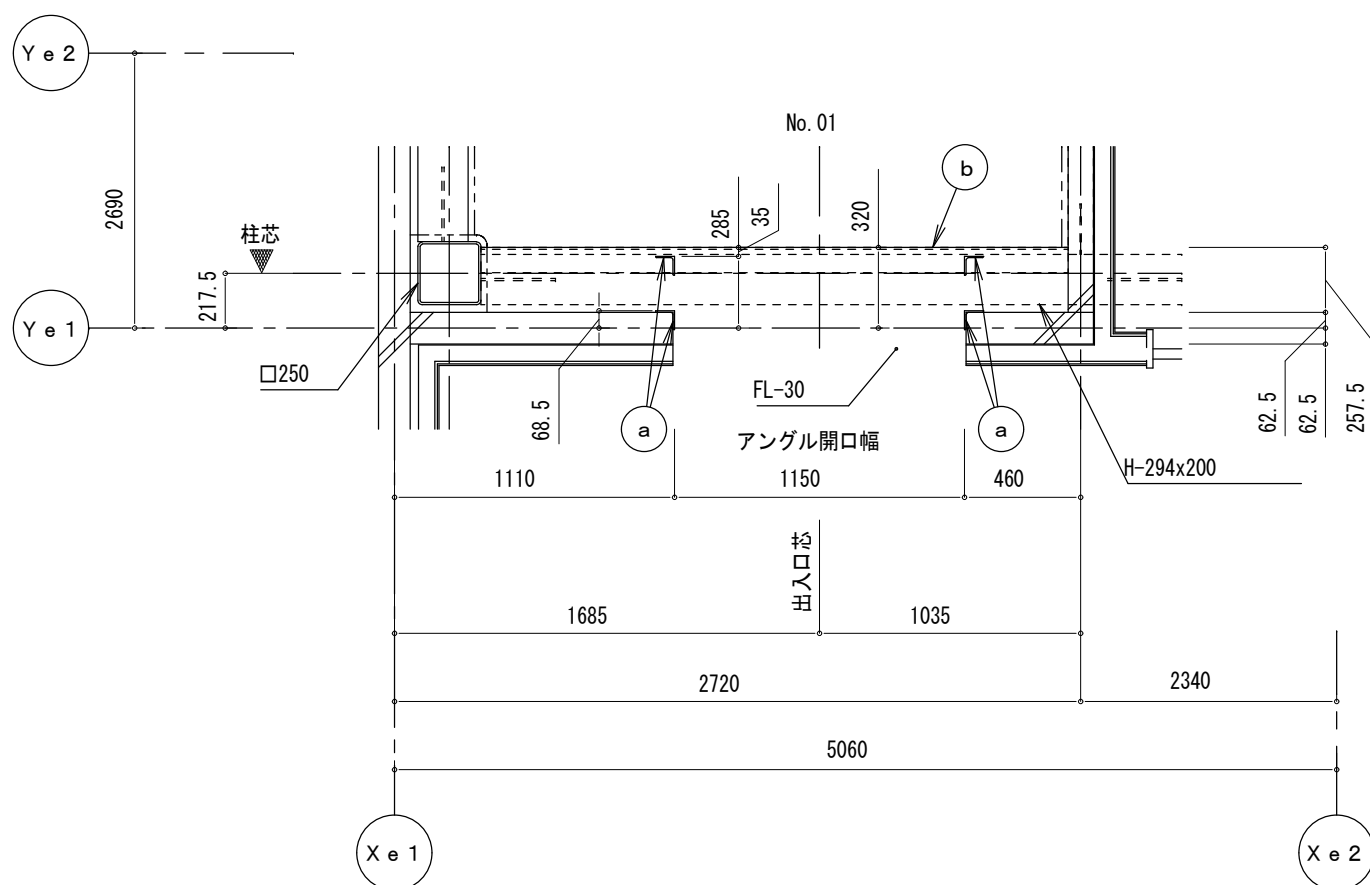
一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169号  
（有）興匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

EV-02

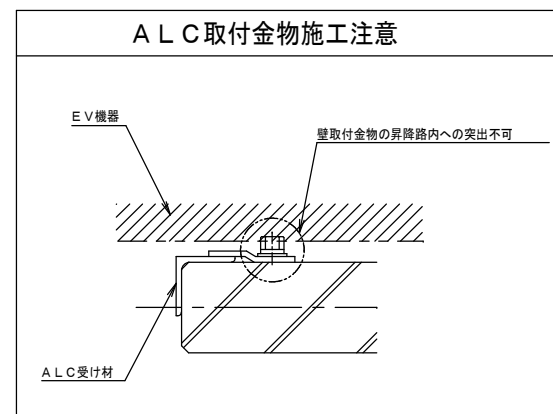
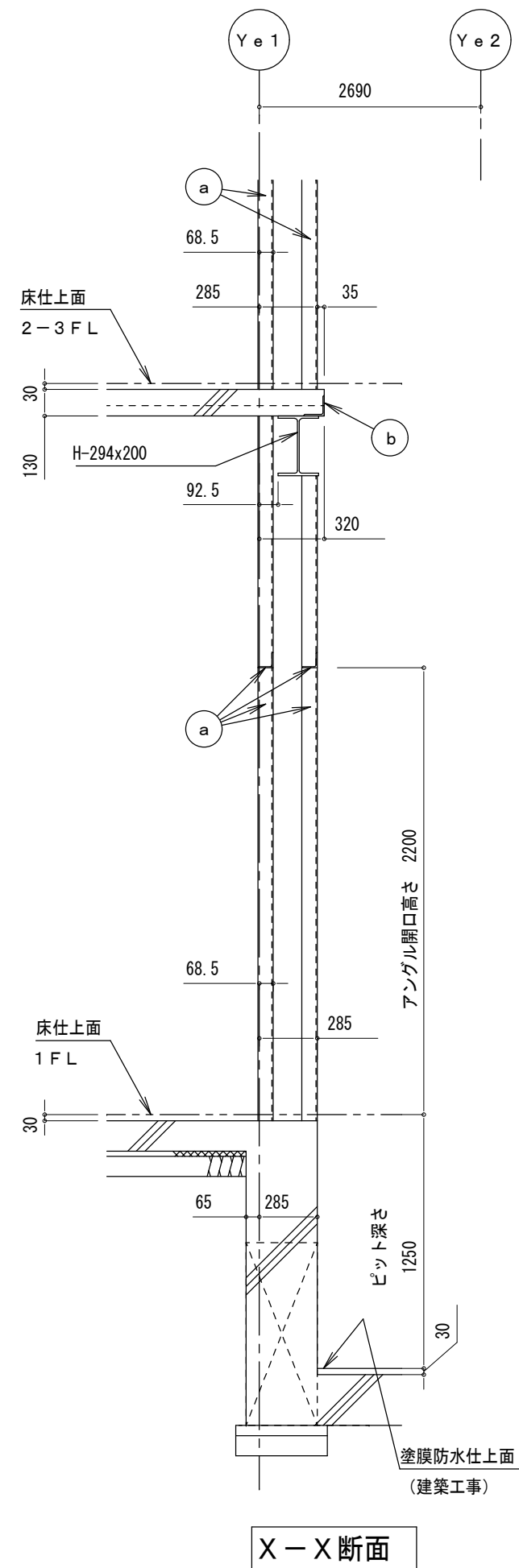
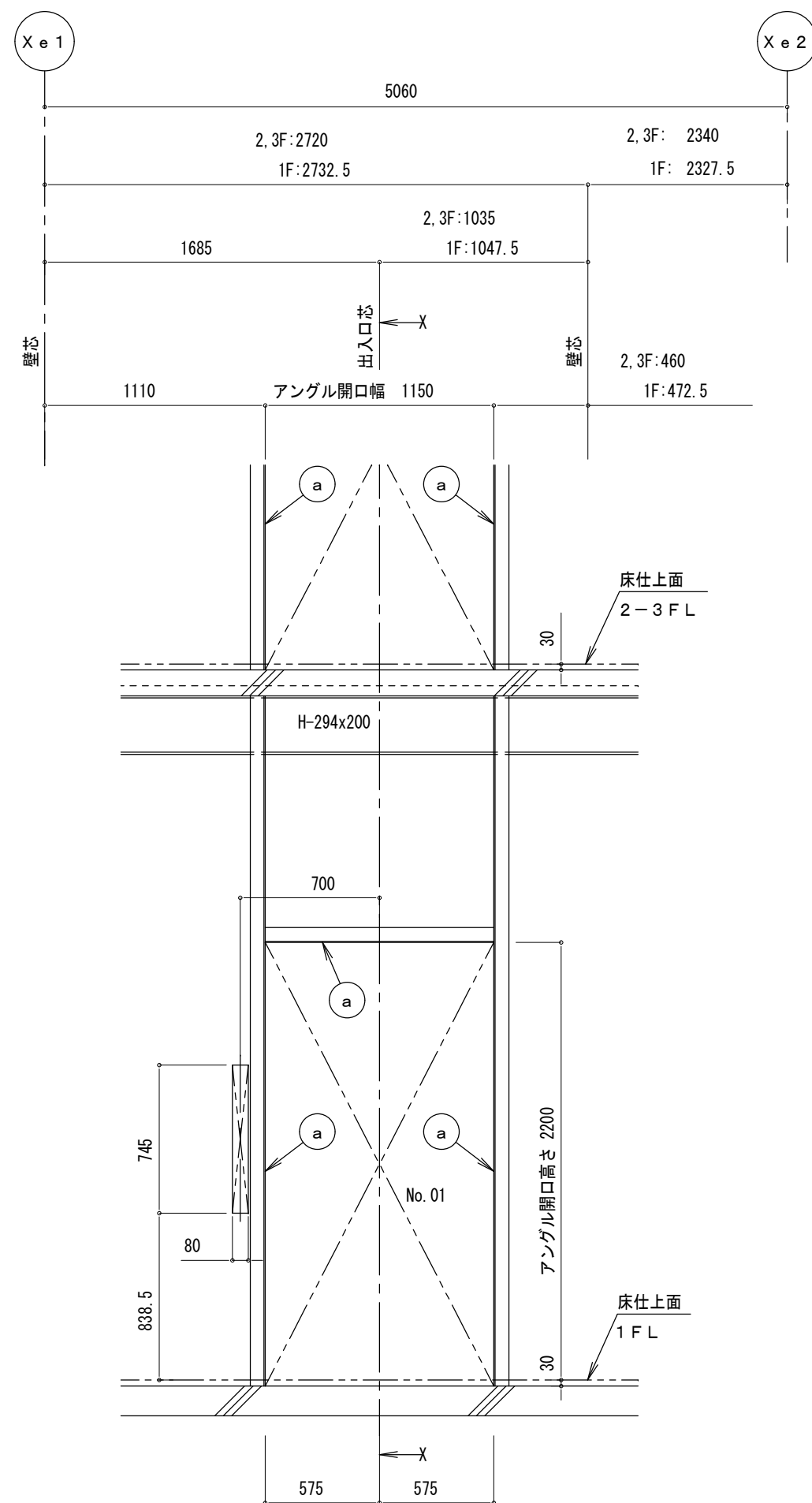
原図：A2

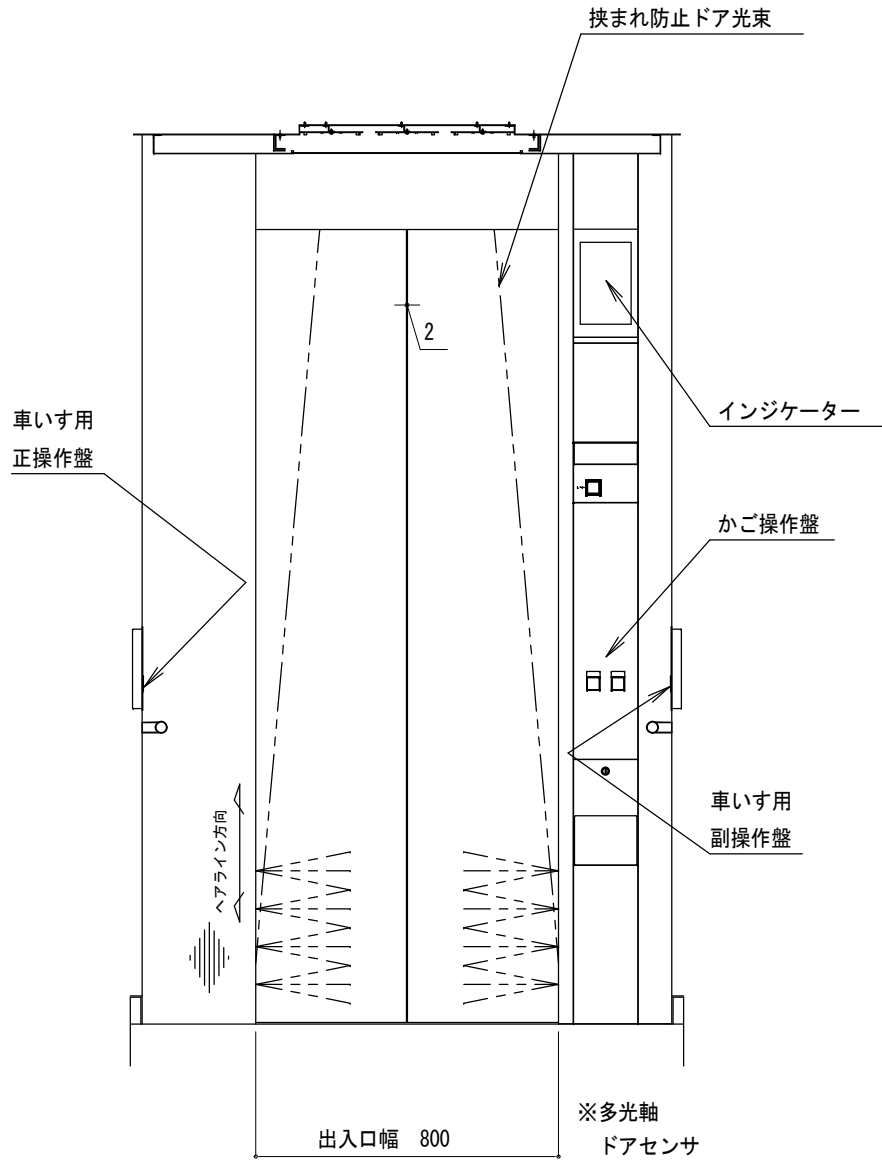




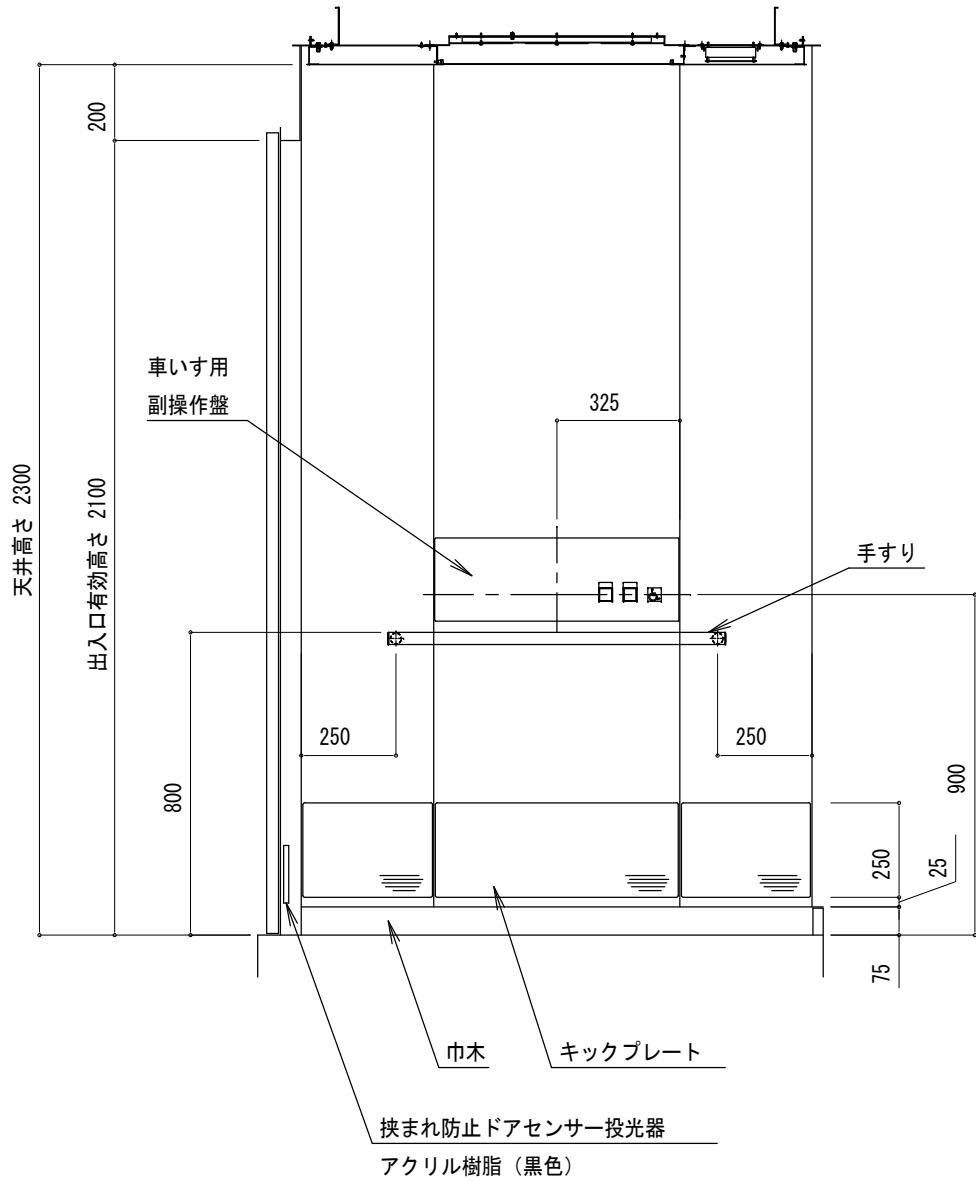


部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100	建築工事

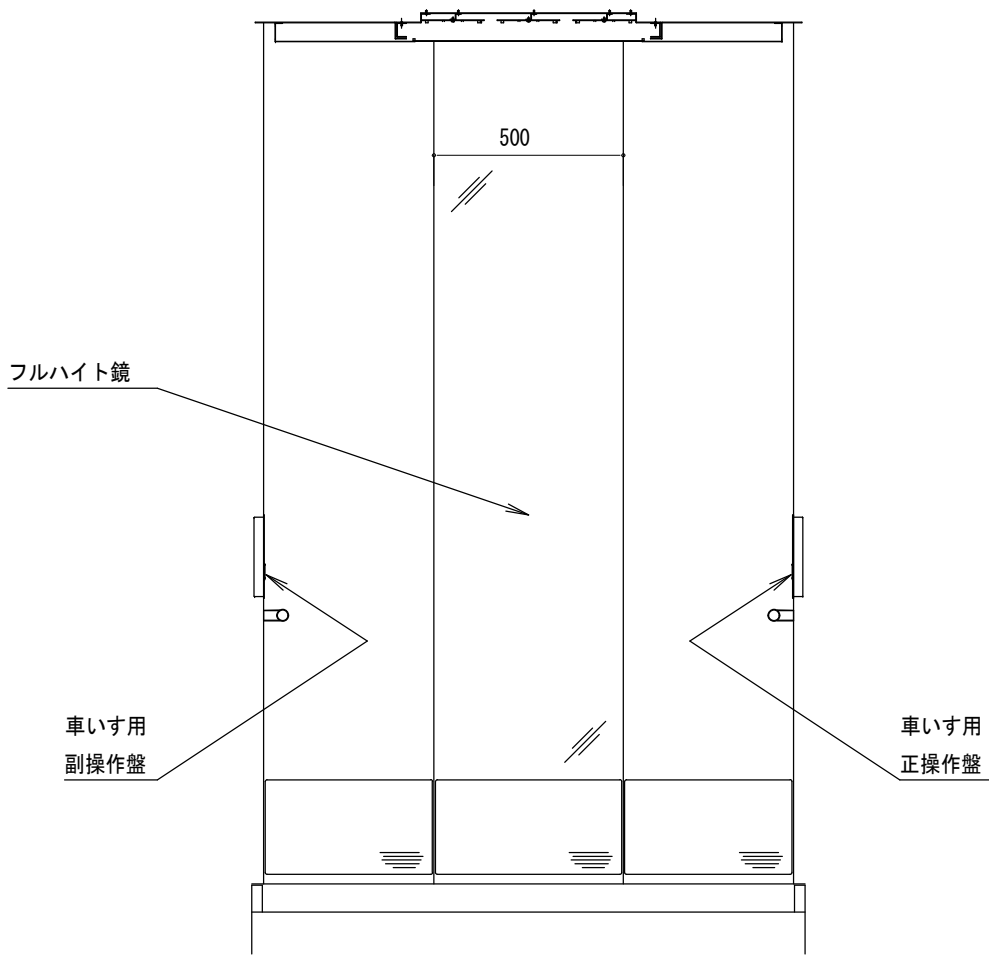




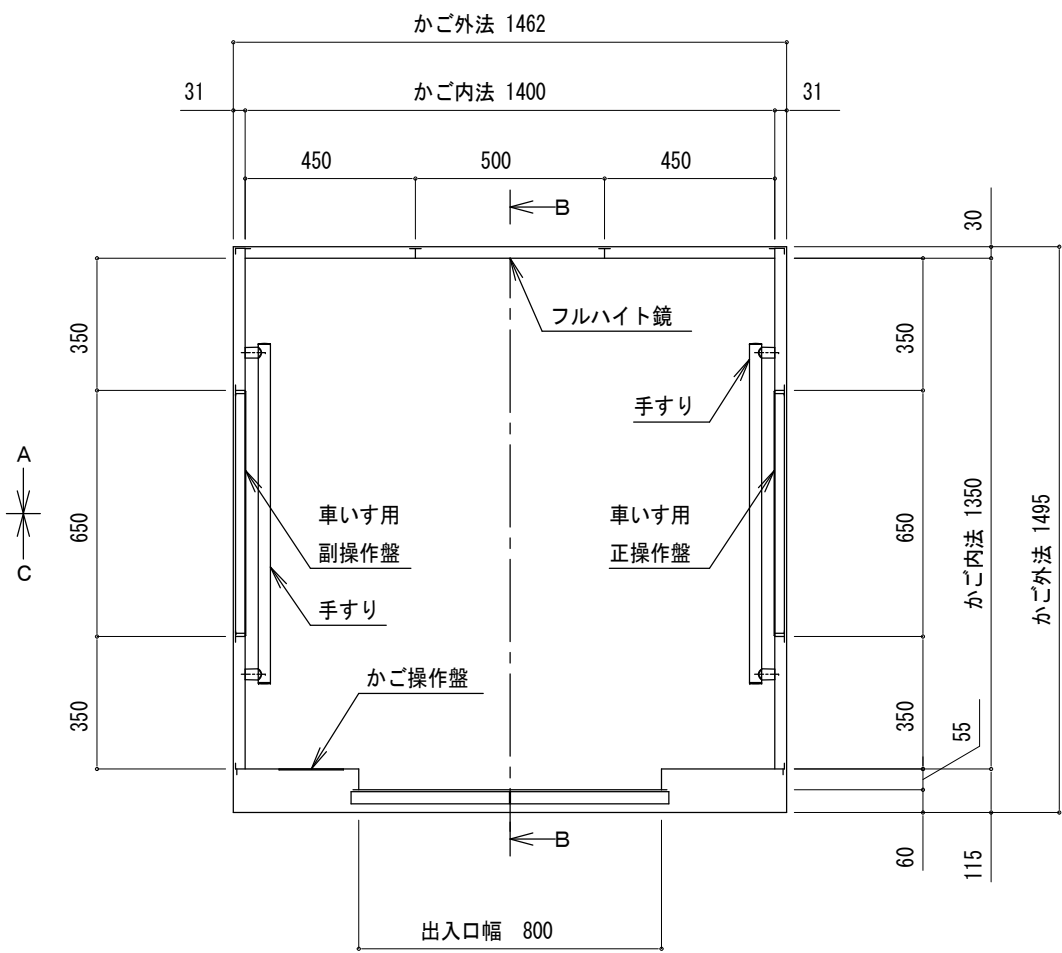
Uかご室正面図（矢視A－A）



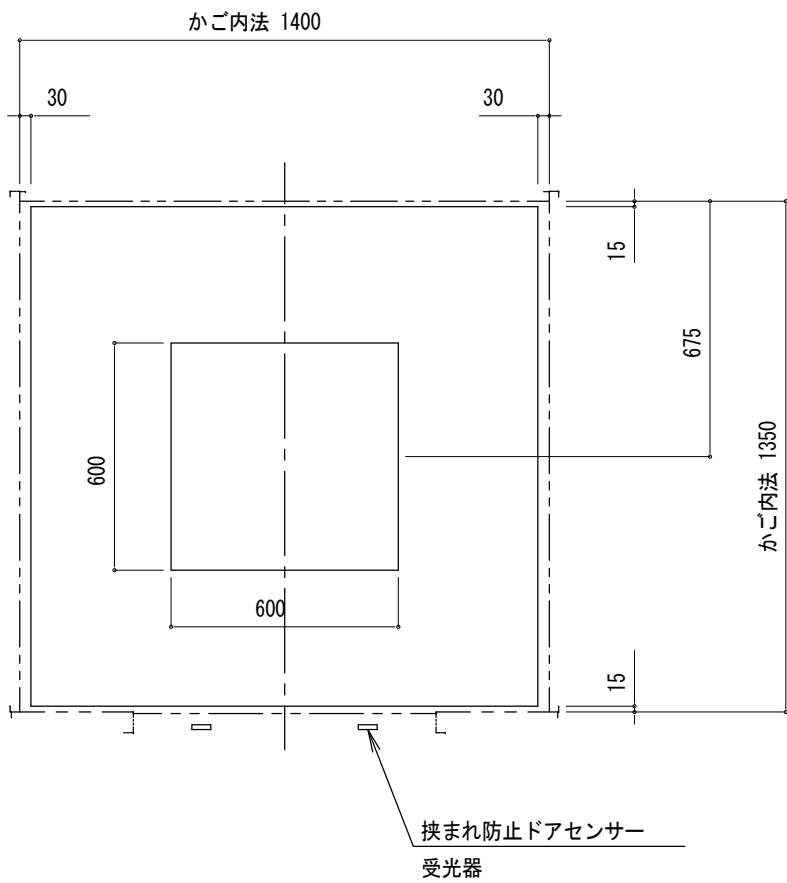
Uかご室側面図（矢視B－B）



Uかご室背面図（矢視C－C）



Uかご室平面図



U天井伏図

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	D C軸流ファン
照明	乳白色樹脂照明板 L E D照明（白色）
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル t 2
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t 1. 5
手すり	ステンレスヘアライン仕上（φ32） キャップ：樹脂（パールメッキ） ブラケット：アルミ ブラケットカバー：樹脂（パールメッキ）
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上：ビス無
保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
床マット	あり

No. 01  
かご室意匠図 (1 / 20)

■memo

■check

client  
architect  
contractor

■scale

S=1:30

■drawing title

エレベーター詳細図（6）

■project title

津市立白山中学校長寿命化改修工事

Kisho  
Architectural  
Design Office

一級建築士 登録第146490号  
一級建築士事務所 登録第1-169 号  
〈有〉貴匠設計 Kisho Architectural Design Office  
管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

EV-06

原図：A2